

O7CAD
操作マニュアル

2026年改定版 第1版（2026.5.11）

07CADご使用の注意点

【重要】

以下の点をご理解の上07CADをご利用ください。

1　製品の組み合わせについて

07CADでは各メーカー製品の色やオプションの組み合わせを自由に変更する事ができます。
各メーカーの最新カタログで**組み合わせが可能か、発注可能であるか**を必ずご自身でご確認お願いいたします。

2　製品の価格について

建材情報ストリームや自動拾い出し時に入力されている商品の価格は、e-tokoカタログに掲載されているメーカーカタログの定価価格です。こちらはリアルタイムでの価格、内容更新をしておりませんのであくまで目安としてご利用ください。見積ご提出前に**必ずご自身で金額確認**をお願いいたします。

3　製品の付帯金具について

07CADでは金物商品の付帯金具の項目、個数等の情報を含んでおりません。**実際の必要金具項目、及び個数はご自身でご確認**をお願いいたします。

4　面積や長さについて

07CAD上で表記される面積や長さは作図データから出されたものです。**現況数値とは異なります**のでその点を考慮した上で数量をご利用ください。

目次

07サポートガイド

◇ 07サポートガイド 1

◇ デスクトップのアイコンについて 2

◇ ネット認証 3

◇ CADが起動しない時は・・・【オンラインネット認証】 4

◇ 旧バージョンをお使いの方へ 6

◇ ユーザー登録データの移行方法 8

◇ 07Portal 11

◇ 07ユーザー専用サイト 12

◇ 操作が分からないときは・・・ 13

◇ サリバン先生/WEB研修　接続方法 17

◇ その他のサポートサービス 19

◇ 07コミュニティサイト 22

基本操作

◇ 基本操作 25

◇ CAD起動/用紙サイズ・縮尺設定 26

◇ 画面構成・名称 26

◇ CAD画面概要 27

◇ 画面調整 29

◇ 図形選択 30

◇ 選択解除 31

◇ 図形移動 32

◇ カーソルの種類 33

◇ 図形削除 34
◇ 取り消し 34
◇ 補助線の種類 35
◇ 補助線の動かし方 38
◇ 補助線の結合 39
◇ 補助線の分解 39
◇ 補助線のスナップ 40
◇ 補助線の伸縮方法 41
◇ O7CAD2026　メニュー&ショートカット一覧 42

作図練習（エクステリアプラン）

◇ 作図練習　（エクステリアプラン） 45
◇ 作図練習　サンプル図面 46
◇ 敷地を描く 47
◆ 【入力する数値を間違えたときは･･･】 48
◆ 【敷地形状の調整】 49
◇ 敷地の注釈とレベルを入れる 50
◆ 【敷地の注釈を印刷するには･･･】 50
◆ 【道路の「BM±0」を基準にしたいときは･･･】 51
◇ 保存する 52
◇ 建物基礎を描く 53
◆ 【入力する数値を間違えたときは･･･】 54
◆ 【グリッドの表示】 54
◆ 方法2　補助線→基礎 55
◆ 【辺の寸法や角度を間違えたときは･･･】 56

◆ 【袖壁、独立基礎があるときは･･･】 56
◆ 【作成された基礎の内側が白くなったときは･･･】 56
◆ 【基礎の初期設定】 57
◆ 【深基礎にしたいときは･･･】 57
◇ 敷地に基礎を配置する 58
◆ 【数値が表示されないときは･･･】 58
◇ 玄関ポーチを配置する 59
◇ 塀を配置する 61
◆ 【塀の厚み】 62
◆ 【移動とオフセットの違い】 66
◆ 【塀が途中で止まってしまうときは･･･】 66
◆ 【L字やコの字の塀をつくるには･･･】 71
◆ 【塀の角が敷地からはみ出したときは･･･】 71
◇ 床を配置する 72
◇ 製品を配置する 75
◆ 方法1 「製品」から配置 76
◆ 方法2 「建材情報ストリーム」から配置 77
◆ 【製品の検索方法】 79
◆ 【製品の配置高さについて】 80
◆ 【製品の配置高さ変更方法】 81
◇ 3Dを確認する 82
◇ 視点を移動する 83
◇ 休憩 85
◇ レベルの設定をする 86
◆ 【図形の選択】 87

◆ 【レベルを入力した点の変更・削除】 89
◆ 【シンボルの変形詳細】 90
◆ 【床やレンガラインを平らにしたいときは･･･】 91
◇ 階段の設定をする 92
◆ 【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは･･･】 92
◆ 【リアルタイムパースの表示】 95
◆ 【リアルタイムパースでのテクスチャ移動】 97
◆ 【階段自動生成】 97
◇ 塀の設定をする 98
◆ 【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは･･･】 98
◆ 【塀の設定詳細】 99
◆ 【塀の高さ変更】 100
◆ 【リアルタイムパースの表示】 101
◆ 【フェンスの追加】 105
◆ 【属性コピーできる項目】 106
◆ 【塀の形状変更】 108
◆ 【リアルタイムパースの表示】 110
◆ 【照明が塀の上にのっていないときは･･･】 119
◆ 【ポストが塀の内側に入っているときは･･･】 119
◆ 【操作が分からないときは･･･】 128
◇ 床の設定をする 129
◆ 【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは･･･】 129
◆ 【リアルタイムパースの表示】 131
◆ 【リアルタイムパースでのテクスチャ移動】 131
◆ 【床の設定画面（床デザイナー）レベル設定方法】 132

◇ 製品の設定をする 134
◆ 【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは･･･】 134
◆ 【オプションのあり・なしを変更する方法】 136
◇ 3Dを確認・編集する 137
◇ 道路を作成する 139
◆ 【道路のアスファルト部分が自動で作成されていないときは･･･】 140
◆ 【道路を印刷したいときは･･･】 142
◆ 【道路を詳細に編集したいときは･･･】 142
◇ 植栽を配置する 143
◆ 【樹木を探したいときは･･･】 143
◆ 【植栽の条件検索】 144
◆ 【リアルタイムパースで配置】 146
◆ 【樹木のサイズを変更したいときは･･･】 147
◆ 【低木を配置したいときは･･･】 149
◆ 【低木や生垣が埋まっている、浮いているときは･･･】 150
◇ 平面図を詳細に仕上げる 151
◇ 注釈を配置する 154
◆ 【敷地寸法だけが表示されたときは･･･】 155
◆ 【植栽注釈：引き出し線と表】 156
◆ 【製品注釈】 157
◆ 【文字のフォントやサイズ・色を変えたいときは･･･】 160
◆ 【寸法線の数値が合わないときは･･･】 161
◆ 【寸法線を連続で書く方法】 162
◆ 【注釈が用紙枠から出てしまうときは･･･】 164
◇ リアルタイムパースでイメージパースを作成する 165

◆ 【レイヤをカメラにしても、カメラが表示されないときは…】 165
◇ カメラを追加する 167
◆ 【追加したカメラを削除する方法】 167
◇ リアルタイムパースで視点を動かす 168
◆ 【カメラ(視点)調整方法の設定】 170
◆ 【カメラ(視点)移動の速度設定】 170
◆ 【カメラの種類について】 171
◆ 【リアルタイムパースカメラで設定した視点をパースカメラに追加】 172
◆ 【簡単拡大表示】 172
◇ テクスチャを貼る 173
◆ 【テクスチャの検索方法】 177
◆ 【背景を設定するには･･･】 178
◇ テクスチャを調整する 180
◆ 【側面だけテクスチャを動かした場合は･･･】 182
◆ 【階段・塀・床の設定画面でテクスチャ貼り付け方向と位置を設定する方法】 183
◇ 効果設定を変える 186
◆ 【夕景カメラにしたときは･･･】 188
◆ 【効果設定の初期設定一覧】 189
◇ 画像をCADに貼る 190
◆ 【画像のサイズを変更するには】 192
◆ 【建材カタログから製品の画像を取り込みたいときは･･･】 193
◆ 【現場写真や樹木の画像を取り込みたいときは･･･】 196
◆ 【文字が隠れてしまうときは･･･】 197
◇ 平面図仕上げ 198
◇ 立面用カメラの作成 201

◇ 立面図作成 202

◆ 【画像のトリミング】 204

◇ レイアウト 205

◆ 【パースの大きさ調整2】 208

◆ 【レイヤの前後関係】 210

◆ 【平面図の色を変えるには･･･】 211

◇ 印刷 214

◇ 印刷・レイアウト補足 216

◆ 【用途別・ストーリー性を持たせて見せたいときは・・・】 217

◆ 【レイアウト後、印刷の順番を変更するときは・・・】 218

◆ 【一部だけ印刷しない時は・・・】 219

◇ 数量拾い出し・リアルタイム概算 220

◇ プレゼンKIT 223

作図練習（エクステリア修正プラン）

◇ 作図練習（エクステリア修正プラン） 225

◇ 作図練習　サンプル図面 226

◇ データの複製 227

◇ ユニット削除 228

◇ 塀を配置する 229

◇ 床を配置する 231

◇ 製品を配置する 234

◇ 3Dを確認する 236

◇ 休憩 237

◇ レベルの設定をする 238

◆ 【レベルを入力した点の変更・削除】 240
◇ 塀の設定をする 241
◆ 【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは･･･】 241
◆ 【塀の設定詳細】 242
◆ 【属性コピーできる項目】 255
◇ 床の設定をする 256
◇ 注釈を変更する 257
◆ 【文字のフォントやサイズ・色を変えたいときは…】 258
◆ 【注釈が用紙枠から出てしまうときは…】 259
◇ リアルタイムパースを表示する 260
◇ 効果設定を変える 261
◇ 画像をCADに貼る 263
◆ 【置き換えしたいパース画像をトリミングしている場合】 265
◇ 平面図仕上げ 266
◇ レイアウト 269
◆ 【パースの大きさ調整2】 271
◇ 印刷 272

作図練習（造園プラン）

◇ 作図練習（造園プラン） 275
◇ 作図練習　サンプル図面 276
◇ CAD起動 277
◇ 庭スペース作成 278
◇ 保存 279
◇ 補助線入力 280

◇ ユニット入力 282
◇ 製品入力 283
◇ 築山作成-1 284
◇ 築山作成-2 285
◆ 【アンジュレーターと切土・盛土変換の違いは･･･】 286
◇ 塀の設定 287
◆ 【フェンスの高さ変更】 289
◆ 【属性コピーできる項目】 290
◇ 3Dを確認する 291
◇ 添景物配置 292
◇ 植栽の配置 293
◆ 【植栽の条件検索】 296
◆ 【リアルタイムパースで配置】 297
◇ 延べ石と補助線入力 298
◇ 飛び石と沓脱石入力 299
◇ 注釈入力 300
◆ 【寸法線の数値が合わないときは･･･】 300
◇ 植栽注釈更新 301
◇ 図枠入力 303
◇ リアルタイムパース表示～カメラ配置 304
◇ 視点設定 305
◇ テクスチャ設定 307
◇ 効果設定 308
◇ レイアウト 310
◆ 【画像のサイズを変更するには】 312

◇ 平面図仕上げ 313
◇ 印刷 315

新機能＆おすすめ機能

◇ 新機能＆おすすめ機能 317
◇ ダイジェスト 318
New ◇ サーバー情報自動取得 320
◆ 【ご契約内容ごとの取得サーバー情報について】 322
New ◇ 点群データで敷地を作成する方法 323
◆ 【3D画面の視点の動かし方】 324
◆ 【既存物があり敷地の頂点が選択できない場合は・・・】 325
◆ 【下絵の角度調整について】 326
◆ 【下絵の表示・非表示】 327
New ◇ OBJファイルの取り出し方法 328
◆ 【ファイル名について】 329
New ◇ 植栽の検索方法（ボタニカルガイド連携） 331
◆ 【植栽検索について】 332
New ◇ 注釈の装飾文章 333
◆ 【文章の編集のメニューについて】 334
New ◇ AIリアルフィルター 336
New ◇ 床デザイナーに踏板作成機能追加 337
◆ 【出幅と高さについて】 338
New ◇ 車両軌跡の作成 340
New ◇ 立面カメラ描画範囲指定機能 341
New ◇ 下絵取り込み 343

◆ 【下絵取り込みの画面について】 344
◆ 【下絵の調整画面について】 344
◆ 【入力する数値を間違えたときは・・・】 345
◆ 【OKを押してしまったら・・・】 345
New ◇ レベル一括変換画面で補助線の表示非表示 347
◇ その他おすすめ機能 348



O7サポートガイド

デスクトップのアイコンについて

デスクトップ上にできたアイコン（ショートカット）の説明をします。



O7CAD2026(オーセブンキャド2026)の起動アイコンです。

エクステリア・造園図面作成CADソフト　平面からパース作成、数量拾い出し、
見積(O7Cargo)までオールインワン作図が可能です。図面を作成する際は、
このアイコンから始めます。

※O7CargoはO7CAD2025から標準搭載の見積機能・工程表を搭載したクラウドサーバーです。どこからでもアクセス可能なクラウド環境で、顧客、図面、パース、VR、見積、契約書、実行予算書、発注書、請求書、そして工程表までデータの一元管理が行えます。

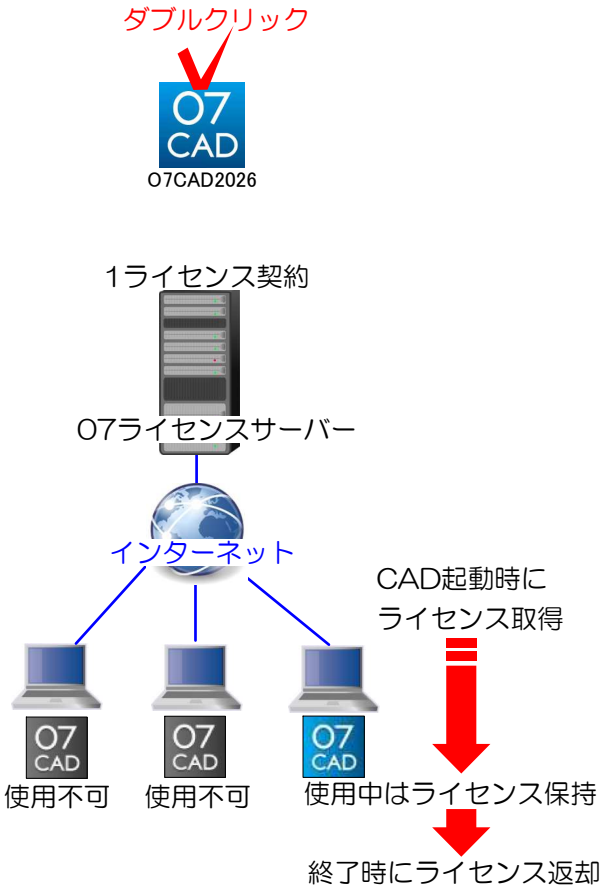


O7Portal（O7ポータル）の起動アイコンです。

部材などのダウンロードとプログラムのアップデート、操作サポートを行います。
アップデートや操作を調べる、お問合せは、このアイコンから始めます。
CADを起動することもできます。

ネット認証

オーセブンCADを起動するための種類です。



インターネット認証版

CAD起動時にライセンスを取得し、終了時にライセンスを返却します。

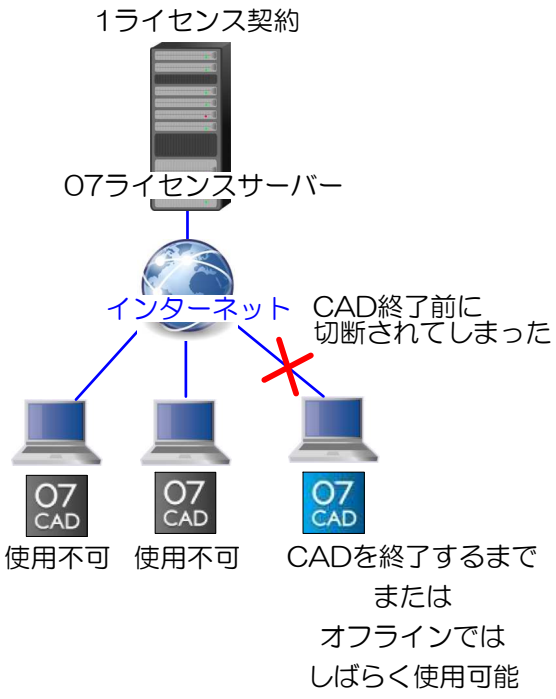
インターネット環境が必ず必要になります。

インターネットに繋がった状態でCADを終了させないと他のPCでCADが起動出来ません。

ご契約頂いているライセンスの数だけ同時に起動できます。

また、ネット認証のライセンスを借りたままに設定することができます。

Webマニュアル [メニュー]→[ヘルプ]→[持ち出しネット認証のご紹介とご注意]



【使用中にインターネットを切断してしまった場合】

CAD終了前にインターネットから切断されてしまった場合

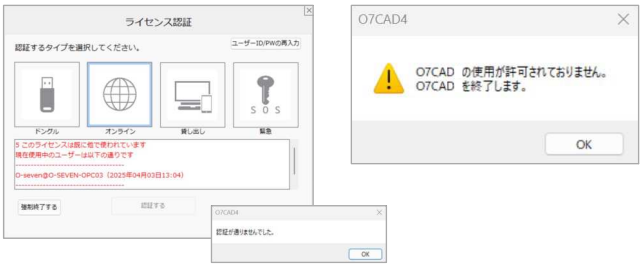
CAD起動中のPCでは継続して使用可能

ただし、CADを終了した場合はネットに接続しないと再起動できません。

その間、他のPCではCADを使用できません。

CADが起動しない時は・・・【オンラインネット認証】

直前のご使用時にライセンスの返却に失敗している可能性があります。



デスクトップPCやノートPCなど、複数のPCでCADをご使用いただいている場合、使用後にライセンス返却が正しく行われず。次回別PCでCADが起動できないことがあります。

このような状況で表示されるメッセージとその対処法につきましてご案内いたします。



起動しない原因と解決方法

『認証タイプ：オンライン』→『認証する』ボタンクリックで起動しましたらそのままお使いいただいて問題ありません。

『認証が通りませんでした』とメッセージが出た際は**『OK』**で進んでいただきその後のメッセージをご確認下さい。



『このライセンスは既にほかで使われています』

【原因1】

直前の終了時に**ネット環境の不調・強制終了等**でライセンスが正しく返却出来なかった。

（※CAD自体は閉じていても直前の利用が続いていると認識されてしまっている状態。）

【解決方法1】

直前に使用されたPCでCADを再度立ち上げ、

『×ボタン』もしくは**『ファイルメニュー→終了』**でCADを閉じます。

その後使用するPCで再度CADを起動します。



『gate.o-seven.jpへの～ブロックされました』

【原因2】

起動時の**ネット環境の不調などが原因**もしくは、**ウイルス対策ソフトなど**が認証を妨げている。

【解決方法2】

ネット環境の確認をお願いします。

・Wi-Fiが正常につながっているか

・LANケーブルは問題ないか

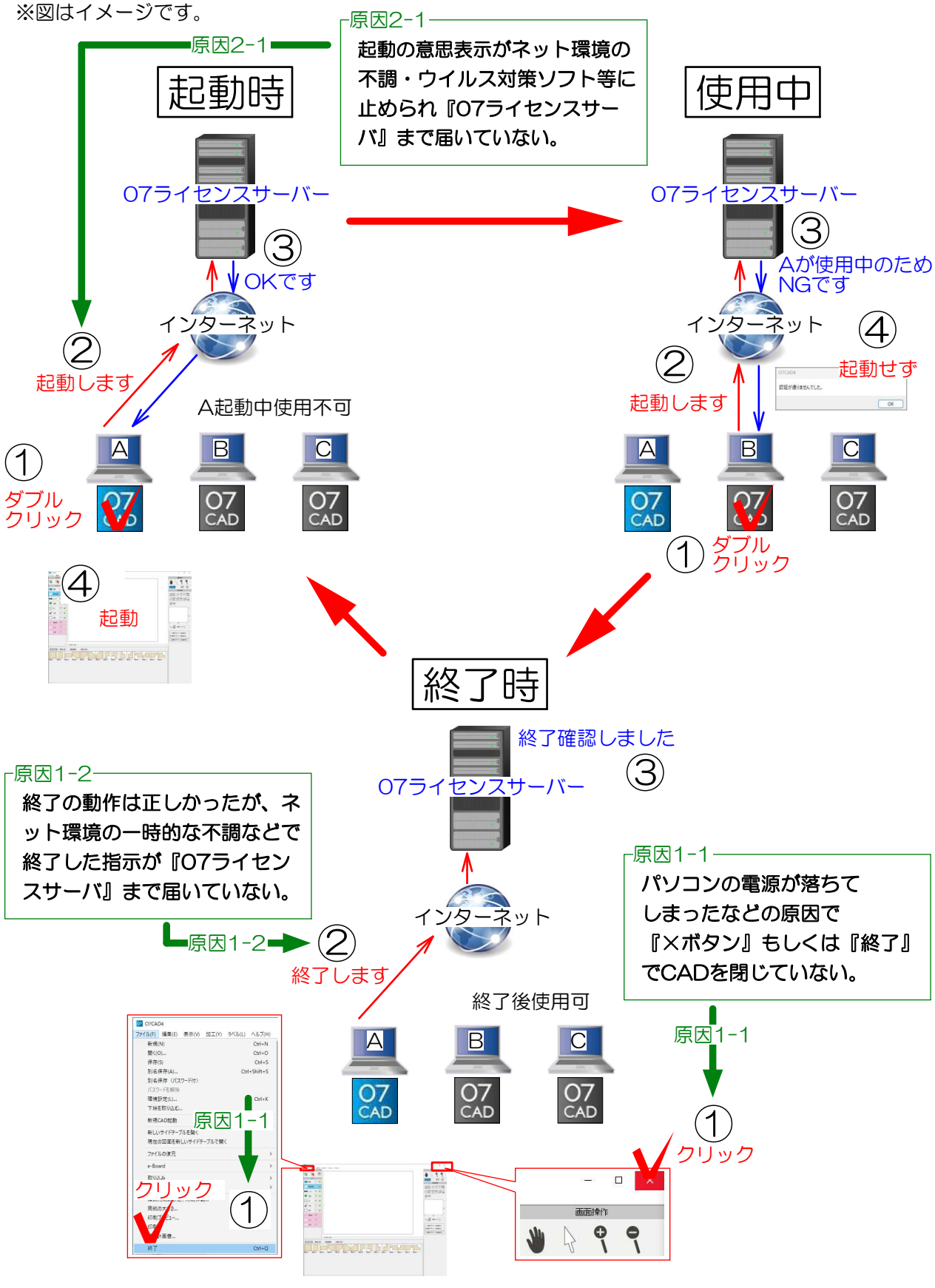
ウイルス対策ソフトの個別設定に関しましてはオーセブンではお答えいたしかねます。

gate.o-seven.jpの通信許可をお願いいたします。

上記でも解決しない場合はお手数ですがオーセブンへお問い合わせください。

【ライセンスの認証と返却】

正常な認証が行われた際、起動時・使用中・終了時は以下の流れで認証を行っています。
原因1、2が起きる可能性があるタイミングもご確認下さい。
※例：1ライセンスご契約で3台のPCにインストールされている場合
※図はイメージです。



旧バージョンをお使いの方へ

O7CAD2026にした時の注意点、旧バージョンの使用期間についてのご案内です。

旧バージョンとO7CAD2026のファイル互換性について

・旧バージョン(O7CAD2・3・2025)のファイルはO7CAD2026で開くことが可能です。

・O7CAD2026で保存したデータを旧バージョン（O7CAD2・3・2025）で開くことは可能ですが（アップデートをして最新状態になっているのが条件）いくつか条件がございます。

・旧バージョンで作成したデータの塀・床は編集できますが、塀は設定が一部変わってしまう場合があります。

・レンダリング結果が多少変わることがあります。また保存した以前のレタッチ情報が正しく再現できない場合があります。

・リアルタイムパースでテクスチャの目地位置がずれている場合があります。
お手数ですが、リアルタイムパース画面で再調整をお願いいたします。

旧バージョンの使用期限について

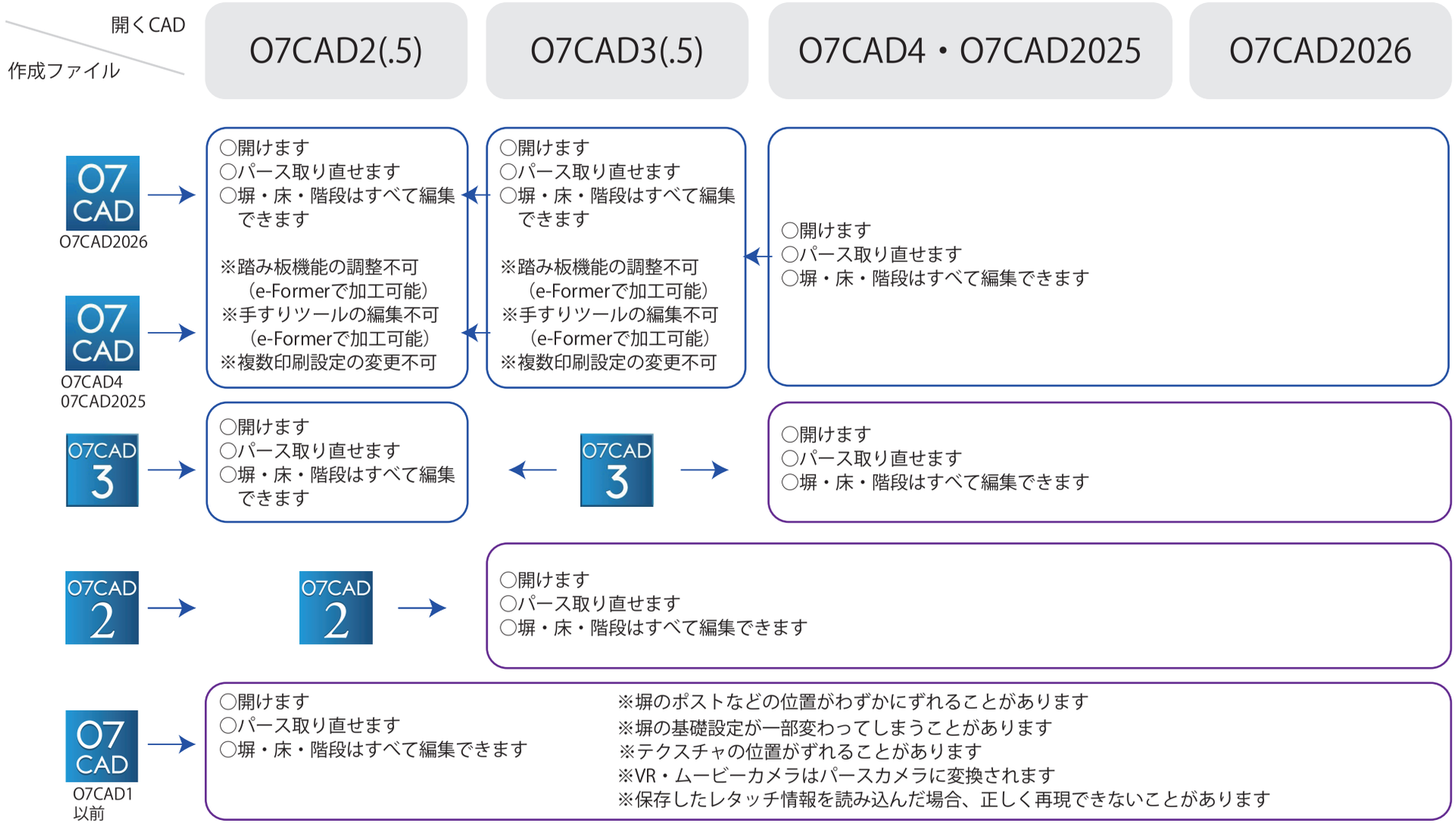
O7CAD2026をインストールしてから［100日間］使用可能です。使用期限内O7CAD2026と旧バージョンの両ソフトを使用できます。

使用期限が切れた後の旧バージョンのCADについて

恐れ入りますが、アンインストール（ソフトの削除）をお願いします。

お問合せ先：
オーセブン株式会社　048-741-8177
(月曜～土曜・祝日 9：00～18：00)

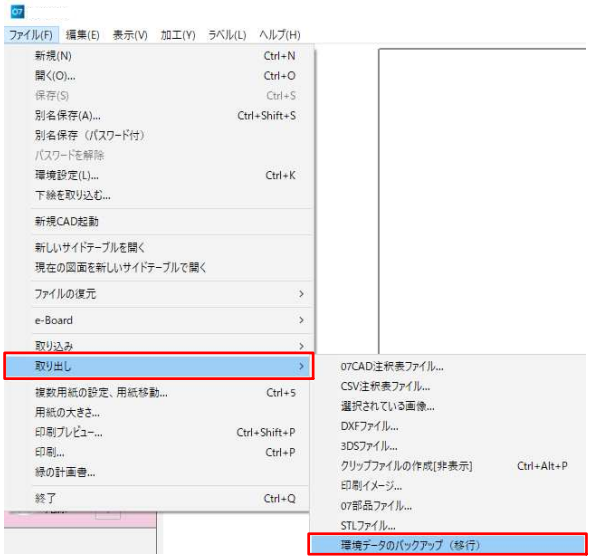
オーセブンCADのバージョン間互換について



※各バージョン、アップデートをして最新の状態にしておく事が条件となります

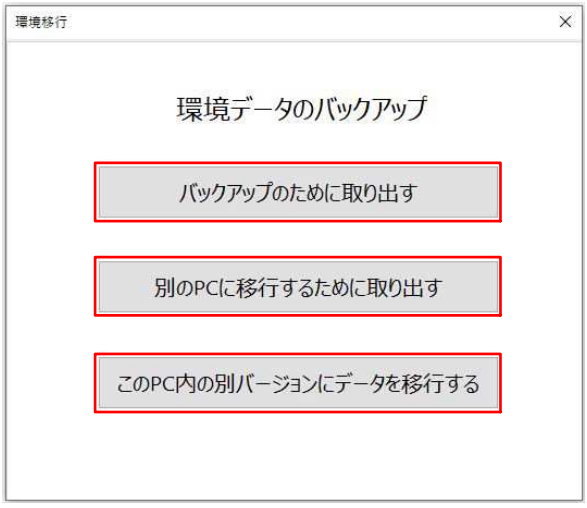
ユーザー登録データの移行方法

旧バージョンでユーザー登録を使用していた方は、ユーザー登録データの移行作業が必要です。



1　移行データの取り出し

1-1　ファイルメニューの取り出しより環境データのバックアップ（移行）を選択します。

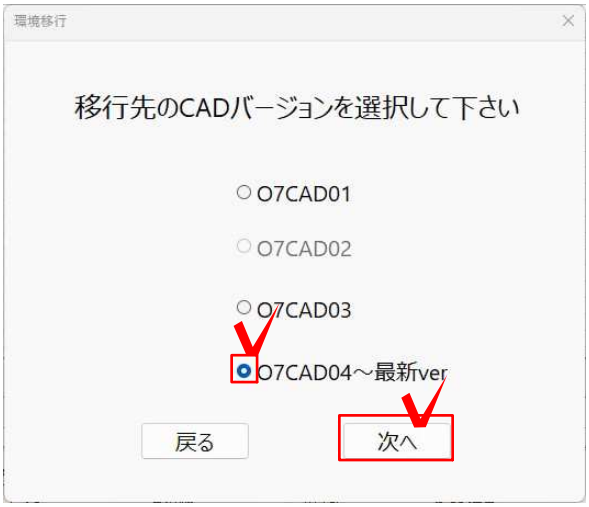


1-2　取り出しの種類を選択します。

【バックアップのために～】
すぐの移行ではないが、万が一に備えて取り出しておく場合。

【別のPCに移行するために～】
社内でのユーザー登録の共有、PC買い替えに伴うセットアップなど、他のPCへも同じ環境を再現したい場合。

【このPC内の別バージョンに～】
バージョンアップご契約時など、同じPC内でCADバージョンに変更があった場合。

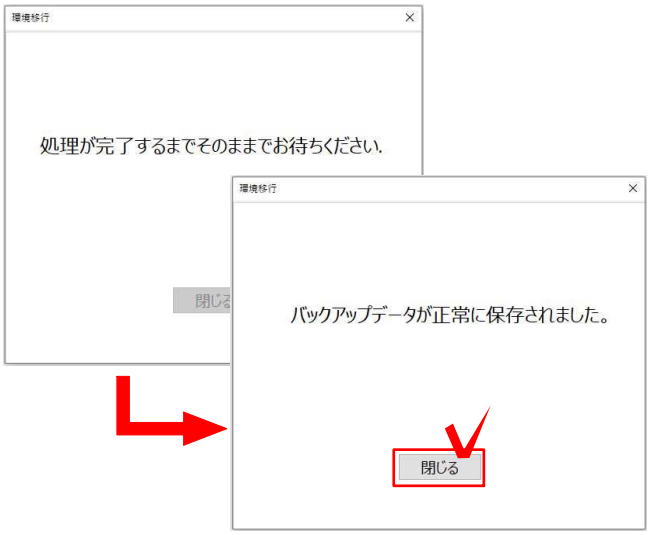


1-3　【このPC内の別バージョンに～】を選択された場合のみ移行先のバージョンを聞いてきます。
移行されたいバージョンにチェックを入れ次へを選択します。

・移行元の現在開いているバージョン
・ご導入されていないバージョン
上記は選択が出来ません。



1-4　移行するデータを選択し、取り出しをクリックします。



1-5　画面のメッセージが「処理が完了するまでそのままでお待ちください」から正常に保存されました・移行が完了しましたに変わりましたら閉じるをクリックします。

※**【このPC内の別バージョンに～】**を選択された方は以上で作業完了です。
移行先のバージョンに、データが移っているか確認をしましょう。



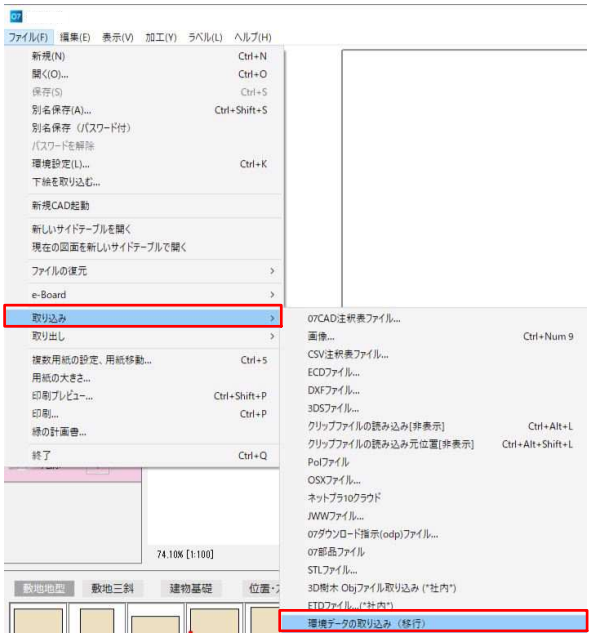
1-6**【バックアップのために～】**
【別のPCに移行するために～】を選択された方は、名前を付けて保存していただき移行用ファイルが作成されます。
（デスクトップなどわかりやすい場所へ保存しましょう。）
移行先のPCへ作成された移行用ファイルを移し、以後の作業はファイルを移した**移行先のPCで行います**。

【移行可能なデータについて】

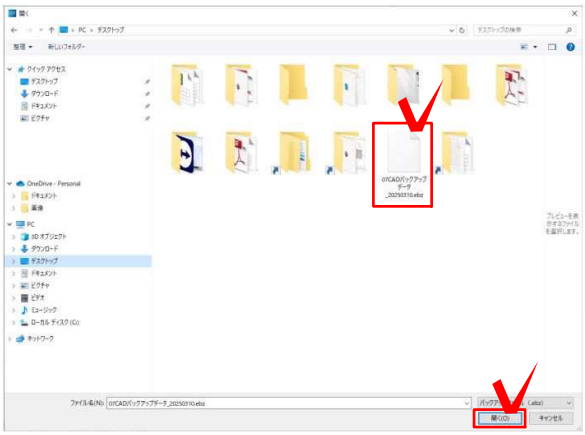
移行できるデータは以下になります。

- リアルタイムパース設定
- SPパレット効果設定
- 植栽のよく使う200本履歴
- 環境設定
- STL取り出し情報
- 7日間バックアップ
- 図枠登録データ
- ユーザー登録部品
- 光源登録データ
- 外部ファイル取込したテクスチャ
- お知らせ設定
- tips設定
- サイドテーブルの設定
- 注釈登録データ
- ユニット登録データ
- 登録したテクスチャ
- 効果設定登録データ
- 起動時に自動で開くサイドテーブルセット
- e-Board設定・07Cargoの設定
（07Cargoは07CAD2025以降標準搭載サーバーです）

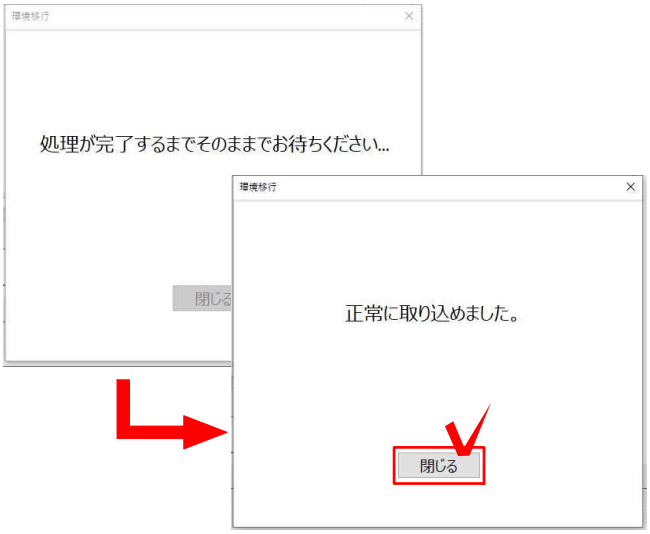
2　移行データの取り込み



2-1　ファイルメニューの取り込みより環境データのバックアップ（移行）を選択します。



2-2　使用する移行データを選択し開きます。



2-3　画面のメッセージが「処理が完了するまでそのままでお待ちください」から正常に取り込めましたに変わりましたら閉じるをクリックします。
以上で作業完了です。
作業をしている移行先のPCにデータが移っているか確認をしましょう。

07Portal

【CAD保守サポート】をご契約されているユーザー様が対象となります。

07Portal

07Portalって？

07Portalは、ご使用のCADコンテンツを常に最新の状態にしてくれるツールです。

新商品が発表されるエクステリア建材をはじめ、進化するCADプログラムをリアルタイムで御社にお届けします。

また、マニュアルの閲覧、お問い合わせ、研修予約、お得な情報を確認することができます。



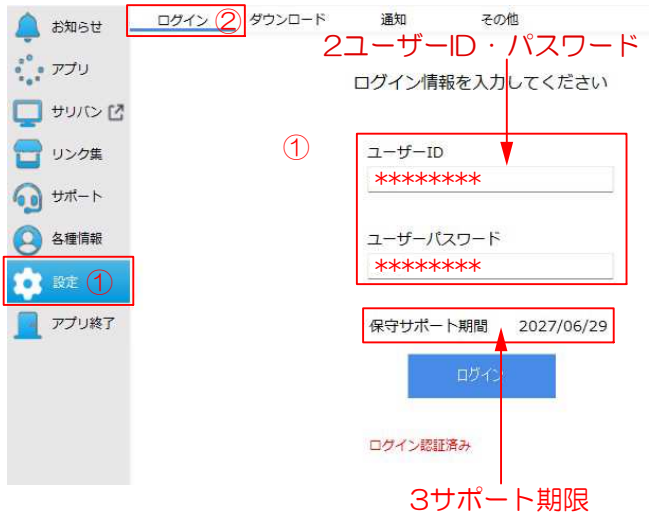
アップデート方法

1『アプリ』をクリック
2『最新情報を取得』をクリック
3『まとめてアップデート』をクリック

※ 更新目安は1ヶ月に1回。

※ ダウンロード時間は、インターネットの回線スピードにより異なります。

※ 無線LANをご利用の場合は回線が途切れることがございます。有線LANをお勧めいたします。



アップデートができない時は...

以下の点を確認してください。

○ 保守サポート期限が切れていないか
○ 各種設定がすべて設定されているか
○ インターネットに接続しているか
○ UACが解除されているか

上記を確認しても解消できない場合は
下記へお問い合わせください。

お問合せ先：
オーセブン株式会社　048-741-8177
(月曜～土曜・祝日 9：00～18：00)

07ユーザー専用サイト

【CAD保守サポート】をご契約されているユーザー様が対象となります。

【07Portal画面】



07ユーザー専用サイトって？

マニュアル閲覧やイベント開催、コンテンツ追加などの様々な情報を配信しております。
インターネットに接続されていれば、24時間365日ご利用頂けます。
このサイトはユーザー様のみに公開しており、専用ID及びパスワードが必要になります。（納品時に書類でお渡ししております。）

http://user07.o-seven.info/



【サービス一覧】
色々なサービスのご案内です。

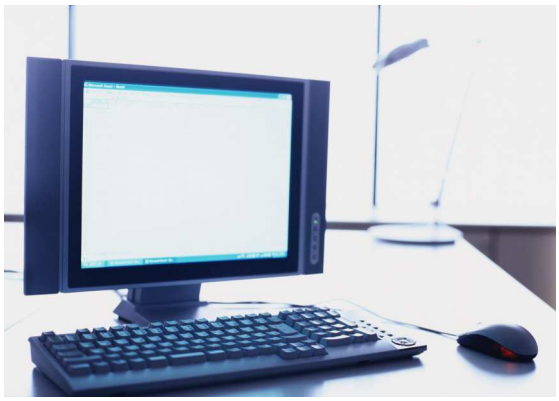
【トピックス】
全てのご案内から特にお知らせしたい新着情報です。
コンテスト開催、講習会、コンテンツのご案内、お役立ちメールマガジンなど様々です。

【イベント】
講習会、展示会の開催イベント情報です。

【コンテンツ】
各メーカーの3Dデータ、テクスチャデータの更新情報です。どんな商品がいつ更新されたか？がわかります。

操作がわからないときは・・・

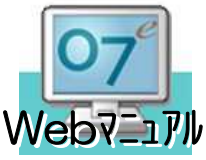
【CAD保守サポート】をご契約されているユーザー様が対象となります。



操作がわからない…

研修を受けてもいざ、図面を描いてみるとわからない点が出てきます。
オーセブンでは様々なサポートをご用意しております。

1　WEBマニュアルを見る
2　メールで問い合わせをする
3　電話で問い合わせをする
4　遠隔サポート　サリバン先生
5　Weラーニングパス
　（1年更新定額研修＋アーカイブ）
6　研修を受ける
　(WEB研修・マンツーマン研修)



1　WEBマニュアルを見る

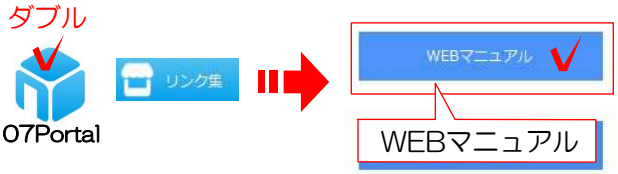
閲覧するにはいくつかの方法があります。



1　WEBマニュアルのページを開きます。

【CAD画面右上の07ボタンから見る】

CAD画面右上の07ボタンからWEBマニュアルのアイコンをクリックします。



【07Portalから見る】

デスクトップの「07Portal」を開き、「WEBマニュアル」をクリックします。



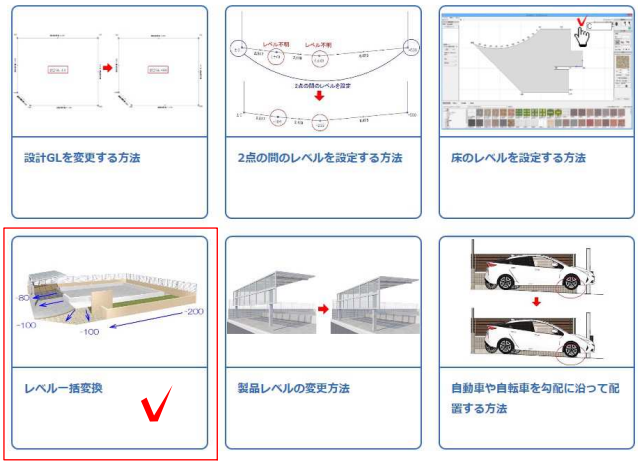
2　お使いのソフトを選択していただき、キーワードを50音で検索します。



［レベル設定］→［レベル一括変換］

上の場合、左図のように検索します。

キーワードに関係する内容が表示されるので、クリックして閲覧してください。



動画やPDFで掲載されています。それぞれをクリックして閲覧することができます。

※検索された時に表示されるタイトルは表記しているタイトルと多少異なる場合があります。







■操作のご質問・サリバン先生
お問合せ先：
オーセブン株式会社　048-741-8177
(月曜～土曜・祝日 9：00～18：00)

2　メールで問い合わせをする

操作のご質問をメールでお受けしています。
07Portalより送信ができます。
※お返事までに少々お時間をいただくことがございます。お急ぎの場合は、お電話にてご連絡ください。
また、お客様のご意見･ご要望も随時お受けしております。

上記手順で送付ができない場合は、下記アドレスへお願いいたします。
■お問合せ先：オーセブン株式会社 設計室
メール： media@o-seven.co.jp

3　電話で問い合わせをする

操作のご質問、お問い合わせをお受けしています。「御社名」「お問い合わせ内容」をお申し付けください。

4　遠隔サポート　サリバン先生
※有償サービス

御社のPCをインターネット回線を使って遠隔操作を行うシステムです。
電話のみでは不明点の解決が難しい場合や、ソフトの不具合・トラブルなどの場合にPCの画面を直接見させて頂きます。
※不具合・トラブルの遠隔サポートは無償です。
※研修としてご利用いただく場合は、別途研修料金が発生いたします。オペレーターと接続している時間が研修時間として換算されます。請求書は後日発送いたします。

サリバン先生ご利用料金：
880円(税込)/10分

みんなと繋がる・みんなで学べる
Weラーニングパス

01 スタートアップ合同WEB研修
07CADの基本から応用研修まで平日ほぼ毎日WEB研修を開催

02 07CAD応用セミナー
毎月開催07CADの応用セミナー。メーカーとのコラボも実施予定。

03 外部講師によるスペシャルセミナー
外部講師によるエクステリアスキルアップセミナーを定期開催。



公式LINEアカウントのイベント情報より、
お申込みページへアクセスでき、開催日なども確認できます。

LINE 友達登録はこちら



5　Weラーニングパス ※有償サービス
（1年更新定額研修＋アーカイブ）

Weラーニングパスは、07CAD研修と外部講師セミナーが定額で受け放題の学習サービスです。
CAD技術はもちろん、プランニング・プレゼン・植栽・照明・WEB集客まで、実務に直結するスキルを幅広く学べます。スタッフの成長を継続的に支援し、安定した経営基盤づくりにつなげます。
また、利用期間中はマイページよりセミナーのアーカイブ視聴も可能です。

金額などの詳細・お申込みはQRコードよりご確認ください。

お申込み方法や
詳細はこちら▶





■研修ご予約
お問合せ先：
オーセブン株式会社　048-741-8177
(月曜～土曜・祝日 9：00～18：00)

6　研修を受ける　※有償サービス
(WEB研修・マンツーマン研修)

07Portalの「研修予約」から研修のタイプをお選びください。
研修タイプによってご予約方法が異なります。

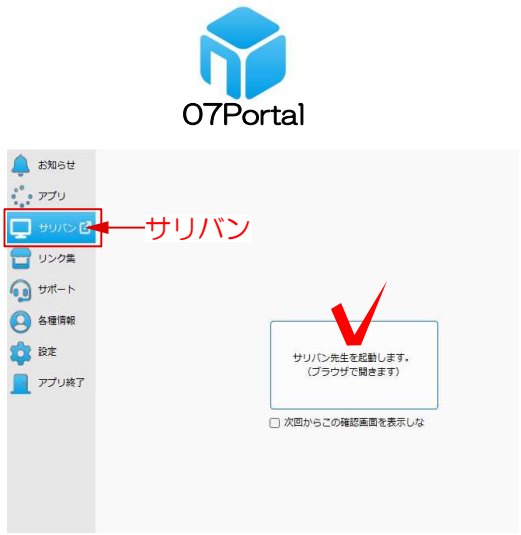
WEB研修は、予約サイトよりご予約頂けます。
「WEB研修予約について」→
こちらのページの
WEB研修予約する
よりご予約頂けます。



お電話でのご予約は「御社名」「ご希望の研修種類」「ご希望日」をお申し付けください。

サリバン先生/WEB研修　接続方法

【CAD保守サポート】をご契約されているユーザー様が対象となります。



サリバン先生/WEB研修　接続方法

※別の接続システムを使用させて頂く場合もございます。

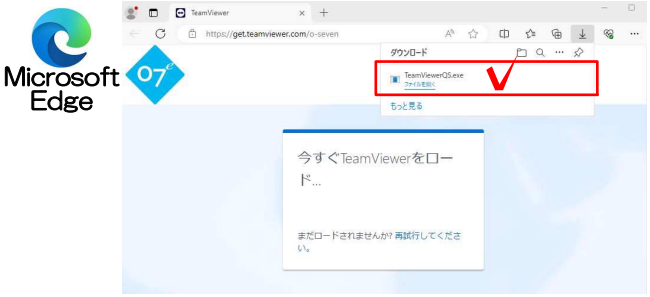
1　07Portal左の「サリバン」をクリックします。

ダウンロードサイトが開き、自動的に接続ツールがダウンロードされます。



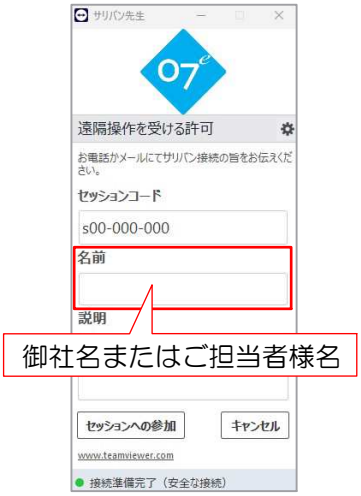
【Google Chrome(グーグルクローム)をお使いの場合】

2　左図のような画面が表示されます。
右上にダウンロードされたファイルが表示されますので、こちらをクリックします。



【Microsoft Edge（マイクロソフトエッジ）をお使いの場合】

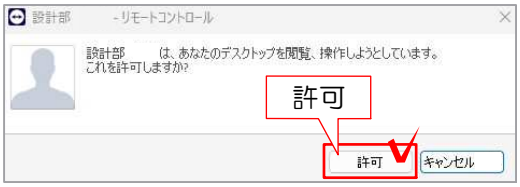
2　左図のような画面が表示されます。
右上にダウンロードされたファイルが表示されますので、こちらをクリックします。



3　セキュリティ警告のメッセージが表示されますが、「実行」を選択してください。

Web接続ツールがダウンロードされると左図の画面が表示されます。

4　名前の入力欄に御社名またはご担当者様のお名前を入力して頂き、お電話かメールにてサリバン接続の旨をお伝えください。



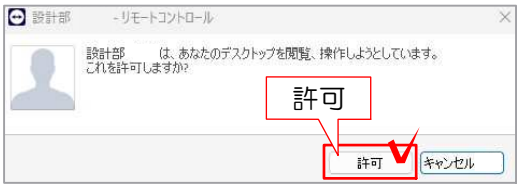
5　左図の画面が表示されます。
「許可」を選択してください。

2回目以降のつなぎ方



1　「TeamViewerQS.exe」のショートカットをダブルクリックします。
1度接続をするとデスクトップにショートカットができます。

2「サポートの要求」をクリックしてください



3　左図の画面が表示されます。
「許可」を選択してください。

その他のサポートサービス

様々なサポートサービスがございます。必要な時にご利用ください。



作図代行サービス　※有償サービス

図面作図代行のサービスもございます。
専用依頼ページよりご依頼いただけます。



ＨＰ系サービス　※有償サービス

エクステリア・造園・リフォーム業界に特化したオーセブンだからできるＨＰDIYアプリ「HOPWEB！」です。
専門知識は不要でHPの作成・運用をDIYすることができます。

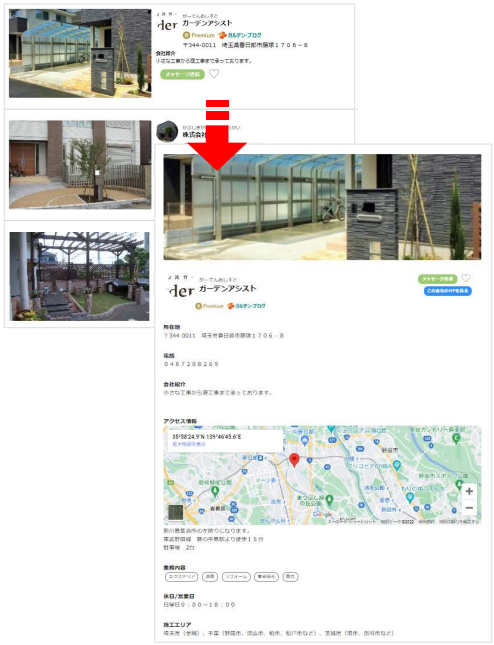
https://hopweb.net/



匠：全国業者検索ページ



各会社紹介ページ



e-toko　※一部有償サービス

エクステリア造園業界を応援するオーセブンはお施主様と業者様との距離を近づけるためにエクステリアの総合サイト「e-toko(イートコ)」を運営しております。
「e-toko(イートコ)」に登録=無料のインターネット電話帳に御社のホームページまたは、御社の情報を掲載するような感覚です。

■会員登録のオススメ

1.**登録無料！**経費負担がかかりません。
※一部有料のプレミアム会員様向けサービスがあります。

2.地域別検索機能付きなのでご近所の見込み客に御社の情報を見てもらえます。

3.「e-toko(イートコ)」はyahoo登録サイトなので、エクステリア関係の「調べ物」をしているお客様に見てもらえる確率が高いです。登録されている業者さんのホームページはヒット数が上がります。

4.無料で求人情報、ブログの掲載などができます。

求：求人・求職ページ



5.プレミアム会員(有料)になると施工例、イベント情報を無料で掲載できます。その他、お問い合わせを優先的にご紹介、地域業者検索結果で上位に表示されます。

e-toko会員登録手順



1.e-tokoを開きます。(07Portal→サポートサービス一覧→e-toko、各種ブラウザで「e-toko」と検索でも可)

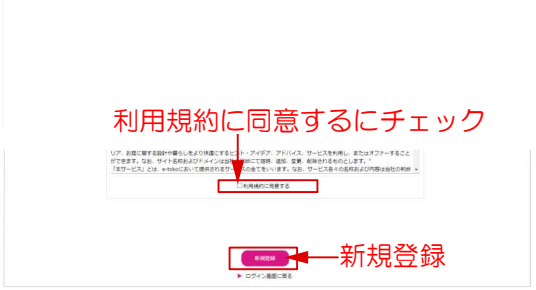
2.「新規会員登録」をクリックします。



3.「新規会員登録はこちら」をクリックします。



4.表示された画面にログインID・パスワード・会社名・氏名等を入力します。



5.利用規約をお読みの上「利用規約に同意する」にチェックを入れ、「新規登録」をクリックします。

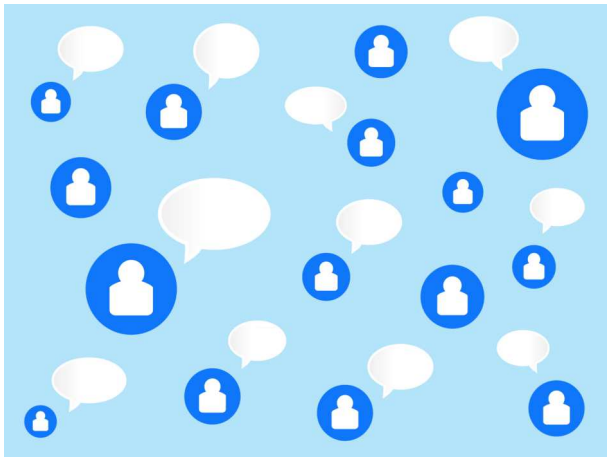
6.登録したメール宛に登録確認が届きますので、メールに記載されているURLをクリックして登録手続きを完了してください。



7.プレミアム会員は無料登録後のマイページでお申込いただけます。

07コミュニティサイト

様々なサポートサービスがございます。必要な時にご利用ください。

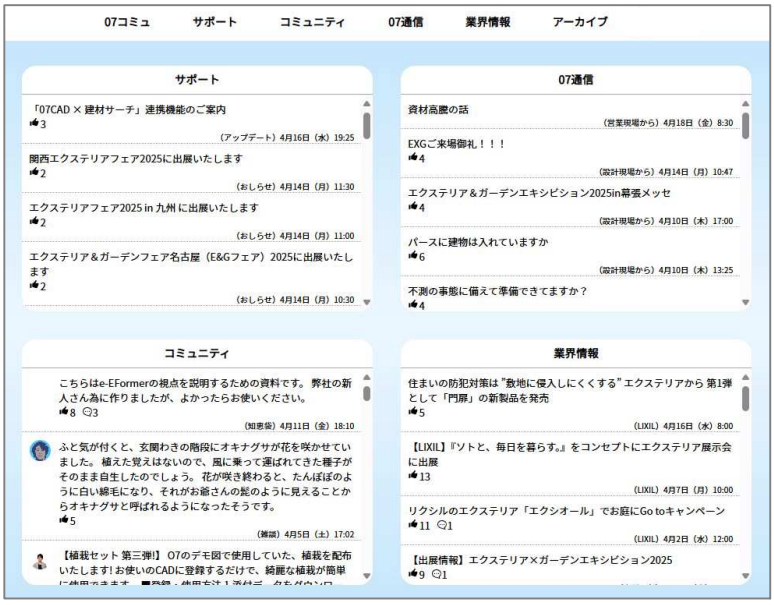


←詳しくはこちらの動画をご覧ください。

07コミュニティサイトとは

07CADユーザー様・07スタッフ・建材メーカー様と情報発信・交換できるサイト「07コミュニティサイト(ぜろななこみゅにてぃさいと)」を運営しております。

07コミュニティサイトの主な機能として
・07からCADユーザー様へ重要事項の連絡
・07からCADユーザー様へのカジュアルな情報の提供
・07スタッフ×CADユーザー様間のテーマ別コミュニティチャットの場の提供
・建材メーカー様からCADユーザー様への直接的な情報提供があります。



【07コミュ】
サポート・コミュニティ・07通信・業界情報の各項目を時系列順で確認できます。

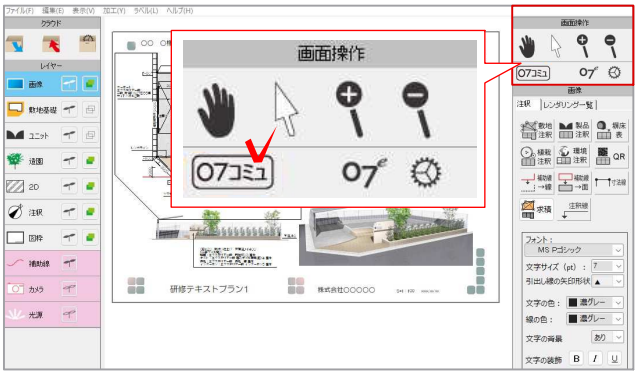
【07通信】
07社員がコラムを投稿しています。

【サポート】
07からユーザー様へ情報発信をしたり、ナナちゃんを使ってCAD質問をすることができます。

【業界情報】
各建材メーカー様が記事を投稿をしています。

【コミュニティ】
ユーザー様が投稿し交流していただけるページです。

【アーカイブ】
一部過去の無料オンラインセミナーの動画やワンポイント動画がご覧いただけます。



アクセス方法

1.07CAD2026を起動し、右上の07コミュをクリックします。

色によってお知らせの内容が変わります。

07コミュ　お知らせ・更新がない状態

07コミュ　07からお知らせ

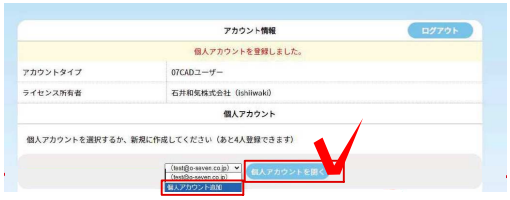
07コミュ　緊急のお知らせ



2　個人アカウントを作成するために、「個人アカウントを開く」をクリックします。



3　個人アカウントのEメールとパスワードを設定し、「保存する」をクリックします。



他のアカウントを作成する場合は「個人アカウント追加」をクリックします。



4　個人アカウントの登録が完了したら、「個人アカウント」をクリックし、ニックネーム、アイコン画像を登録し、通知設定をして保存します。

5　メニューボタンをクリックしていただき、07コミュニティサイトをご利用していただけます。

基本操作

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



詳細説明　P.30～

テキストのP.30～に載っています。



［レベル］→［レベル一括変換］

WEBマニュアルでキーワードの[レベル]を
クリックし、参照マニュアルが表示されます。

※O7CADではWEBマニュアル、CambridgeではDVDマニュアルに収録されています。

※実際の操作画面は予告なく変更になる場合がございます。

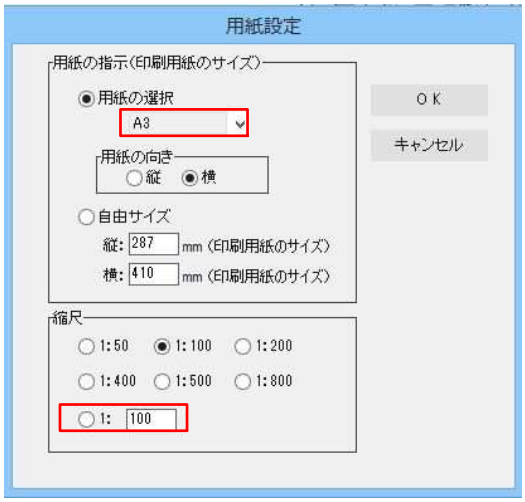
CAD起動

CADを起動し作図用紙の選択をしましょう。



1　CADの起動

1-1　デスクトップ上のCADのアイコンをダブルクリックします。



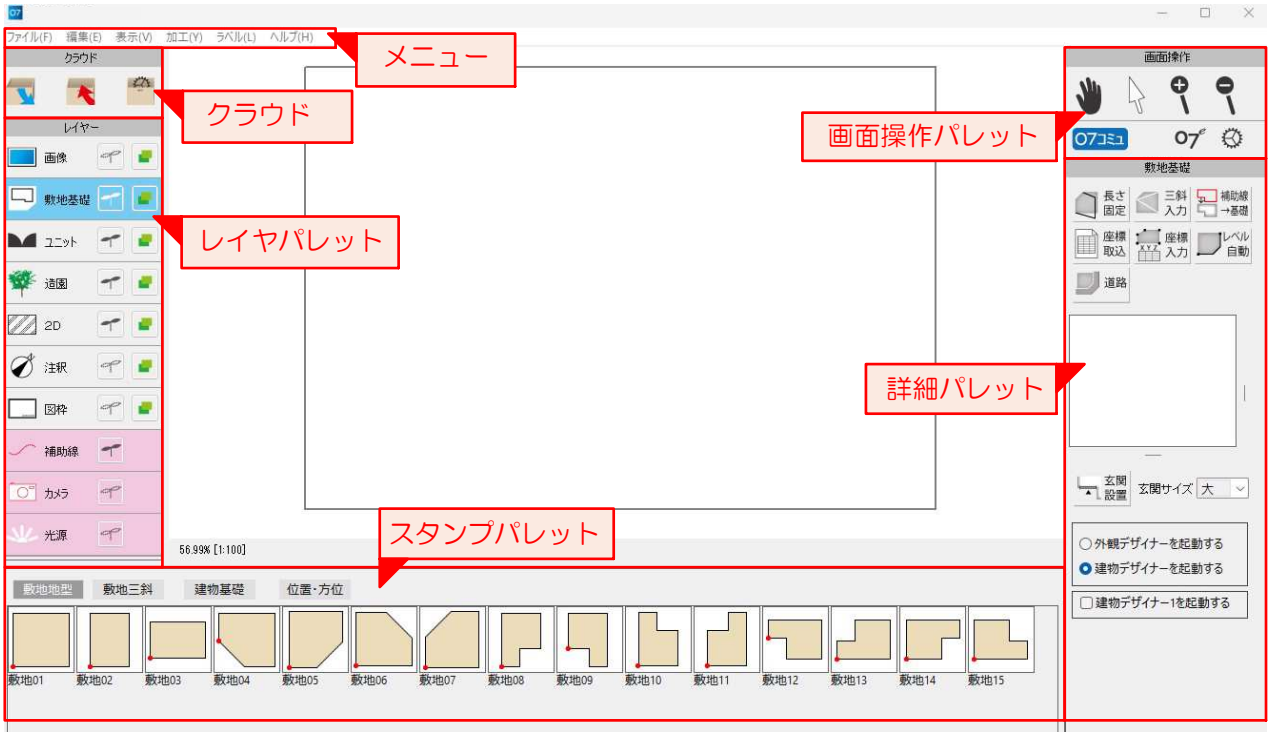
2　用紙サイズ・縮尺設定

2-1　「ファイル」メニューの「用紙の大きさ」をクリックします。

2-2　用紙の大きさ、用紙の縮尺を選択し「OK」をクリックします。

画面構成・名称

各画面の名称を覚えてスムーズに作業が行えるようにしましょう。



CAD画面概要

CADの基本画面概要です。

レイヤー：作図する項目にあわせて選択します。
敷地基礎・ユニット・造園・2D・注釈・図枠の順に進みます。

画像	平面図・パース・立面図の画像が配置されます。
敷地基礎	敷地、建物基礎を配置、作成します。
ユニット	塀や床、階段、製品を配置、作成します。
造園	植栽、景石、コンテナ、車などを配置します。
2D	線やハッチングなどを配置、作成します。
注釈	注釈を配置します。
図枠	図枠を配置します。
補助線	補助線を配置、作成します。
カメラ	カメラの調整をします。
光源	光源の配置、設定をします。

Webマニュアル [基本操作]→[画面構成・名称]

クリックで各レイヤの表示方法を切り変えることができます。

表示　非表示

カラー　モノクロ



メニュー：
図形の調整や選択図形への指示ができます。

クラウド：
e-Board・07Cargoへファイルの保存・開く・設定ができます。

テキスト e-Board・07Cargo

画面操作：
画面調整ツール、図形選択ツール、サポート、環境設定を選択できます。

O7コミュ O7コミュニティサイトの新着情報

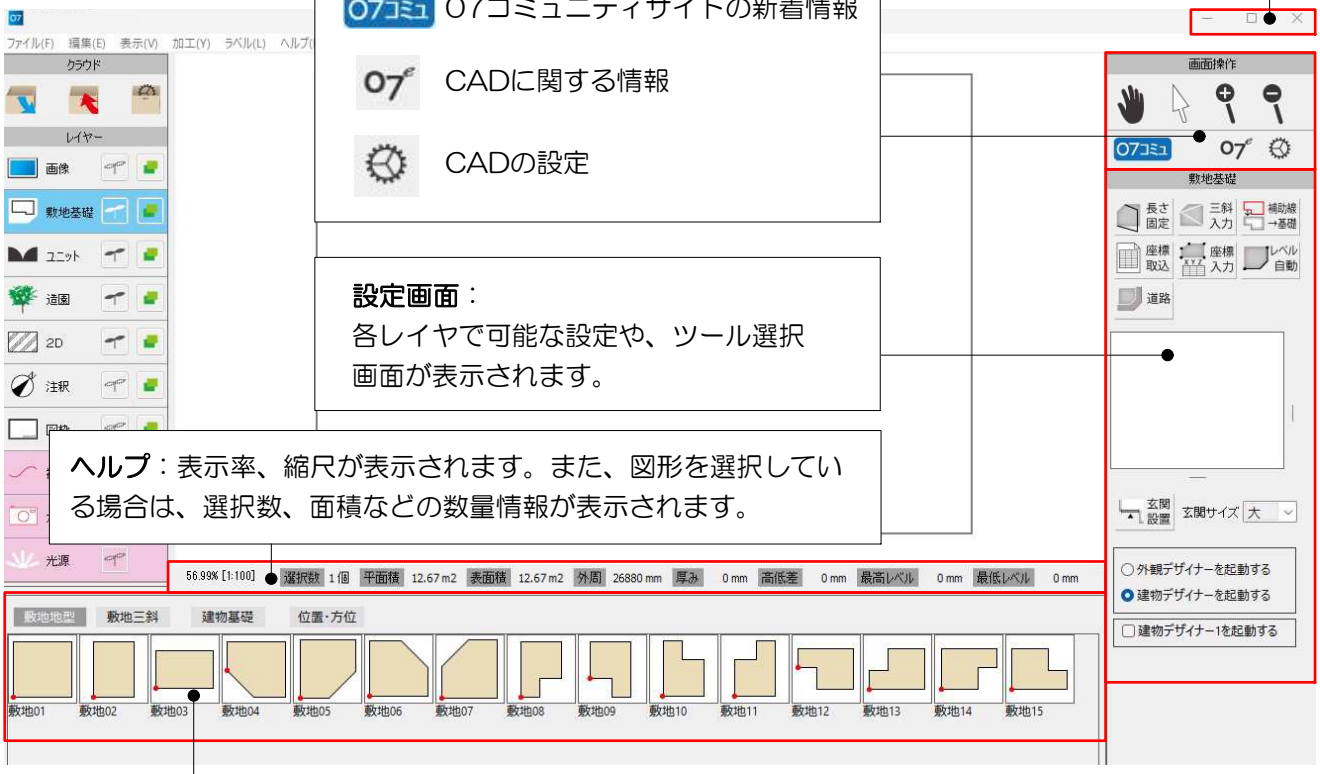
O7 CADに関する情報

CADの設定

画面調整：
画面サイズと閉じるボタン。

設定画面：
各レイヤで可能な設定や、ツール選択画面が表示されます。

ヘルプ：表示率、縮尺が表示されます。また、図形を選択している場合は、選択数、面積などの数量情報が表示されます。



スタンプ：
作図に必要なユニット（部品）が表示されます。ドラッグで画面上へ配置します。
レイヤによって表示される内容が変わります。

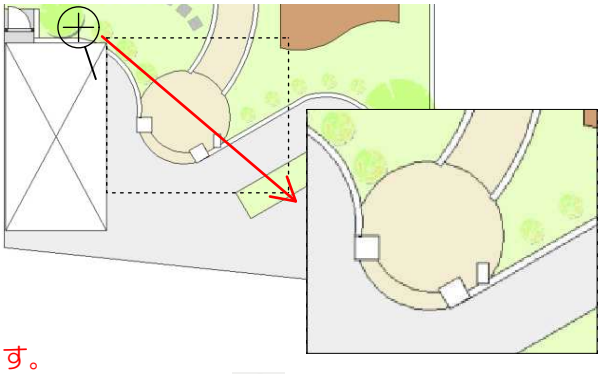
画面調整

拡大や縮小、表示位置の変更をマスターして快適に作業できるようにしましょう。

細かな作業をするときや確認の際に行います。



拡大ツール：
ツール選択後、拡大したい部分を囲うように
クリック→クリックで選択します。



※ツールボタンをダブルクリックしても拡大できます。
※マウスホイールを転がしても拡大縮小ができます。設定は環境設定 で変更可能です。

縮小： 広い範囲を見たり、全体の確認をするときに行います。

その１：画面操作パレットを使って

ダブル



縮小ツール：
ツールボタンをダブルクリックして使用します。

その2：メニューを使って

表示メニュー → 画面倍率 → 用紙全体



※ツール選択後、縮小したい部分を囲うようにクリック→クリックでも縮小できます。
※マウスホイールを転がしても拡大縮小ができます。設定は環境設定 で変更可能です。

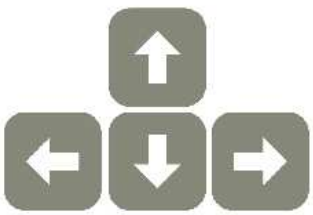
画面移動： 画面上に表示する範囲を移動させる時に行います。

その１：画面操作パレットを使って



パンカーソルツール：
作業画面内をドラックして使用します。

その2：キーボードを使って



画面を移動させたい方向の矢印キーを
押します。

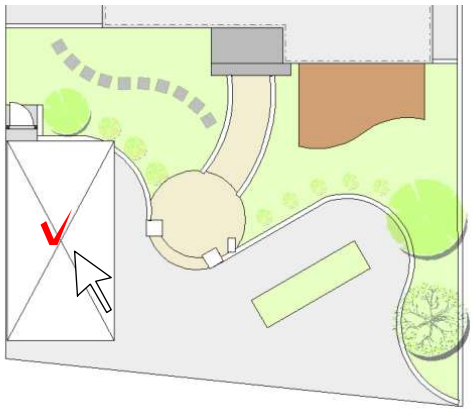
図形選択

まず何をするにも選択が最初の作業です。色々な選択方法をマスターしましょう。

ひとつだけ選択：選択の基本です。



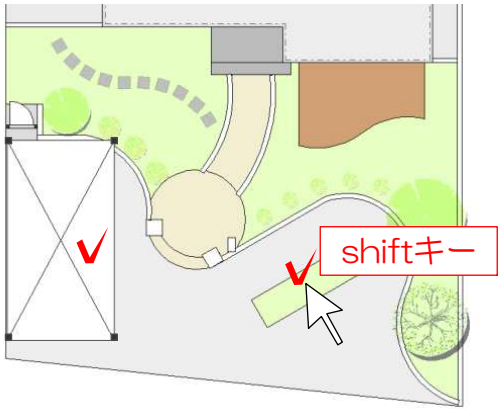
セレクションポインタツール：
選択したいユニットにマウスを合わせてクリックします。



追加選択：　複数のユニットを同時に選択する時に行います。



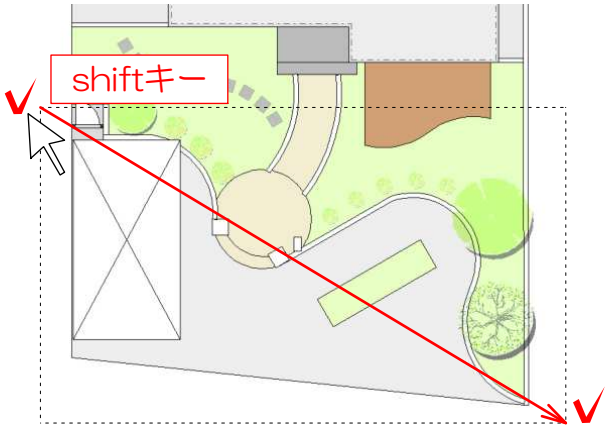
セレクションポインタツール：
「shift」キーを押しながら選択したいユニットにマウスを合わせてクリックします。



範囲選択：　まとめて選択したいときに行います。



セレクションポインタツール：
「shift」キーを押しながら選択したいユニットを囲うようにドラックします。



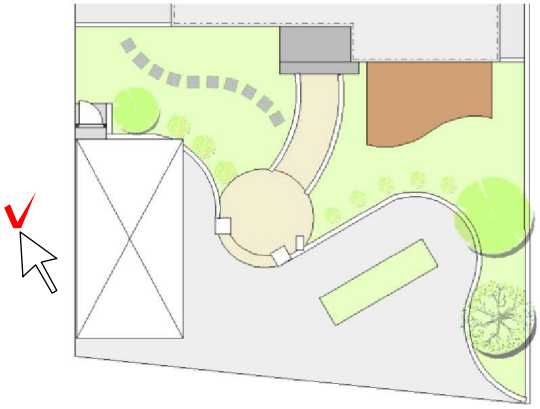
選択解除

選択のしなおしや余分なユニットを選択から外すときに行います。

全て解除：選択のしなおしや作業終了時に行います。



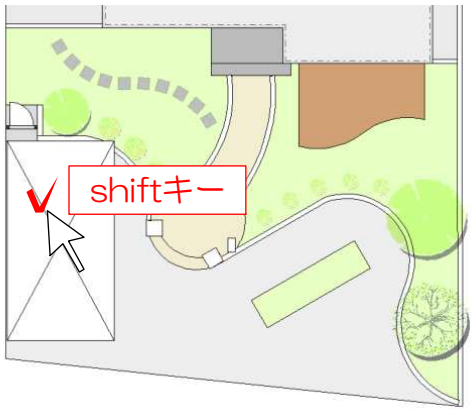
セレクションポインタツール：
敷地の外側（何もないところ）でクリックします。



一つだけ解除：　余分に選択してしまったユニットを選択から外すときに行います。



セレクションポインタツール：
「shift」キーを押しながら選択解除したいユニットにマウスを合わせてクリックします。



図形移動

作成した図形の配置位置を動かす方法をマスターしましょう。

マウスで移動： 図形をつかんで移動します。角や端を合わせて配置できます。

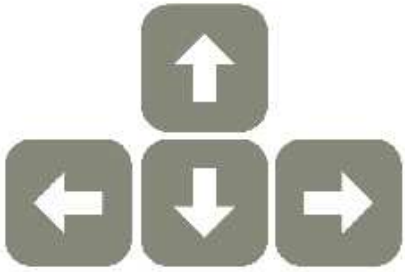


セレクションポインタツール

移動させたい図形を選択後、移動させたい位置にドラックして移動させます。

少しづつ移動： 選択図形が少しずつ動きます。

shiftキー



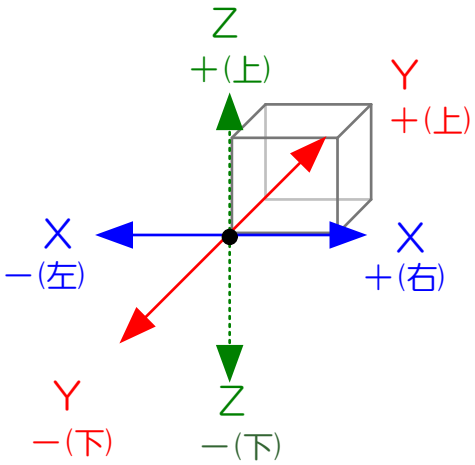
図形選択後、「shift」キーを押しながら移動させたい方向のキーを押します。

数値移動： メニューを使って配置位置を数値で決定したい時に行います。

加工メニュー → 移動



※Z(高さ)の移動は平面上では見えません。



カーソルの種類

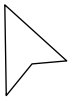
カーソルの形によって、機能が異なります。作業する前にカーソルの形を確認しましょう。

【カーソルの種類】



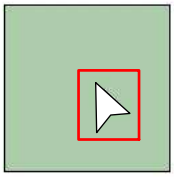
選択（図形を選択します）

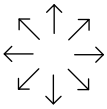
通常はこの形です。



移動（図形を移動します）

図形上で表示されます。



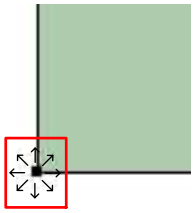


変形・伸縮（図形を伸縮、変形します）

※頂点（●・○・回）にカーソルを合わせてこの形になる図形は変形が可能です。

※「Shift」キーを押しながら伸縮すると垂直、水平、縦横比固定（画像のみ）で拡縮します。

図形の頂点上で表示されます。

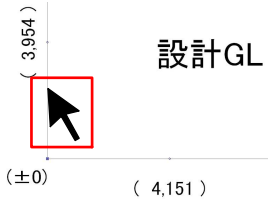


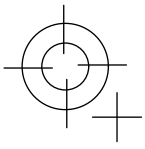


辺の移動（1辺を移動する時に使います）

※敷地、基礎のとき表示されます。

敷地・基礎の辺上で表示されます。

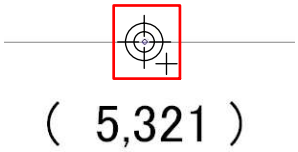




頂点追加（頂点が追加できます）

※敷地、基礎のとき表示されます。

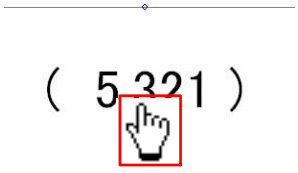
敷地・基礎の中点で表示されます。





数値入力（数値が入力できます）

数字の上で表示されます。

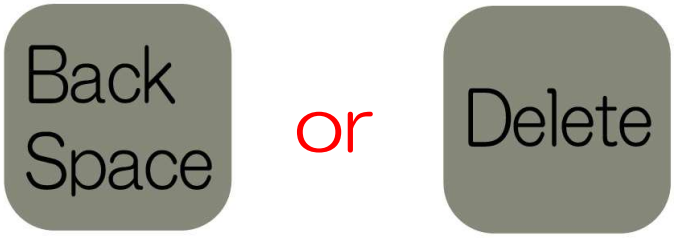


図形削除

必要なくなった図形を消す作業です。



セレクションポインタツール：削除したい図形を選択後、「BackSpace」キーまたは「Delete」キーを押します。

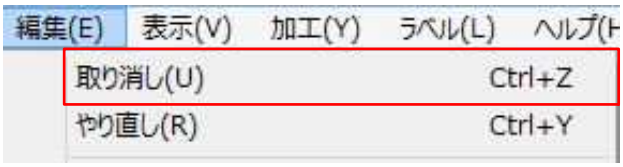


取り消し

作業を戻したい時に使います。

編集メニュー　→　取り消し

各レイヤごとに取り消しは50回まで行えます。

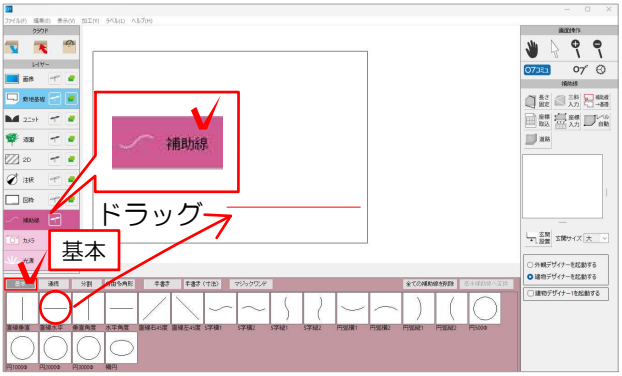


「やり直し」は「取り消し」を戻す機能です。「取り消し」をしすぎた時に使用します。

補助線の種類

各補助線の特徴と種類をマスターしましょう。

基本補助線： よく使用する基本的な補助線です



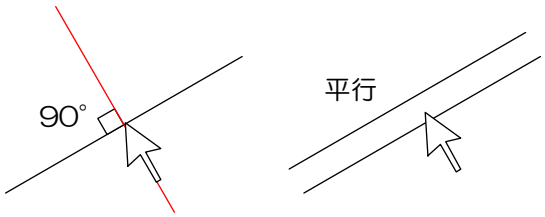
補助線レイヤボタンをクリックすると
スタンプ【補助線】が表示されます



直線垂直、直線水平はどこにおいても縦横
まっすぐなラインです



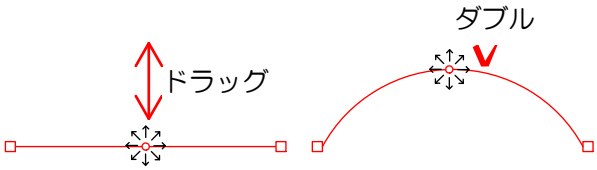
垂直角度、水平角度はマウスをあてた線に
対して直角　水平を出します



※斜めの敷地に対して、直角　水平を出し
たい時に使います

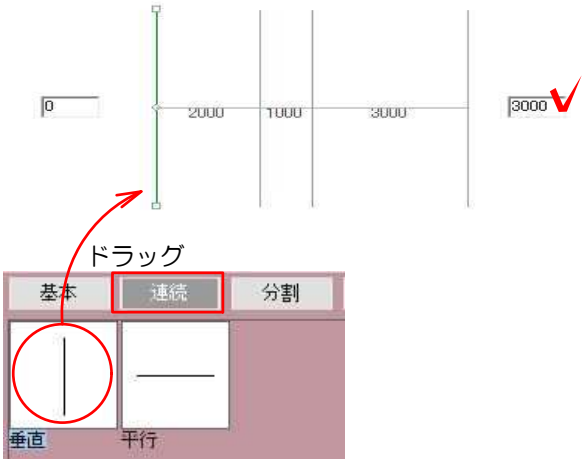


※配置した補助線をダブルクリックすると
寸法変更が出来ます。



※中央の〇をカーソルが ✥ の時に引っ張
ると円弧ラインになります。
また、〇をダブルクリックするとまっすぐ
に戻ります。

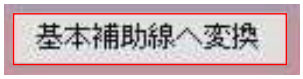
連続補助線： 連続で寸法を設定できる補助線です



垂直、平行の2種類があります
寸法を入力し、Enterキーで次の寸法を続けて入力できます

（例）車庫、門柱、門扉など順に寸法取りをする際便利です。

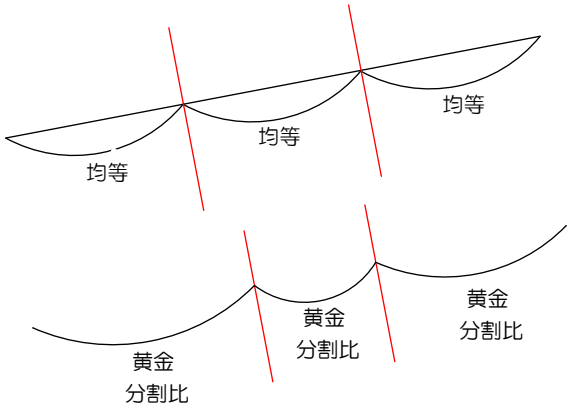
※連続補助線は1本のみを消すことは出来ません。
1本だけ消したい場合は、画面右下の基本補助線ボタンを押し基本補助線へ変更してから消します。



分割補助線： 分割補助線を合わせたラインを分割する補助線です



分割補助線には、均等分割と黄金分割があります。
均等は均等な比率です。
黄金は黄金分割（キレイに見える比率）を自動計算します。



（例）土間に均等な距離で見切りを入れたい際に便利です。

※基準になる図形にマウスを合わせてください。ただし、R図形は分割できません。

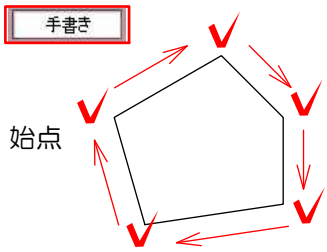
自由多角形補助線：主に四角形を描く為の補助線です



※配置した補助線をダブルクリックすると寸法変更が出来ます。

（例）四角形を描きたいときに便利です。

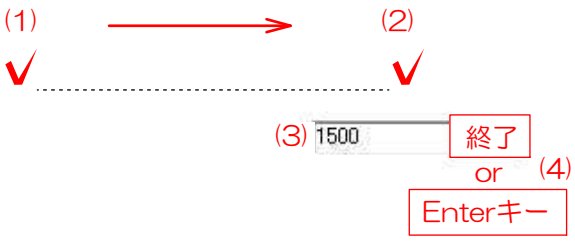
手書き補助線：　自由に書ける補助線です



クリックをしながら一辺ずつ描いていきます。

（例）乱形石貼ラインや寄植え範囲を描く際便利です。

手書き(寸法)補助線：長さ指定しながら描ける補助線です



始点でクリックし、描きたい角度でクリックすると指定した寸法入力が出来ます。

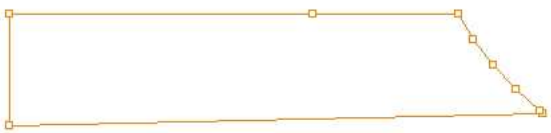
※「Enter」キーで次の辺が描けます。
　終了キーで終了します。

マジックワンド：　ドラッグした範囲と同じ形の多角形補助線を作成します。



作成したい形の範囲へドラッグすると、多角形補助線が作成されます。

※補助線やユニットなど囲まれた範囲を拾います。図形の下に隠れている図形も対象となります。

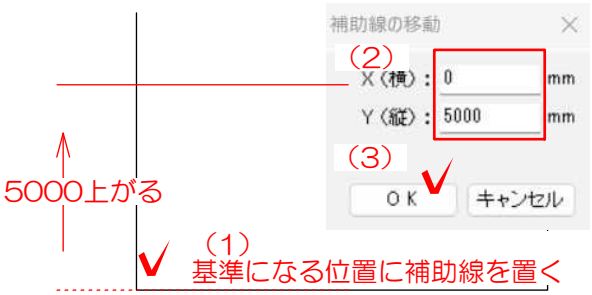


（例）修正で同じ形の図形を作りたいときなどに便利です。

補助線の動かし方

寸法の取り方をマスターしましょう。

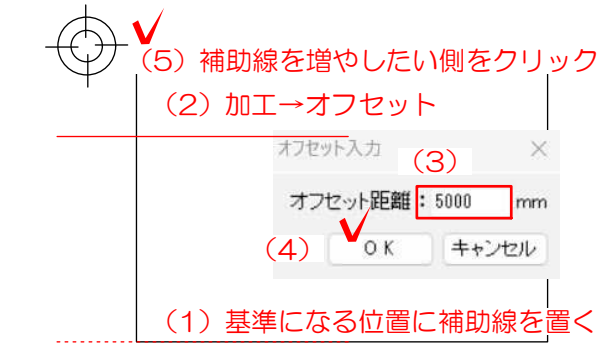
移動： 補助線を移動させて寸法を取る方法です。



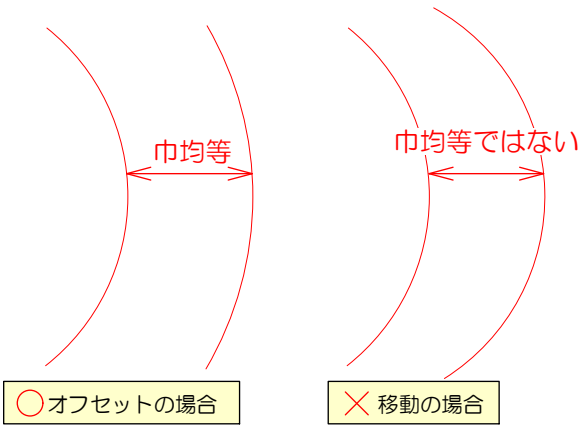
基準になる位置に補助線を置き、加工メニュー→移動で数値（座標入力）を入力します。

（例）道路境界から5000離した所に塀を作るなどの寸法をとる際使用します。
とてもよく使います。

オフセット： 基準の補助線を残してもう1本補助線を描く方法です。



基準になる位置に補助線を置き、「加工」メニュー→「オフセット」で数値（巾の距離）を入力します。カーソルが ⊕ の時に補助線を増やしたい側でクリックします。



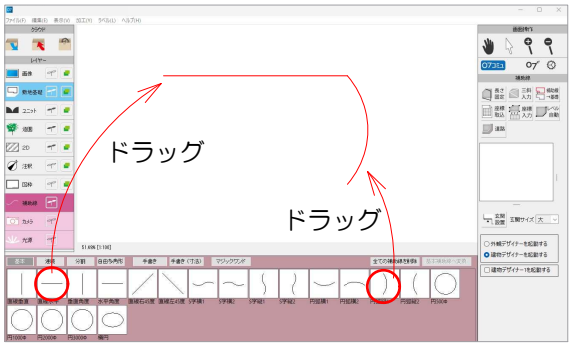
（例）基準の補助線も残しておきたい時や、R補助線や斜め補助線の巾も数値入力できるので、巾を均一にラインを引きたい際使用すると便利です。

※加工メニューの「配列オフセット」で、選択した補助線を基準に、指定した数値で複数の補助線を作成することができます。

Webマニュアル [補助線]→[配列オフセット]

補助線の結合

補助線を結合し様々なラインの作成方法をマスターしましょう。



補助線を2本配置します。
2本の補助線を選択し、**「編集」メニュー→「結合」**をクリックすると、2本の補助線が一本の補助線になります。

（例）基本補助線にない形状の補助線を作成する際に使用します。L字やS字のラインも結合して作れます。

Webマニュアル [補助線]→[補助線の結合＆分解]

(1)Shiftキー　＋　2本の補助線選択

(2)

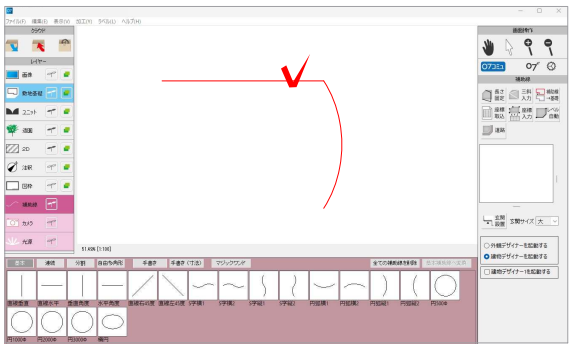


結合は2本ずつ選択して作業をします。
基本補助線同士を結合できます。

補助線の分解

結合した補助線を分解し、基本補助線に戻す方法です。

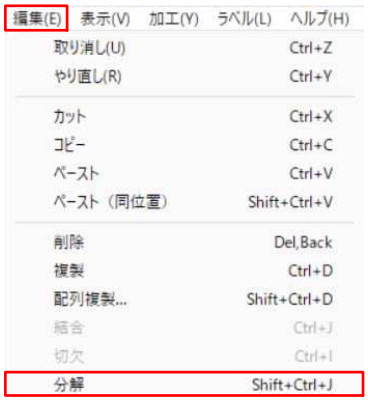
(1)



分解したい補助線を選択し、**「編集」メニュー→「分解」**をクリックします。

Webマニュアル [補助線]→[補助線の結合＆分解]

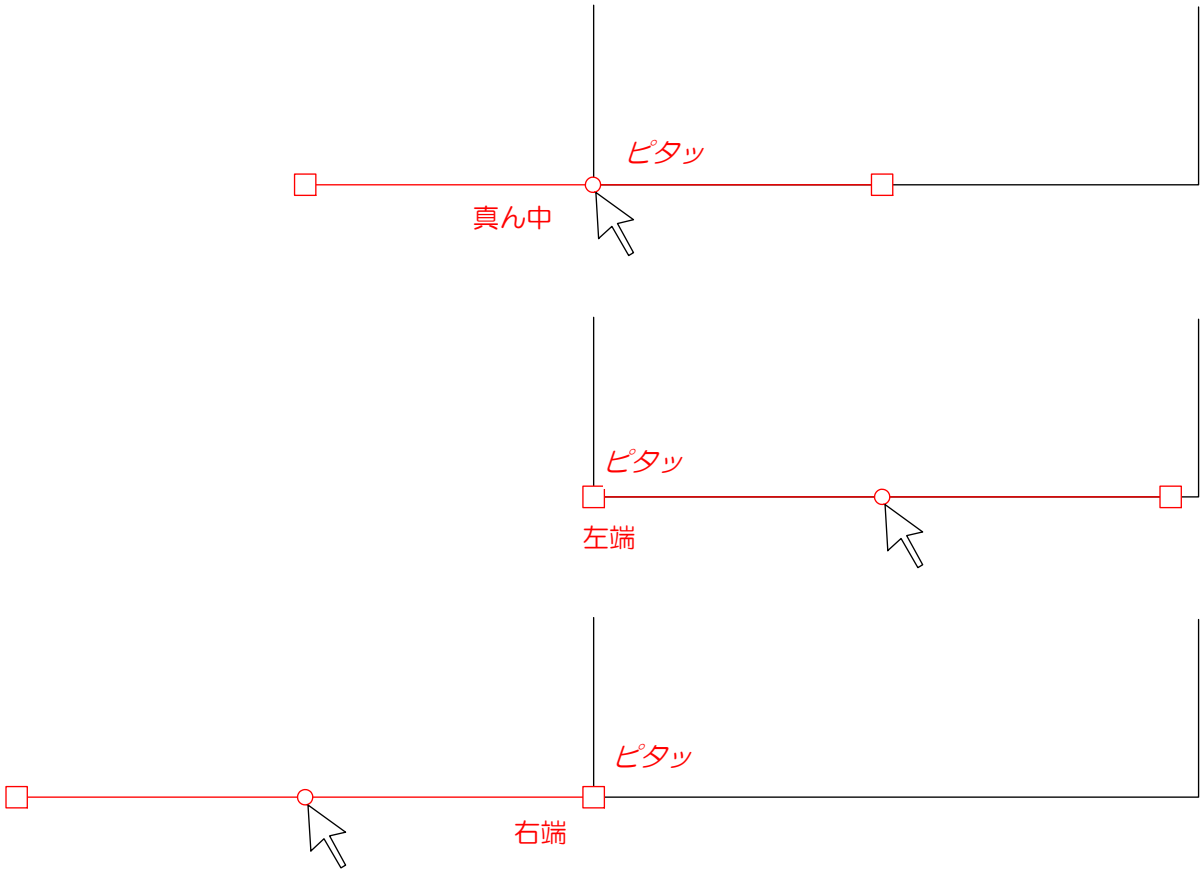
(2)



補助線のスナップ

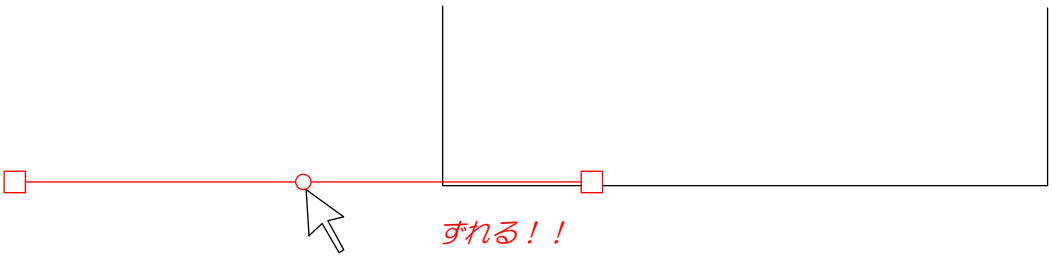
補助線を図形にぴったり合わせるコツをマスターしましょう。吸着することを「スナップ」といいます。

カーソルの先（補助線の中央）または、補助線の端を合わせるように補助線を置きます。
図形の角や交点にカーソルを近づけた時、補助線が"ピタッ"っとくっついたらマウスをはなします。



両端と中央に磁石があるようなイメージを持ってください。

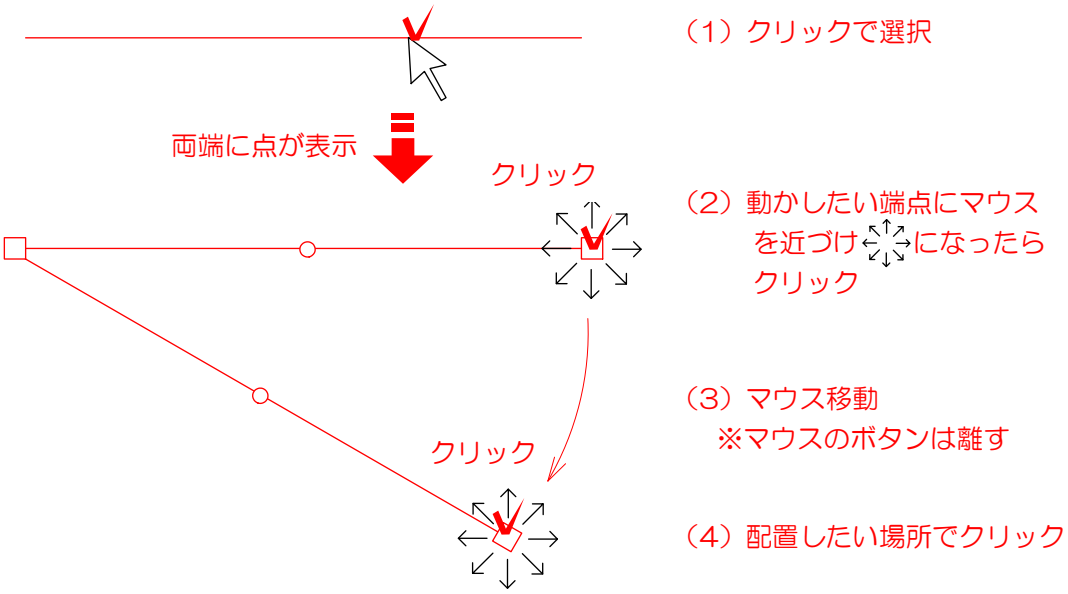
補助線の中央、両端　以外の所をあわせようとしても、スナップせずにずれます。



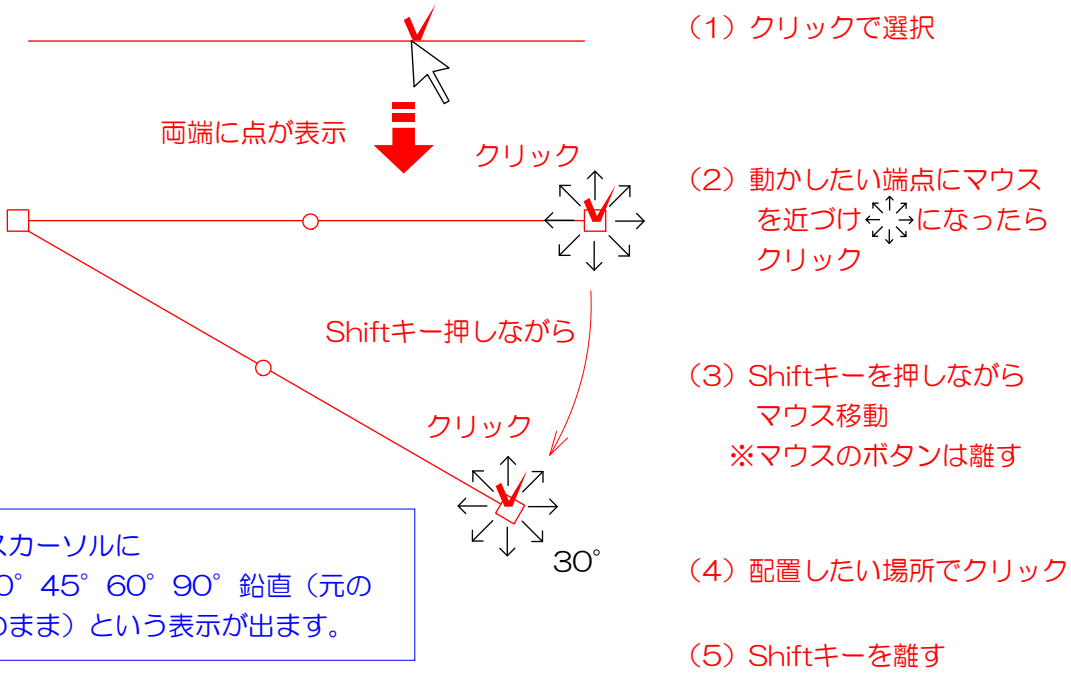
補助線の伸縮方法

補助線を伸縮させるコツをマスターしましょう。

補助線を選択すると両端に点が表示されます。表示された端点をクリック→マウス移動→クリックで補助線の長さや角度の変更ができます。



Shiftキーを押しながら補助線の端点を動かすと角度指定ができます。
補助線を真っ直ぐ伸縮したい場合は必ずShiftキーを押して0°または90°と表示されてるのを確認しましょう。



マウスカーソルに
0° 30° 45° 60° 90° 鉛直（元の角度のまま）という表示が出ます。

Shiftキーを先に離してしまうと、線が歪んでしまいます。必ずクリックしてからShiftキーを離すようにしましょう。

07CAD2026　メニュー&ショートカット一覧

ファイル	新規	Ctrl+N	ECDファイル	
	開く	Ctrl+O	DXFファイル	
	保存	Ctrl+S	3DSファイル	
	別名保存	Shift+Ctrl+S	Polファイル	
	別名保存(パスワード付)		OSXファイル	
	パスワードを解除		ネットプラ10クラウド	
	環境設定	Ctrl+K	JWWファイル	
	下絵を取り込む		07ダウンロード指示(odp)ファイル	
	新規CAD起動		07部品ファイル	
	新しいサイドテーブルを開く		STLファイル	
	現在の図面を新しいサイドテーブルで開く		環境データの取り込み(移行)	
	ファイルの復元		点群から敷地作成	
	作業ファイルの復元		取り出し	
	強制終了ファイルの復元		07CAD注釈表ファイル	
	7日間バックアップ		CSV注釈表ファイル	
	e-Board/07Cargo		選択されている画像	
	e-Boardの設定	Ctrl+Alt+K	DXFファイル	
	e-Boardから開く	Ctrl+Alt+O	3DSファイル	
	e-Boardに保存	Ctrl+Alt+S	OBJファイル	
	e-Boardに名前を付けて保存	Ctrl+Alt+Shift+S	印刷イメージ	
	画像をe-Boardに保存	Ctrl+Alt+1	07部品ファイル	
	画像e-Boardから取込	Ctrl+Alt+9	STLファイル	
	ブラウザで開く	Ctrl+Alt+E	環境データのバックアップ(移行)	
	e-Putの設定	Ctrl+Alt+H	複数用紙の設定、用紙移動	Ctrl+5
	e-Putを開く(ブラウザ)	Ctrl+Alt+E	用紙の大きさ	
	取り込み		印刷プレビュー	Shift+Ctrl+P
	07CAD注釈表ファイル		印刷	Ctrl+P
	画像	Ctrl+Num9	緑の計画書	
	CSV注釈表ファイル		終了	Ctrl+Q
編集	取り消し	Ctrl+Z	配列複製	Shift+Ctrl+D
	やり直し	Ctrl+Y	結合	Ctrl+J
	カット	Ctrl+X	切欠	Ctrl+I
	コピー	Ctrl+C	分解	Shift+Ctrl+J
	ペースト	Ctrl+V	全てを選択	Ctrl+A
	ペースト(同位置)	Shift+Ctrl+V	選択を反転	Shift+Ctrl+A
	削除	Del,Back	種類選択	
	複製	Ctrl+D	全レイヤーの選択を解除	

表示	画面倍率		選択表示を解除	Ctrl+]
	初期倍率	Ctrl+Num0	注釈を常に表示	
	画面拡大	Ctrl+Num1	注釈のみ表示	
	画面縮小	Ctrl+Num2	線の太さを反映して表示する	
	等倍表示	Ctrl+Num3	拡大時に注釈線の太さを表示	
	用紙全体	Ctrl+Num4	注釈スタンプを拡大プレビュー	
	複数用紙全体	Ctrl+Shift+Num4	グリッド	F10
	平面仕上		下絵調整	F11
	モノクロ仕上		平面カラーパレット	F12
	レイヤー単位モノクロ仕上		ものさし	Ctrl+T
	画像		トレーシングペーパー	
	敷地基礎		e-tokoデザイン集	
	ユニット		e-toko建材カタログ	
	造園		シンボルデータ(ブラウザ)	
	2D		Webマニュアル(ブラウザ)	
	注釈		情報	
	図枠		公開動画一覧	
	選択されたものを非表示	Ctrl+¥	リアルタイムパース	F5
	選択されたものだけ表示	Ctrl+[	レベルマーカー表示・スナップ	
加工	移動	Ctrl+M	ユーザー登録する	
	回転 角度指定	Shift+Ctrl+R	ユーザー登録の編集	
	回転	Ctrl+R	最前へ	Ctrl+F
	90°回転	Ctrl+L	最後へ	Ctrl+B
	オフセット	Ctrl+W	グループ化	Ctrl+G
	配列オフセット	Shift+Ctrl+W	グループ解除	Ctrl+U
	反転		グループに入る	Shift+Ctrl+[
	レベル一括変換	Ctrl+E	グループを出る	Shift+Ctrl+]
	切土・盛土変換[2点]		eE-Former	Ctrl+；
	切土・盛土変換[1点]		シンボル変換	Ctrl+Shift+；
	アンジュレーター		車両軌跡の作成	
	整列	Ctrl+-	フォト添景の作成	
	手振れ線に変換		文字から装飾文章へ変換	
			切断	Ctrl+/
ラベル	ラベルの設定		ラベル表示非表示	
	ラベルを貼る／変更		ラベル選択	
	ラベル移動		全レイヤーの選択を解除	
ヘルプ	このアプリケーションについて	F1	07ボタニカルガイド(ブラウザ)	
	お知らせ履歴		プレゼンKIT(ブラウザ)	
	お問い合わせ送信		ご存知ですか？Tips	
	認証情報の表示		スナップ状態表示	F2
			ウインドウの位置とサイズを初期化	

ツール　Z  　X  　C  　V 

マウスホイール

平面(リアルタイムパース画面では別の動作になります)

上下移動：ホイール／拡大縮小：ホイール+Ctrl／左右移動：ホイール+Shift／パンカーソル：ホイール押下

※  で動作の設定変更が出来ます。

敷地レイヤー

敷地寸法の文字サイズの拡大：Ctrl+PageUp　／　敷地寸法の文字サイズの縮小：Ctrl+PageDown

レイヤー移動

Ctrl+↑：一つ上のレイヤーに移動／Ctrl+↓：一つ下のレイヤーに移動／Ctrl+クリック：補助線レイヤに移動

リアルタイムパース

取り消し	Ctrl+Z	現在の視点のカメラを追加
やり直し	Ctrl+Y	緑視率の表示
削除	Delete	あおり補正
複製	Ctrl+D	ユーザーテクスチャライブラリ新規登録
配列複製	Shift+Ctrl+D	ユーザーテクスチャライブラリ内容編集
移動	Ctrl+M	背景画像を読み込む
回転		背景画像補正
左回転1	Shift+Ctrl+R	360°VR背景画像を読み込む
左回転15	Ctrl+R	3Dメモ
左回転90	Ctrl+L	設定
レベル一括変換	Ctrl+E	テキストファイル出力
eE-Former	Ctrl+；	07CADviewerへ出力
編集	Enter	陰面処理出力
前面に表示		環境設定

マウスホイール	
拡大縮小	ホイール回転
パンカーソル	押下+ドラッグ
拡大	C
縮小	V
パンカーソル	Space

キーボードのテンキー



作図練習

（エクステリアプラン）

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



詳細説明　P.30～

テキストのP.30～に載っています。



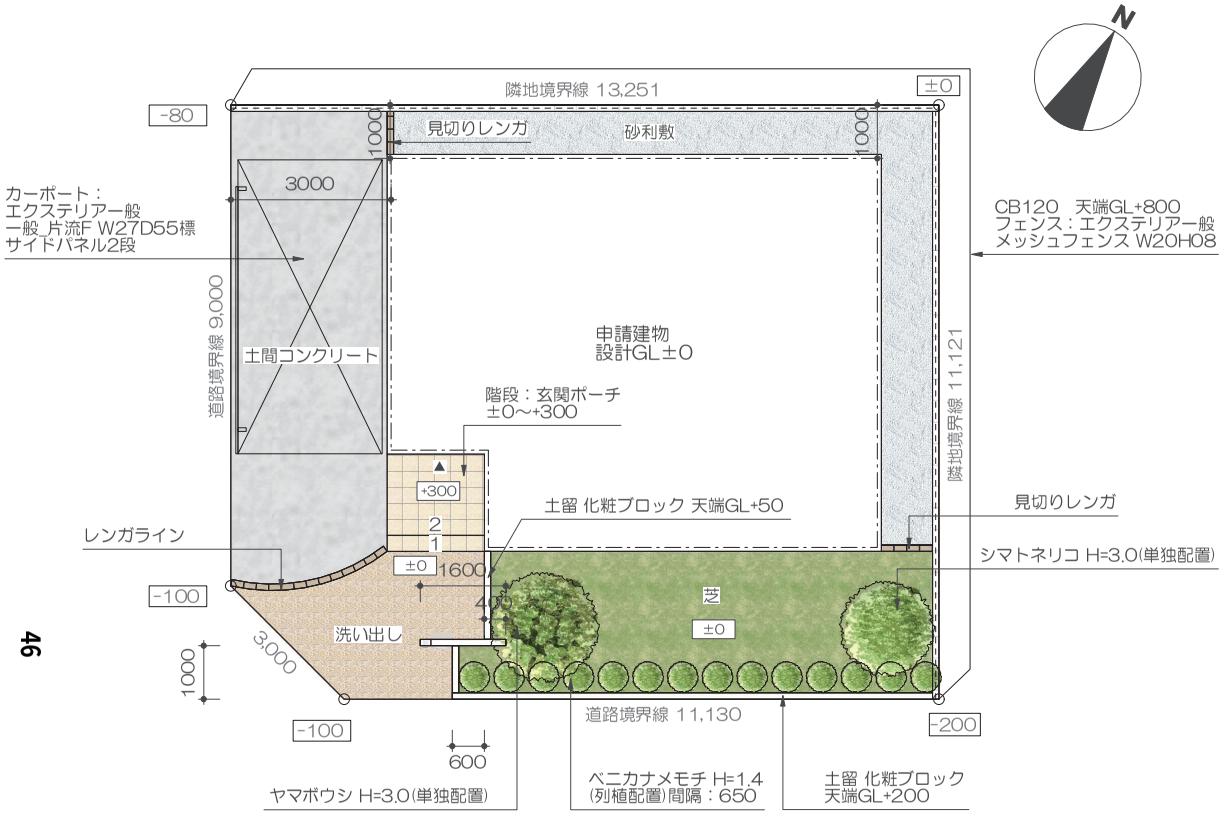
［レベル］→［レベル一括変換］

WEBマニュアルでキーワードの[レベル]を
クリックし、参照マニュアルが表示されます。

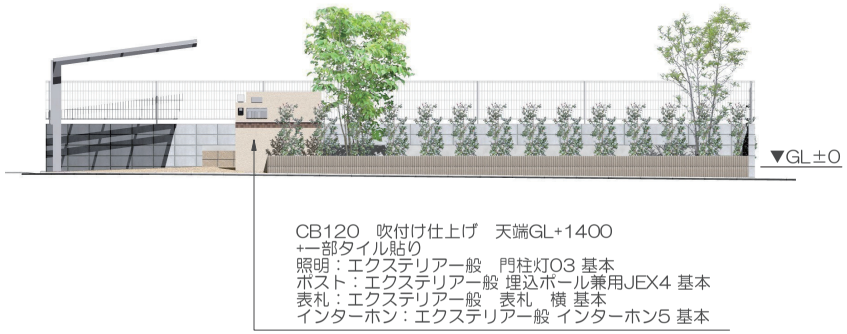
※O7CADではWEBマニュアル、CambridgeではDVDマニュアルに収録されています。

※実際の操作画面は予告なく変更になる場合がございます。

○○　○様邸　外構工事









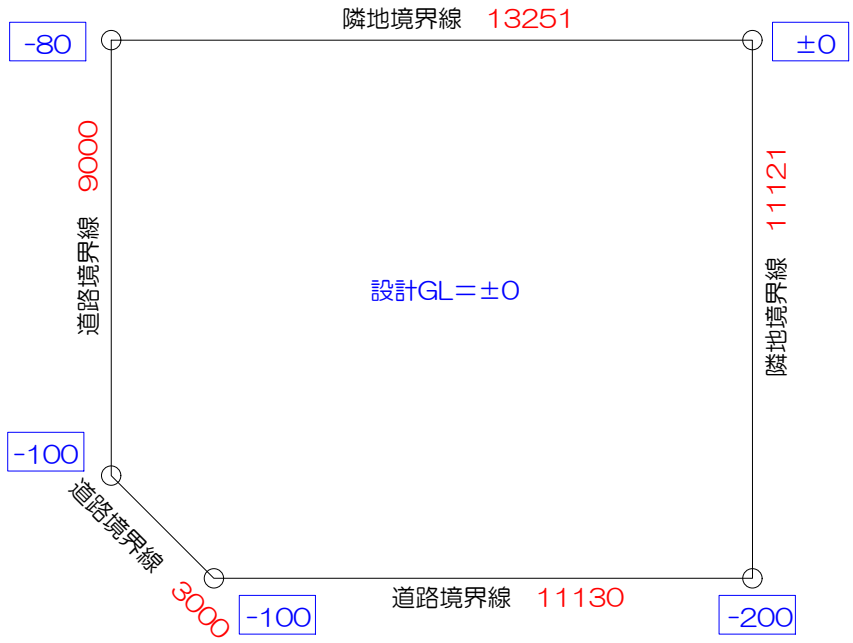
研修テキストプラン1

株式会社○○○○○

S=1：100　xxxx/xx/xx

敷地を描く

下の寸法を元に敷地を描いてみましょう。



敷地形状を作成するには、右の3つの方法があります。ここでは方法１の「敷地地型」を使って作成します。

敷地基礎　レイヤは「敷地基礎」

方法1　敷地地型

「敷地地型」から敷地形状に近いものを選んで、敷地を作成します。

配置した後に、寸法や辺の角度を調整します。

テキスト　敷地形状の調整　P.49

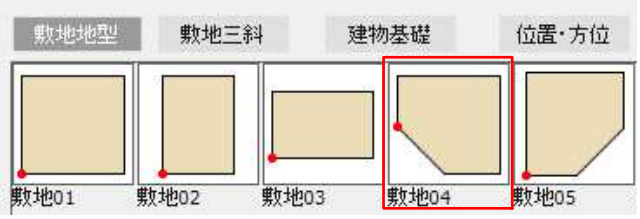
方法2　敷地三斜

Webマニュアル　[敷地]→[三斜]

方法3　座標入力・座標取込

Webマニュアル　[敷地]→[座標入力]

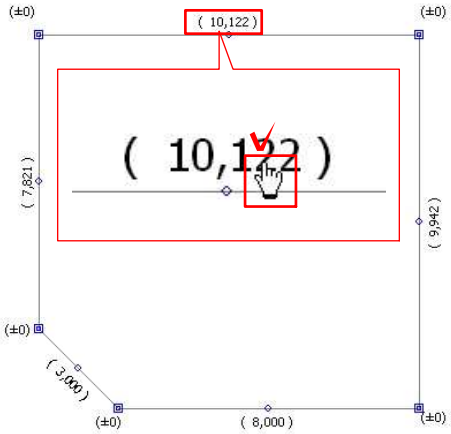
Webマニュアル　[敷地]→[座標取り込み]



1　地型入力

敷地の形を入力します。

1-1　敷地形状に一番近い地型を、作業画面にドラッグします。



2　境界長さ設定

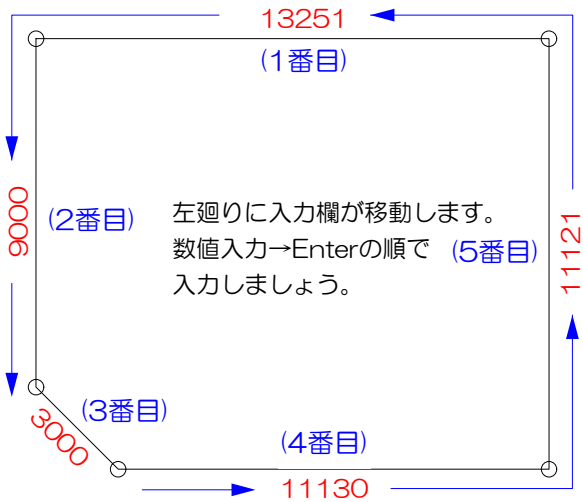
敷地境界の寸法を入力します。

建物に平行な辺または、水平・垂直にしたい辺から数値を指定します。
今回は上の境界線から始めます。

2-1　数値を入力したい辺の数値にカーソルをあわせ になったらクリックします。



2-2　 内に数値を入力し、Enterキーを押して決定します。



2-3　左隣の辺に入力欄が移動するので、順に入力します。

途中で入力をやめてしまったり、右周りに入力しようとすると、形が歪んでしまうことがあります。

【入力する数値を間違えたときは・・・】

間違えた場合は、敷地の外をクリックして作業を中断し、敷地を消してもう一度始めからやり直しましょう。

【敷地形状の調整】

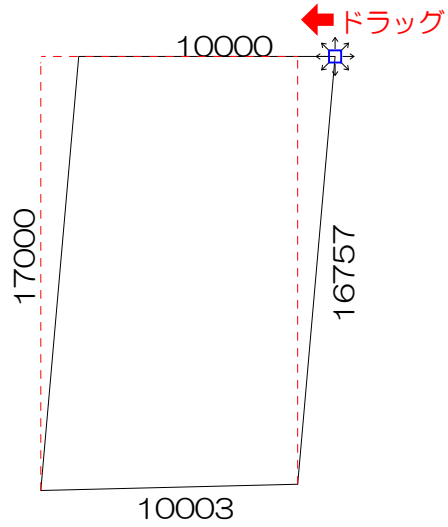
敷地地型で入力した敷地の角度は大体です。数値を入力する順番、配置した敷地形状の角度によって形が思ったようにできない事があります。
数値を入力して形が歪んでいる場合は、以下の方法で調整しましょう。

1-1

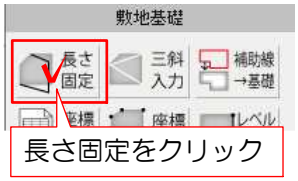


ボタンの色が黒っぽくなります。

1-2



1-3



ボタンの色が薄くなります。

方法1　長さ固定

入力した境界線の長さは変えずに、頂点を移動することで辺の角度を変えます。
隣の点を押すようにして調整します。

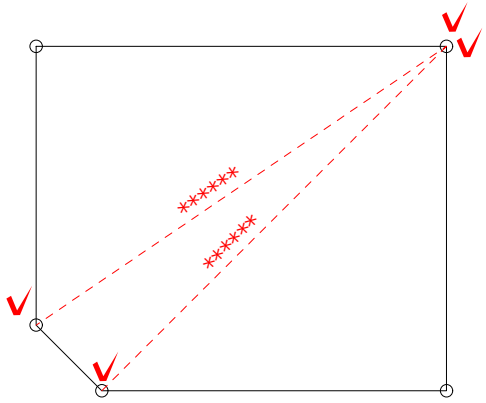
1-1　敷地基礎レイヤを選択し、画面右側の「長さ固定」をクリックします。

1-2　変形したい敷地の頂点にカーソルを合わせ、✥ になったらドラッグして形を調整します。

頂点を押すような感じで動かしましょう。

Shiftキーを押しながらドラッグすると、移動する点を水平・垂直にする事ができます。

1-3　調整が終わったら、「長さ固定」をクリックして終了です。



「三斜入力」をクリックし、対角をクリック。
数値を入力して形状を調整します。

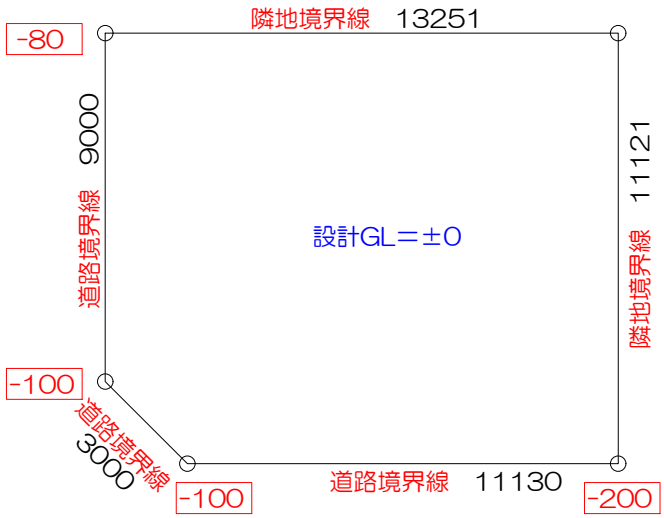
方法2　三斜入力

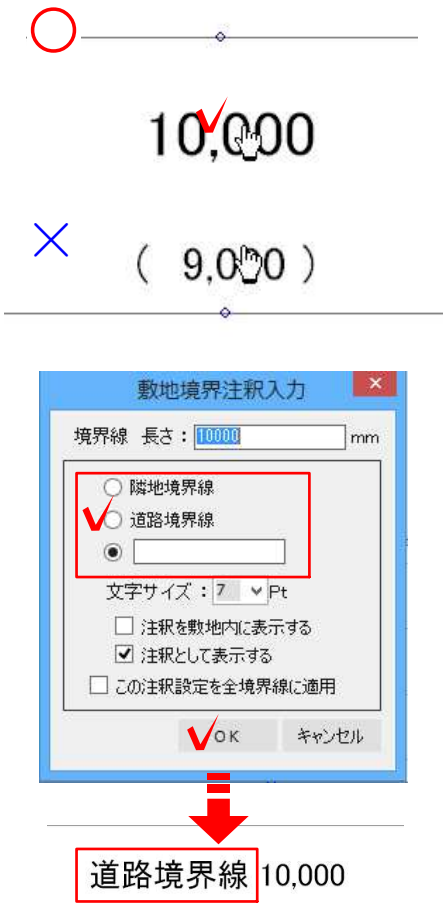
対角線を引いて三斜数値を入力することで、形状を調整します。対角線部分の長さがわかる測量図が必要です。

Webマニュアル [敷地]→[三斜入力]

敷地の注釈とレベルを入れる

下の図を元に敷地の注釈とレベルをいれてみましょう。





1　敷地注釈の入力

「道路境界線」「敷地境界線」などの注釈を入力します。

1-1　注釈を入力したい辺の数値にカーソルをあわせ になったらクリックします。

数値に（）がついている時は注釈の設定ができません。長さを入力し、確定してから設定を行ってください。

1-2　入力したい注釈を選択し、OKをクリックして設定が完了します。

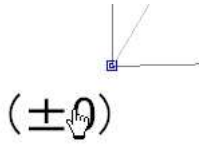
「隣地境界」「道路境界」以外の注釈を入力したい場合は　に入力してください。

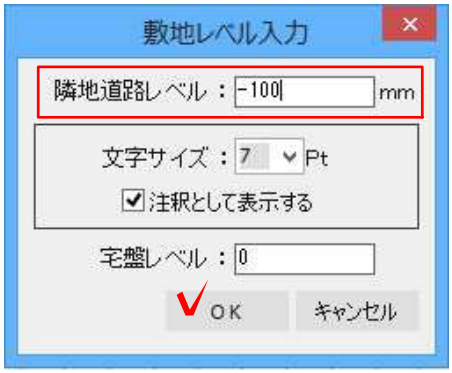
「この注釈設定を全境界に適用」で他の辺全てを同じ設定にすることができます。

【敷地の注釈を印刷するには・・・】

敷地の注釈は、注釈レイヤで「敷地注釈」ボタンを押すことで印刷できるようになります。
この時点では、まだ設定が終わっただけで印刷には出ません。

07 Webマニュアル　[注釈レイヤー]→[敷地寸法を印刷]





2　レベル(高低差)設定

敷地の高低差を入力します。

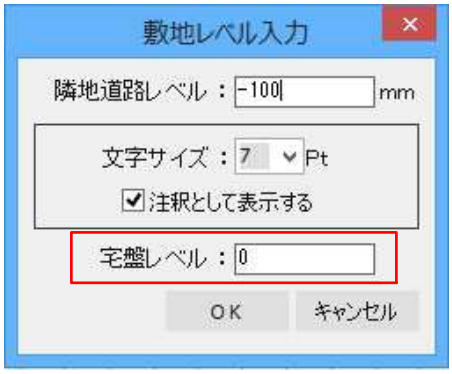
2-1　数値を入力したい頂点の数値にカーソルをあわせ になったらクリックします。

2-2　「隣地道路レベル」に数値を入力し、「OK」をクリックします。

O7CADのレベル基準は「建物を建てる高さ=GL±0」です。

2-3　各頂点にレベルを入力しましょう。（レベルが±0の場合は入力する必要はありません。）

【道路の「BM±0」を基準にしたいときは・・・】

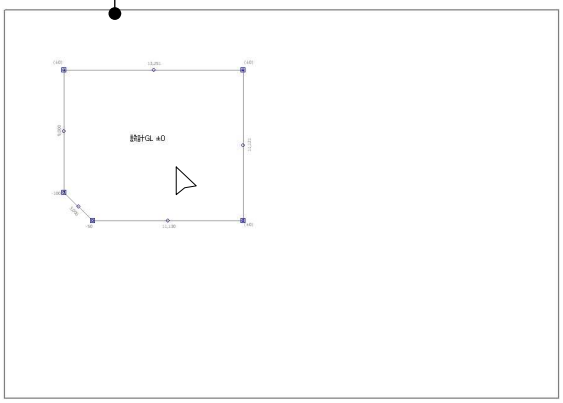


敷地の頂点レベルをクリックし、
敷地レベル入力画面で「宅盤レベル」に「100」と入力すると、建物を建てる高さが「+100」となります。

道路を±0としたい場合はここで調整しましょう。

O7 Webマニュアル [敷地]→[設計GLを変更する]

グレーの枠が用紙サイズです。



3　敷地レイアウト

敷地を用紙内に配置します。

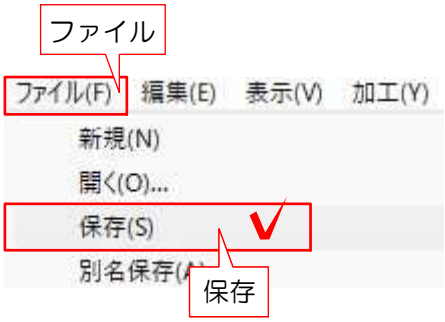
3-1　用紙枠内に敷地が収まるようにドラッグで位置を調整します。

ドラッグする時は敷地の中心辺りを押さえましょう。

図面を描いた最後に用紙の位置を調節することができます。ここではだいたいの位置を決めておきましょう。

保存する

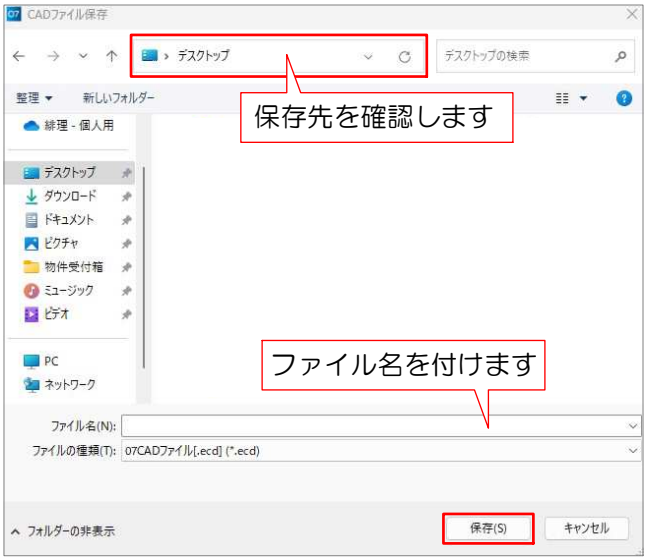
ある程度図形ができたら保存しましょう。



1　保存

敷地が描けたらデータを保存します。

1-1　「ファイル」メニューから「保存」をクリックします。



1-2　保存先を確認して、ファイル名を入力します。

名前を「練習」と付けておきましょう。

1-3　「保存」をクリックして完了です。

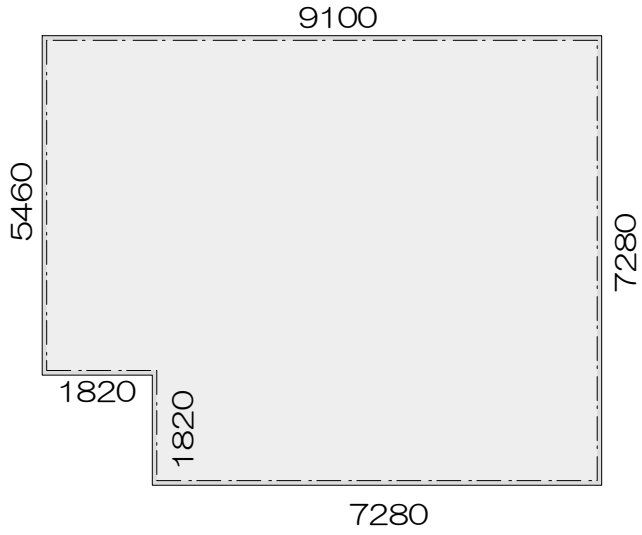
【自動保存】

O7CADは10分おきに「保存しますか？」と表示されるように設定されています。初回はファイル名をつけて保存し、以後は上書きで保存されます。
作図中は保存を忘れやすくなっていますので、気が付いた時に保存しましょう。

Webマニュアル　[環境設定]→[環境設定]

建物基礎を描く

下の寸法を元に建物基礎を描いてみましょう。ここでは「方法1」で作成します。



方法1　スタンプ

シンプルな形状の基礎を作成する時に使用します。スタンプ画面の建物基礎を使って寸法を入力します。

方法2　補助線→基礎

補助線を使って基礎の形を作り、建物基礎に変換します。袖壁や独立基礎などがある時、建物の形状が複雑な時に使用します。

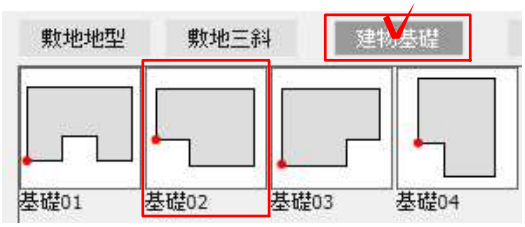
テキスト　補助線→基礎　P.55

Webマニュアル　［建物基礎］→［建物基礎について概要］



レイヤは「敷地基礎」

方法1　スタンプ



1　建物基礎入力

建物基礎の形を入力します。

1-1　建物基礎をクリックし、建物基礎の形状に一番近い型を、作業画面にドラッグします。

一番長い辺から入力します。
今回は上の辺から始めます。



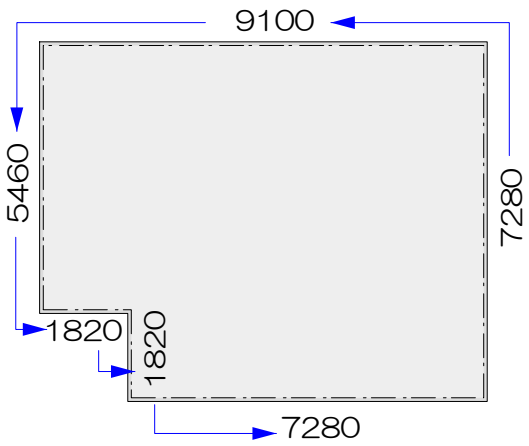
入力 → Enterキー

2　建物基礎設定

建物基礎の寸法を入力します。

2-1　数値を入力したい辺の数値にカーソルをあわせ になったらクリックします。

2-2　　内に数値を入力し、Enterキーを押して決定します。



2-3　左隣の辺に入力欄が移動するので、順に入力していきます。

各辺に入力すると左図のようになります。

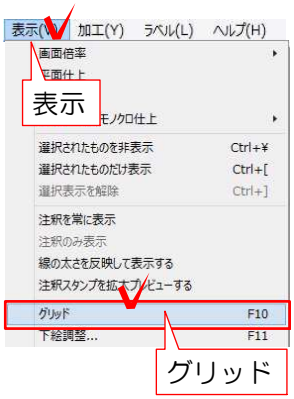
途中で入力をやめてしまったり、右周りに入力しようとすると、形が歪んでしまうことがあります。

【入力する数値を間違えたときは・・・】

間違えた場合は、基礎の外をクリックして作業を中断し、基礎を消してもう一度始めからやり直しましょう。

【グリッドの表示】

建物基礎を描き終えたら、**グリッド**（用紙範囲内に表示されている格子状のマス目）を**非表示**にしましょう。外構を描くときはグリッドは非表示の方が描きやすくなります。



1　グリッドを非表示にする

1-1　「表示」メニューの「グリッド」をクリックします。

画面上に表示されていたグリッドが見えなくなります。もう一度同じ作業をすると、グリッドが表示されます。



レイヤは
「敷地基礎」と「補助線」

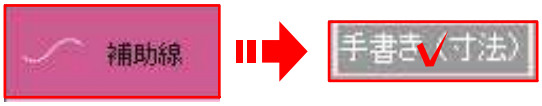
方法2　補助線→基礎

今回は作業しません。先に進みましょう。

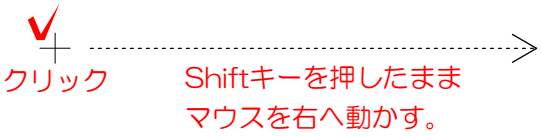
補助線を使って基礎の形を作り、建物基礎に変換します。袖壁や独立基礎がある時、建物の形状が複雑な時に使用します。

1　補助線入力

建物基礎の形に補助線を描きます。

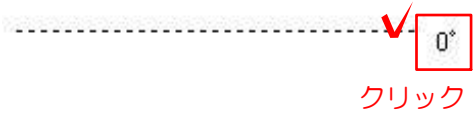


1-1　レイヤを補助線にし、手書き（寸法）をクリックします。



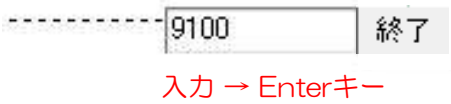
1-2　画面上でクリックし、Shiftキーを押したまま右へマウスを動かします。

この時、マウスのボタンは離した状態で右へ動かしましょう。Shiftキーはしっかり押さえておきましょう。



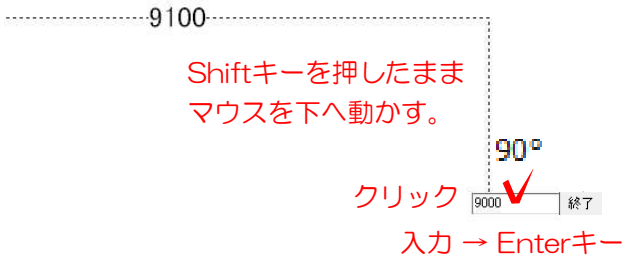
1-3　点線がある程度の長さになったら、「0°」と表示が出ている状態でクリックします。

Shiftキーはクリックしてから離します。



1-4　[　　]が表示されたら、辺の長さを入力してEnterキーを押します。

1-5　マウスを動かすと次の辺の角度指定ができる状態になっているので、Shiftキーを押したまま下へマウスを動かします。



1-6　点線がある程度の長さになったら、「90°」と表示が出ている状態でクリックします。

1-7　[　　]が表示されたら、辺の長さを入力してEnterキーを押します。

1-8　この繰り返しで建物の寸法を入力し、基礎の形の補助線を描きます。

【辺の寸法や角度を間違えたときは・・・】

数値を入力してEnterキーを押した後の状態（マウスを動かすと点線がついてくる）で「Ctrlキー+Z」を押します。
作業を1つ戻ることができるので、再度入力しなおしましょう。

【袖壁、独立基礎があるときは・・・】

袖壁、独立基礎は補助線を部分的に追加して描きます。

Webマニュアル ［建物基礎］→［独立基礎、柱、袖壁の作り方］

2　建物基礎に変換



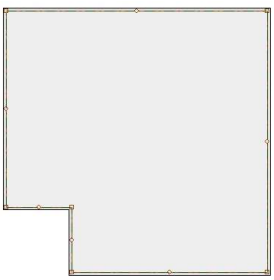
作成した補助線を基礎に変換します。

2-1　基礎の形に描いた補助線を選択し、画面右上の「補助線→基礎」をクリックします。

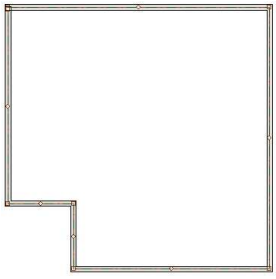
補助線と同じ場所にグレーの基礎ができます。

【作成された基礎の内側が白くなったときは・・・】

○

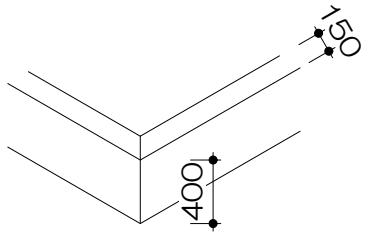


×



元の補助線の角に隙間ができていると内側が白い基礎ができます。補助線の隙間ができないように描き直して基礎に変換しましょう。

【基礎の初期設定】

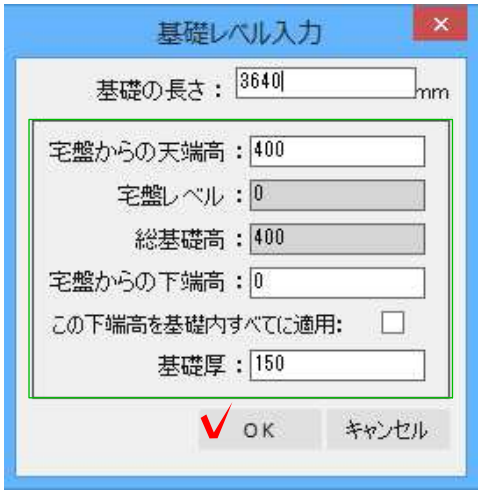


基礎の初期設定は
基礎の高さ：設計GLから+400
基礎の厚み：150
深基礎：なし
となっています。必要があれば設定を変更しましょう。

【深基礎にしたいときは・・・】

プランによっては基礎を深く（設計GLよりも下から基礎ができている）したい場合があります。上記の初期設定を変更して深基礎にする事ができます。





1　深基礎設定

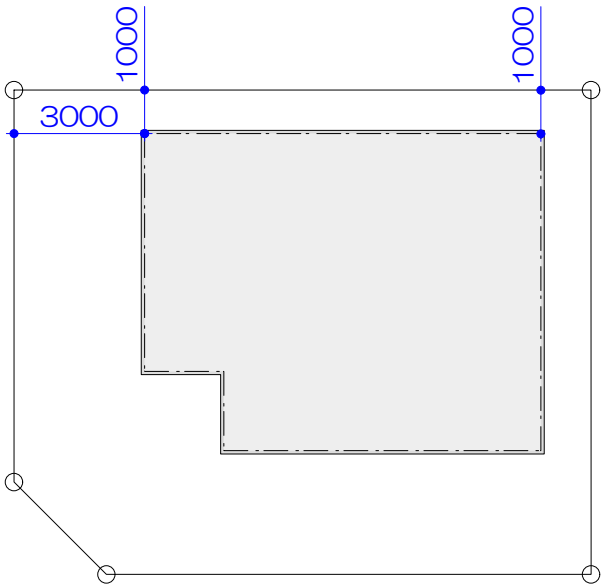
1-1　数値を入力したい辺の数値にマウスをあわせ になったらクリックします。

1-2　変更したい項目を設定し、OKをクリックして設定が完了します。

宅盤からの天端高：
　GLからの基礎の高さ
宅盤レベル：
　ここでは変更できません。
　敷地のレベルで設定します。
総基礎高：
　自動表示のため設定できません。
宅盤からの下端高：
　GLから下の基礎高さ。「-」は不要。
基礎厚：基礎の厚み
この基礎設定を全基礎に適用：
　を入れると全ての辺に適用されます。

敷地に基礎を配置する

下の寸法を元に建物基礎を配置してみましょう。



敷地に基礎を配置する方法

基礎を敷地内に配置すると、基礎の各頂点から敷地境界までの距離が表示されます。
この数値を調整して配置します。

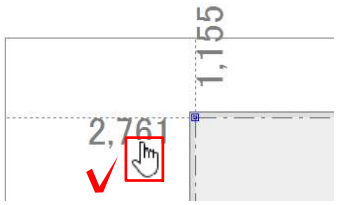
作図をする時の基本として基礎は水平・垂直に配置します。基礎の角度に合わせて敷地を回転などで調整しましょう。

基礎が斜めになると、アプローチや玄関ポーチも斜めになり、設定などが必ず必要になります。作図の手間を減らすには基礎を水平・垂直に配置することがポイントです。



レイヤは「敷地基礎」

1　配置寸法入力



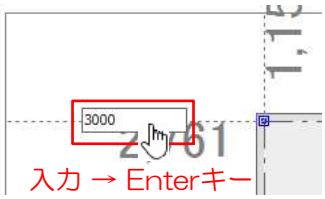
建物基礎の配置寸法を入力します。

1-1　レイヤを**「敷地基礎」**にします。

1-2　数値を指定したい数字にカーソルを合わせ、 になったらクリックします。

【数値が表示されないときは・・・】

下記の時は境界までの数値が表示されません。
・建物基礎が敷地からはみ出している　→敷地の中に移動しましょう。
・建物基礎を選択していない　→建物基礎の内側（グレーの部分）をクリックしましょう。
・敷地と建物基礎が選択されている　→建物基礎だけを選択しましょう。

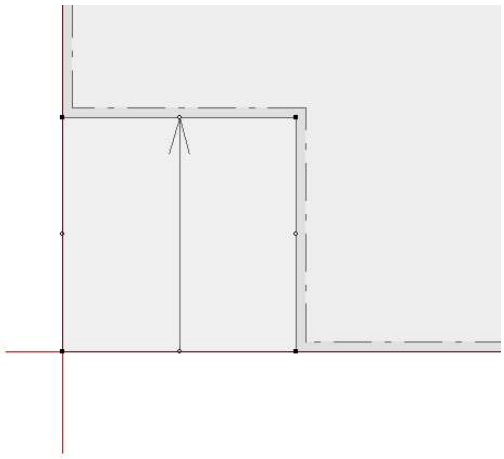


1-3　 内に数値を入力し、Enterキーを押して決定します。

基礎が指定した数値の位置へ移動します。
配置ができたら保存しましょう。

玄関ポーチを配置する

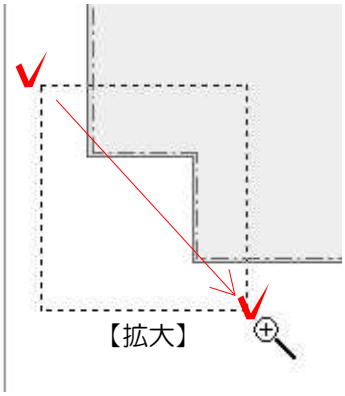
下の図を元に玄関ポーチを配置しましょう。



玄関ポーチはユニットの「階段」を使用します。



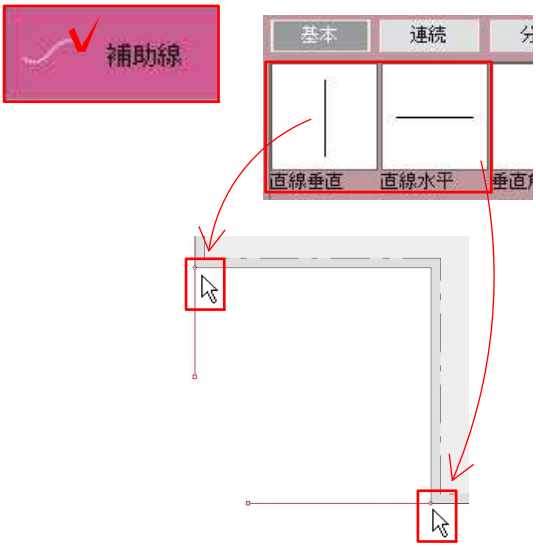
レイヤは
「ユニット」と「補助線」



1　補助線入力

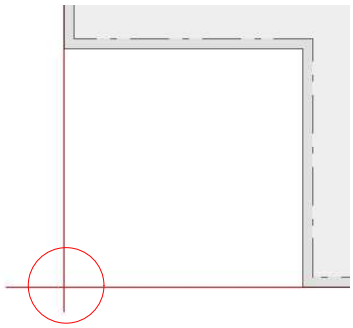
玄関ポーチを配置する為の補助線を引きます。

1-1　玄関ポーチが大きく見えるように**拡大**します。



1-2　レイヤを「補助線」にし、基本の「直線垂直」「直線水平」をそれぞれ建物基礎の角に配置します。

補助線を配置する際は、基礎の角にカーソルを合わせて配置しましょう。



交差

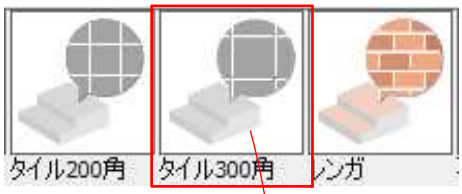
左図の状態に補助線を調整します。

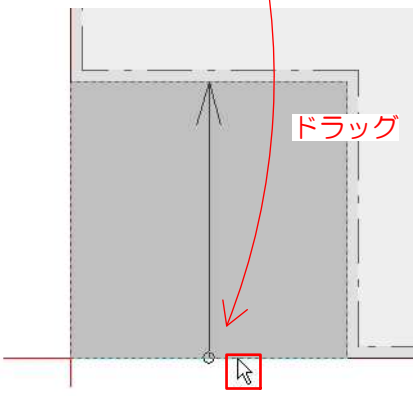
1-3　配置した補助線が短い場合は、マウスを使って伸ばしましょう。

端点は左図のようにピッタリのところで止めずに**交差**している状態にします。

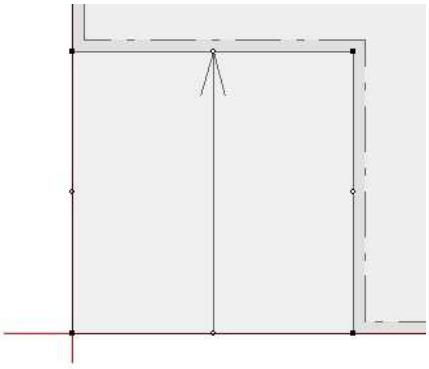
2　階段配置







上りはじめの側にマウスを合わせる



玄関ポーチは階段を使用します。

2-1　レイヤを**「ユニット」**にします。

2-2　画面下の階段ユニットから「タイル300角」を補助線の内側へドラッグします。この時**矢印が階段を上る方向を向く**ようにしてマウスをはなします。

階段の１段目のラインにマウスを合わせると、上る方向へ矢印が伸びます。

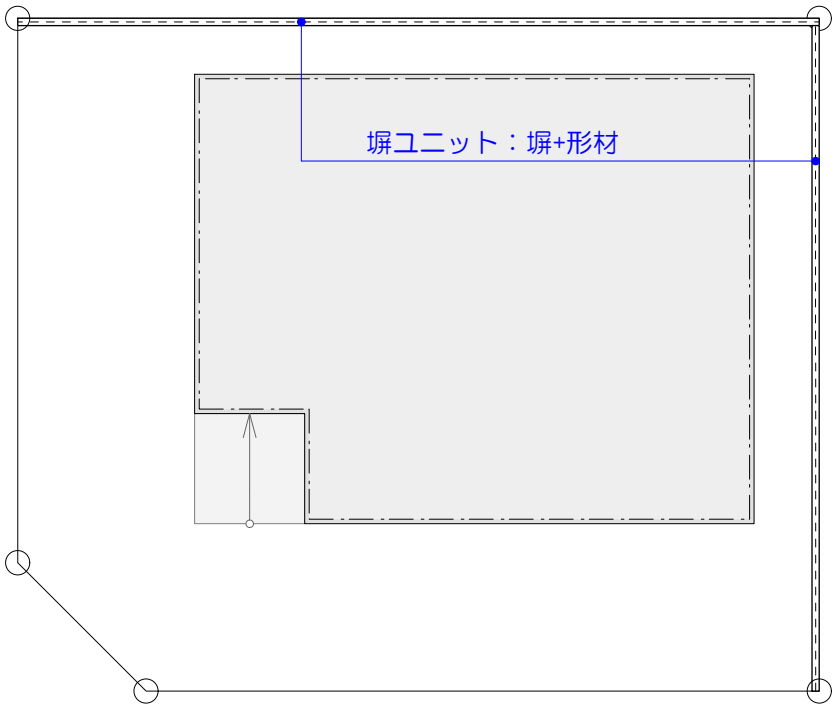
矢印の向きは〝上がる〟方向を指します。階段が高い方向に向かって矢印が伸びるようにしましょう。

階段の配置ができました。
他の図形を配置した後に設定をします。

保存しましょう。

塀を配置する

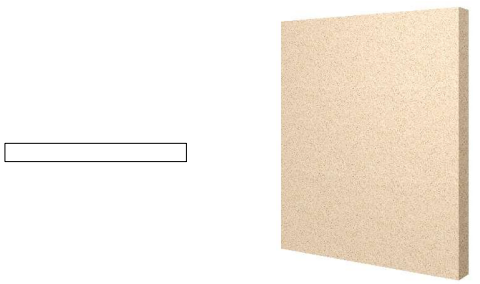
下の図を元に塀を配置しましょう。



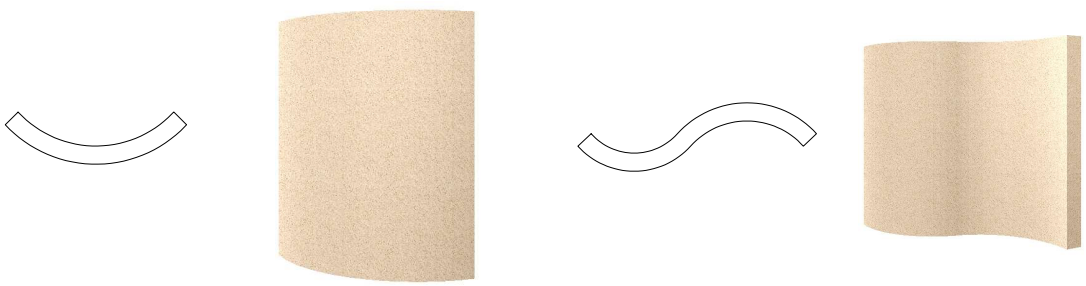


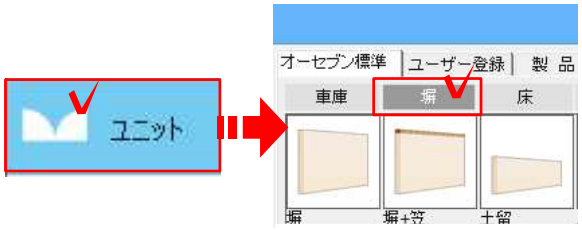
レイヤは
「ユニット」と「補助線」

塀は「**ユニットレイヤ**」で配置します。
塀は図形に吸着します。配置する前に吸着させる為の補助線を引いておきます。



いろいろな形の補助線を作れば、塀をその形にする事ができます。





1　ユニット配置

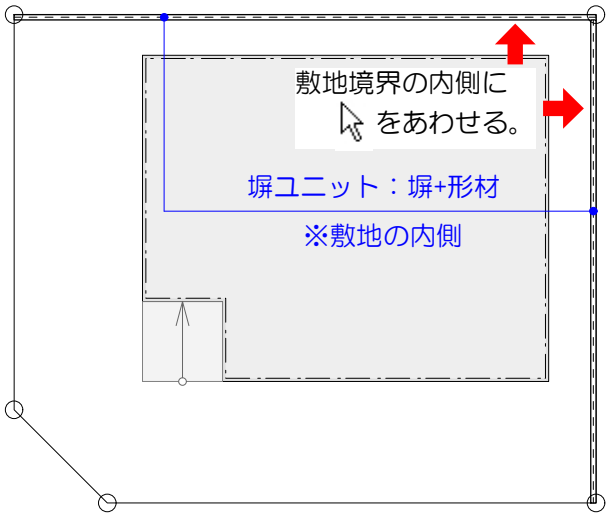
敷地境界塀を配置します。

道路境界・隣地境界から配置していきましょう。

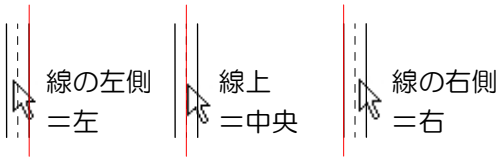
塀を配置します。



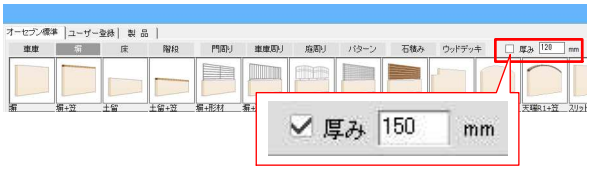
1-1　レイヤを「ユニット」、画面下のスタンプ画面で「塀」を選択し、「塀+形材」を上と右の敷地境界の内側へドラッグします。



左図を参考に入力しましょう。この時、敷地境界の内側・外側・中心の位置を確認しましょう。マウスを線に合わせた位置で塀の配置が決まります。



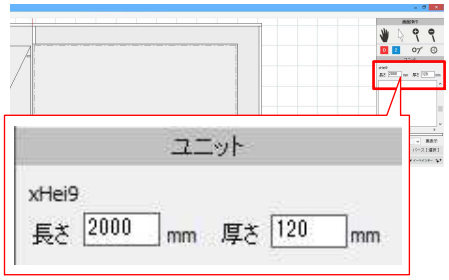
【塀の厚み】



チェックと数値を入れる

塀は通常、120の厚みで配置されるように設定しています。

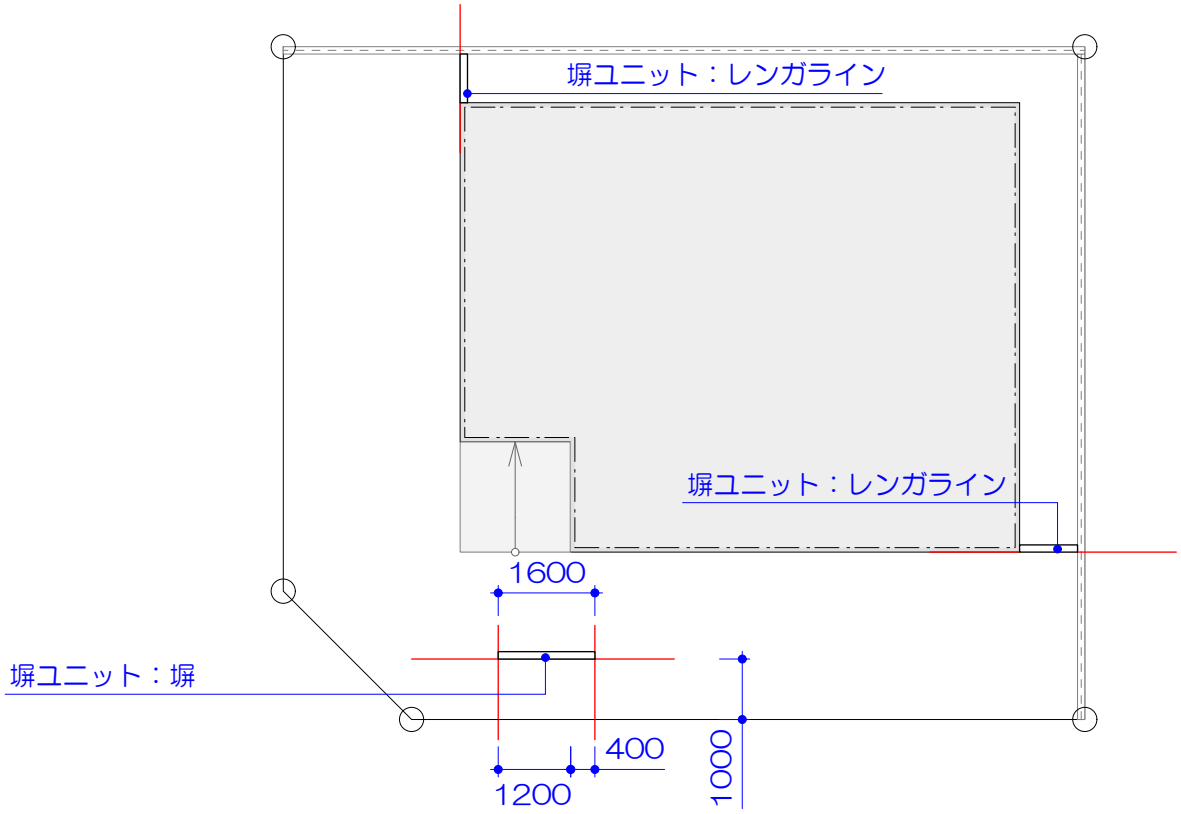
ブロック厚を100や150、200などに変更したい場合は、塀ユニットの上にある「厚み」にチェックと数値を入れてから配置します。



配置後に数値を変更することもできます。

塀を配置後、画面右上のユニットで厚みや長さを変更することもできます。

他の塀も配置しましょう。

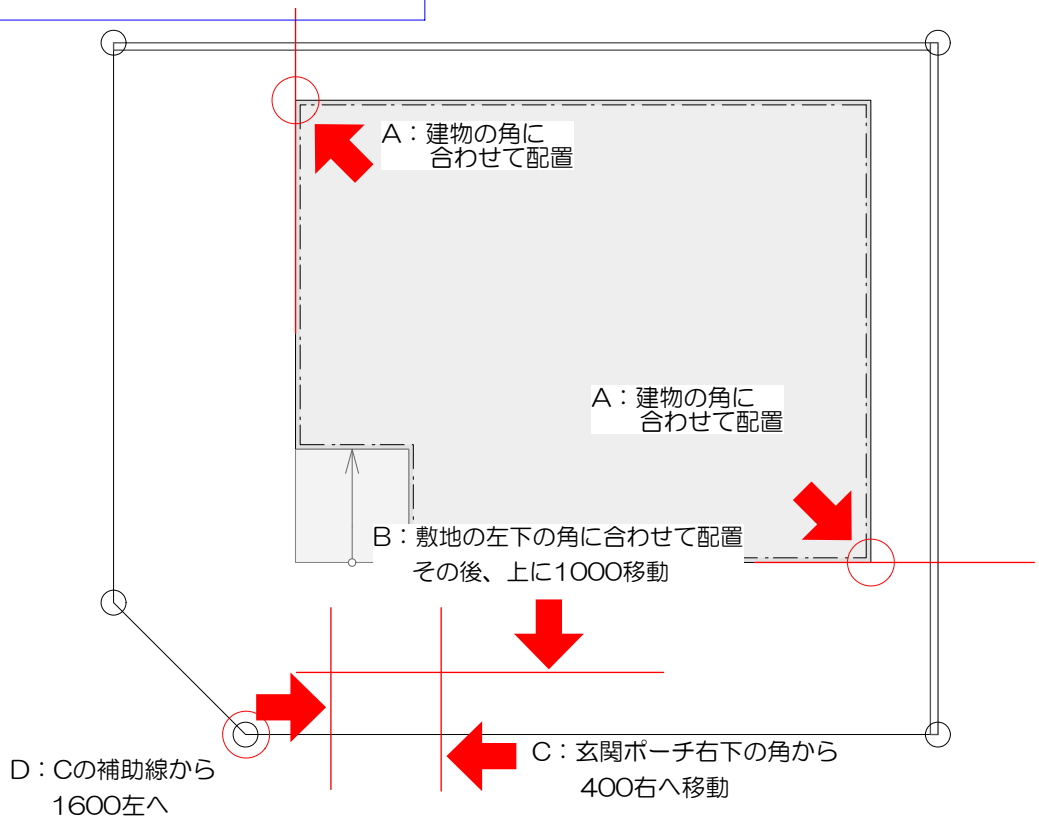


2　補助線配置

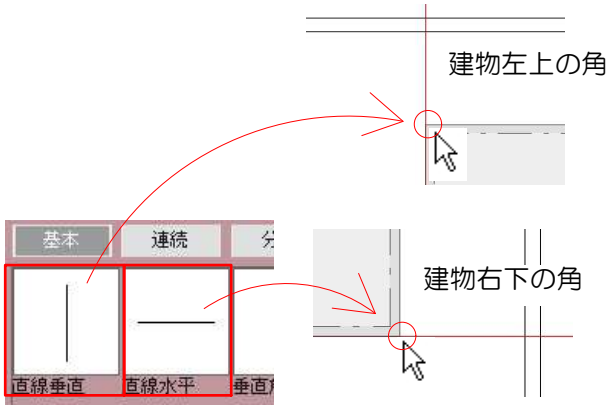
画面の拡大、縮小をして敷地全体が見えるようにしましょう。

塀を配置する為の補助線を配置します。

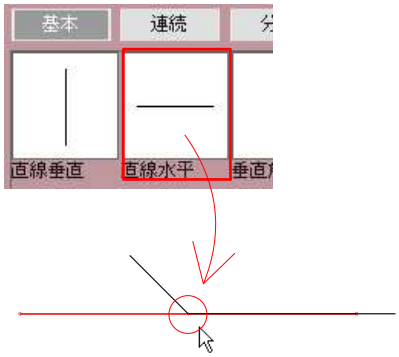
レイヤを「補助線」にし、A～Dを配置します。





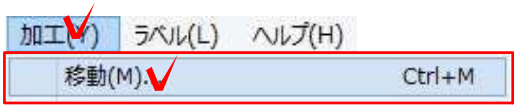


2-1　Aの線(2ヶ所)を配置します。レイヤを「補助線」にし、基本の「直線垂直」「直線水平」を建物基礎の角に の先を合わせて配置します。

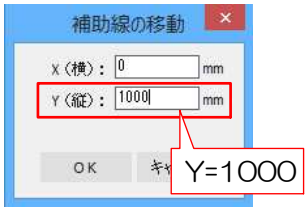


2-2　Bの線を配置します。2-1同様に基本の「直線水平」を敷地の左下の角に 合わせて配置します。

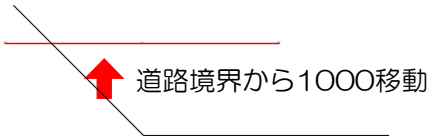
Bの補助線は道路境界から上に1000の位置にあります。だいたいの位置へ補助線を配置すると、どこが1000の位置かわかりません。まず、基準となる道路境界線に合わせて補助線を配置しましょう。



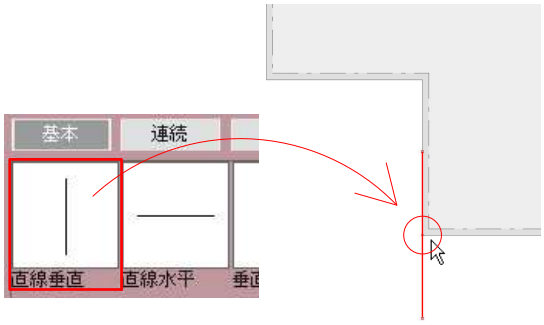
2-3　配置した補助線が選択された状態で「加工」メニューから「移動」をクリックし移動させたい数値を入力します。



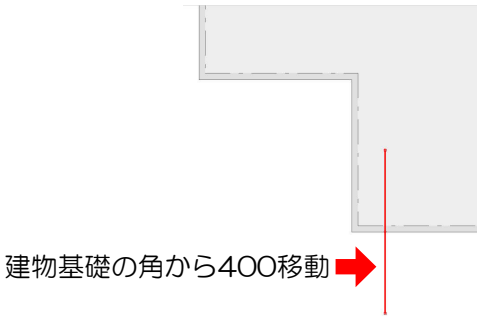
2-4　道路境界線から上に1000なので「Y=1000」と入力します。

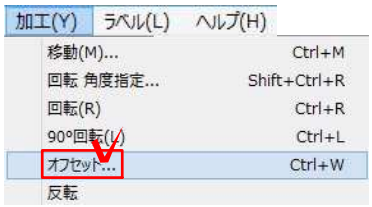


2-5　「OK」を押すと、補助線が道路境界線の1000上に移動します。

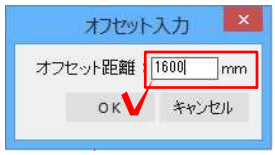


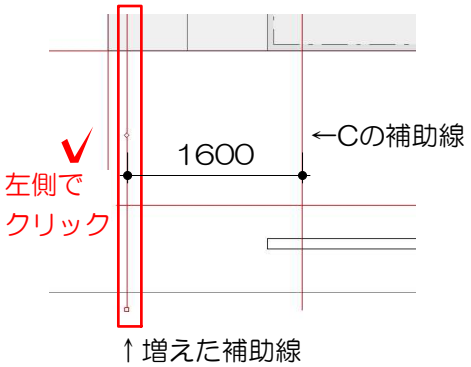
2-6　Cの線を配置します。基本の「直線垂直」を建物基礎の角に　　の先を合わせて配置をし、加工メニューの移動で右へ400移動します。





2-7　Dの線を配置します。Cの補助線を選択し、加工メニューのオフセットで［1600］と入力し、OKを押します。





2-8　Cの補助線の左側でクリックすると左へ1600の位置に補助線が増えます。

2-9　各補助線を前ページのサンプルのように長さを調整します。

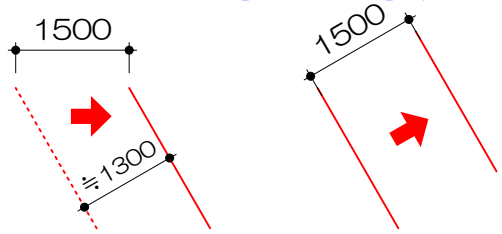
【移動とオフセットの違い】

移動は選択した図形を動かす機能です。
オフセットは選択した補助線を複製し、指定した距離の位置へ動かす機能です。
この違いを覚えておきましょう。

以下は補助線を選択して移動した場合と、オフセットをした場合の巾のとり方です。

・斜めの直線に1500巾をつけた場合

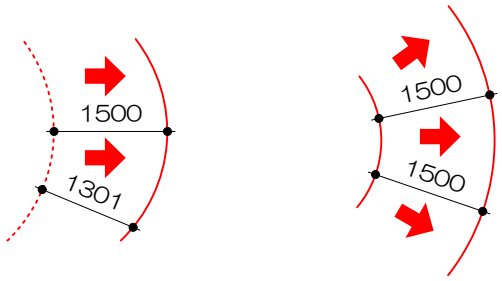
【移動】巾は≒1300　【オフセット】巾は1500



【移動】
水平・垂直方向に移動します。Rや斜めの場合、指定した数値よりも巾が狭かったり、場所によって巾が異なります。

・R補助線に1500巾をつけた場合

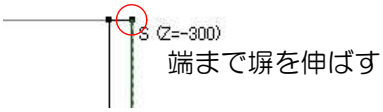
【移動】巾は不定　　【オフセット】巾は1500



【オフセット】
補助線がどんな角度、形状であっても一定の巾をとります。元の補助線が残るので、アプローチを作る時などに使用します。

【塀が途中で止まってしまうときは・・・】

(1)　配置した塀を端まで伸ばす。

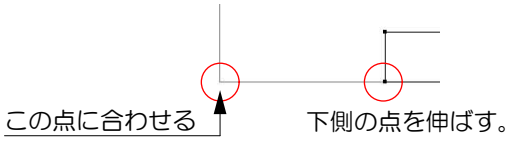


塀を配置した時に敷地境界の端まで塀が伸びない時は、塀が止まったところに補助線が交わっている時です。左記のどちらかの方法で調整しましょう。

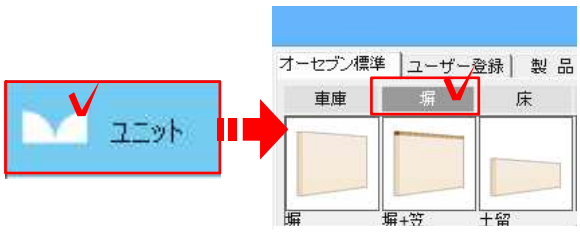
(2)　補助線を短くして境界に付かないようにしてから塀を入れる。



※ 伸ばす場合は、合わせたい点がある側の塀の角を動かしましょう。



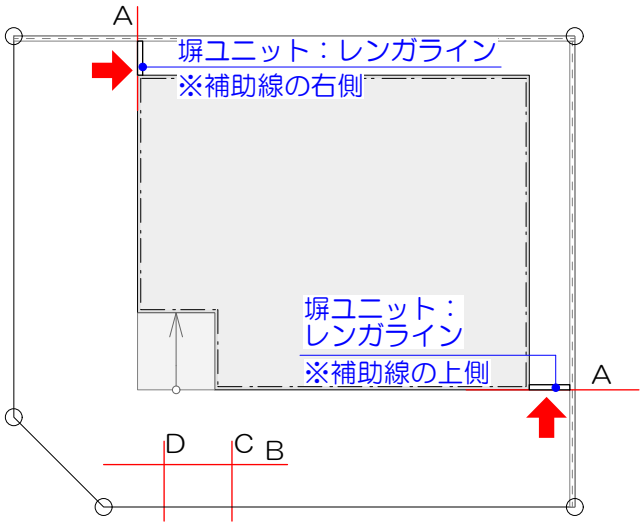
※(1)の方法は、塀が直線の場合に使用できます。
曲線や、結合した補助線、手描きで描いた補助線の場合は、切断されてしまう補助線や図形を避けて、(2)のような状態で塀を入れましょう。



3　ユニット配置

A～Dの補助線に塀を配置します。





レンガライン：
補助線の右側と上側に をあわせる。

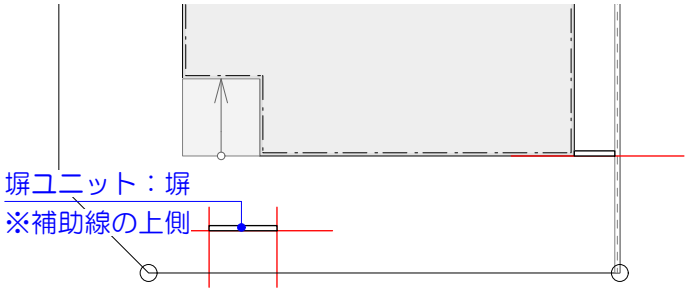
レンガラインと塀を配置します。

3-1　レイヤを「ユニット」、画面下のスタンプ画面で「塀」を選択し、「レンガライン」を左上と右下の補助線へドラッグします。

左図を参考に入力しましょう。この時、補助線のどちら側についているか？確認しましょう。マウスを離す時の位置に塀が配置されます。

3-2　同様に「塀」を左図のように補助線の上側へドラッグします。





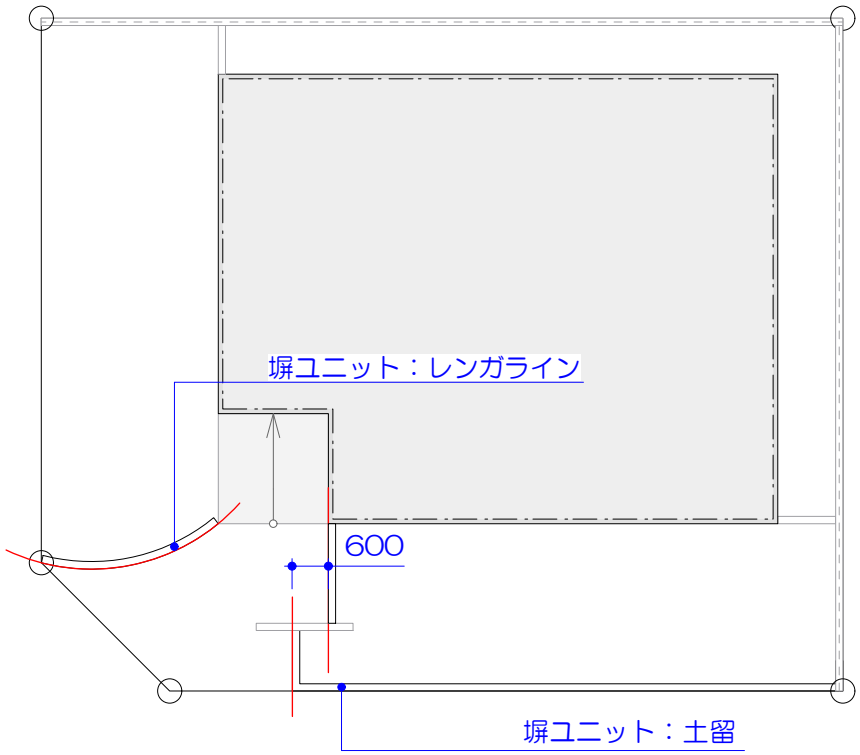
塀：補助線の上側に をあわせる。
補助線が縦の補助線より短い場合は、横の補助線の右端をShiftキーを押しながら上図のように延ばしましょう。

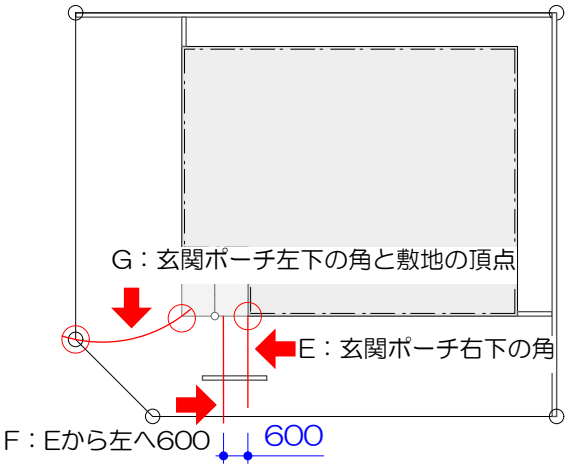
左図を参考に入力しましょう。この時、補助線のどちら側についているか？確認しましょう。マウスを離す時の位置に塀が配置されます。

補助線を延長させる場合は以下の手順で延ばします。
補助線を選択＞端点をクリック＞Shiftキーを押したままマウスを移動＞延ばしたいところでクリック＞Shiftキーを離す。
※Shiftキーを押している間、補助線は延長線上に固定されています。

B・C・Dの補助線を削除しておくと次の作業がしやすくなります。

レンガラインと土留の塀を入れてみましょう。



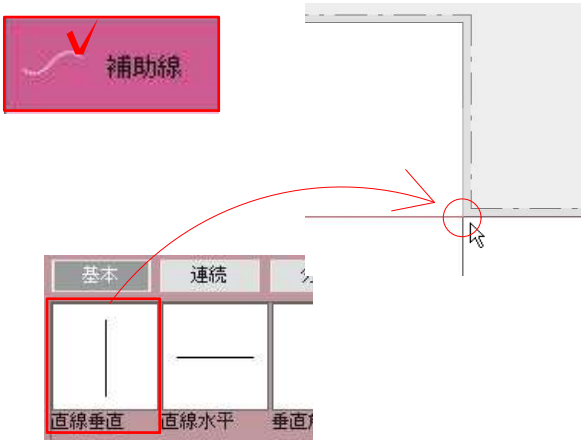


4　補助線配置

レンガラインと土留の塀を配置する為の補助線を配置します。

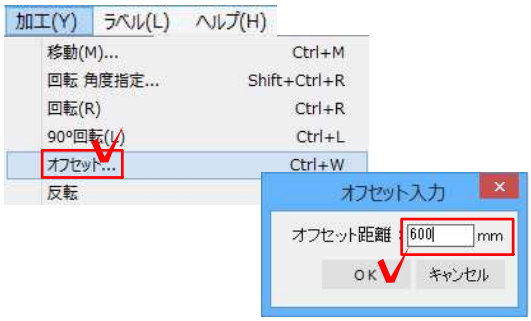
画面の拡大、縮小をしてアプローチ周辺が見えやすいようにしましょう。

レイヤを「補助線」にし、E～Gを配置します。



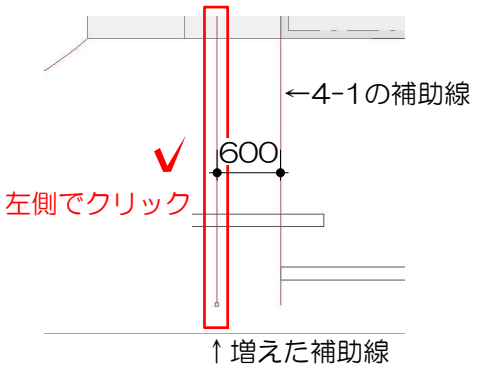
すでに引いた補助線が残っている場合は4-1の作業は必要ありません。

4-1　EとFの線を配置します。レイヤを「補助線」にし、基本の「直線垂直」を玄関ポーチの右下の角に の先を合わせて配置します。

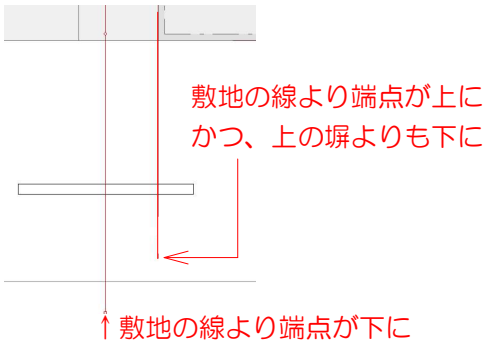


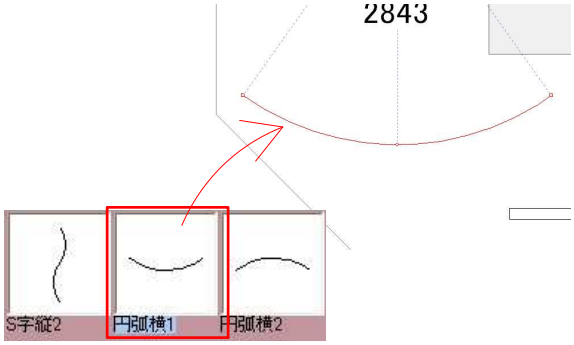
4-2　1で引いた補助線を選択した状態で、加工メニューのオフセットで、［600］と入力し、OKを押します。

4-3　選択している補助線の左側でクリックすると左へ600の位置に補助線が増えます。

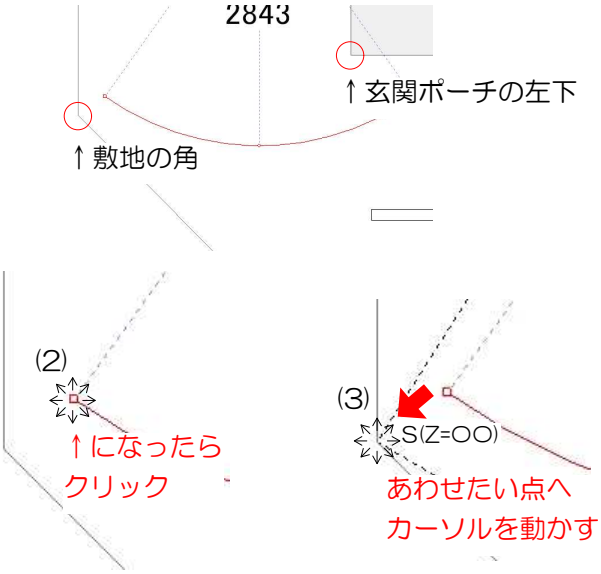


4-4　補助線を下図のように長さを調整します。



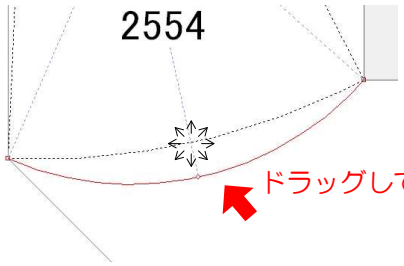


4-5　Gの線を配置します。「円弧横1」を玄関ポーチの左下辺りの適当な位置に配置します。

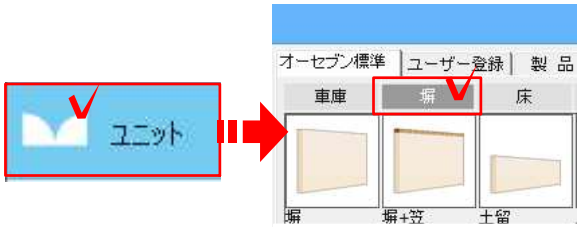


4-6　配置した補助線の左端を敷地の角に、補助線の右端を玄関ポーチの左下に合わせて変形します。

【変形の手順】
(1)補助線をクリックし、端点に□がついたのを確認。
(2)カーソルを端点に近づけ、カーソルが✥になったらクリック
(3)あわせたい点へカーソルを動かし、カーソルにS(Z=OO)が出たらクリック

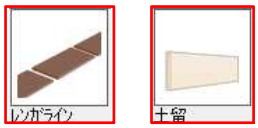


4-7　円弧の中央の○にカーソルを近づけ  になったらドラッグして、丸みを調節します。



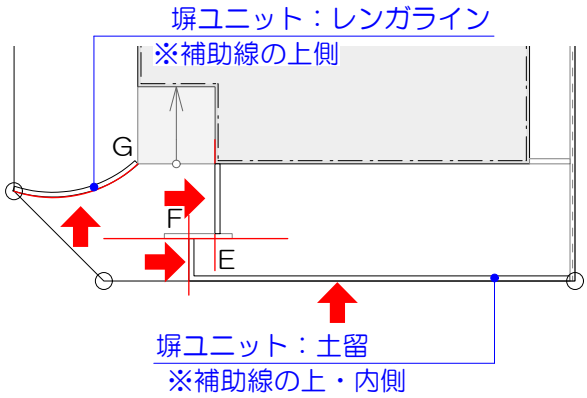
5　ユニット配置

E～Gの補助線に塀を配置します。



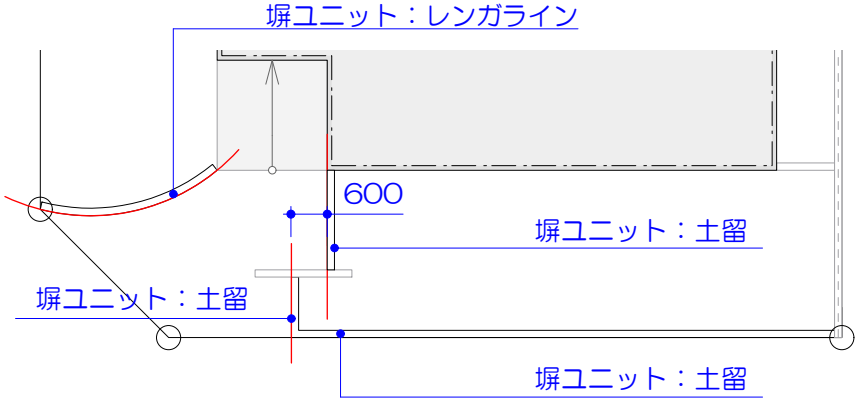
土留の塀とレンガラインを配置します。

5-1　レイヤを「ユニット」、画面下のスタンプ画面で「塀」を選択し、「レンガライン」「土留」をE～Gの補助線へドラッグします。



左図を参考に入力しましょう。この時、補助線のどちら側についているか？確認しましょう。マウスを離す時の位置に塀が配置されます。

〝レンガライン〟は高さが10
〝レンガ見切〟は高さが80あります。

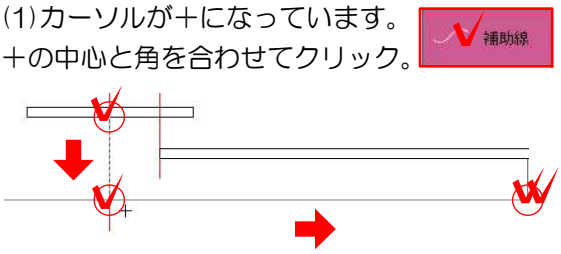


左図のように
土留の塀とレンガラインが配置されました。

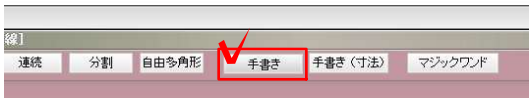
L字やコの字型に塀を作成するには次ページを参照してください。

【L字やコの字の塀をつくるには・・・】

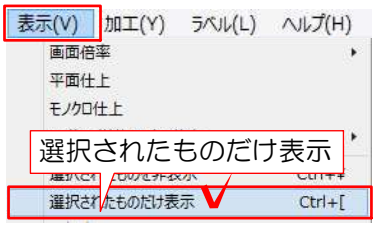
(1)カーソルが＋になっています。
＋の中心と角を合わせてクリック。



ダブルクリックで作業が終了します。

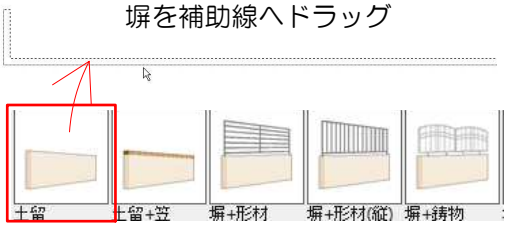


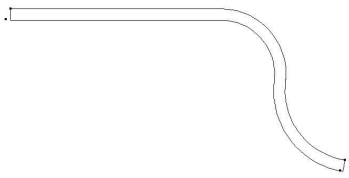
(2)



(3)

塀を補助線へドラッグ





塀は図形の点から点までを認識し、そこで止まるようにできています。

前ページの土留めの塀のように2方向にL字の塀を入れる時は、直線の塀を各辺に入れるのが基本ですが、補助線の「手書き」を使えば、L字やコの字型の１つの塀を作成する事ができます。

(1)補助線レイヤの「手書き」で作成したい塀の形を描きます。

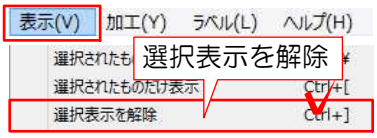
(2)描いた補助線を選択した状態で、表示メニューの「選択されたものだけ表示」をクリックします。

選択した補助線だけが表示されます。
他の塀や敷地が表示されている場合は、再度補助線を選択してやり直しましょう。

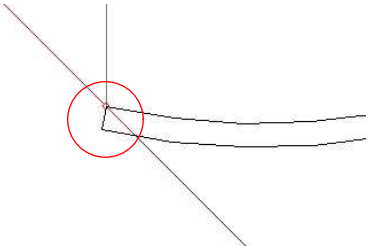
(3)手書きで作成した補助線に塀をドラッグすると、補助線と同じ形の塀が作成できます。

途中で止まってしまう場合は、頂点が途中にある場合です。作成したい形の補助線のみを表示しましょう。

(4)塀を入れ終わったら、表示メニューの「選択表示を解除」をクリックします。



【塀の角が敷地からはみ出したときは・・・】

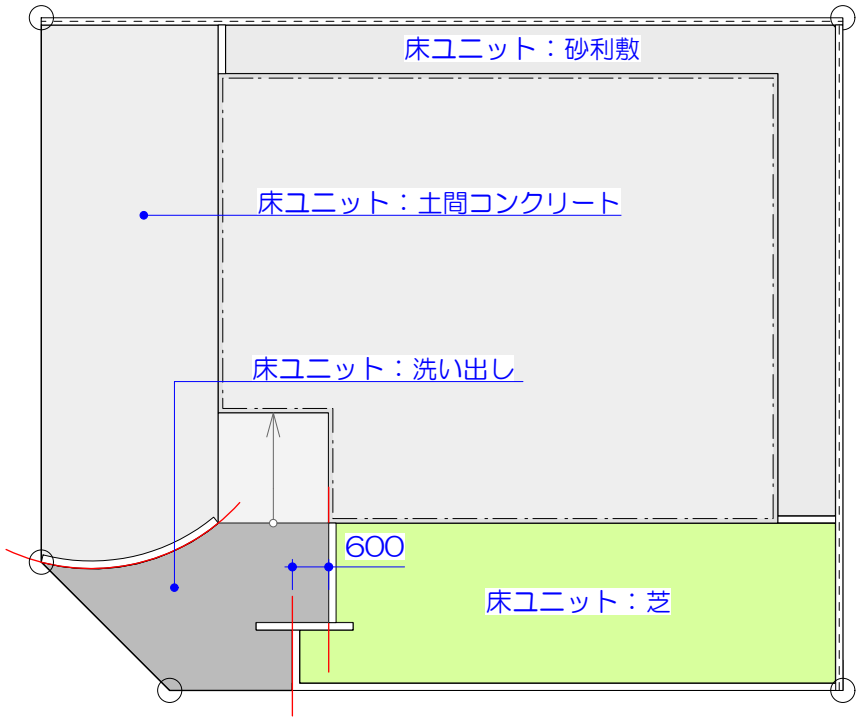


塀が敷地からはみ出す事があります。
このような場合は、塀を切断して形を整えます。

Webマニュアル [レンガ]→[レンガラインを切断する方法]

床を配置する

下の図を参考に補助線を入力し、床ユニットを配置してみましょう。



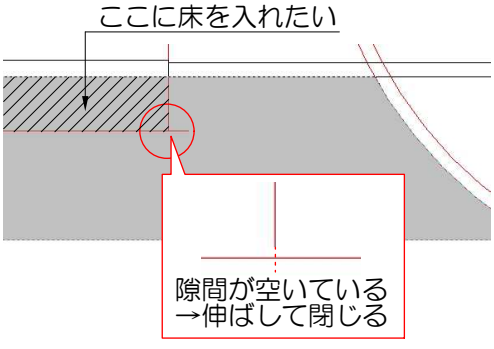


レイヤは
「ユニット」と「補助線」

床はユニットで配置します。
床は補助線や塀、敷地などで囲まれた範囲を判断して形を作ります。

あらかじめ、作成したい床の形の枠を作成しておく必要があります。

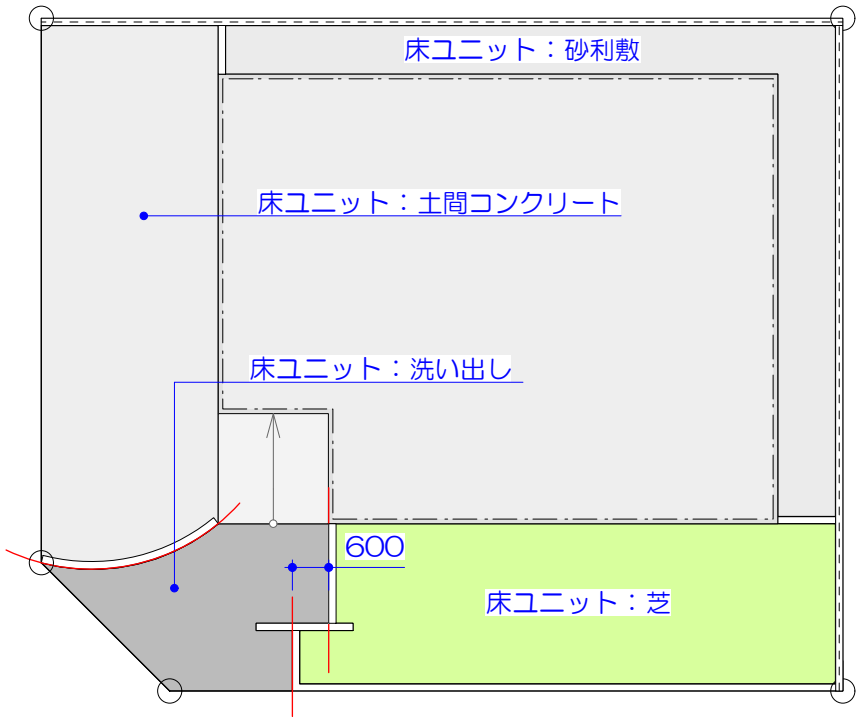
隙間があると、床がきちんと入りません。
枠の役目をする補助線は角に合わせて、少し長めに配置しましょう。



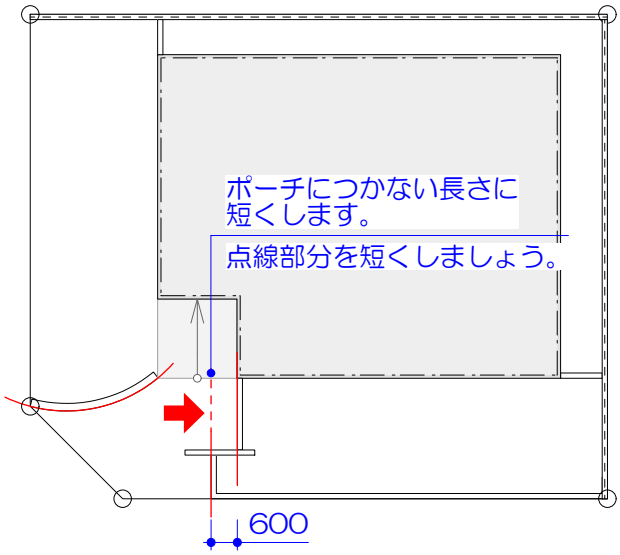
床が入れたい範囲よりも大きくなってしまう場合は、補助線や塀、床の間に隙間ができている時です。
各頂点に隙間ができていないか確認しましょう。

角が閉じているのに、床が入らない場合は補助線を追加してみましょう。

下図のように床を入れてみましょう。



1　補助線配置

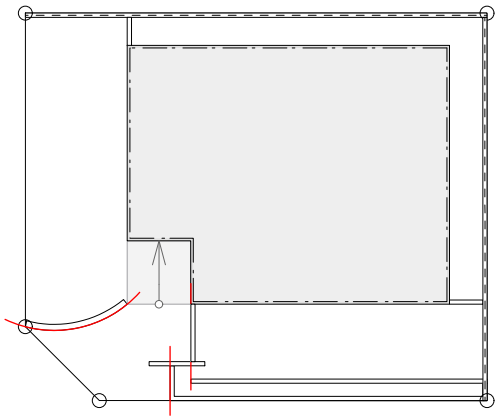


床を配置する為の補助線を配置します。

画面の拡大、縮小をして玄関周辺が見えるようにしましょう。

1-1　レイヤを「補助線」にし、塀で配置した補助線の長さを調整します。

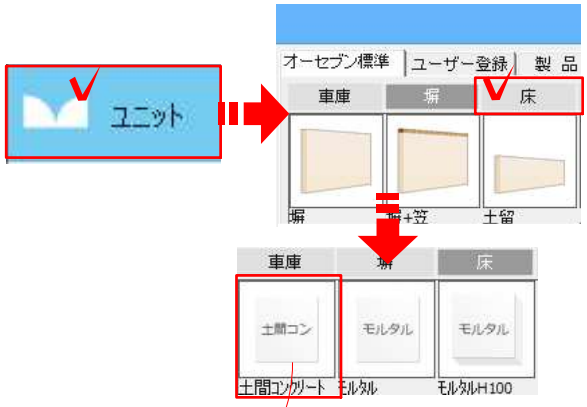
補助線を消してしまった場合は、左図のように配置しましょう。



2　ユニット配置

床を配置します。

画面の拡大、縮小をして敷地全体が見えるようにしましょう。

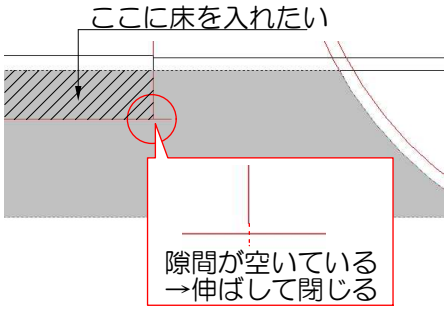


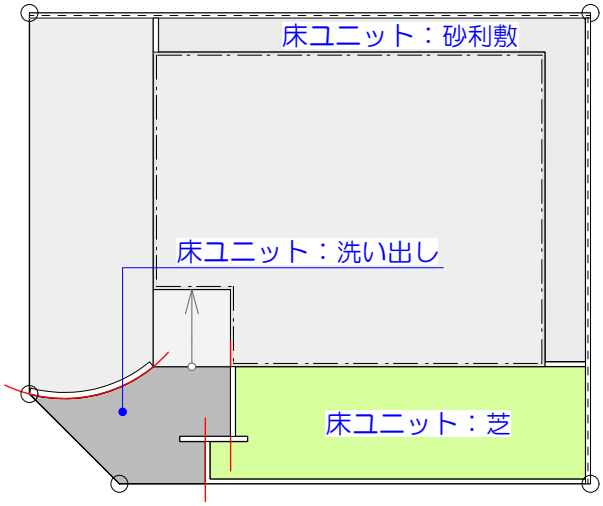
2-1　レイヤを「ユニット」、画面下のスタンプ画面で「床」を選択します。

2-2　「土間コンクリート」を左図の位置へドラッグします。

下図のように床が入れたい範囲よりも大きくなってしまう場合は、補助線や塀、床の間に隙間ができている時です。
各頂点に隙間ができていないか確認しましょう。

角が閉じているのに、床が入らない場合は補助線を追加してみましょう。

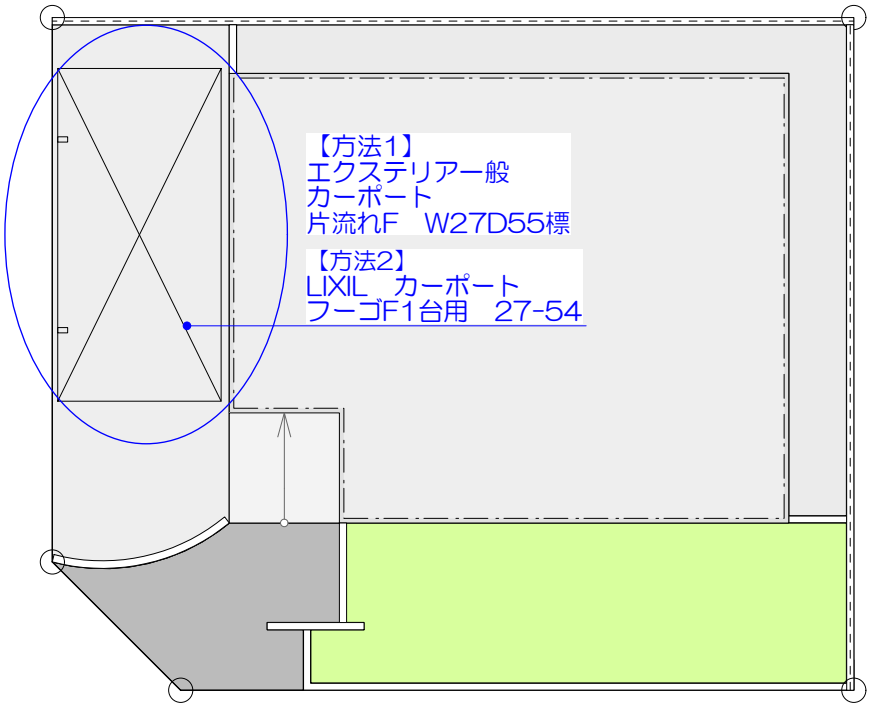


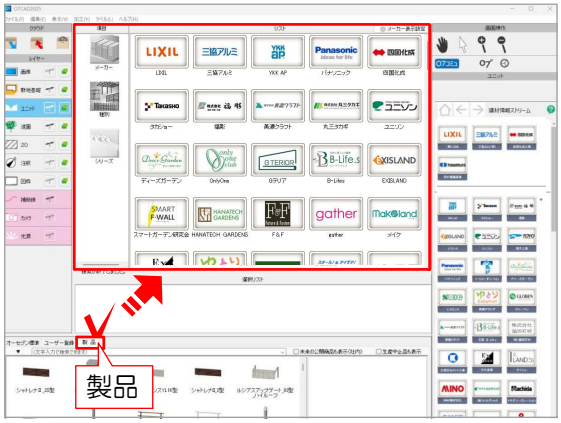


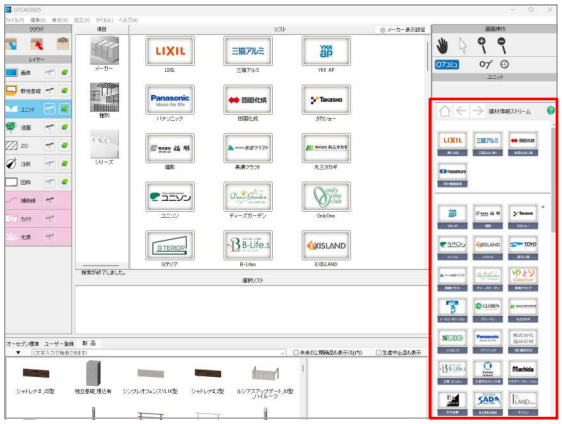
2-3　同じ要領で、左図のように床を配置しましょう。

製品を配置する

下の図を参考に製品を配置してみましょう。







製品を配置するには2つの方法があります。
どちらかの方法で製品を配置してみましょう。

方法1　「製品」から配置

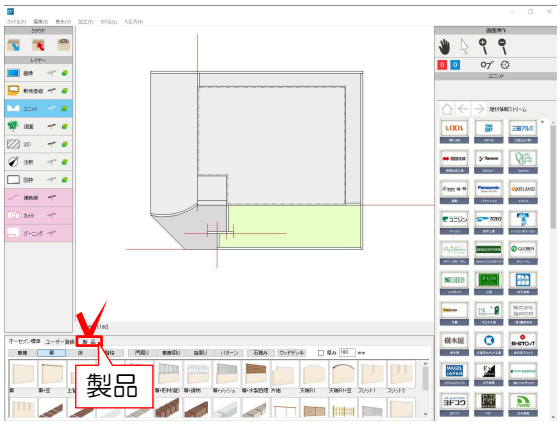
画面下「製品」から配置します。
CADに登録されてる全メーカーから製品を選べます。またメーカー品ではない一般のものも選ぶことができます。

方法2　「建材情報ストリーム」から配置

画面右「建材情報ストリーム」から配置します。**「建材カタログ」**にアクセスしてカタログ写真や詳細を確認しながら製品を選択できます。
その他メーカーおすすめセットプランを直接CADに配置することもできます。

Webマニュアル [製品]→[建材情報ストリーム]

※「CAD上の建材情報ストリーム」に表示されている商品の価格につきましては、リアルタイムでの価格や内容更新をしておりません。あくまで目安としてご利用ください。見積ご提出前に**必ずご自身で金額確認**をお願いいたします。



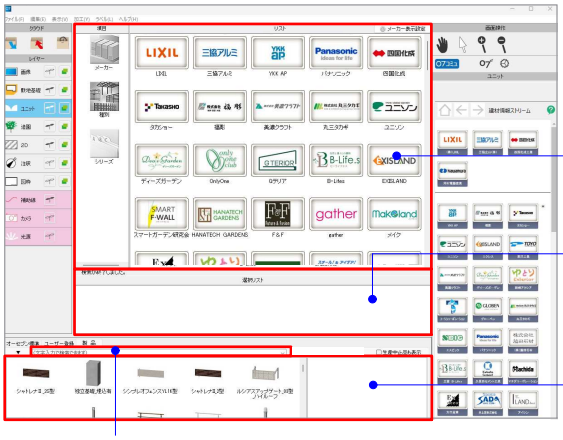
方法1　「製品」から配置

カーポート
エクステリアー般　片流F
サイズ：W27D55標

を選択し、ドラッグして配置します。

1-1　レイヤを「ユニット」にし、画面下の「製品」をクリックします。

左図のような画面に切り替わります。



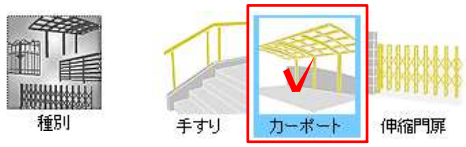
【条件選択画面】
メーカー：製品取り扱いメーカー
種別：種類（門扉・カーポートなど）
シリーズ：製品名称

【選択条件】
現在指定している条件が表示されます。
「クリア」を押すと条件が削除されます。

【製品一覧】
条件を元に検索された製品が並びます。
画面右には選択した製品のサイズが表示されます。

【キーワード検索欄】



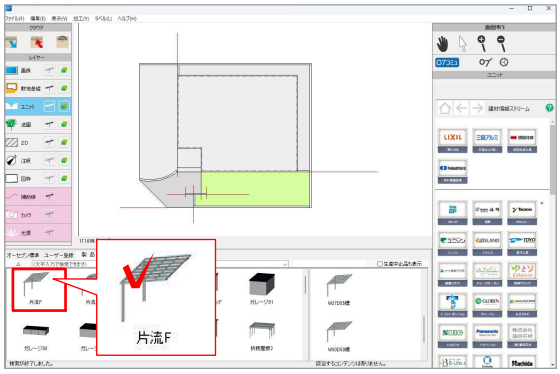


画面下

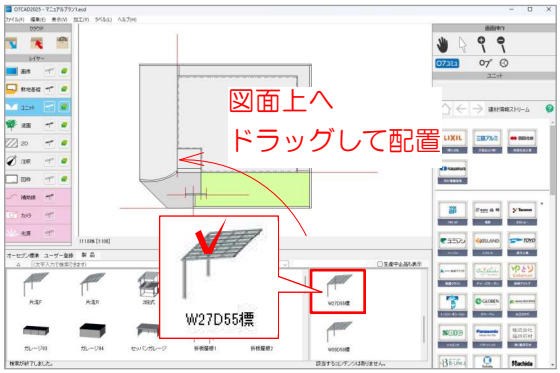
1-2　製品選択画面左上で

メーカー：**エクステリアー般**
種別：**カーポート**
をクリックします。

画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。

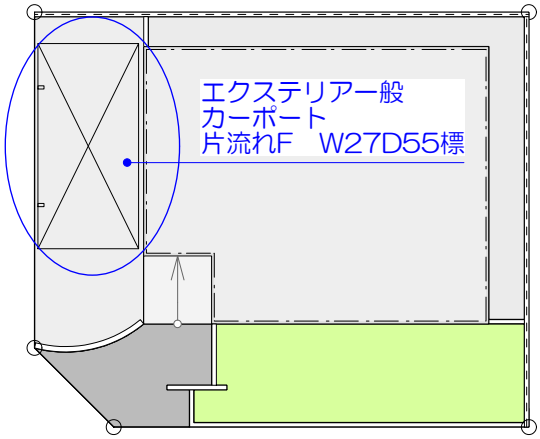


1-3　片流Fをクリックします。

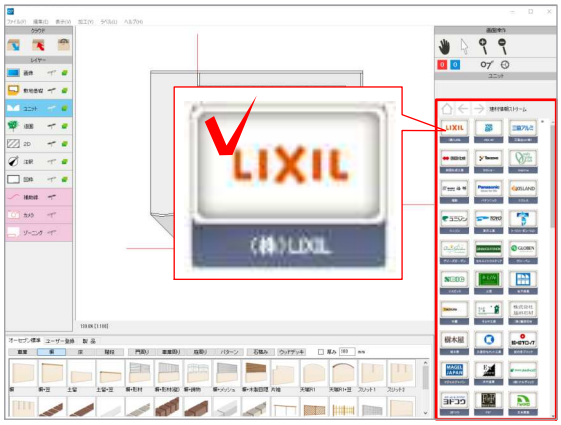


画面右下にサイズ一覧が表示されます。

1-4　サイズ一覧から「W27D55標」を選び、図面上へドラッグして配置します。



カーポートが配置できました。



方法2　「建材情報ストリーム」から配置

カーポート
LIXIL　フーゴF1台用
サイズ：27-54

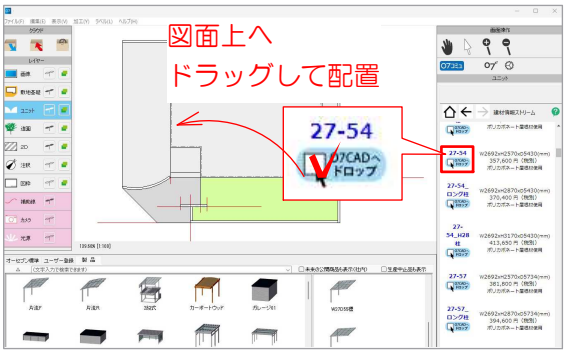
を選択し、ドラッグして配置します。



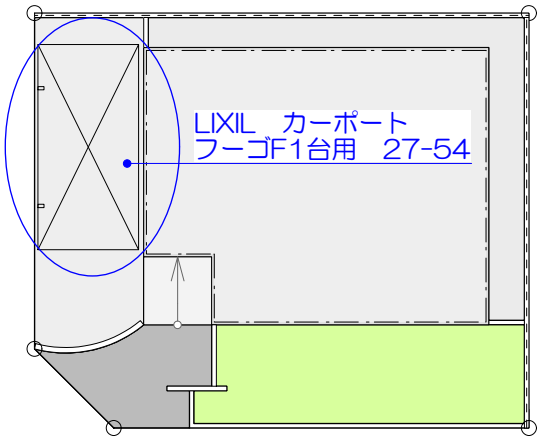
1-1　レイヤを「ユニット」にし、画面右側の建材情報ストリームで

メーカー：**LIXIL**
種別：**カーポート**
シリーズ：**フーゴF1台用**

をクリックしていきます。



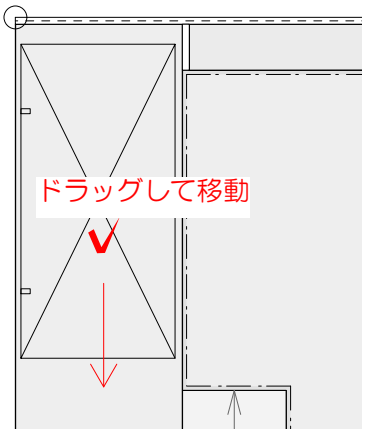
1-2　サイズ一覧から「27-54」を選び、
07CADへ ドロップ を図面上へドラッグして配置します。



カーポートが配置できました。

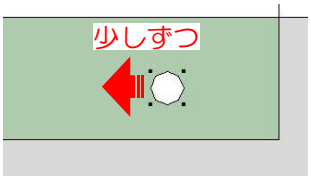
2　製品の位置調整

その1

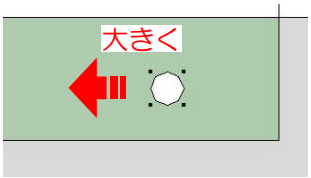


その1
移動させたい製品をクリックして選択（図形の周りに黒い点が付いている状態）し、ドラッグして動かします。

その2



「Shiftキー」+矢印（↑ ↓←→）



「Shiftキー」+「Ctrlキー」+矢印（↑ ↓←→）

その2
移動させたい製品をクリックして選択（図形の周りに黒い点が付いている状態）し、Shiftキー+↑ ↓ →←のいずれかを押して少しずつ移動します。

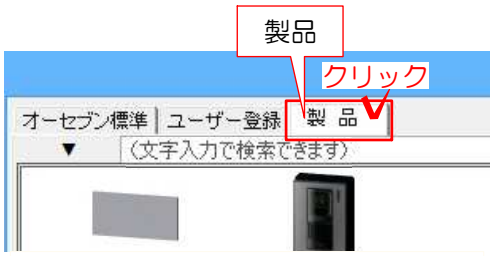
Ctrlキー+Shiftキー+↑ ↓ →←でさらに大きく移動することができます。

この作業を「ナッジ」といいます。

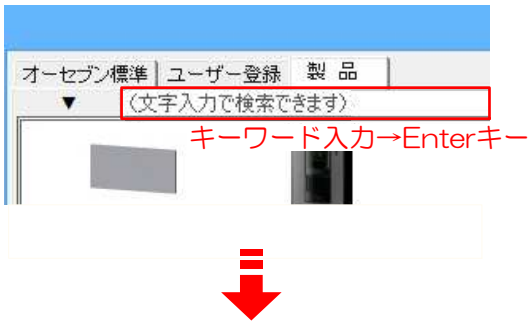
【製品の検索方法】



レイヤは「ユニット」



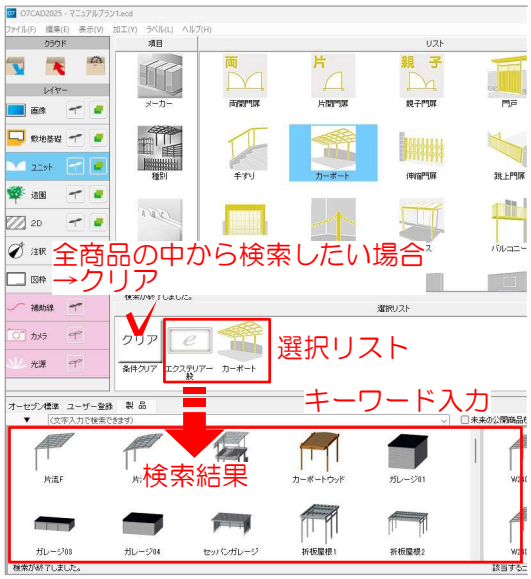
1-1：ユニットレイヤで画面左下の「製品」をクリックします。



1-2：検索欄にキーワードを入力し、Enterキーを押します。



検索結果が画面下に表示されます。

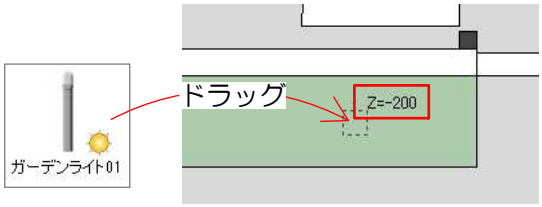


選択リストで条件を選択しているときは…

選択リストでメーカー・種別・シリーズを選択して検索をした場合は、選択リストの条件に当てはまる製品の中から検索されます。

全商品の中から検索したい場合は選択リストをクリアしてから検索しましょう。

【製品の配置高さについて】

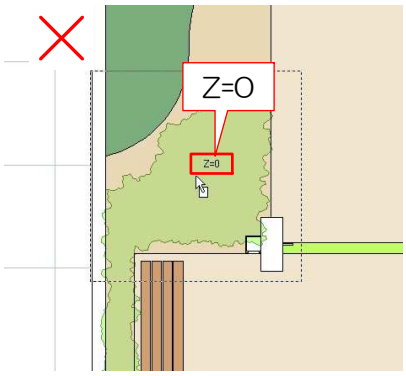


製品を画面上へドラッグして配置すると、左図のようにZ=〇〇と表示される場所があります。

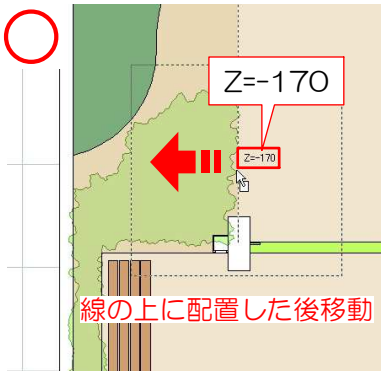


これはZ=〇〇の高さに製品を配置するという意味です。

配置したい高さかどうかを確認してからマウスを離すようにすると、製品が浮いたり、埋まってしまう事を避けることができます。



製品や樹木を配置したい場所で離すと、高さが合いにくい



配置したい場所と同じくらいの線の上に置いてから、移動しましょう。

配置する高さは線や点に反応します。
床の中央などではレベルは宅地の高さを基準にして配置されます。

アンジュレーターで作成した築山に置くと下図のように傾斜がついた位置へ配置することができます。



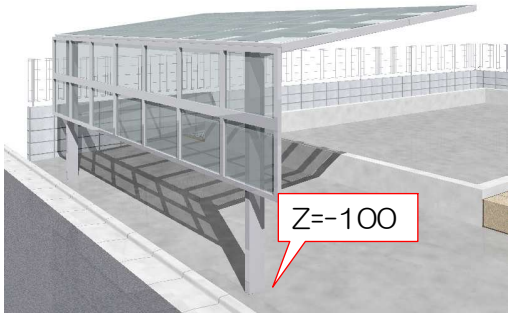
アンジュレーター作成の築山



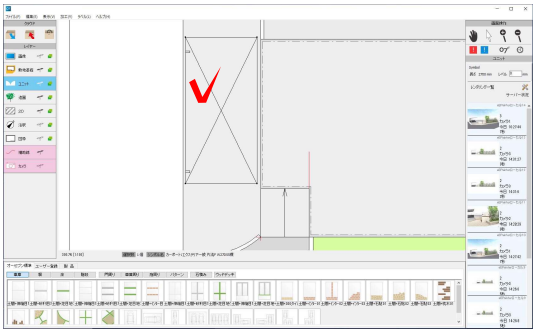
植栽が傾斜高さに合わせて配置できます。

テキスト アンジュレーター　P.285

【製品の配置高さ変更方法】



配置した製品の配置レベルを数値入力で変更できます。



1　配置した製品をクリックで選択します。



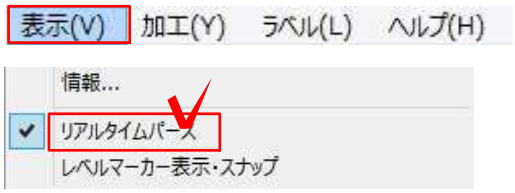
2　画面右上のレベル入力欄に数値を入力し、Enterキーを押します。

3Dを確認する

配置したユニットがどんな状態になっているか確認してみましょう。



リアルタイムパースで確認します。
この画面では作成中の図面の3Dがリアルタイムで確認・編集できます。



1　リアルタイムパース表示

1-1　「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。



リアルタイムパースが表示されます。

Webマニュアル［リアルタイムパース］
→［リアルタイムパース　基本操作］

視点を移動する

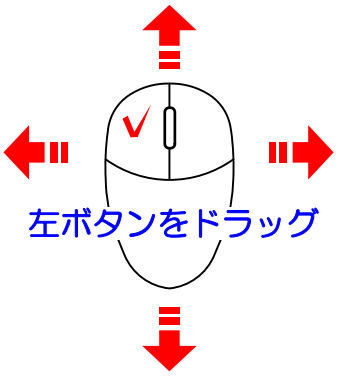
リアルタイムパースで視点を動かして、様々な角度から確認をしてみましょう。



画面右上の矢印ツール  を選択します。

【上下左右に回転】

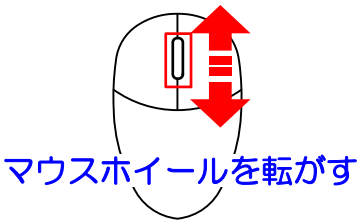
上へドラッグで「見上げる」、下へドラッグで「見下ろす」、左右へドラックで回転します。





【前後に移動】

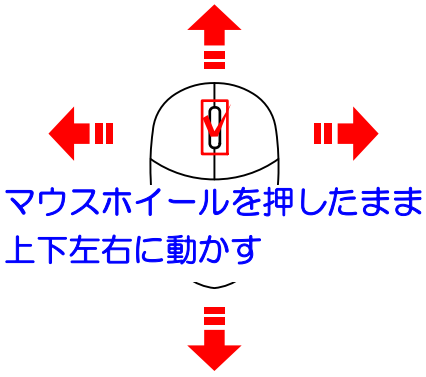
マウスホイールを上へ転がすと前へ、下へ転がすと後ろへ移動します。近づいたり遠のいたりします。





【上下左右に移動】

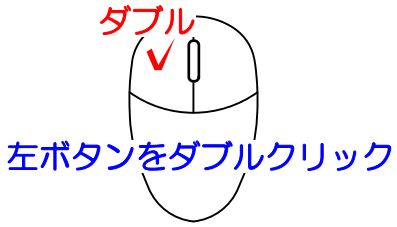
マウスホイールを押したまま上下左右に動かします。見たい部分が端に寄っている時に使用します。

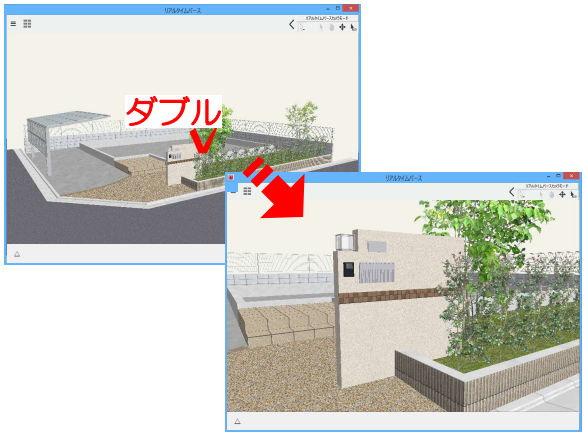




【指定した図形に近づく】

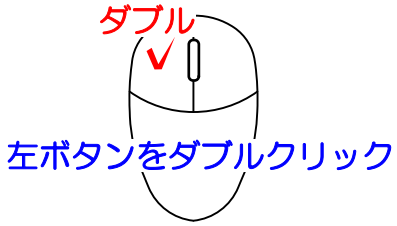
図形をダブルクリックするとその図形に近づきます。さらにダブルクリックすると、その図形を裏側から確認できます。
その後ドラックで回転すると、この図形を中心に回転します。

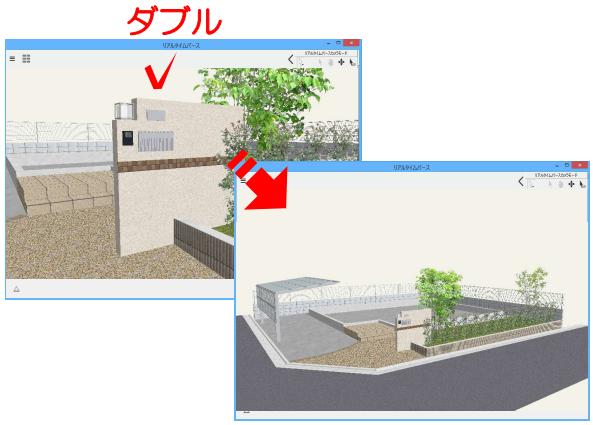




【全体を見る】

何も図形がない所をダブルクリックすると全体が表示されます。





【8方向から見る+選択した図形に近づく】

キーボードのテンキーを使用すると、ダブルクリックした図形を中心に8方向から確認できます。
また、クリックで図形を選択し0キーを押すと選択した図形に近づきます。再度0キーを押すと選択した図形から離れます。

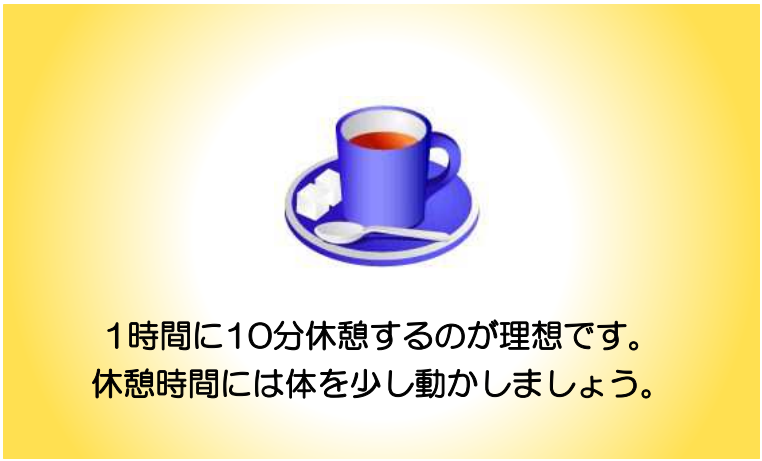
キーボードのテンキー

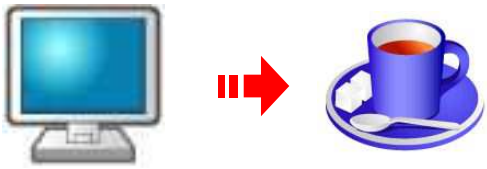
7 左斜後	8 後	9 右斜後
4 左	5	6 右
1 左斜前	2 前	3 右斜前
0 選択した図形に近づく		



休憩

作図がひと段落しました。休憩と保存はこまめに取りましょう。





1　休憩を取るタイミング

「これが終ったら休憩をしましょう」という決まりはありません。

45分程度作業をしたら、区切りの良い所で休憩を取りましょう。

タイマーなどをセットしておけば、「気が付いたら2時間！」なんてことも防げます。

2　運動

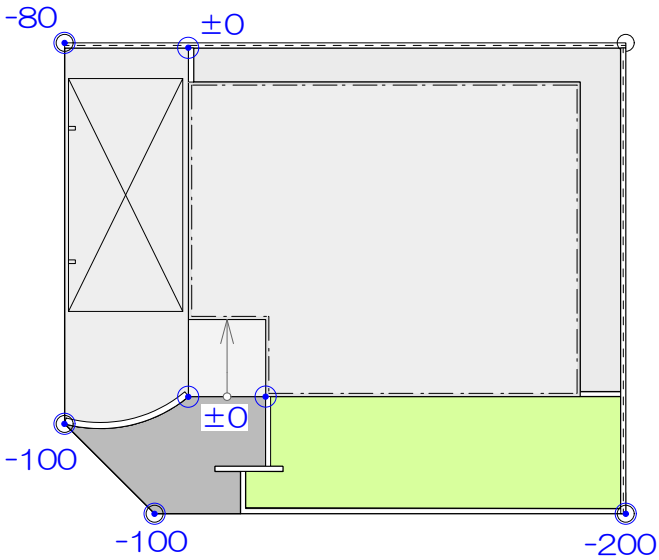
休憩の時はできるだけ体を動かしましょう。作図をしていると同じ姿勢で固まった状態になりやすく、目や肩が痛くなってしまうことがあります。

首や肩を回して、ゆっくり体を動かしましょう。

休憩してリフレッシュしてからの方が作図もはかどります。

レベルの設定をする

下の図を元に車庫・門周りのレベル設定をしましょう。

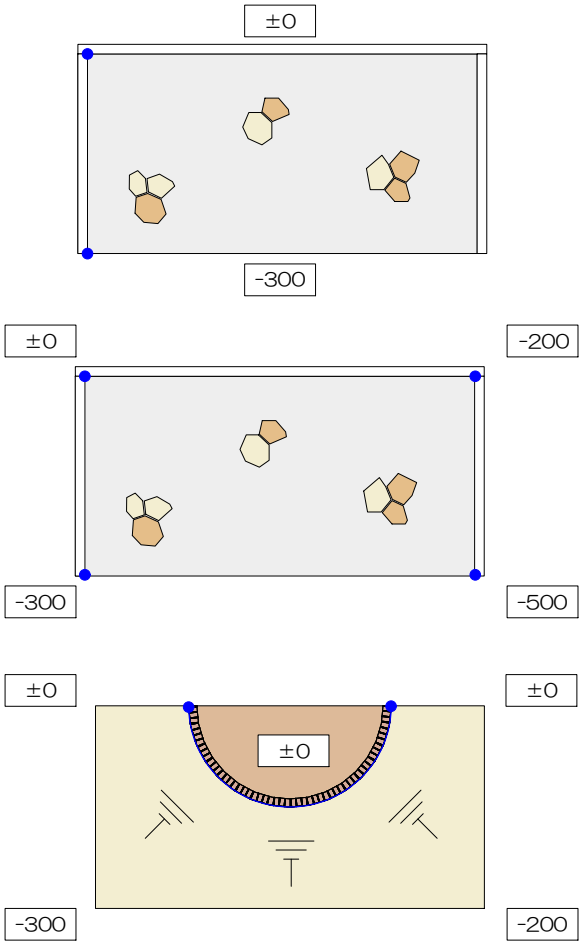


すべてのユニットの配置が終わったらレベル設定をしましょう。

レベルは各図形のあるレイヤで設定します。難しいところですが、練習をすれば徐々にわかるようになります。

Webマニュアル [レベル]→[レベル一括変換]

レベルの設定方法



レベルの設定方法です。場合によって何点レベルを指定するか使い分けをしながら、設定をします。

一定勾配の場合（2点）

高い方と低い方の図形の角をクリックして設定します。
例：-300から±0まで左右並行に勾配がつく場合。

ねじれ勾配の場合（3点以上）

それぞれレベルを設定したい図形の角をクリックして設定します。
例：道路側が-300と-500、宅地側が±0と-200の勾配がつく場合。

床レベル部分指定

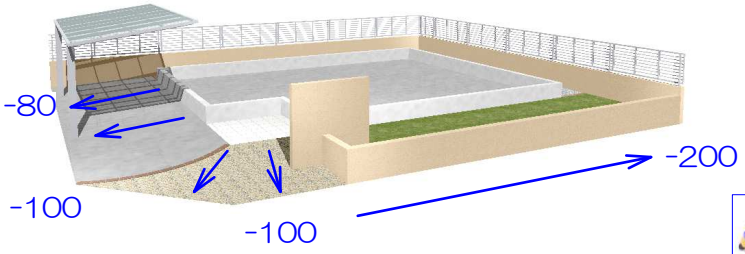
レベル一括変換で設定できない、詳細部分のねじれ勾配に使用します。
例：一つの図形の一部分のレベルを指定したい場合。



レイヤは「ユニット」

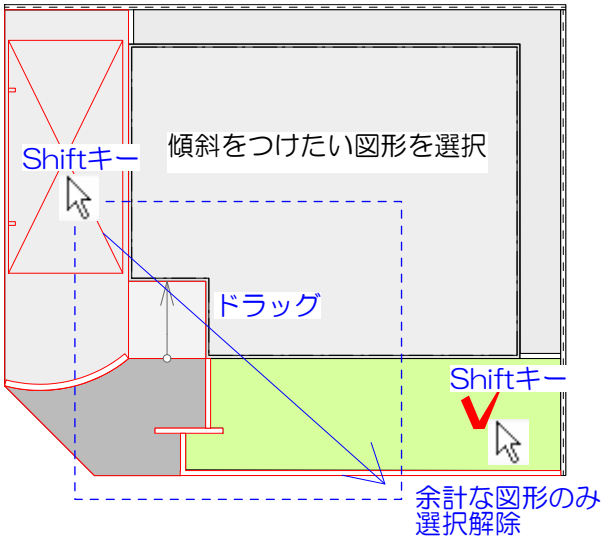
レベル一括変換

1　図形の選択



レベルを設定する図形を選択します。
ここでは、アプローチと駐車場の図形に勾配がつきます。

画面の拡大、縮小をして選択する部分が大きく見えるようにしておきましょう。



1-1　レベルを設定したい図形（左図赤線で表示されている図形）を選択します。

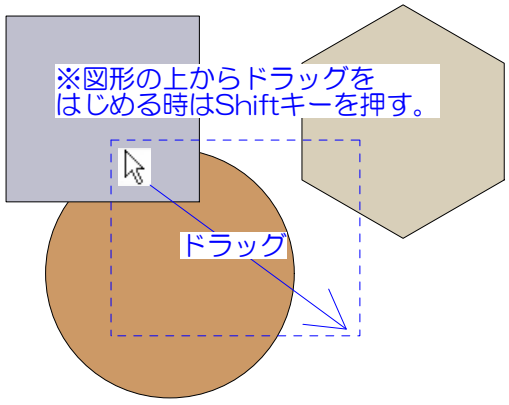
カーソルが の時、「Shift」キーを押たまま、左図の ---- の範囲をドラッグして図形を選択します。（または「Shift」キーを押したまま１つずつ図形をクリックします。）

余計な図形まで選択した場合は、解除したい図形を「Shift」キーを押したままクリックすると、選択を解除することができます。

選択した図形の周りに黒い点が表示されます。

境界の塀、見切り、砂利、芝以外を選択しましょう。

【図形の選択】

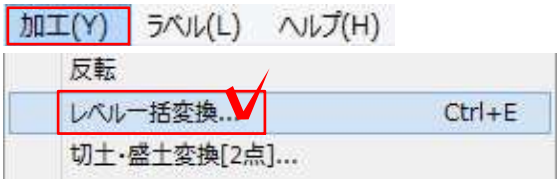


テキスト　基本操作　図形選択　P.30

マウスをドラッグして複数の図形を囲んで選択するときは、点線に図形の一部が触れていれば選択する事ができます。

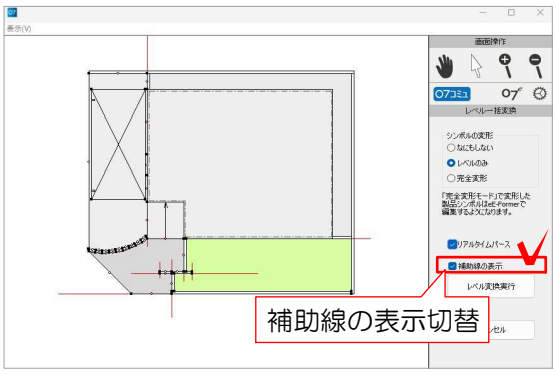
図形の上でドラッグを始めると、図形を移動してしまうので、Shiftキーを押したままドラッグをするか、図形がないところからドラッグを始めましょう。

2　レベル一括変換



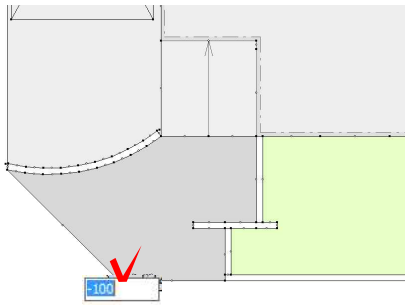
図形が選択できたら「レベル一括変換」を使ってレベルを設定します。

2-1　「加工」メニューの「レベル一括変換」を選択します。



レベル一括変換画面に切り替わります。

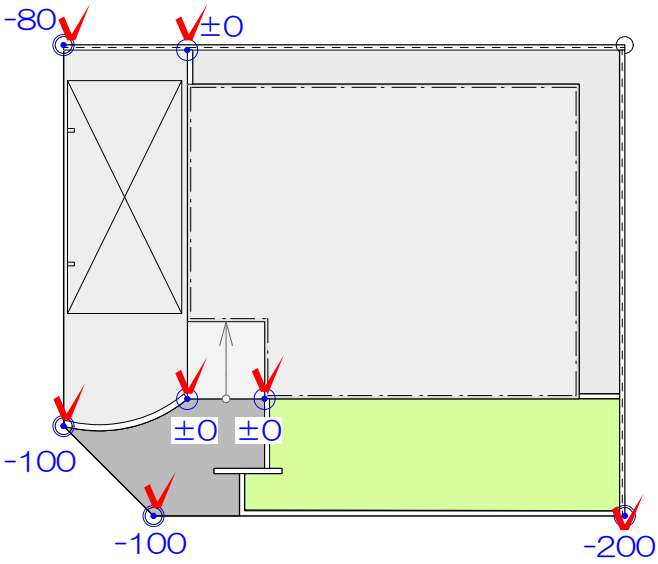
※　平面図に配置した補助線は、レベル一括変換画面にて表示／非表示を切り替えることができます。



2-2　レベル指定したい図形の頂点をクリックします。
※図形の頂点にカーソルを近づけると、カーソルが ┼ の形になります。

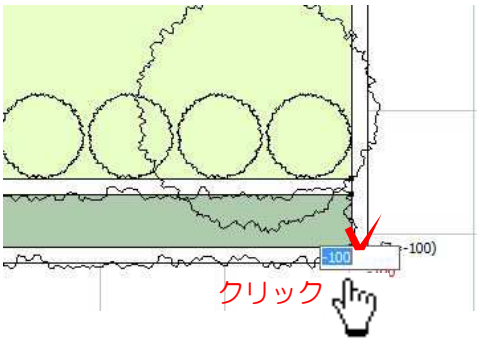
レベル入力欄が表示されます。

2-3　レベル入力欄に数字を入力し、Enterキーを押します。



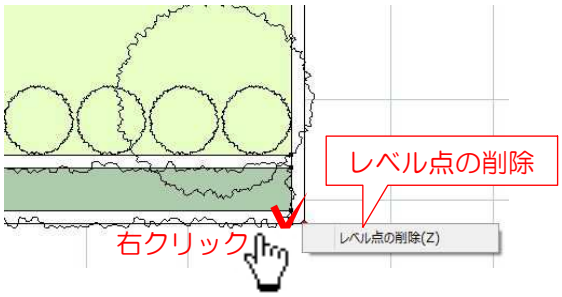
2-4　全ての点のレベル入力をします。

【レベルを入力した点の変更・削除】



レベルを入力した点にカーソルを近づけると のカーソルになります。

【レベルの変更】
の時にクリックするとレベルの入力欄が表示されます。
数字を入れ直してEnterキーを押します。



【レベル点の削除】
の時に右クリックし「レベル点の削除」をクリックします。



2-5　画面右上の「シンボルの変形」の「レベルのみ」にチェックを入れます。

「シンボルの変形」は、通常「レベルのみ」にチェックを入れましょう。

2-6　画面右下の「レベル変換実行」ボタンをクリックします。

選択した図形にレベルが設定されました。

保存しましょう。

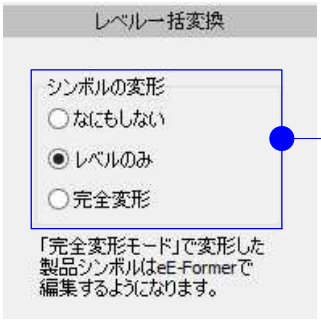


レベル一括変換後にユニットを配置した場合は、もう一度レベル一括変換をします。

リアルタイムパースで確認しましょう。

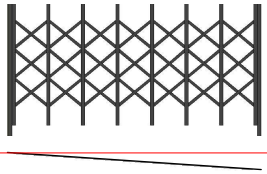
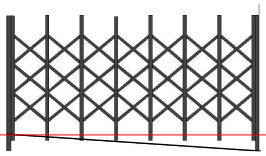
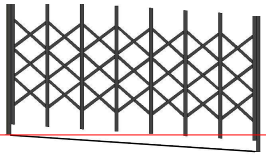
【シンボルの変形詳細】

製品(シンボル)を選択している場合は【シンボルの変形】の設定に注意しましょう。

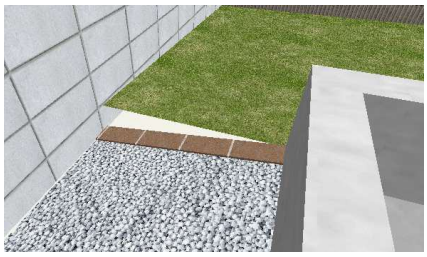


シンボルの変形を指定します。
通常は【レベルのみ】に設定します。

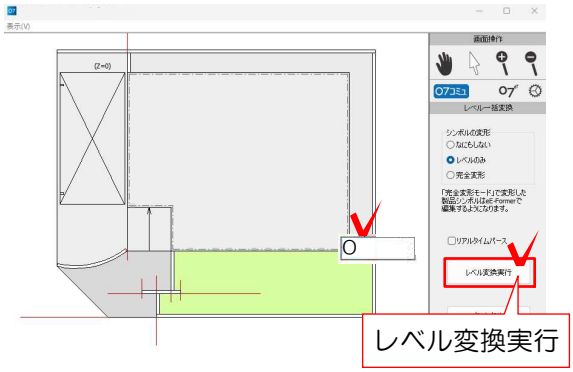
[なにもしない]＝配置した状態のままにします。
[レベルのみ]＝レベルに合わせて高さを変えます。
[完全変形]＝レベルに伴い形を変形します。
※設定後はeE-Formerで編集するようになります。

何もしない	レベルのみ	完全変形
		
配置したままなので浮いた状態になります。	形はそのままで、一番低いレベルの高さに合わせます。 ※門扉、カーポート機能門柱など･･･	レベルに合わせて全体の形を変形します。 ※伸縮門扉、車、平板、枕木、U字溝など

【床やレンガラインを平らにしたいときは・・・】



平らにしたい床やレンガラインが、設定したい位置よりも低いまたは高い場合、斜めになっている場合は、**レベル一括変換または各設定画面**で調整をします。



編集方法【その1】　レベル一括変換

1-1　平らにしたい図形を全て選択し、加工メニューからレベル一括変換を選びます。

1-2　任意の点をクリックしレベルを入力します。

1-3　レベル変換実行をクリックします



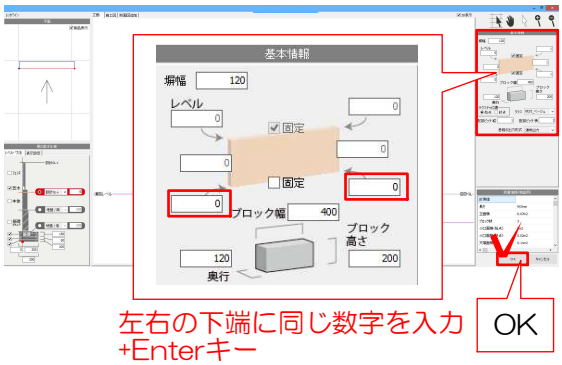
編集方法【その2】　各設定画面で調整

・床の図形

2-1　ダブルクリックして設定画面を表示します。

2-2　全体レベルを入力しEnterキーを押します。

2-3　OKをクリックします。



・レンガラインの図形

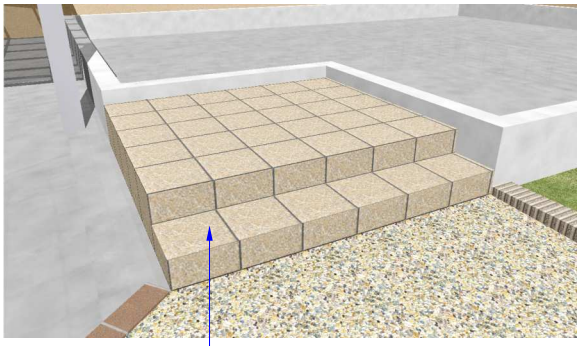
3-1　ダブルクリックして設定画面を表示します。

3-2　左右の下端のレベルに同じ数字を入力します。

3-3　OKをクリックします。

階段の設定をする

下の図を元に階段の設定をしましょう。



階段をダブルクリックすると、設定画面(階段デザイナー)が起動します。
高さ・段数・踏面幅・蹴上の仕上げが設定できます。

［階段デザイナー］
→［階段デザイナーの画面概要］

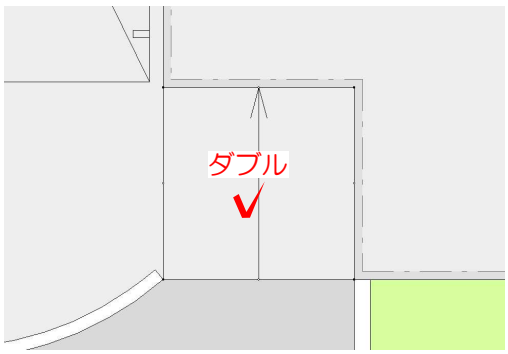


レイヤは「ユニット」

1　階段設定



階段の設定をします。



画面の拡大、縮小をして階段が大きく見えるようにしておきましょう。

1-1　レイヤを「ユニット」にし、配置した階段をダブルクリックをします。

【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは・・・】



レイヤは「ユニット」になっていますか？
それ以外のレイヤボタンが押されていると階段が選択できません。



階段の設定画面が表示されます。
「断面設定」から「仕上げ」まで順番に設定をしていきます。

断面設定



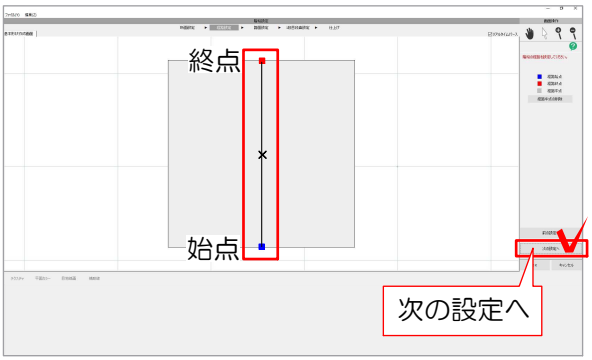
階段の高さ・段数を設定します。

「断面設定」で階段を上った所の高さ(天端レベル)、階段の上り始めの高さ(下端レベル)、段数を設定します。

1-2　作成したい階段は
天端レベル：**GL+300**
下端レベル：**GL±0**
段数：**2段**
上記のように高さと段数を設定します。

1-3　入力したら、「次の設定へ」をクリックし次の工程に進みます。

経路設定



階段の経路を設定します。

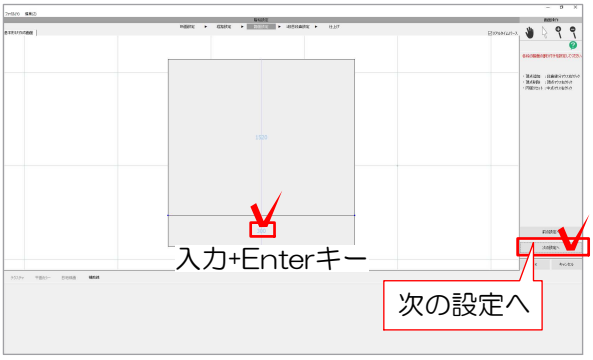
「経路設定」で人が通る経路の設定をします。大抵は設定をせず、そのまま進みます。

1-4　階段の中央に表示されている線の上を人が歩くラインだと考えてください。
形状が複雑な階段でなければ、設定をせずにそのまま進みましょう。

設定をする場合は、ライン中央にある×をドラッグすると、線の形状を変形する事ができます。

1-5　「次の設定へ」をクリックし、次の工程に進みます。

踏面設定



踏面を設定します。

「踏面設定」で階段1段目の踏面幅を設定します。

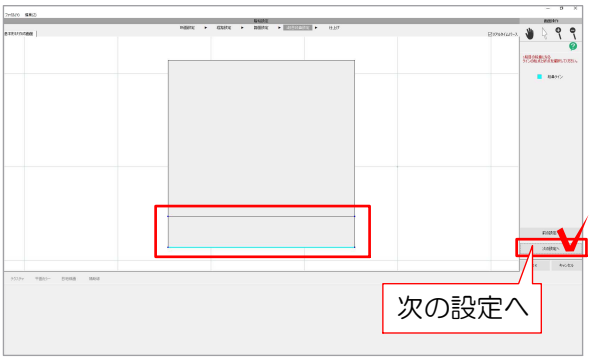
1-6　指定したい踏面の数値にマウスを合わせ、 になったらクリックします。

1-7　数値入力欄が表示されたら、指定したい数値を入力してEnterキーを押します。

1段目の踏面幅：300
で設定します。

1-8　各段の幅が指定できたら「次の設定へ」をクリックし、次の工程に進みます。

1段目段鼻設定



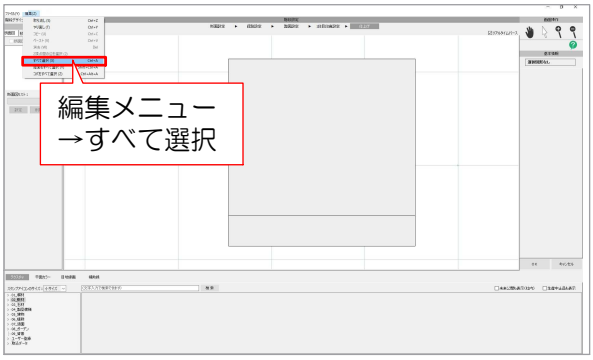
1段目の段鼻を設定します。
水色になっている部分が1段目の段鼻となります。

1-9　1段目の段鼻のラインが合ってることを確認し、問題なければそのまま進みましょう。

設定をする場合は、1段目の段鼻になるラインを始点→終点の順番にクリックします。

1-10　「次の設定へ」をクリックし、次の工程に進みます。

仕上げ



階段の仕上げを設定します。
踏面・蹴上の仕上げや目地の設定ができます。

タイルの色を変更します。

1-11　「編集メニュー→すべて選択」を選び、変更したい段をすべて選択します。



1-12　画面下に表示されているテクスチャ選択画面から使用したいテクスチャを選択し、階段の図形にドラッグします。

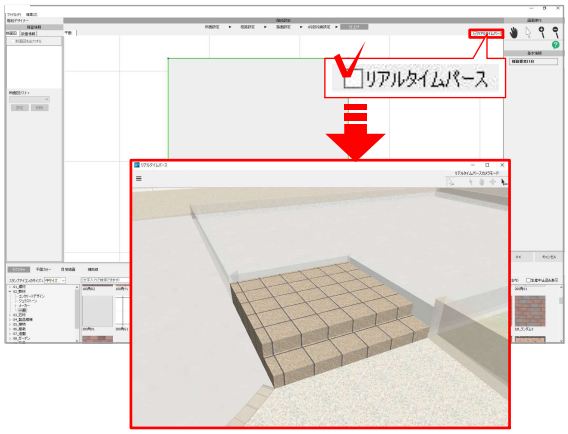
02_敷材→一般→300角タイルB01

リアルタイムパースで確認しましょう。



【リアルタイムパースの表示】

リアルタイムパースを表示させていると、階段の設定画面(階段デザイナー)での編集もリアルタイムで確認することができます。



リアルタイムパースを表示していない場合は、右上の「リアルタイムパース」にチェックを入れると表示されます。

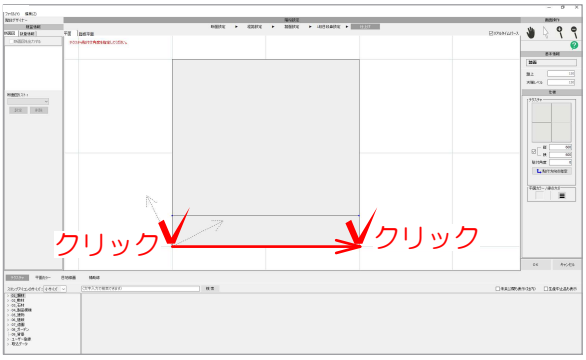


タイルの貼り付け方向を指定します。

1-13　1段目をクリックします。

現在の貼付開始位置（貼付方向）が確認できます。

1-14　「貼付方向の指定」をクリックします。

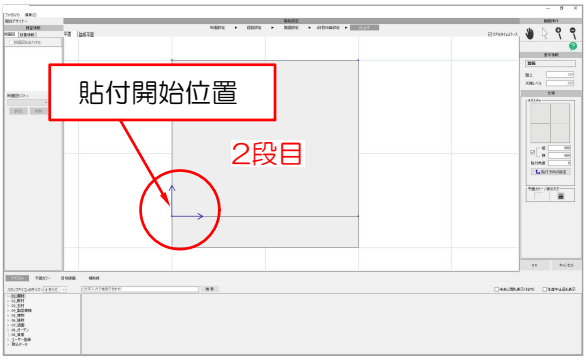


1-15　貼付け開始位置となる頂点をクリックします。

1-16　テクスチャを貼る方向をクリックで指定します。

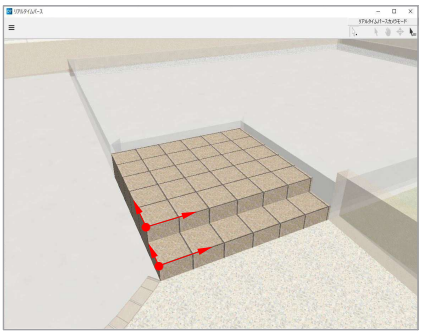


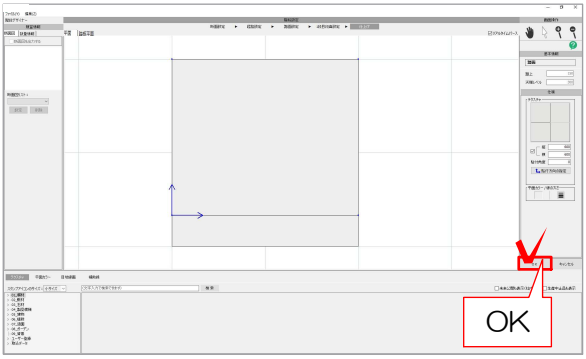
テクスチャ方向が設定され矢印がつきます。



1-17　２段目も同様の手順で左下の角に開始位置を指定します。

リアルタイムパースで確認してみましょう。





1-18　「OK」をクリックします。

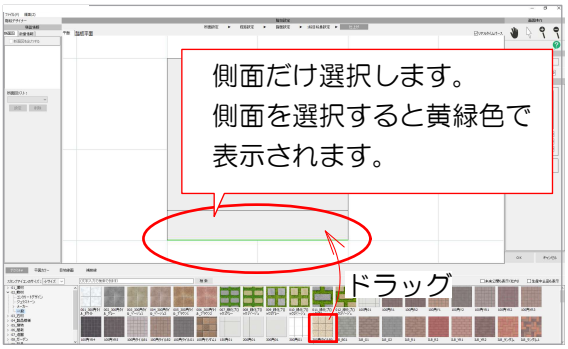
【リアルタイムパースでのテクスチャ移動】



階段の設定画面(階段デザイナー)で編集中は、リアルタイムパース右上に  ボタンが表示されます。
こちらのツールに切り替えるとドラッグでテクスチャの移動ができます。

タイルなど目地を合わせたい場合に便利です。

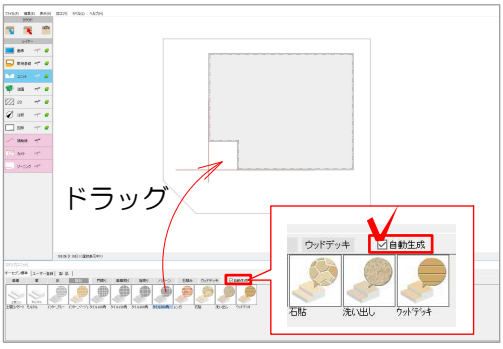
仕上げ



仕上げの画面ですべて選択してテクスチャを設定すると、すべての面のテクスチャが一緒に移動するようになります。

側面だけ動かしたい場合は、側面だけ選択してテクスチャを設定しましょう。

【階段自動生成】



「自動生成」にチェックを入れてから、階段をドラッグで配置します。

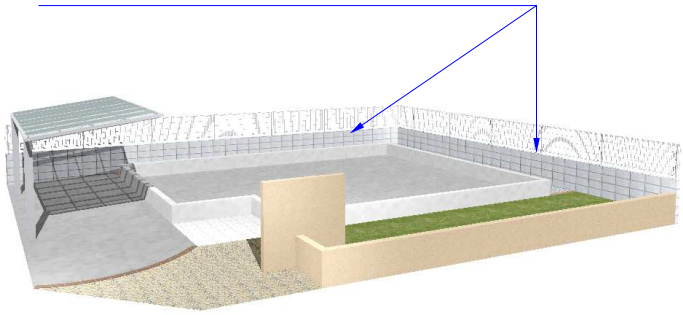


段数・蹴上・踏面幅を入力し「OK」をクリックすると階段が作成されます。

塀の設定をする

下の図を元に塀の設定をしましょう。

塀1・塀2：CB　4段積（天=GL+800）
+メッシュフェンス　H=800



塀をダブルクリックすると、設定画面(塀デザイナー)が起動します。
塀の高さ、形、種類、笠木、付属製品の選択、一部にレンガや石貼をつける、巾木を付けるなどができます。
ここではよく使う機能を練習します。

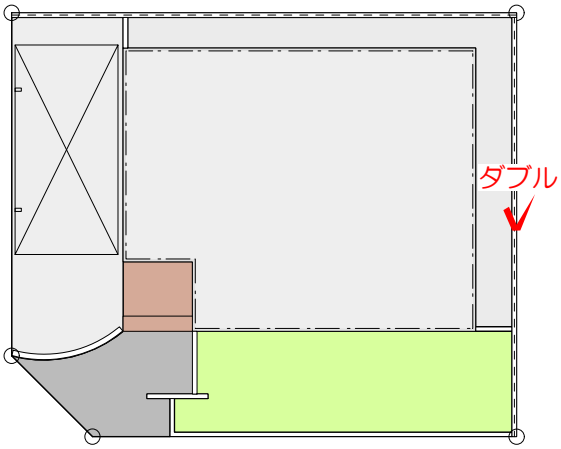
[塀デザイナー]
→[塀デザイナーの概要]

[塀デザイナー]
→[塀デザイナーの画面構成]



レイヤは「ユニット」

1　塀1：ﾌﾞﾛｯｸ+ﾌｪﾝｽ塀の設定



ブロックの上にフェンスをのせる塀の設定をします。

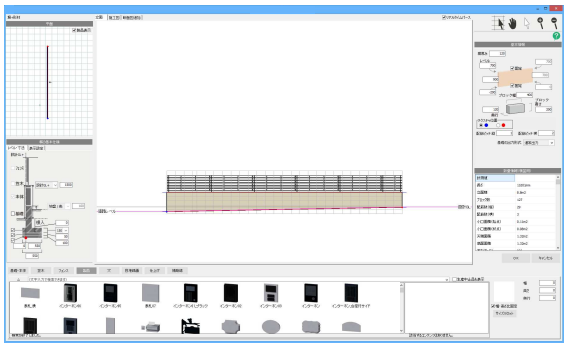
画面の拡大、縮小をして境界塀の一部が大きく見えるようにしておきましょう。

1-1　レイヤを「ユニット」にし、右の境界塀を**ダブルクリック**します。

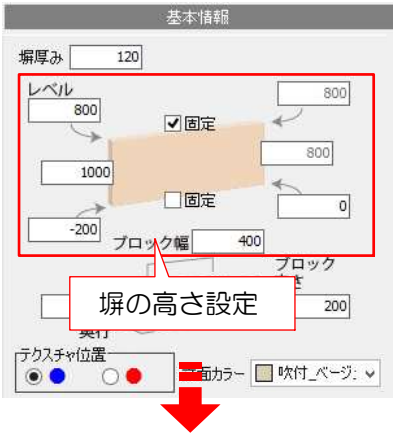
【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは・・・】



レイヤは「ユニット」になっていますか？
それ以外のレイヤボタンが押されていると塀が選択できません。



塀の設定画面(塀デザイナー)が表示されます。



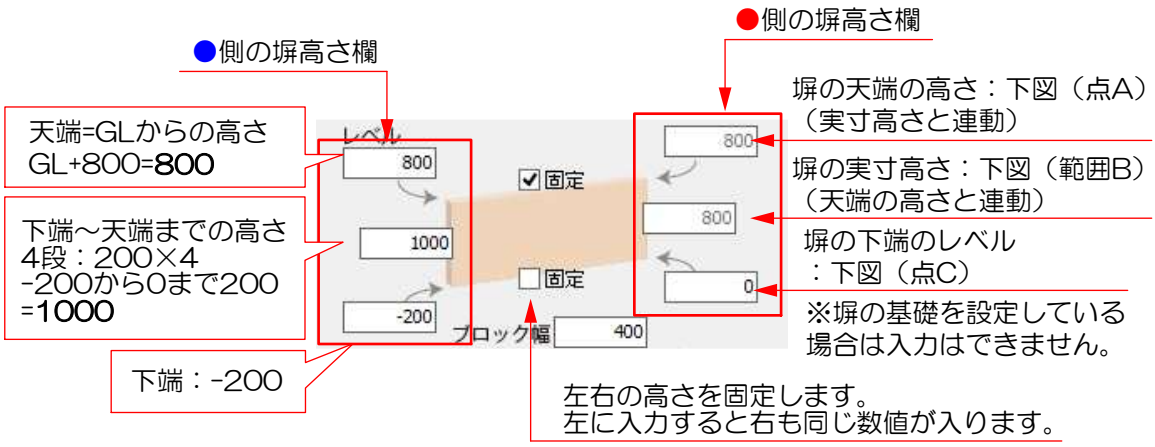
塀の高さを設定します。

1-2　作成したい塀は
高さ：CB4段積（=800）
下端：-200
（下端=ブロックの一番下のレベル）

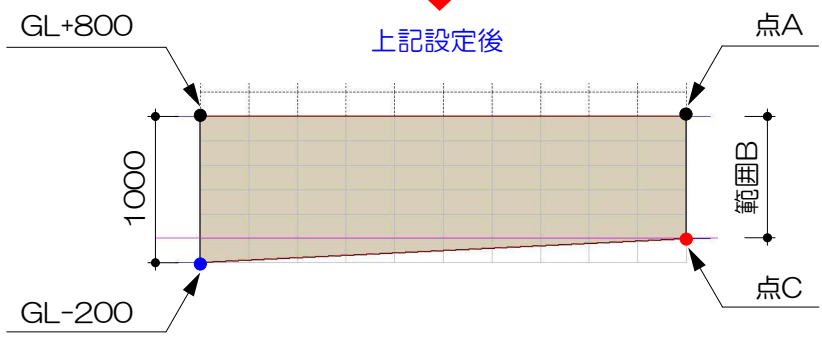
下図のように高さを設定します。

【塀の設定詳細】

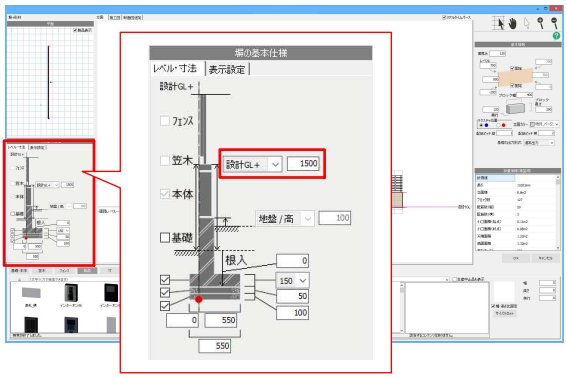
【立面設定】



【立面図】



【塀の高さ変更】

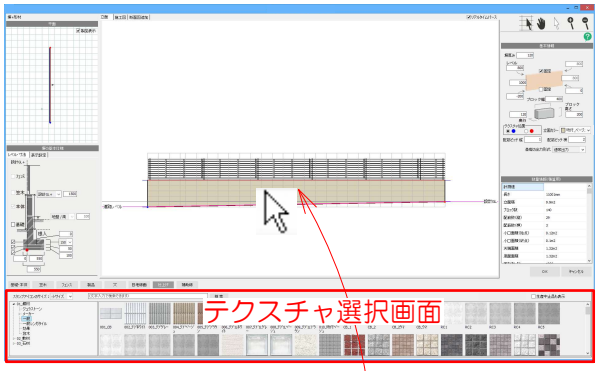


画面左側にある塀の基本仕様の
本体の天端ライン「設計GL」に入力しても高さの変更ができます。



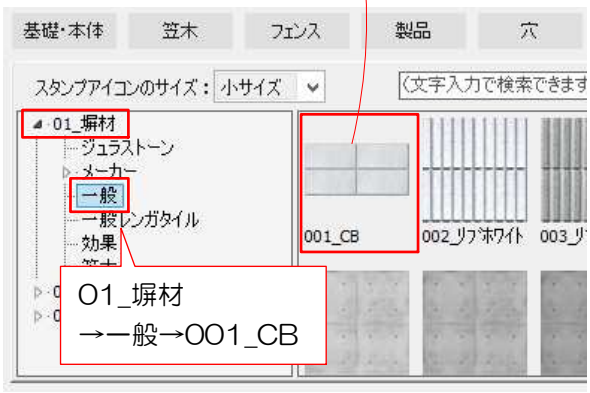
塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。

1-3　画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。



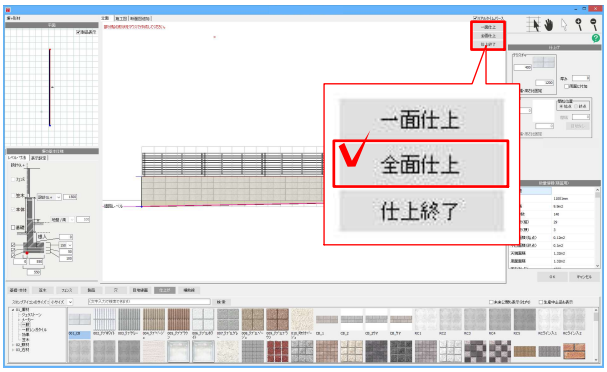
画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

ドラッグ

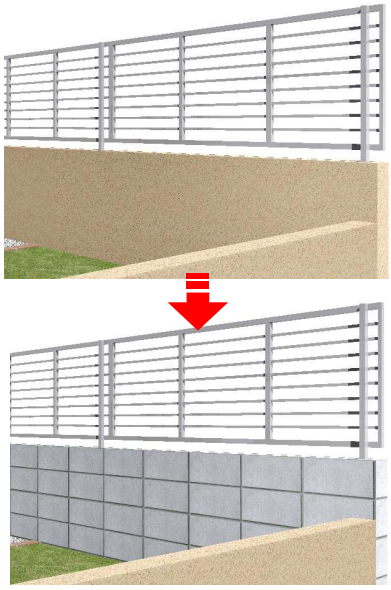


1-4　使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

01_塀材
　→一般→001_CB



1-5　右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。



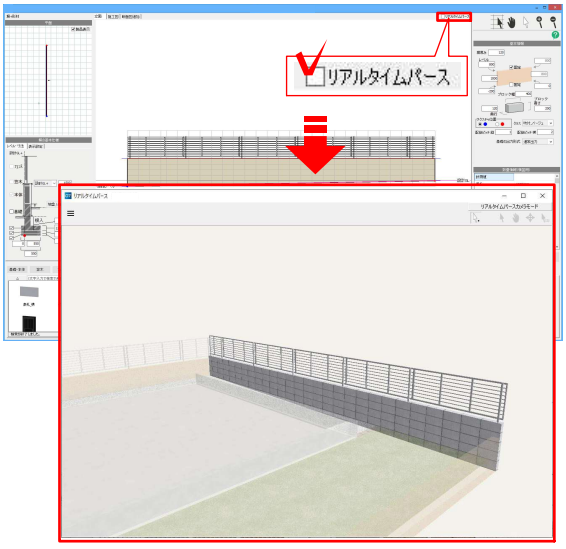
塀のテクスチャ(素材の模様)がCBに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

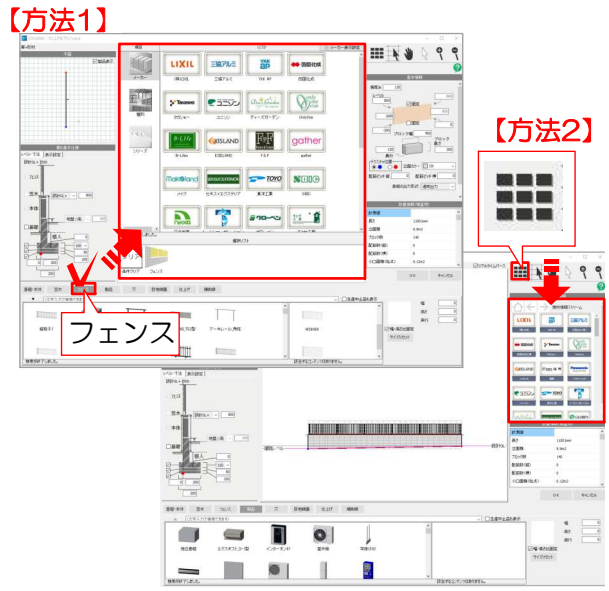
リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

【リアルタイムパースの表示】

リアルタイムパースを表示させていると、塀の設定画面(塀デザイナー)での編集もリアルタイムで確認することができます。



リアルタイムパースを表示していない場合は、右上の「リアルタイムパース」にチェックを入れると表示されます。

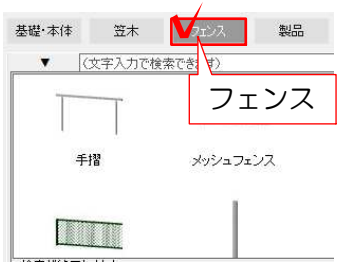


フェンスを設定します。

フェンスを設定するには2つの方法があります。どちらかの方法でフェンスを設定してみましょう。

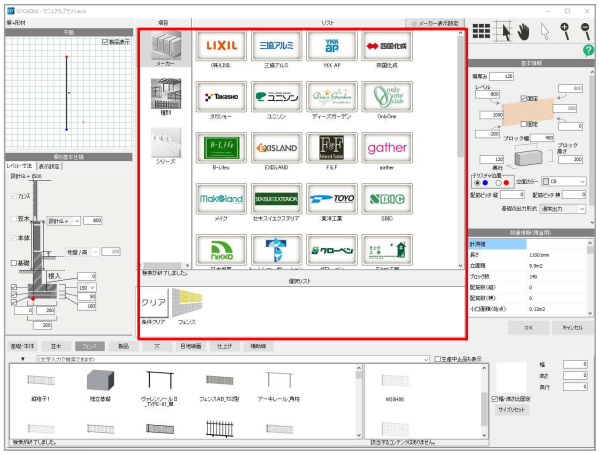
【方法1】「フェンス」から配置
画面下「フェンス」から配置します。

【方法2】　建材情報ストリームから配置
画面右上の  ボタンから「建材情報ストリーム」を表示させフェンスを配置します。P.104～



【方法1】　「フェンス」から配置

1-6　画面左下の「フェンス」ボタンをクリックします。



製品選択画面が表示されます。

フェンス
エクステリアー般
メッシュフェンス　サイズ：H800
を選択し、ドラッグして配置しましょう。

1-7　製品選択画面左上で

メーカー：**エクステリアー般**
シリーズ：メッシュフェンス
をクリックします。

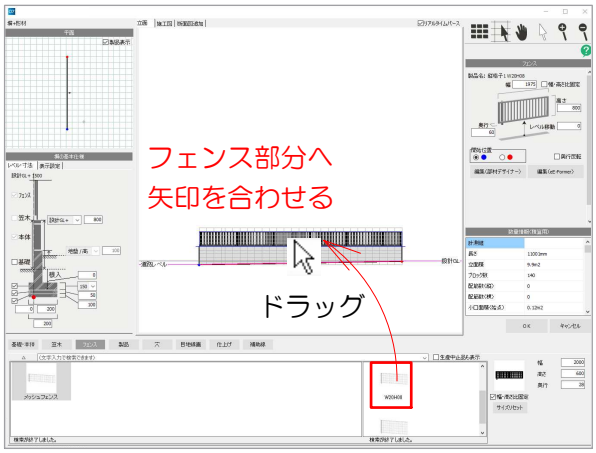


画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。



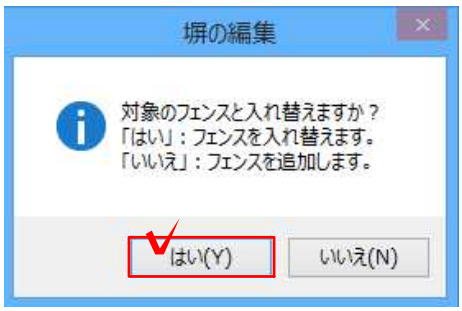
1-8　左下の「メッシュフェンス」をクリックします。

画面右側にサイズ一覧が表示されます。



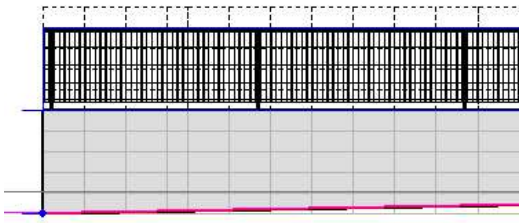
1-9　右下の「W20H08」を立面図上のフェンス部分に向かってドラッグします。

フェンスを入れ替える場合は、立面図のフェンス部分へドラッグしましょう。
他の部分にドラッグするとフェンスが追加されてしまいます。

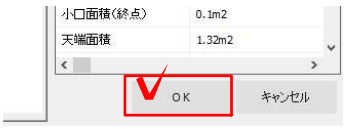


メッセージが表示されます。

1-10　フェンス入れ替えのメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。

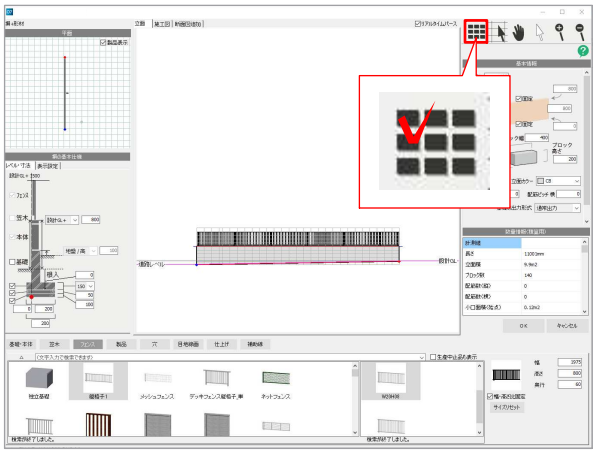


フェンスが変更できました。



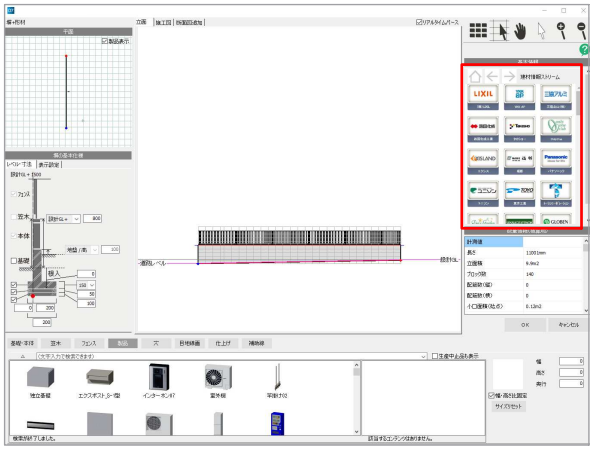
1-11　画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

次の塀を設定しましょう。P.106へ



【方法2】　建材情報ストリームから配置

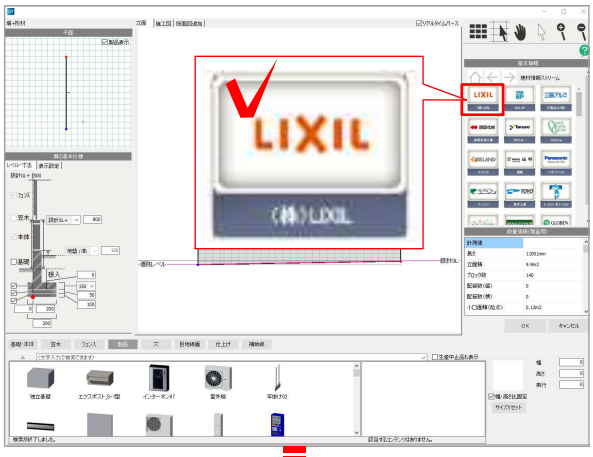
1-6　画面右上の  ボタンをクリックします。



建材情報ストリームが表示されます。

フェンス
LIXIL
ハイグリッドフェンスUF8型
サイズ：H800

を選択し、ドラッグして配置しましょう。



1-7　画面右側の建材情報ストリームで

メーカー：LIXIL
種別：フェンス
シリーズ：ハイグリッドフェンスUF8型

をクリックしていきます。

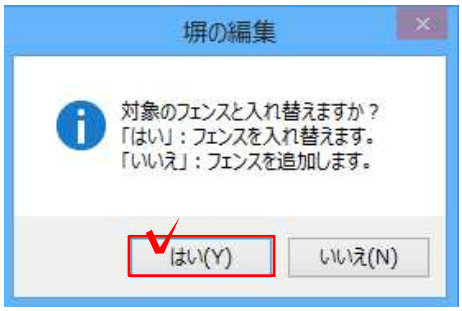


サイズ一覧が表示されます。



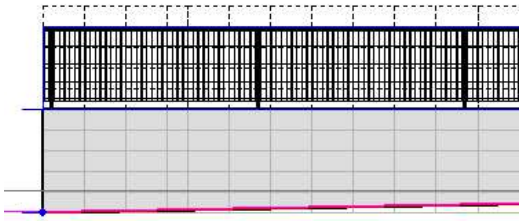
1-8　サイズ一覧から「H800」を選び、07CADへドロップ を立面図上のフェンス部分に向かってドラッグします。

フェンスを入れ替える場合は、立面図のフェンス部分へドラッグしましょう。
他の部分にドラッグするとフェンスが追加されてしまいます。



メッセージが表示されます。

1-10　フェンス入れ替えのメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



フェンスが変更できました。

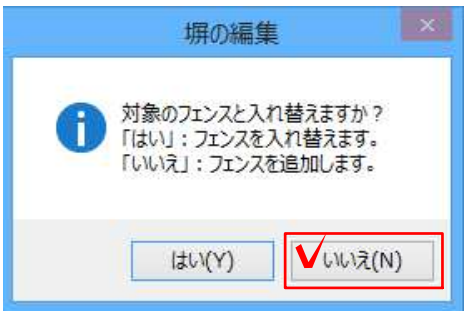


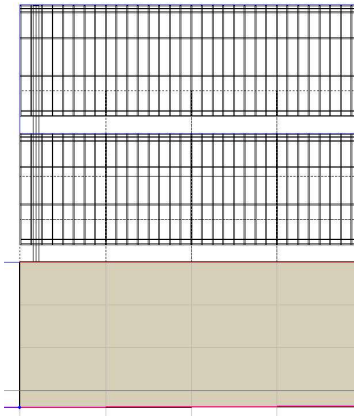
1-11　画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

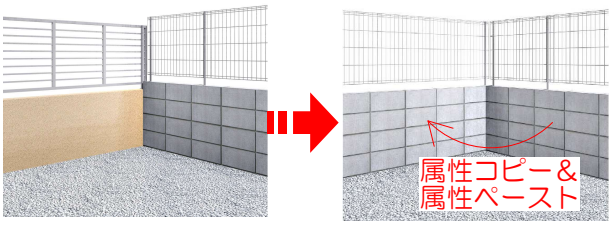
次の塀を設定しましょう。

【フェンスの追加】

「対象のフェンスと入れ替えますか？」のメッセージで「いいえ」を選択すると、フェンスの追加ができます。







2　塀2：塀の設定をｺﾋﾟｰする

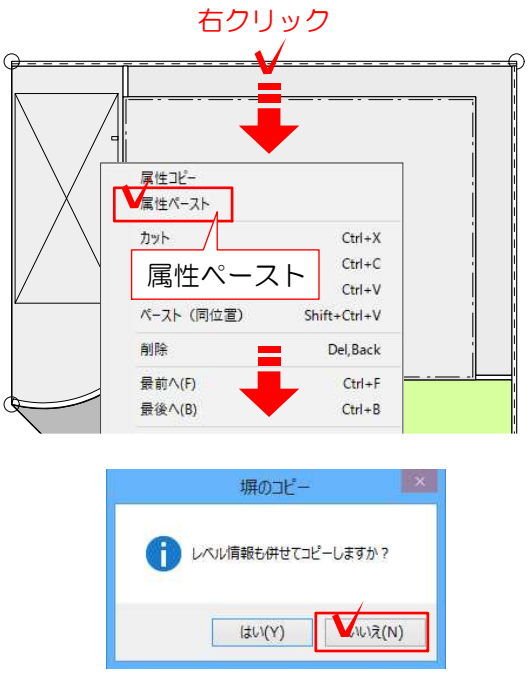
1で作成したブロック+フェンスの設定をコピーして、別の塀にペーストする事ができます。

画面の拡大、縮小をして境界塀の一部が大きく見えるようにしておきましょう。



2-1　レイヤを「ユニット」にし、右の境界塀を**右クリック**します。

2-2　「属性コピー」を選択します。



2-3　同じ設定にしたい、上の境界塀を右クリックし、「属性ペースト」を選択します。

「レベル情報も併せてコピーしますか」とメッセージが表示されます。

2-3　「いいえ」をクリックします。

塀の下端レベルもコピーしたい場合は「はい」、コピーしたくない場合は「いいえ」を選びます

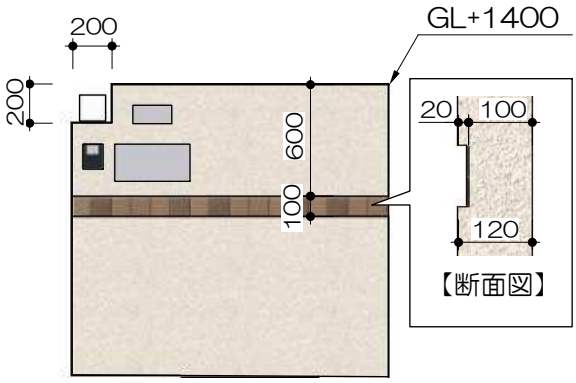
【属性コピーできる項目】

属性コピーできる設定は、塀の高さ、天端の形状、シンボル、穴シンボル、笠木、仕上げ、目地線画等です。
塀に基礎が設定されている場合は下端レベルはコピーされません。また、塀の長さが異なると天端の形状やシンボルの配置位置が変わりますので注意しましょう。

Webマニュアル [塀デザイナー]→[塀ユニットの設定のコピー＆ペースト（属性コピー）]



塀3：門塀　CB120
天端=GL+1400
吹付けベージュ+一部タイル貼
照明・表札・ポスト・インターホン

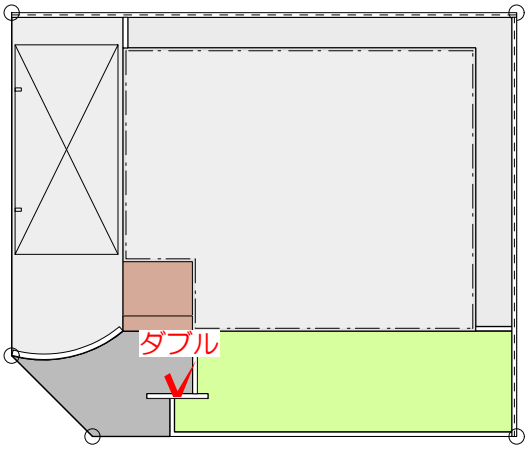


【立面図】

3　塀3：門塀
ﾌﾞﾛｯｸ+ﾎﾟｽﾄ・表札・照明などの設定

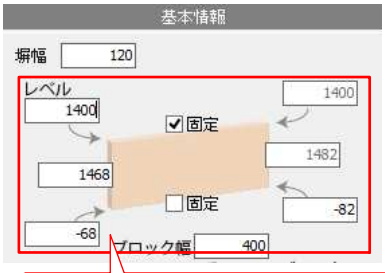
塀の天端=GL+1400
　左端に200×200の段差
仕上げ　吹付けベージュ
一部タイル貼り
照明・表札・ポスト・インターホン

画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。



3-1　ポーチ前に配置した門塀をダブルクリックします。

塀の設定画面(塀デザイナー)が表示されます。



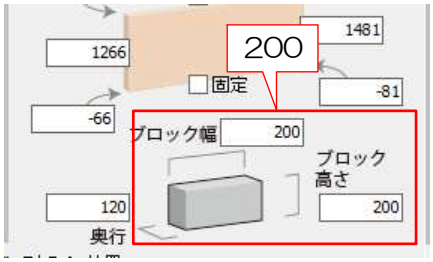
天端：1400
下端：入力されている数値

塀の高さを設定します。

3-2　作成したい塀は

CB積（GL+1400）
→天端：+1400
（天端：塀の一番高いところ）
下端：入力済み
※レベル一括変換で既に設定されています。

左図のように高さを設定します。



塀の形を設定します。

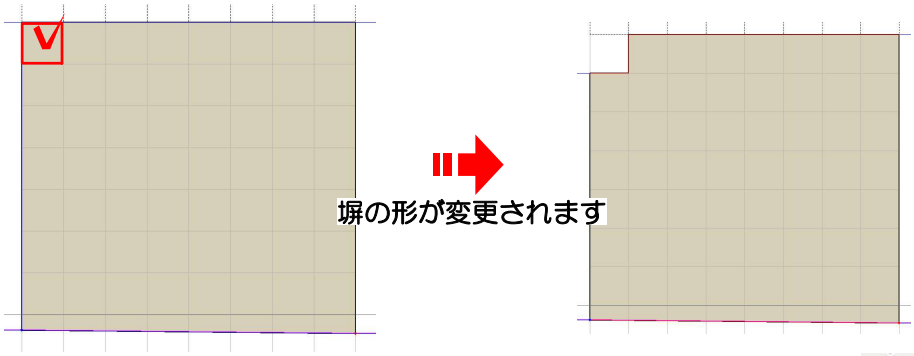
3-3　左端に200×200の段差を作成しますので、ブロック幅を200に変更します。

立面図のグリッドが200×200に変更されます。

3-4　右上の  のツールに変更します。



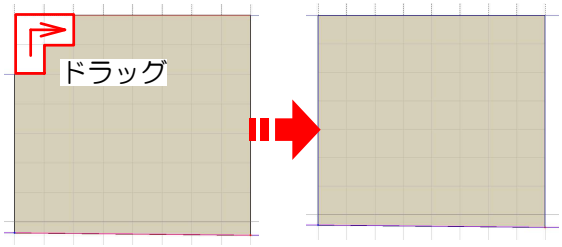
3-5　立面図で塀を段差にしたい部分(左上の角)をクリックします。



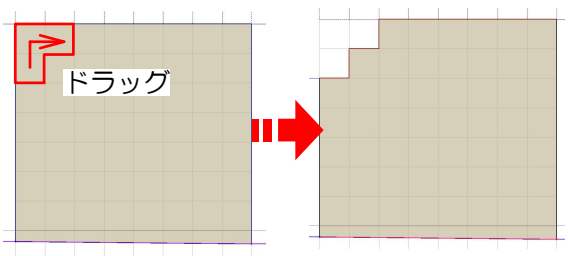
3-6　作業が終わったら  をクリックしてツールを戻します。

【塀の形状変更】

右上の  のツールでは、ブロックサイズに合わせてクリックまたはドラッグすると、塀を描き足したり部分的に削除することができます。



塀がない部分をクリックまたはドラッグすると、塀を描き足すことができます。

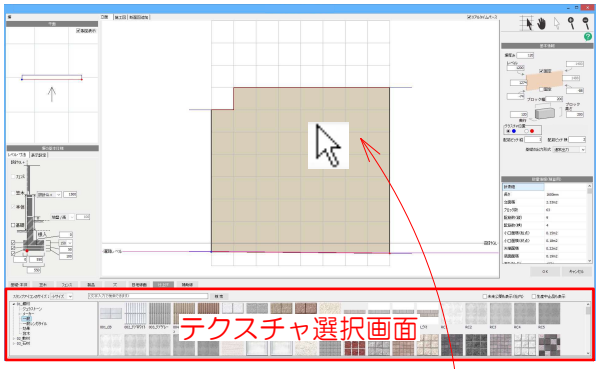


塀がある部分をクリックまたはドラッグすると、塀を部分的に削除することができます。

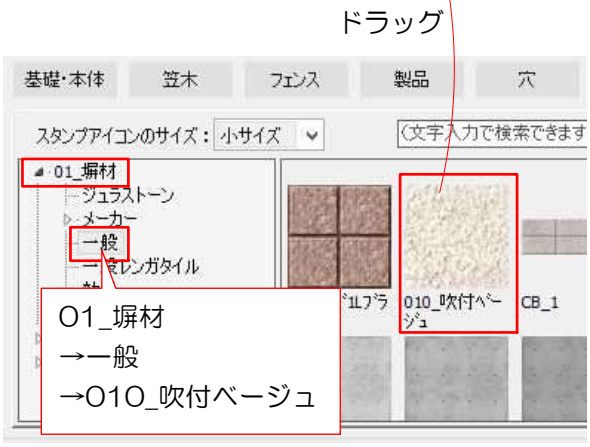


塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。

3-7　画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。

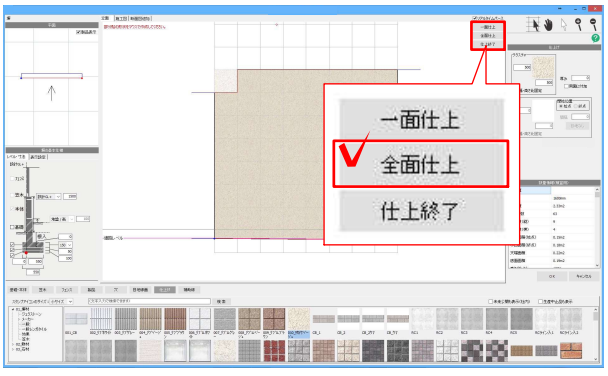


画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

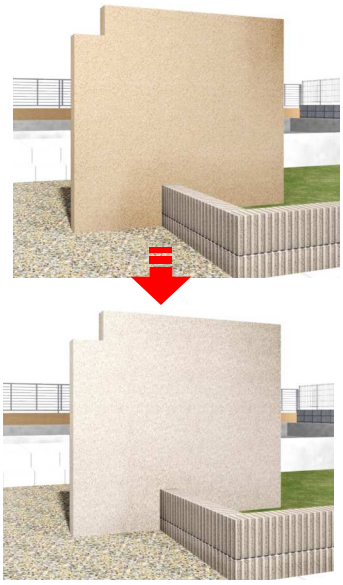


3-8　使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

01_塀材
　→一般
　→010_吹付ベージュ



3-9　右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。



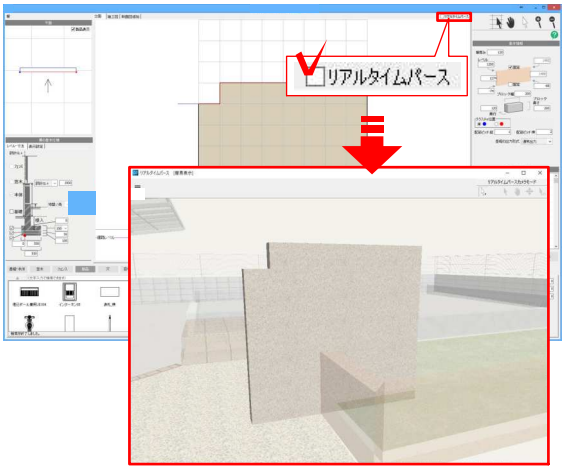
塀のテクスチャ(素材の模様)が吹付ベージュに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

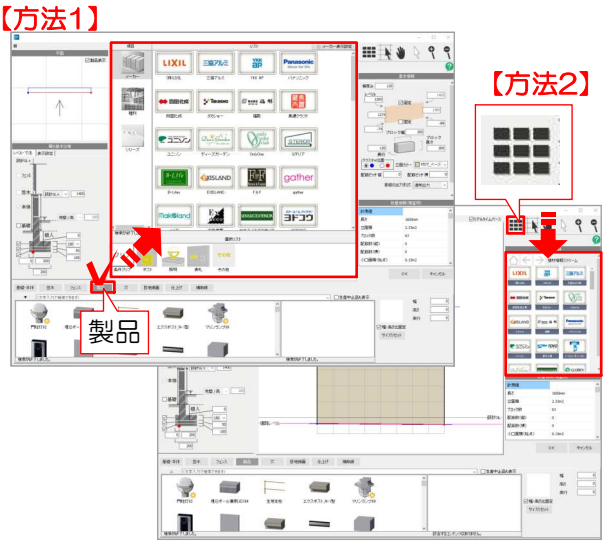
リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

【リアルタイムパースの表示】

リアルタイムパースを表示させていると、塀の設定画面(塀デザイナー)での編集もリアルタイムで確認することができます。



リアルタイムパースを表示していない場合は、右上の「リアルタイムパース」にチェックを入れると表示されます。



製品(照明・表札・インターホン・ポスト)を選択して塀に配置します。
製品を配置するには2つの方法があります。どちらかの方法で製品を配置してみましょう。

【方法1】「製品」から配置

画面下「製品」から配置します。P.111～

【方法2】　建材情報ストリームから配置

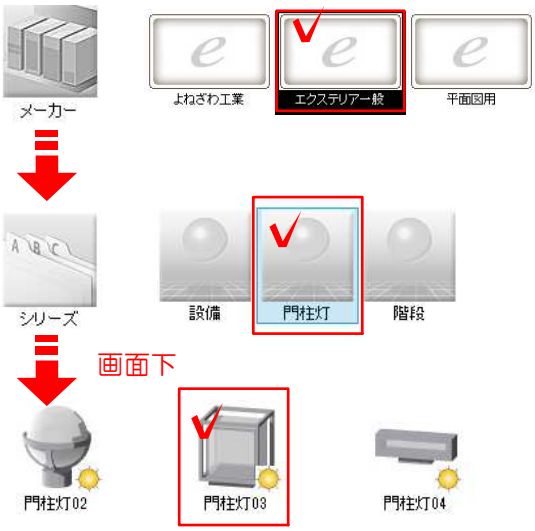
画面右上の　ボタンから「建材情報ストリーム」を表示させ製品を配置します。P.115～



【方法1】「製品」から配置

照明を選択して塀に配置します。
エクステリアー般→門柱灯→門柱灯03

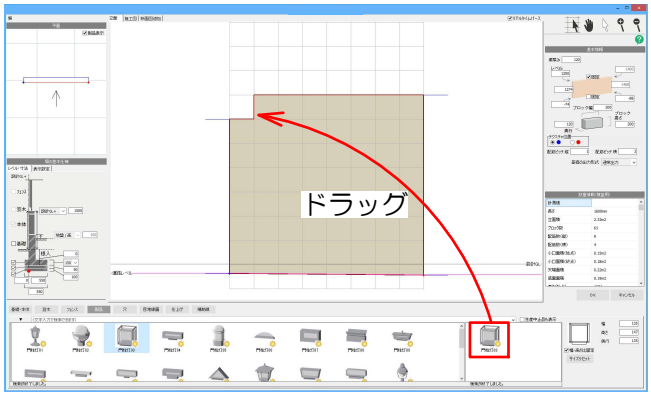
3-10　画面左下の「製品」ボタンをクリックします。



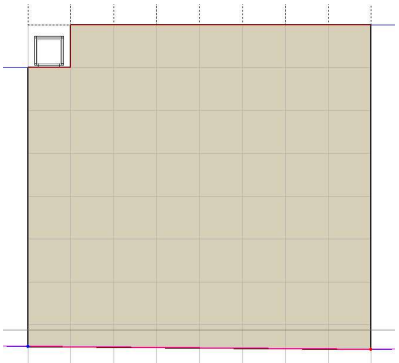
3-11　製品選択画面左上で

メーカー：**エクステリアー般**
シリーズ：門柱灯
をクリックします。

画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。



3-12　「門柱灯03」を塀にドラッグして配置します。



照明が配置されました。

配置したシンボルはドラッグして移動する事ができます。



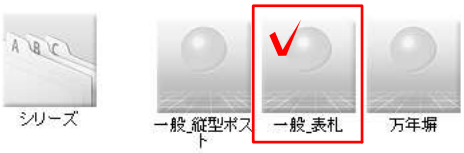
表札を選択して塀に配置します。
エクステリアー般→一般_表札→表札_横

3-13　左下の△ボタンをクリックします。

条件選択画面が表示されます。



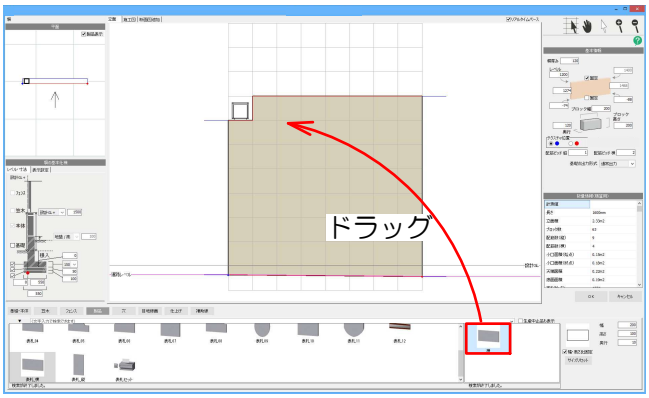
3-14　製品選択リストで、「門柱灯」をクリックして選択を解除します。



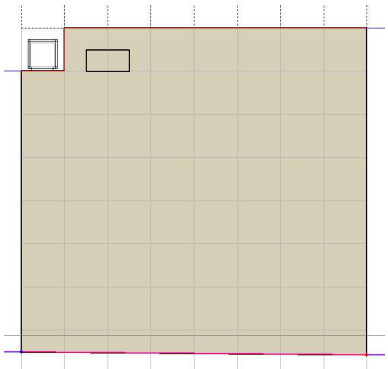
3-15　製品選択画面で
シリーズ：一般_表札
をクリックします。



画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。



3-16　「表札_横」を塀にドラッグして配置します。



表札が配置されました。



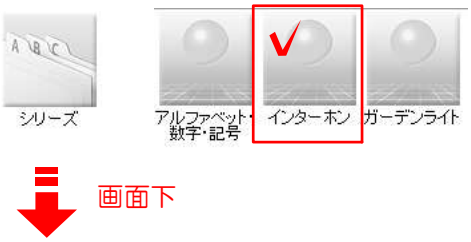
インターホンを選択して塀に配置します。
エクステリアー般→インターホン
→インターホン05

3-17　左下の△ボタンをクリックします。

条件選択画面が表示されます。



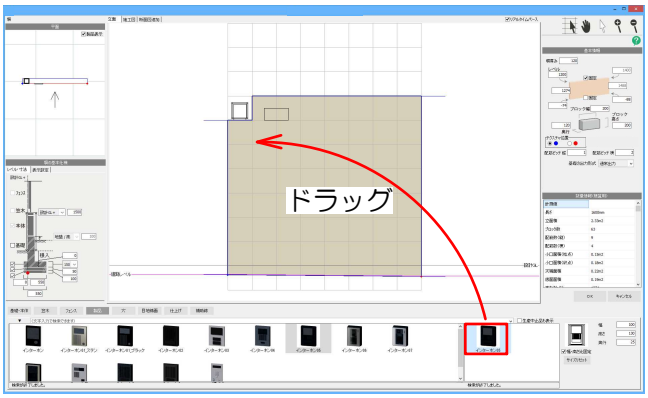
3-18　製品選択リストで、「一般_表札」をクリックして選択を解除します。



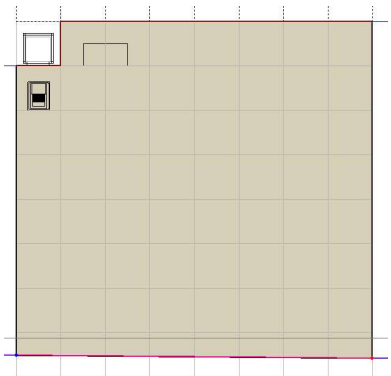
3-19　製品選択画面で
シリーズ：インターホン
をクリックします。



画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。



3-20　「インターホン05」を塀にドラッグして配置します。



インターホンが配置されました。



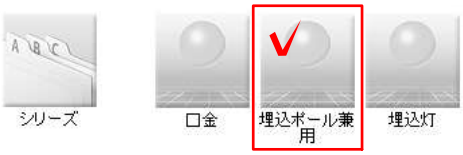
ポストを選択して塀に配置します。
エクステリアー般→埋込ポール兼用
→埋込ポール兼用JEX04

3-21　左下の△ボタンをクリックします。

条件選択画面が表示されます。



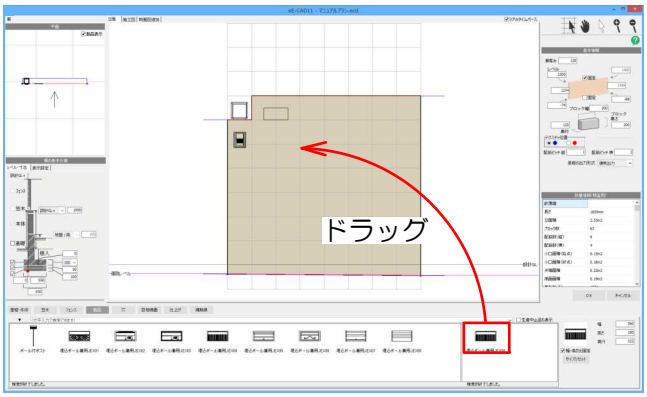
3-22　製品選択リストで、「インターホン」をクリックして選択を解除します。



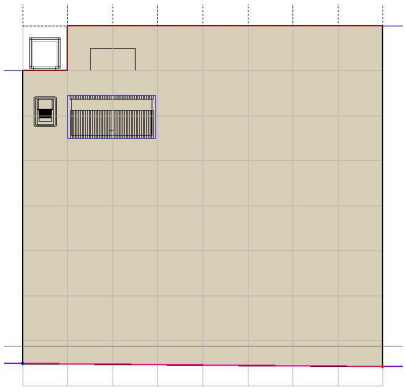
3-23　製品選択画面で
シリーズ：埋込ポール兼用
をクリックします。



画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。

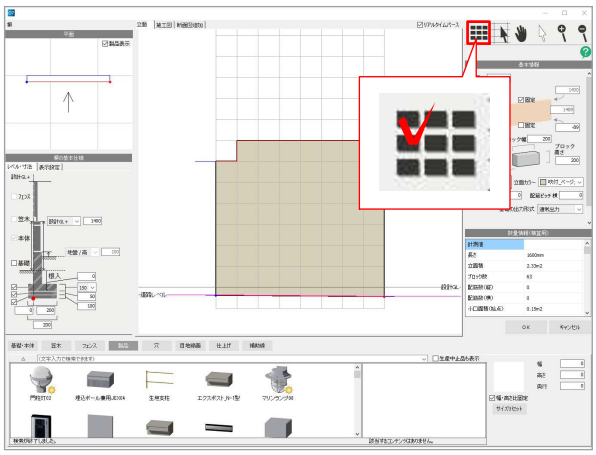


3-24　「埋込ポール兼用JEX04」を塀にドラッグして配置します。



ポストが配置されました。

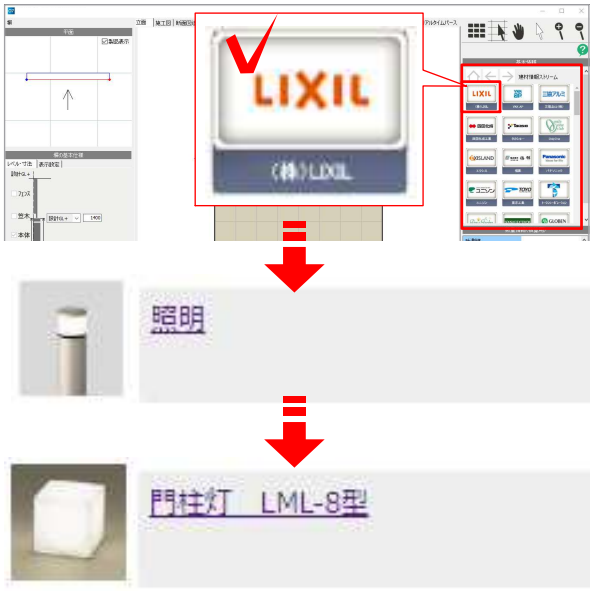
全ての製品が配置できましたので、次は一部をタイル貼りにしましょう。
P.120へ



【方法2】建材情報ストリームから配置

照明を選択して塀に配置します。
LIXIL→照明→LML-8型　据置き

3-10　画面右上の  ボタンをクリックします。

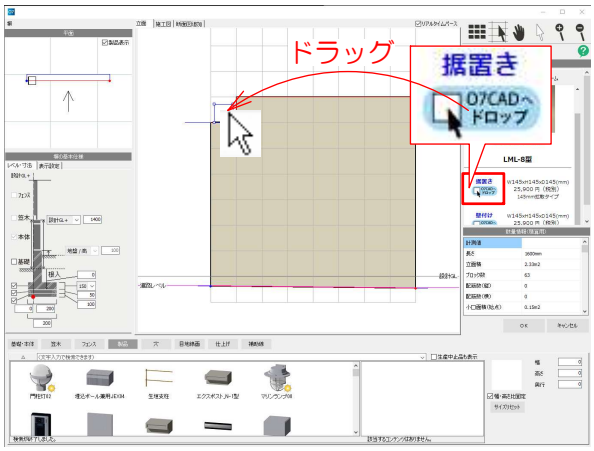


画面右側に建材情報ストリームが表示されます。

3-11　画面右側の建材情報ストリームで

メーカー：LIXIL
種別：照明
シリーズ：門柱灯　LML-8型

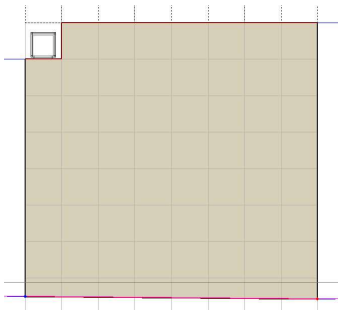
をクリックしていきます。



タイプ一覧が表示されます。

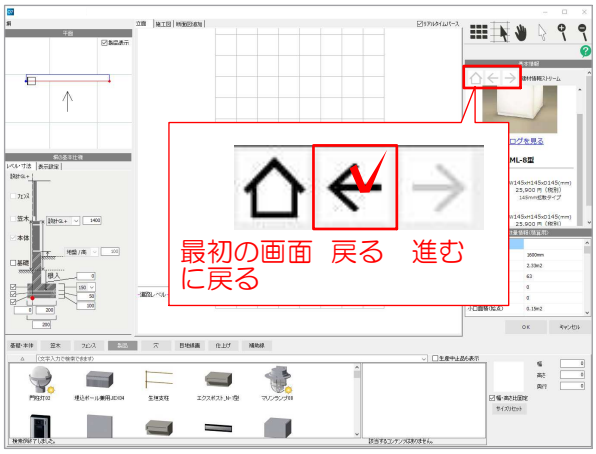
3-12　タイプ一覧から「据置き」を選び、 

を立面図上の配置したい所に向かってドラッグして配置します。



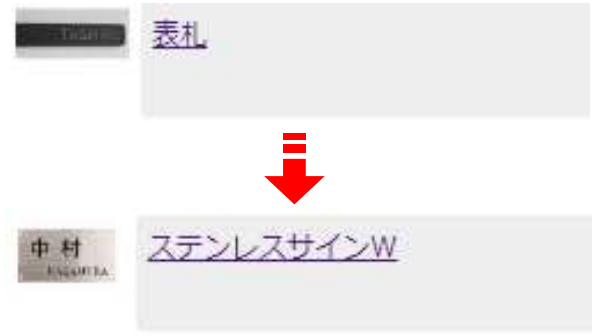
照明が配置されました。

配置したシンボルはドラッグして移動する事ができます。



表札を選択して塀に配置します。
LIXIL→表札→ステンレスサインW

3-13　画面右上の  ボタンをクリックし、2つ前の種別選択画面に戻ります。



3-14　画面右側の建材情報ストリームで

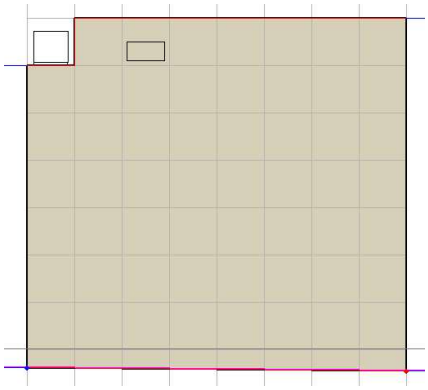
種別：表札
シリーズ：ステンレスサインW

をクリックしていきます。

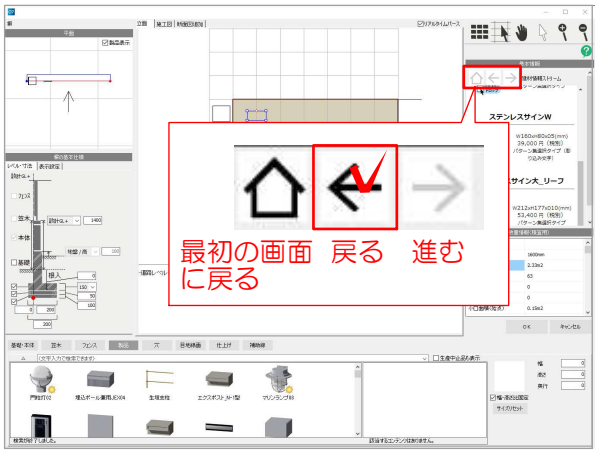


タイプ一覧が表示されます。

3-15　タイプ一覧から「ステンレスサインW」を選び、  を立面図上の配置したい所に向かってドラッグして配置します。

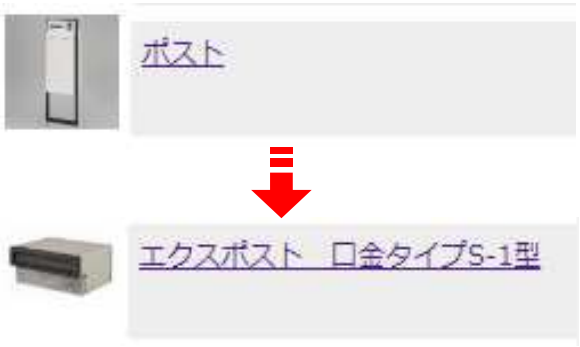


表札が配置されました。



ポストを選択して塀に配置します。
LIXIL→ポスト
→エクスポストロ金タイプS-1型　1B05

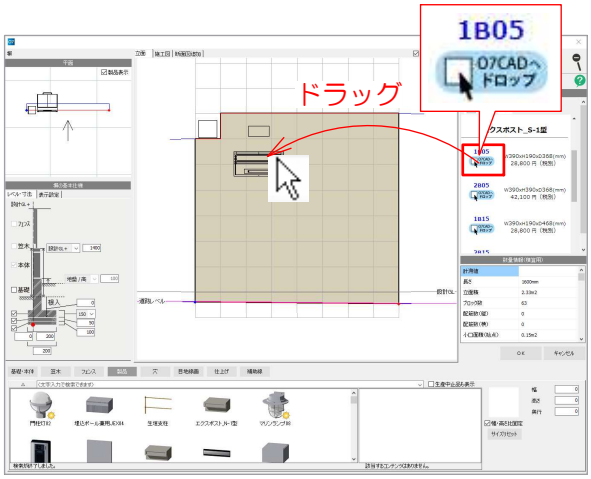
3-16　画面右上の  ボタンをクリックし、2つ前の種別選択画面に戻ります。



3-17　画面右側の建材情報ストリームで

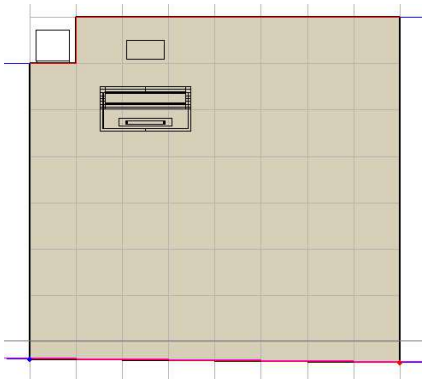
種別：ポスト
シリーズ：エクスポストロ金タイプS-1型
をクリックしていきます。

サイズ一覧が表示されます。

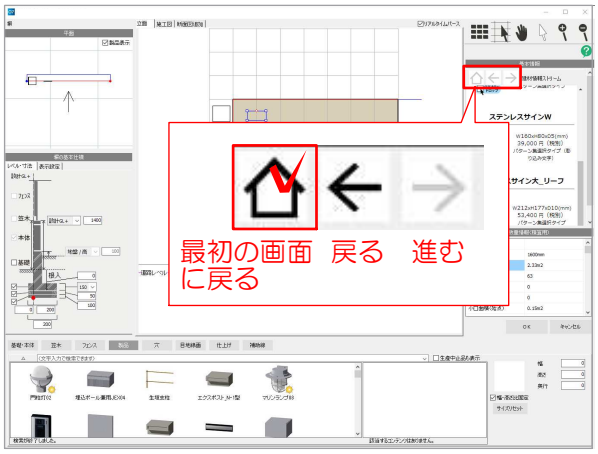


3-18　サイズ一覧から「1B05」を選び、 

を立面図上の配置したい所に向かってドラッグして配置します。



ポストが配置されました。



インターホンを選択して塀に配置します。
YKK AP→インターホン
→インターホンカバーユニット A規格型

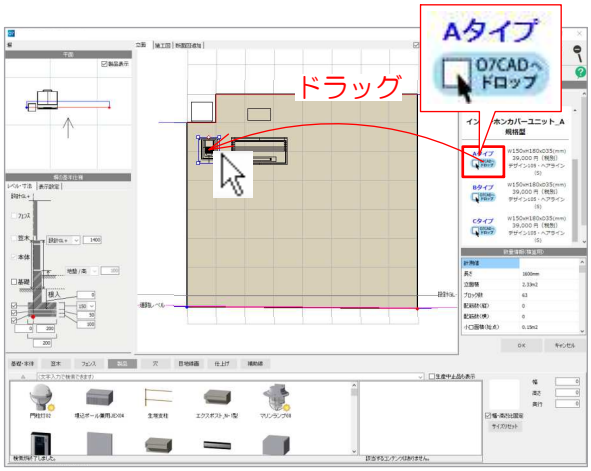
3-19　画面右上の  ボタンをクリックし、最初のメーカー選択画面に戻ります。



3-20　画面右側の建材情報ストリームで

メーカー：YKK AP
種別：インターホン
シリーズ：インターホンカバーユニットA規格型

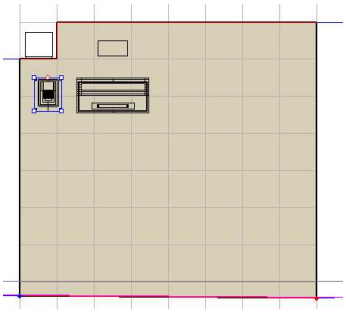
をクリックしていきます。



タイプ一覧が表示されます。

3-21　タイプ一覧から「Aタイプ」を選び、 

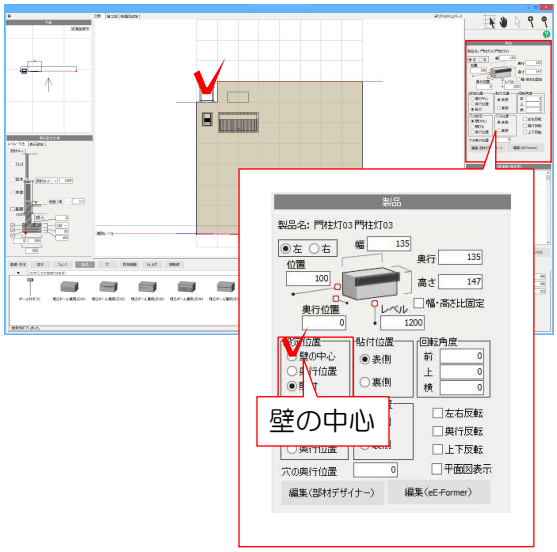
を立面図上の配置したい所に向かってドラッグして配置します。



インターホンが配置されました。

全ての製品が配置できましたので、次は一部をタイル貼りにしましょう。
P.120へ

【照明が塀の上にのっていないときは・・・】



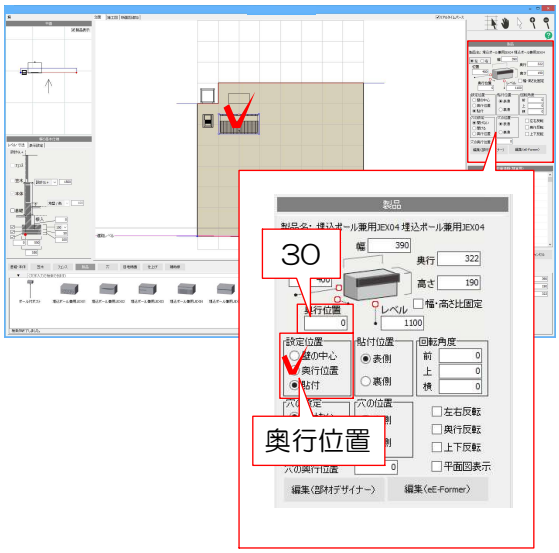
設定位置を調整します。

1　塀に配置した照明をクリックします。

画面右側が製品の設定に変わります。

2　設定位置を「壁の中心」に変更します。

【ポストが塀の内側に入っているときは・・・】



設定位置を調整します。

1　塀に配置したポストをクリックします。

画面右側が製品の設定に変わります。

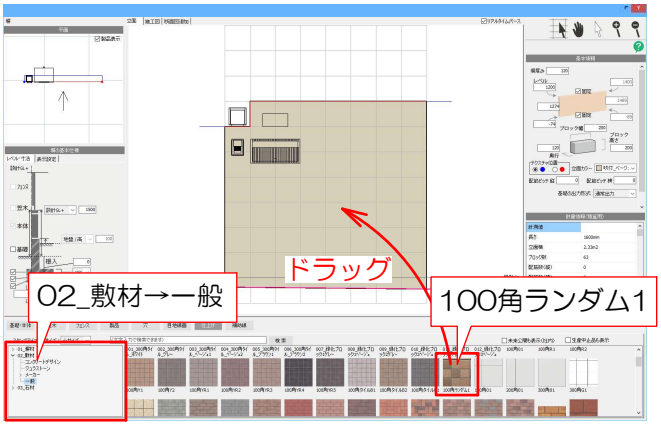
2　設定位置を「奥行位置」に変更して奥行位置の入力欄に「30」と入力します。
※ポストの種類によって数値を調節しましょう。



一部をタイル貼りにします。

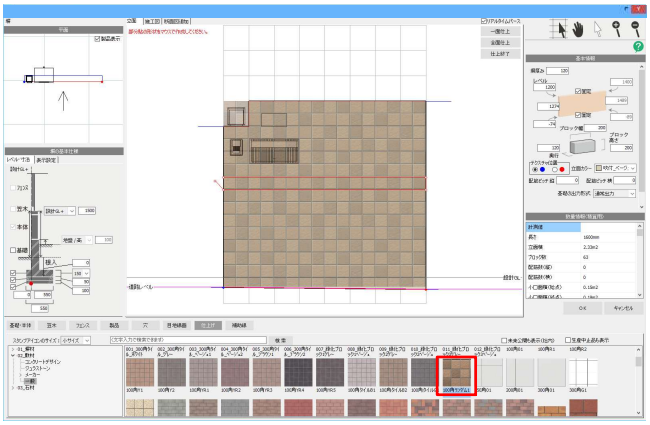
3-25　画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。

画面下にテクスチャ選択画面が表示されます。

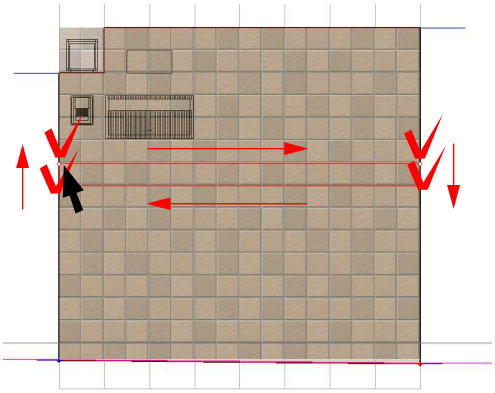


3-26　使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

02_敷材
　→一般
　→100角ランダム1

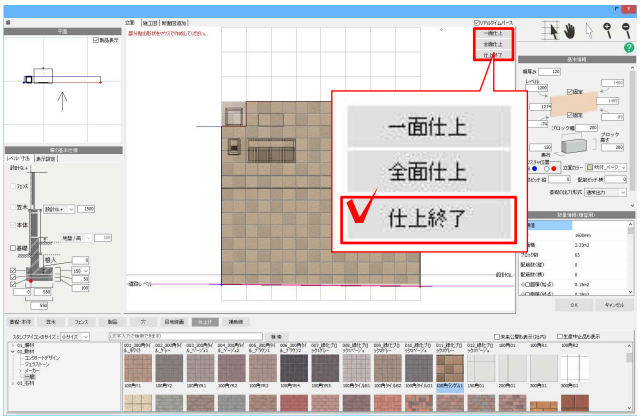


塀全体にタイルの絵が表示されます。



3-27　タイル貼りにしたい部分をクリックしながら描いていきます。

3-28　最後は線の描き始めにカーソルを近づけ、カーソルが ↖ になったところでクリックして終了します。



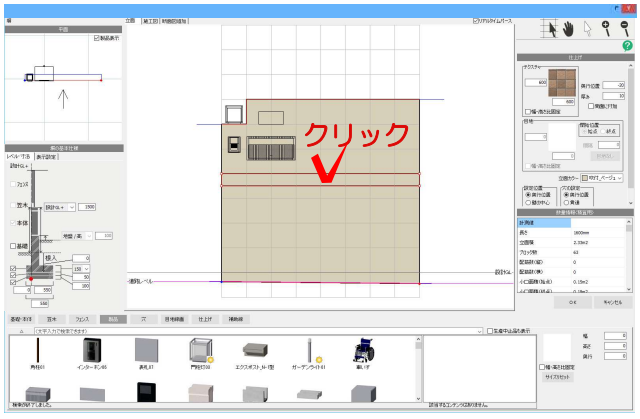
3-29　「仕上終了」をクリックします。



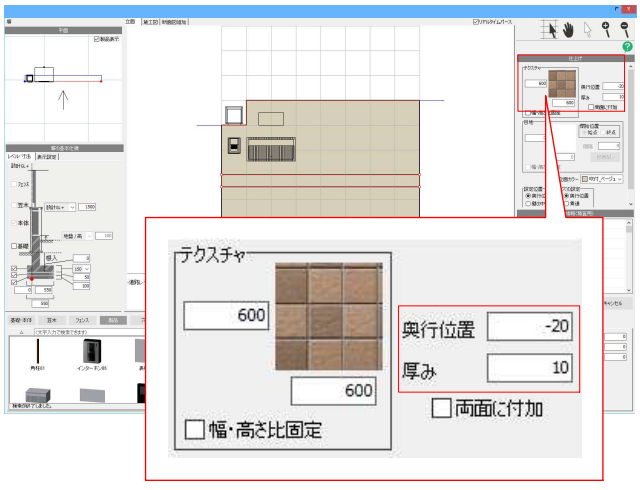
塀の一部をタイルにできました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

タイルの部分を凹ませます。



3-30　作成したタイル部分の図形をクリックで選択します。



3-31　画面右側の奥行位置と厚みを入力します。

奥行位置→「-20」
厚み→「10」　　と入力します。



タイル部分を凹ませることができました。

リアルタイムパースで確認しましょう。



門塀の設定が完了しました。

3-32　画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。





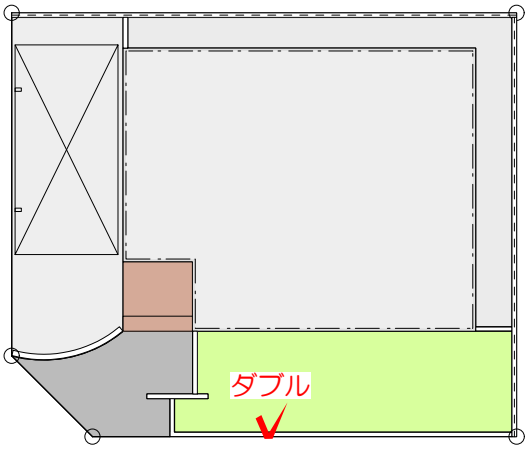
【立面図】

4　塀4：土留
化粧ブロック

左図の塀を作成します。

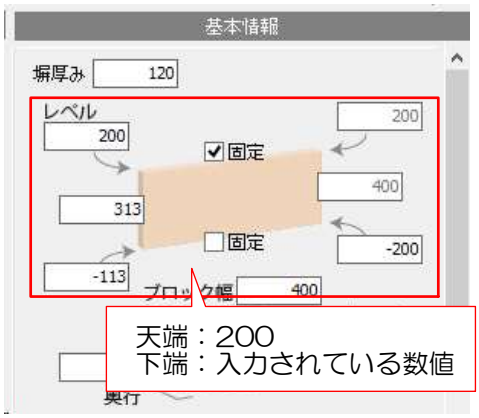
塀の天端=GL+200
化粧ブロック（リブベージュ）

画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。



4-1　左図の土留をダブルクリックします。

塀の設定画面(塀デザイナー)が表示されます。



土留の高さを設定します。

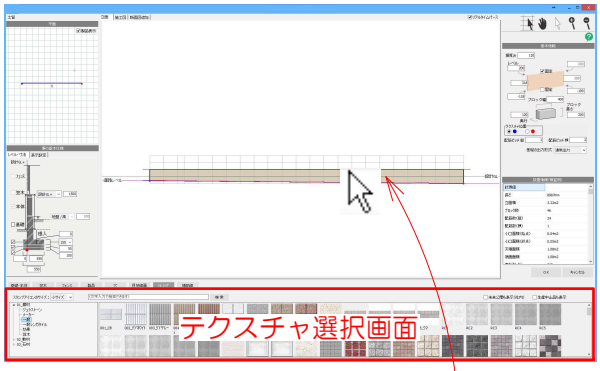
4-2　作成したい塀は
化粧CB積
天端：+200
（天端：塀の一番高いところ）
下端：入力済み
※レベル一括変換で既に設定されています。

左図のように高さを設定します。



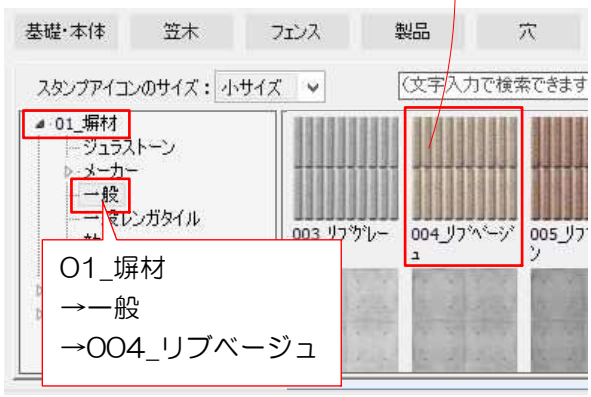
塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。

4-3　画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。



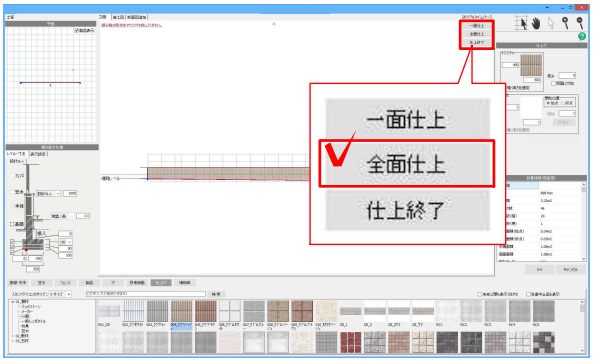
画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

ドラッグ

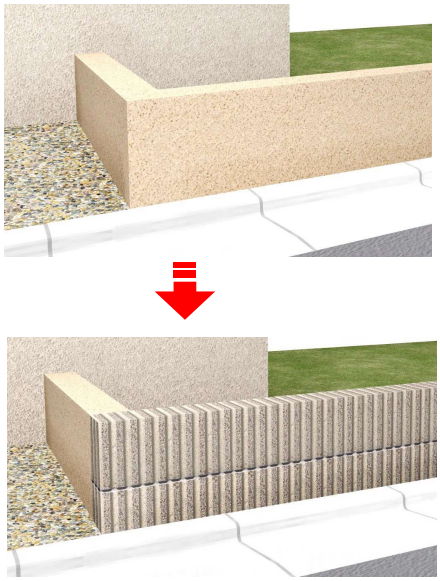


4-4　使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

01_塀材
　→一般
　→004_リブベージュ



4-5　右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。



塀のテクスチャ(素材の模様)がリブベージュに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

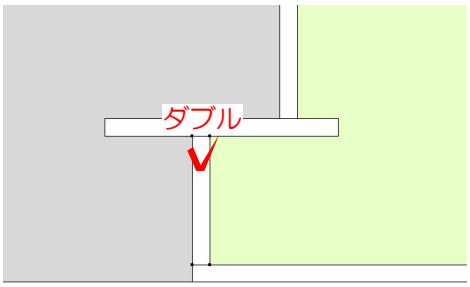
リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

化粧ブロックの設定が完了しました。

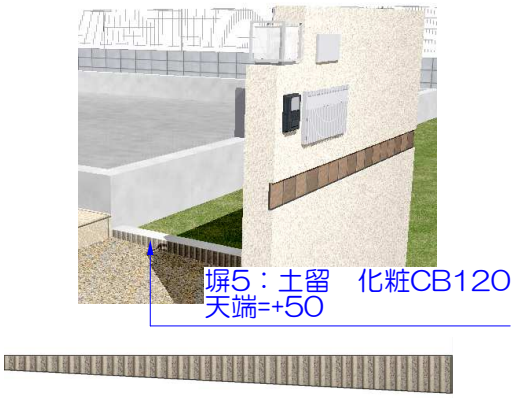


4-6　画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

土留が２つに別れている場合は、もう片方も同じように設定しましょう。







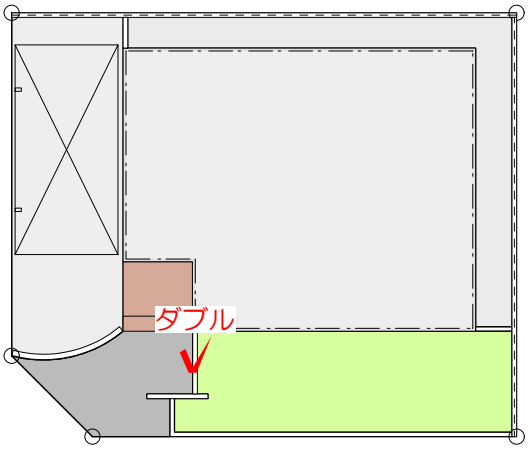
【立面図】

5　塀5：土留
化粧ブロック

左図の塀を作成します。

塀の天端=GL+50
化粧ブロック（リブベージュ）

画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。



5-1　左図の土留をダブルクリックします。

塀の設定画面(塀デザイナー)が表示されます。



土留の高さを設定します。

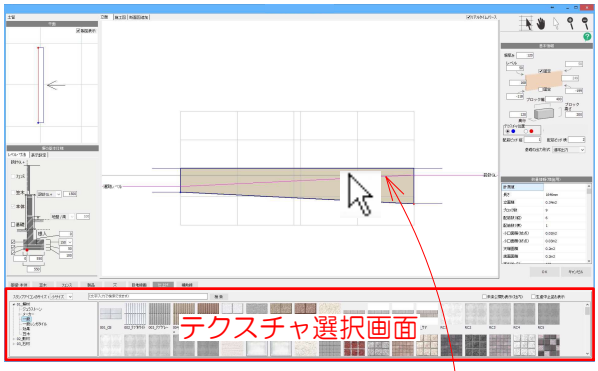
5-2　作成したい塀は
化粧CB積
天端：+50
（天端：塀の一番高いところ）
下端：入力済み
※レベル一括変換で既に設定されています。

左図のように高さを設定します。



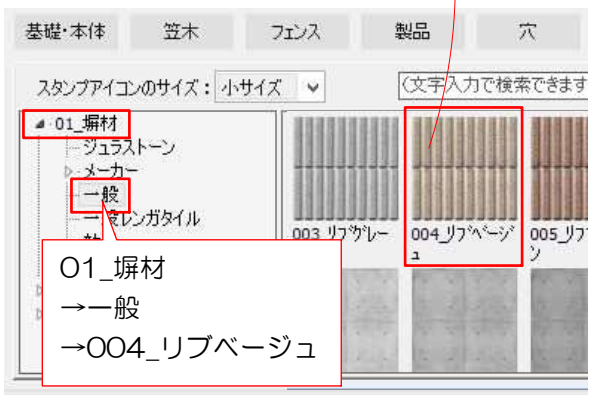
塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。

5-3　画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。



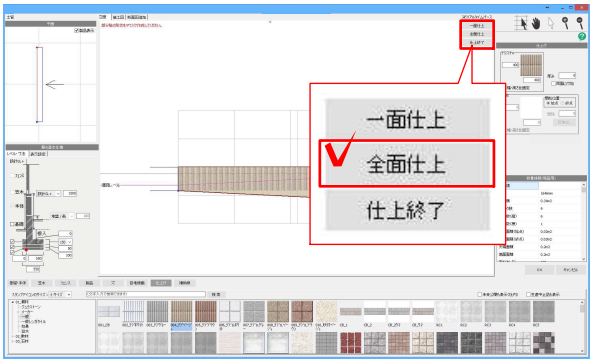
画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

ドラッグ

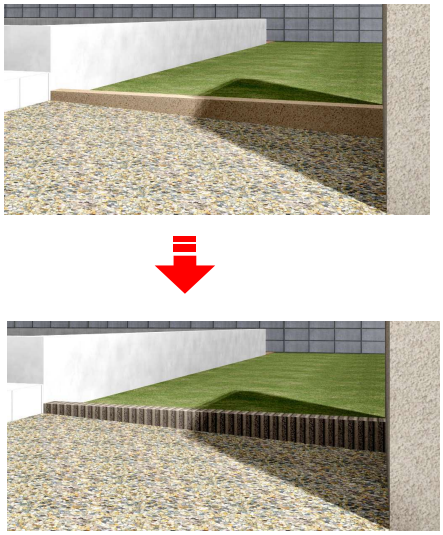


5-4　使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

01_塀材
　→一般
　→004_リブベージュ



5-5　右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。



塀のテクスチャ(素材の模様)がリブベージュに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

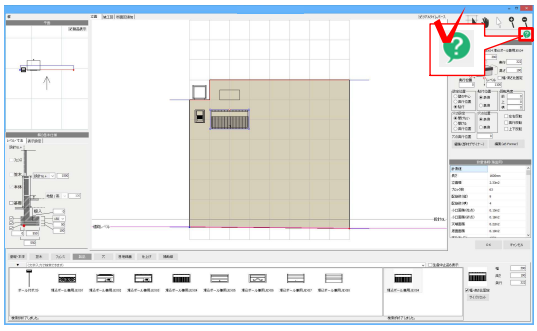
リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。



化粧ブロックの設定が完了しました。

5-6　画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

【操作が分からないときは・・・】



塀の設定画面(塀デザイナー)の右上にある ? はマニュアルボタンです。
クリックをすると塀に関するWEBマニュアルが表示されます。

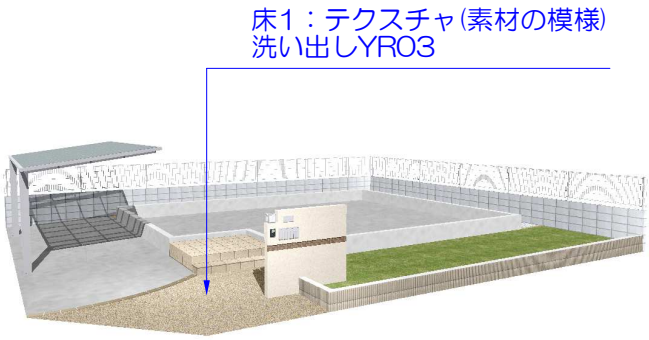


操作が分からなくなった時は、こちらから操作を確認しましょう。

その他、床や道路の設定画面にもマニュアルボタンがあり、各設定画面のマニュアルを参照できます。

床の設定をする

下の図を元に床の設定をしましょう。

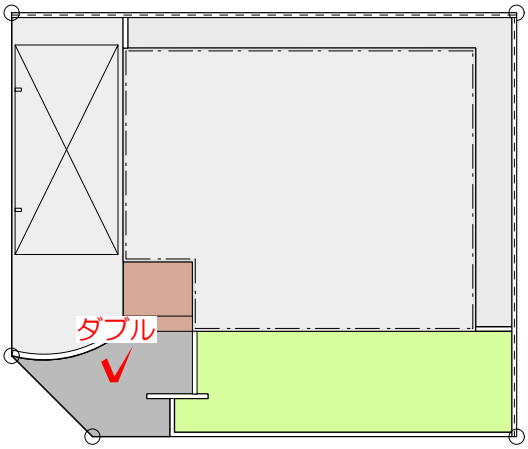


床をダブルクリックすると、設定画面(床デザイナー)が起動します。
床のレベル、厚さ、テクスチャ変更などができます。
ここではよく使う機能を練習します。

Webマニュアル [床デザイナー]
→[床のテクスチャを変更する方法]



レイヤは「ユニット」



1　床1：テクスチャの設定

アプローチの床の設定をします。

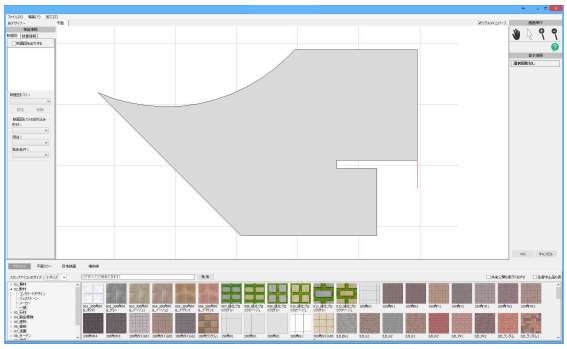
画面の拡大、縮小をして床が大きく見えるようにしておきましょう。

1-1　レイヤを「ユニット」にし、アプローチの床を**ダブルクリック**します。

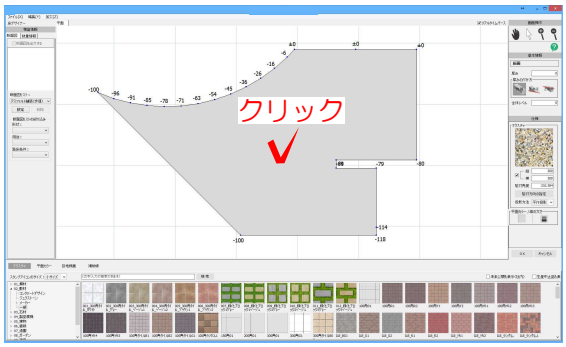
【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは・・・】



レイヤは「ユニット」になっていますか？
それ以外のレイヤボタンが押されていると床が選択できません。

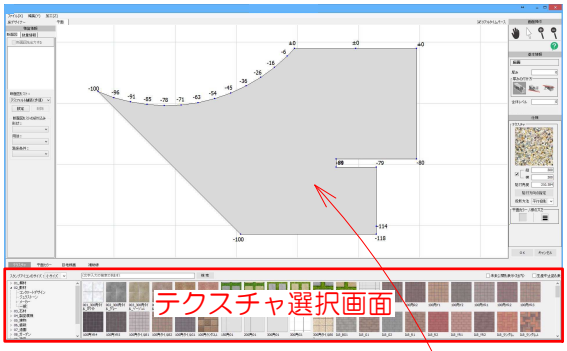


床の設定画面(床デザイナー)が表示されます。



床のテクスチャを設定します。

1-2　設定したい床の図形をクリックで選択します。

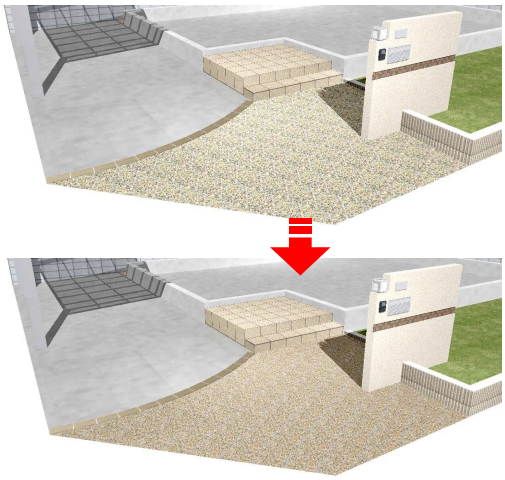


1-3　画面下に表示されているテクスチャ選択画面から使用したいテクスチャを選択し、床の図形にドラッグします。

03_石材→一般→洗出YR03

ドラッグ





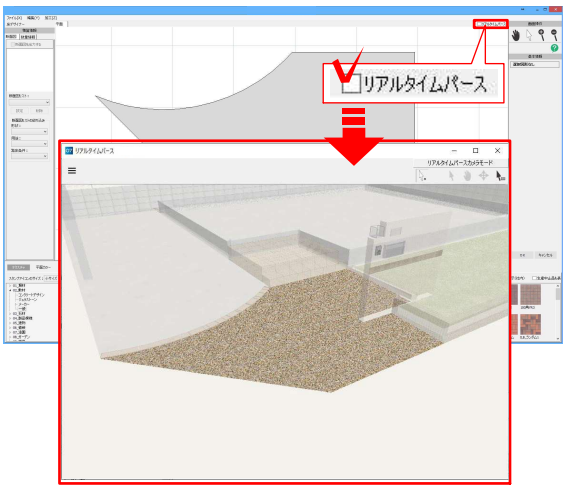
床のテクスチャ(素材の模様)が洗出YRO3に変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

【リアルタイムパースの表示】

リアルタイムパースを表示させていると、床の設定画面(床デザイナー)での編集もリアルタイムで確認することができます。



リアルタイムパースを表示していない場合は、右上の「リアルタイムパース」にチェックを入れると表示されます。

【リアルタイムパースでのテクスチャ移動】



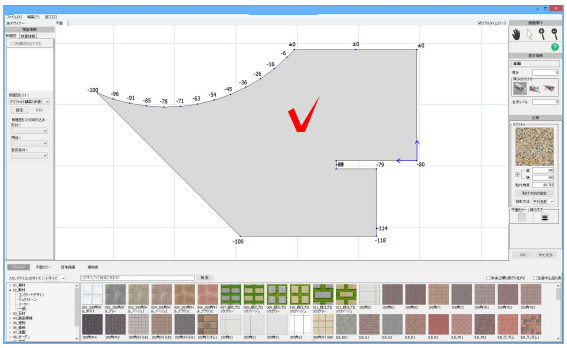
床の設定画面(床デザイナー)で編集中は

リアルタイムパース右上に  ボタンが表示されます。
こちらのツールに切り替えるとドラッグでテクスチャの移動ができます。

タイルなど目地を合わせたい場合に便利です。

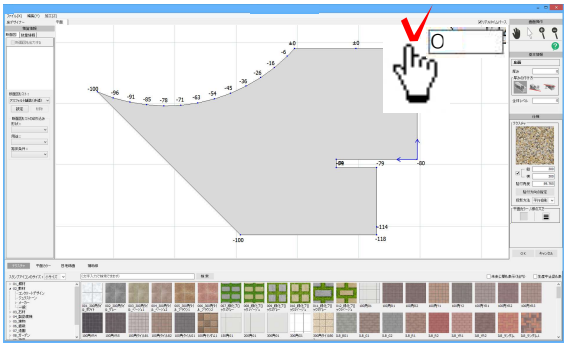
【床の設定画面(床デザイナー)レベル設定方法】

レベル一括変換で上手くレベルが合わなかった場合など、床の設定画面(床デザイナー)でレベルを設定することができます。



1　レベル設定方法(1点ずつ)

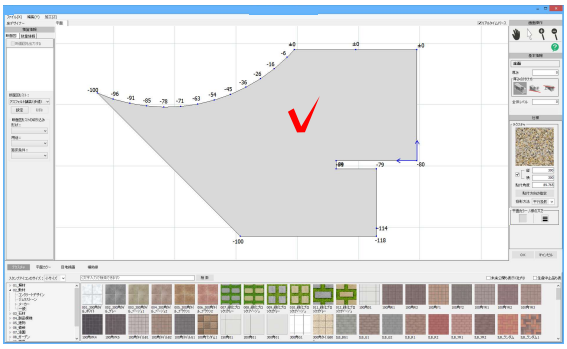
1-1　床の図形を選択すると、各頂点に現在のレベルが表示されます。



1-2　変更したいレベルの数字にマウスを近づけ、マウスカーソルが  になったらクリックします。

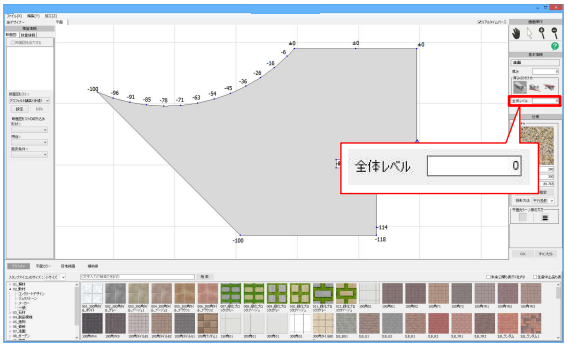
数字入力欄が表示されます。

1-3　設定したいレベルを入力しEnterキーを押します。



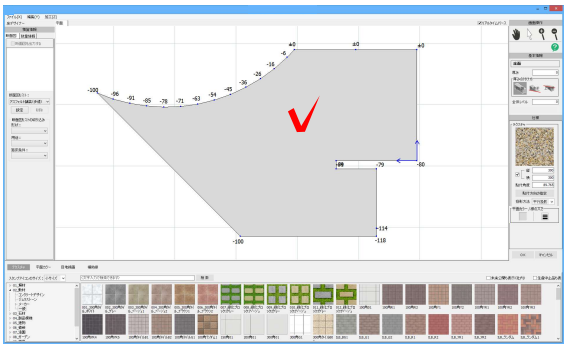
2　レベル設定方法(全体)

2-1　床の図形を選択します。

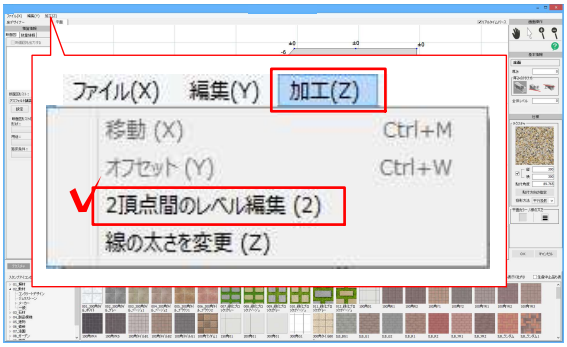


2-2　右側の「全体レベル」に設定したいレベルを入力しEnterキーを押します。

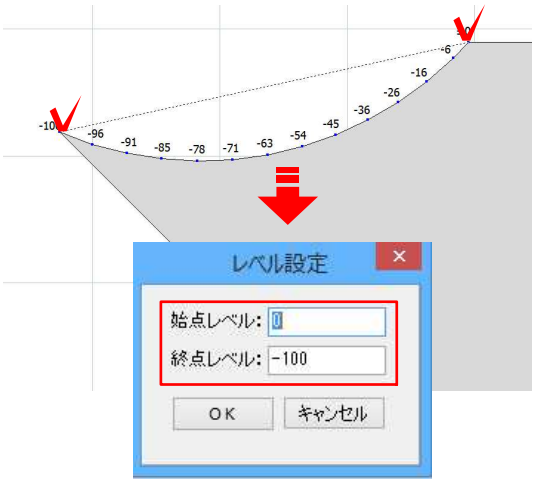
3　レベル設定方法(2点間)



3-1　床の図形を選択します。

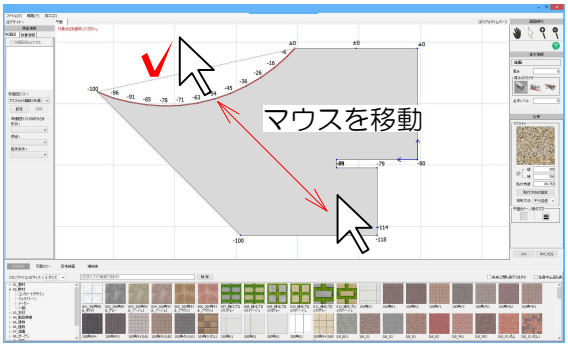


3-2　加工メニューの「2頂点間のレベル編集」を選択します。



3-3　間のレベルを設定したい2点をクリックします。

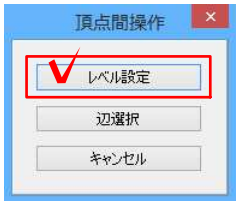
3-4　クリックした点のレベルを入力し「OK」をクリックします。



3-5　マウスカーソルを動かすと対象の辺(赤色の辺)が変わります。
※この時マウスはクリックしません。

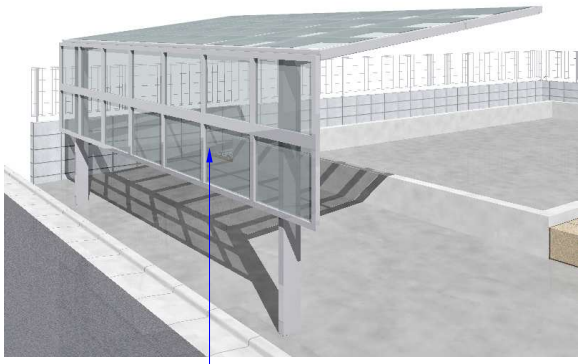
設定したい辺が赤色になったらクリックをします。

Ctrlキーを押しながら間のレベルを設定したい2点をクリックし「レベル設定」を選択しても同じ操作ができます。



製品の設定をする

下の図を元に製品の設定をしましょう。



製品をダブルクリックすると、設定画面(部材デザイナー)が起動します。オプション・サイズ・カラーが設定できます。

※カラーやオプションの組み合わせは、各メーカーの最新カタログで**組み合わせが可能か、発注可能であるか**を必ずご自身でご確認お願いいたします。

Webマニュアル [製品]→[部材デザイナー概要]



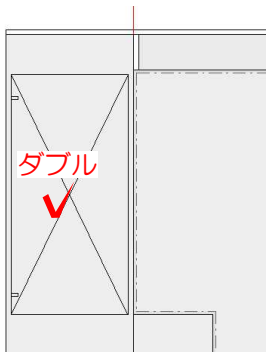
レイヤは「ユニット」

1　製品設定



製品の設定をします。

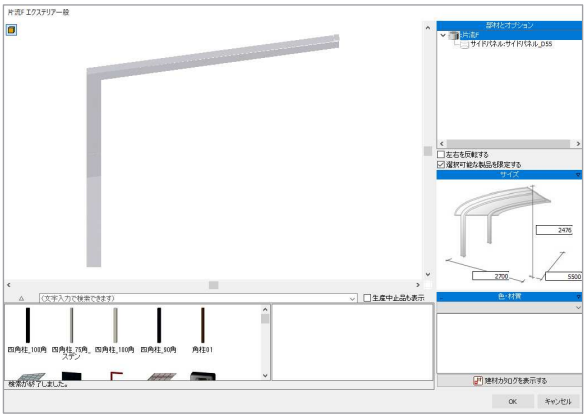
1-1　レイヤを「ユニット」にし、配置した製品をダブルクリックをします。



【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは・・・】

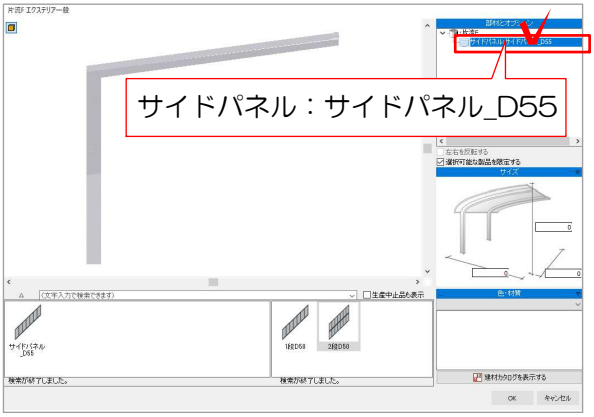


レイヤは「ユニット」になっていますか？
それ以外のレイヤボタンが押されていると製品が選択できません。



製品の設定画面(部材デザイナー)が表示されます。

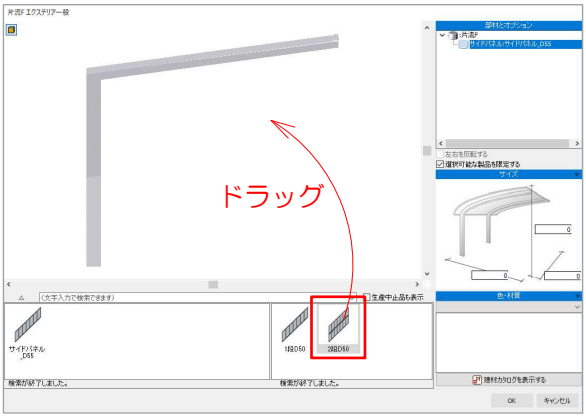
※以下エクステリアー般のカーポートで説明しております。他のカーポートを配置している場合も同様の手順でサイドパネルを設定してみましょう。
(サイドパネルが選べないカーポートもございます。)



カーポートにサイドパネルを設定します。

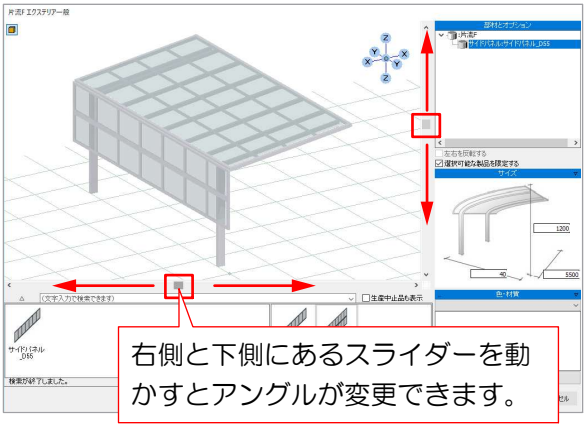
1-2　右上の部材とオプションの「サイドパネル：サイドパネル_D55」をクリックします。

画面下にサイドパネルのバリエーションが表示されます。



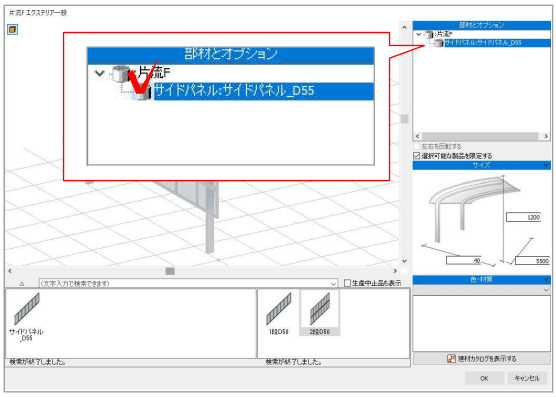
1-3　「2段D50」をカーポートの立面画面にドラッグします。

サイドパネルが付けられました。

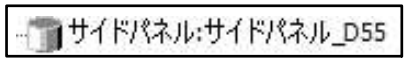


「部材とオプション」では
・カーポート→サイドパネル、サポート柱
・機能門柱→ポスト、表札、照明
などが設定できます。

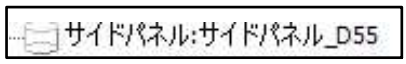
【オプションのあり・なしを変更する方法】



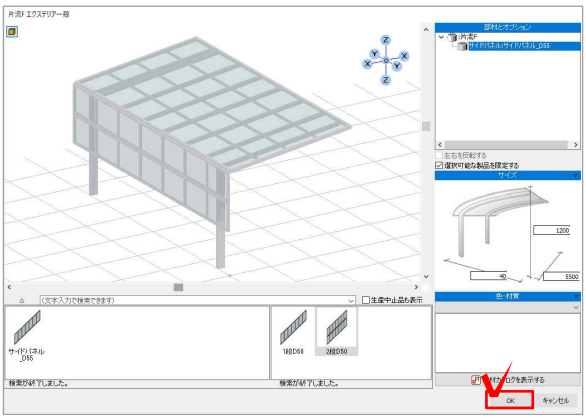
「部材とオプション」各項目の  をクリックしてオプションのあり、なしを変更できます。



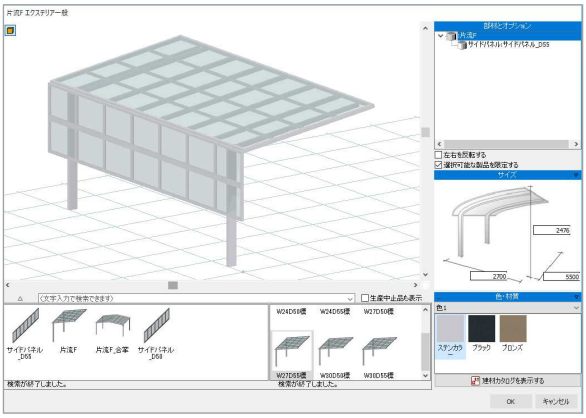
↑オプションが付いている状態



↑オプションが付いていない状態



1-4　右下の「OK」をクリックします。



製品の設定画面(部材デザイナー)ではその他
・サイズ変更
・カラー変更
・建材カタログの表示
ができます。



[製品]→[部材デザイナー]

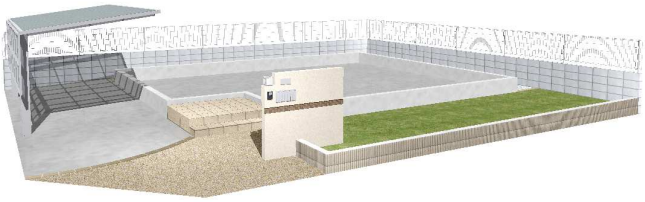
※カラーやオプションの組み合わせは、各メーカーの最新カタログで**組み合わせが可能か、発注可能であるか**を必ずご自身でご確認お願いいたします。

※主要なメーカーの主要製品は「建材カタログ」の表示先が「建材サーチ(ArchiVillage社)」と連携しています。一部連携していない製品については、従来どおり「e-tokoカタログ」が表示されます。

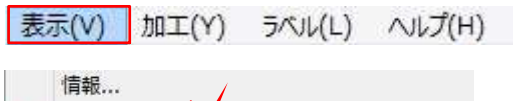
※「CAD上の建材カタログ」や「e-tokoカタログ」に表示されている商品の価格につきましては、リアルタイムでの価格や内容更新をしておりません。あくまで目安としてご利用ください。見積ご提出前に**必ずご自身で金額確認**をお願いいたします。

3Dを確認・編集する

リアルタイムパースで設定した塀や床を確認しましょう。



リアルタイムパースで確認・編集をします。
この画面では作成中の図面の3Dがリアルタイムで確認・編集できます。







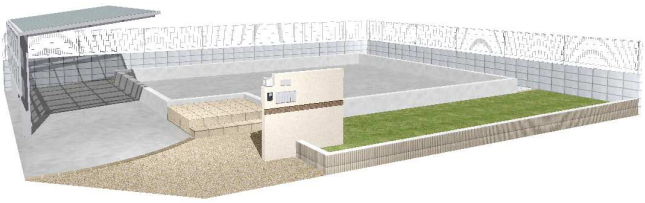
1　リアルタイムパース表示

リアルタイムパースが表示されてない場合は、画面を表示します。

1-1　「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。

リアルタイムパースが表示されます。

［リアルタイムパース］
→［リアルタイムパース　基本操作］





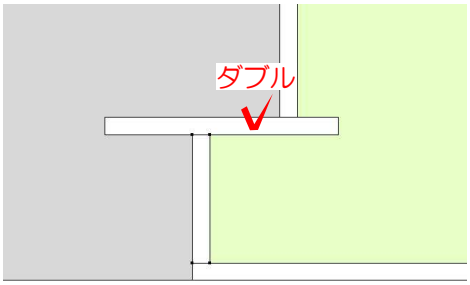
2　視点の移動・図形の確認

見ている角度を動かしたり、拡大縮小して図形の確認をしましょう。

2-1　視点の調整をするには画面右上を矢印のツールにします。

確認をした時に編集が必要な図形があった場合、2通りの編集方法があります。

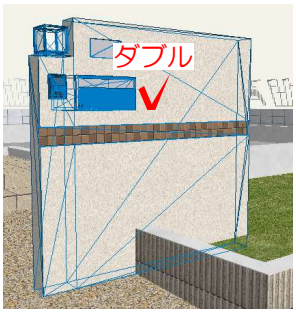
３　ユニットの編集



編集方法【その１】

平面図の画面で編集したい図形のあるレイヤに切り替え、ダブルクリックして編集します。



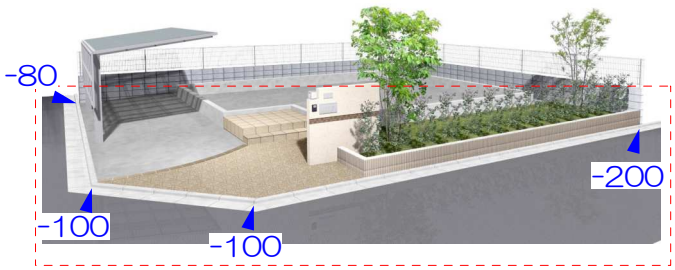


編集方法【その2】

リアルタイムパースで右上の「３D移動ツール」を選択し、図形をダブルクリックして編集します。

道路を作成する

道路を作成しておくと、パースの見映えもよくなり、高低差のイメージもわかりやすくなります。

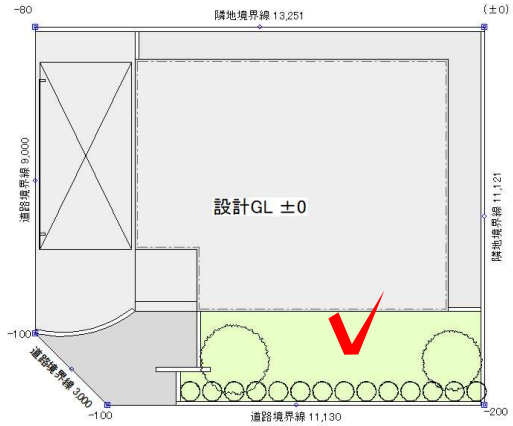


「道路デザイナー」で道路を作成します。

1　道路デザイナーの起動



レイヤは「敷地基礎」

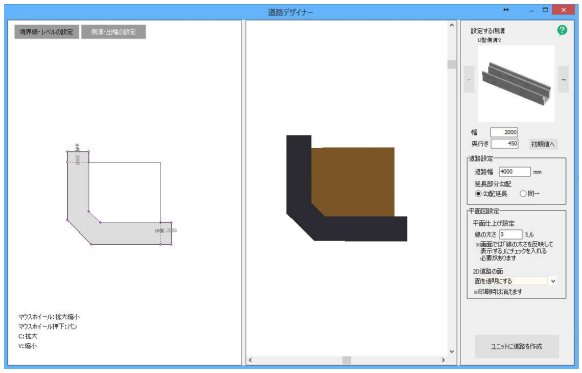


1-1　敷地の図形を選択します。

敷地境界と建物基礎の間をクリックしましょう。敷地が選択されると、角に青い点が表示されます。



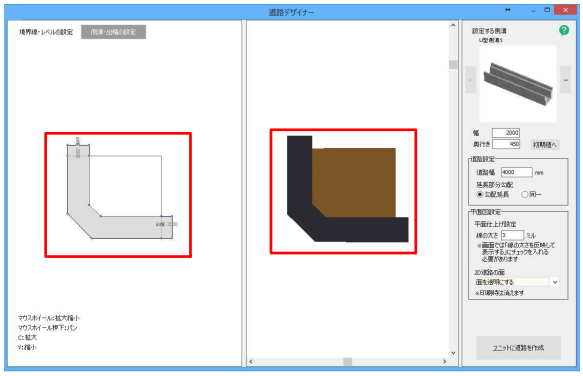
1-2　画面右側の「道路」ボタンをクリックします。



道路デザイナーの画面が表示されます。

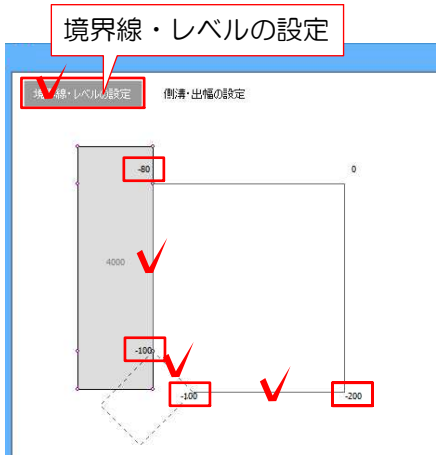


［道路デザイナー］
→［道路デザイナー］



道路のアスファルト部分は自動で作成されています。
※あらかじめ敷地の図形に境界線・レベルの設定をしておくと自動で作成されます。

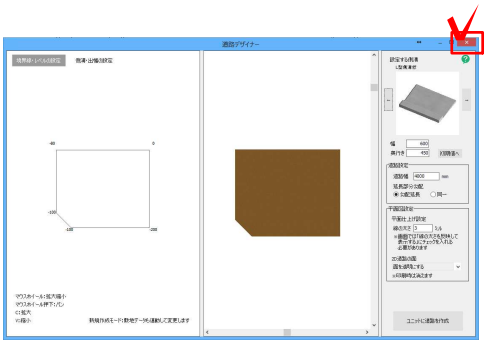
【道路のアスファルト部分が自動で作成されていないときは・・・】



編集方法【その1】

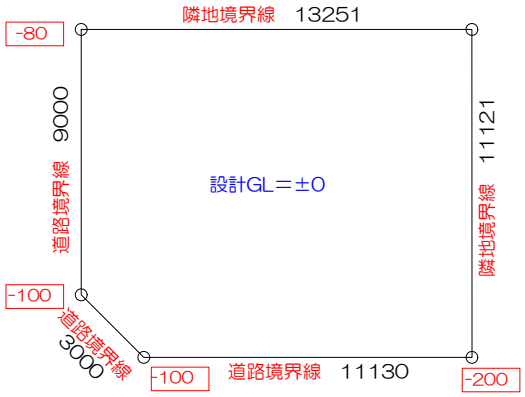
1-1　左上の「境界線・レベルの設定」を選択し、道路を作成したい部分にマウスを合わせ ⊕ の時にクリックします。

1-2　敷地の角に表示されている数字をクリックしてレベルを入力します。

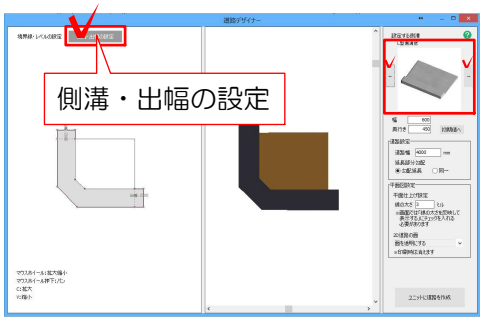


編集方法【その2】

2-1　右上の×をクリックして一度画面を閉じます。

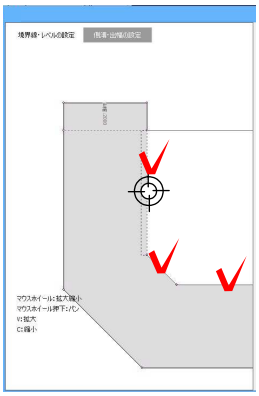


2-2　敷地基礎レイヤで、敷地の図形に境界線とレベルの設定をしてから道路デザイナーを起動します。



L型側溝を設定します。

1-3　左上の「側溝・出幅の設定」を選択し、右上の ← または → をクリックして「L型側溝低」を選びます。

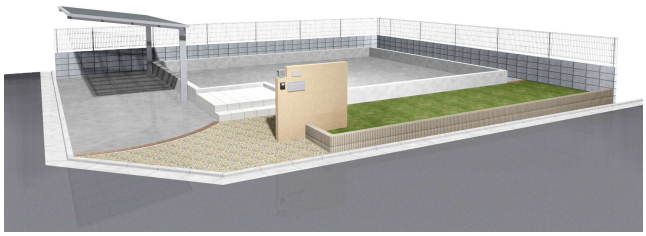


1-4　左側の平面図で側溝を設定したい境界ラインにマウスを近づけ、マウスカーソルが ⊕ の時にクリックをします。



1-5　右下の「ユニットに道路を作成」をクリックします。

道路が完成しました。

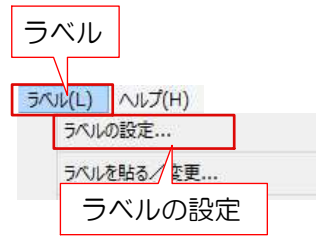


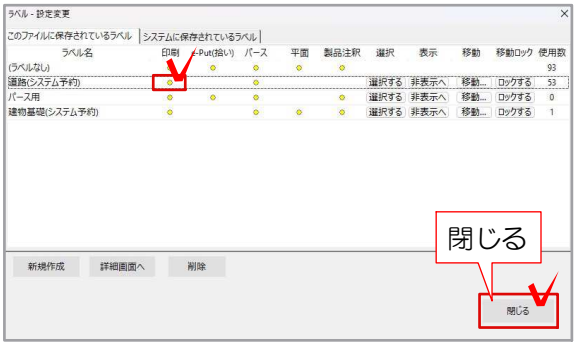
道路は「ユニット」レイヤに作成されます。編集をしたい場合は、ユニットレイヤに切り替えて道路をダブルクリックすると道路デザイナーが起動し編集できます。

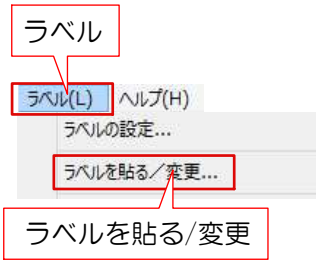
道路デザイナーで作成した道路は、パース・立面図用です。平面カメラでは表示されません。
また平面図画面で図形が表示されていても印刷には出てきません。

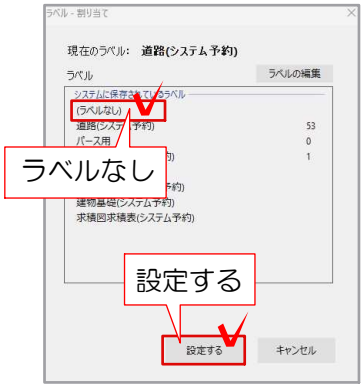
【道路を印刷したいときは・・・】

道路デザイナーで作成した道路には、作成した時点でラベルが設定されています。











［ラベル］→［道路を印刷に出るようにする方法］

編集方法【その1】

1-1　ユニットレイヤに配置された道路を選択し、ラベルメニューから「ラベルの設定」を選択します。

1-2　道路の印刷設定欄をクリックし●印を入れ、閉じるをクリックします。
※●印が入っているとそれぞれの項目の対象となります。

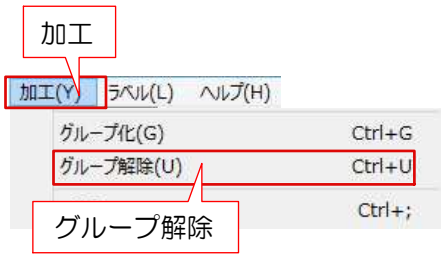
編集方法【その2】

2-1　ユニットレイヤに配置された道路を選択し、ラベルメニューから「ラベルを貼る/変更」を選択します。

2-2　(ラベルなし)を選択して、設定するをクリックします。

※ユニットレイヤに配置された道路を右クリックし、ラベルを貼る/変更→ラベルなしを選択しても設定できます。

【道路を詳細に編集したいときは・・・】



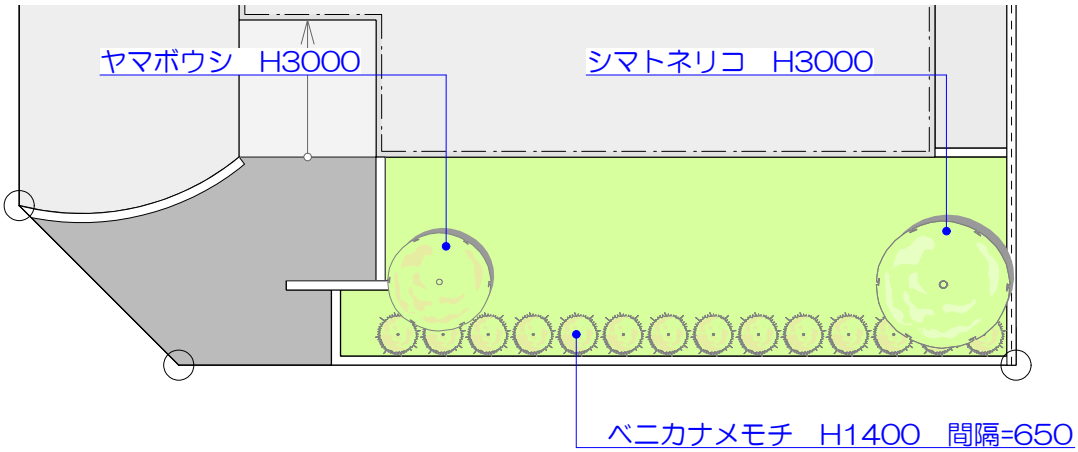
1　ユニットレイヤに配置された道路を選択し、加工メニューからグループ解除を選択します。

2　道路が床とシンボルに分解され、削除・編集ができます。

※一度グループ解除をすると、道路デザイナーは起動できなくなります。

植栽を配置する

下の図を元に植栽を配置しましょう。





レイヤは「造園」

1　樹木の選択(単独配置)

配置する樹木
・ヤマボウシ
・シマトネリコ

配置したい樹木を選択します。



1-1　レイヤを「造園」にし、スタンプパレットの「植栽アイテム」で**「単独配置」**をクリックします。

1-2　表示された一覧から樹木を選択します。

【樹木を探したいときは・・・】



（方法1）　植栽を名称検索

スタンプ画面右上の [　　] に検索する樹木の名前をひらがなか、かたかなで入力し、[検索] をクリックします。

樹木の検索結果が表示されます。



（方法2）　植栽を名称検索

1　画面上の検索欄で植栽の名称を
ひらがなorカタカナで入力して
Enterキーを押します。

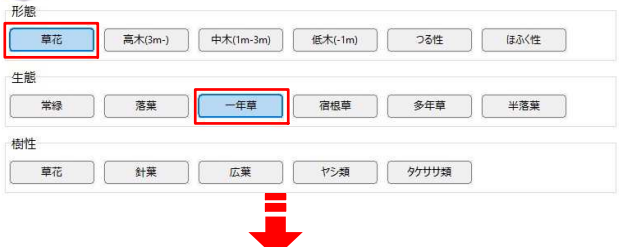


樹木の検索結果が表示されます。



「すべての条件をクリア」をクリック
すると初期状態に戻ります。

【植栽の条件検索】



1　「形態」「生態」「樹性」「日照」
「成長」「樹形」「用途」から配置したい
樹木の条件を選択します。



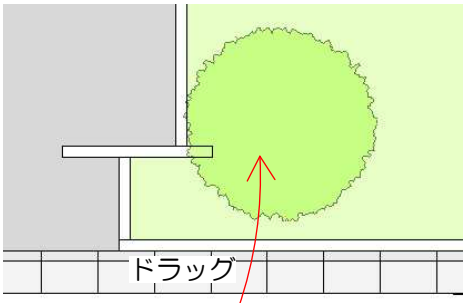
2　画面下に条件に当てはまる樹木が
表示されるので、使用したい樹木を選び、
ドラッグで配置します。



3　再度条件検索をしたい場合は、
▽ボタンをクリックすると再表示されます。

同一カテゴリー内では、「OR（または）」、異なるカテゴリー間では「AND（かつ）」で植栽の検索をします。







2　樹木の配置(単独配置)

樹木を配置します。

2-1　選択した樹木を平面図上へドラッグします。

樹木は約800種類以上登録されております。良く使う順で表示すると、使用回数の多い樹木が一覧の上方へ表示されるようになります。

【リアルタイムパースで配置】

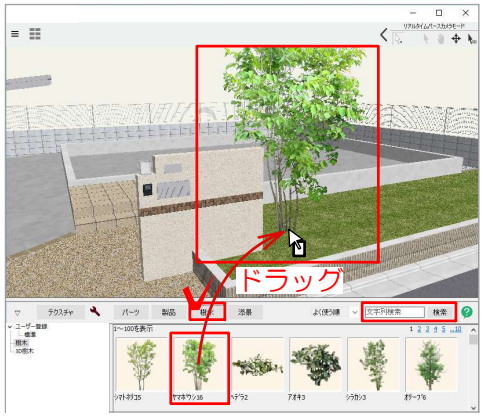


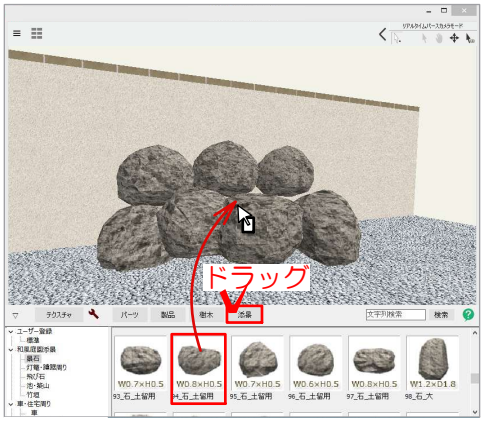
1　リアルタイムパースの左下△ボタンをクリックします。

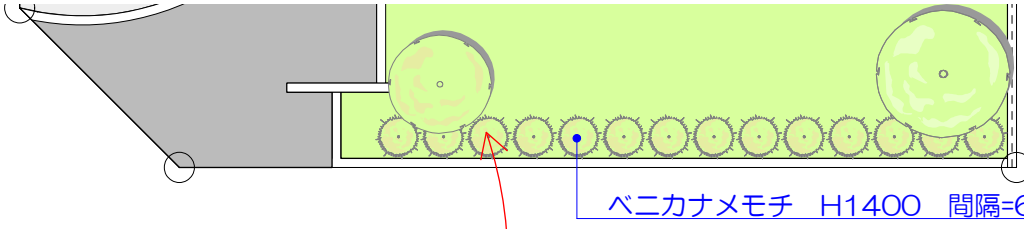
樹木などコンテンツを選ぶ画面が表示されます。

2　パーツ・製品・樹木・添景からコンテンツを選択し、ドラッグで配置します。

ドラッグした場所に合わせて、レベルが合うようになっています。
石積なども簡単に作成できます。







3-2
ドラッグ



3　樹木の選択(列植)

配置する樹木
・ベニカナメモチ

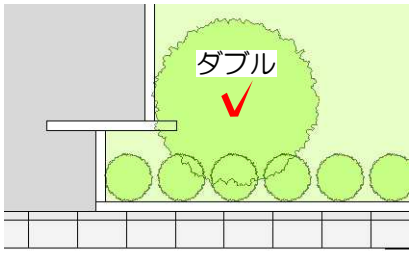
同じ種類・大きさの樹木を複数配置する場合は、「列植」を選択します。

配置したい植栽を選択します。

3-1　レイヤを「造園」にし、スタンプパレットの「植栽アイテム」で**「列植」**をクリックします。

3-2　選択した樹木を画面上へ土留塀に合わせてドラッグします。

【樹木のサイズを変更したいときは・・・】

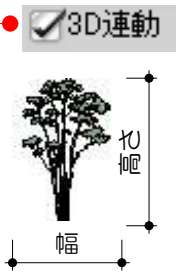


配置した樹木をダブルクリックすると
サイズの変更画面が表示されます。

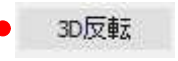
樹木設定画面



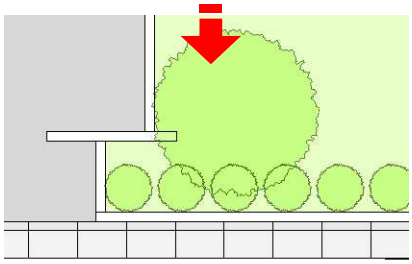
幅や高さを入力し、「OK」をクリックします。



✓がある時に、幅または高さのいずれかを変えるともう一方に比例した数値が入ります。

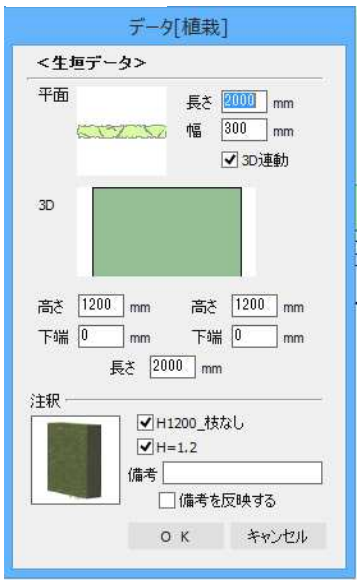


立面の左右反転



樹木のサイズが変更されました。

生垣設定画面



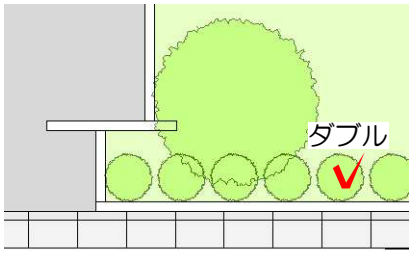
低木設定画面



ダブルクリックした植栽によって設定画面に多少違いがあります。

Webマニュアル
[植栽アイテム]→
[生垣の配置・編集する方法]

[植栽アイテム]→
[草花・低木の配置・
編集する方法]



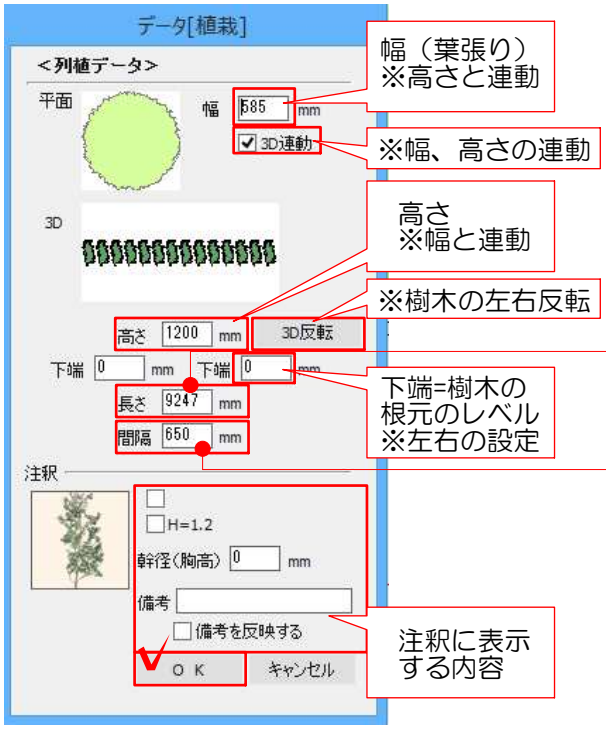
4　サイズ・間隔の変更(列植)

配置した樹木をダブルクリックするとサイズを変更することができます。

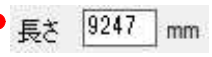
H1400のベニカナメモチを650間隔に配置します。

4-1　レイヤを「造園」にし、スタンプパレットの「植栽アイテム」で**「列植」**をクリックします。

高さ：1400　※幅と連動
間隔：650
幅　：高さに比例　※高さと連動
下端：0　（左右の設定）



※幅や高さ、間隔を入力し、「OK」をクリックします。



列植の配置距離



列植の配置間隔

ベニカナメモチのサイズが変更されました。



植栽が配置できましたか？
配置ができたら保存しましょう。

リアルタイムパースで確認してみましょう。

【低木を配置したいときは・・・】

1　低木の選択



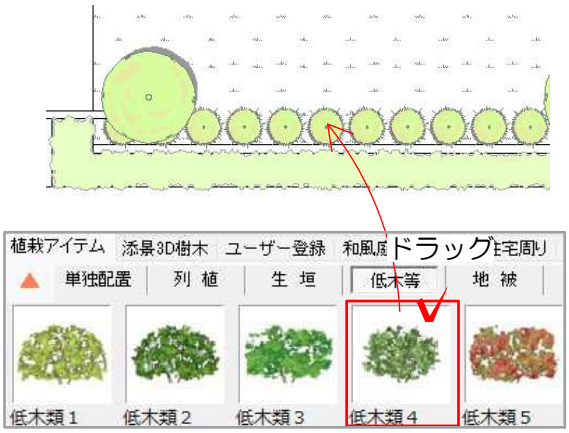
配置したい低木を選択します。

1-1　レイヤを「造園」にし、スタンプパレットの「植栽アイテム」で**「低木等」**をクリックします。



低木は「サツキ」や「アベリア」などの名称ではなく「形」で選択します。

2　低木の配置



低木を配置します。

2-1　選択した低木を画面上へドラッグします。

配置する時は配置したい範囲の周辺の線上に を合わせて配置しましょう。

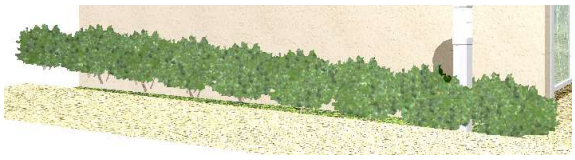
【樹木スタンプポップアップメニューとボタニカルガイド】

樹木を配置する前に、スタンプパレットの樹木上で右クリックすると、ボタニカルガイドを表示できます。
ボタニカルガイドでは樹木の詳細情報を確認でき、内容を確認してから配置が可能です。





【低木や生垣が埋まっている、浮いているときは・・・】

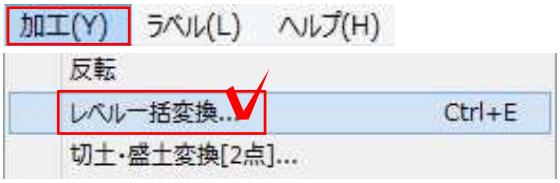


配置した低木や生垣が埋まっていたり、浮いているときがあります。
「レベルー括変換」を使って調整することができます。



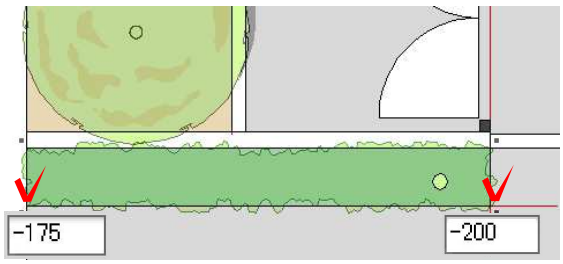
1　選択

1-1　レベルを調整したい植栽を選択します。

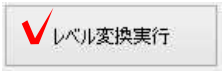


2　レベルー括変換

2-1　「加工」メニューの**「レベルー括変換」**をクリックします・



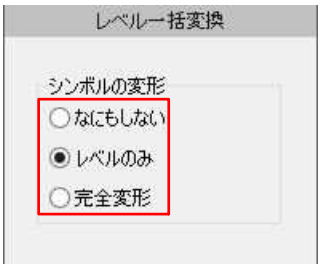
2-2　レベルを指定する2点をクリックして数値を入力します。



2-3　「レベル変換実行」をクリックします。



レベルが設定されました。

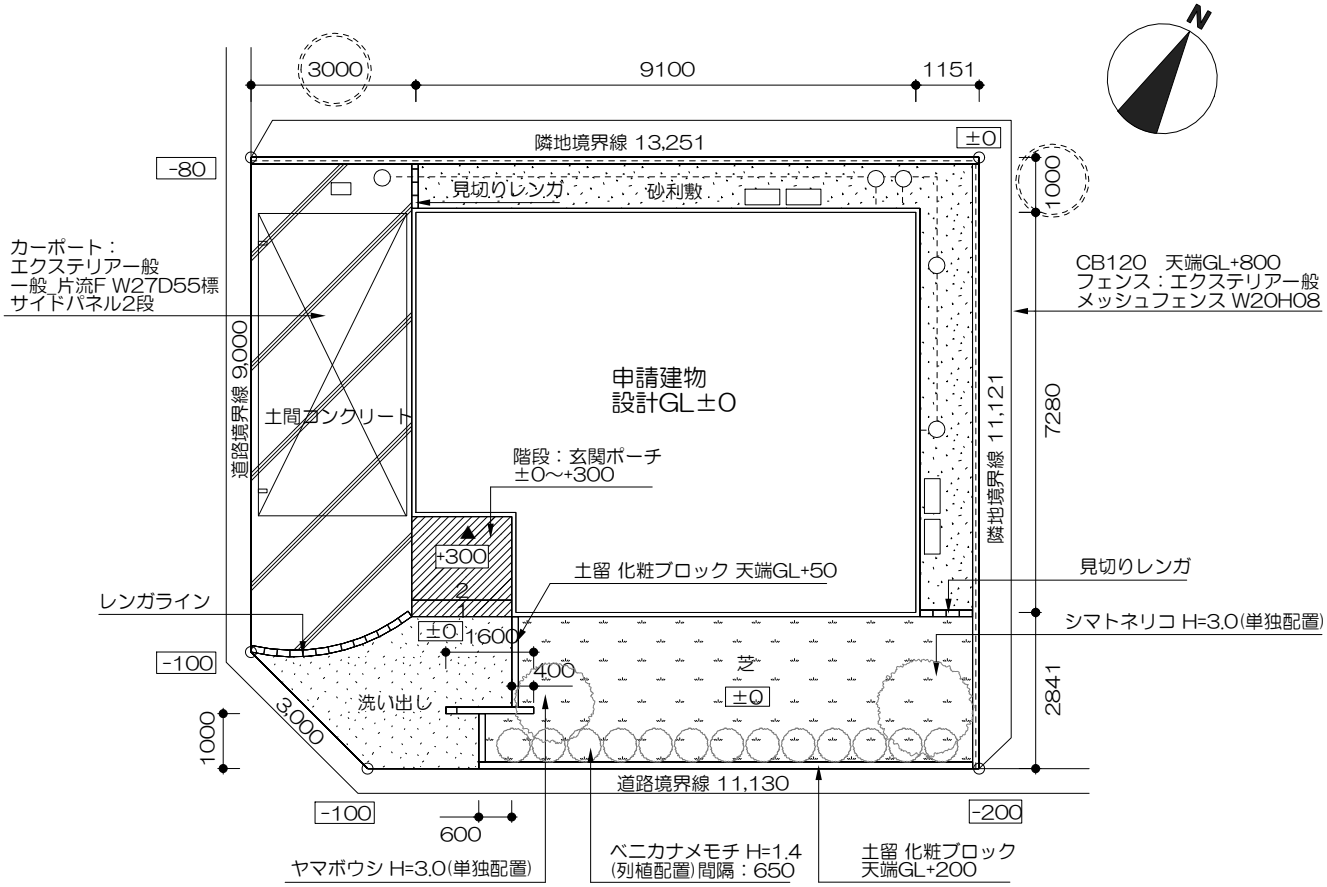


「添景」が選択されている場合は、右側の「シンボルの変形」を設定することができます。

【レベルのみ】
　→傾斜に合わせて上下に移動
【完全変形】
　→傾斜に合わせて形が変形します。

平面図を詳細に仕上げる

平面図を線画で詳細に仕上げたい場合は、2Dレイヤで作業をします。

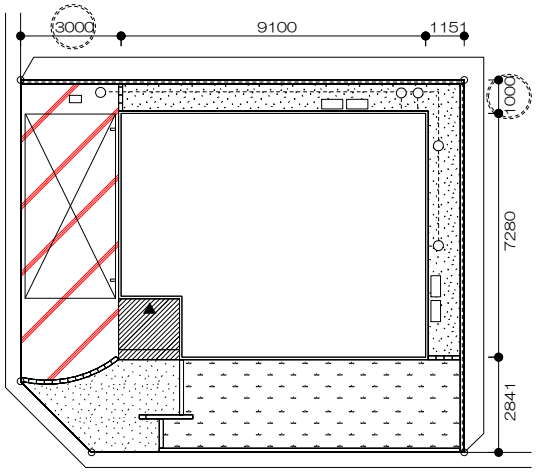


2Dレイヤ作業方法

レイヤは「2Dレイヤ」で作業します。 

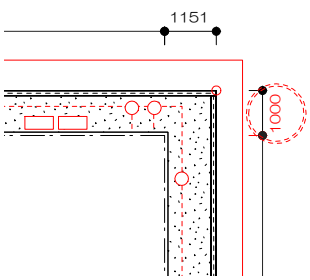
ハッチングを入れたり、文字、直線・四角形・多角形などの図形を描くことができます。

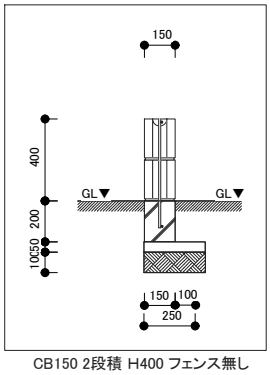
1　ハッチングを入れる



2　文字を書く

3　図形を描く



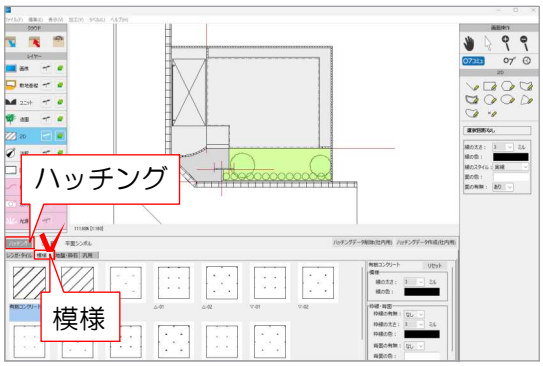


CB150 2段積 H400 フェンス無し

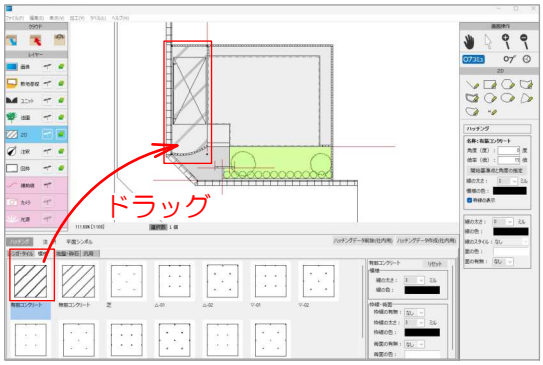


レイヤは「2D」

1　ハッチングを入れる



1-1　画面下の「ハッチング」を選択し、「模様」をクリックします。



1-2　「有筋コンクリート」を土間コンクリートの図形にドラッグします。

床や塀などの図形の上、もしくは補助線で囲われた範囲にドラッグできます。

※ユニットレイヤの床・階段の設定画面→「目地線画」からハッチングを設定することもできます。

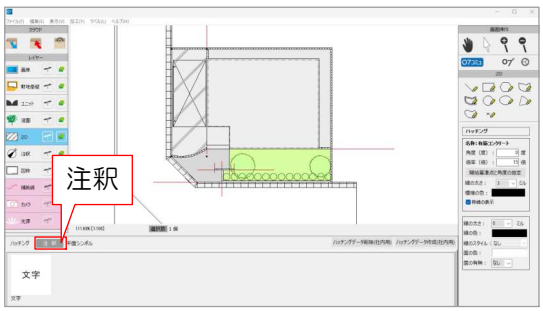
詳しい操作方法はWEBマニュアルを参照してください。

Webマニュアル［2Dレイヤー］→［2Dレイヤの操作方法］

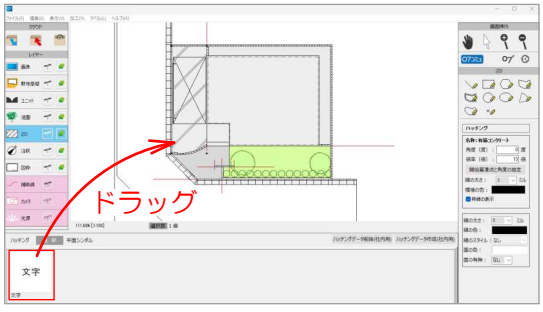
Webマニュアル［床デザイナー］→［床に平面目地(線)を設定する方法］

2　文字を書く

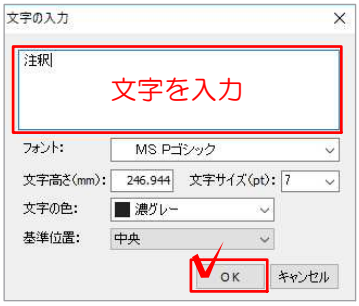
※今回は作業の必要はありません。



2-1　画面下の「注釈」を選択します。

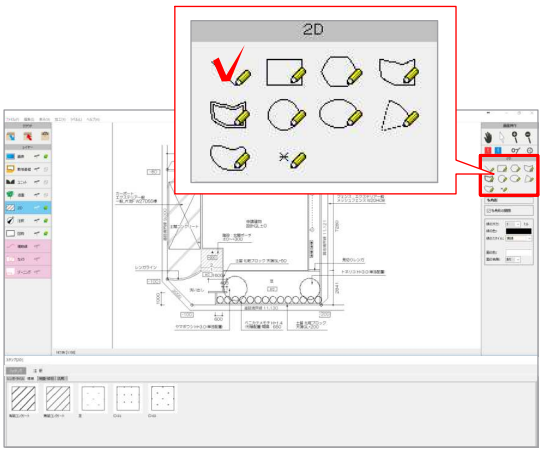


2-2　文字を配置したい箇所にドラッグします。



※注釈レイヤの「文字」から文字を書くこともできます。

テキスト 文字を書く　P.158



※補助線で線を書き、注釈レイヤの「補助線→線」「補助線→面」のボタンから図形を描くこともできます。

Webマニュアル［補助線］→［補助線を面に変換］

設定画面が表示されます。

2-3　表示させたい文字を入力して「OK」をクリックします。

詳しい操作方法はWEBマニュアルを参照してください。

Webマニュアル［2Dレイヤー］→［2Dレイヤの操作方法］

3　図形を描く

※今回は作業の必要はありません。

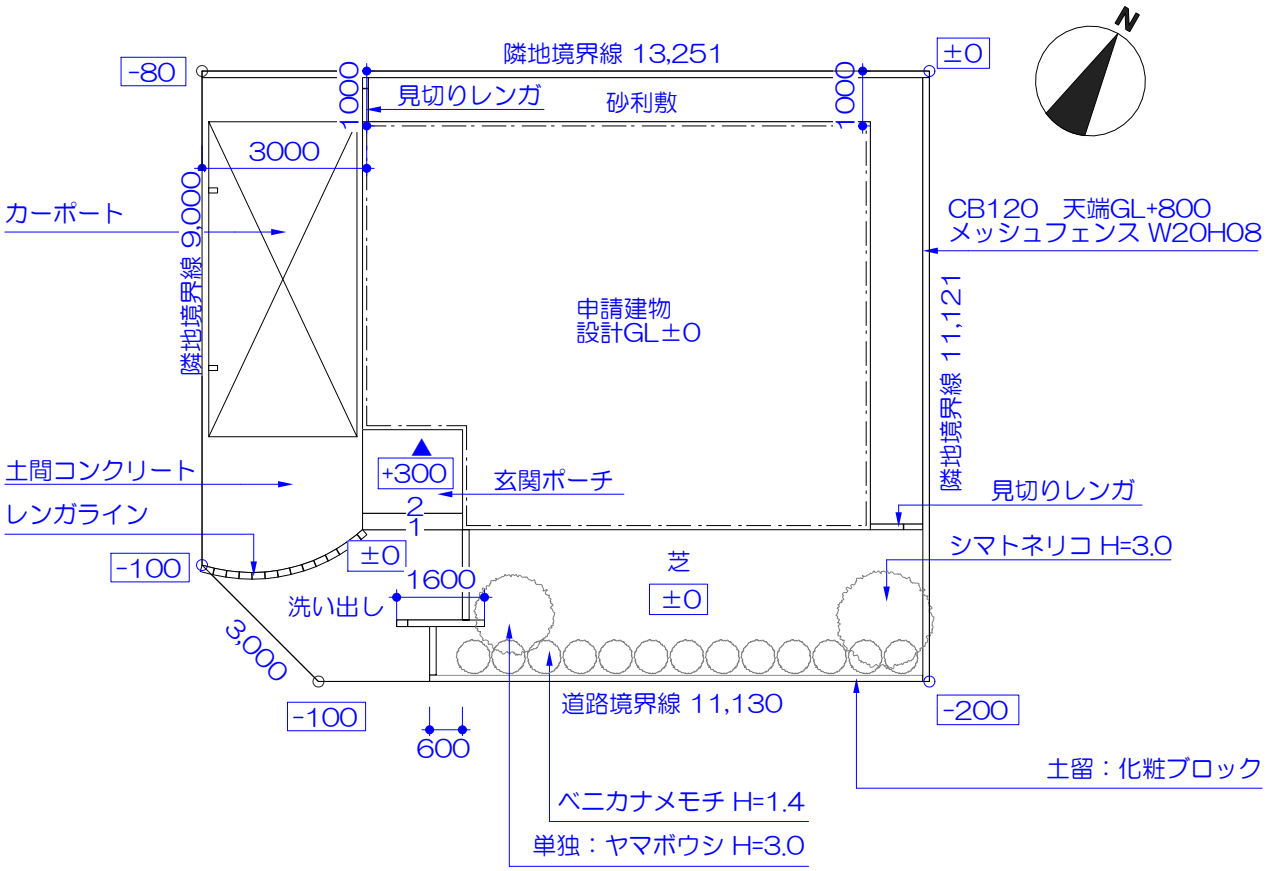
3-1　画面右上の各ツールボタンをクリックで選択して図形を描きます。

詳しい操作方法はWEBマニュアルを参照してください。

Webマニュアル［2Dレイヤ］→［2Dツール］

注釈を配置する

下の図を元に注釈を配置しましょう。今回は「方法1～6」を使用します。



注釈を配置する方法

注釈は**「注釈レイヤ」**で配置します。
境界寸法、ポイント、文字、方位、寸法線などを入力します。

方法1　敷地注釈を書く

敷地の寸法やレベルを書きます。

方法2　植栽注釈・製品注釈を書く

植栽・製品の注釈を書きます。

方法3　文字を書く

文字だけを書きます。

方法4　引き出し線を書く

矢印の付いた文字を書きます。

方法5　寸法線を書く

寸法線を書きます。

方法6　記号や定型文を配置する

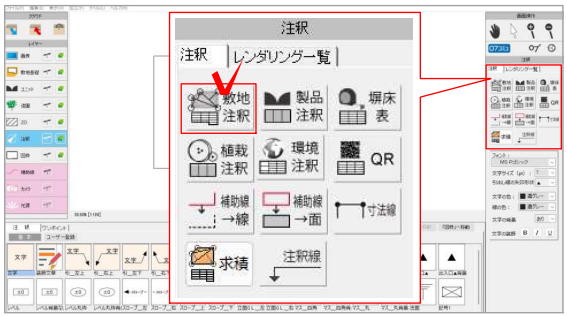
方位、建物入口のマークを配置します。



レイヤは「注釈」

1　敷地注釈

敷地の長さや、境界ポイントなどを表示させます。



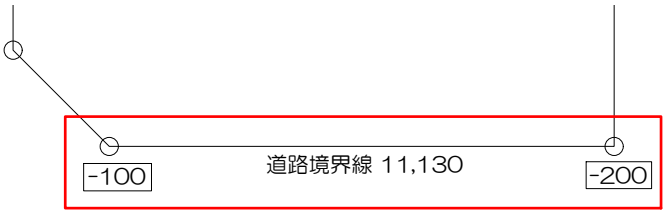
1-1　レイヤを**「注釈」**にし、画面右上の**「敷地注釈」**をクリックします。



1-2　求積表の設定画面が表示されます。
「いいえ」をクリックします。

求積表が必要な場合は「はい」をクリックします。

［注釈レイヤー］
→［敷地寸法を印刷に出す方法］



敷地注釈が表示されます。

【敷地寸法だけが表示されたときは・・・】



ダブル





「敷地基礎レイヤ」で注釈の設定をしていないと、寸法値のみが表示されます。
境界注釈を入力したい時は、下記のいずれかの方法で入力します。

方法1：**「注釈レイヤ」**で寸法値を**ダブルクリック**し、文字を入力します。

方法2：**「敷地基礎レイヤ」**へ戻り、注釈の設定をします。（設定はP.50を参照）
設定後、**「注釈レイヤ」**で**「敷地注釈」**をクリックします。

注釈　レイヤは「注釈」

2-1　植栽注釈を書く

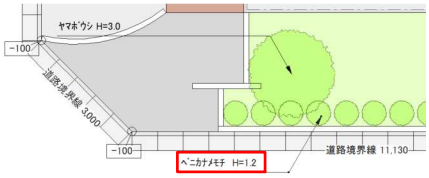


2-1-1　レイヤを「**注釈**」にし、画面右上の「**植栽注釈**」をクリックします。



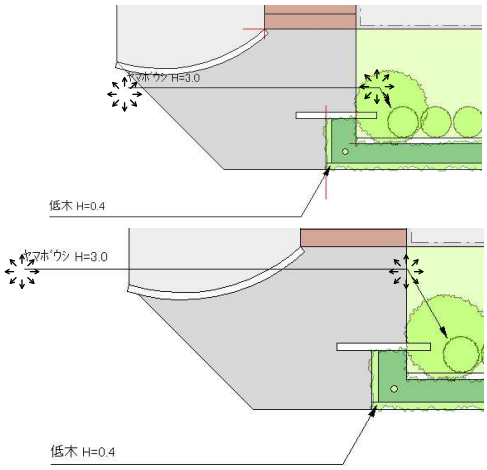
2-1-2　「引き出し線」を選択してクリックします。

植栽表の並び順は、環境設定より、名称順・樹高の高い順・樹高の低い順に変更が出来ます。



植栽の注釈が表示されました。

【植栽注釈：引き出し線と表】



【引き出し線】
外構の注釈同様、文字の付いた文字列を自動で表示します。

位置が他の注釈と重なることがあります。始めに表示して位置を調整してから、外構注釈を書きましょう。

引き出し線の中点または、終点（文字がある方）を　✥　で変形することができます。



植栽仕様表

記号	樹木名	H	C	W	数量	備考
1	ｸﾛｶﾞﾈﾓﾁ	1.8	---	1.1	1	
2	ｼｬﾗﾉｷ	2.5	---	1.4	1	
3	ﾄﾈﾘｺ	2.5	---	1.6	1	
4	ﾅﾅｶﾏﾄﾞ	2.3	---	1.3	1	
5	H1200 枝なし	1.2	---		1	
6	低木	0.3	---		2	

【表】
平面図の植栽上には番号が表示されます。
平面図右に使用している植栽の一覧表を作成します。

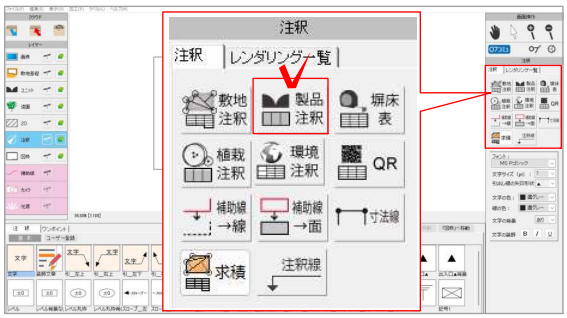
表はダブルクリックで編集可能です。

Webﾏﾆｭｱﾙ [注釈レイヤー]→[植栽表・引き出し線を作成する方法]



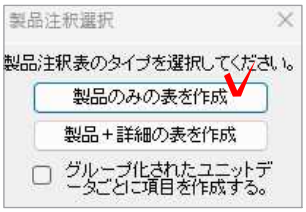
レイヤは「注釈」

2-2　製品注釈を書く



使用している製品（メーカー金物商品）を一覧で表示することができます。

2-2-1　レイヤを「**注釈**」にし、画面右上の「**製品注釈**」をクリックします。



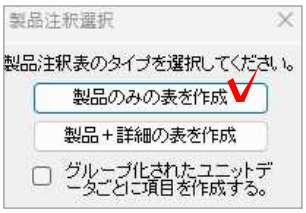
2-2-2　「製品のみ」を選択してクリックします。

製品一覧表

種別	メーカー	製品名	個数
両開門扉	三協アルミ	マイリッシュ_A01型　07-12W	1
機能門柱_ポール	(株)LIXIL	アクシィ1型_組合せ例01	1
照明	エクステリア一般	門柱灯03	1
フェンス	YKK AP	レスティナフェンス_21型　H800	6
カーポート	(株)LIXIL	フーゴFレギュラー_基本　27-50	1

製品の一覧表が表示されました。

【製品注釈】

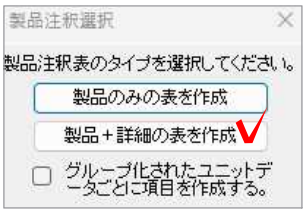


【製品のみ】
製品名一覧が表になります。

表はダブルクリックで編集可能です。

製品一覧表

種別	メーカー	製品名	個数
両開門扉	三協アルミ	マイリッシュ_A01型　07-12W	1
機能門柱_ポール	(株)LIXIL	アクシィ1型_組合せ例01	1
照明	エクステリア一般	門柱灯03	1
フェンス	YKK AP	レスティナフェンス_21型　H800	6
カーポート	(株)LIXIL	フーゴFレギュラー_基本　27-50	1



【製品+詳細】
製品名+オプション選択した製品名が表になります。

表はダブルクリックで編集可能です。

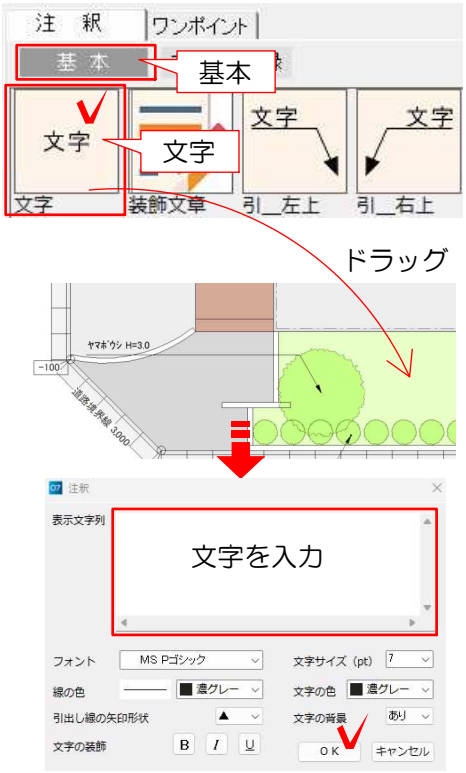
製品一覧表

種別	メーカー	製品名	個数
両開門扉	三協アルミ	マイリッシュ_A01型　07-12W	1
		四角柱_75角	2
		打掛錠_1	2
機能門柱_ポール	(株)LIXIL	アクシィ1型_組合せ例01	1
		アクシィ横型ポスト_右開き	1
		インターホン06	1
照明	エクステリア一般	門柱灯03	1
フェンス	YKK AP	レスティナフェンス_21型　H800	6
カーポート	(株)LIXIL	フーゴFレギュラー_基本　27-50	1

Webマニュアル [注釈レイヤー]
→[製品一覧表を作成する方法]



レイヤは「注釈」



3　文字を書く

3-1　レイヤを「**注釈**」にし、画面左下のパレット「**注釈**」→「**基本**」から「**文字**」を画面上へドラッグします。

【装飾文章について】



文節内の文字のフォント・背景・大きさを自由に変更できます。

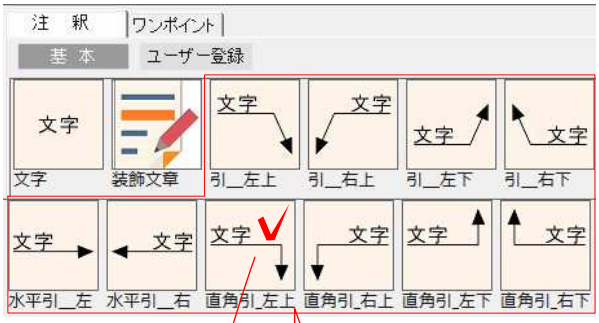


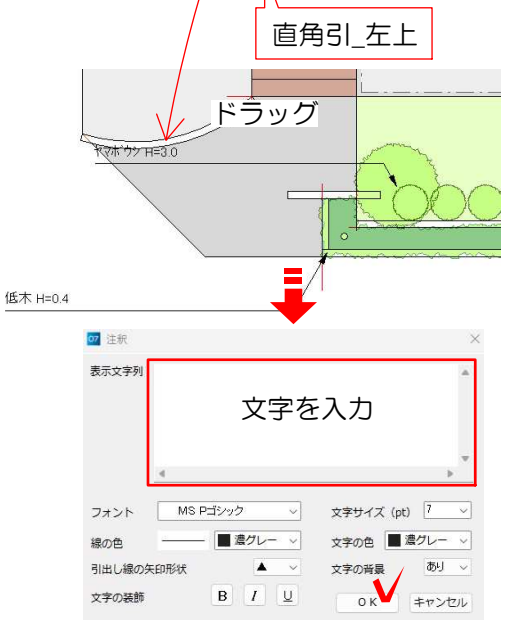
[注釈レイヤー]→[装飾文字]

注釈設定画面が表示されます。

図形の「仕様名」が入力されています。

3-2　表示させたい文字を入力して「OK」をクリックします。





4　引き出し線を書く

【方法1　スタンプ引き出し線】

4-1-1　レイヤを「**注釈**」にし、画面左下のパレットから**引き出し線**を画面上へドラッグします。

それぞれ引き出し線の角度と、文字の配置方向が違います。

4-1-2　矢印の先を図形に合わせて離します。

注釈設定画面が表示されます。

図形の「仕様名」が入力されています。

4-1-3　表示させたい文字を入力して「OK」をクリックします。



レイヤは「注釈」

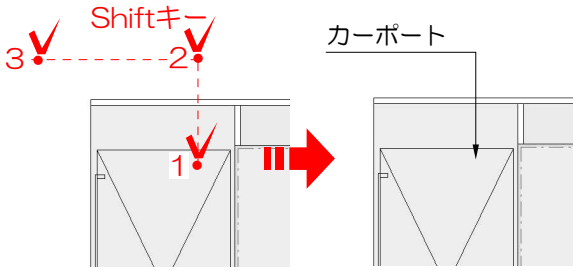


【方法2　手書き注釈線】

4-2-1　レイヤを「**注釈**」にし、画面右側の「**注釈線**」のボタンをクリックします。

手書き注釈線は任意の点で3回または2回クリックすることで自由に向きや長さを指定して注釈線を配置することができます。

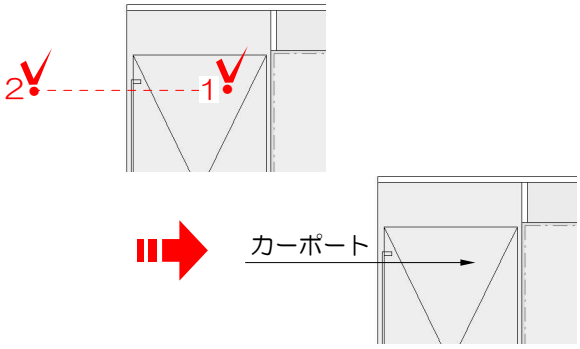
【折れ点のある注釈線の場合】



4-2-2　(1点目)
作図画面上で注釈線の矢印の先になる位置をクリックします。

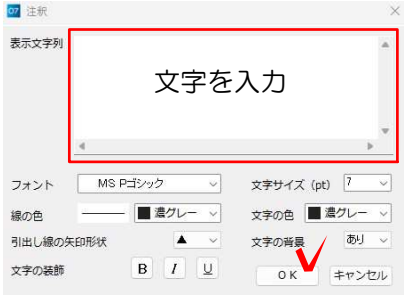
4-2-3　(2点目)
中点となる位置をクリックします。
※直角の注釈線にする場合はキーボードのShiftキーを押しながら2点目をクリックしましょう。
※直線の注釈線の場合はこの操作は不要です。

【直線の注釈線の場合】



4-2-4　(3点目)
右側または左側にマウスを移動し、文字を配置したい位置でクリックします。

注釈設定画面が表示されます。



図形の「仕様名」が入力されています。

4-2-5　表示させたい文字を入力して「OK」をクリックします。

※「注釈線」を解除する場合は、別のツールを選ぶかキーボードのESCを押すと解除されます。

【文字のフォントやサイズ・色を変えたいときは・・・】



文字のフォントやサイズを変更するには、いくつかの方法があります。

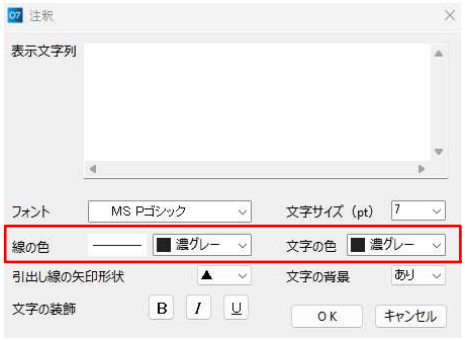
【複数を変更する】
変更したい注釈を選択し、画面右のフォントとサイズを変更します。

※注釈配置前に設定しておくと、配置する注釈は設定したフォント・サイズで表示されます。

【注釈設定画面】



【一つだけ変更する】
変更したい注釈をダブルクリックし、注釈設定画面で変更します。



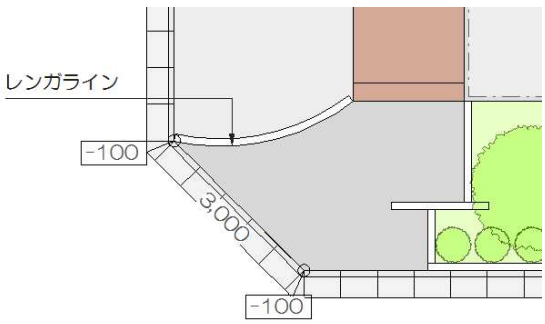
文字の色を変更する方法

引き出し線の色・文字の色を選択し変更します。

※フォントとサイズを変更する時と同じように複数でも変更する事ができます。



【デフォルト設定をする】
注釈を何も選択しない状態で設定しておくとデフォルトを決める事ができます。
何回も設定しなくても、CADを開いた時に設定したフォントや文字のサイズになっています。

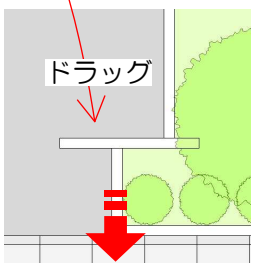


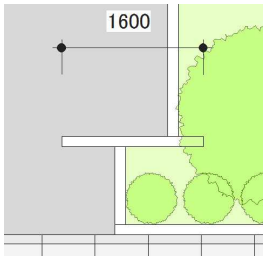
他の引き出し線も入力してみましょう。

入力ができたら保存しましょう。

注釈　　レイヤは「注釈」







5　寸法線を書く

【方法1　スタンプ寸法線】

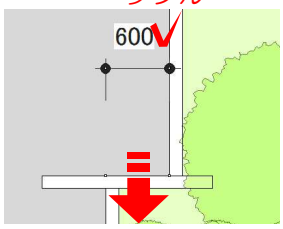
5-1-1　レイヤを「**注釈**」にし、画面左下のパレットから「**寸法線**」を画面上へドラッグします。

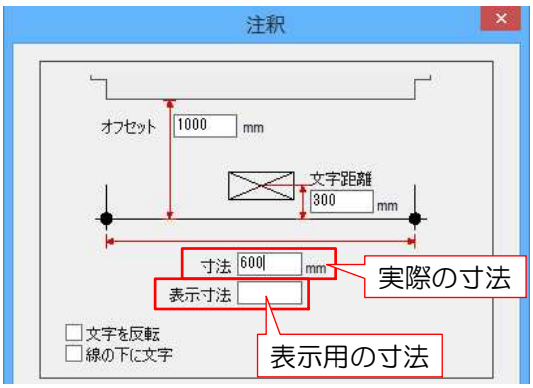
矢印の先を寸法線を配置したい図形に合わせて離します。

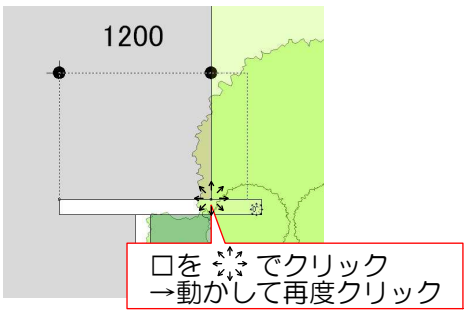
寸法線が配置されました。

【寸法線の数値が合わないときは・・・】

ダブル







寸法線が図形に合わなかった場合は長さや表示数値を調整します。

【調整方法1】
寸法線の数値をダブルクリックします。

「寸法」で実際の長さ、「表示寸法」で表示用の長さが設定できます。
※表示寸法は数字以外の文字も入力できます。

07 Webマニュアル　［注釈レイヤー］
→［寸法線を配置する方法］

【調整方法2】
寸法線の数値をクリックし、表示された□を ✲ になったらクリックします。

移動させたい位置でクリックして調整できます。

※数値や角度がおよその位置になるので調整方法1と併用して利用しましょう。

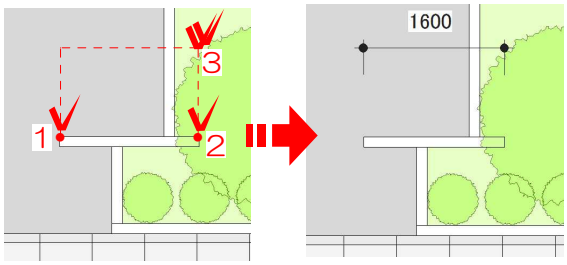


レイヤは「注釈」

【方法2　手書き寸法線】



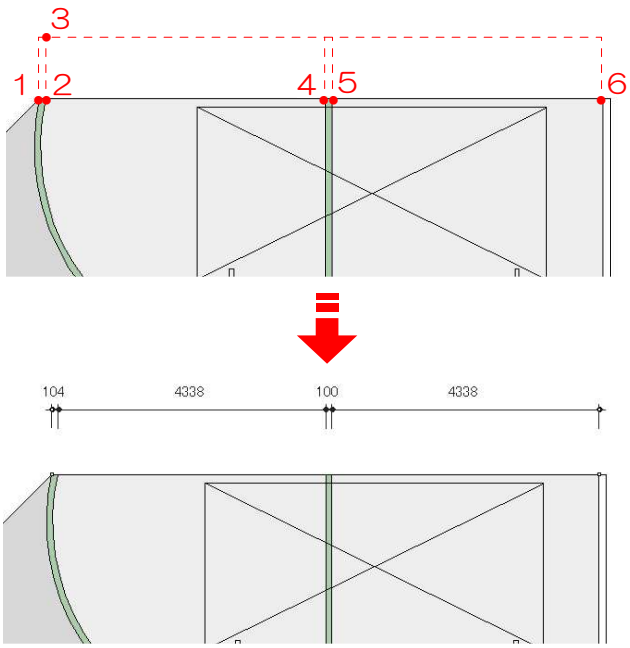
5-2-1　レイヤを「**注釈**」にし、画面右側の「**寸法線**」のボタンをクリックします。



5-2-2　寸法を入れる対象の2点をクリックで指定します。左図1、2

5-2-3　マウスを移動して寸法線を配置する位置でダブルクリックします。左図3

【寸法線を連続で書く方法】



1　寸法を入れる対象の2点をクリックで指定します。左図1、2

2　マウスを移動して寸法線を配置する位置でクリックします。左図3

先に指定した2点と平行な寸法線が描画されます。
Shiftキーを押すと用紙に対して水平、垂直の角度で配置されます。

3　以降のクリックで、連続して寸法線を作成します。左図4、5

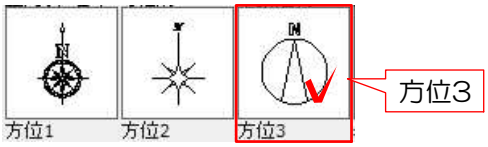
4　ダブルクリックで作成が終了します。左図6
寸法線は、グループ化されて配置されます。



レイヤは「注釈」

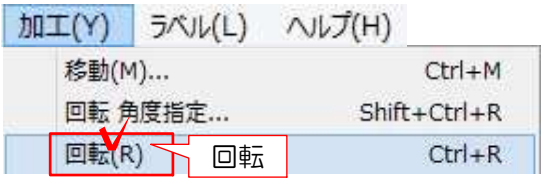
6　記号や定型文を配置する

ここでは方位と建物入り口の▲、その他定型文を配置します。



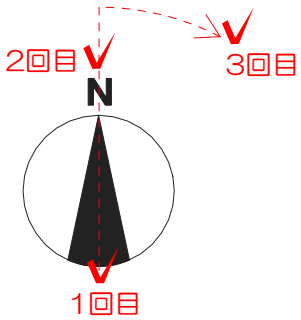
6-1　レイヤを「**注釈**」にし、「**方位3**」を画面上へドラッグします。

方位の角度を調整します。



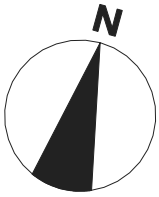
6-2　配置した方位を選択した状態で、「加工」メニューの「**回転**」をクリックします。

「回転」は任意の点を3回クリックすることで回転させます。
今回は縦軸を右へ回転させたいので以下のように作業します。



6-3　**【クリック1回目】**
回転する時の基準にしたい点でクリック。
大抵、図形の中心や角です。
今回は中央一番下の点。

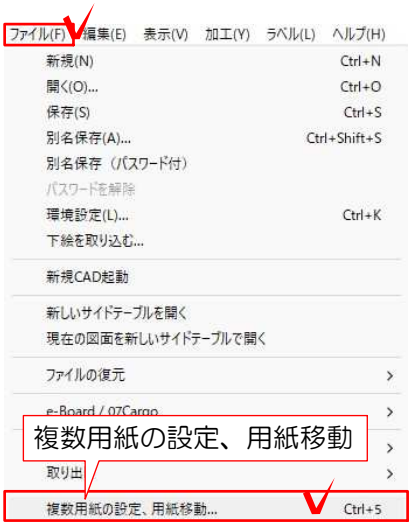
6-4　**【クリック2回目】**
回転する軸になるラインでクリック。
大抵、1回目の点と反対側の角などです。
今回は方位軸に沿って中央一番上の点。



6-5　**【クリック3回目】**
軸の回転方向でクリック。
角度があっていればいいので、少し離れたところを指定します。
今回は右斜め上の点。

方位が回転しました。

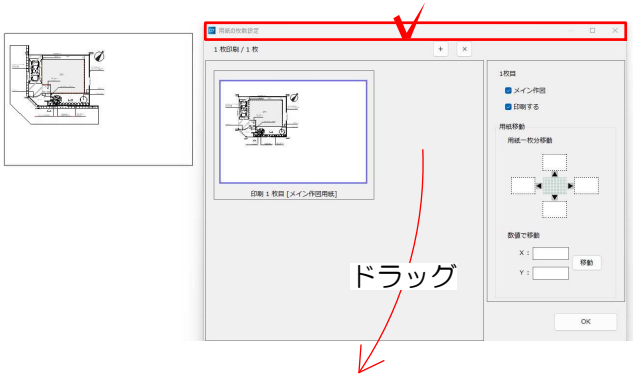
【注釈が用紙枠から出てしまうときは・・・】



注釈が用紙から出てしまう場合は、**用紙を移動**して調整します。

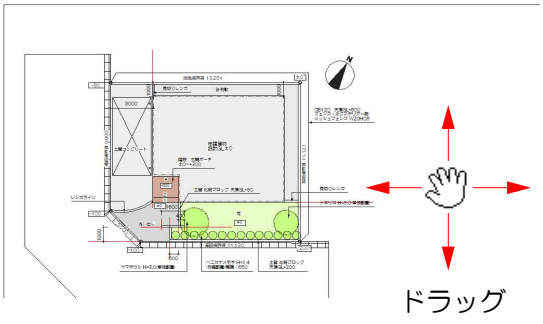
［用紙］
→［平面図のレイアウト位置を調整する方法］

1-1　レイヤを「注釈」にし、「ファイル」メニューから「複数用紙の設定、用紙移動」をクリックします。

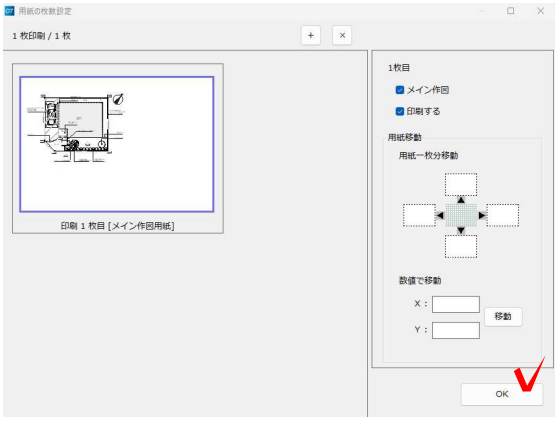


複数用紙の設定、用紙移動の設定画面が表示されます。

1-2　設定画面の上部バーをドラッグし、画面下へ移動します。



1-3　画面上にカーソルを動かし、 になったらドラッグして用紙範囲を動かします。



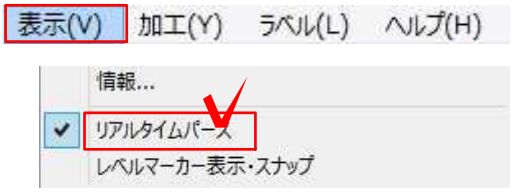
1-4　用紙位置が調整できたら「OK」をクリックします。

リアルタイムパースでイメージパースを作成する

リアルタイムパースを表示してイメージパースを作成してみましょう。



リアルタイムパースでテクスチャ(素材の模様)・効果設定を変更して、イメージパースを作成します。



1　リアルタイムパース表示

1-1　「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。

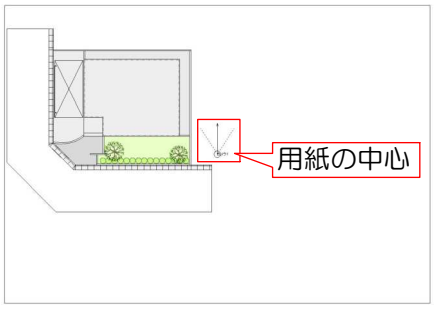


リアルタイムパースが表示されます。

[リアルタイムパース]→
[リアルタイムパース　基本操作]



レイヤは「カメラ」



1　カメラを設定

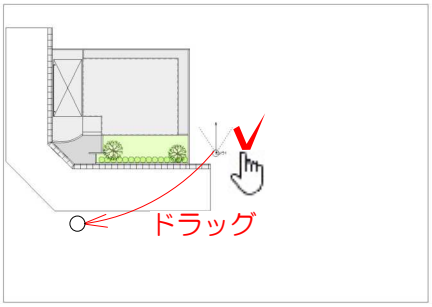
カメラを表示します。

1-1　レイヤを「カメラ」にします。

用紙の中心に「カメラ1」が表示されます。

【レイヤをカメラにしても、カメラが表示されないときは・・・】

カメラは用紙の中心に表示されます。用紙の中心が見えるまで画面を縮小してみましょう。

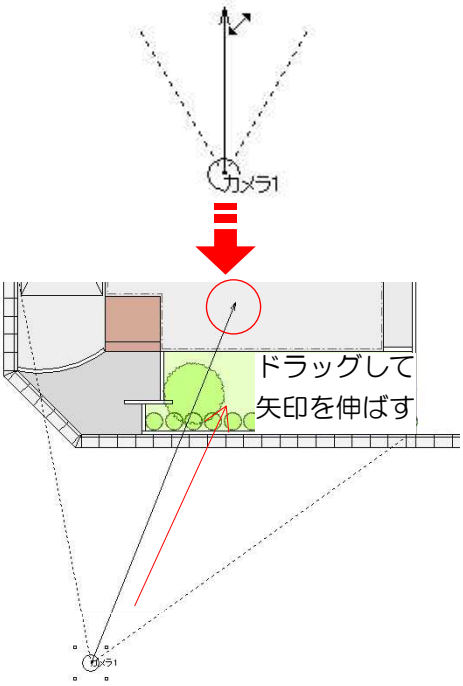


カメラの位置を調整します。

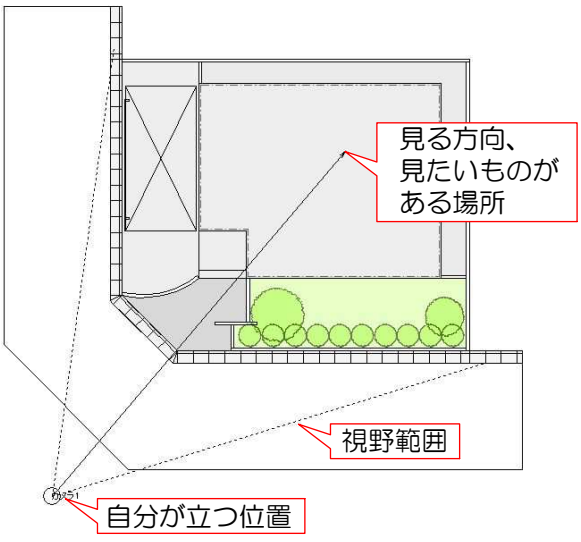
1-2　カメラの〇にカーソルを合わせ、  になったら、ドラッグでカメラ位置（自分が立ちたい位置に）を移動します。

カメラの角度を調整します。

1-3　カメラの矢印の先にカーソルを合わせます。



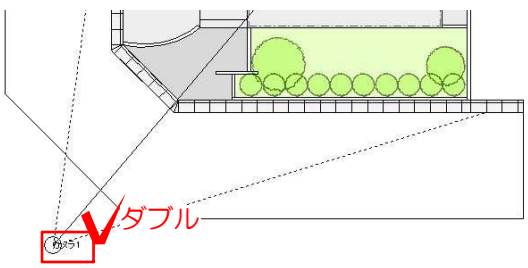
1-4　  になったら、ドラッグして矢印の先を見たい方向へ伸ばします。



〇＝自分が立つ位置

矢印の先＝見る方向
見たいものがある場所
（全体パースの場合は視野範囲が、
平面図全て入る様に合わせます。
部分パースで門柱を見せたい場合
は門柱に矢印の先を合わせます。）

－－－　＝視野範囲
この点線の範囲に入っている所まで
パースに入ります。



1-5　カメラをダブルクリックします。

リアルタイムパースに表示されます。

カメラを追加する

カメラを追加して、違う角度のパースも作成してみましょう。





カメラを追加すると、複数のパースカメラを作成する事ができます。

今回は「全体パース」と門周りの「部分パース」、「立面パース」の3つを作成します。

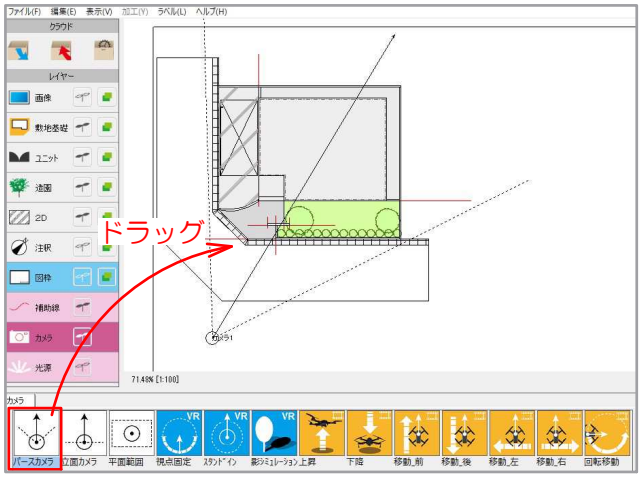


レイヤは「カメラ」

1　部分パース用カメラを追加

カメラを追加します。

1-1　レイヤを「カメラ」にします。



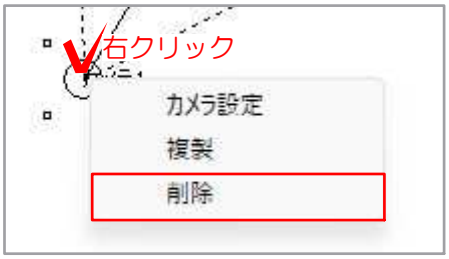
1-2　画面左下、「パースカメラ」を画面上にドラッグします。

「カメラ2」が追加され、画面上に表示されます。

配置位置や角度を調整して、門周りが見えるようにしましょう。

カメラをダブルクリックすると、リアルタイムパースに表示されるようになります。

【追加したカメラを削除する方法】



カメラの上で右クリックすると削除することが出来ます。

リアルタイムパースで視点を動かす

リアルタイムパースで視点を動かして、見る角度を変更をしてみましょう。



1-1　リアルタイムパース画面右上の
パンツール  を選択します。

パンツールを選択すると、手のイラストが白色に変わります。

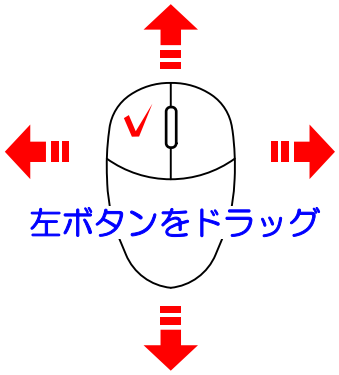


【パンツールとは】

パースカメラをリアルタイムパース内で動かす為の機能です。
作業画面でカメラや視点位置マーク  を移動するのと同じです。

【上下左右に回転】

マウスの左ボタンを、上へドラッグで「見上げる」、下へドラッグで「見下ろす」、左右へドラックで回転します。



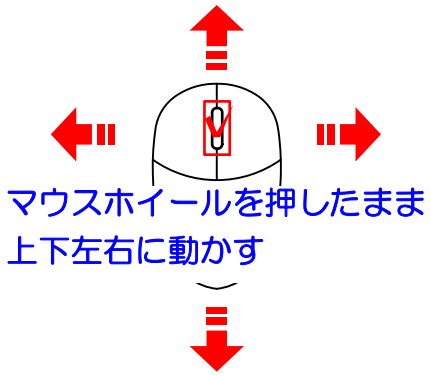


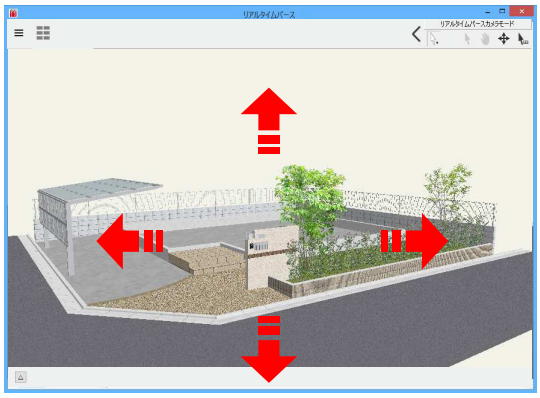
Shiftキーを押したまま動かすと、水平・垂直方向に固定することができます。

Ctrlキーを押したまま動かすと、小さく動かすことができます。

【上下左右に移動】

方法1 マウスホイールを押したまま上下左右に動かします。見たい部分が端に寄っている時に使用します。

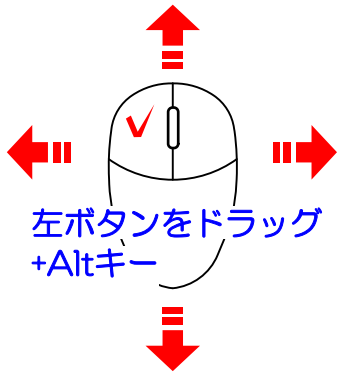




Shiftキーを押したまま動かすと、水平・垂直方向に固定することができます。

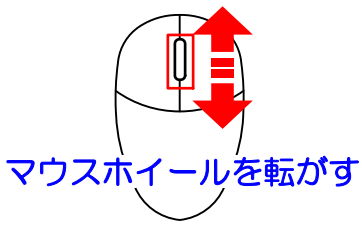
Ctrlキーを押したまま動かすと、小さく動かすことができます。

方法2 マウスの左ボタン+Alt　上下左右へドラッグでその方向に移動します。



【前後に移動】

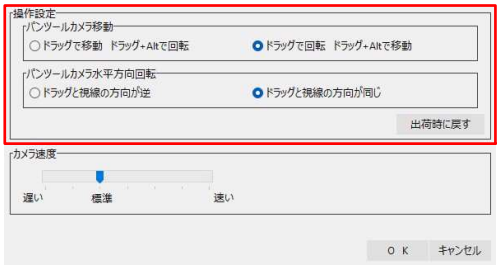
マウスホイールを上へ転がすと前へ、下へ転がすと後ろへ移動します。近づいたり遠のいたりします。





カメラ(視点)調整方法の設定





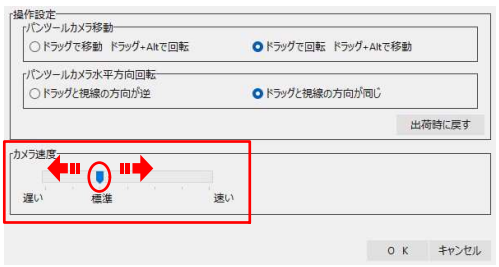
パースカメラで視点を動かす時(パンツール使用時)のカメラ(視点)の調整方法を変更することができます。

1　リアルタイムパース画面の左上にある ☰ のボタンをクリックし、「環境設定」をクリックします。

2　操作設定で「パンツールカメラ移動」と「パンツール水平方向回転」の設定を変更します。

カメラ(視点)移動の速度設定





リアルタイムパースカメラとパースカメラで視点を動かす時のカメラの移動速度を変更することができます。

1　リアルタイムパース画面の左上にある ☰ のボタンをクリックし、「環境設定」をクリックします。

2　カメラ速度のバーを動かし速度を調整します。

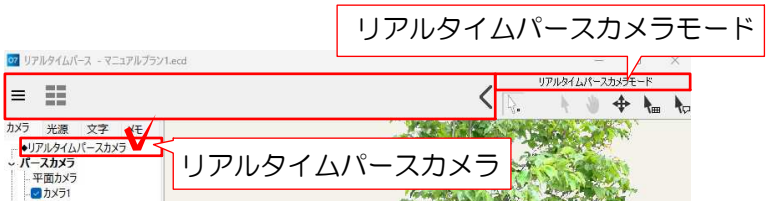
遅い→マウスの動きに対して
　　画面がゆっくり動きます。
速い→マウスの動きに対して
　　画面が速く動きます。

【カメラの種類について】

リアルタイムパース内のカメラの種類は4種類あります。画面左上より選択し使い分けます。

「リアルタイムパースカメラ」

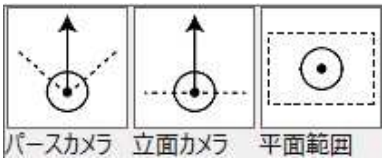
目地位置やテクスチャを調整する際、見たい所を見る為の【作業用カメラ】です。

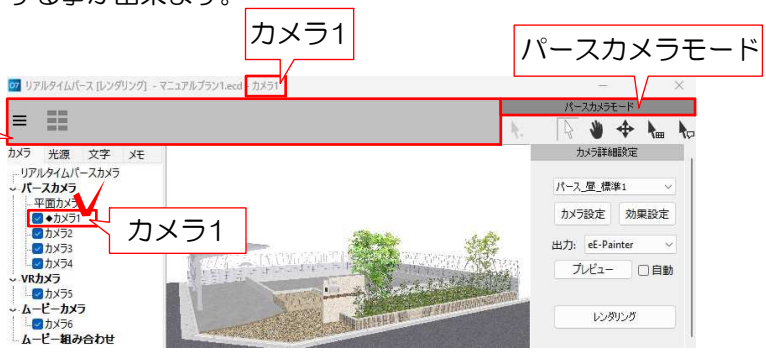


「パースカメラ」

作成したパース画像を、図面にレイアウトする為の【パース用カメラ】です。
レンダリング（平面図上に貼る為に画像を撮る事）するパース数だけカメラを増やして使います。そうすることで、図面修正の際、カメラを切り替えるだけで同じ視点のパースを何度もレンダリングする事が出来ます。

選択しているカメラの種類によって画面上部の色が変わります。



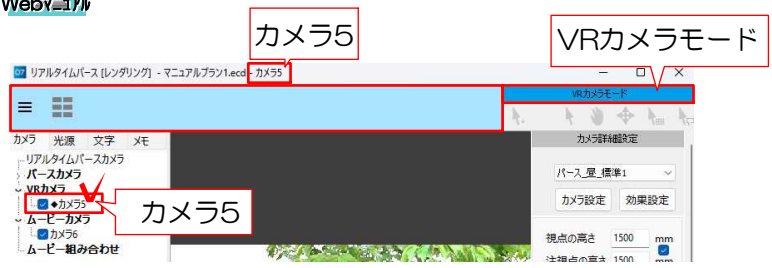


「VRカメラ」

VRを作成するカメラです。

Webマニュアル [VR]→[VR作成方法]



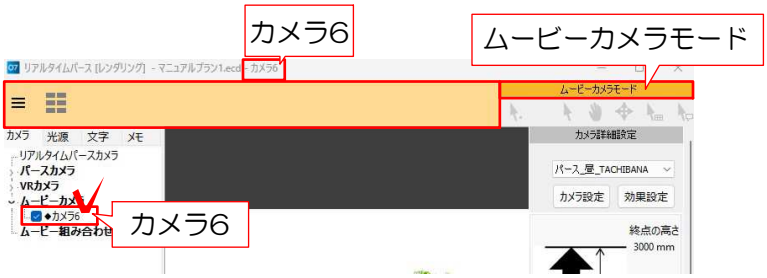


「プロモーションカメラ」

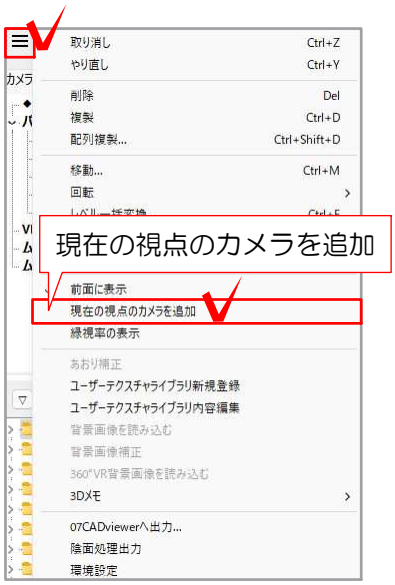
ムービーを作成するカメラです。

Webマニュアル [プロモーションカメラ]→[プロモーションカメラ　ムービー作成方法]





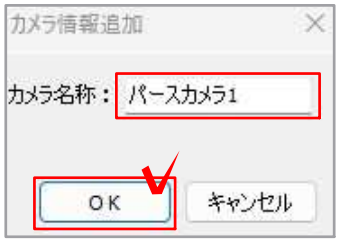
【リアルタイムパースカメラで設定した視点をパースカメラに追加】



「リアルタイムパースカメラ」で視点を設定しても、レンダリングできません。「パースカメラ」を追加する必要があります。

1-1　リアルタイムパース画面の左上にある ☰ のボタンをクリックし、

「現在の視点のカメラを追加」をクリックします。



1-2　**「カメラ名称」**を入力し、**「OK」**をクリックします。

【簡単拡大表示】



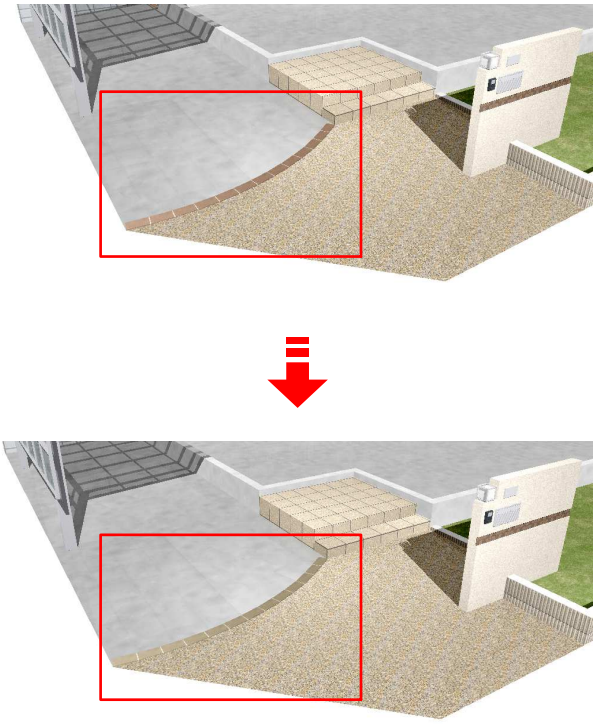
1-1　左上の「リアルタイムパースカメラ」を選択します。



1-2　作業したい図形をダブルクリックすると大きく見ることが出来ます。

テクスチャを貼る

リアルタイムパースでテクスチャを貼り換えてみましょう。



リアルタイムパース上で塀や床などの素材を変更する時に使うのがテクスチャです。
※各図形の設定画面でも変更可能です。

方法1　貼り換え

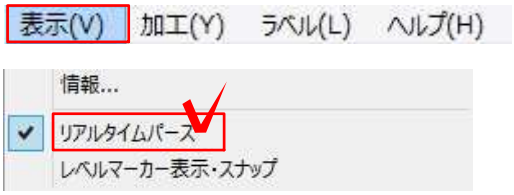
初期設定もしくは貼ってあるテクスチャを変更します。

方法2　貼り分け

同じ仕様の図形に、異なるテクスチャを貼ります。

方法3　同じテクスチャを貼る

画面上で既に使用しているテクスチャを他の図形にも使用する方法です。





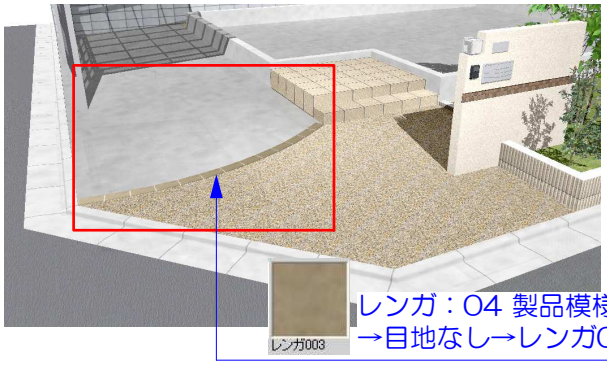
1　リアルタイムパース表示

リアルタイムパースが表示されてない場合は、画面を表示します。

1-1　「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。

リアルタイムパースが表示されます。

2　貼り換え



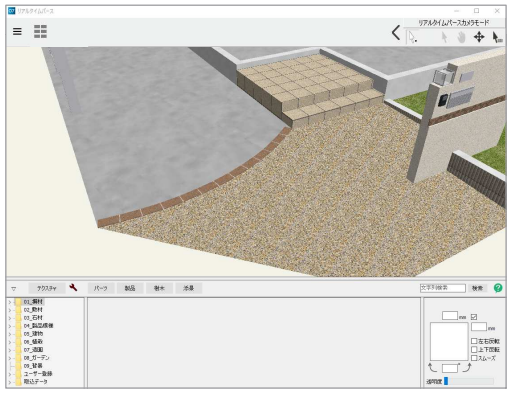
左図のようにテクスチャを貼り換えましょう。



2-1　左上の「リアルタイムパースカメラ」をクリックします。

2-2　調整したい図形をダブルクリックして、図形を大きく表示します。

調整したい図形が拡大されます。



2-3　画面下の「テクスチャ」をクリックします。

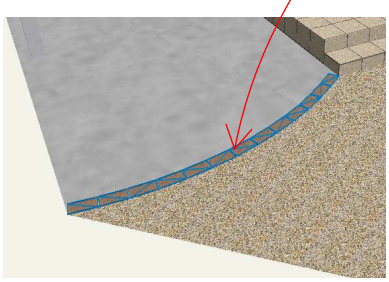
【テクスチャー欄が表示されていない場合は】
左下の△マークをクリックすると表示されます。





2-4　画面下の一覧から使用したいテクスチャを選択します。

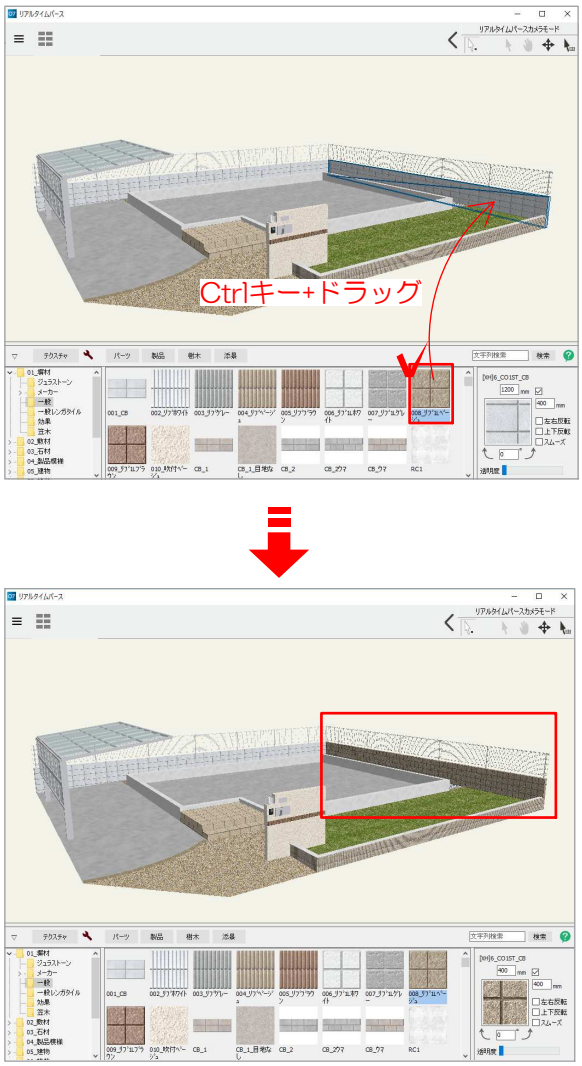
04_製品模様
→一般　→目地なし
→レンガ003



2-5　選択したテクスチャを貼り換えたい図形にドラッグします。

青い線が表示されている図形にテクスチャが貼り替えられます。

【貼り換えしたくない図形まで変わってしまう場合】



3　貼り分け

ドラッグしてテクスチャを貼ったときに、複数の図形に同じテクスチャが貼られる場合は、それらが同じ「仕様」になっているときです。以下の2通りの方法で違うテクスチャを貼る事ができます。

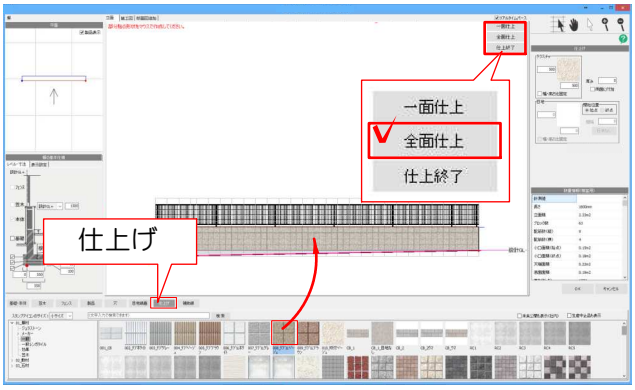
【方法1】

リアルタイムパースで
テクスチャを貼り分ける方法

3-1-1　画面下のテクスチャー覧から使用したいテクスチャを選択します。

3-1-2　**Ctrlキーを押したまま、**選択したテクスチャを貼り分けたい図形にドラッグします。

テクスチャの貼り分けができました。



【方法2】

塀の設定画面でテクスチャを変える方法

3-2-1　CADの平面図に戻り、塀をダブルクリックします。

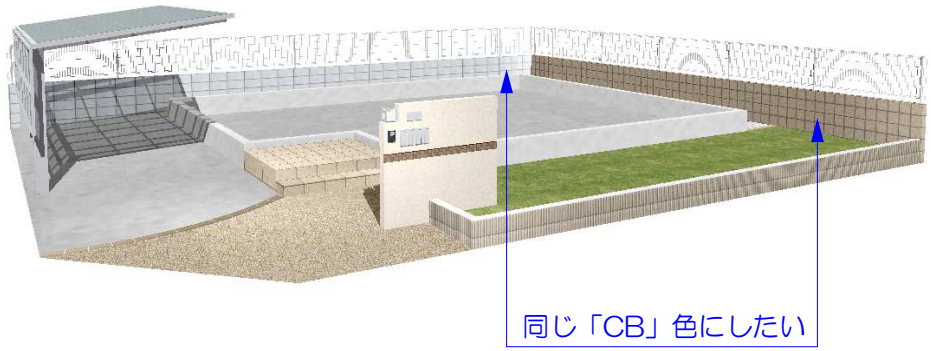
3-2-2　設定画面下の**「仕上げ」**をクリックして変更したいテクスチャをドラックします。

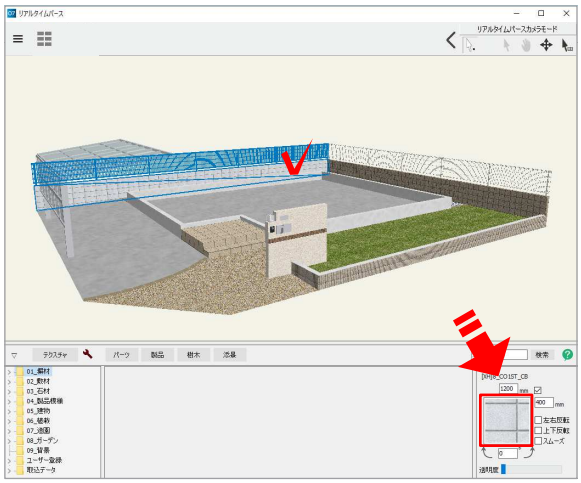
3-2-3　右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。

【他の図形と同じテクスチャを使用したい場合】

4　同じテクスチャを貼る

画面上で既に使用しているテクスチャを他の図形にも使用する方法です。

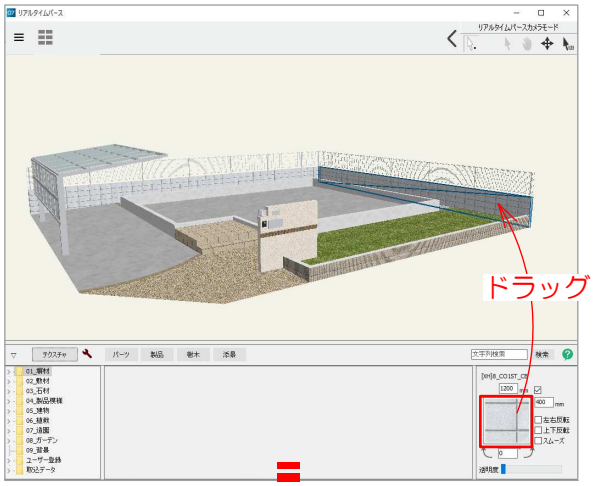




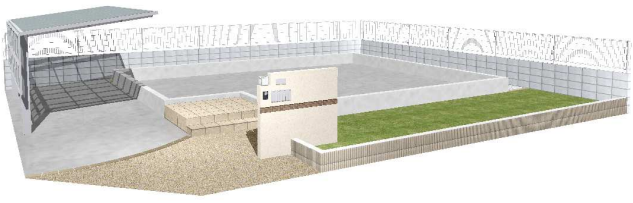
貼りたいテクスチャを選択します。

4-1　リアルタイムパース上で他のところにも貼りたいテクスチャが貼ってある図形をクリックします。

画面右下にテクスチャの絵が表示されます。



4-2　画面右下に表示されたテクスチャ画像を貼りたい図形にドラッグします。



選択したテクスチャと同じものが貼れます。

【テクスチャの検索方法】

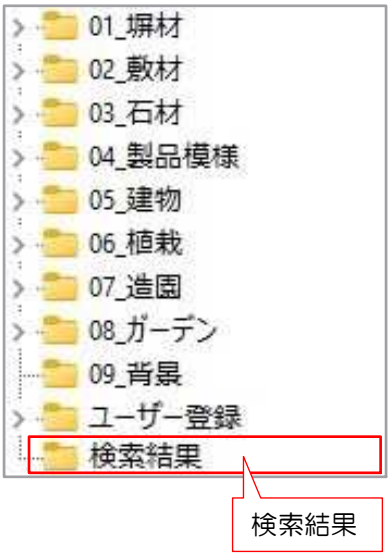


1-1：画面右下の検索欄に検索したい文字を入力します。

1-2：検索をクリックします。



1-3：入力した文字が名前に含まれているテクスチャー覧がパレットに表示されます。



※「検索結果フォルダ」をクリックすると最後に検索したテクスチャが表示されます。

【背景を設定するには・・・】

背景に空などのテクスチャを使用したり、単色で表示することができます。







1　テクスチャを使用する

1-1　背景を入れたいパースカメラを選択します。

1-2　画面下の**「テクスチャ」**から使用したいテクスチャを選択します。

09_背景　→　空など

【テクスチャをドラッグしても、背景が変わらない場合は・・・】



画面右上の「効果設定」をクリックします。

効果設定画面が表示されます。



効果設定画面左上の背景「テクスチャ」をクリックします。

効果設定画面右下の**「変更」**をクリックして、テクスチャを再度ドラッグしてみましょう。

2　単色にする



2-1　画面右上の「効果設定」をクリックします。

効果設定画面が表示されます。



2-2　背景「カラー」をクリックし、□をクリックし、カラーを選択します。

背景は上下2色選択できます。

カラーパレットが表示されます。

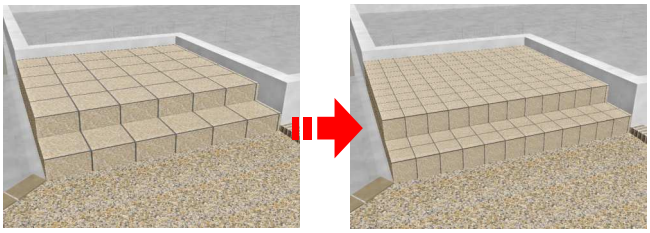


2-3　好みの色をクリックし、「OK」をクリックします。

2-4　「変更」をクリックします。

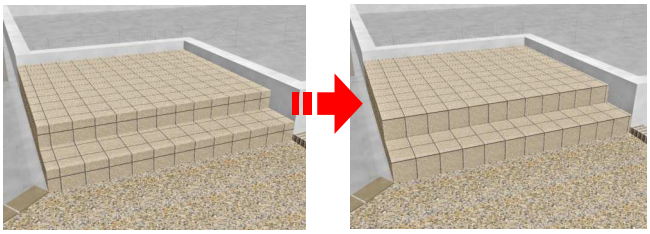
テクスチャを調整する

テクスチャを調整してみましょう。



1　サイズを変える

テクスチャのサイズを調整します。

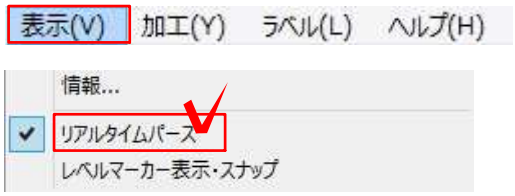


2　模様を合わせる

図形とテクスチャのズレを調整します。

3　色を変える

テクスチャの素材の色を変更できます。



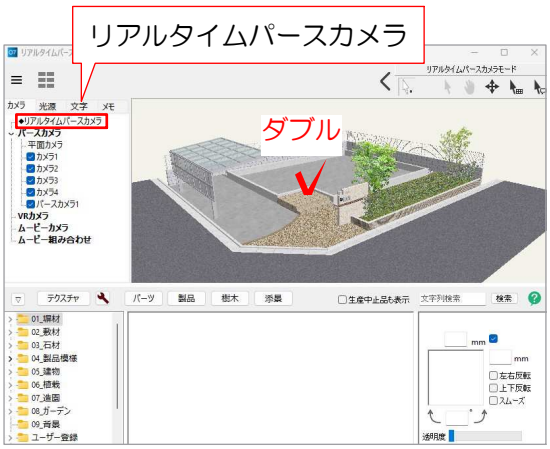


1　リアルタイムパース表示

リアルタイムパースが表示されてない場合は、画面を表示します。

1-1　「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。

リアルタイムパースが表示されます。

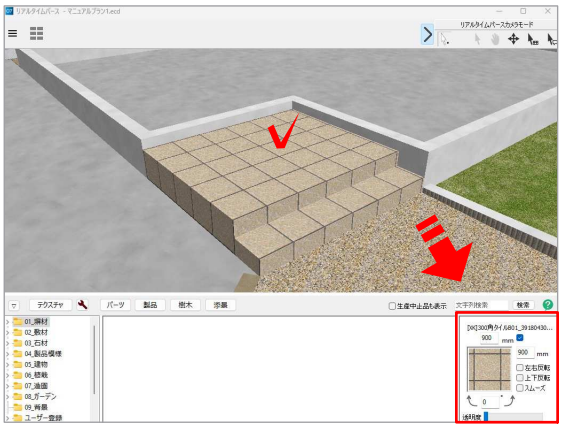


1　サイズを変える

1-1　左上の「リアルタイムパースカメラ」をクリックします。

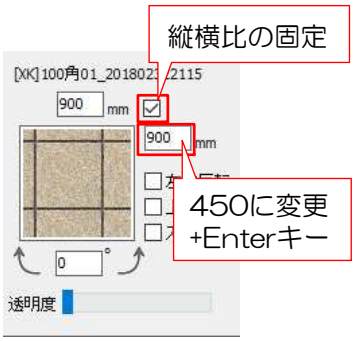
1-2　調整したい図形をダブルクリックして、図形を大きく表示します。

模様を合わせたい図形が拡大されます。



1-3　サイズを変えたいテクスチャが貼ってある図形をクリックします。

画面右下にテクスチャの絵が表示されます。



300角タイルを150角タイルへ変更してみましょう。

1-4　画面右下のテクスチャ欄にある数値を450に変更し、Enterキーを押します。

【テクスチャーサイズについて】

テクスチャー欄の数値はタイル寸法とは関係がありません。
300角タイルでも900㎜と表示されています。300角を半分の150角にしたい場合は、寸法も半分の数値にしますので、450㎜と入力します。

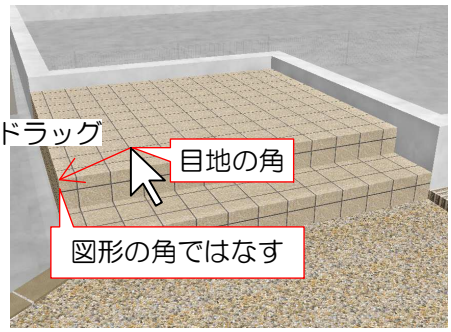


テクスチャのサイズが変更されました。

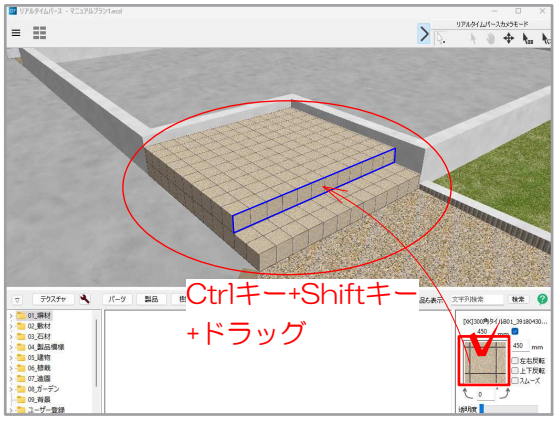


2　模様を合わせる

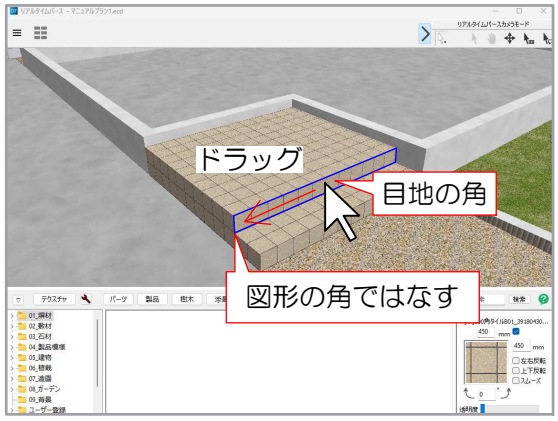
2-1　画面右上の  をクリックし、目地位置を変えたいテクスチャをドラッグします。



【側面だけテクスチャを動かしたい場合は・・・】



1　右下に表示されているテクスチャの絵を、**Ctrlキー+Shiftキーを押したまま**階段の側面に向かってドラッグします。



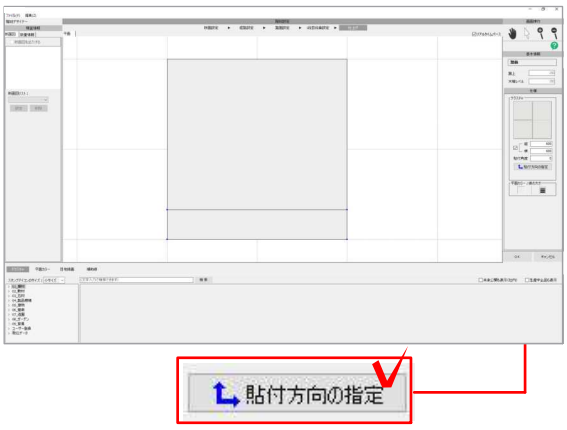
側面だけテクスチャを動かせるようになりました。テクスチャをドラッグして模様を合わせてみましょう。

【階段・塀・床の設定画面でテクスチャ貼り付け方向と位置を設定する方法】



レイヤはユニット

テクスチャの貼付け方向・位置の設定は各図形（階段・塀・床）の設定画面で設定することもできます。
※今回は作業の必要はありません。

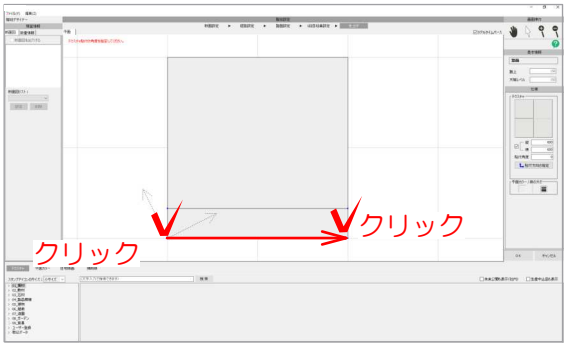


【階段】

1-1　CADの平面図に戻り、階段をダブルクリックします。

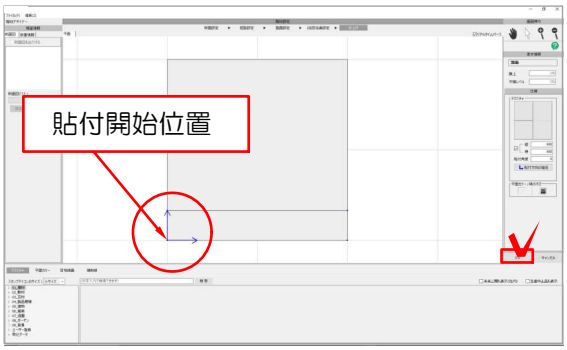
1-2　対象の階段をクリックします。
現在の貼付開始位置（貼付方向）が確認できます。

1-3　「貼付方向の指定」をクリックします。



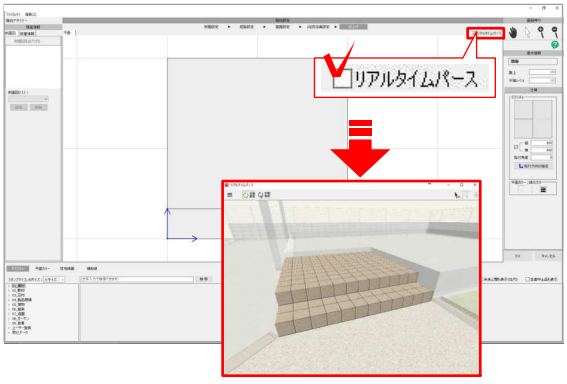
1-4　貼付け開始位置となる頂点をクリックします。

1-5　テクスチャを貼る方向をクリックで指定します。



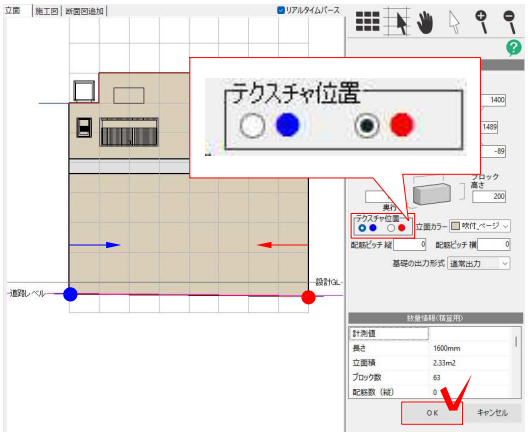
テクスチャ方向が設定され矢印がつきます。

1-6　画面右下の「OK」をクリックします。



【リアルタイムパースの表示】

右上の「リアルタイムパース」にチェックを入れると表示されます。
変更したテクスチャの確認をしましょう。



【塀】

2-1　CADの平面図に戻り、塀をダブルクリックします。

2-2　テクスチャの貼付け開始位置を選択することができます。
●または●を選択します。

2-3　画面右下のOKをクリックします。

【床】

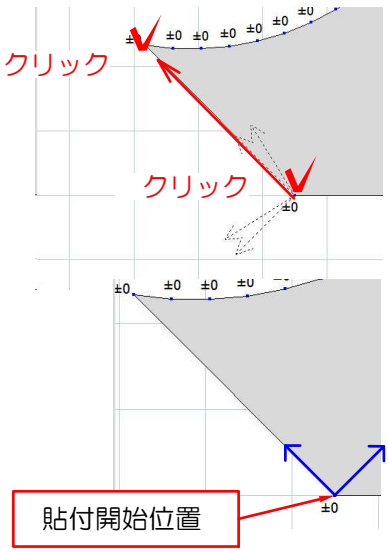
3-1　CADの平面図に戻り、床をダブルクリックします。



3-2　対象の床をクリックします。

現在の貼付開始位置（貼付方向）が確認できます。

3-3　「貼付方向の指定」をクリックします。



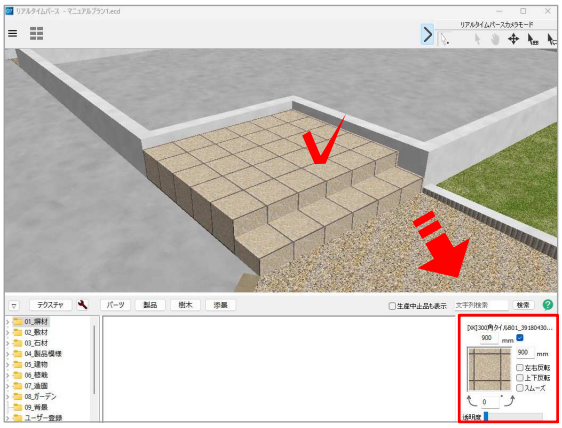
3-4　貼付け開始位置となる頂点をクリックします。

3-5　テクスチャを貼る方向をクリックで指定します。

テクスチャ方向が設定され矢印がつきます。

※同時にテクスチャの開始位置を設定することができます。

3-6　画面右下の「OK」をクリックします。

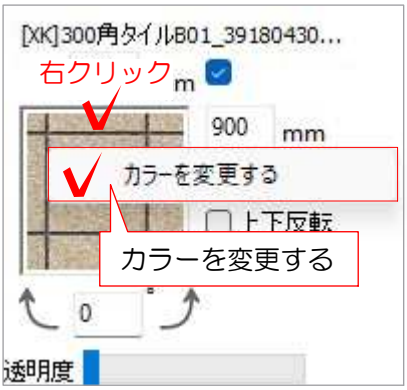


3　色を変える

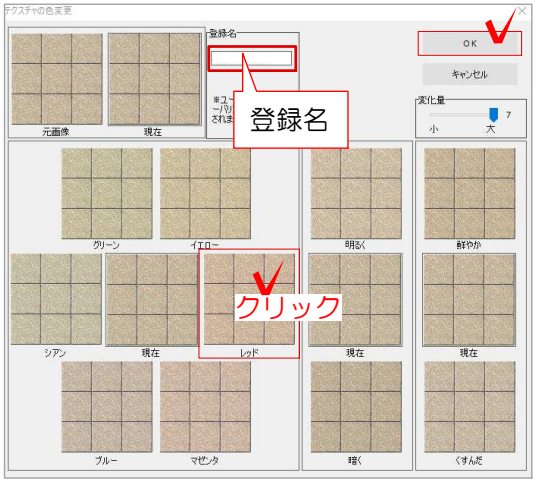
色を変更したい部分を選択します。

3-1　テクスチャの色を変更したい部分をクリックします。

画面右下にテクスチャの絵が表示されます。



3-2　右下のテクスチャの上で右クリックをして「カラーを変更する」をクリックします。



3-3　テクスチャの色変更でプラスしたい色をクリックで選択します。登録名を変更してOKで完成です。

※作成したテクスチャは自動的にユーザー登録→カラーバリエーションに登録されます。

効果設定を変える

設定を変えることで、いろいろな演出をすることができます。



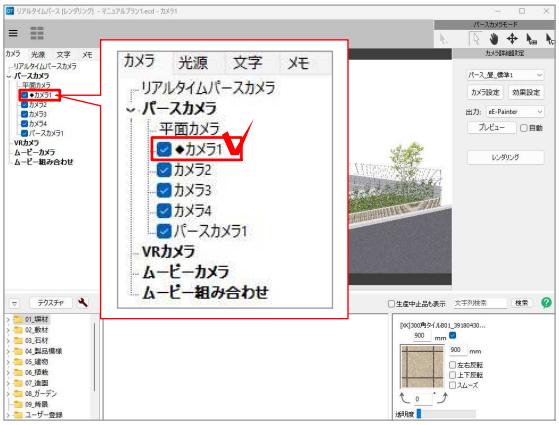
設定1　簡易設定

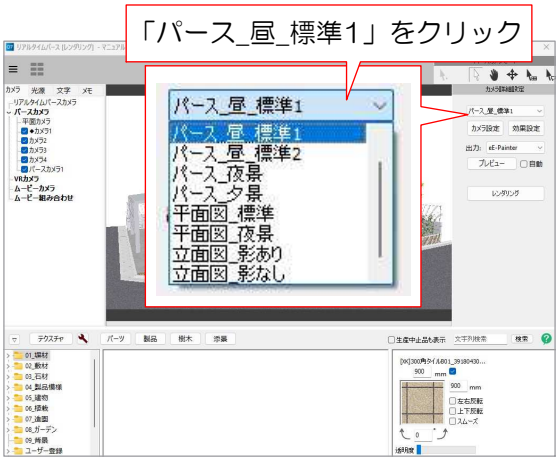
あらかじめ用意された設定一覧から選択します。



設定2　手動設定

各効果の設定を変更して、オリジナルの設定をすることができます。





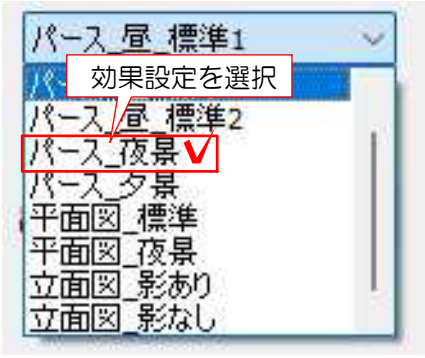
1　簡易設定

初期設定にいくつかの設定が登録されています。リアルタイムパース画面右上の「設定」で選択します。

1-1　画面左上「パースカメラ」の「カメラ1」クリックします。

1-2　画面右上「カメラ詳細設定」の「パース_昼_標準1」をクリックします。

効果設定一覧が表示されます。



1-3　一覧から使用したい効果設定をクリックします。

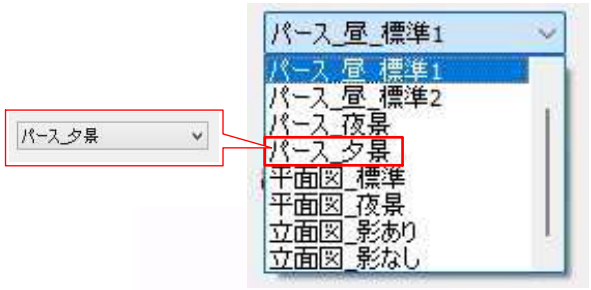


選択した効果設定が反映されます。

効果設定を変えることで簡単に昼・夕方・夜・平面図用の設定をすることができます。



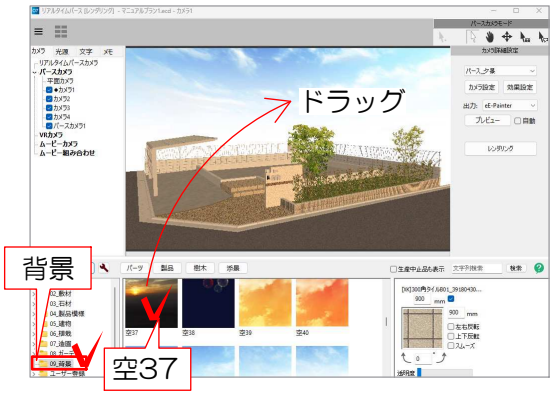
【夕景カメラにしたときは・・・】



「夕景パース」を選択した時に背景が夕景ではないテクスチャーや背景が白色のことがあります。



「夕景パース」は**背景設定が「テクスチャ」**になっているので、背景に夕景のテクスチャを貼ることで夕景らしい絵になります。



リアルタイムパース画面左下の「レンダリング」→「背景」を選択し、「空37」を背景へドラッグします。



背景が入って夕景らしくなります。

【効果設定の初期設定一覧】

リアルタイムパース　効果設定の初期設定一覧です。



パース_昼_標準1

初期設定はこの効果設定です。
SPファインダーがオンの設定です。
影が柔らかい印象です。



パース_昼_標準2

SPファインダーがオフの設定です。
はっきりしたイメージです。

Webマニュアル [効果設定]→[SPファインダー]



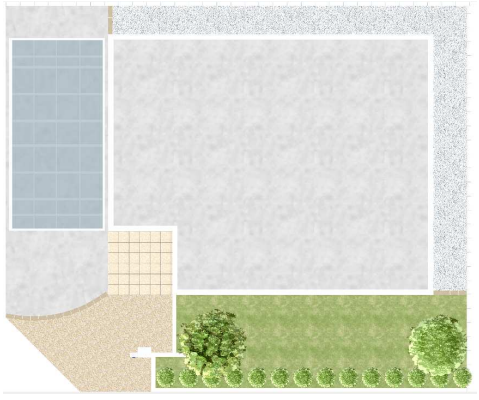
パース_夜景

夜景は平面図上で配置した照明（光源のマークが付いているもののみ）が自動点灯します

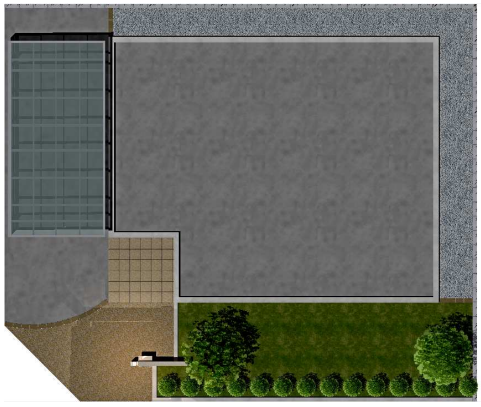


パース_夕景

夕景は背景に**テクスチャ**を使用しています。
前ページ「夕景カメラにしたときは」参照。



平面図_標準



平面図_夜景



立面図_影あり



立面図_影なし

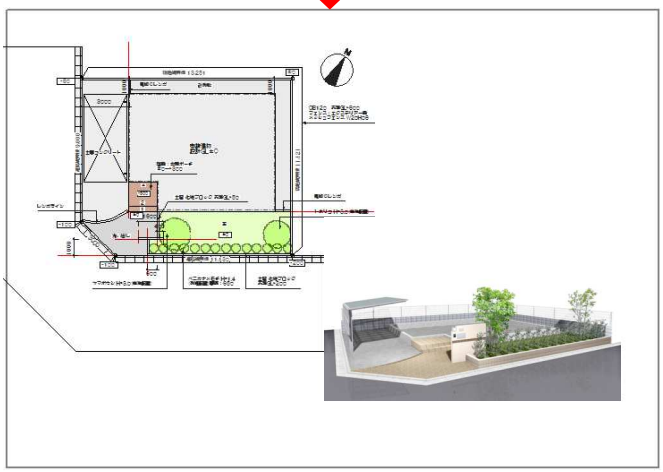
※名称や設定は予告なく変更になる場合がございます。

画像をCADに貼る

リアルタイムパースで作ったパースをCAD平面図上へ貼りつけます。



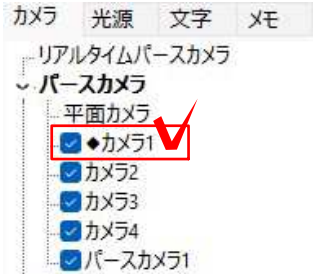
リアルタイムパースで角度やテクスチャを調整したパースをCAD平面図上に貼りつけます。



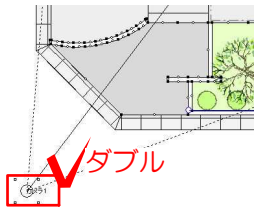
カメラが複数ある時は、各カメラごとに作業をします。

ここでは**カメラ1とカメラ2でパース**を、**カメラ3で立面図**を作成します。

方法1



方法2





1　カメラを選択

1-1　パースカメラを選択します

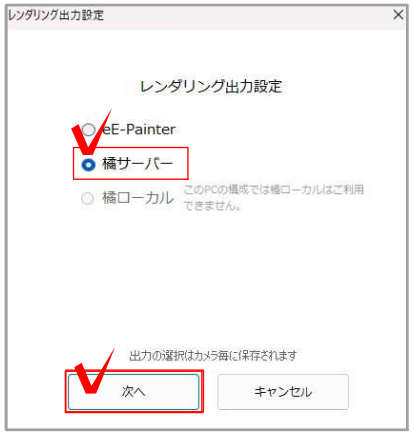
方法1：リアルタイムパース画面左上の
　　カメラ1を選択します。
方法2：平面のカメラ1
　　をダブルクリックします。



2　図面上へ配置

CAD平面図上にパースを配置します。

2-1　画面右側の「**レンダリング**」をクリックします。



レンダリング設定画面が表示されます。

2-2　「eE-Painter」もしくは「**橋サーバー**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。

※リアルで高精細な仕上は「橋サーバー」を選択しましょう。

※「橋ローカル」PCに橋レンダリングをインストールしてる場合ごしよういただけます。インストールはPCのスペックが関係します。

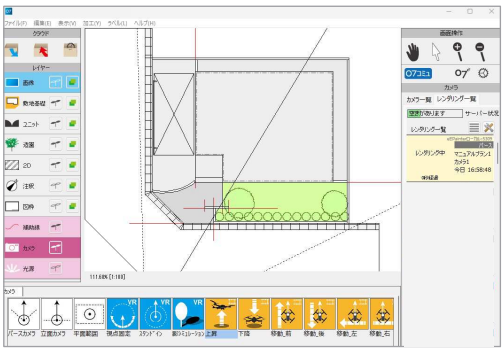
2-3　「中」を選択し、「**レンダリング開始**」をクリックします。



画像サイズは印刷するパースの大きさによって選択します。

通常は「中」を。A3にパース1つの場合は「大」を目安にします。

大きいほど精密なパースができますが、データが重くなります。用紙に合わせた最適なサイズを選択しましょう。



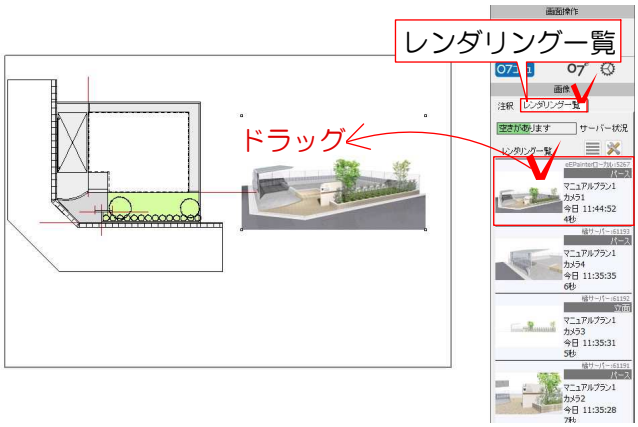
レンダリングが開始されました。

平面作業画面に戻りましょう。



レイヤは「画像」

2-4　レイヤを「画像」にします。

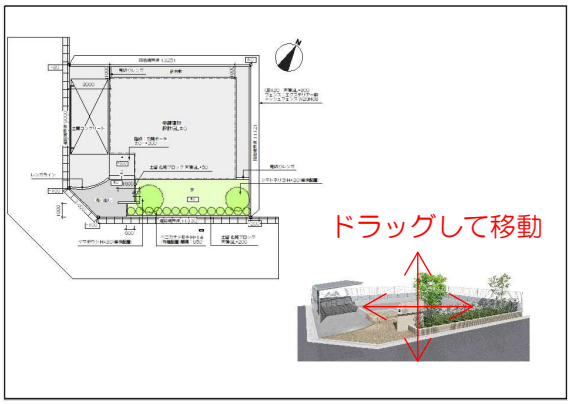


2-5　画面右側のレンダリング一覧から画像をドラッグで図面上に配置します。

レンダリング中の場合は、他の作業をしながらレンダリングが終わるのを待ちましょう。

2-6　パースの位置を調整します。

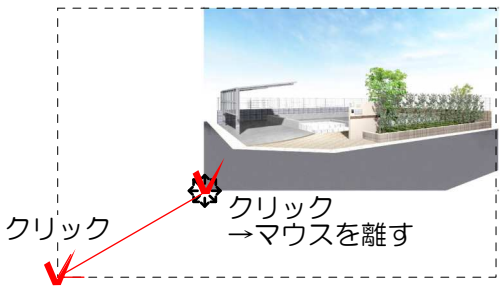
パースは「画像」レイヤに配置されます。適当な位置に移動しましょう。



保存しましょう。

同じ要領で**カメラ2**のパースも図面上へ配置しましょう。

【画像のサイズを変更するには】



パース画像をクリックで選択し、角に表示された□にカーソルを合わせて ✥ になった所でクリックします。
マウスを動かし、変えたい大きさになったところでクリックします。

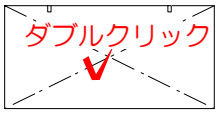
【建材カタログの製品の画像を取り込みたいときは・・・】



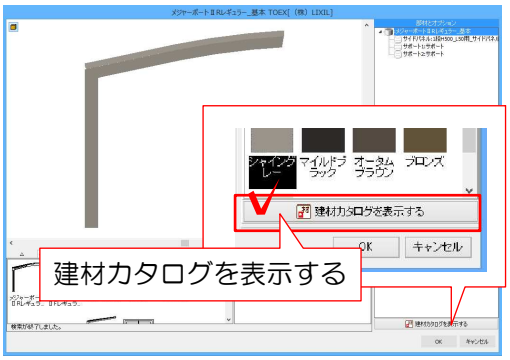
「建材カタログ」には豊富な製品画像やプランの画像が用意されています。それらの画像を図面に貼り付けることでプレゼンの説得力をアップさせましょう。

主要なメーカーの主要製品は「建材カタログ」の表示先が「建材サーチ(ArchiVillage社)」と連携しています。
一部連携していない製品については、従来どおり「e-tokoカタログ」が表示されます。

1　製品をダブルクリックした画面から「建材カタログ」を開く方法



1-1　図面上の製品をダブルクリックし部材デザイナーを起動します。



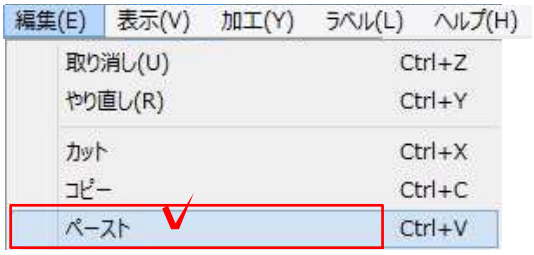
1-2　右下の「建材カタログを表示する」をクリックします。

「建材カタログ」の該当製品のページが表示されます。



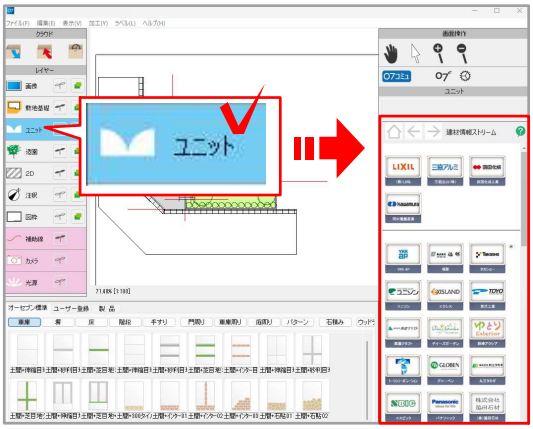
1-3　図面上に貼り付けたい画像の上で右クリックして、「画像をコピー」をクリックします。

1-4　CADの画面に戻り、編集メニューの中からペーストをクリックします。



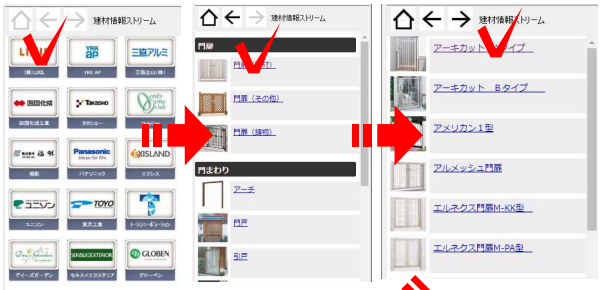
図面上に画像が貼り付けられます。

2　建材情報ストリームから「建材カタログ」を開く方法



2-1　レイヤを「ユニット」にします。

画面右側に「建材情報ストリーム」が表示されます。



2-2　メーカー、種別、シリーズを順番に選択していきます。

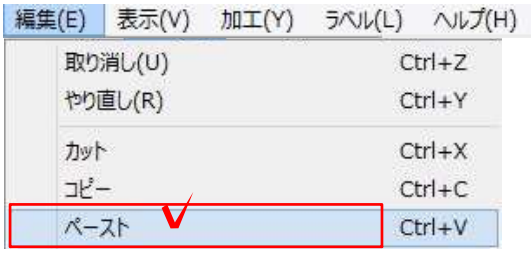


2-3　「カタログを見る」をクリックします。

「建材カタログ」の該当製品のページが表示されます。



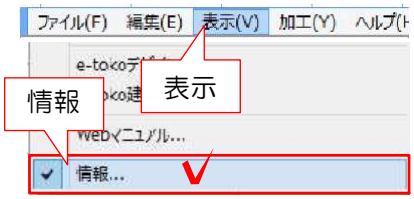
2-4　図面上に貼り付けたい画像の上で右クリックして、「画像をコピー」をクリックします。



2-5　CADの画面に戻り、編集メニューの中からペーストをクリックします。

図面上に画像が貼り付けられます。

3　情報画面から「e-tokoカタログ」を開く方法



3-1　表示メニューから情報を選択し、情報画面を表示します。



3-2　ユニットレイヤで製品を選択します。

情報画面に製品の情報が表示されます。



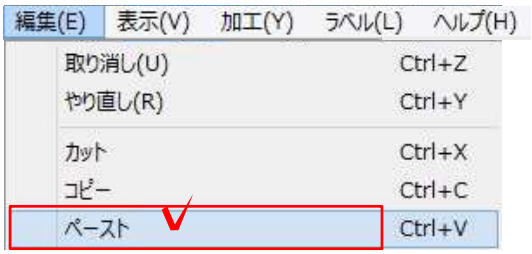
3-3「カタログ」をクリックします。

「e-tokoカタログ」の該当製品のページが表示されます。



3-4　図面上に貼り付けたい画像の上で右クリックして、「画像をコピー」をクリックします。

3-5　CADの画面に戻り、編集メニューの中からペーストをクリックします。



図面上に画像が貼り付けられます。

【現場写真や樹木の画像を取り込みたいときは・・・】



O7CADには樹木写真が登録されており、図面上に配置する事が可能です。
またデジカメでとった現場写真や、スキャナーで取り込んだ画像データを図面上に貼り付けることも可能です。

1　造園レイヤで樹木画像を貼り付ける方法



1-1　造園のレイヤに移動し、画像を使いたい樹木を図面上でクリックします。

1-2　画面右にある詳細パレット内の＜樹木詳細情報＞をクリックします。

樹木詳細情報が表示されます。



1-3　樹木詳細情報に表示されている画像をドラッグで図面上に配置します。

樹木画像の貼り付けが出来ました。

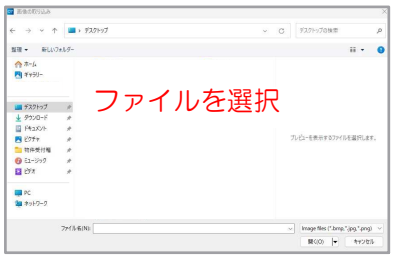
2　写真など画像を取り込む方法



2-1　注釈のレイヤに移動します。

2-2　ファイルメニューの中から取り込みをクリックし、更に画像をクリックします。

ファイルを選択する画面が表示されます。



2-3　取り込みたい画像データをクリックし、開くをクリックします。

【文字が隠れてしまうときは・・・】

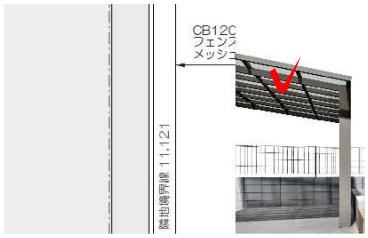


パースを配置すると文字が見えなくなる場合があります。これは文字が注釈レイヤではなく画像レイヤにあるためです。
パースが前面に配置されることで、文字が下に隠れてしまいます。
パースの表示順を文字の下に変更するか、文字を注釈レイヤへ移動することで解消できます。



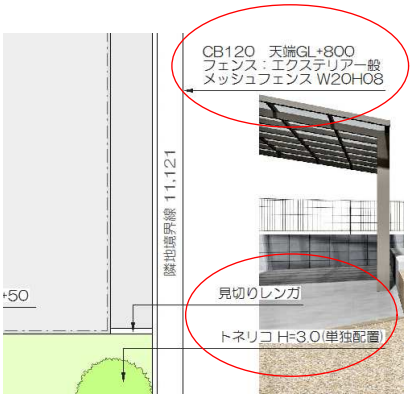
レイヤは「画像」

1-1　レイヤが**「画像」**になっているか確認し、パース画像をクリックします。





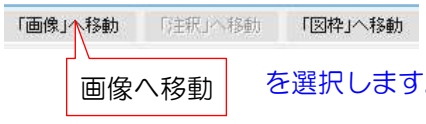
1-2　「加工」メニューの**「最後へ」**をクリックします。



1-3　パース画像が文字の下になり、文字が見えるようになります。

注釈のレイヤで配置した文字等は画像レイヤが一番下に表示されるので前後関係を変更する必要はありません。

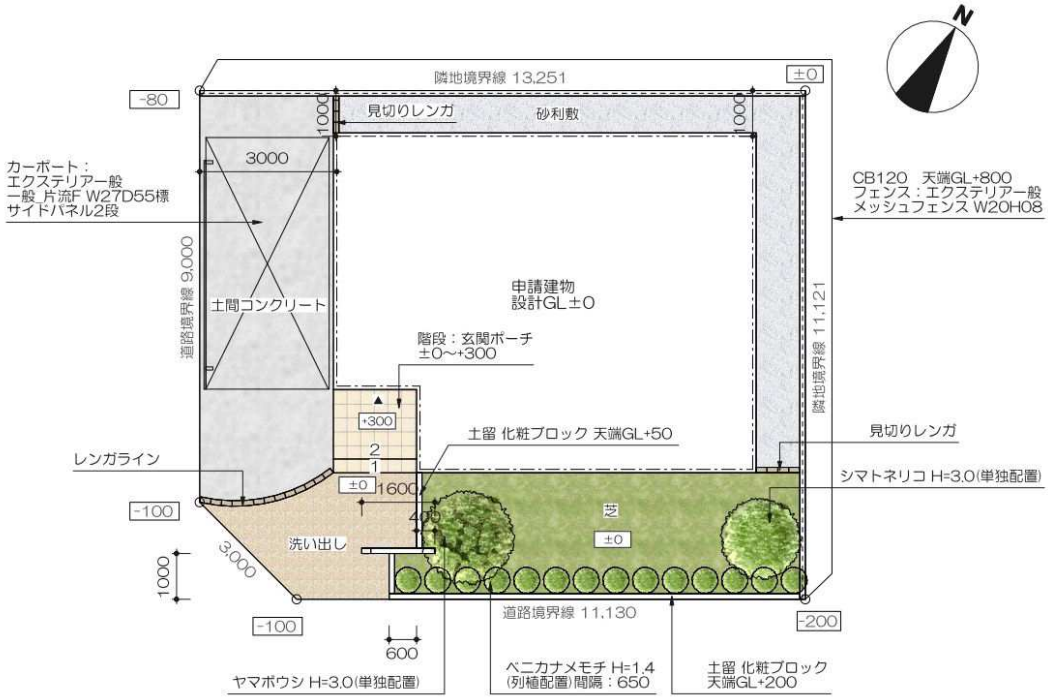
注釈のレイヤから画像に移動する場合は、移動したい注釈を選択し、右側の



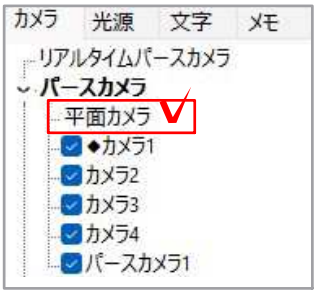
を選択します。

平面図仕上げ

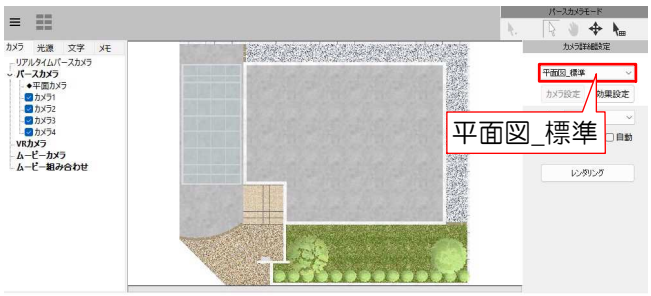
平面図をパースと同じようにリアルタイムパースで作成し、立体感のある表現にします。



1　リアルタイムパースで平面図を表示

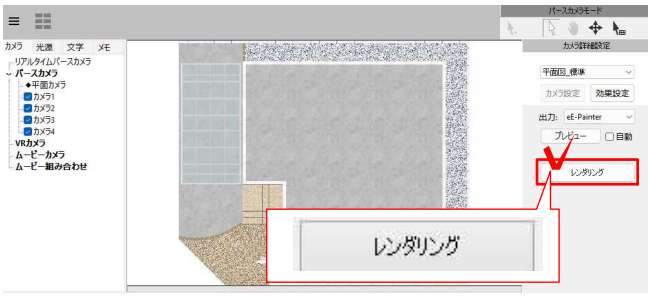


1-1　リアルタイムパース画面左上のパースカメラから「**平面カメラ**」を選択します。



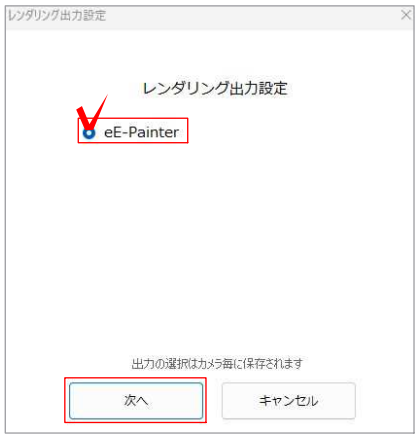
1-2　リアルタイムパース画面右上のカメラ詳細設定を「**平面図_標準**」になっていることを確認します。

2　レンダリング



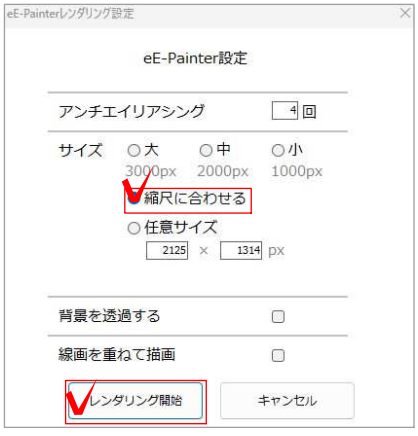
CAD平面図上に平面画像を配置します。

2-1　画面右側の「**レンダリング**」をクリックします。



レンダリング設定画面が表示されます。

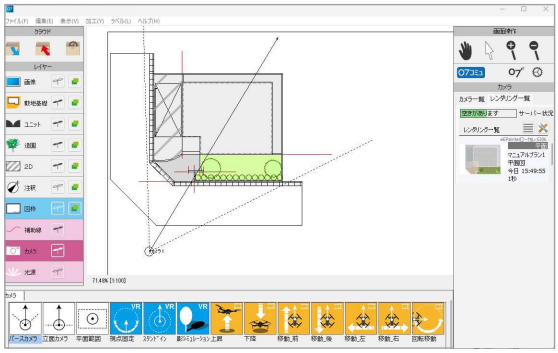
2-2　「eE-Painter」を選択し、「**次へ**」をクリックします。



2-3　「縮尺に合わせる」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

平面カメラの場合は「縮尺に合わせる」を選択し、平面図と画像の縮尺を合わせます。

Webマニュアル　[カメラ]→[カメラ]→[平面図の線画取り込み]



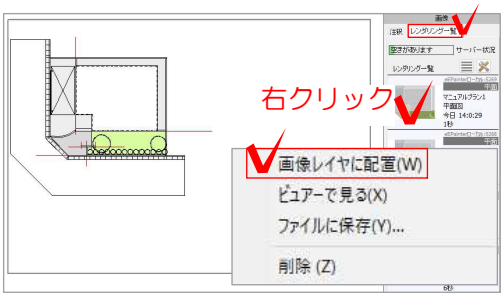
レンダリングが開始されました。

平面作業画面に戻りましょう。



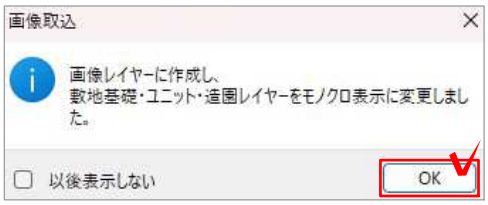
レイヤは「画像」

2-4　レイヤを「**画像**」にします。



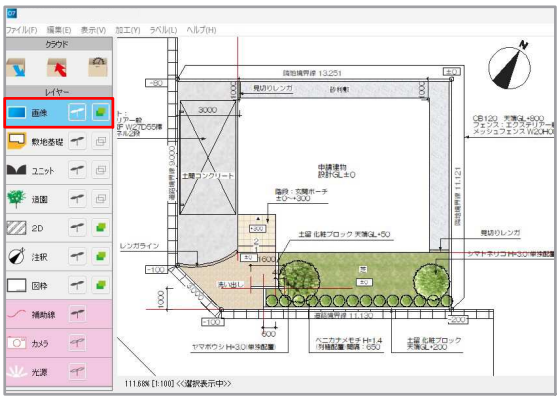
2-5　画面右側「**レンダリング一覧**」の平面画像を右クリックし「**画像レイヤに配置**」を選択します。

レンダリング中の場合は、他の作業をしながらレンダリングが終わるのを待ちましょう。



2-6　「画像レイヤに作成し、敷地基礎・ユニット・造園レイヤーをモノクロ指定に変更しました。」とメッセージが表示されます。

そのまま「OK」をクリックします。



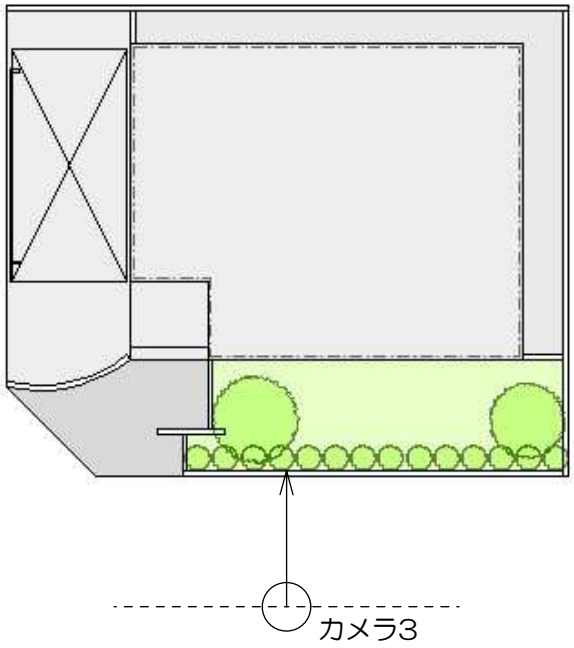
CADの平面図の位置に画像が配置されます。

ユニットで描いた平面図の位置に合わせて、画像レイヤに配置されます。

同時に敷地基礎・ユニット・造園レイヤーがモノクロ指定に変更されます。

立面用カメラの作成

カメラレイヤで立面図作成用のカメラを作成します。



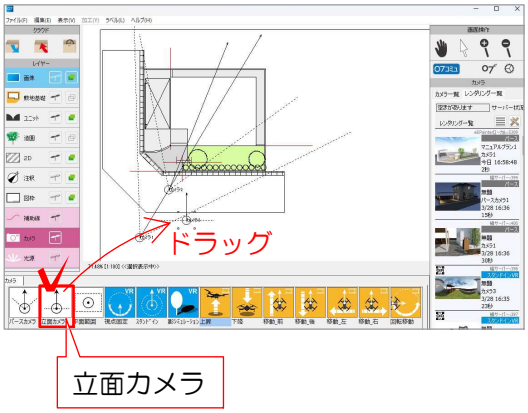


レイヤは「カメラ」

1　立面図用カメラを追加

カメラを追加します。

1-1　レイヤを「カメラ」にします。



1-2　画面下、「立面カメラ」をドラッグします。

「立面カメラ」が追加され、画面上に表示されます。

1-3　映す範囲を指定する場合は調整をします。

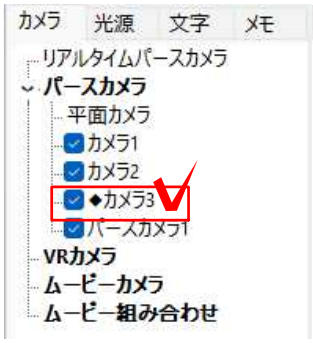
［おすすめ新機能］
→［立面カメラ描画範囲指定機能］

立面図作成

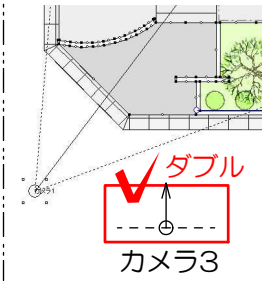
立面図を作成します。



方法1



方法2



1　立面図カメラを選択

1-1　パースカメラを選択します。

方法1：リアルタイムパース画面左上の
　　カメラ3を選択します。
方法2：平面のカメラ3
　　をダブルクリックします。



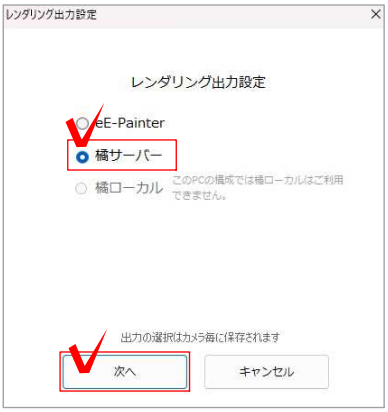
1-2　リアルタイムパース画面右上の
カメラ詳細設定を**「立面図_影なし」**になっていることを確認します。



2　レンダリング

CAD平面図上に立面画像を配置します。

2-1　画面右側の**「レンダリング」**をクリックします。

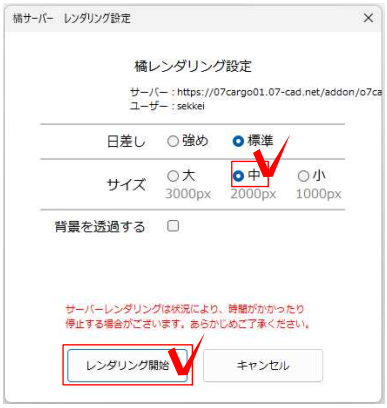


レンダリング設定画面が表示されます。

2-2　「eE-Painter」もしくは「**橘サーバー**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。

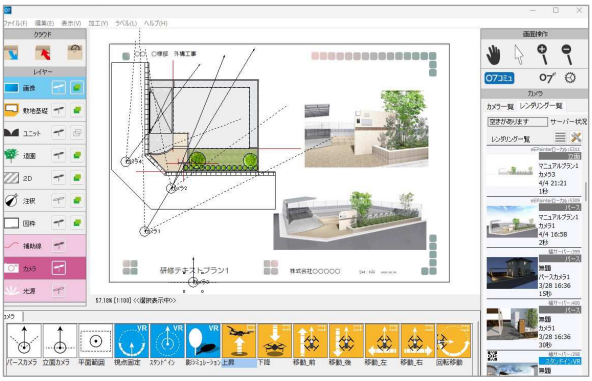
※リアルで高精細な仕上は「橘サーバー」を選択しましょう。

※「橘ローカル」PCに橘レンダリングをインストールしてる場合ごしよういただけます。インストールはPCのスペックが関係します。



2-3　「縮尺に合わせる」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

立面カメラの場合は「縮尺に合わせる」を選択し、平面図と画像の縮尺を合わせます。



レンダリングが開始されました。

平面作業画面に戻りましょう。



レイヤは「画像」

2-4　レイヤを「**画像**」にします。



2-5　画面右側「**レンダリング一覧**」の立面画像を右クリック「**画像レイヤに配置**」を選択します。

保存しましょう。

【画像のトリミング】

画像をダブルクリックすると表示されます↓



複数の画像をレイアウトすると、パースや平面図の画像と重なってしまう事があります。

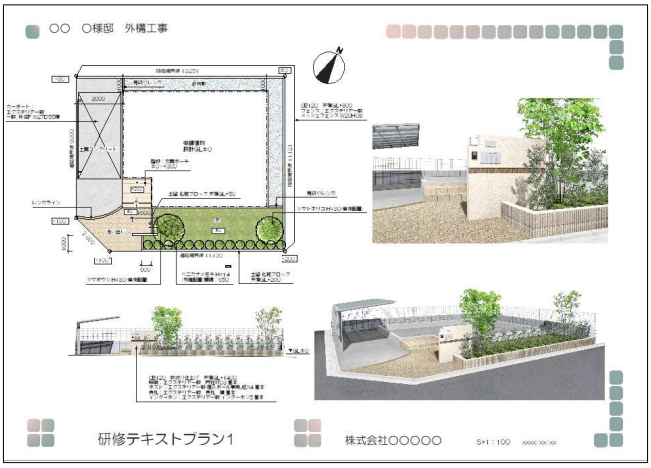
画像をトリミングする事で、余計な部分をカットし、レイアウトしやすい状態にすることができます。

画像をダブルクリックし、残したい部分をドラッグして囲みます。

右下の「OK」をクリックすると囲んだ範囲の画像が残ります。

レイアウト

用紙枠内にパースや平面図をレイアウトしましょう。



今回は、平面図と立面図とパースをA3用紙内にレイアウトします。平面図が左、パースを右、立面図を平面の下に配置しましょう。

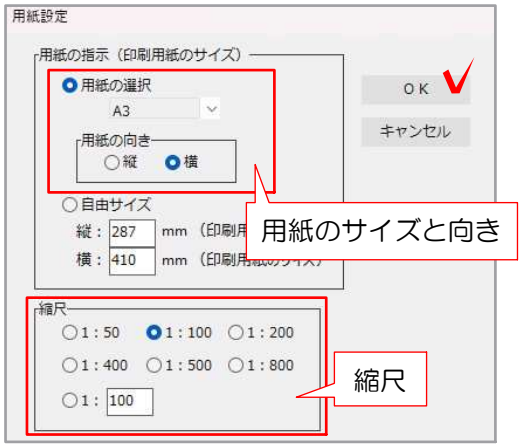
配置位置は自由です。できるだけそれぞれの図面が大きく入るようにしましょう。



1　用紙の大きさ・縮尺を確認

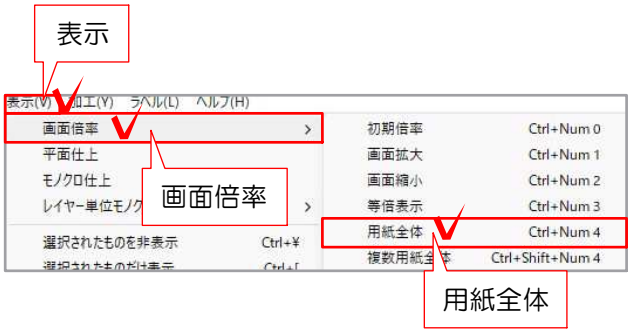
用紙のサイズと縮尺を確認しましょう。

1-1　「ファイル」メニューの**「用紙の大きさ」**をクリックします。



「用紙設定」画面が表示されます。

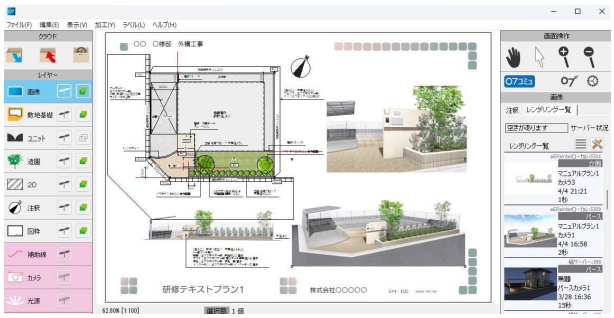
1-2　用紙のサイズ、向き、縮尺を確認して「OK」をクリックします。



2　全体レイアウトを確認

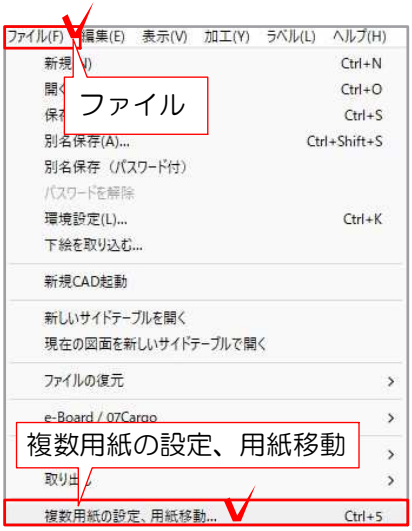
レイアウトを決めるために現在のレイアウトを確認しましょう。

2-1「表示」メニューの「画面倍率」→**「用紙全体」**をクリックします。



画面内に用紙全体が表示されます。

グレーのラインが用紙枠です。

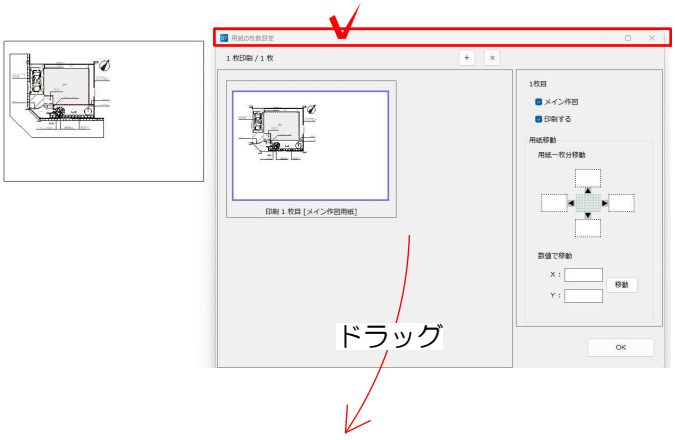


3　用紙を動かす

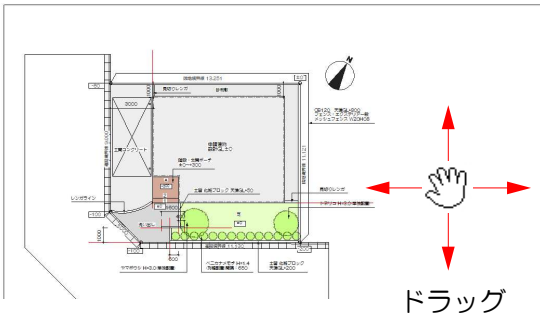
用紙を移動します。

3-1「ファイル」メニューの「複数用紙の設定、用紙移動」をクリックします。

「用紙の移動」画面が表示されます。

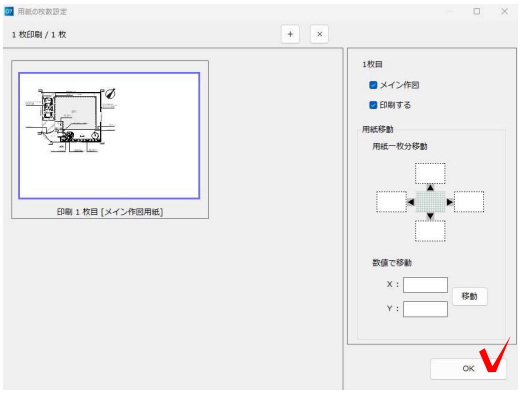


3-2　用紙全体が見えるように「用紙の移動」上部バーをドラッグし、画面端へ移動します。



3-3　カーソルが　になった時にドラッグして用紙を移動します。

右へドラッグすると用紙は右へ移動します。
紙を引っ張る感じで動かしましょう。

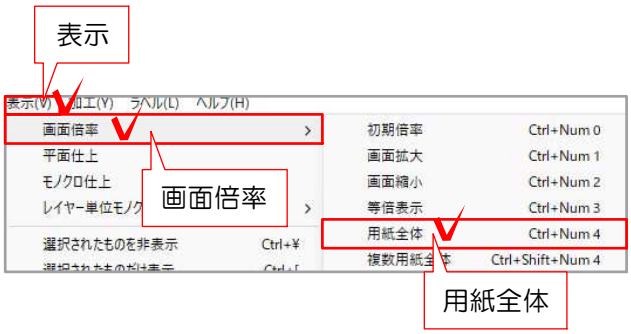


3-4　用紙位置が調整できたらを「OK」をクリックします。

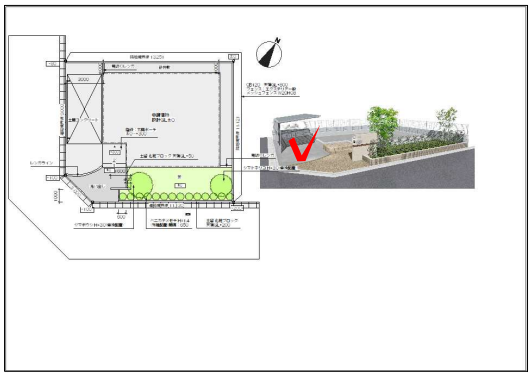
用紙位置が決定しました。

4　パースの大きさを調整する

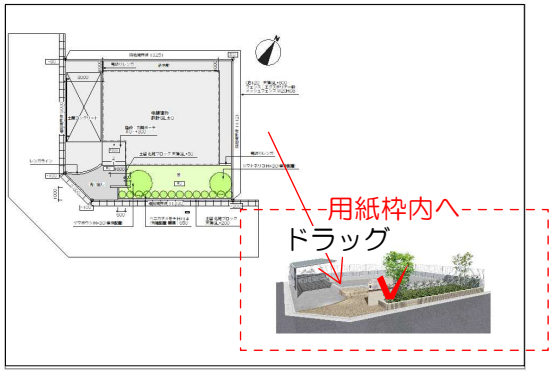
残りの範囲に納まるようにパースの大きさを調整しましょう。



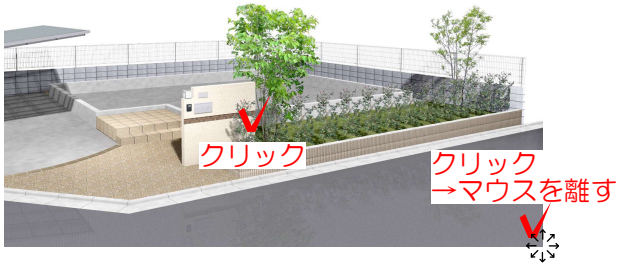
4-1「表示」メニューの「画面倍率」→「用紙全体」をクリックします。



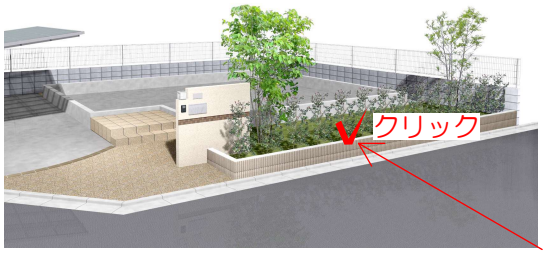
画面内に用紙全体が表示されます。



4-2　パースをドラッグして用紙内に配置します。



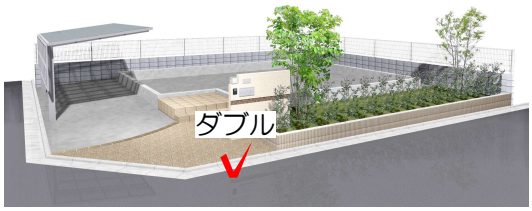
4-3　パースをクリックして選択し、角に表示された□にカーソルを合わせて ✥ になったところでクリックします。



4-4　マウスを動かし、変えたい大きさになったところでクリックします。

パースを移動して用紙内にレイアウトしましょう。

【パースの大きさ調整2】



パースの大きさを調整する方法はドラッグする以外にもうひとつあります。

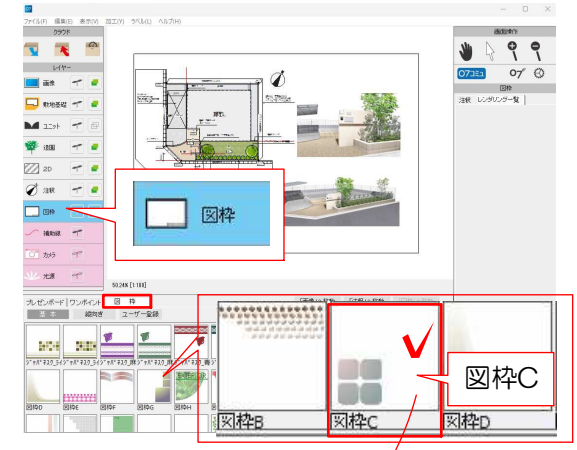
ドラッグして変形するのが苦手な方は下記の方法で調整しましょう。

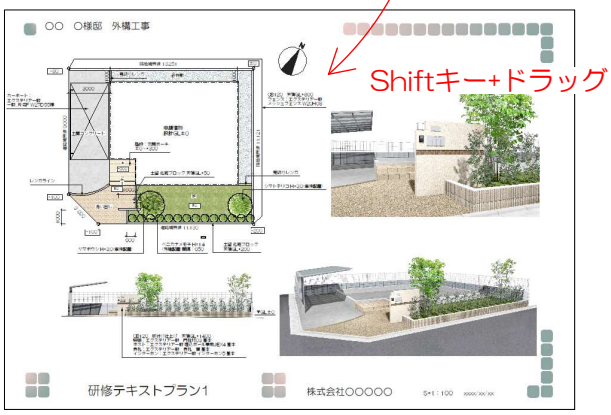


画像をWクリックすると画像編集の画面が表示されます。

「画像情報」の「横」に任意の数値を入力し、「OK」をクリックします。

※縦横比固定にチェックを入れておけば横と縦は連動しています。どちらかに数値を入力すれば自動的にサイズを調整します。





5　図枠を配置する

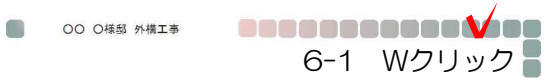
用紙全体が見えるようにしましょう。

5-1　レイヤを「**図枠**」にし、画面左下のパレットから「**基本**」→「**図枠C**」を画面上へドラッグします。

用紙枠内に図枠のラインが収まるように配置しましょう。

※Shiftキーを押したままドラックすると、用紙の中心に配置されます。

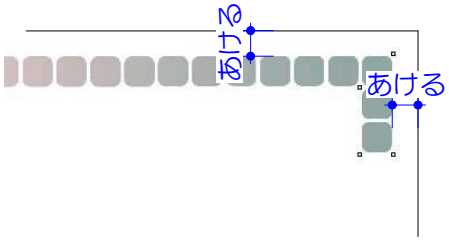
6　図枠を調整する



図枠サイズが用紙に合っていない場合は、大きさを調整します。

6-1　図枠をWクリックします。
※配置された図枠は、グループになってるので、Wクリックでグループ解除できます



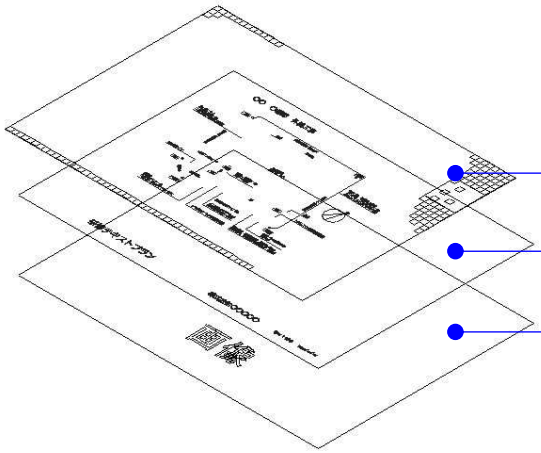


6-2　何もないところをクリックした後、位置やサイズを調整します。

図枠は用紙枠よりも少し内側に配置しましょう。

【レイヤの前後関係】

画像や注釈や図枠を移動する事ができます。



「図枠」が一番上、注釈が真ん中、画像が一番下です。

「図枠」：図枠

「注釈」:注釈文字、記号

「画像」:平面画像、パース



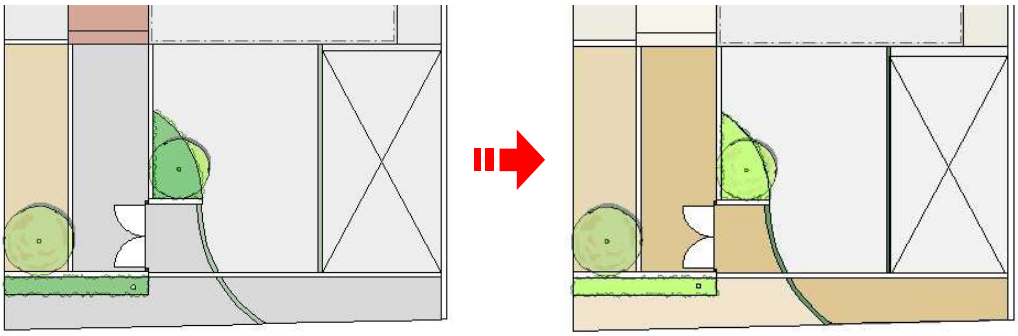
一番上のレイヤが印刷時に一番奥（下）に表示されます。

「画像」「注釈」「図枠」間は図形の移動が自由にできます。移動したい図形や注釈を選択し、右下の「〇〇」へ移動で移動する事ができます。



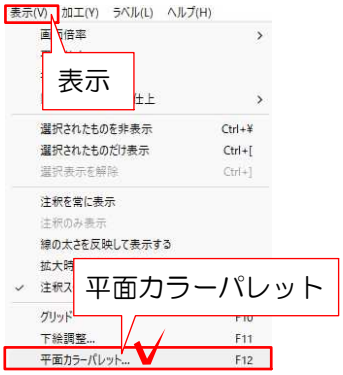
【平面図の色を変えるには・・・】

平面図の色は変えることができます。





レイヤは「ユニット」

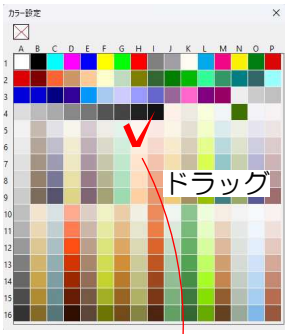


1-1「表示」メニューの**「平面カラーパレット」**をクリックします。



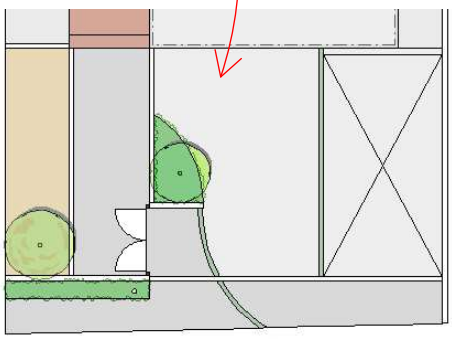
必ずカラーがONになってる状態に！

平面カラーパレットが表示されます。



1-2　色を変えたいユニットへ平面カラーパレットから**好きな色をドラッグ**します。

平面図の色が変わります。

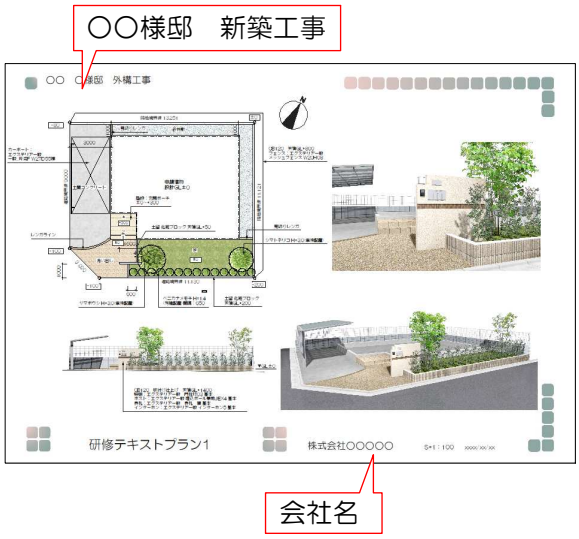


平面図の色が変わってもパースの色には影響しません。

【平面図の画像を重ねてるときは】

平面図の画像を重ねて仕上げる場合はカラー設定をOFFにしておかないと画像が表示されません。



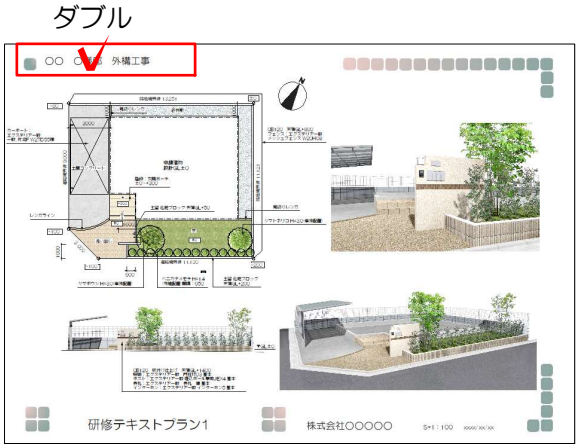


7　邸名・会社名を書く

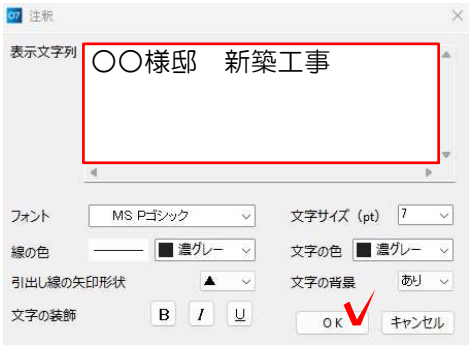
会社名と邸名「〇〇様邸　新築工事」を入力してみましょう。



7-1　レイヤは**「図枠」**をクリックします。



7-2　**「〇〇様邸　外構工事」**をダブルクリックします。

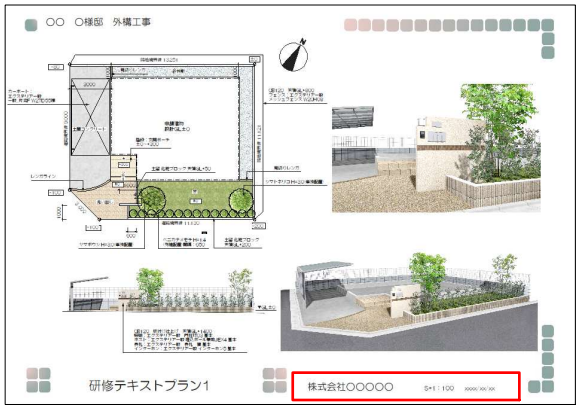


注釈設定画面が表示されます。

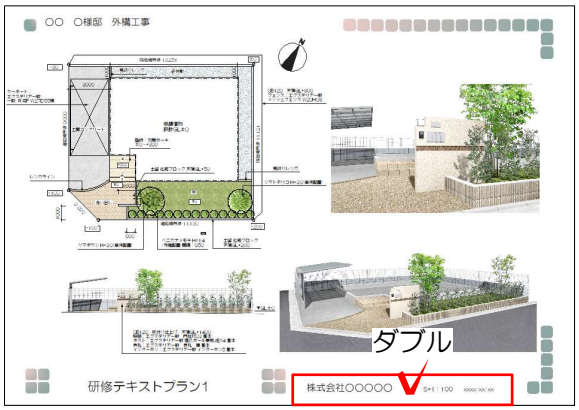
7-3
表示文字列「〇〇様邸　新築工事」

と入力し、「OK」をクリックします。

※文字の色やサイズやフォントもこの画面で変更できます。



次に右下へ会社名を入力しましょう。



7-4　図枠右下の**「会社名」**をダブルクリックします。



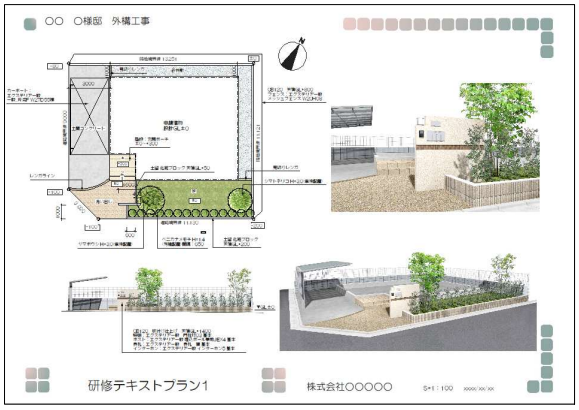
注釈設定画面が表示されます。

7-5　**表示文字列「株式会社〇〇」**と入力し、「OK」をクリックします。

※文字の色やサイズやフォントもこの画面で変更できます。

編集や追記があれば、これまでの要領で文字を記入しましょう。

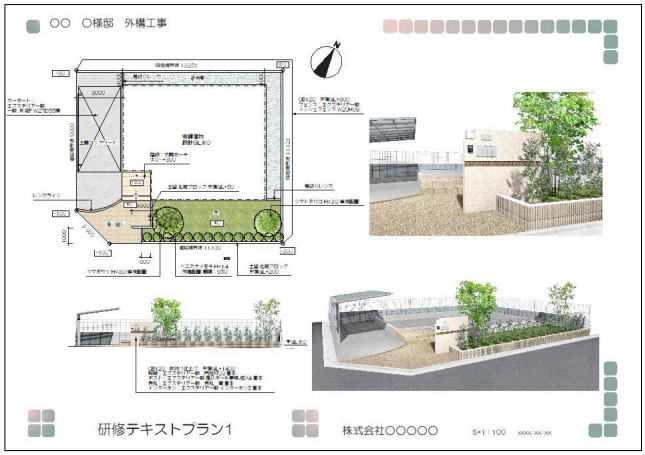
入力ができたら保存しましょう。



図面が完成しました。

印刷

レイアウトした図面を印刷してみましょう。



完成した図面を印刷します。



1　印刷

印刷前にプレビューで確認しましょう。

1-1「ファイル」メニューの**「印刷プレビュー」**をクリックします。



印刷プレビュー画面が表示されます。

1-2　印刷したい図形が表示されているか確認し、**「印刷」**をクリックしましょう。

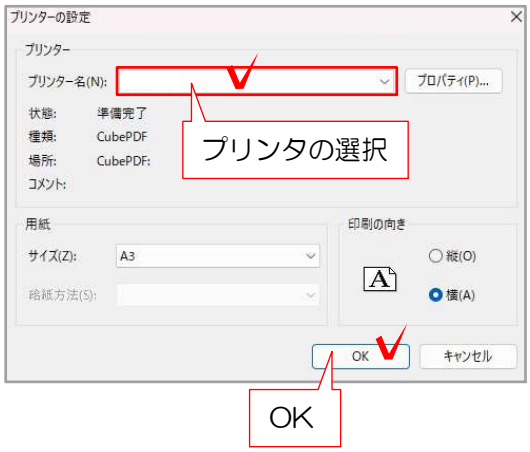
もし、修正点があった場合は「閉じる」をクリックして修正しましょう。



「印刷対象の選択」画面が表示されます。

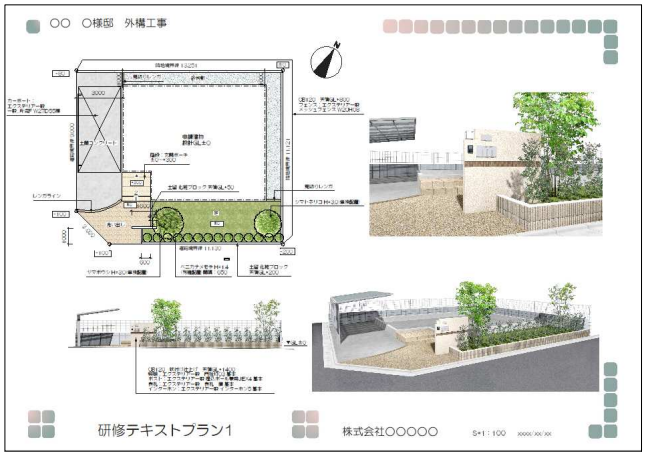
1-3　「ピクセル印刷」または「ベクター印刷」をクリックします。

「緑の計画書」は図面でご使用の植栽に関する情報の印刷ができます。



1-4　印刷で**使用するプリンタを選択**し、用紙のサイズや向きなど設定を確認して**「OK」**をクリックします。

※プリンタの詳細設定については、ご利用のプリンタのマニュアルをご確認ください。



印刷された図面を確認してみましょう。

印刷・レイアウト補足

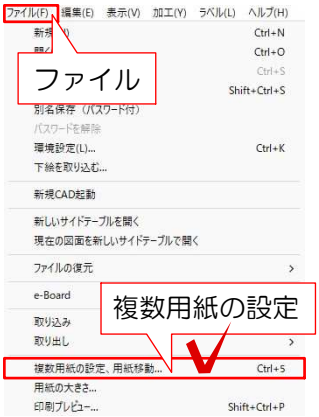
用紙を複数に分けてプレゼン資料を作成する方法と調整方法です。

1枚に収まりきらない場合や、用途ごとに見せ方を分けたい場合、ストーリー性を持たせたい場合は、用紙を複数に分けて設定できます。



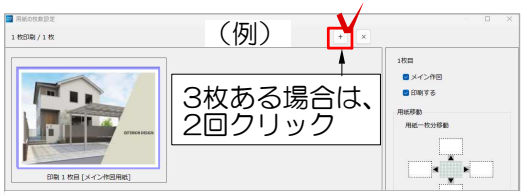




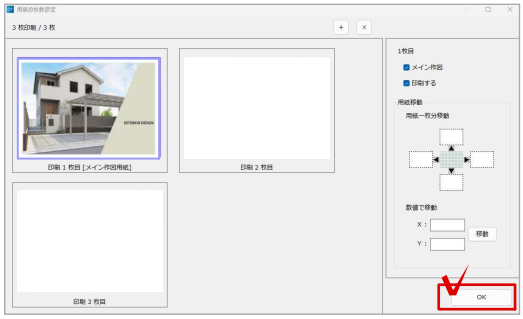


1　複数用紙の設定

1-1　ファイルメニューの「複数用紙の設定」をクリックします。



1-2　「＋」クリックします。
※減らしたい場合は「×」をクリックします。



1-3用紙が複数表示されたら、「OK」をクリックします。



1-4　複数の用紙を表示できました。

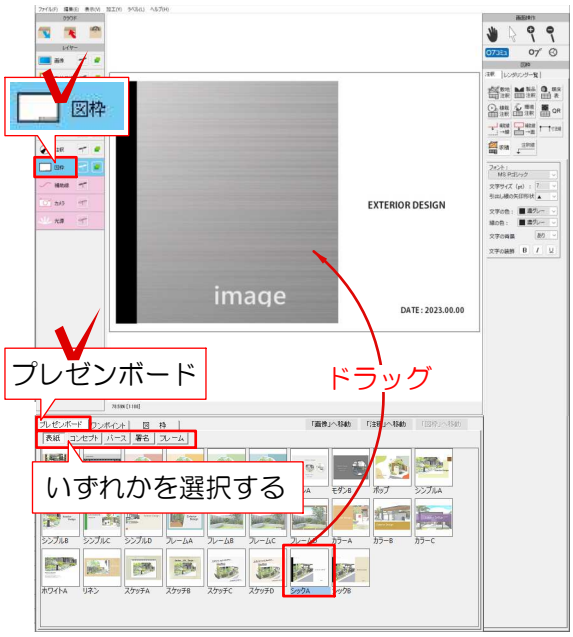
【用途別・ストーリー性を持たせて見せたいときは・・・】

パース画像をプレゼンボードに配置するだけで、簡単に資料を作成できます。
「表紙」「コンセプト」「パースレイアウト」の3種類のレイアウトと手書き風挿絵で、見やすく魅力的に仕上がります。









1　プレゼンボード

1-1　図枠レイヤを選択し、「プレゼンボード」をクリックします。

1-2　表紙・コンセプト・パース・レイアウト・フレームのいずれかを選択し、使用したい物をドラッグで配置します。

※Shiftキーを押したままドラッグすると、用紙の中心に配置されます。

配置したプレゼンボードは、ダブルクリックで文字やカラーを編集できます。
カラーは右の設定画面からも行えます。

また、図枠にワンポイントでアクセントをつけることができます。

図枠レイヤの「ワンポイント」からお選びいただけます。

【イラスト（一部）】



【ポイント（一部）】



【レイアウト後、印刷の順番を変更するときは・・・】

作図画面はそのままに、複数ページ印刷時の順番を設定画面から変更できます。
新たなアイデアやストーリーに応じて、関連図面や説明の流れを柔軟に並び替えして整えることができます。



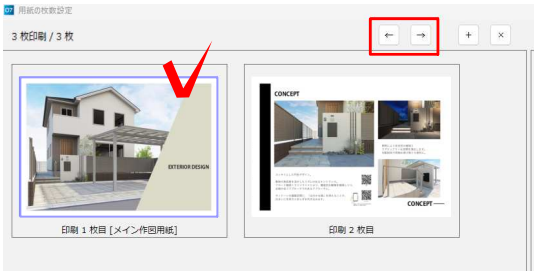




1　複数用紙・印刷順序変更



1-1　ファイルメニューより、「複数用紙の設定、用紙の移動」を選択します。



1-2　複数枚用紙が設定されている状態で、入れ替えたい用紙を選択し、青く囲われている状態にします。



1-3　画面上部の矢印をクリックすることで1枚ずつ
左右へ移動し、印刷の順番を変更できます。

【一部だけ印刷しない時は・・・】

印刷時に指定の用紙だけ印刷しないように設定することができます。

方法1　印刷プレビューで設定



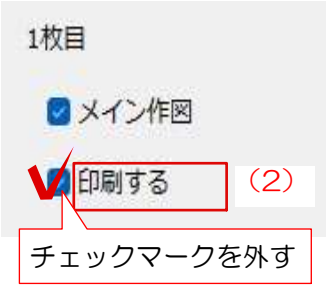
1-1　印刷プレビューの画面で、印刷しない用紙を右クリックして、「印刷する」のチェックマークをクリックして外します。

1-2　印刷プレビューで赤色の斜線が表示されている用紙は印刷されません。

方法2　複数用紙の設定（用紙移動で設定）



2-1　「ファイル」メニューのから「複数用紙の設定、用紙移動」をクリックします。

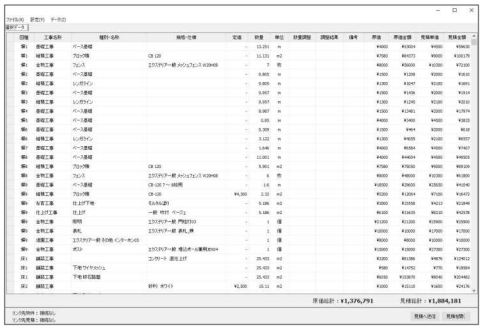


2-2　印刷しない用紙をクリックし、画面右にある、「印刷する」のチェックマークを外します。

画面に赤色の斜線が表示されたら印刷されません。

数量拾い出し・リアルタイム概算

作成した図面から数量を拾い出し、概算見積を出してみましょう。



※拾い出しされた面積や長さは作図データから出されたものです。**現況数値とは異なります**ので、その点を考慮した上で数値の調整を行ってください。
※拾い出し時に入力されている商品の価格は、見積ご提出前に**必ずご自身で金額確認をお願いいたします。**
※金物商品の**必要金具項目、及び個数はご自身でご確認**をお願いいたします。



レイヤは「ユニット」

1　自動拾い出し



1-1　ユニットレイヤに切り替え

【すべての図形を拾い出したい場合】
図面上で右クリック→「全てを自動拾い出し」を選択します。

【一部の図形だけ拾い出したい場合】
拾い出したい図形だけ選択し右クリック→「自動拾い出し」を選択します。

2　拾い出し図形の確認と追加・削除



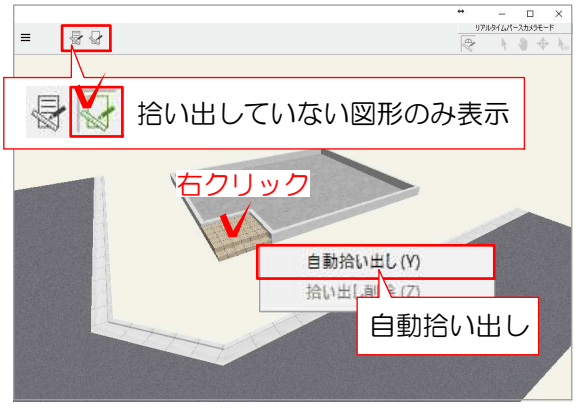
2-1　リアルタイムパースで必要な図形が拾い出しされてるか、拾い出し不要な図形がないかを確認します。



拾い出し済の図形のみ表示



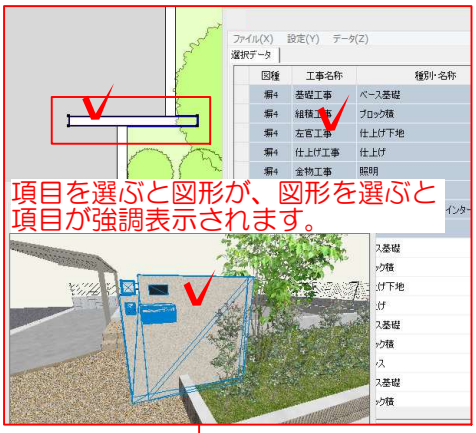
拾い出していない図形のみ表示



2-2　項目を追加・削除したい場合は、リアルタイムパースで対象の図形を選択し、右クリック→「自動拾い出し」または「拾い出し削除」を選択します。

自動拾い出し：拾い出しリストに追加
拾い出し削除：拾い出しリストから削除

３　拾い出し項目の入力・編集



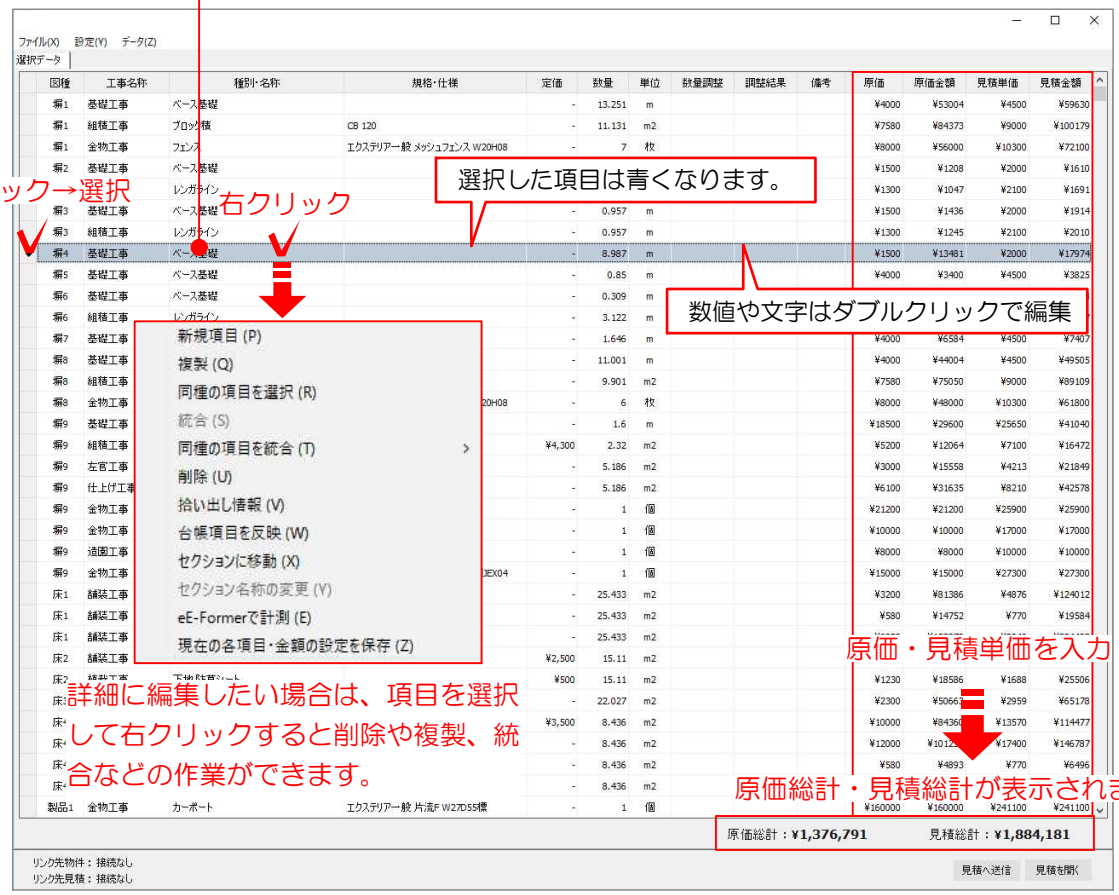
リアルタイムパースまたは平面図で、拾い出し項目がどの図形に該当するのか確認しながら作業します。

3-1　確認・編集したい項目をクリックで選択します。

図形が青色で強調表示されます。

3-2　編集したい文字や数量、金額をダブルクリックして入力・編集します。

工事名称と単位は登録されてる中から選択することができます。



詳しい操作方法はWEBマニュアルを参照してください。

Webマニュアル　［リアルタイム概算］

右下の「原価総計」「見積総計」に金額が反映され、概算見積を出すことができます。



4-1　注釈レイヤ→CSVに出力

1　ファイルメニューから注釈レイヤに出力を選択します。

拾い出しが終了し、注釈レイヤに表が配置されます。

CSVデータに取り出したい場合は次の操作をします。

2　表を選択した状態で、ファイルメニュー「取り出し」→「CSV注釈表ファイル」をクリックし、ファイル名をつけて保存します。



※CSVファイルはエクセルで編集が出来ます。

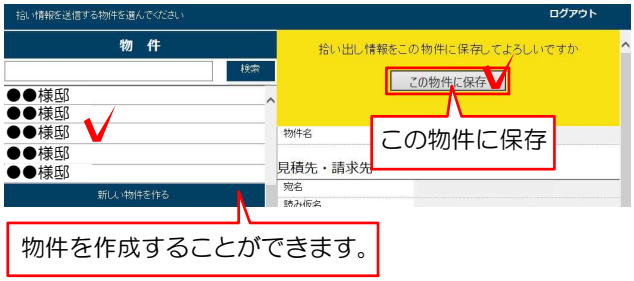
4-2　見積へ送信



1　「見積へ送信」をクリックします。

※本バージョンでは専用サーバー07Cargo内に「e-Put積算」機能が標準搭載されています。

見積作成作業はお使いのサーバーによって操作が変わってきます。



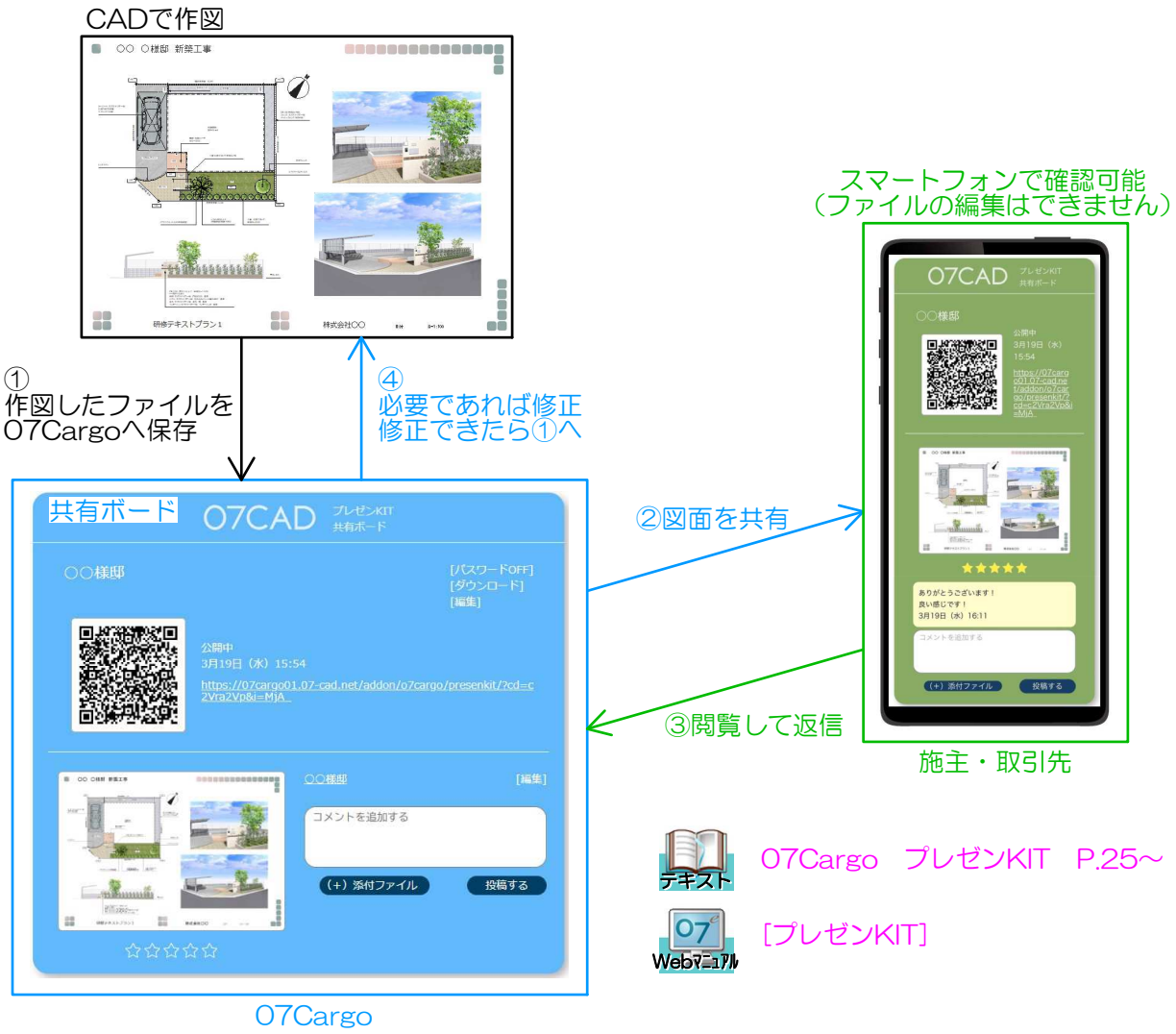
詳しい操作方法は納品マニュアルまたはWEBマニュアルを参照してください。

Webマニュアル　[07Cargo・e-Put]

テキスト　07Cargo　P.1～

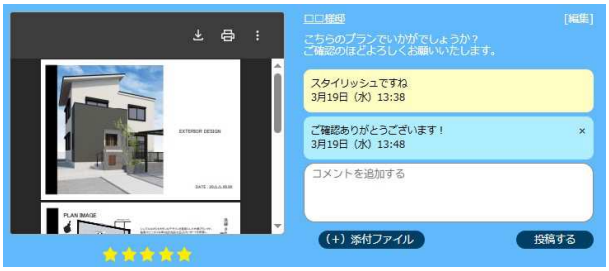
プレゼンKIT

施主側や取引先企業と提案図面や見積書を共有することができます。
ネット環境があれば情報を共有できるので、非対面でも円滑に打合せを進めることが可能です。

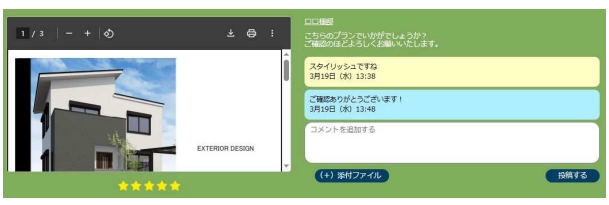


テキスト 07Cargo　プレゼンKIT　P.25～

Webマニュアル ［プレゼンKIT］



施主側・取引先とは「共有ボード」に資料をアップロードして、コメントを入力してやり取りができます。



施主側・取引先の画面では共有ボードで共有されたファイルに対して、☆を付けて評価もできます。

作図練習

（エクステリア修正プラン）

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



詳細説明　P.30～

↓

テキストのP.30～に載っています。



［レベル］→［レベル一括変換］

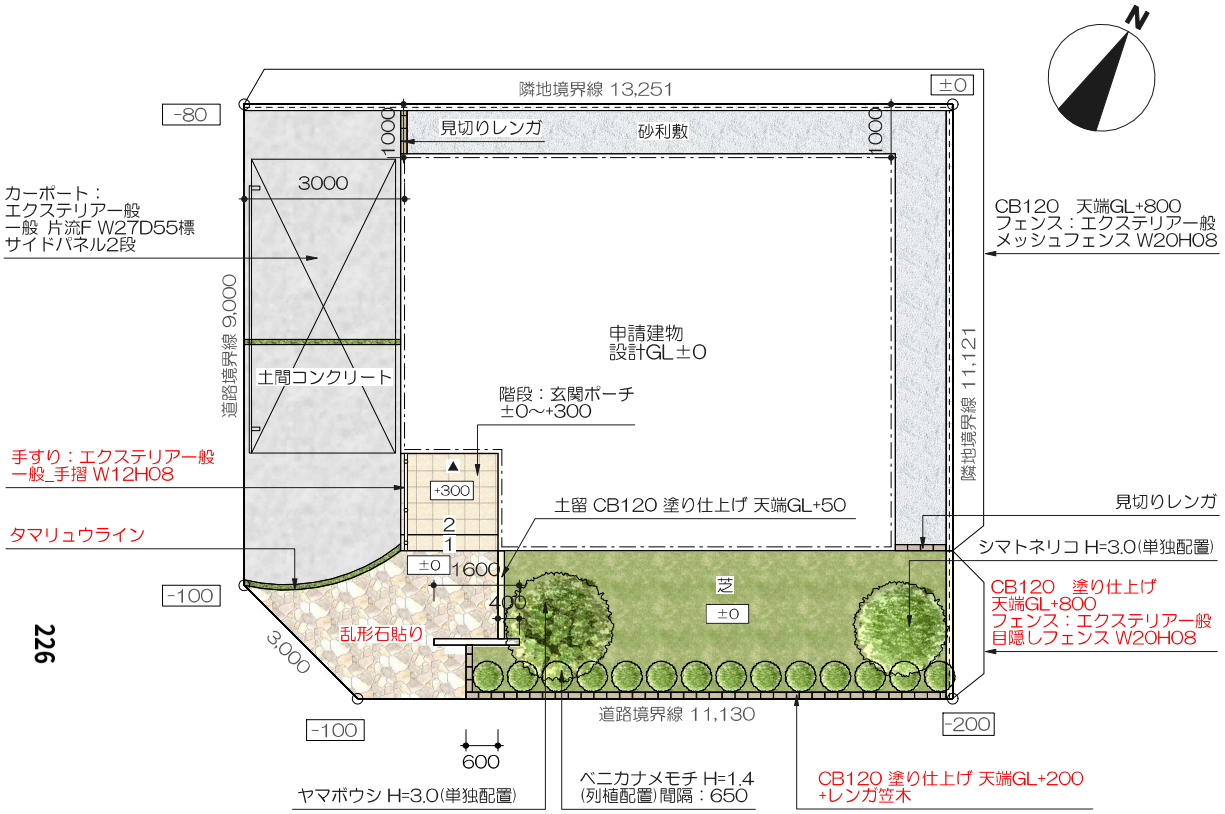
↓

WEBマニュアルでキーワードの［レベル］をクリックし、参照マニュアルが表示されます。

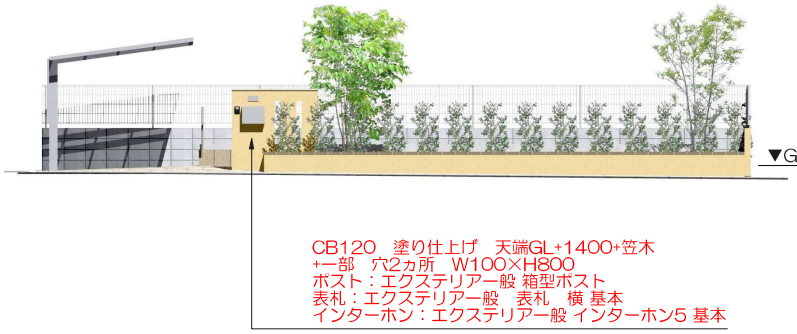
※O7CADではWEBマニュアル、CambridgeではDVDマニュアルに収録されています。

※実際の操作画面は予告なく変更になる場合がございます。

○○　○様邸　外構工事









研修テキストプラン2

株式会社○○○○○

S=1：100　xxxx/xx/xx

データの複製

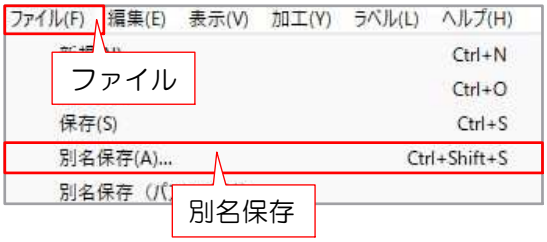
作成した図面を修正してみましょう。





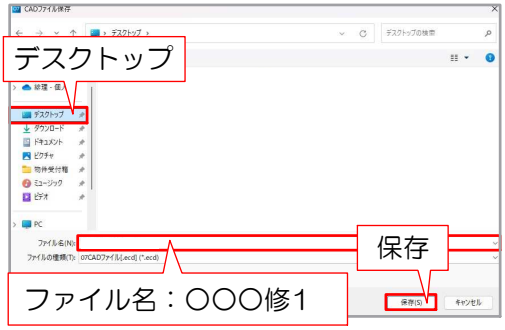
1　データを開く

1-1　修正したいCADデータをダブルクリックで開きます。



2　別名保存

2-1　ファイルメニューから別名保存を選択します。



2-2　ファイル名を例：〇〇〇様邸修1と入力して保存を選択します。

※デスクトップ等わかりやすい場所に保存しましょう。

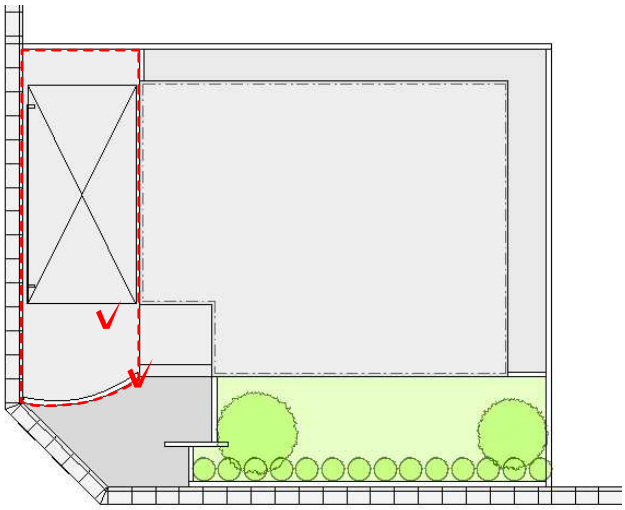
ユニット削除

訂正ヵ所のユニットを削除します。

1　ユニット選択＆削除



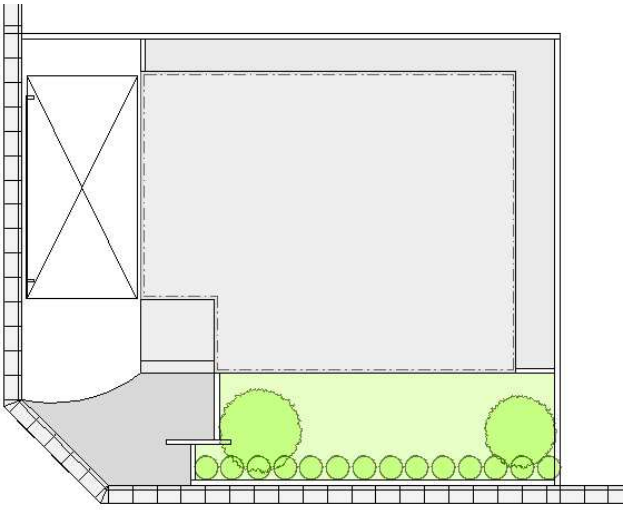
1-1　レイヤーの を選択してカラー表示にして、作業します。



1-2　必要なくなったものや、変更する床ユニットをクリックで選択します。

洗い出しとカーポートを選択してしまった場合は、Shiftキーを押しながらクリックで選択解除してください。

テキスト　選択解除の方法　P.31

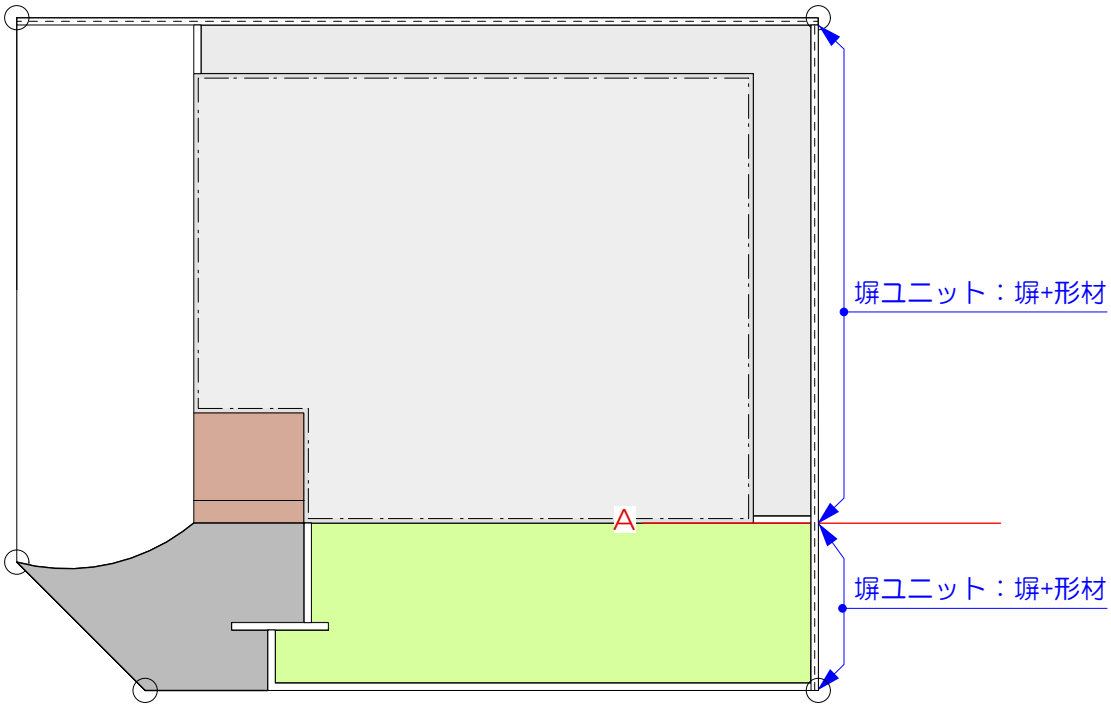


1-3　選択したものをBackSpaceまたはDeleteキーで削除します。

Back Space　or　Delete

塀を配置する

下の図を参考に補助線を入力し、塀ユニットを配置してみましょう。

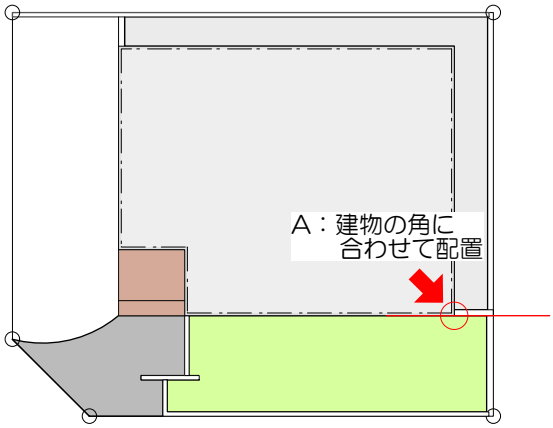




レイヤは
「ユニット」と「補助線」

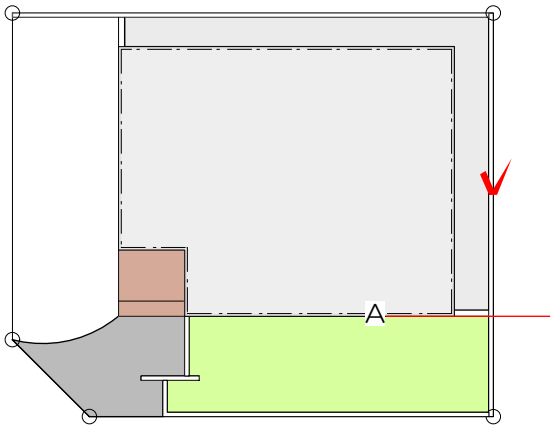
1　補助線配置

1-1　塀を配置するため、補助線を配置します。



レイヤを「補助線」にし、Aを配置します。

画面の拡大、縮小をして敷地全体が見えるようにしましょう。

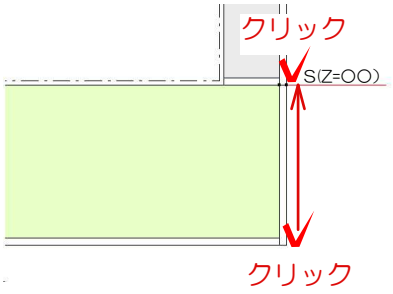


2　塀の長さ調整

2-1　塀をクリックで選択します。

2-2　右下の頂点にマウスを近づけると
のマークに変更されます。
右下の頂点をクリックで選択し、Aの補助線のラインまでマウスをスライドします。
マウスカーソルにSと表示されたら再度クリックします。

※最初の頂点をクリックした後、マウスは押さずにスライドすると、スムーズです。



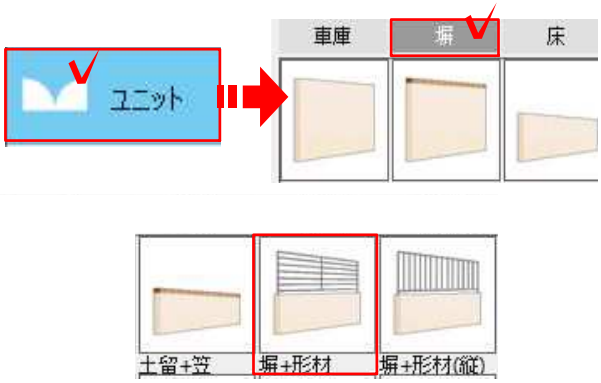
拡大して作業しましょう。この時必ず右側の頂点をクリックして補助線の交点に合わせて塀の長さを調整します。

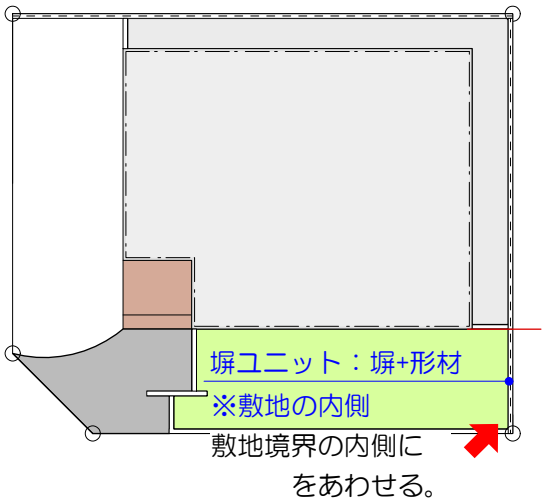
3　ユニット配置

塀を配置します。

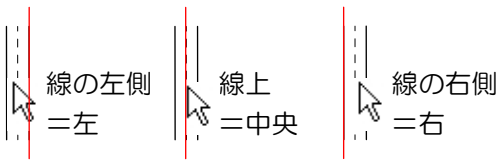
3-1　レイヤを「ユニット」、画面下のスタンプ画面で「塀」を選択し、「塀+形材」を右の敷地境界の内側へドラッグします。

※塀が短く入ってしまった場合は、
頂点をクリックして塀を伸ばしましょう。



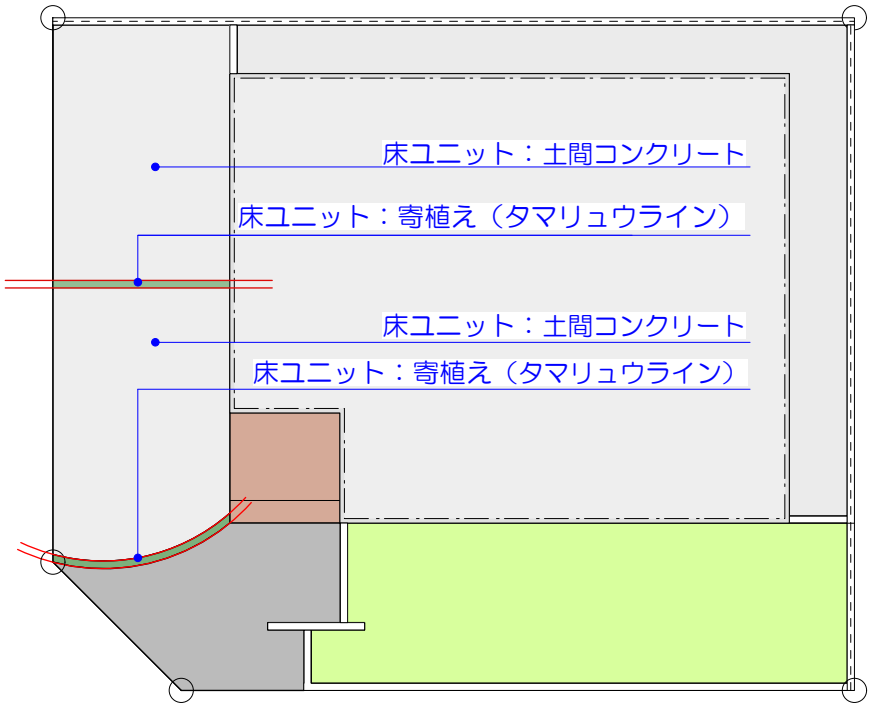


左図を参考に入力しましょう。この時、敷地境界の内側・外側・中心の位置を確認しましょう。マウスを線に合わせた位置で塀の配置が決まります。



床を配置する

下の図を参考に補助線を入力し、床ユニットを配置してみましょう。



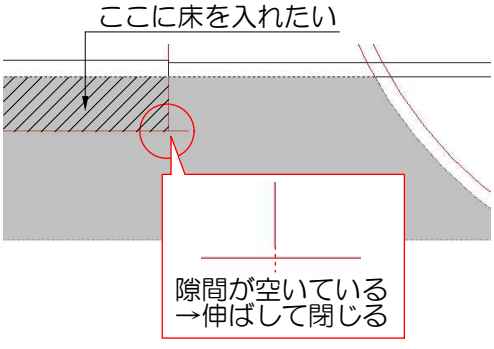


レイヤは
「ユニット」と「補助線」

床はユニットで配置します。
床は補助線や塀、敷地などで囲まれた範囲を判断して形を作ります。

あらかじめ、作成したい床の形の枠を作成しておく必要があります。

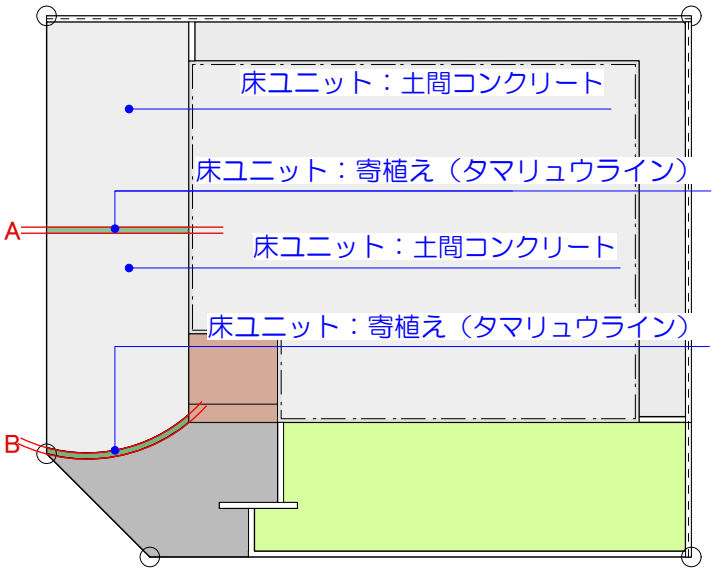
隙間があると、床がきちんと入りません。
枠の役目をする補助線は角に合わせて、少し長めに配置しましょう。



床が入れたい範囲よりも大きくなってしまう場合は、補助線や塀、床の間に隙間ができている時です。
各頂点に隙間ができていないか確認しましょう。

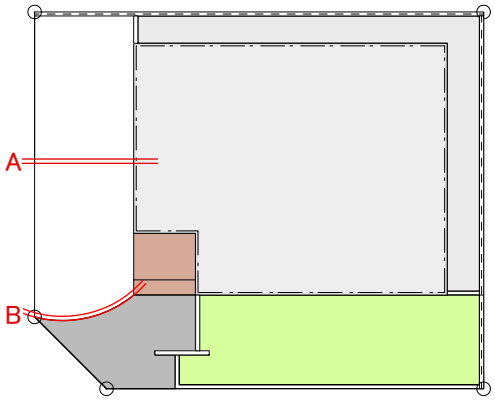
角が閉じているのに、床が入らない場合は補助線を追加してみましょう。

下図のように床を入れてみましょう。



1　補助線配置

床を配置する為のA～Bの補助線を配置します。

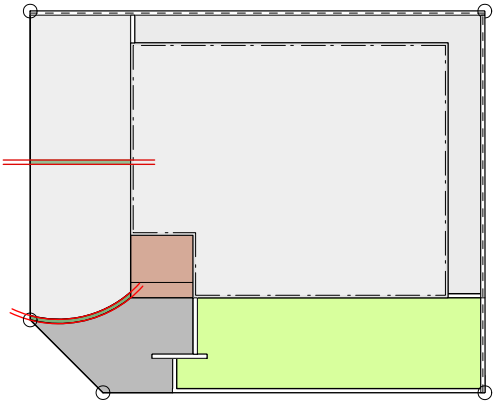


テキスト　曲線の補助線　P.69
分割補助線　P.36
オフセット　P.38　を参照

画面の拡大、縮小をして車庫周辺が見えるようにしましょう。

タマリュウラインのような目地は床デザイナーで作成も出来ます。詳しくはWEBマニュアルを参照してください。

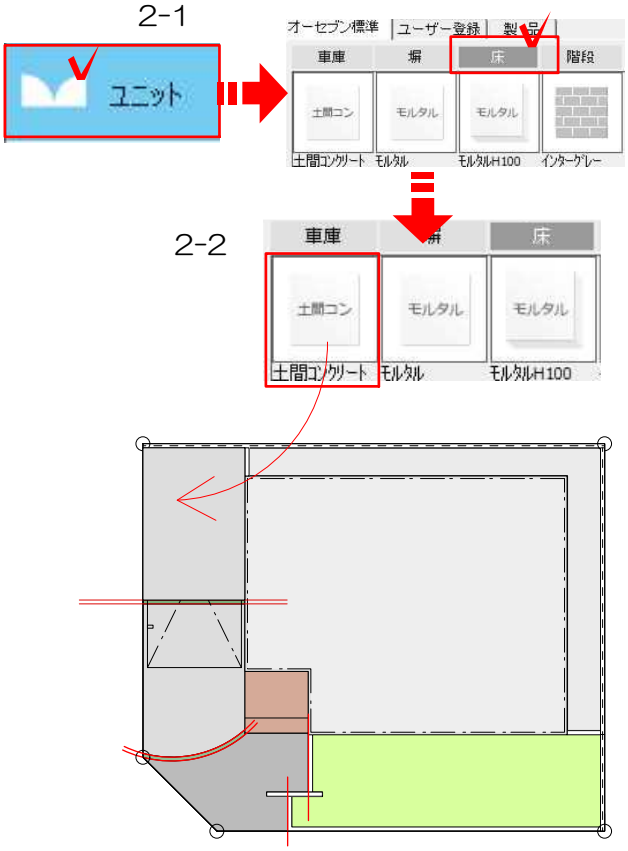
Webマニュアル　[目地]→[デザイン目地]



2　ユニット配置

床を配置します。

画面の拡大、縮小をして敷地全体が見えるようにしましょう。

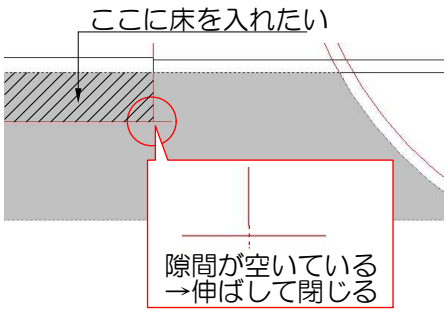


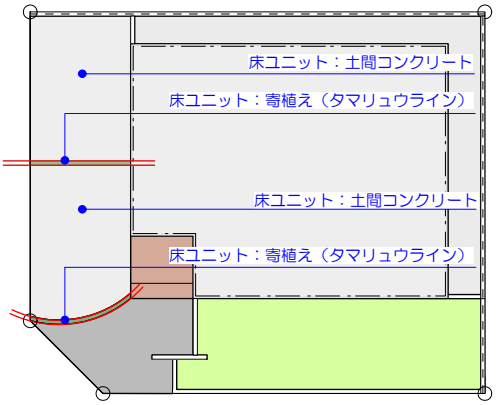
2-1　レイヤを「ユニット」、画面下のスタンプ画面で「床」を選択します。

2-2　「土間コンクリート」を左図の位置へドラッグします。

下図のように床が入れたい範囲よりも大きくなってしまう場合は、補助線や塀、床の間に隙間ができている時です。
各頂点に隙間ができていないか確認しましょう。

角が閉じているのに、床が入らない場合は補助線を追加してみましょう。





2-3　同じ要領で、左図のように床を配置しましょう。

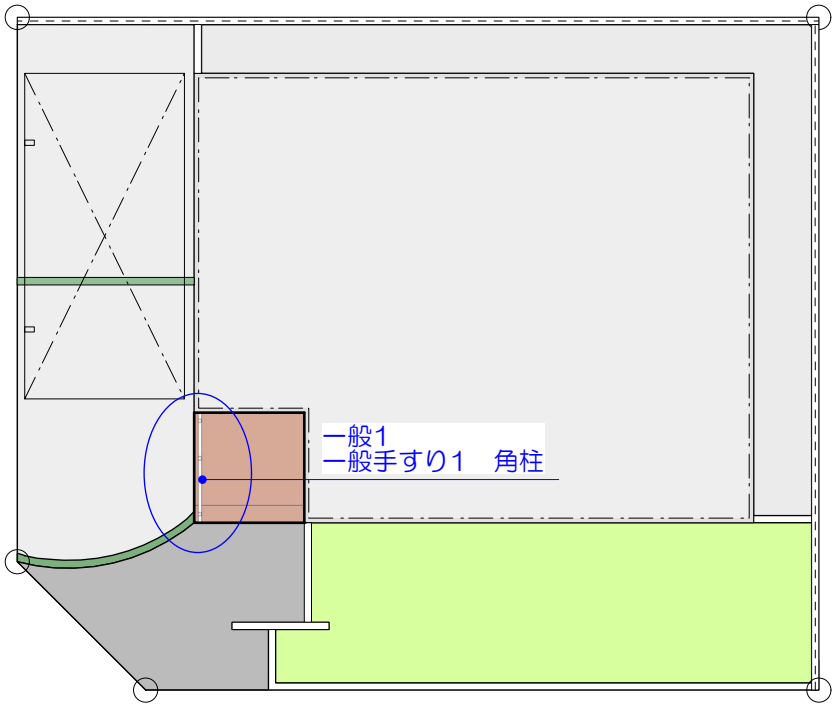
※カーポートを右クリックして最後へにしておくと、作業がスムーズです。

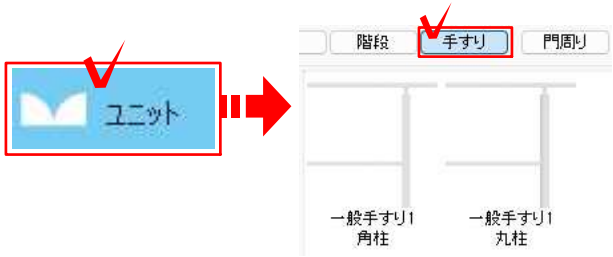
下図のように床でカーポートが隠れてしまった場合は、配置した床の上で右クリックして最後へを選択し、床とカーポートの前後関係を変更してください。



製品を配置する

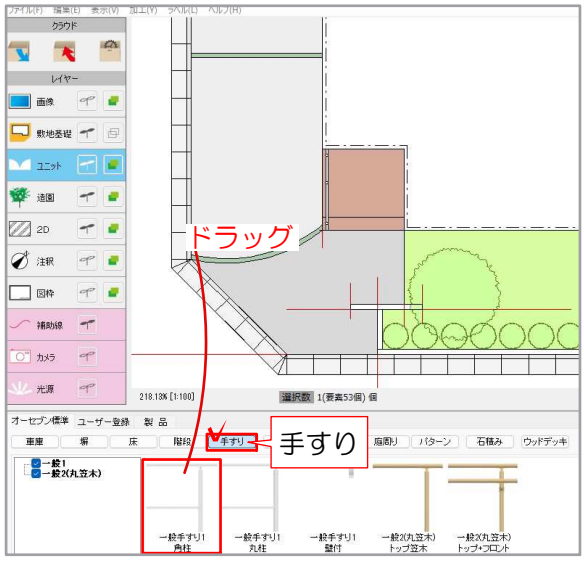
下の図を参考に製品を配置してみましょう。



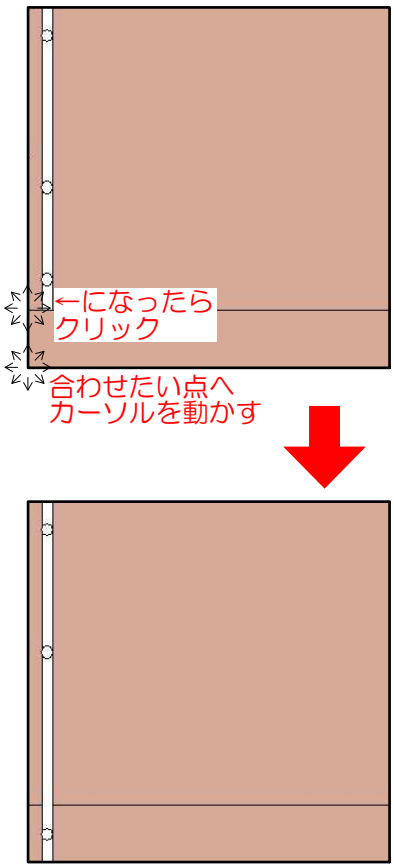


1　手すり配置

玄関ポーチに手すりを配置します。



1-1　ユニットレイヤを選択し、画面右下のスタンプ画面で「手すり」を選択し、ドラッグで配置します。



2　長さを調節する

2-1　長さが足りない場合は、端点にカーソルを近づけ、  になったらクリックします。

2-2　合わせたい点へカーソルを動かし、スナップしたらクリックします。

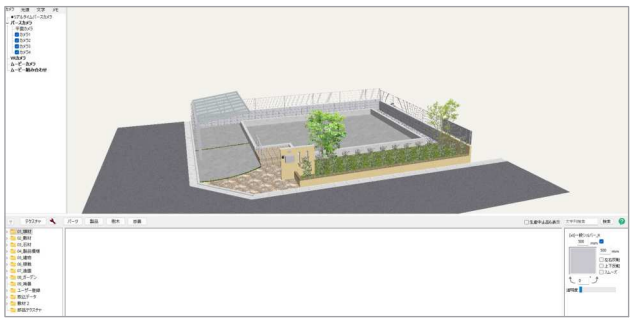
手摺が配置できました。
階段の勾配に合わせて自動で3Dも調整されています。



[ユニット]→[製品]→[手摺]

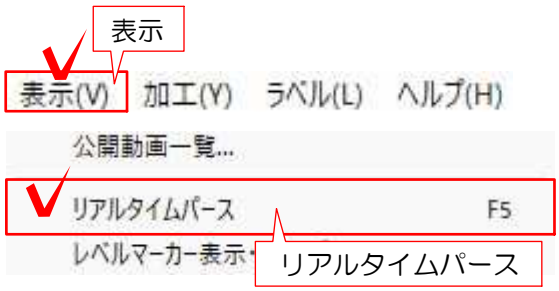
3Dを確認する

配置したユニットがどんな状態になっているか確認してみましょう。

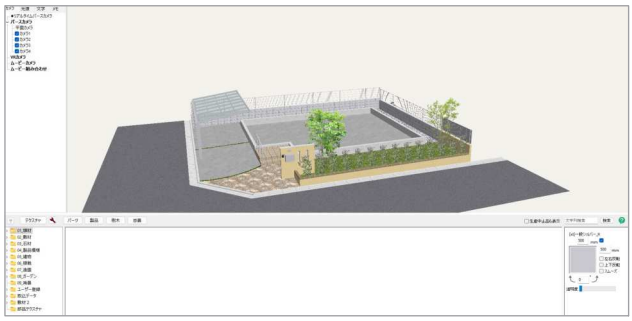


リアルタイムパースで確認します。
この画面では作成中の図面の3Dがリアルタイムで確認・編集できます。

1　リアルタイムパース表示



1-1　「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。



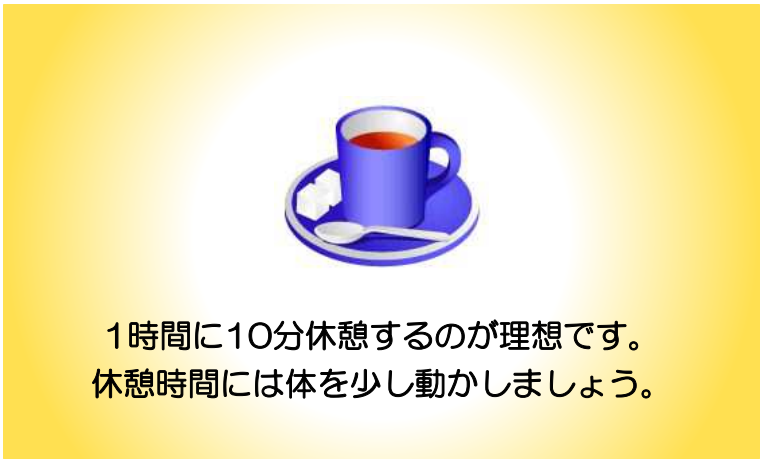
リアルタイムパースが表示されます。

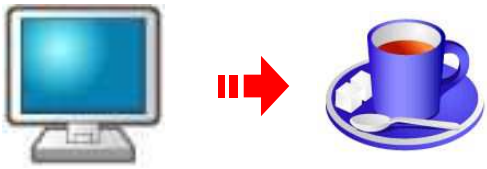
テキスト　視点を移動する　P.83

07 Webマニュアル　［リアルタイムパース］
→［リアルタイムパース基本操作］

休憩

作図がひと段落しました。休憩と保存はこまめに取りましょう。





1　休憩を取るタイミング

「これが終ったら休憩をしましょう」という決まりはありません。

45分程度作業をしたら、区切りの良い所で休憩を取りましょう。

タイマーなどをセットしておけば、「気が付いたら2時間！」なんてことも防げます。

2　運動

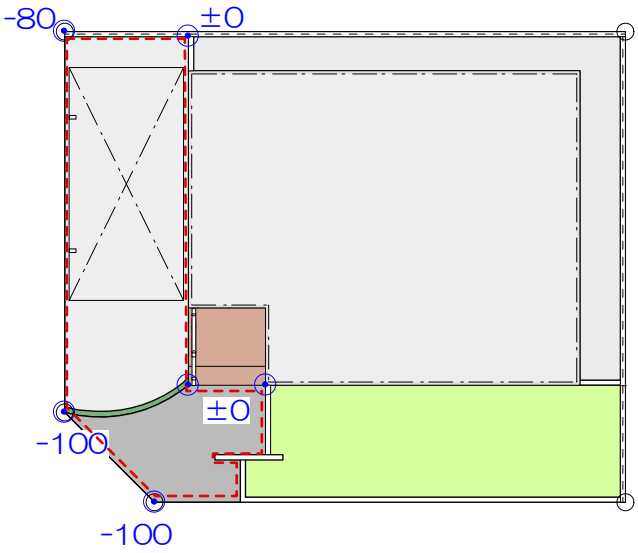
休憩の時はできるだけ体を動かしましょう。作図をしていると同じ姿勢で固まった状態になりやすく、目や肩が痛くなってしまうことがあります。

首や肩を回して、ゆっくり体を動かしましょう。

休憩してリフレッシュしてからの方が作図もはかどります。

レベルの設定をする

下の図を元に車庫・門周りのレベル設定をしましょう。



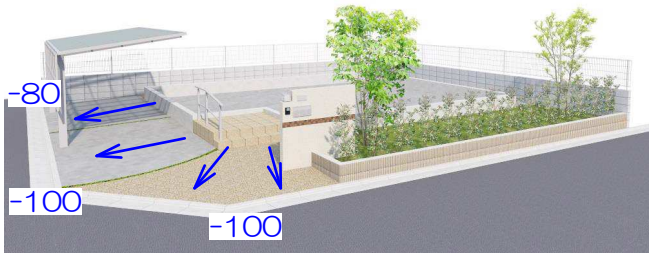
修正した床を再度レベル一括変換で水勾配に沿って変換します。

[レベル]→[レベル一括変換]



レイヤは「ユニット」

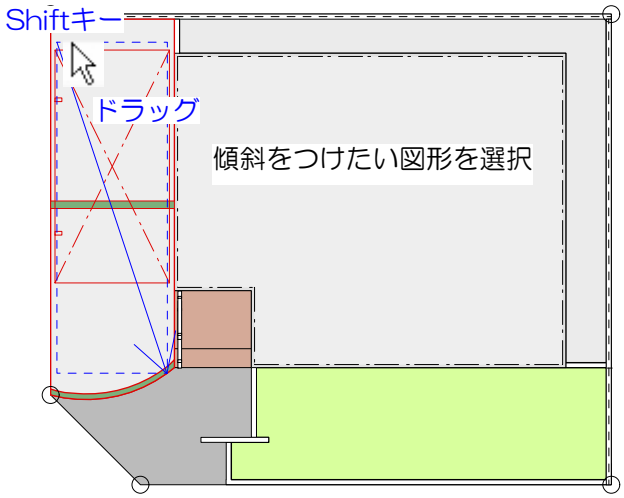
レベル一括変換



1　図形の選択

レベルを設定する図形を選択します。
ここでは、修正ヶ所の土間・タマリュウを選択します。

画面の拡大、縮小をして選択する部分が大きく見えるようにしておきましょう。



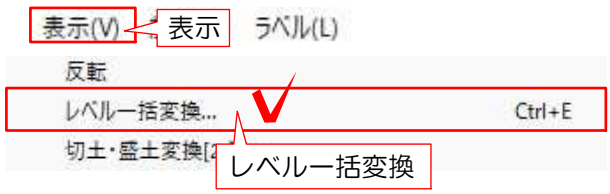
1-1　レベルを設定したい図形（左図赤線で表示されている範囲）を選択します

カーソルが の時、「Shift」キーを押たまま、左図の ---- の範囲をドラッグして図形を選択します。（または「Shift」キーを押したまま１つずつ図形をクリックします。）

余計な図形まで選択した場合は、解除したい図形を「Shift」キーを押したままクリックすると、選択を解除することができます。

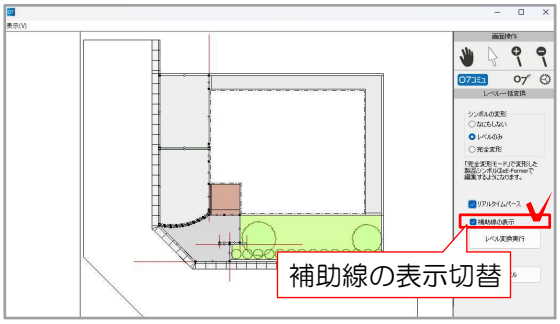
選択した図形の周りに黒い点が表示されます。

2　レベルー括変換



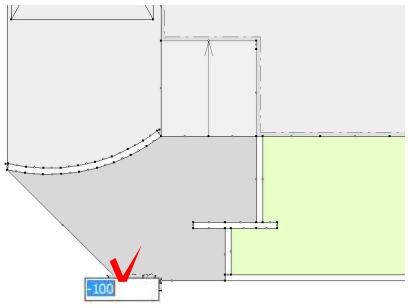
図形が選択できたら「レベルー括変換」を使ってレベルを設定します。

2-1　「加工」メニューの
「レベルー括変換」を選択します。



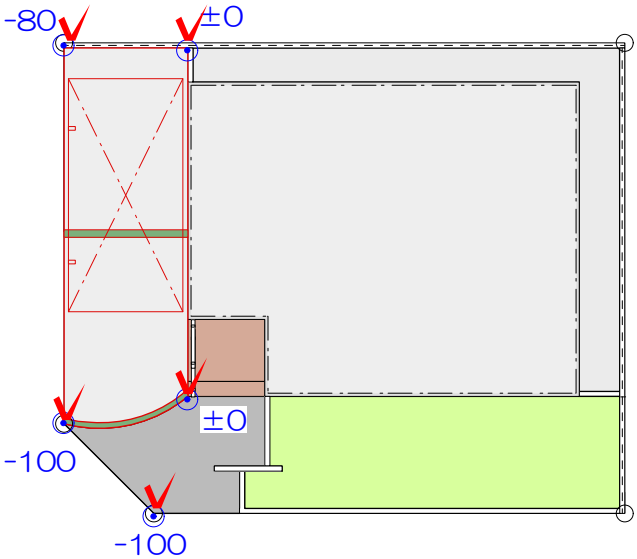
レベルー括変換画面に切り替わります。

※平面図に配置した補助線は、レベルー括変換画面にて表示／非表示を切り替えることができます。



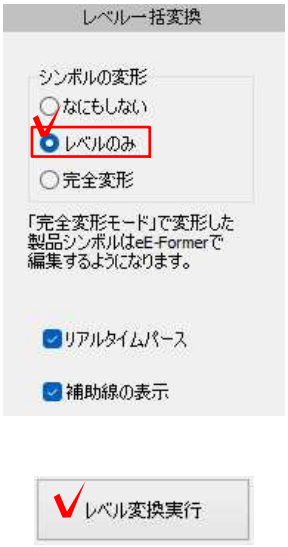
2-2　レベル指定したい図形の頂点をクリックしてレベルを入力します。

カーソルをレベル指定したい図形の頂点に近づけると、カーソルが ┼ の形になります。



2-3　修正した個所の全ての点のレベル入力をします。

画面の拡大、縮小をして選択する部分が大きく見えるようにしておきましょう。



2-4　画面右上の「シンボル変形」の所を「レベルのみ」にチェックを入れ、右下の「レベル変換実行」ボタンをクリックします。

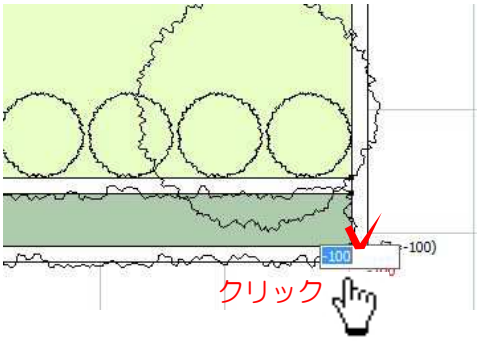
通常は「シンボルの変形」の「レベルのみ」にチェックを入れましょう。

選択した図形にレベルが設定されました。

保存しましょう。

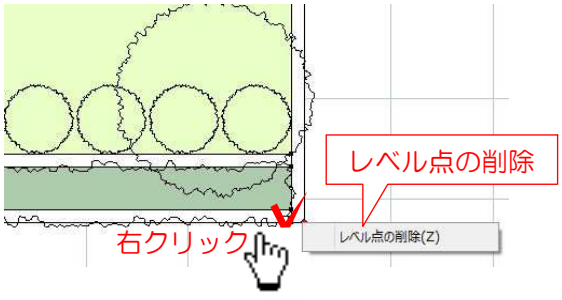
レベル一括変換後にユニットを配置した場合は、もう一度レベル一括変換をします。

【レベルを入力した点の変更・削除】



レベルを入力した点にカーソルを近づけると のカーソルになります。

【レベルの変更】
の時にクリックするとレベルの入力欄が表示されます。
数字を入れ直してEnterキーを押します。



【レベル点の削除】
の時に右クリックし「レベル点の削除」をクリックします。

塀の設定をする

下の図を元に塀の設定をしましょう。

塀1：CB120（天=GL+800）吹付けイエロー
フェンス：エクステリアー般
目隠しフェンス　W20H08

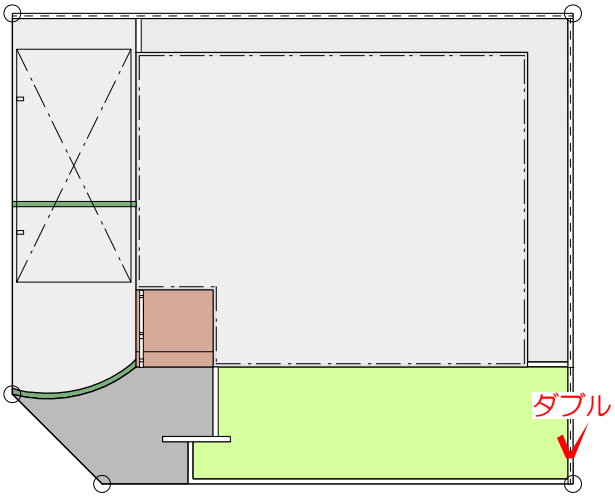


塀をダブルクリックすると、設定画面が起動します。
塀の高さ、形、種類、笠木、付属製品の選択、一部にレンガや石貼をつける、巾木を付けるなどができます。
ここではよく使う機能を練習します。



レイヤは「ユニット」

1　塀1：ﾌﾞﾛｯｸ+ﾌｪﾝｽ塀の設定



ブロックの上にフェンスをのせる塀の設定をします。

画面の拡大、縮小をして境界塀の一部が大きく見えるようにしておきましょう。

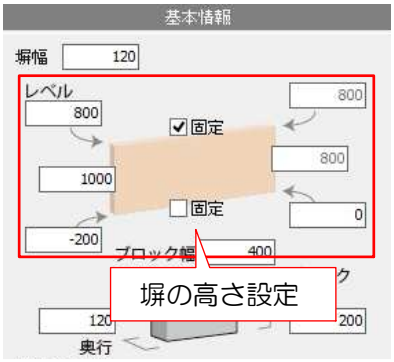
1-1　レイヤを「ユニット」にし、右の境界塀を**ダブルクリック**します。

【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは・・・】



レイヤは「ユニット」になっていますか？
それ以外のレイヤボタンが押されていると塀が選択できません。

塀の設定画面が表示されます。



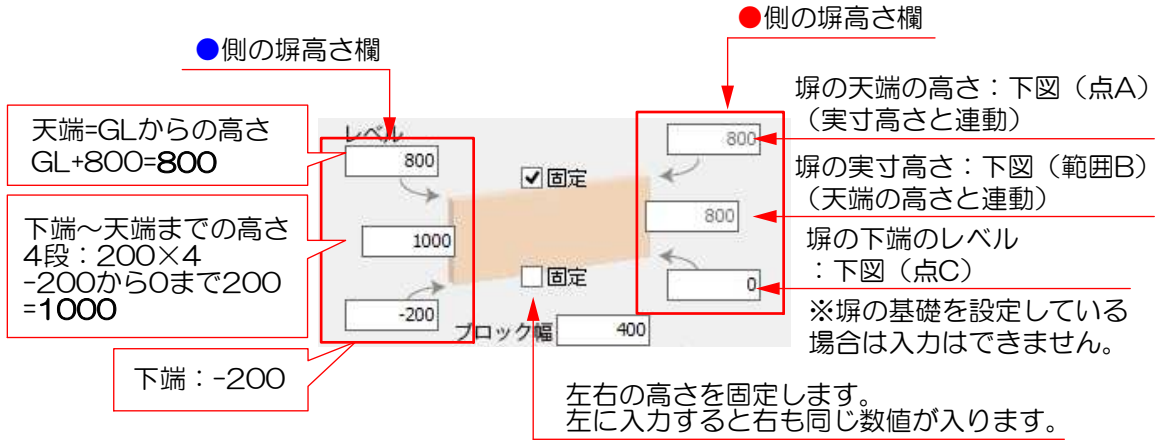
塀の高さを設定します。

1-2：作成したい塀は
高さ：CB4段積（=800）
下端：-200
（下端=ブロックの一番下のレベル）

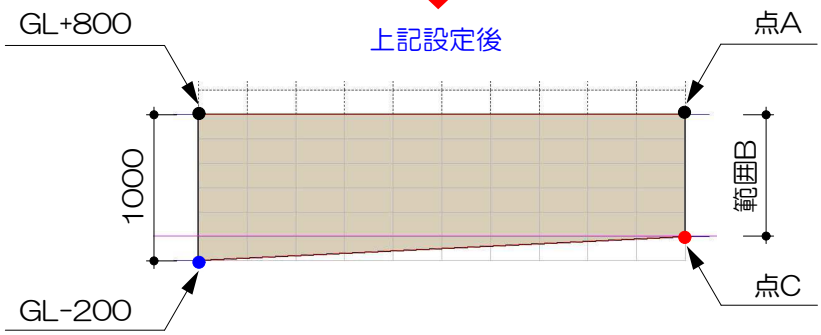
下図のように高さを設定します。

【塀の設定詳細】

【立面設定】

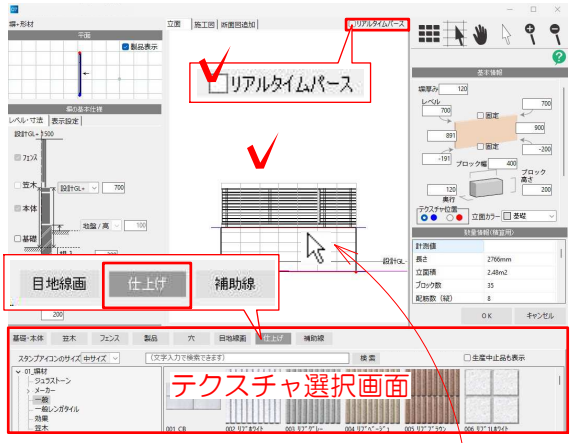


【立面図】



[塀デザイナー]→[塀デザイナーの概要]

[塀デザイナー]→[塀デザイナーの画面構成]



ドラッグ



01_塀材
→一般→吹付けイエロー

塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。

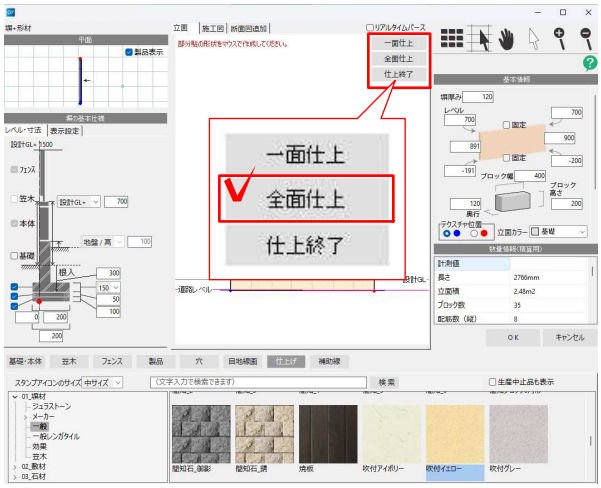
1-3　画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。

リアルタイムパースのチェックを入れておきます。

画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

1-4　使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

01_塀材
　→一般→吹付けイエロー



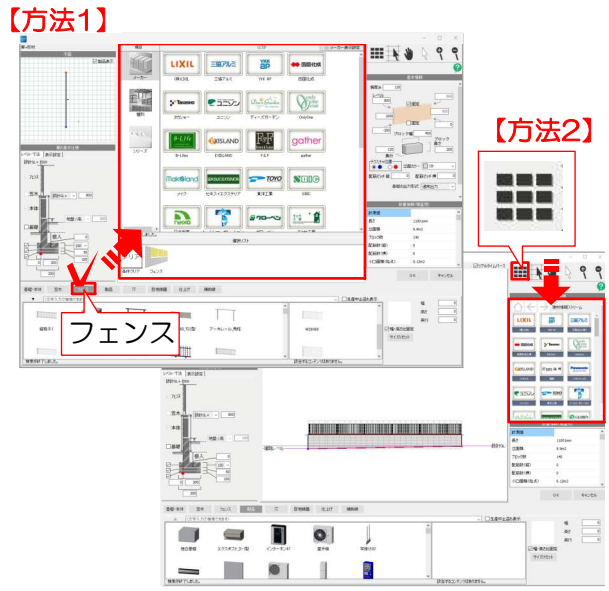
1-5　右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。



塀のテクスチャ(素材の模様)が吹付けイエローに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。



フェンスを設定します。

フェンスを設定するには2つの方法があります。どちらかの方法でフェンスを設定してみましょう。

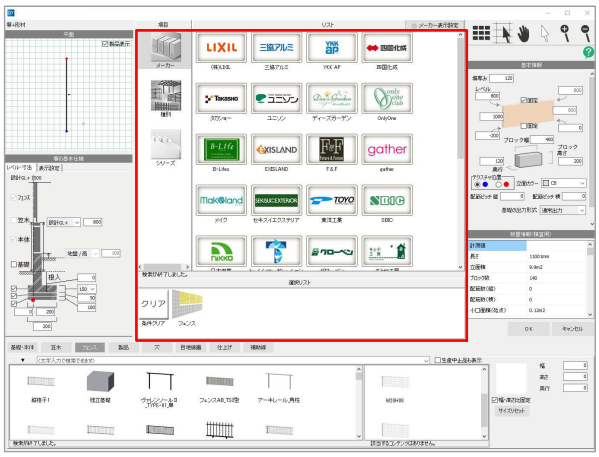
【方法1】「フェンス」から配置
画面下「フェンス」から配置します。

【方法2】　建材情報ストリームから配置
画面右上の　ボタンから「建材情報ストリーム」を表示させフェンスを配置します。P.246～

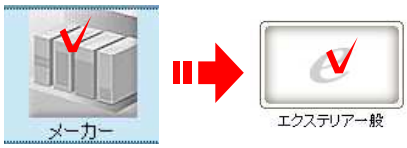


【方法1】　「フェンス」から配置

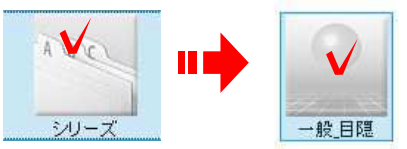
1-6　画面左下の「フェンス」ボタンをクリックします。



フェンス選択画面が表示されます。



1-7　項目がメーカーになっているのを確認して、リストの中から「エクステリアー般」をクリックします。



1-8　項目のシリーズをクリックして、リストの中から「一般_目隠」をクリックします。



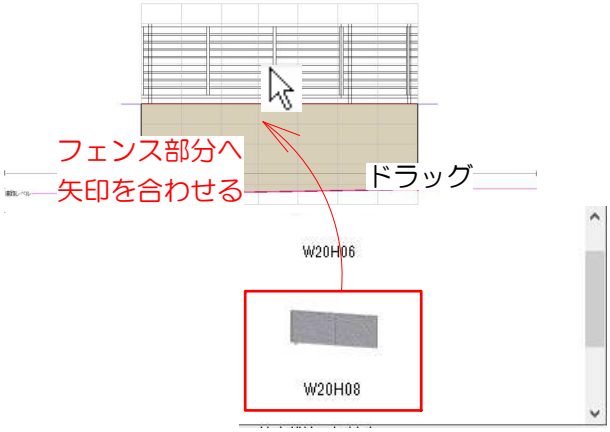
選択している項目が選択リストに表示されます。



1-9　選択リストに該当するフェンスのみ下に表示されます。「目隠_横」をクリックします。

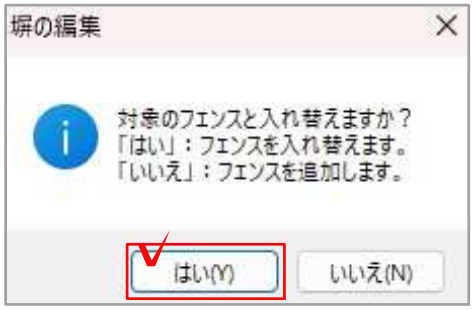


右下にサイズバリエーションが表示されます。



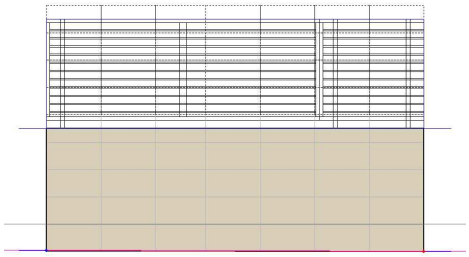
1-10　使用したいサイズ「W20H08」を選択し、立面図のフェンスに向かってドラックします。

すでにフェンスが付いている場合は、フェンスへドラッグしましょう。



メッセージが表示されます。

1-11　フェンス入れ替えのメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。

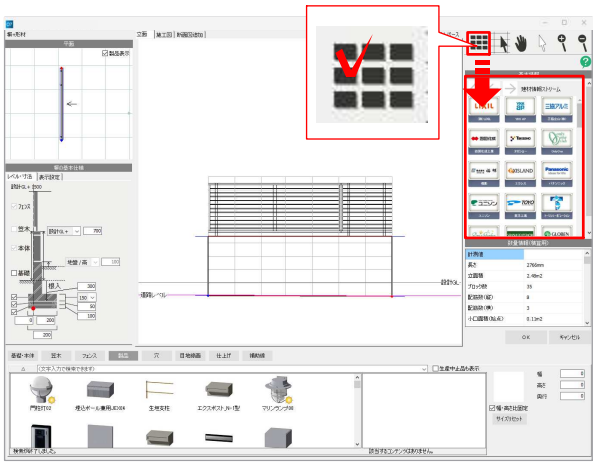


フェンスが変更できました。



1-12　画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

次の塀を設定しましょう。P.247へ



【方法2】　建材情報ストリームから配置

1-6　画面右上の  ボタンをクリックします。



建材情報ストリームが表示されます。

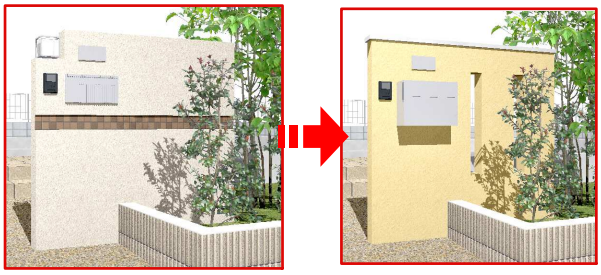
カタログ情報を見ながらお好きな製品を配置してみましょう。

07 Webマニュアル [製品]→[建材情報ストリーム]

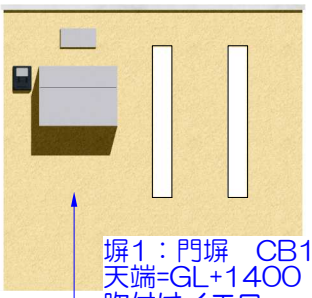


1-7　画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

次の塀を設定しましょう。



塀をダブルクリックすると、設定画面が起動します。
塀の高さ、形、種類、笠木、付属製品の選択、一部にレンガや石貼をつける、巾木を付けるなどができます。
ここでは修正する部分のスリットを設定します。



【立面図】

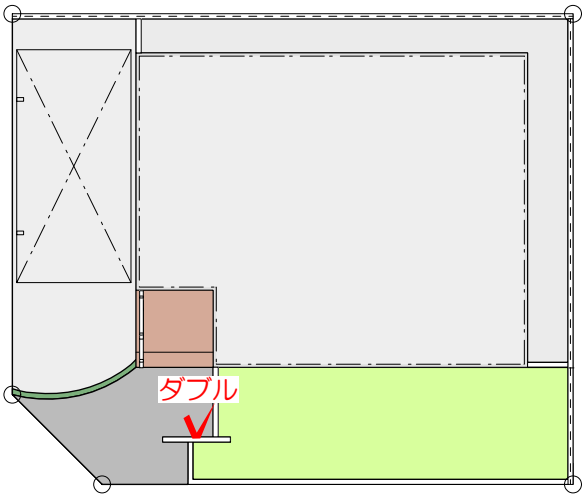
塀1：門塀　CB120
天端=GL+1400
吹付けイエロー
+レンガ笠木
照明・ポスト・インターホン
+穴　100×800　2ヶ

左図の塀を作成します。

塀の天端=GL+1400
仕上げ　吹付けイエロー
照明・表札・ポスト・インターホン
穴2ヶ　100×800

Webマニュアル [塀デザイナー]
→[塀デザイナーの概要]

[塀デザイナー]
→[塀デザイナーの画面構成]

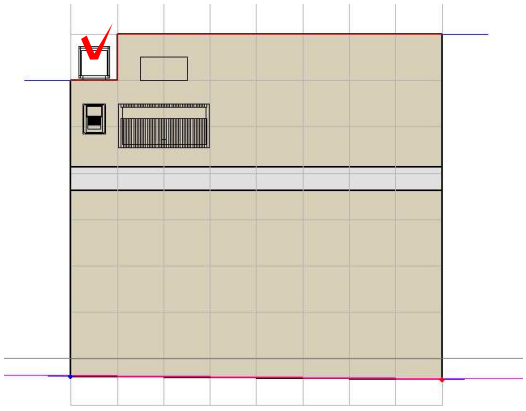


1　塀1：門塀
塀の形修正　仕上げ変更
穴　2ヶの設定
ポスト　箱型ポストに変更

門塀を設定します。

画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。

1-1　ポーチ前に配置した門塀をダブルクリックします。



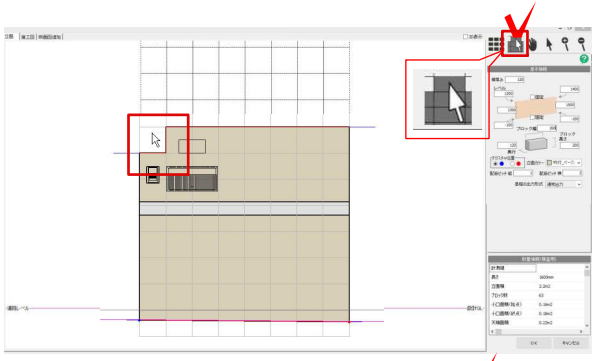
塀の設定画面が表示されます。

1-2　照明をクリックで選択しDeleteキーで削除します。



1-3　右上の基本情報を設定します。
ブロック幅：200　ブロック高さ：200

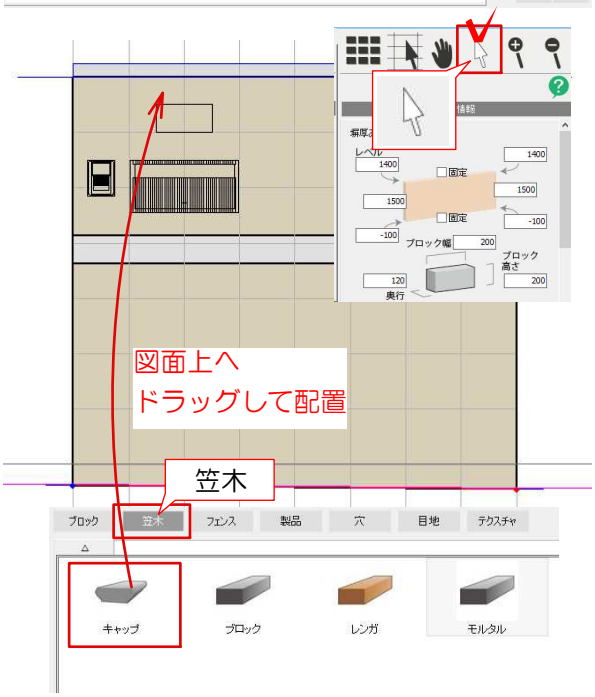
※グリッドの設定をしておくと作業がスムーズです。



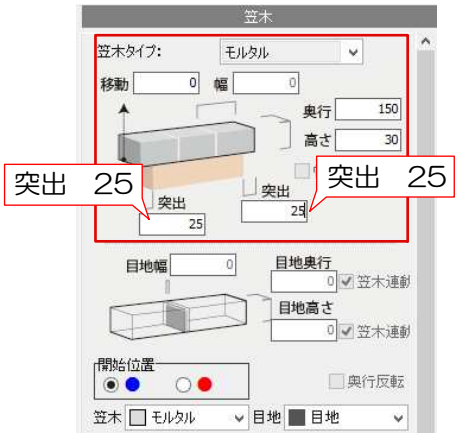
1-4　右上の  を選択し追加したい

左上のマスをクリックで選択します。

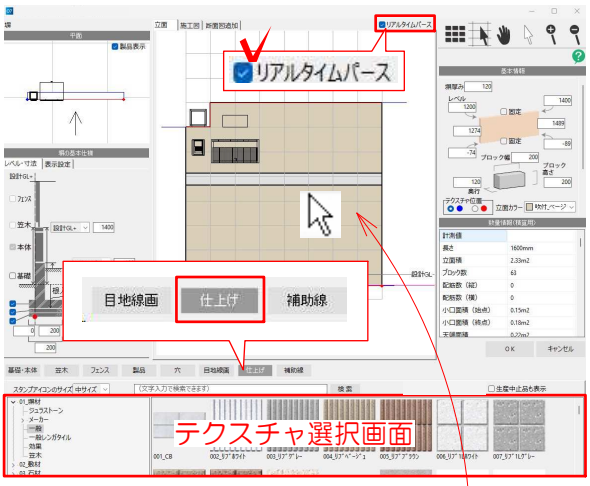
塀の形が設定できました。



1-5　右上の  を選択してから作業します。笠木を選択して、図面上へモルタルをドラッグして配置します。



1-6　右上の笠木で笠木の突出を25ずつ突出させます。



塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。

1-7　画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。

リアルタイムパースのチェックを入れておきます。

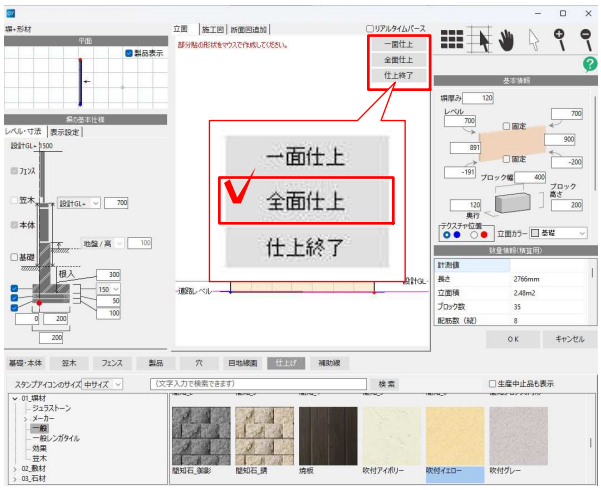
ドラッグ



画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

1-8　使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

01_塀材
　→一般
　→010_吹付イエロー



1-9　右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。

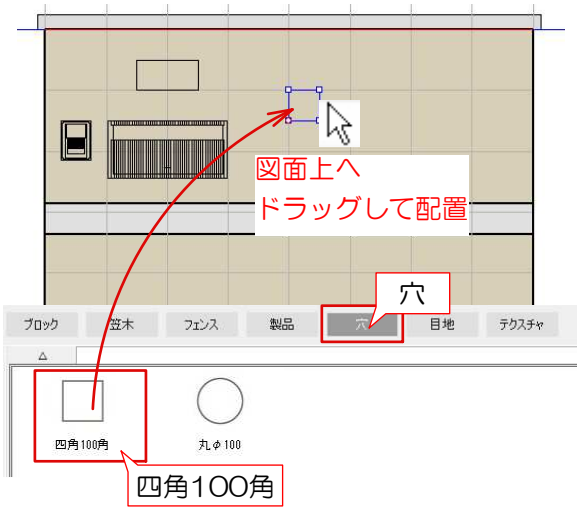
塀のテクスチャ(素材の模様)が吹付けイエローに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。





リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

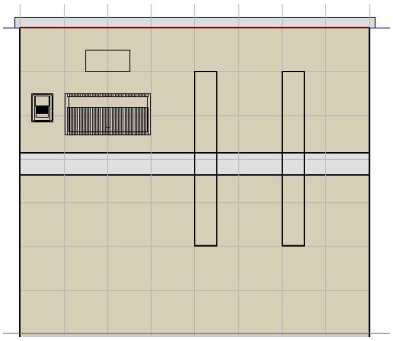


1-10　穴を選択して四角100角を選択して図面上へドラッグで配置します。

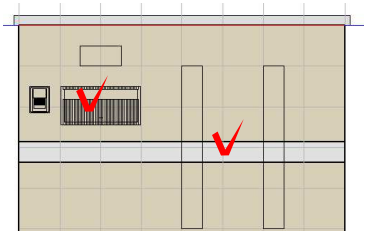
※右側のスクロールを下にドラッグすると四角100角が表示されます。



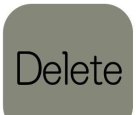
1-11　穴の大きさを800にして下にドラッグして配置します。

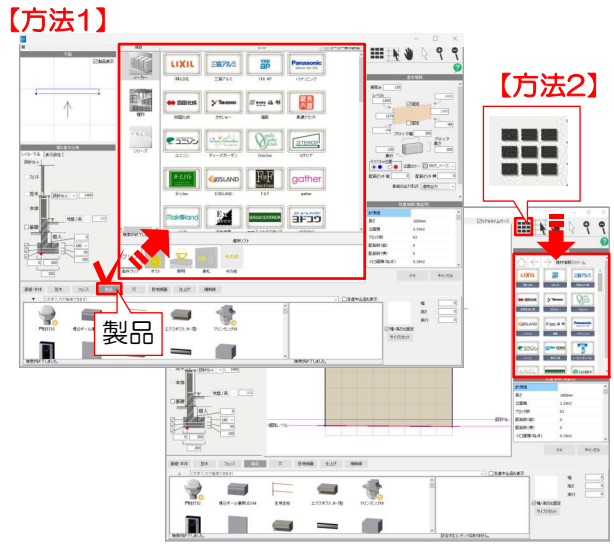


1-12　2個目の穴も同じように配置します。



1-13　ポストをクリックで選択します。
選択したものをDeleteキーで削除します。
タイル貼りの図形も同様に削除します。

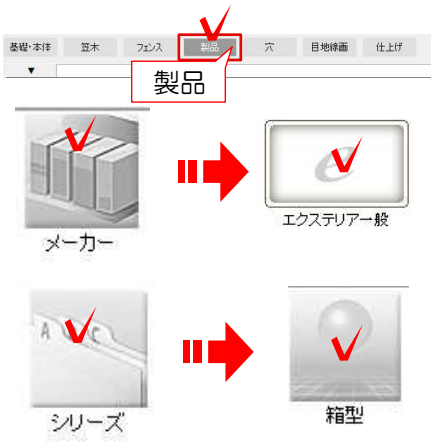




製品(照明・表札・インターホン・ポスト)を選択して塀に配置します。
製品を配置するには2つの方法があります。どちらかの方法で製品を配置してみましょう。

【方法1】「製品」から配置
画面下「製品」から配置します。

【方法2】　建材情報ストリームから配置
画面右上の  ボタンから「建材情報ストリーム」を表示させ製品を配置します。P.252～



【方法1】「製品」から配置
1-14　製品を選択後、項目がメーカーになっているのを確認して、リストの中から「エクステリアー般」をクリックします。

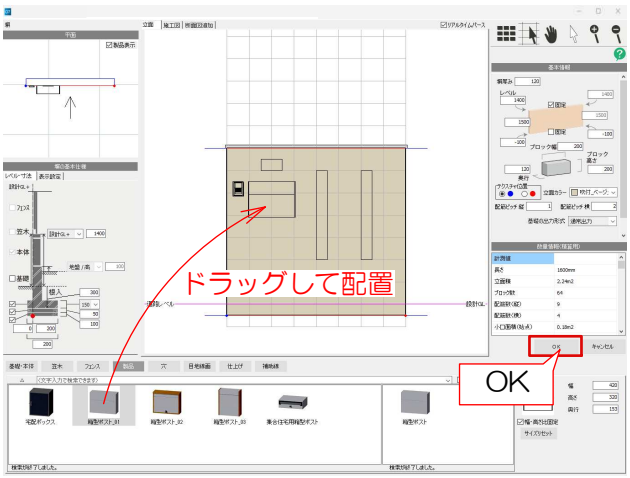
シリーズをクリックして、リストの中から「箱型」をクリックします。

※種別は選択されているので、今回は飛ばしてシリーズを選択してください。



選択している項目が選択リストに表示されます。

※表札・照明・その他は必要がなければクリックで選択解除ができます。

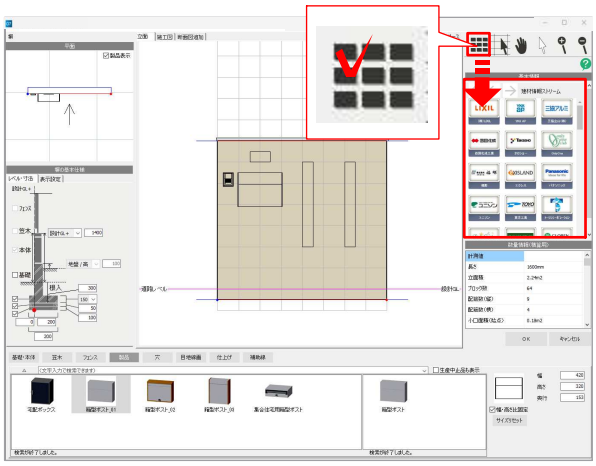


1-15　下に表示された箱型ポストをドラッグして配置します。

1-16　OKを選択し終了します。

※インターホン・表札は今回変更はしません。

塀の設定が完了しました。



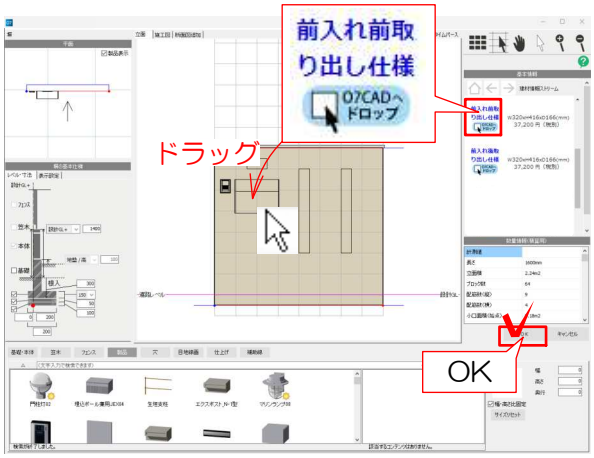
【方法2】　建材情報ストリームから配置

1-14　画面右上の  ボタンをクリックします。

建材情報ストリームが表示されます。

カタログ情報を見ながらお好きな製品を配置してみましょう。

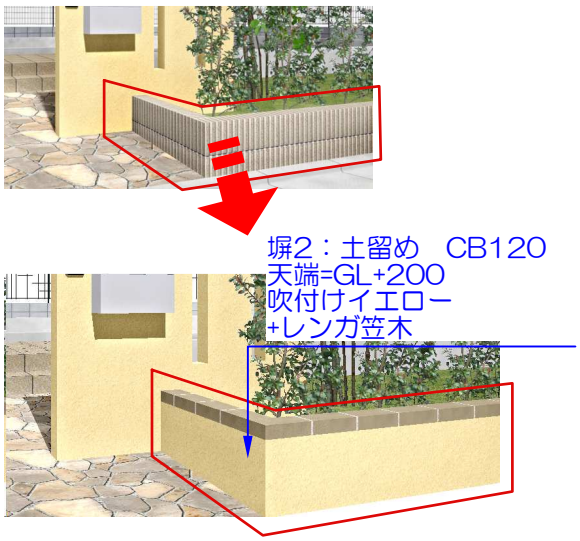
Webマニュアル [製品]→[建材情報ストリーム]



1-15　OKを選択し終了します。

※インターホン・表札は今回変更はしません。

塀の設定が完了しました。



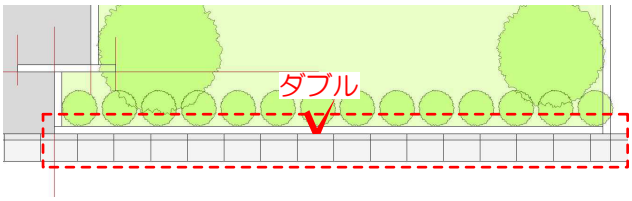
左図の塀を作成します。

塀の天端=GL+200
仕上げ　吹付けイエロー
+レンガ笠木

Webマニュアル
［塀デザイナー］
→［塀デザイナーの概要］

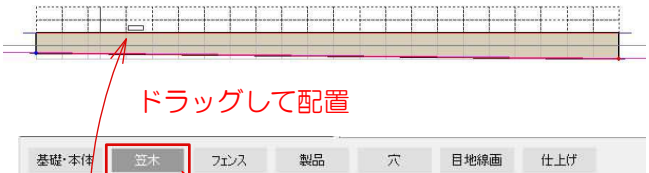
［塀デザイナー］
→［塀デザイナーの画面構成］

1　塀2：土留め
塀の天端に笠木を配置
塀の仕上げの変更



土留めを設定します。

画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。

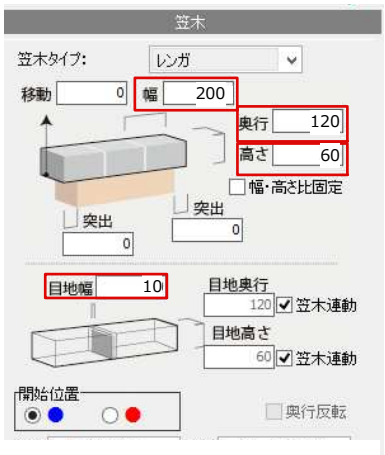


1-1　植栽の前に配置された土留をダブルクリックします。

塀の設定画面が表示されます。



1-2　笠木を選択し、下のレンガを塀の天端にむかってドラッグで配置します。



1-3　右上の笠木で、幅・奥行・高さを入力します。
幅：200・奥行：120・高さ：60



ドラッグ

塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。

1-4　画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。

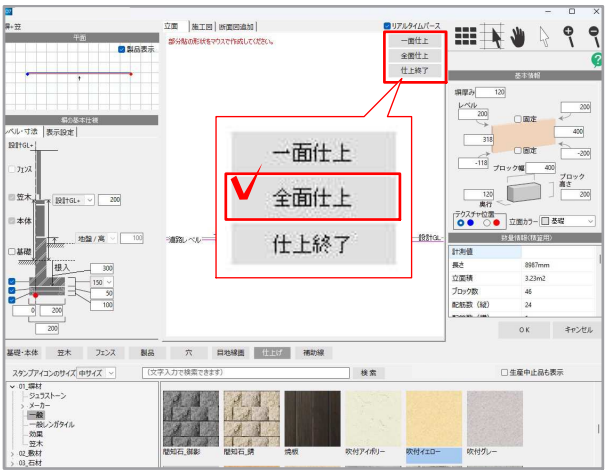
リアルタイムパースのチェックを入れておきます。



画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

1-5　使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

01_塀材
　→一般
　→010_吹付ベージュ



1-6　右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。

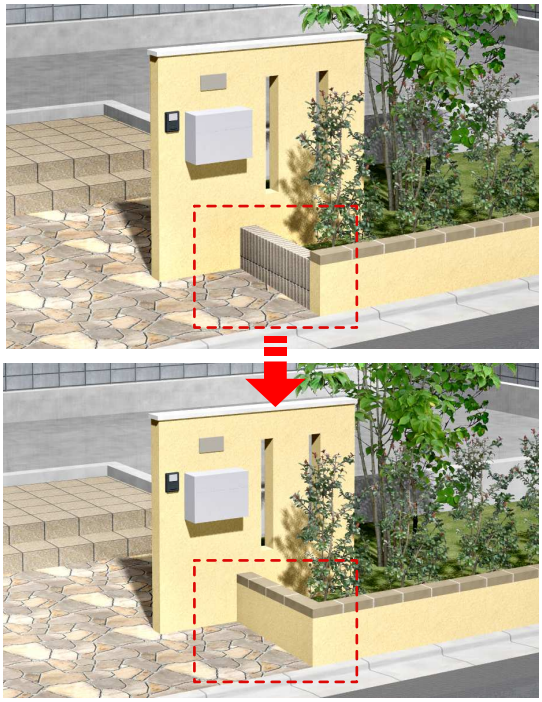
塀のテクスチャ(素材の模様)が吹付けイエローに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。



1-7　右下のOKを選択して完成です。



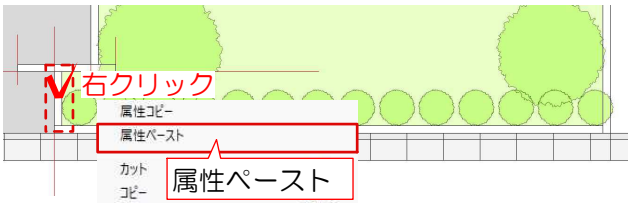
2　塀の設定をコピーする

1で作成したブロック+笠木の設定をコピーして、別の塀にペーストする事ができます

画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。

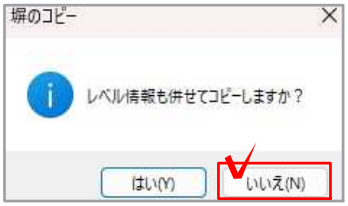


2-1　作成した塀の上で**右クリック**属性コピーを選択します。



2-2　属性をコピーしたい塀の上で**右クリック**属性ペーストを選択します。

「レベル情報も併せてコピーしますか」とメッセージが表示されます。



2-3　「いいえ」をクリックします。

塀の設定が完了しました。
保存しましょう。

【属性コピーできる項目】

属性コピーできる設定は、塀の高さ、天端の形状、シンボル、穴シンボル、笠木、仕上げ、目地線画等です。
塀に基礎が設定されている場合は下端レベルはコピーされません。また、塀の長さが異なると天端の形状やシンボルの配置位置が変わりますので注意しましょう。

Webマニュアル　［塀デザイナー］→［塀ユニットの設定のコピー＆ペースト（属性コピー）］

床の設定をする

下の図を元に床の設定をしましょう。



石貼：03石材→一般
→009石貼ベージュ2

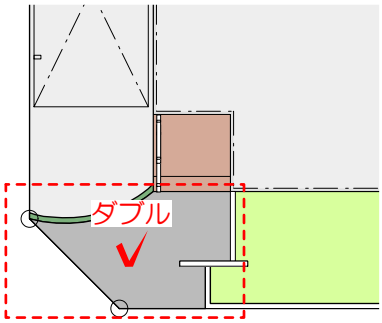


床をダブルクリックすると、設定画面が起動します。

ここでは床のテクスチャを変更します。



レイヤは「ユニット」

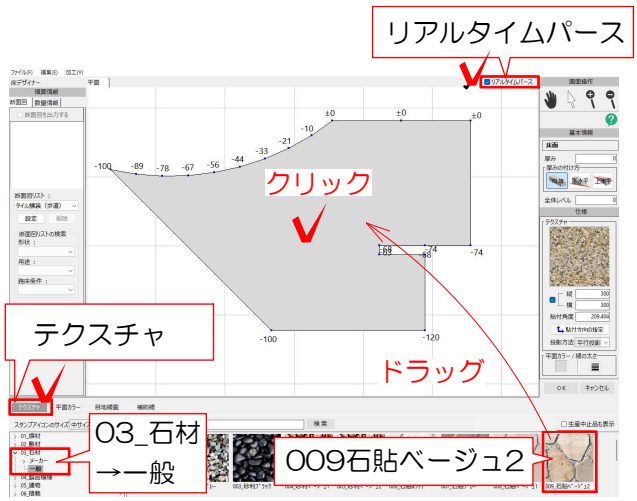


床の設定

1　レイヤを「ユニット」にし、アプローチの床を**ダブルクリック**します。

塀の設定画面が表示されます。

2　リアルタイムパースのチェックを入れておきます。



3　床をクリックで選択します。

4　画面左下の**「テクスチャ」**から使用したいテクスチャを選択します。

03_石材
　→一般
　　→009石貼りベージュ

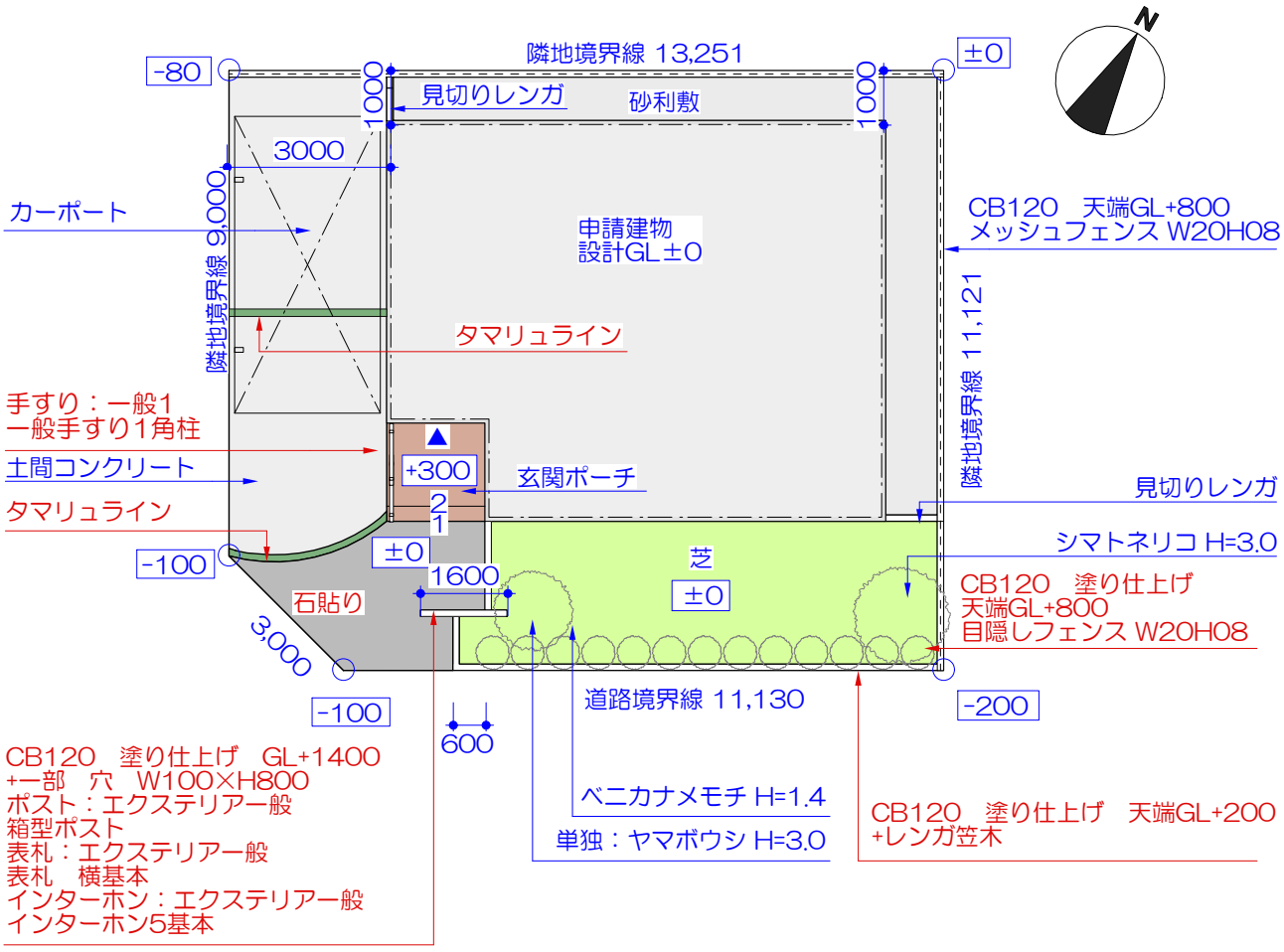


5　リアルタイムパースで確認しましょう。

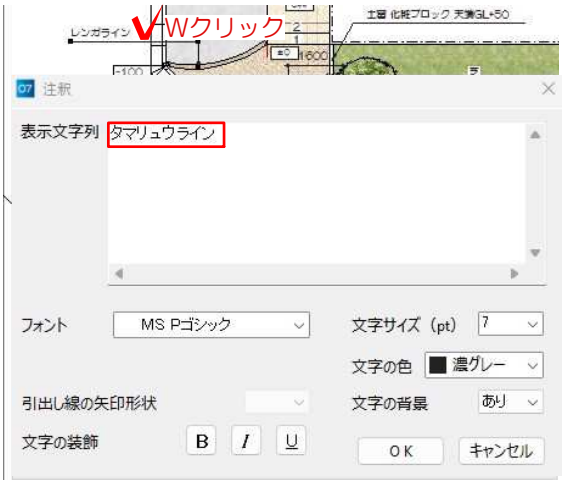
リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

注釈を変更する

下の図を元に注釈変更しましょう。



注釈　レイヤは「注釈」



1　注釈の変更

1-1　レイヤを「**注釈**」にし、変更する注釈の上でWクリックをして変更します。

※上の赤文字の注釈をすべて変更しましょう。

テキスト　注釈の描き方　P.158

【文字のフォントやサイズ・色を変えたいときは・・・】



文字のフォントやサイズを変更するには、いくつかの方法があります。

【複数を変更する】
変更したい注釈を選択し、画面右のフォントとサイズを変更します。

※注釈配置前に設定しておくと、配置する注釈は設定したフォント・サイズで表示されます。

【注釈設定画面】



【一つだけ変更する】
変更したい注釈をダブルクリックし、注釈設定画面で変更します。



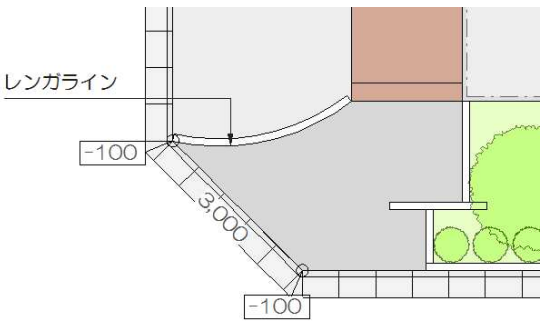
文字の色を変更する方法

引き出し線の色・文字の色を選択し変更します。

※フォントとサイズを変更する時と同じように複数でも変更する事ができます。



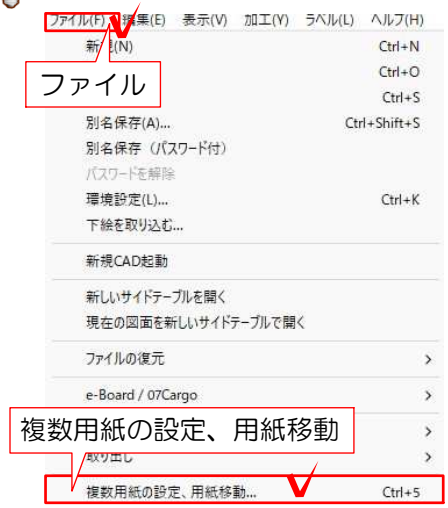
【デフォルト設定をする】
注釈を何も選択しない状態で設定しておくとデフォルトを決める事ができます。
何回も設定しなくても、CADを開いた時に設定したフォントや文字のサイズになっています。



他の引き出し線も変更・入力してみましょう。

入力ができたら保存しましょう。

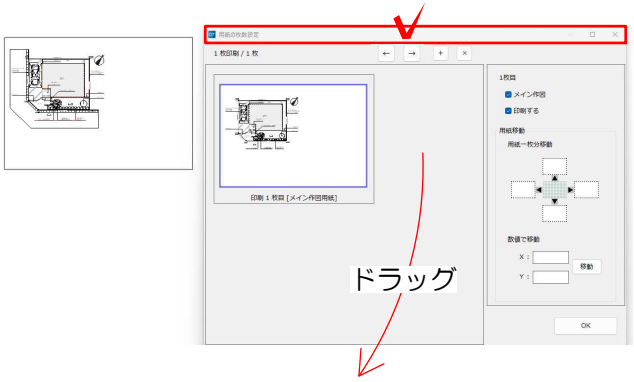
【注釈が用紙枠から出てしまうときは・・・】



注釈が用紙から出てしまう場合は、**用紙を移動**して調整します。

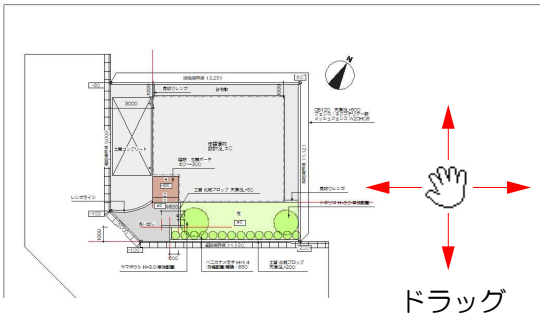
Webマニュアル［用紙］→
［平面図のレイアウト位置を調整する方法］

1-1　レイヤを「注釈」にし、「ファイル」メニューから「複数用紙の設定、用紙移動」をクリックします。

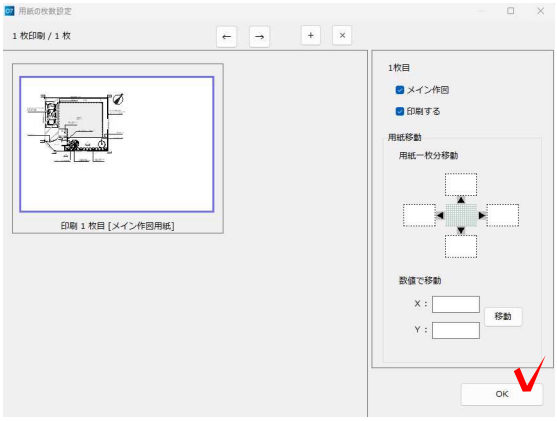


複数用紙の設定、用紙移動の設定画面が表示されます。

1-2　設定画面の上部バーをドラッグし、画面下へ移動します。



1-3　画面上にカーソルを動かし、✋になったらドラッグして用紙範囲を動かします。



1-4　用紙位置が調整できたら「OK」をクリックします。

リアルタイムパースを表示する

テクスチャを確認しましょう。

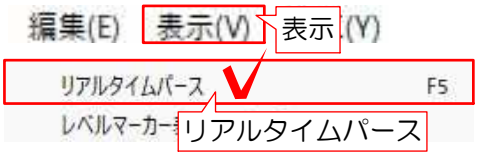


リアルタイムパース上で作成したプランの確認をします。

テクスチャの変更が必要な場合はここで作業しましょう。

テクスチャは各図形の設定画面でも変更できます。

1　リアルタイムパース表示



1-1　「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。



リアルタイムパースが表示されます。

［リアルタイムパース］
→［リアルタイムパース　基本操作］

2　貼り換え





※今回はテクスチャ設定済のため作業はありません。

2-1　画面下の**「テクスチャ」**から使用したいテクスチャを選択します。

2-2　選択したテクスチャを貼り換えたい図形にドラッグします。

効果設定を変える

設定を変えることで、いろいろな演出をすることができます。



設定1　簡易設定

あらかじめ用意された設定一覧から選択します。

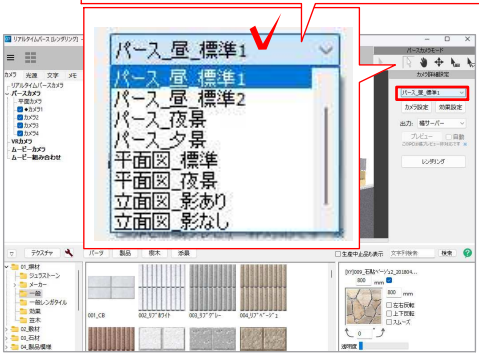


設定2　手動設定

各効果の設定を変更して、オリジナルの設定をすることができます。



「パース_昼_標準1」をクリック



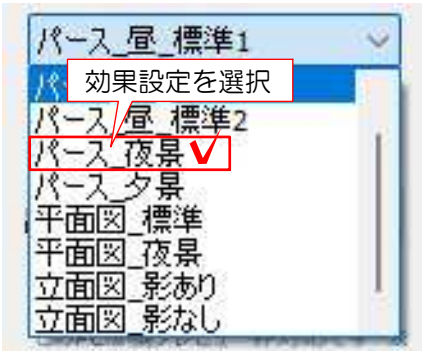
1　簡易設定

初期設定にいくつかの設定が登録されています。リアルタイムパース画面右上の「設定」で選択します。

1-1　画面左上「パースカメラ」の「カメラ1」クリックします。

1-2　画面右上「カメラ詳細設定」の「パース_昼_標準1」をクリックします。

効果設定一覧が表示されます。



1-3　一覧から使用したい効果設定をクリックします。



選択した効果設定が表示されます。

効果設定を変えることで簡単に昼・夕方・夜・平面図用の設定をすることができます。

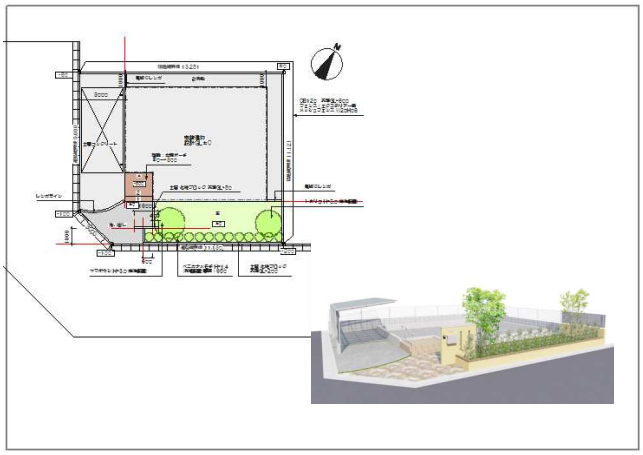


画像をCADに貼る

リアルタイムパースで作ったパースをCAD平面図上へ貼りつけます。



リアルタイムパースで角度やテクスチャを調整したパースをCAD平面図上に貼りつけます。

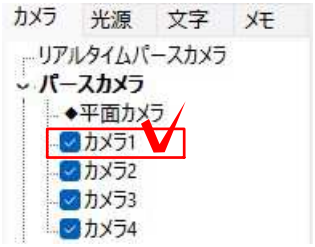


カメラが複数ある時は、各カメラごとに作業をします。

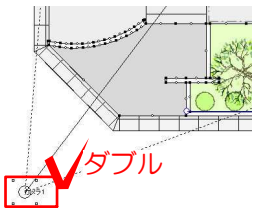
ここでは**カメラ1とカメラ2でパース**を、**カメラ3で立面図**を作成します。

1　カメラを選択

方法1



方法2



1-1　パースカメラを選択します。

方法1：リアルタイムパース画面左上の
　　カメラ1を選択します。
方法2：平面のカメラ1
　　をダブルクリックします。



選択したカメラのパースが表示されます。



2　図面上へ配置

CAD平面図上にパースを配置します。

2-1　画面右側の**「レンダリング」**をクリックします。

レンダリング設定画面が表示されます。

2-2　「eE-Painter」もしくは**「橘サーバー」**を選択し、**「次へ」**をクリックします。

※リアルで高精細な仕上は「橘サーバー」を選択しましょう。

※「橘ローカル」PCに橘レンダリングをインストールしてる場合ごしよういただけます。インストールはPCのスペックが関係します。



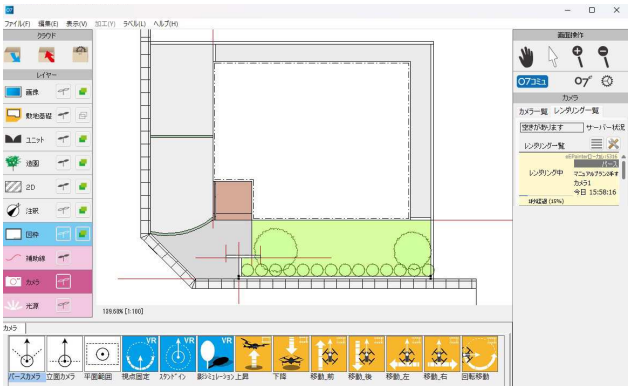
2-3　「中」を選択し、**「レンダリング開始」**をクリックします。



画像サイズは印刷するパースの大きさによって選択します。

通常は「中」を。A3にパース1つの場合は「大」を目安にします。

大きいほど精密なパースができますが、データが重くなります。用紙に合わせた最適なサイズを選択しましょう。



レンダリングが開始されました。

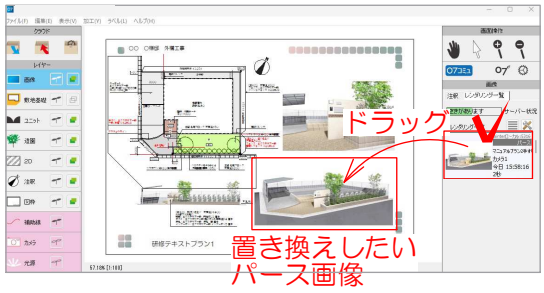
平面作業画面に戻りましょう。



レイヤは「画像」

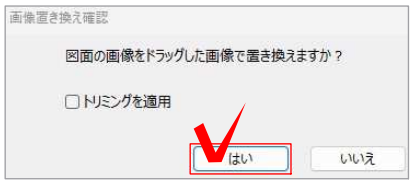
2-4　レイヤを「画像」にします。

2-5　画面右側のレンダリング一覧から、置き換えしたいパース画像に向かってドラッグで配置します。



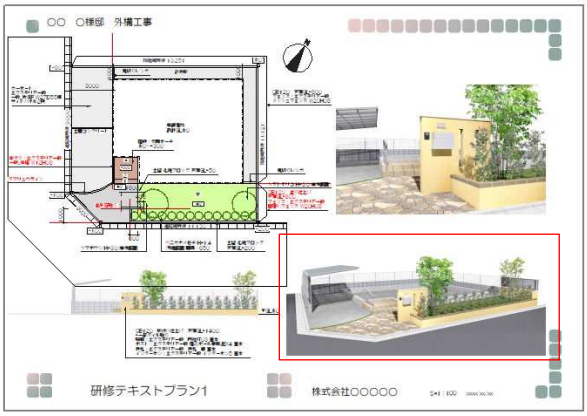
レンダリング中の場合は、他の作業をしながらレンダリングが終わるのを待ちましょう。

置き換えしたいパース画像が表示されていない場合は、一度「画像」レイヤにしてから再度「カメラ」レイヤにしましょう。



画像を置き換えるか確認メッセージが表示されます。

2-6　「はい」をクリックします。



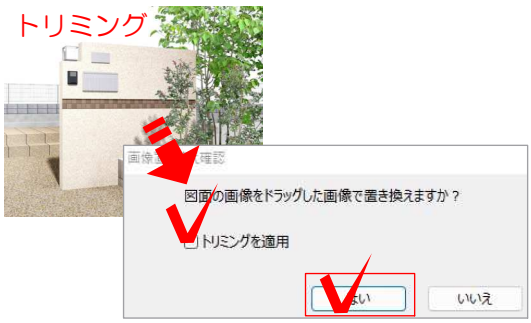
画像が置き換わりました。

置き換えしたパース画像の大きさや角度、図面上の上下関係は元の画像と同じになります。

保存しましょう。

同じ要領で**カメラ2・カメラ3**のパース・立面図も図面上へ配置しましょう

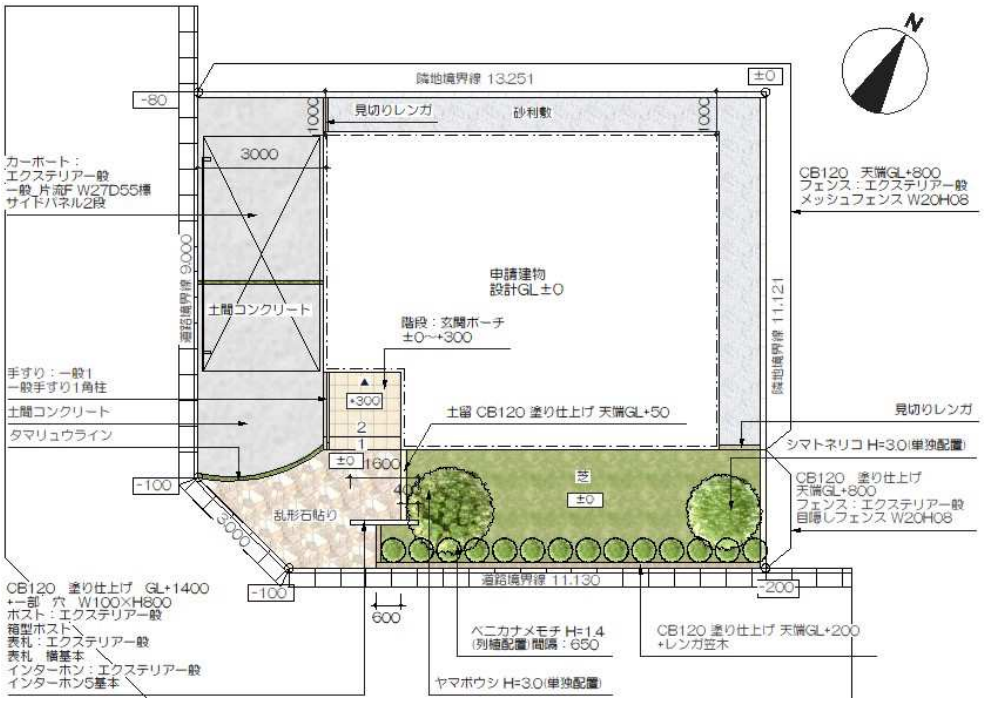
【置き換えしたいパース画像をトリミングしている場合】

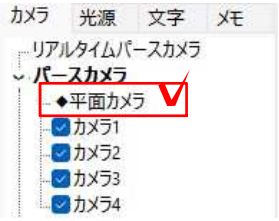


置き換えしたいパース画像をトリミングしている場合は、画像置き換え確認メッセージで「トリミングを適用」にチェックを入れてから「はい」を選択しましょう。

平面図仕上げ

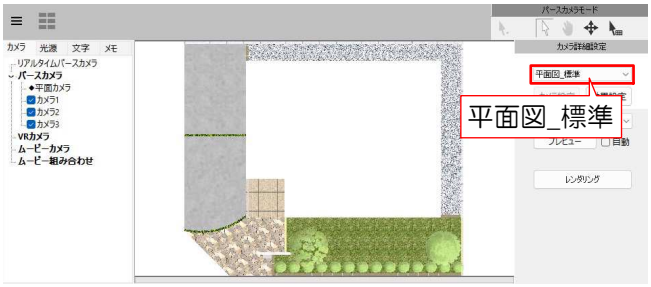
平面図をパースと同じようにリアルタイムパースで作成し、立体感のある表現にします。





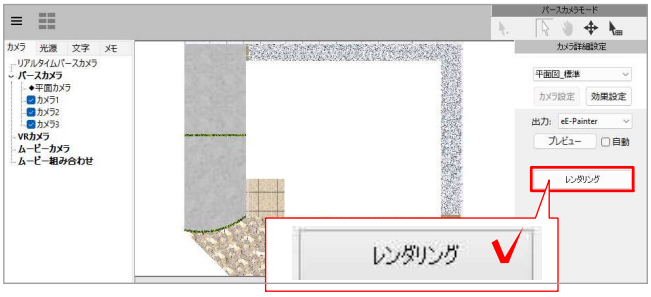
1　リアルタイムパースで平面図を表示

1-1　リアルタイムパース画面左上のパースカメラから「平面カメラ」を選択します。



1-2　リアルタイムパース画面右上のカメラ詳細設定を「平面図_標準」になっていることを確認します。

2　レンダリング



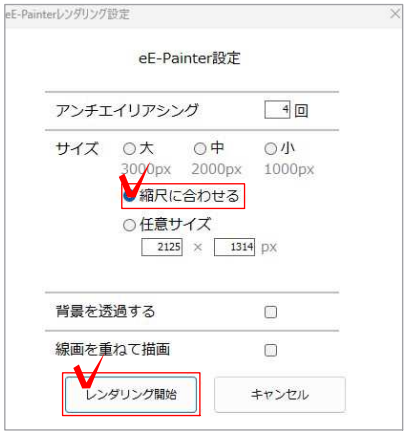
CAD平面図上に平面画像を配置します。

2-1　画面右側の**「レンダリング」**をクリックします。



レンダリング設定画面が表示されます。

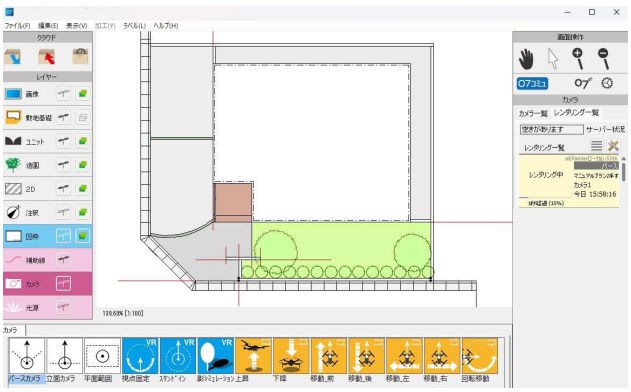
2-2　「eE-Painter」を選択し、**「次へ」**をクリックします。



2-3　「縮尺に合わせる」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

平面カメラの場合は「縮尺に合わせる」を選択し、平面図と画像の縮尺を合わせます。

Webマニュアル [カメラ]→[カメラ]→[平面図の線画の取り込み]



レンダリングが開始されました。

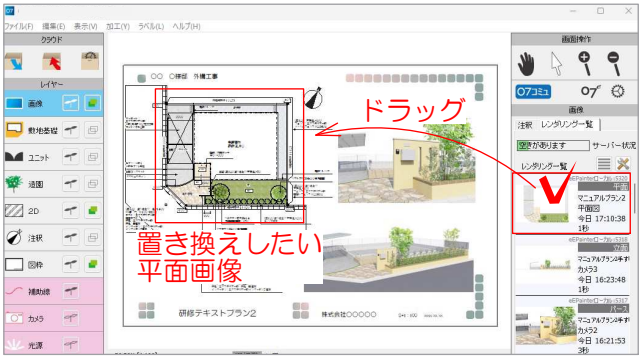
平面作業画面に戻りましょう。



レイヤは「画像」

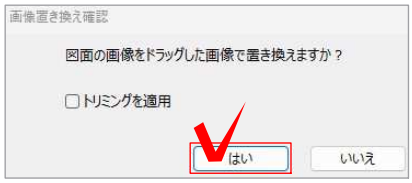
2-4　レイヤを「**画像**」にします。

2-5　画面右側のレンダリング一覧から、置き換えしたい平面画像に向かってドラッグで配置します。



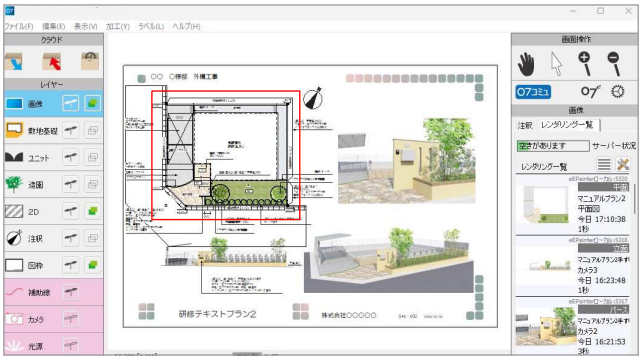
レンダリング中の場合は、他の作業をしながらレンダリングが終わるのを待ちましょう。

ユニットレイヤがカラー表示の場合平面画像はユニットレイヤの図形で隠れていますが、そのままの表示でもドラッグで置き換えできます。



画像を置き換えるか確認メッセージが表示されます。

2-6　「はい」をクリックします。



画像が置き換わりました。

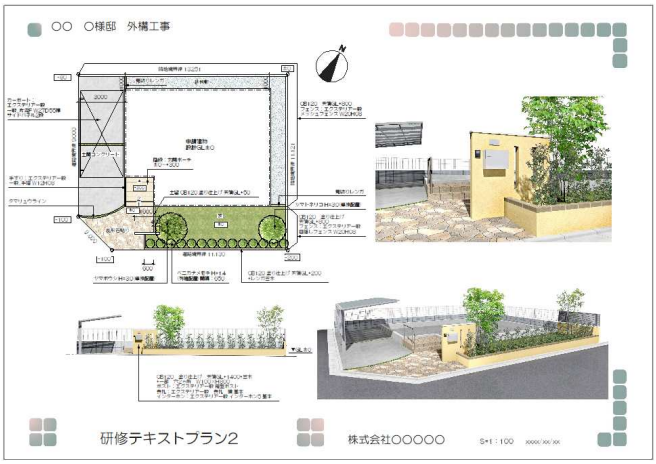
ユニットで描いた平面図の位置に合わせて、画像レイヤに配置されます。

同時に敷地基礎・ユニット・造園レイヤーがモノクロ指定に変更されます。

保存しましょう。

レイアウト

用紙枠内にパースや平面図をレイアウトしましょう。



今回は、平面図と立面図とパースをA3用紙内にレイアウトします。平面図が左、パースを右、立面図を平面の下に配置しましょう。

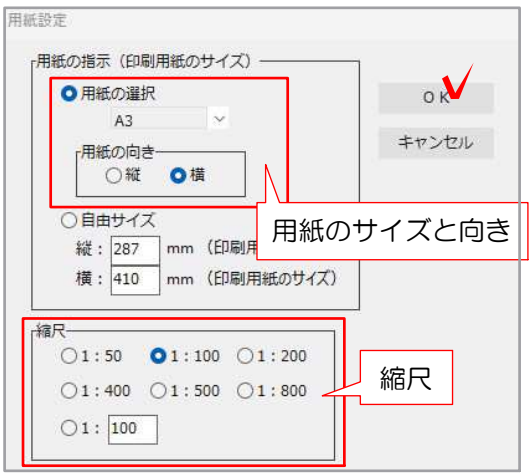
配置位置は自由です。できるだけそれぞれの図面が大きく入るようにしましょう。



1　用紙の大きさ・縮尺を確認

用紙のサイズと縮尺を確認しましょう。

1-1　「ファイル」メニューの**「用紙の大きさ」**をクリックします。



「用紙設定」画面が表示されます。

1-2　用紙のサイズ、向き、縮尺を確認して「OK」をクリックします。

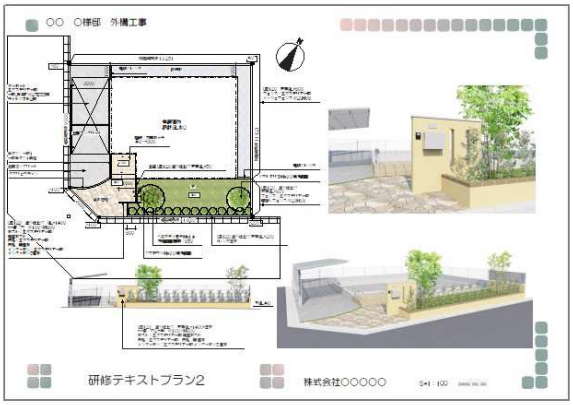
この作業は縮尺が最初のプランと変更がなければ飛ばしても良い作業です。

2　全体レイアウトを確認



レイアウトを決めるために現在のレイアウトを確認しましょう。

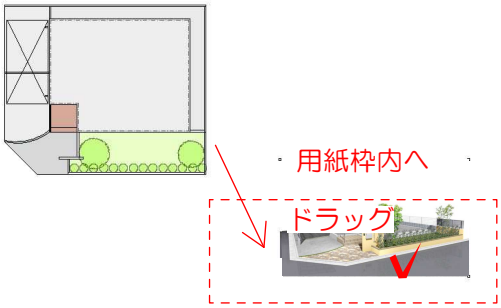
2-1　「表示」メニューの「画面倍率」→**「用紙全体」**をクリックします。



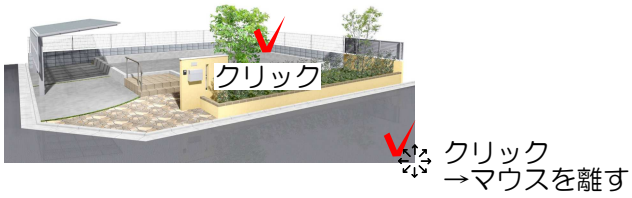
画面内に用紙全体が表示されます。

グレーのラインが用紙枠です。

3　パースの大きさを調整する

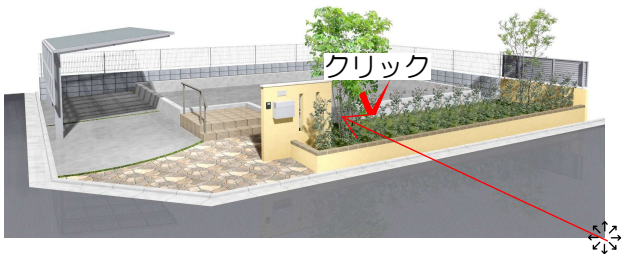


3-1　パースをドラッグして用紙内に配置します。



3-2　パースをクリックして選択し、角に表示された□にカーソルを合わせて ✥ になったところでクリックします。

3-3　マウスを動かし、変えたい大きさになったところでクリックします。



パースを移動して用紙内にレイアウトしましょう。

【パースの大きさ調整2】



パースの大きさを調整する方法はドラッグする以外にもうひとつあります。

ドラッグして変形するのが苦手な方は
下記の方法で調整しましょう。



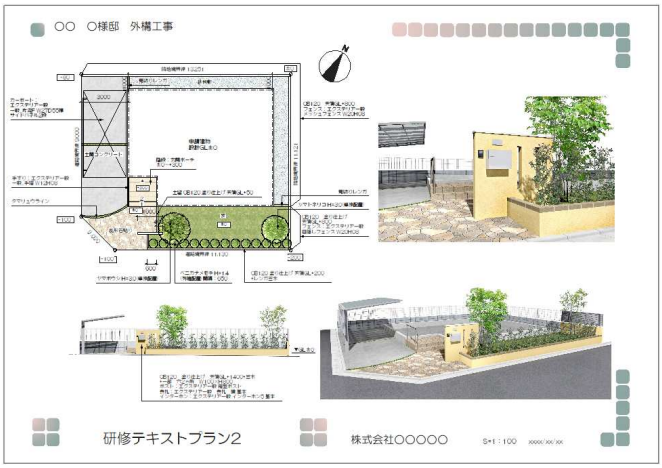
「画像の設定」が表示されます。

「画像情報」の「横」に任意の数値を入力し、「OK」をクリックします。

※「縦横比を固定する」にチェックを入れておけば横と縦は連動しています。どちらかに数値を入力すれば自動的にサイズを調整します。

印刷

レイアウトした図面を印刷してみましょう。



完成した図面を印刷します。



1　印刷

印刷前にプレビューで確認しましょう。

1-1　「ファイル」メニューの**「印刷プレビュー」**をクリックします。



印刷プレビュー画面が表示されます。

1-2　印刷したい図形が表示されているか確認し、**「印刷」**をクリックしましょう。

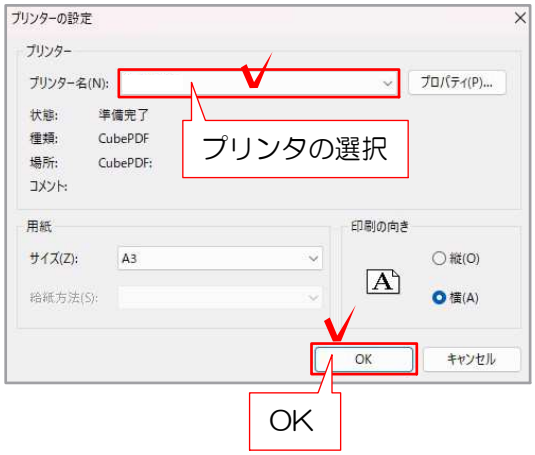
もし、修正点があった場合は「閉じる」をクリックして修正しましょう。



「印刷対象の選択」画面が表示されます。

1-3　「ピクセル印刷」または「ベクター印刷」をクリックします。

「緑の計画書」は図面でご使用の植栽に関する情報の印刷ができます。



1-4　印刷で使用するプリンタを選択し、用紙のサイズや向き、設定を確認して「OK」をクリックします。

※プリンタの詳細設定については、ご利用のプリンタのマニュアルをご確認ください。

作図練習

（造園プラン）

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



詳細説明　P.30～

テキストのP.30～に載っています。



［レベル］→［レベル一括変換］

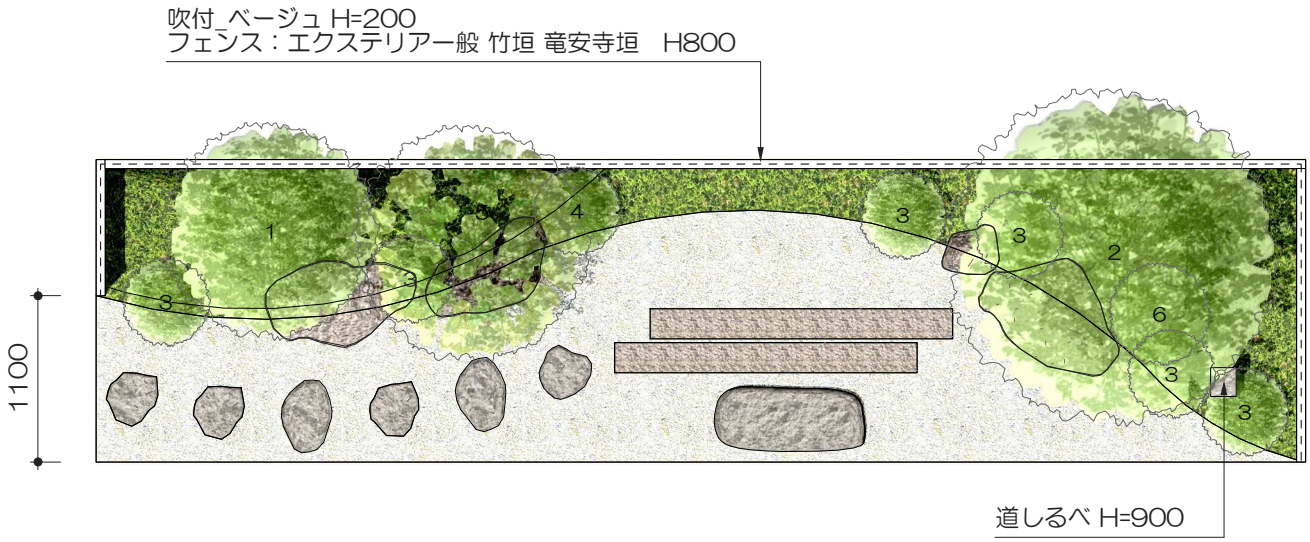
WEBマニュアルでキーワードの［レベル］をクリックし、参照マニュアルが表示されます。

※O7CADではWEBマニュアル、CambridgeではDVDマニュアルに収録されています。

※実際の操作画面は予告なく変更になる場合がございます。

造園プラン　下図のプランを作図してみましょう。

※縮尺：1/50の図面です。





イヌマキ　クロマツ　サツキ　マンリョウ　マンサク



CAD起動

CADを起動し、用紙のサイズを設定します。

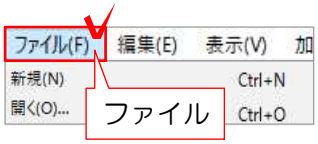
用紙サイズ：A3
縮尺：1/50

1　CADの起動・用紙サイズ設定



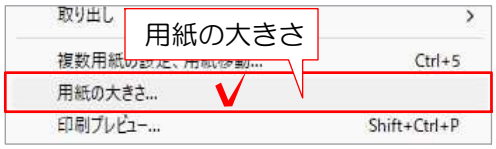
CADを起動します。

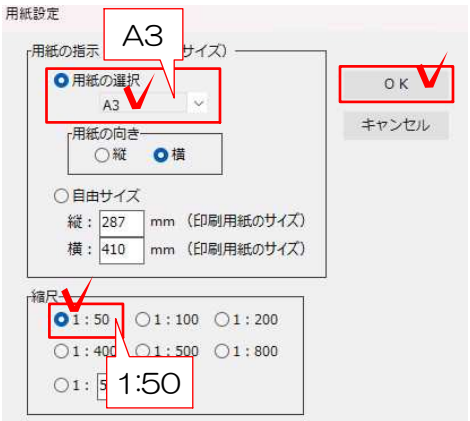
1-1　CADのアイコンをダブルクリックします。



用紙の設定をします。

1-2　ファイルメニューから「用紙の大きさ」を選択します。



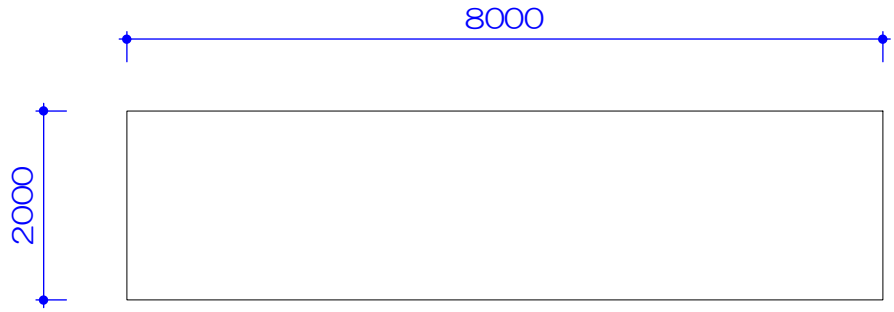


1-3　用紙サイズ　A3、縮尺　1：50を選択し、OKをクリックします。

用紙がA3、1：50に設定されました。

庭スペース作成

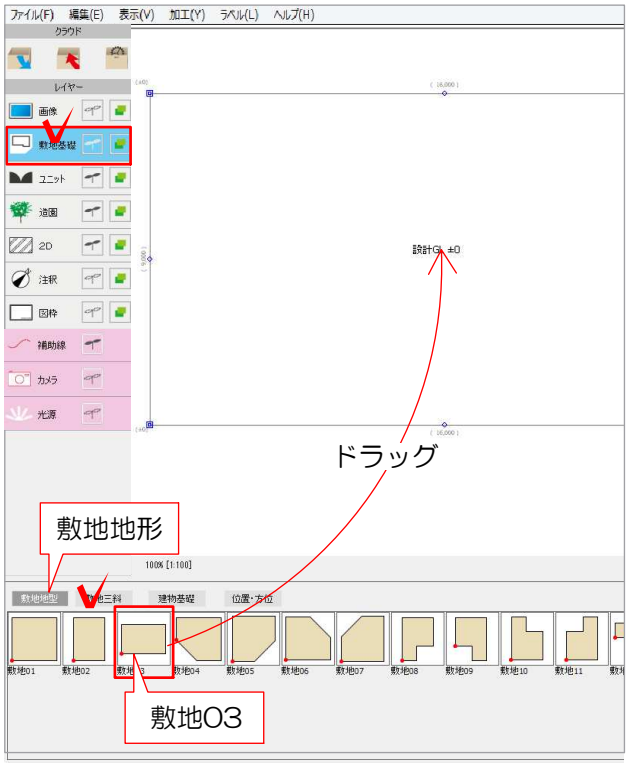
敷地地型を使って造園スペースを作成します。





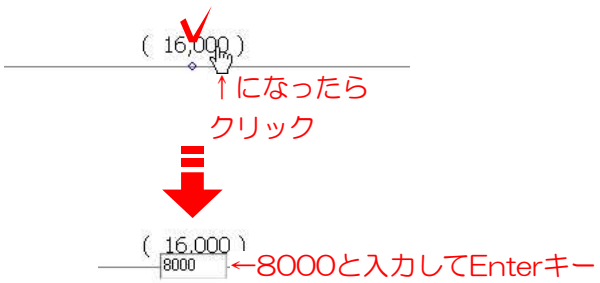
レイヤは「敷地基礎」

1　敷地地形の選択



配置したい敷地を選択します。

1-1　レイヤを「敷地」にし、スタンプパレットの「敷地地形」から「敷地03」を選び画面上へドラッグします。



1-2　各辺に表示された数値のいずれかをクリックして、寸法を入力し、Enterキーをおします。

この時、寸法を入力しEnterキーで確定したら流れに逆らわず左回りで寸法を入力します。



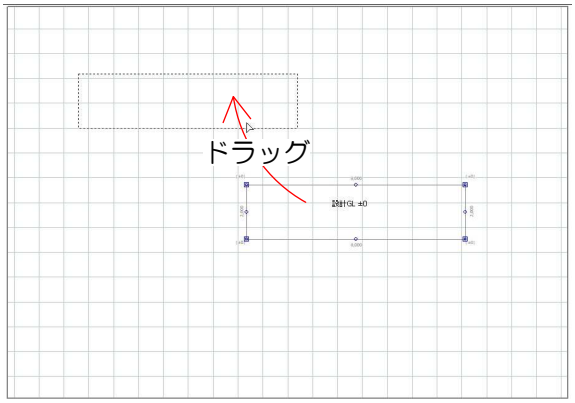
レイヤは「敷地基礎」

2　敷地のレイアウト



用紙全体を見てレイアウトを確認します。

2-1　表示メニューの「画面倍率」→「用紙全体」を選択します。

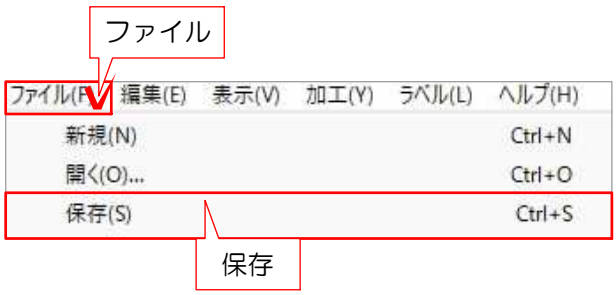


2-2　全体のバランスを見て、敷地を画面の左上辺りにドラッグして移動します。

敷地の線の内側にカーソルを置き、▷になったらドラッグしましょう。

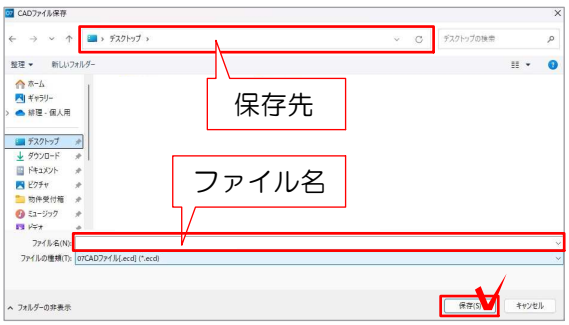
保存

作成したデータを保存します。



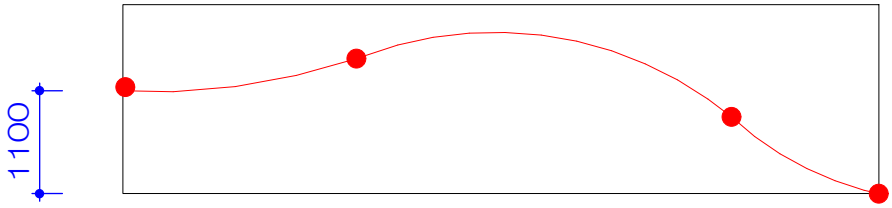
1　保存

1-1　ファイルメニューの「保存」をクリックし、保存先と保存名を入力して「OK」をクリックします。



補助線入力

築山と砂利スペースの境界ラインを補助線で入力します。



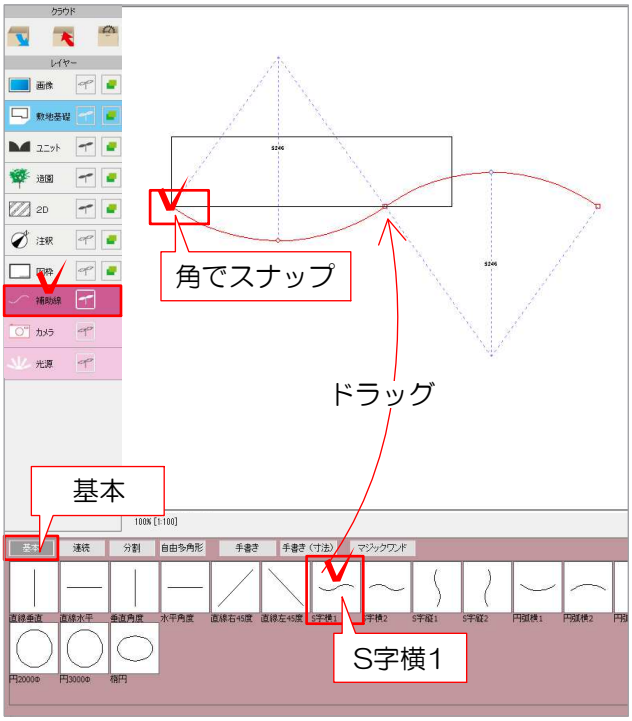
補助線　レイヤは「補助線」

1　補助線の配置

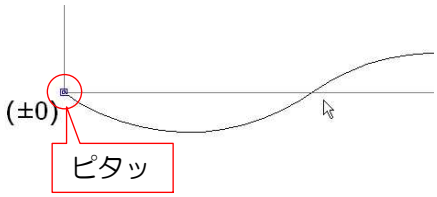
配置したい補助線を選択します。

敷地全体が大きく見えるように拡大しておくと、作業がしやすくなります。

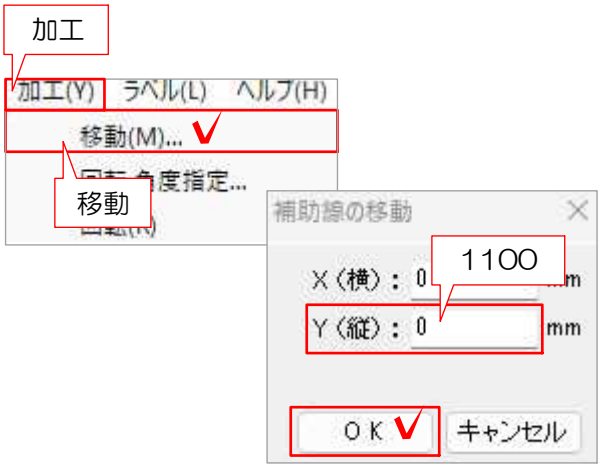
1-1　レイヤを「補助線」にし、スタンプパレットの「基本」から「S字補助線」を画面上へドラッグします。
補助線の左端と敷地の左下角を合わせて配置します。



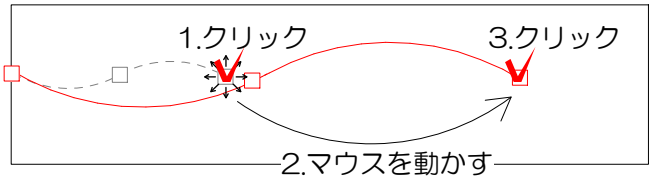
補助線の左端点と敷地の左下角を合わせるように近づけ、ピタッとくっついたらマウスを離します。



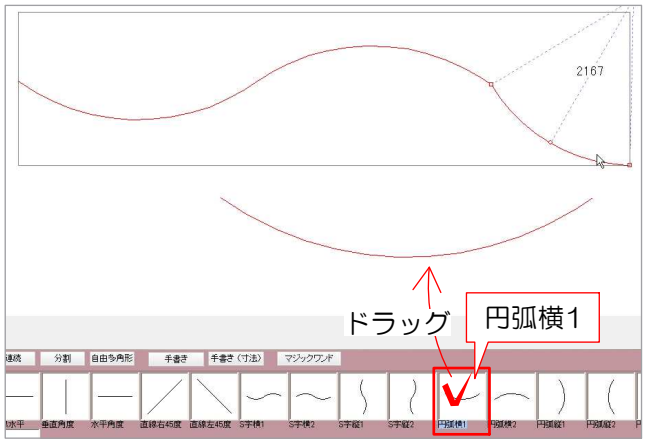
1-2　補助線を選択した状態（端点に□がついている状態）で加工メニューの「移動」を選択し、Y（縦）に「1100」と入力し「OK」をクリックします。



補助線が上に1100移動します。



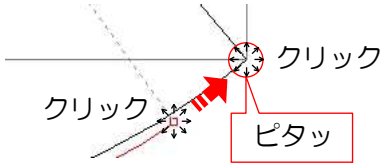
1-3　配置した補助線の右端にカーソルを合わせ（左図1）、✥ になったらクリックします。マウスを動かし（左図2）、庭スペース右1/4中央のあたりでクリック(左図3)をして補助線の長さを調整します。

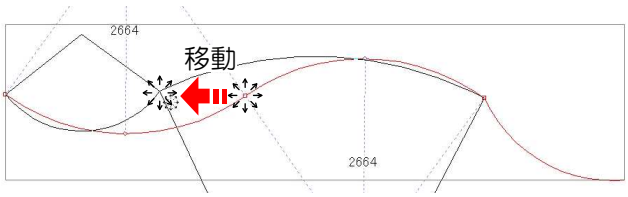


補助線を追加します。

1-4　スタンプパレットの「基本」から「円弧横１」を画面上の適当な位置にドラッグします。補助線の端点をそれぞれ、S字補助線の右端と庭スペース右下角に合わせます。

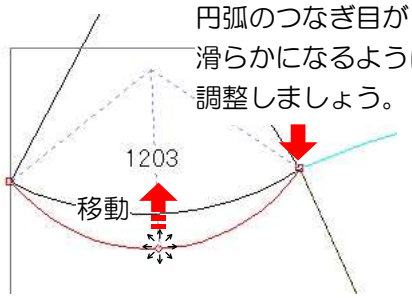
カーソルの形が ✥ になったら端点を移動させる事ができます。



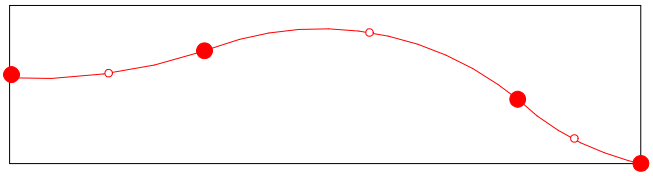


形を調整します。

1-5　配置したS字補助線をクリックして選択し、中央の□を左へ移動してバランスを整えます。



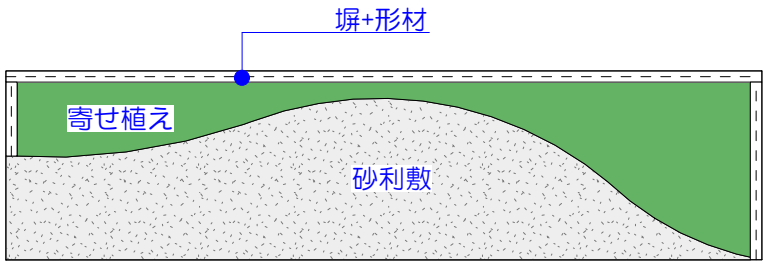
1-6　各円弧の中央○をカーソルが ✥ になったらドラッグして、丸みを調整します。



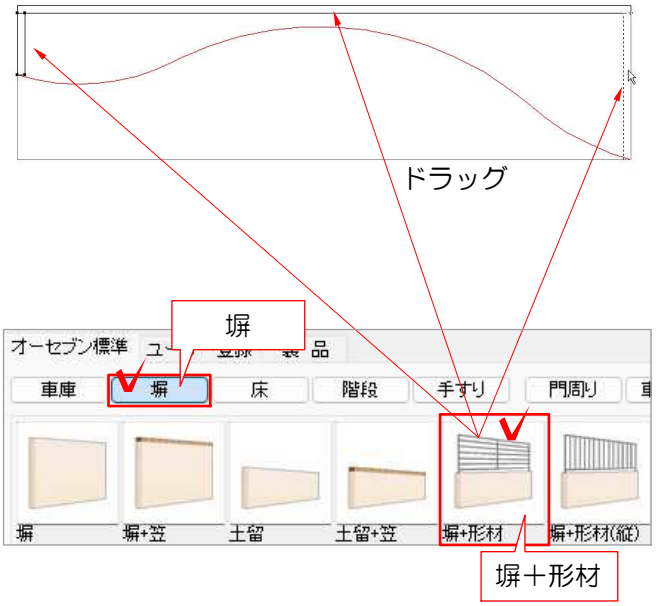
左図のように調整しましょう。

ユニット入力

塀、床、製品の各ユニットを入力します。



ユニット　レイヤは「ユニット」

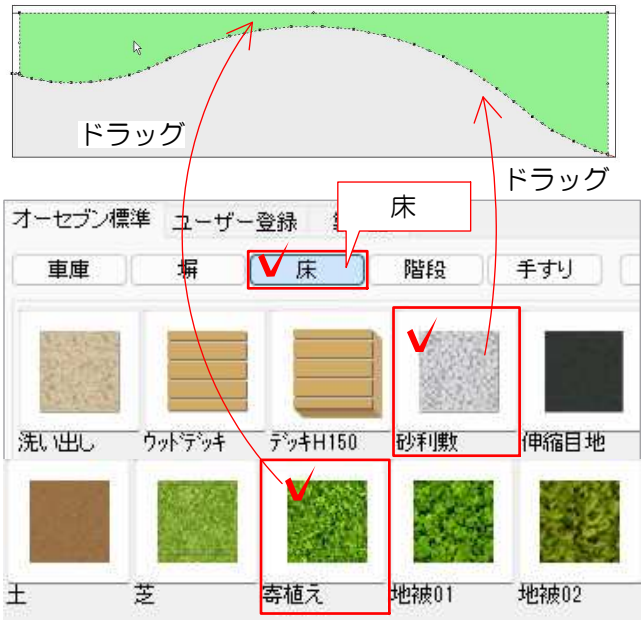


1　塀の選択と配置

配置したい塀を選択します。

1-1　レイヤを「ユニット」にし、スタンプパレットの「オーセブン標準」「塀」の中から「塀+形材」を選択し画面上へドラッグします。

1-2　庭スペースの内側三箇所に配置します。



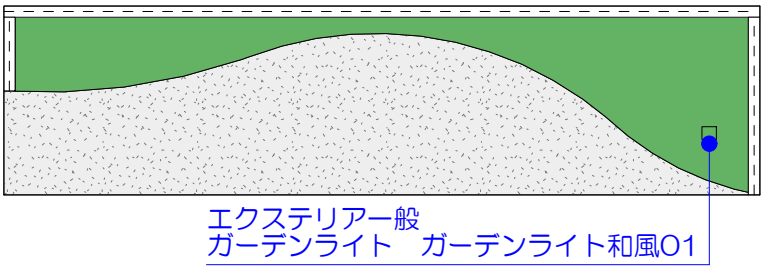
2　床の選択と配置

配置したい床を選択します。

2-1　スタンプパレットの「オーセブン標準」から「床」に切り替え、砂利敷きと寄植えをドラッグして配置します。

製品入力

製品の各ユニットを入力します。

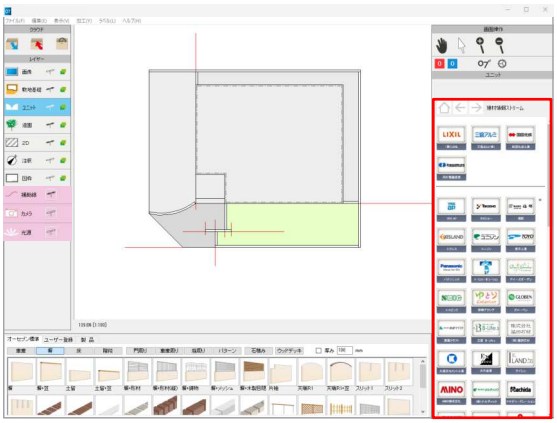




製品を配置するには2つの方法があります。
どちらかの方法で製品を配置してみましょう。

方法1　「製品」から配置

画面下「製品」から配置します。
CADに登録されてる全メーカーから製品を選べます。またメーカー品ではない一般のものも選ぶことができます。



方法2　建材情報ストリームから配置

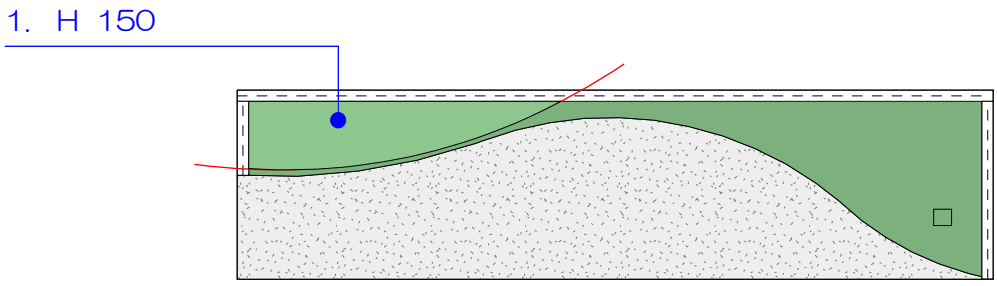
画面右「建材情報ストリーム」から配置します。**「建材カタログ」**にアクセスしてカタログ写真や詳細を確認しながら製品を選択できます。
その他メーカーおすすめセットプランを直接CADに配置することもできます。

Webマニュアル 「製品」→「建材情報ストリーム」

※「CAD上の建材情報ストリーム」に表示されている商品の価格につきましては、リアルタイムでの価格や内容更新をしておりません。あくまで目安としてご利用ください。見積ご提出前に**必ずご自身で金額確認**をお願いいたします。

築山作成-1

新たに補助線と床ユニットを入力し『 **切土・盛土変換〔1点〕** 』で築山の設定を行います。



1　築山作成

築山にする床を作成します。

1-1　レイヤを「補助線」にし、画面下の補助線の「円弧横1」を選択し上の図の位置に配置します。



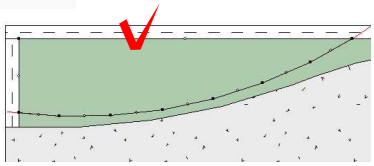
1-2　レイヤを「ユニット」の状態で、画面下のスタンプパレット「床」をクリックします。「寄植え」を選択し、上の図の位置に配置します。



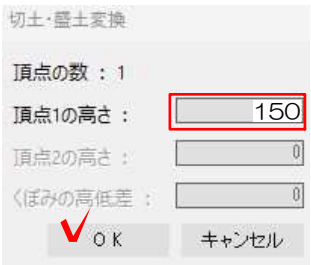
1-3　スタンプした床を選択状態で、「加工」のメニューから「切土・盛土+変換[1点]」を選択します。



1-4　築山の頂点の位置をクリックします。



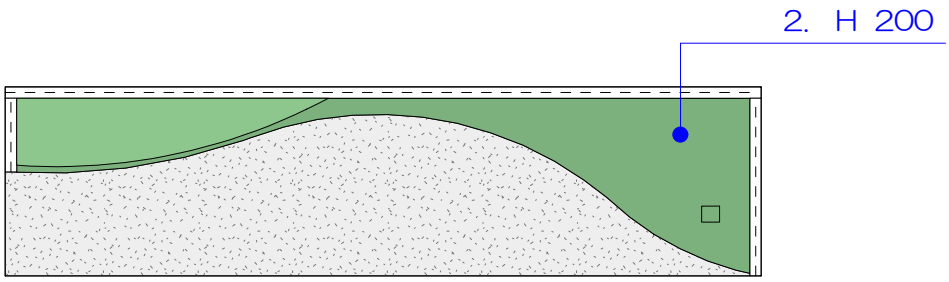
1-5　設定画面が出てきたら、築山の高さH150を入力しOKボタンをクリックします。



1の築山が出来上がります。

築山作成-2

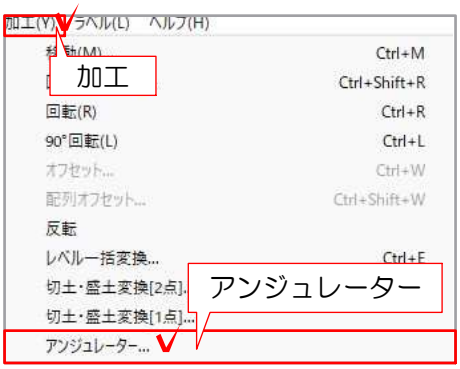
アンジュレーターの機能で築山の設定を行います。



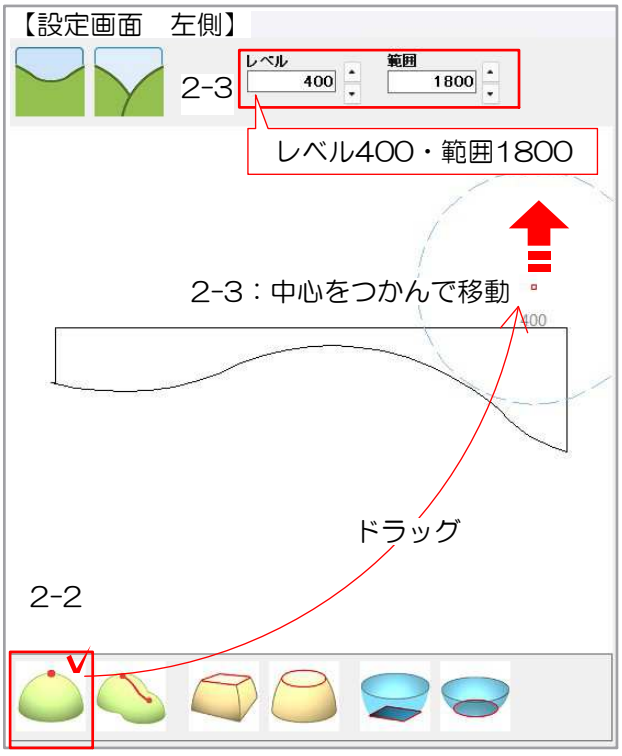
ユニット　レイヤは「ユニット」

2　築山作成

築山にする床を選択します。



2-1　2の床を選択状態で、「加工」メニューの中から「アンジュレーター」を選択します。



2-2　設定画面が出たら築山の形状を左図の様にドラッグして配置します。

2-3　配置した形状を選択状態で、数値をレベル400・範囲1800と入力し、中心点の位置をつかんで移動します。

※円の中心がレベル400になるので、敷地内の築山の高さはレベル200程度となります。

2-4　OKボタンをクリックします。



2の築山が出来上がります。

切土と盛土変換とアンジュレーターの機能の違い。

1　切土・盛土変換

1-1



簡単な築山、切土、盛土などを作成する時に使用します。

1-1　「加工メニュー」の切土・盛土変換[1点]を使用して作成できます。

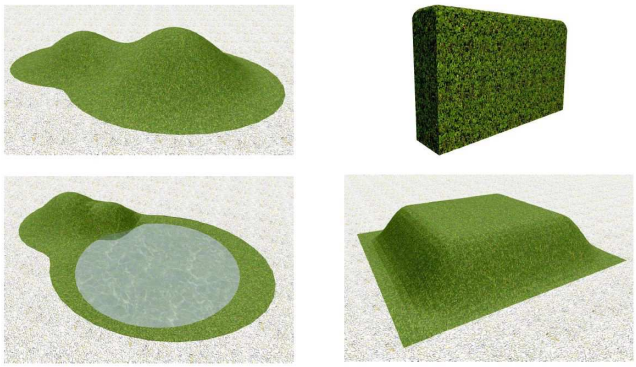
1-2



1-2　「加工メニュー」の切土・盛土変換[2点]を使用して作成できます。

2　アンジュレーター

2-1



床に起伏を設定し、築山や池、盛土、刈り込んだ生垣などを作成する機能です。簡単な形状から複雑な形状まで作成できます。

2-1　「加工メニュー」のアンジュレーターを使用して左図の様な形状を作成できます。

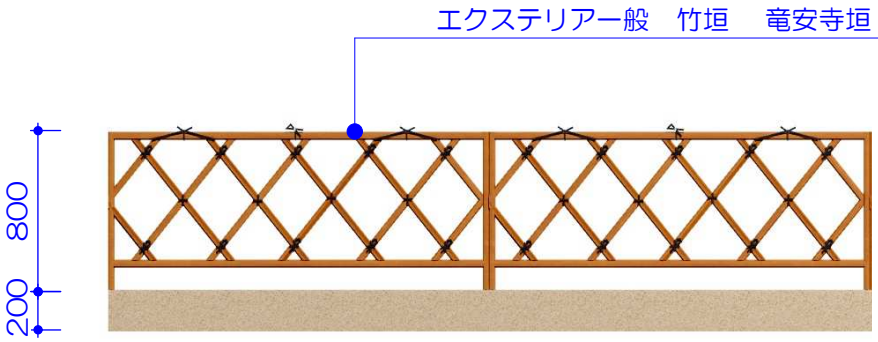
Webマニュアル [築山]→[築山の作成方法 アンジュレーター]

【アンジュレーターと切土・盛土変換の違いは・・・】

アンジュレーターの場合・・・	山の頂点が2点以上の場合 複雑な山の形状の場合
切土・盛り土の場合・・・	山の頂点が2点までの場合 山の形状が1点・2点盛り上がってる場合に使用する。

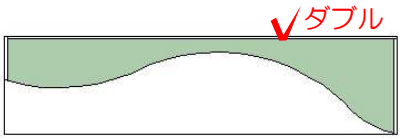
塀の設定

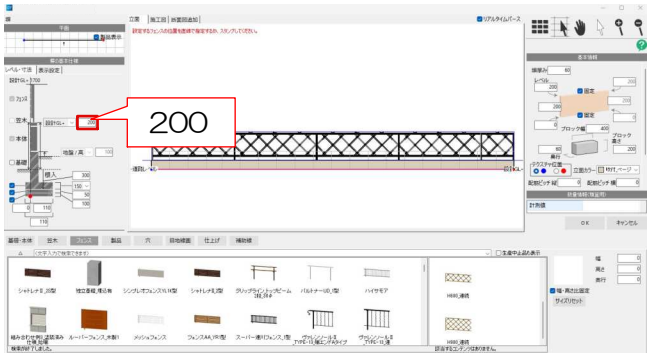
塀の高さを設定し竹垣を入力します。





レイヤは「ユニット」





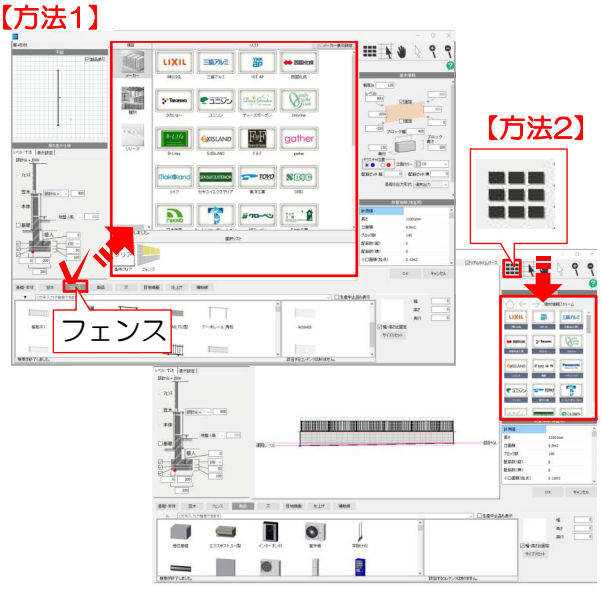
1　塀の設定

設定する塀を選択します。

1-1　塀を選択し、ダブルクリックで設定画面を起動します。

1-2　設定画面が出たら左下の本体天端ライン「設計GL」の欄に200と入力します。

【方法1】



竹垣を塀の上に配置します。

竹垣を設定するには2つの方法があります。どちらかの方法で竹垣を設定してみましょう。

【方法1】「フェンス」から配置

画面下「フェンス」から配置します。
P288～

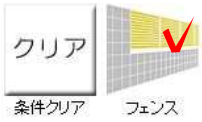
【方法2】　建材情報ストリームから配置

画面右上の  ボタンから「建材情報ストリーム」を表示させフェンスを配置します。P.289～

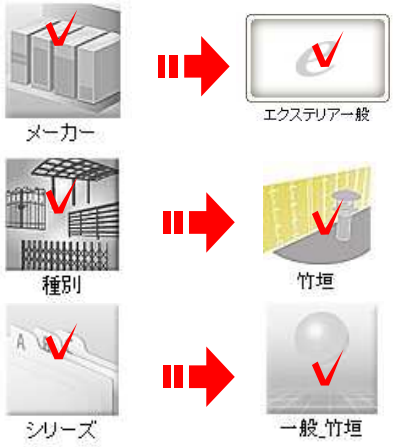
【方法1】　「フェンス」から配置



1-3　設定画面下の項目を「フェンス」にします。



1-4　条件にフェンスと表示されるのでクリックして解除します。

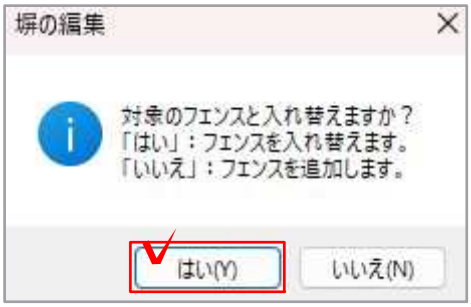


1-5
メーカー：エクステリアー般
種別：**竹垣**
シリーズ：**一般_竹垣**
をクリックで選択します。



1-6　下に「竜安寺垣」が表示されます。クリックするとサイズが右に表示されるので「H600_連続」をフェンスの上にドラッグして配置します。

メッセージが表示されます。

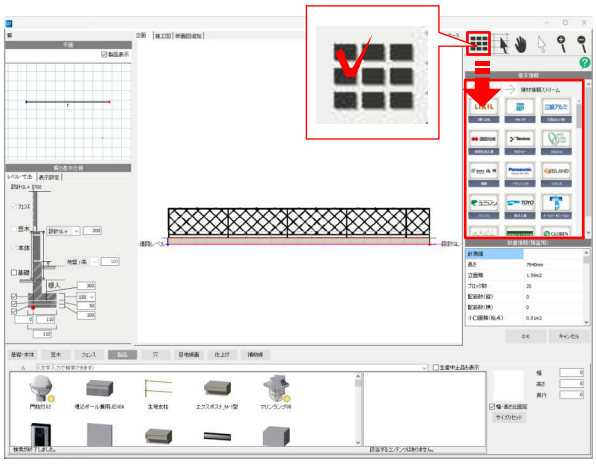


1-7　フェンス入れ替えのメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



1-8　画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

次の塀を設定しましょう。P.290へ



【方法2】　建材情報ストリームから配置

1-6　画面右上の  ボタンをクリックします。



建材情報ストリームが表示されます。

カタログ情報を見ながらお好きな製品を配置してみましょう。

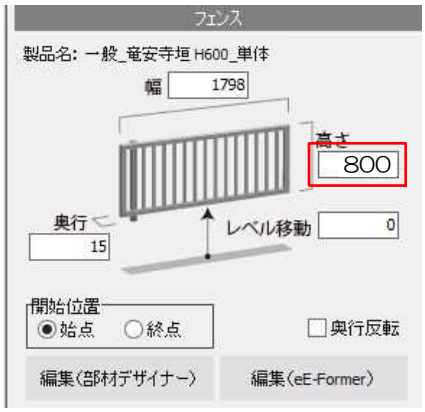
07 Webマニュアル [製品]→[建材情報ストリーム]



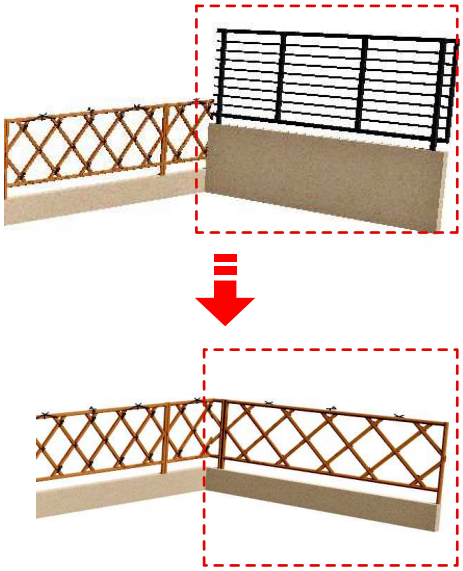
1-7　画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

次の塀を設定しましょう。

【フェンスの高さ変更】



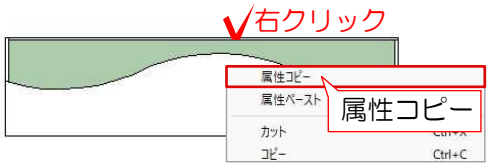
フェンスの高さは右上の詳細で変更ができます。



2　塀の設定をコピーする

1で作成した塀+竹垣の設定をコピーして、別の塀にペーストする事ができます

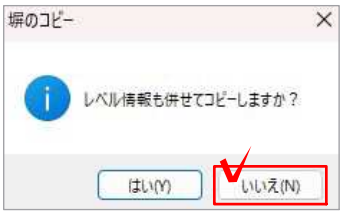
画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。



2-1　作成した塀の上で右クリック→属性コピーを選択します。

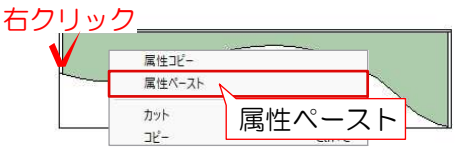


2-2　右側の塀の上で右クリック属性ペーストを選択します。



「レベル情報も併せてコピーしますか」とメッセージが表示されます。

2-3　「いいえ」をクリックします。



2-4　左側の塀でも同様に属性ペーストをします。

【属性コピーできる項目】

属性コピーできる設定は、塀の高さ、天端の形状、シンボル、穴シンボル、笠木、仕上げ、目地線画等です。
塀に基礎が設定されている場合は下端レベルはコピーされません。また、塀の長さが異なると天端の形状やシンボルの配置位置が変わりますので注意しましょう。

Webマニュアル [塀デザイナー]→[塀ユニットの設定のコピー＆ペースト（属性コピー）]

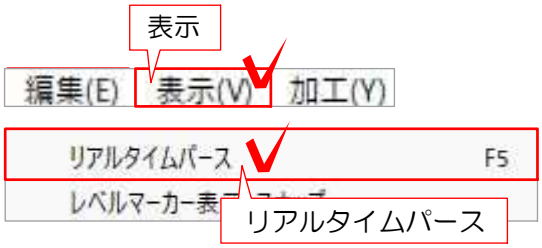
3Dを確認する

配置したユニットがどんな状態になっているか確認してみましょう。



リアルタイムパースで確認します。
この画面では作成中の図面の3Dがリアルタイムで確認・編集できます。

1　リアルタイムパース表示



1-1　「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。



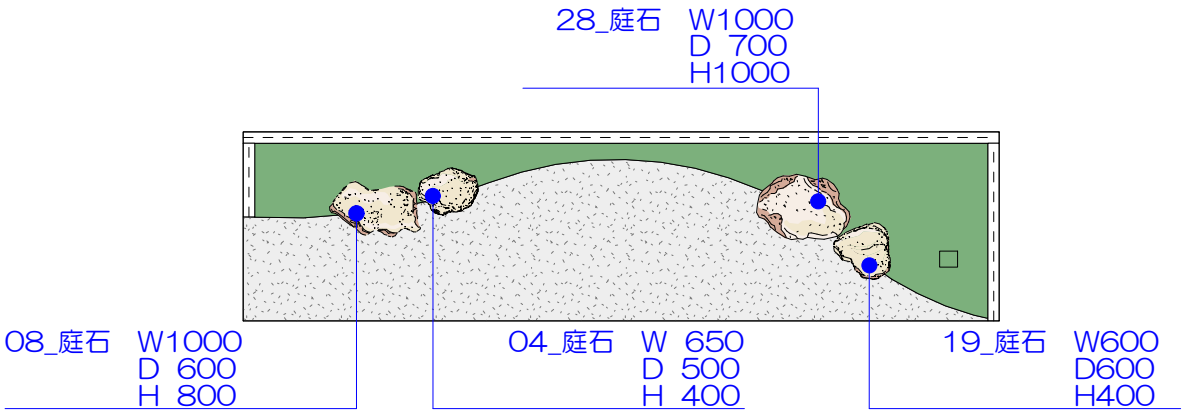
リアルタイムパースが表示されます。

テキスト　視点を移動する　P.83

Webマニュアル　[リアルタイムパース]→[リアルタイムパース　基本操作]

添景物配置

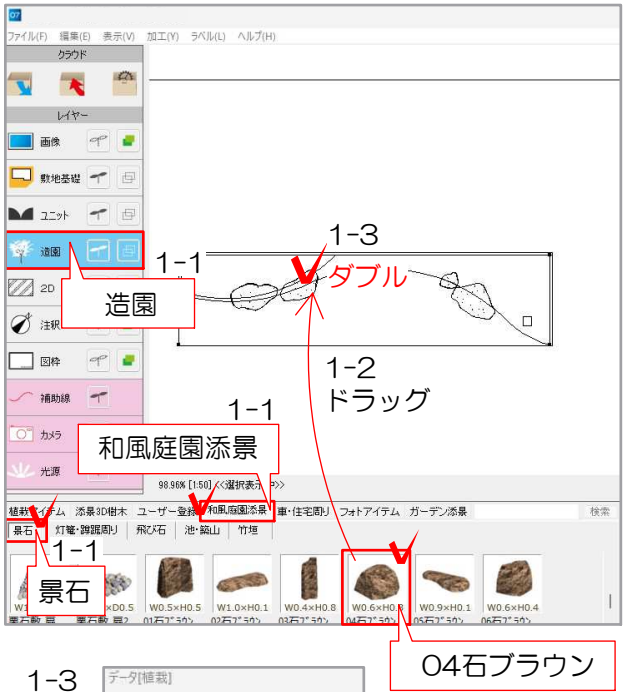
造園レイヤで景石などの添景物を配置します。



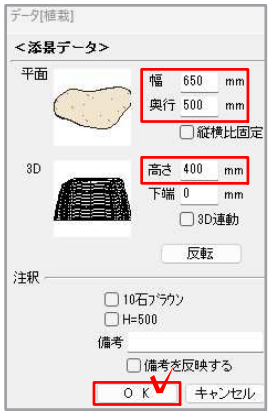


レイヤは「造園」

1　景石の配置



1-3



1-1　「造園」のレイヤから、「和風庭園添景」を選択し、「景石」をクリックします。

1-2　景石が表示されたら左図の様にドラッグして配置します。

1-3　配置した景石をダブルクリックして幅、奥行、高さを入力します。

幅　：650
奥行：500
高さ：400

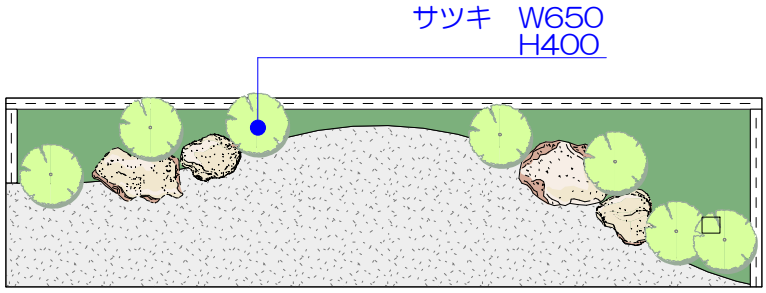
※縦横比固定・3D連動のチェックをはずしてください。

画面右下の「OK」をクリックして設定画面を終了します。

※全ての景石を同じ様に設定します。

植栽の配置

造園レイヤで低木の配置を行います。





レイヤは「造園」



（方法1）　植栽を名称検索

1　画面上の検索欄で「さつき」と入力し、Enterキーを押します。

2　該当する植栽が表示されます。



レイヤは「造園」



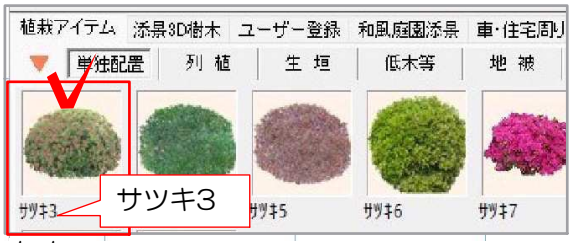
（方法2）　植栽を名称検索

1　画面右の検索欄で「さつき」と入力し、Enterキーを押します。
「検索」をクリックします。

2　該当する植栽が表示されます。

※造園レイヤをクリックすると樹木の検索画面が表示されます。
植栽アイテムの単独配置・列植が選ばれている場合、常に起動します。

1　低木の配置



1-1

1-1　表示された一覧から「サツキ3」をクリックします。



1-2　ドラッグして図の様に配置し、ダブルクリックします。

1-3



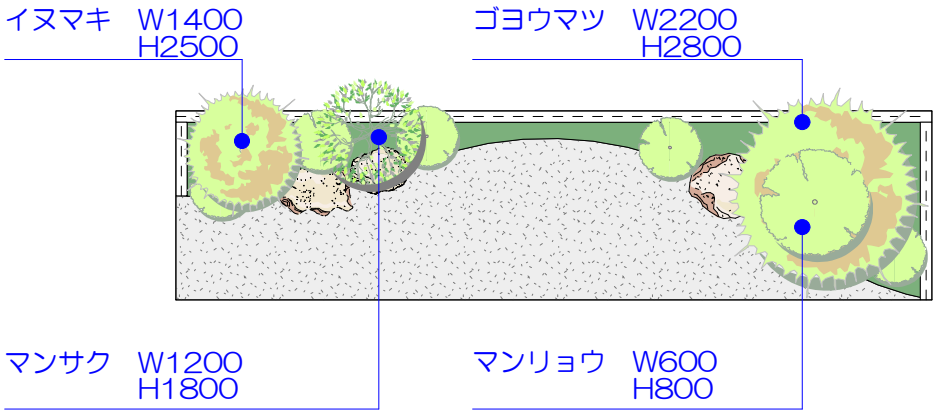
1-3　植栽の幅、高さを入力します。

幅　：650
高さ：400
※3D連動のチェックをはずしてください。

画面右下の「OK」をクリックして設定画面を終了します。

※　設定変更したサツキを「編集メニュー」→「複製」を選択し図の様に配置します。

造園レイヤで高木の配置を行います。





レイヤは「造園」

（方法1）　植栽を名称検索



1　画面上の検索欄で「いぬまき」と入力し、Enterキーを押します。

2　該当する植栽が表示されます。



レイヤは「造園」

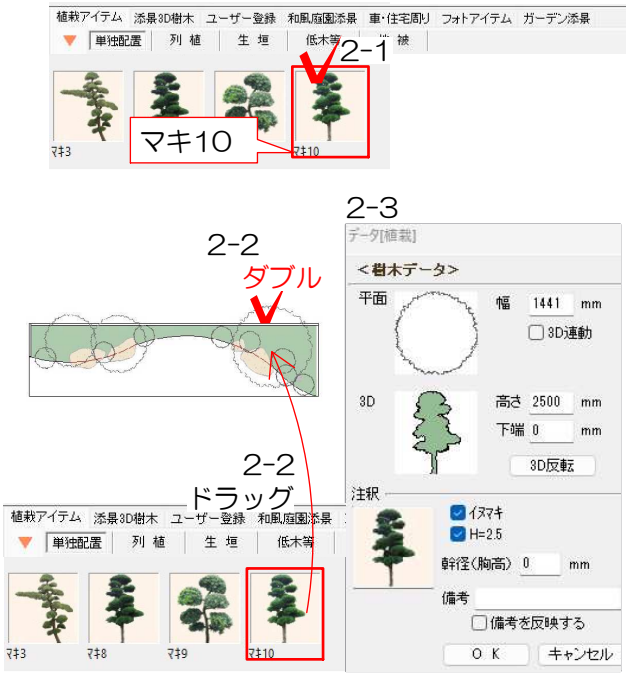
（方法2）　植栽を名称検索



1　画面右の検索欄で「いぬまき」と入力し、Enterキーを押します。
「検索」をクリックします。

2　該当する植栽が表示されます。

※造園レイヤをクリックすると樹木の検索画面が表示されます。
植栽アイテムの単独配置・列植が選ばれている場合、常に起動します。



2　高木の配置

2-1　表示された「イヌマキ(マキ)」の中から「マキ10」をクリックします。

2-2　ドラッグして図の様に配置しダブルクリックします。

2-3　植栽の幅、高さを入力します。

幅　：1400
高さ：2500

※3D連動のチェックをはずしてください。

画面右下の「OK」をクリックして設定画面を終了します。

※全ての高木を同じ様に設定します。

【植栽の条件検索】



1　「形態」「生態」「樹性」「日照」「成長」「樹形」「用途」から配置したい樹木の条件を選択します。

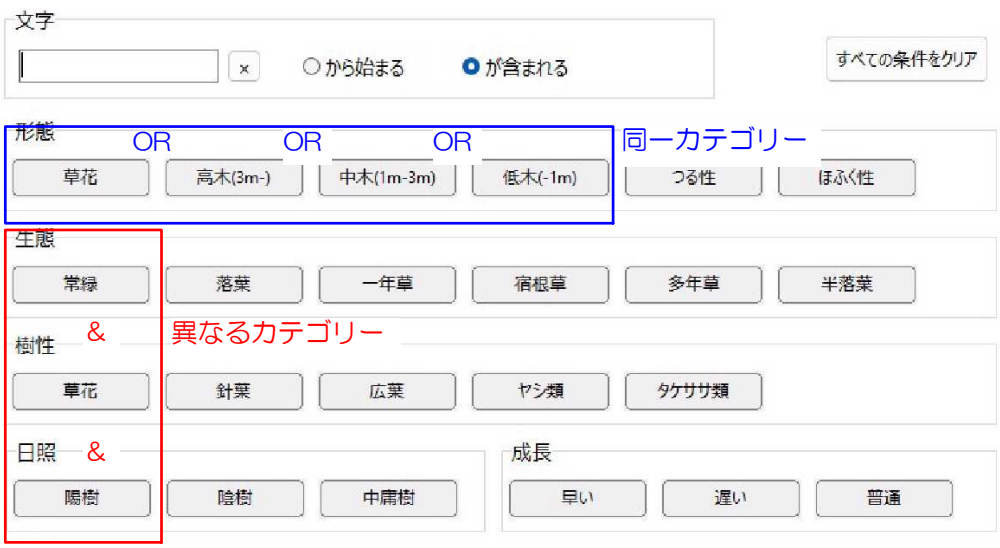


2　画面下に条件に当てはまる樹木が表示されるので、使用したい樹木を選び、ドラッグで配置します。

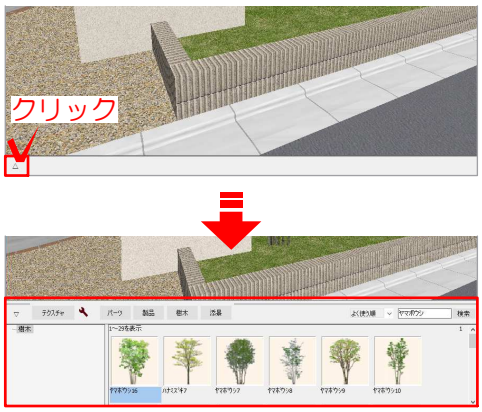


3　再度条件検索をしたい場合は、▽ボタンをクリックすると再表示されます。

同一カテゴリー内では、「OR（または）」、異なるカテゴリー間では「AND（かつ）」で植栽の検索をします。



【リアルタイムパースで配置】

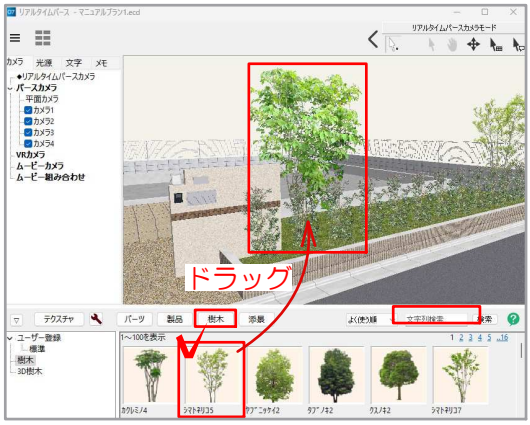


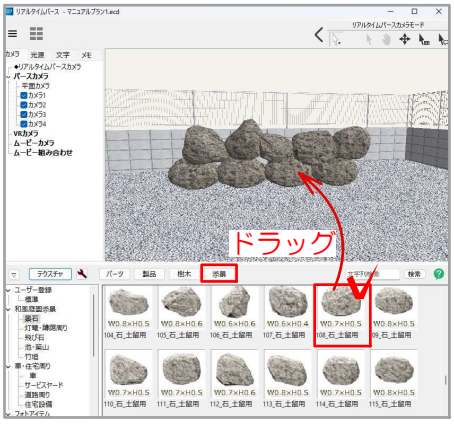
1　リアルタイムパースの左下△ボタンをクリックします。

樹木などコンテンツを選ぶ画面が表示されます。

2　パーツ・製品・樹木・添景からコンテンツを選択し、ドラッグで配置します。

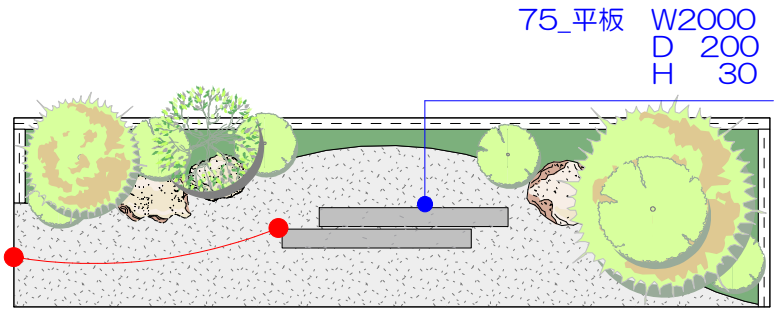
ドラッグした場所に合わせて、レベルが合うようになっています。
石積なども簡単に作成できます。





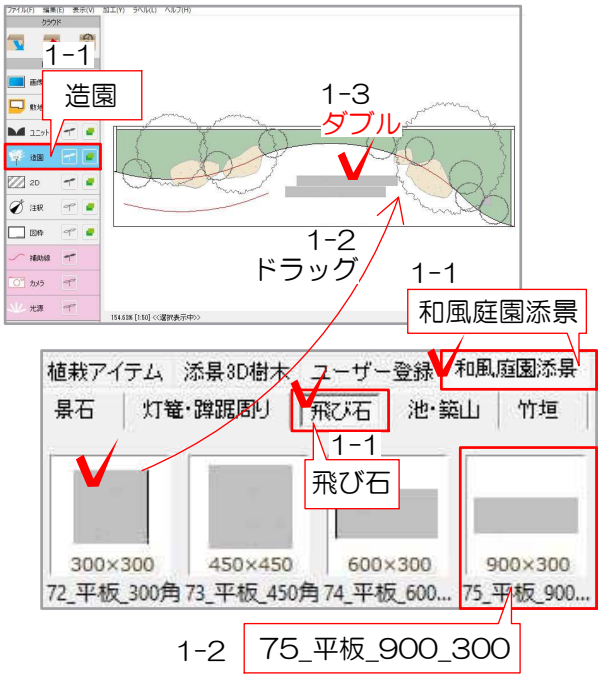
延べ石と補助線入力

平板を延べ石に見立てて配置し、飛び石を並べるラインを補助線で入力します。





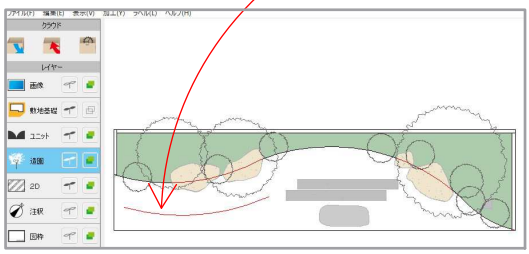
レイヤは「造園」



レイヤは「補助線」







1　延べ石(平板)の配置

1-1　「造園」のレイヤから「添景アイテム」をクリックし、「飛び石」を選択します。

1-2　「飛び石」の中から75_平板_900_３００を選択し図の位置にドラッグで配置します。

1-3　配置した平板をダブルクリックして幅、高さを入力します。

幅　：2000
奥行：200
高さ：30

画面右下の「OK」をクリックして設定画面を終了します。

※もう一つの平板も同様に配置します。

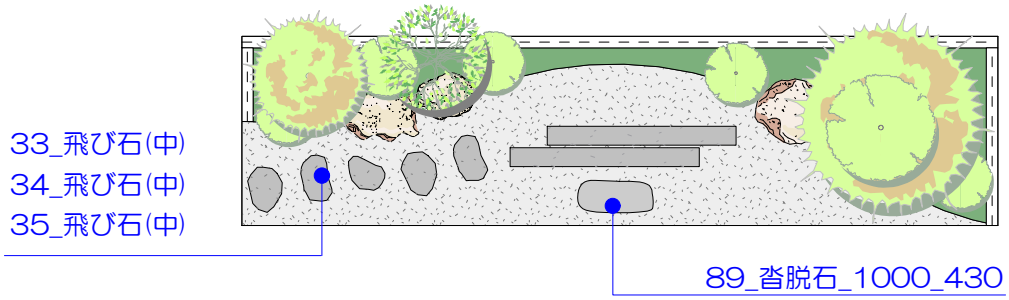
2　補助線の配置

2-1　「補助線」のレイヤから、「円弧横１」を選択し、ドラッグで配置します。

※左図のように調整します。

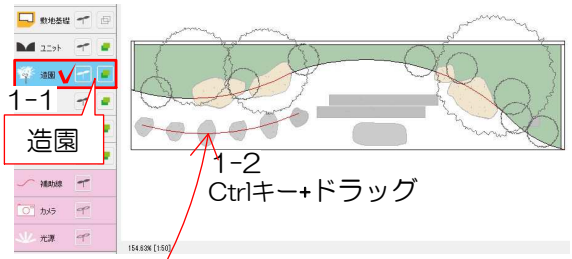
飛び石と沓脱石入力

『Ctrl』キーを押しながらドラックし飛び石を補助線に添って配置します。





レイヤは「造園」







1　飛び石の配置

1-1　「造園」のレイヤから、「添景アイテム」の「飛び石」をクリックします。

1-2　「33_飛び石（中）」を選択し、補助線へ「Ctrlキー」を押しながらドラッグで配置します

1-3　「連続配置設定」が立ち上がったら、「配置間隔」に２００と入力します。

1-4　複数のパターンで配置する為、34_飛び石（中）と35_飛び石（中）を右下の水色の枠に入れます。

画面右下の「OK」をクリックして塀の設定画面を終了します。

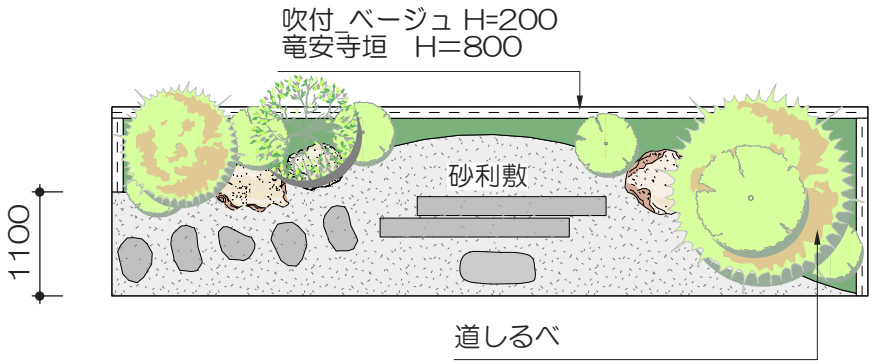
Webマニュアル [飛び石]→[補助線に沿って飛び石や植栽を並べる方法]

2　沓脱石の配置

2-1　同じく「飛び石」の中から89_沓脱石を選択し図の位置にドラッグで配置します。

注釈入力

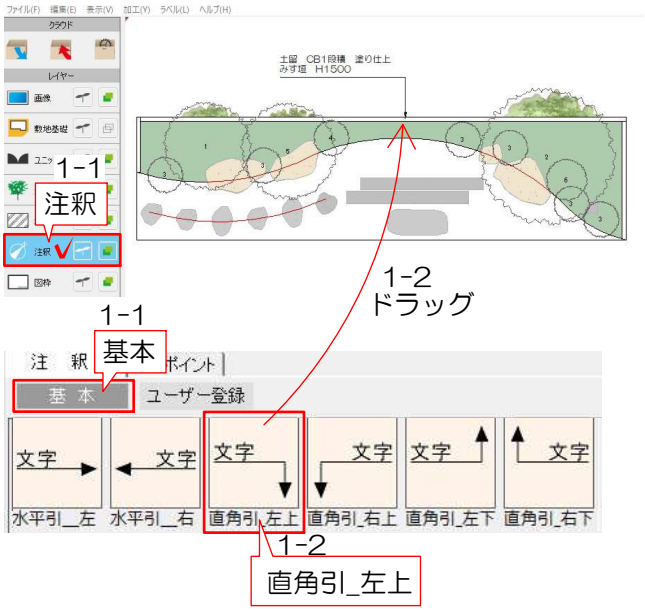
植栽以外の注釈を入力します。



注釈

レイヤは「注釈」

1　注釈の入力

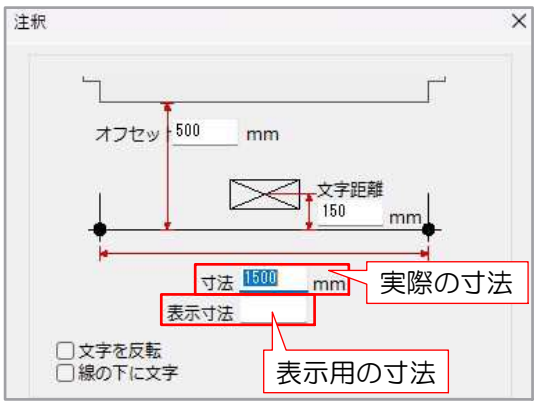


1-1　レイヤを「注釈」にし、画面左下の「基本」をクリックします。

1-2　一覧から「直角引_左上」を選択し、図の位置にドラッグで配置します。

1-3　図を参考に引き出し線と寸法線を配置し文字を打ち込みます。

【寸法線の数値が合わないときは・・・】



寸法線が図形に合わなかった場合は長さや表示数値を調整します。

寸法線の数値をダブルクリックします。

【寸法】で実際の寸法線の長さ、【表示寸法】で表示用の長さが設定できます。

植栽注釈更新

植栽注釈を表で作成し、植栽詳細情報より植栽の画像が配置できます。

記号	樹木名	H	C	W	数量	備考
1	イヌマキ	2.5	0	1.4	1	
2	クロマツ	2.8	0	2.2	1	
3	サツキ	0.4	—	0.6	6	
4	サツキ	0.4	0	0.6	1	
5	マンサク	1.8	0	1.6	1	
6	マンリョウ	1.2	0	0.7	1	

注釈　レイヤは「注釈」

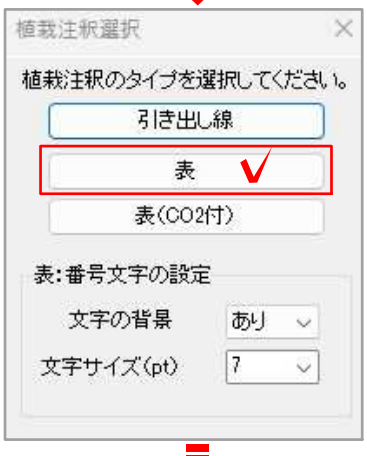
1　植栽表

1-1



1-1　レイヤを「注釈」にし、画面右上の「植栽注釈」をクリックします。

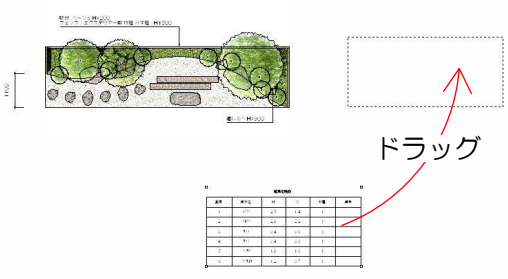
1-2



1-2　植栽注釈選択で「表」をクリックします。

植栽表の並び順は、環境設定より、名称順・樹高の高い順・樹高の低い順に変更が出来ます。

1-3



1-3　「植栽注釈表」をドラッグして移動し、位置を調整します。

敷地全体が大きく見えるように拡大しておくと、作業がしやすくなります。


イヌマキ


マンサク

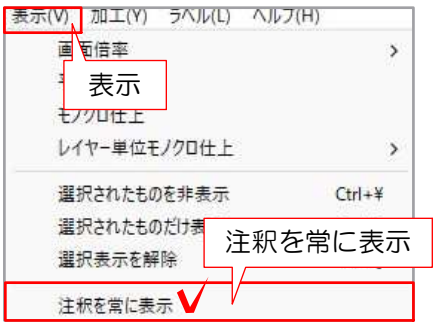

ゴヨウマツ


イズセンリョウ



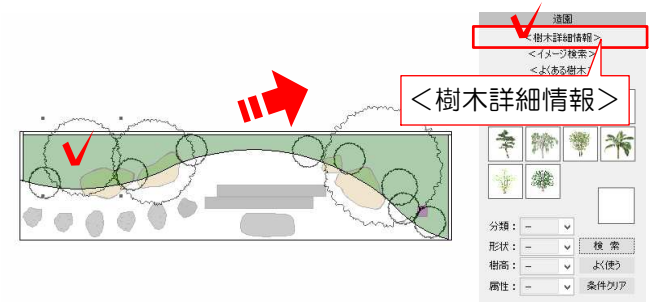
レイヤは「造園」

2　画像を配置



2-1　「造園」レイヤに戻り、「表示メニュー」で「注釈を常に表示」をクリックします。

注釈レイヤ以外にいても、注釈が表示されるようになります。



2-2　図面上に配置した樹木をクリックし、画面右上の＜樹木詳細情報＞をクリックします。

画面右に選択している植栽の詳細情報が表示されます。

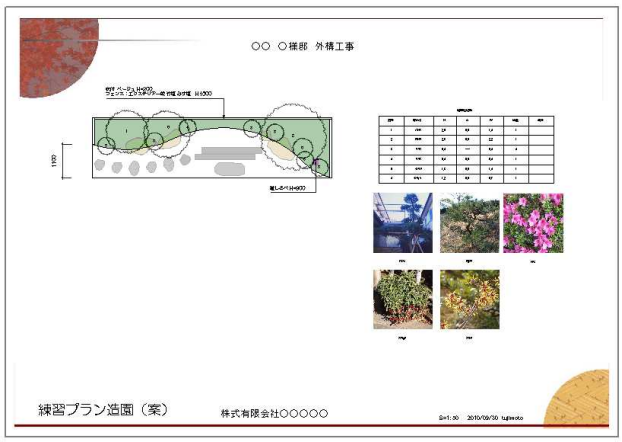


2-3　写真をドラッグして平面上に配置します。

※他の植栽も同様にして画像を配置しましょう。

図枠入力

図枠を入力し物件名を記入します。





レイヤは「図枠」

1　図枠入力



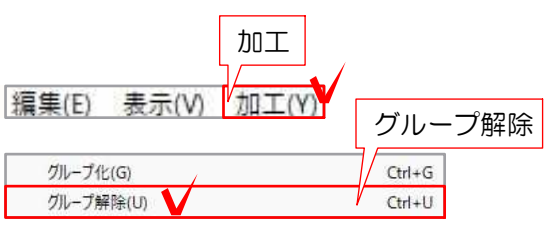
1-1　レイヤを「図枠」にし、画面左下の「基本」をクリックします。

敷地全体が大きく見えるように拡大しておくと、作業がしやすくなります。

1-2　一覧から「図枠L」を選択し、Shiftキーを押しながらドラッグで配置します。

※Shiftキーを押したままドラッグすると、用紙の中心に配置されます。





図枠はグループになっています。
解除してから注釈を入力しましょう。

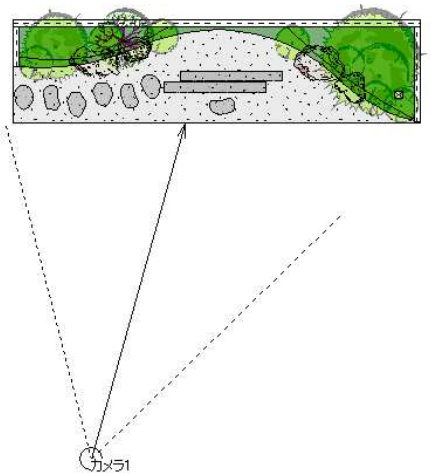
1　加工メニューからグループ解除を選択

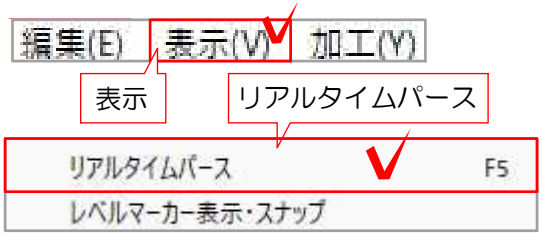
2　用紙の外でクリックし、選択解除します。

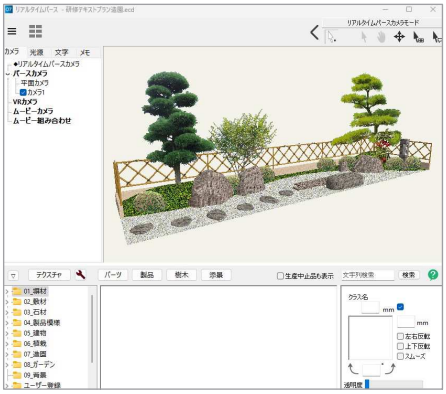
3　注釈を「ダブルクリック」で文字のサイズ、文字変更します。

リアルタイムパース表示～カメラ配置

リアルタイムパースを表示しパースカメラを配置し作業に移りましょう。







1　リアルタイムパース表示

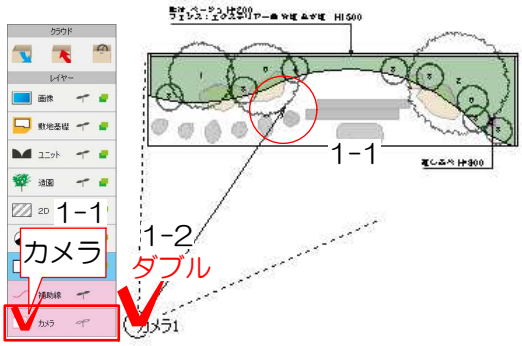
1-1　「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。

リアルタイムパースが表示されます。

［リアルタイムパース］→［リアルタイムパース　基本操作］



レイヤは「カメラ」



1　カメラ設定

敷地全体が大きく見えるように拡大しておくと、作業がしやすくなります。

1-1　レイヤを「カメラ」にし、画面上の「カメラ1」の矢印の向きを変えてパースのアングルを決めます。

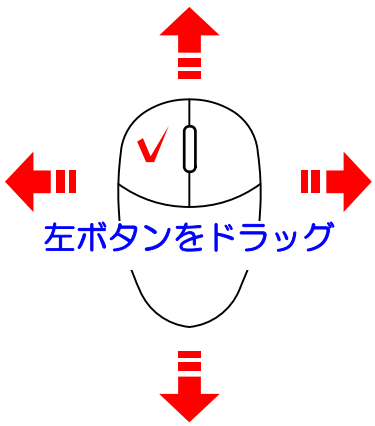
1-2　「カメラ1」の〇部分をダブルクリックすると、リアルタイムパースに表示されます。

視点設定

パンカーソルを使って下図を参考に視点の変更を行ってみましょう。



リアルタイムパース画面右上



上下左右に回転

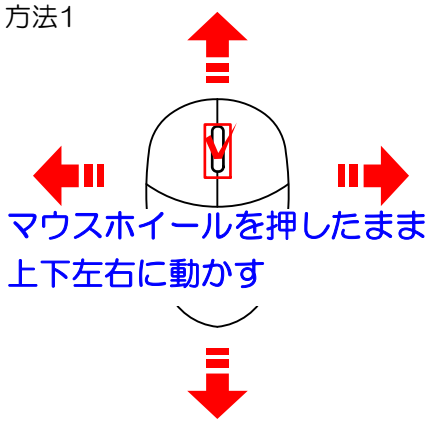
ぐるっと回転する感じです。横から見たいとき、上から見たいときに使用します。

マウス左ボタンを上へドラッグで「見上げる」、下へドラッグで「見下ろす」、左右へドラッグで回転します。

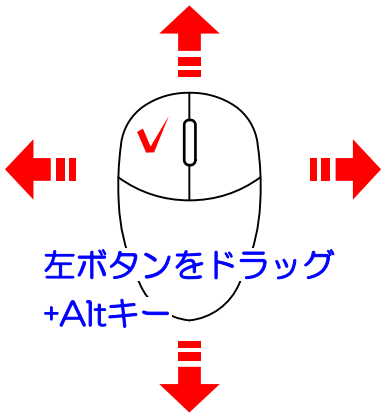
Shiftキーを押したまま動かすと、水平・垂直方向に固定することができます。

Ctrlキーを押したまま動かすと、小さく動かすことができます。

方法1



方法2



上下左右に移動

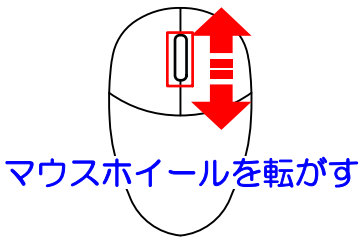
上下左右に動かします。見えている部分をずらす感じです。見たい部分が端によっているときに使用します。

方法1　マウスホイールを押したまま上下左右にドラッグすると、その方向へ動きます。

方法2　マウス左ボタンを上下左右にドラッグすると、その方向へ動きます。

Shiftキーを押したまま動かすと、水平・垂直方向に固定することができます。

Ctrlキーを押したまま動かすと、小さく動かすことができます。



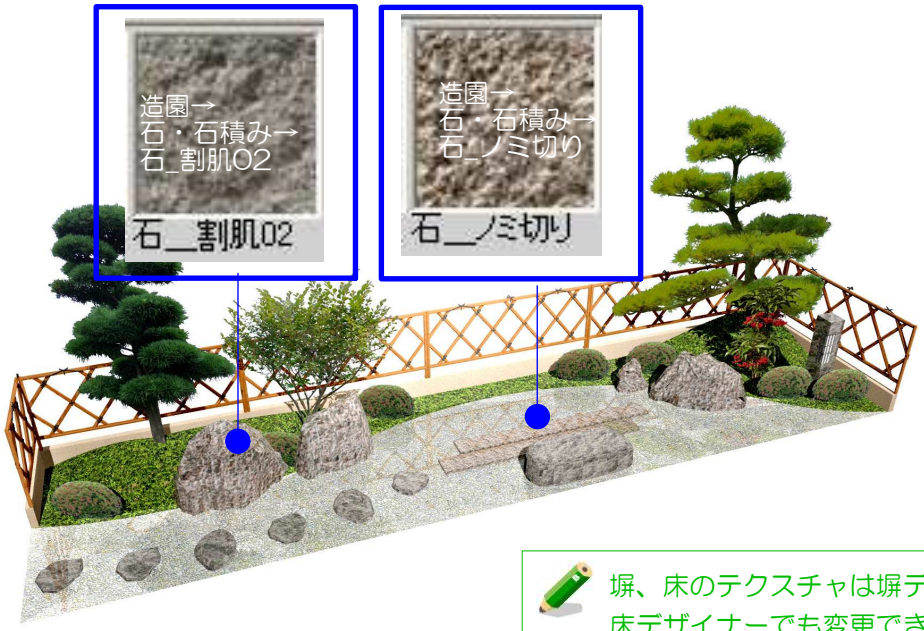
前後に移動

前後に動かします。近づいたり遠のいたりします。部分的に拡大して見たいとき、全体を見たいときに使用します。

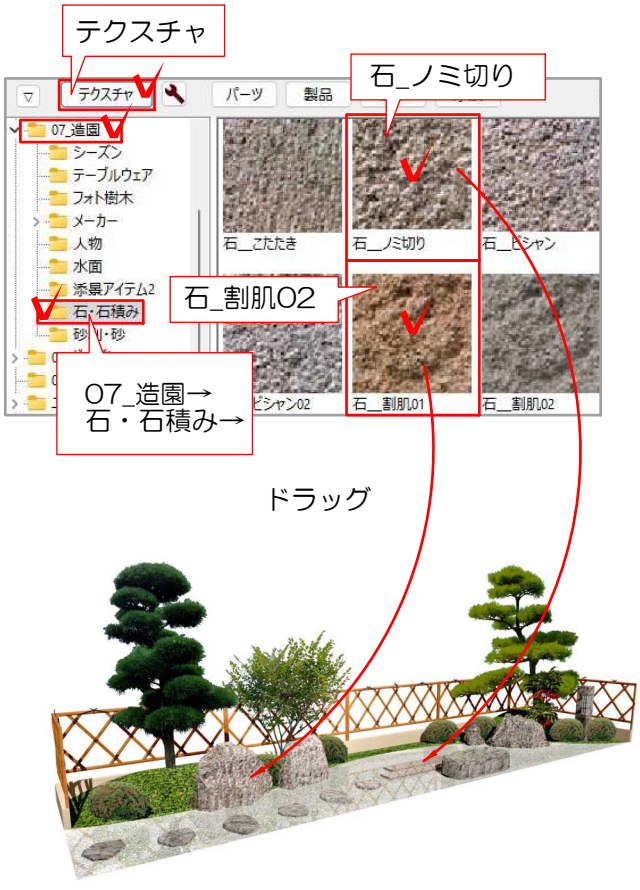
マウスホイールを上へ転がすと「前」、下へ転がすと「後ろ」へ移動します。

テクスチャ設定

下図を参考にテクスチャを貼り付けてみましょう。



塀、床のテクスチャは塀デザイナー、床デザイナーでも変更できます。



1　テクスチャを選択

貼りたいテクスチャを選択します。

1-1　画面下の「テクスチャ」から使用したいテクスチャを選択します。

07_造園→
石・石積み→
石_割肌02

2　テクスチャを貼る

テクスチャを貼ります。

2-1　選択したテクスチャを貼り換えたい図形にドラッグします。

青い線が表示されている図形のテクスチャが貼り替えられます。

効果設定

簡易設定では簡単に効果設定できます。手動設定では効果設定を手動で設定できます。



効果設定（簡易）：　昼・夕方・夜・平面図用の光源を簡単に設定できます。





効果設定を変えることで簡単に昼・夕方・夜・平面図用の設定をすることができます。

効果設定（手動）の概要を説明します。

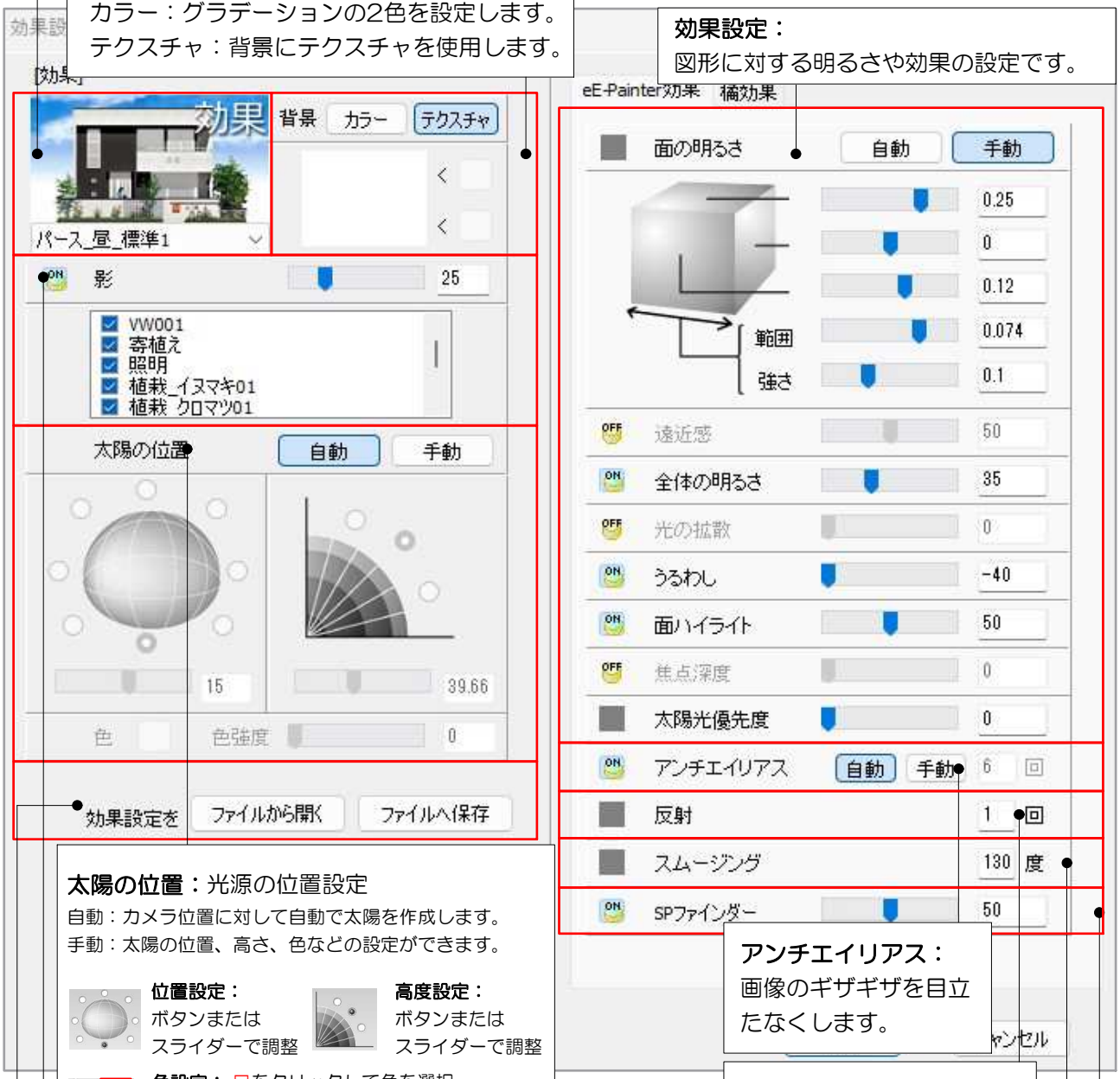
効果設定 をクリックすると設定画面が表示されます。

[効果設定]→[効果設定について]

効果設定（簡易）：
登録されている初期設定を選択することができます。

背景設定：背景の表示設定です。
カラー：グラデーションの2色を設定します。
テクスチャ：背景にテクスチャを使用します。

効果設定：
図形に対する明るさや効果の設定です。



太陽の位置：光源の位置設定
自動：カメラ位置に対して自動で太陽を作成します。
手動：太陽の位置、高さ、色などの設定ができます。

位置設定：
ボタンまたは
スライダーで調整

高度設定：
ボタンまたは
スライダーで調整

色 **色設定：**□をクリックして色を選択
スライダーで色の強さを調整

アンチエイリアス：
画像のギザギザを目立たなくします。

反射：
ガラスや鏡などが反射する回数を指定します。

影：影の濃さ
チェックが付いている仕様の図形に影がつきます。

スムージング：図形の角を滑らかにします。

レンダリング効果設定を：
ファイルから開く：保存してある設定を開く
ファイルへ保存：現在の設定を保存

SPファインダー：
影をやわらかい印象で作成できます。

共通：
スライダー：右へ行く程効果が強くなります。ドラッグで動かします。
ON/OFF：ボタンをクリックすると効果のON/OFFを切替えます。

レイアウト

パースの静止画像を図面上に配置しレイアウトします。

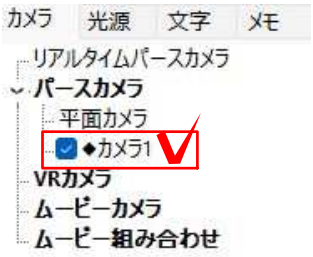


1　カメラを選択

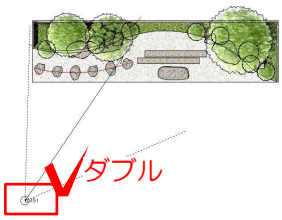
1-1　パースカメラを選択します

方法1：リアルタイムパース画面左上の
　　カメラ1を選択します。
方法2：平面のカメラ1
　　をダブルクリックします。

方法1



方法2





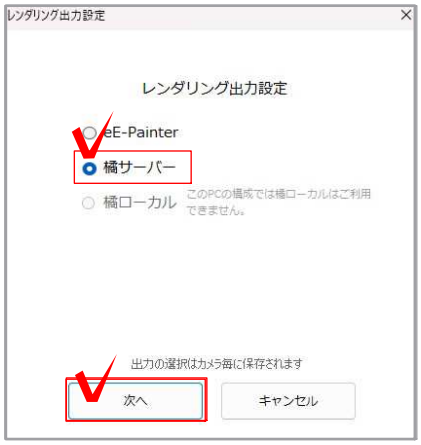
選択したカメラのパースが表示されます。

2　図面上へ配置

CAD平面図上にパースを配置します。



2-1　画面右下の「レンダリング」をクリックします。

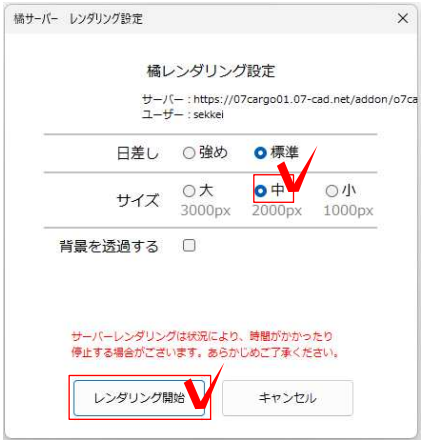


レンダリング設定画面が表示されます。

2-2　「eE-Painter」もしくは「**橘サーバー**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。

※リアルで高精細な仕上は「橘サーバー」を選択しましょう。

※「橘ローカル」PCに橘レンダリングをインストールしてる場合ごしよういただけます。インストールはPCのスペックが関係します。

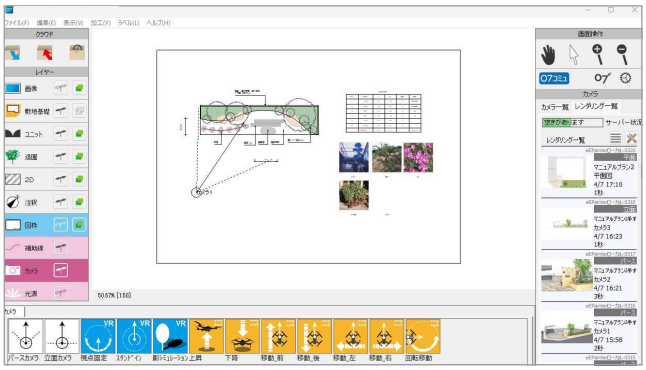


2-3　「中」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

画像サイズは印刷するパースの大きさによって選択します。

通常は「中」を。A3にパース1つの場合は「大」を目安にします。

大きいほど精密なパースができますが、データが重くなります。用紙に合わせた最適なサイズを選択しましょう。



レンダリングが開始されました。

平面作業画面に戻りましょう。



2-5　レイヤを「画像」にします。

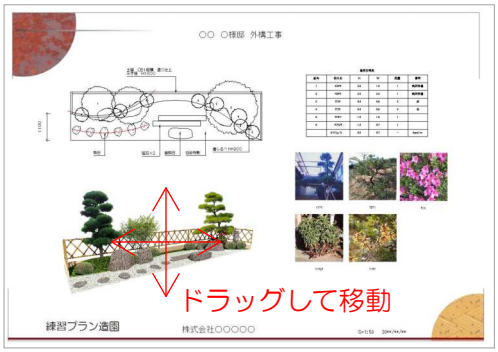


2-6　画面右側のレンダリング一覧から画像をドラッグで図面上に配置します。

レンダリング中の場合は、他の作業をしながらレンダリングが終わるのを待ちましょう。

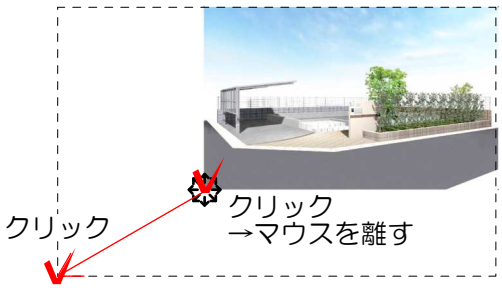
2-7　パースの位置を調整します。

パースは「画像」レイヤに配置されます。適当な位置に移動しましょう。



保存しましょう。

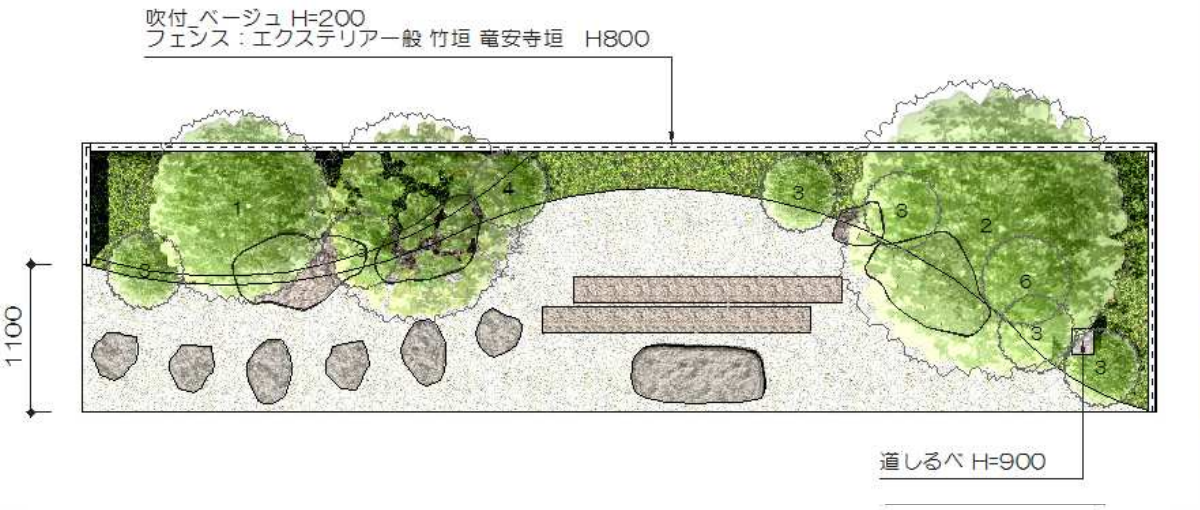
【画像のサイズを変更するには】

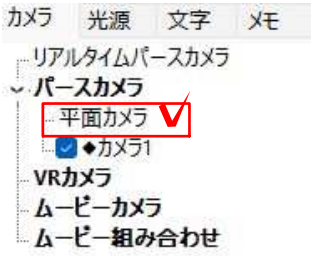


パース画像をクリックで選択し、角に表示された□にカーソルを合わせて ✥ になった所でクリックします。
マウスを動かし、変えたい大きさになったところでクリックします。

平面図仕上げ

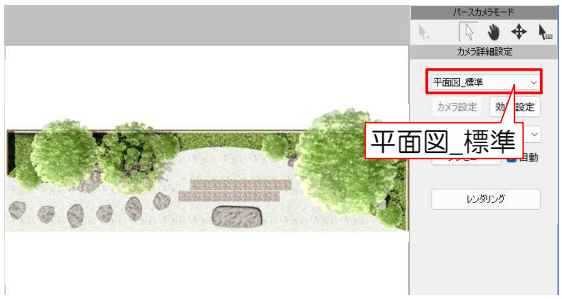
平面図をパースと同じようにリアルタイムパースで作成し、立体感のある表現にします。





1　リアルタイムパースで平面図を表示

1-1　リアルタイムパース画面左上のパースカメラから「**平面カメラ**」を選択します。



1-2　リアルタイムパース画面右上のカメラ詳細設定を「平面図_標準」になっていることを確認します。



2　レンダリング

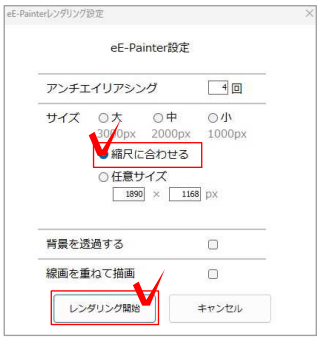
CAD平面図上に平面画像を配置します。

2-1　画面右側の「レンダリング」をクリックします。



レンダリング設定画面が表示されます。

2-2　「eE-Painter」を選択し、「次へ」をクリックします。



2-3　「縮尺に合わせる」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

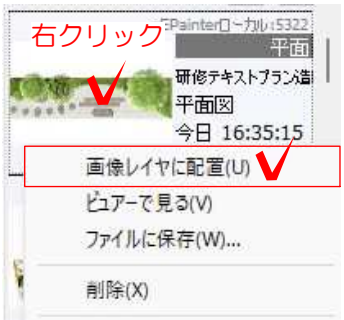
平面カメラの場合は「縮尺に合わせる」を選択し、平面図と画像の縮尺を合わせます。

レンダリングが開始されました。

平面作業画面に戻りましょう。



2-4　レイヤを「画像」にします。



2-5　画面右側「レンダリング一覧」の平面画像を右クリック「画像レイヤに配置」を選択します。

ユニットで描いた平面図の位置に合わせて、画像レイヤに配置されます。

同時に敷地基礎・ユニット・造園レイヤーがモノクロ指定に変更されます。

印刷

レイアウトした図面を印刷してみましょう。



完成した図面を印刷します。



1　印刷

印刷前にプレビューで確認しましょう。

1-1　「ファイル」メニューの「印刷プレビュー」をクリックします。



印刷プレビュー画面が表示されます。

1-2　印刷したい図形が表示されているか確認し、「印刷」をクリックしましょう。

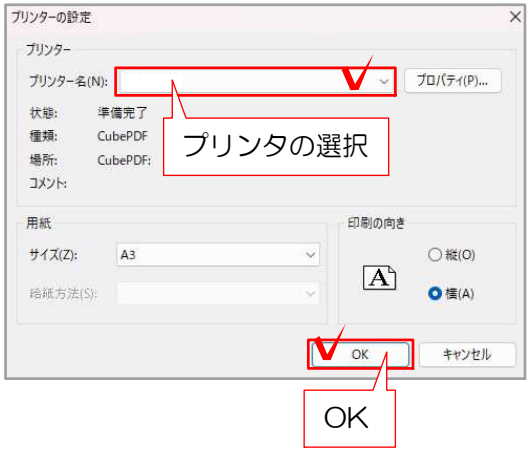
もし、修正点があった場合は「閉じる」をクリックして修正しましょう。



「印刷対象の選択」画面が表示されます。

1-3　「ピクセル印刷」または「ベクター印刷」をクリックします。

「緑の計画書」は図面でご使用の植栽に関する情報の印刷ができます。



1-4　印刷で使用するプリンタを選択し、用紙のサイズや向きなど設定を確認して「OK」をクリックします。

※プリンタの詳細設定については、ご利用のプリンタのマニュアルをご確認ください。

新機能＆おすすめ機能

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



詳細説明　P.30～

テキストのP.30～に載っています。



［レベル］→［レベル一括変換］

WEBマニュアルでキーワードの[レベル]をクリックし、参照マニュアルが表示されます。

※O7CADではWEBマニュアル、CambridgeではDVDマニュアルに収録されています。

※実際の操作画面は予告なく変更になる場合がございます。

O7CAD 2026

新機能 機能強化 機能ダイジェスト

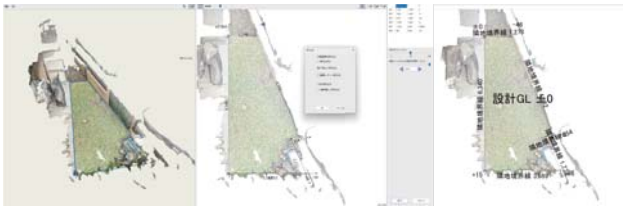
01 07Cargo（標準搭載）

提案から契約、工事管理までを一貫して支える「07Cargo」は、物件ごとにデータをまとめて管理・共有でき、どこからでも最新情報にアクセス可能です。コメントで行き違いを防ぎ決定をサポート。さらにCAD連動の自動見積で粗利を見える化し、利益を意識した提案につなげます。
O7CAD 2026では新たに「お客様管理機能」を追加。顧客情報と案件情報を一元管理し、電話番号や名前から素早く検索、担当案件を即確認可能。営業から施工まで情報共有を強化し、施主さまとの信頼構築を支える営業基盤として活用できます。



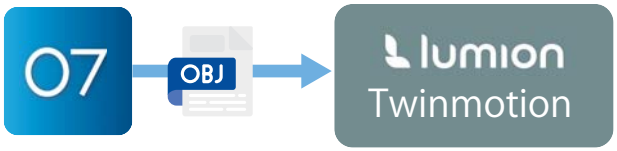
02 点群データ敷地作成

現況を見ながら、そのまま設計。点群データを取り込み、レベルや寸法を確認しながら敷地をトレース可能。図面が揃わない段階でも設計を開始でき、測量負担や再訪問を減らし、初回提案までのリードタイム短縮と提案スピード・精度向上を支援します。



03 OBJ ファイル取り出し

ご要望の多かった「OBJ取り出し」機能がついに実装され、他社レンダリングソフトとのスムーズな連携が可能になりました。
表現やプレゼンの幅がこれまで以上に広がります。



O7CAD 制作データ　　他社レンダリングソフト

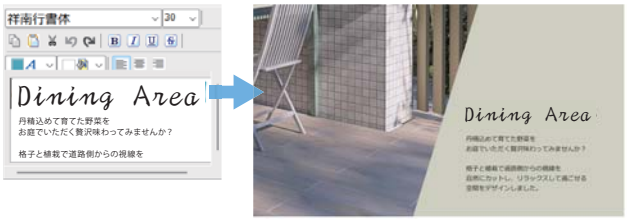
04 樹木検索（ボタニカルガイド連携）

ボタニカルガイドと連携し、形態・生態・樹形・日照・用途などの条件から樹木を検索。植栽選びが、より便利にスムーズになりました。環境や目的に合う植栽候補を素早く見つけ、植栽計画の精度向上を支援します。



05 注釈装飾文章

字体やサイズ、太字、下線、文字色、背景色を組み合わせが可能。伝えたいポイントを視覚的に強調します。見出しと本文にメリハリをつけ、図面やプレゼン資料の視認性を高めます。



裏面の機能もご覧ください ▶

06 AI フィルター

橘サーバーで作成したパースに、ワンクリックで「AIフィルター」を適用。構造物は保持したまま、石の質感や夜景の光の広がりを自然に整えます。



通常　　AI フィルター

07 踏板作成機能

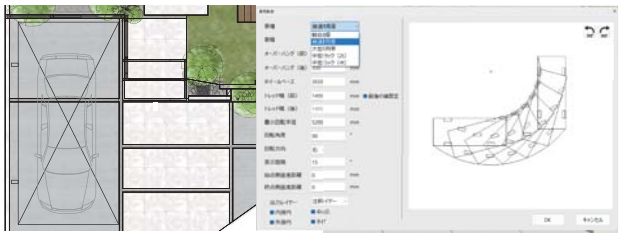
床デザイナーから自由度の高い階段デザインを実現。段ごとの形状調整に加え、踏板の2層構造で天端の突出部分も直感的に調整。多彩なデザインの階段を効率よく高精度に設計できます。



設定前　　設定後

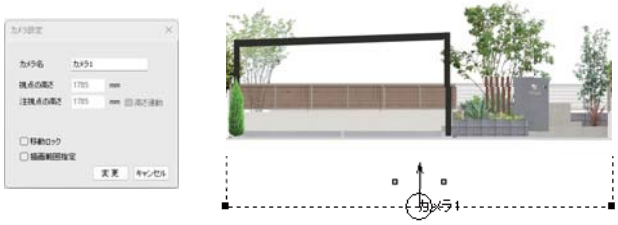
08 車両軌跡シミュレーション

車両軌跡を平面図上に表示して、進入・旋回・切り返し動線を可視化。門柱や塀、カーポート柱との干渉を事前に確認できます。車種は、5タイプから選択できます。



09 立面カメラ描画範囲指定

見せたい立面だけを的確に切り出します。立面カメラで描画範囲を指定でき、横幅設定で隣地や不要要素を除いて必要部分のみレンダリング可能。範囲変更も簡単に行え、立面作成や資料画像調整をスムーズに行えます。



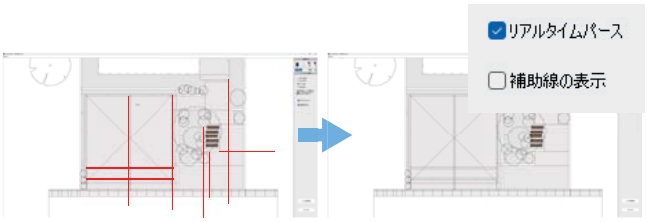
10 下絵取り込み（快適化）

PDF下絵の読み込み速度と安定性が向上し、拡大時も細部まで鮮明に確認が可能。トレース精度を高め、新UIで直感的に操作できるため下絵作業をスムーズに進められます。



11 レベル一括変換（快適化）

レベル一括変換画面で、補助線の「表示／非表示」の切替が可能になりました。画面の見やすさを優先したいときは非表示にするなど、状況に応じて切り替えでき、作業をスムーズに進められます。



12 夜景ライティング調整

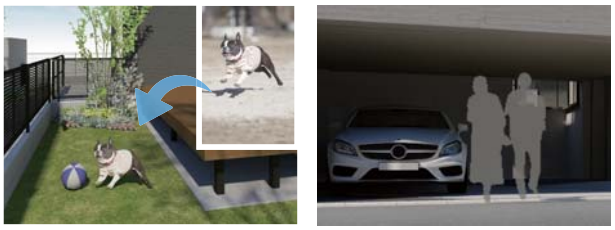
光源レイヤにより、平面上で光源の位置や影響範囲を可視化しながら明るさ調整や複製・削除が可能。光源ごとの発光半径設定やラインライトの一括調整にも対応。カメラごとの点灯状態も記憶でき、自然で美しい夜景パースを効率よく作成できます。



設定前　　設定後

13 AI フォト添景 / シルエット作成

写真やイラストからAIが対象を自動で切り抜き、人物やペットをフォト添景とシルエットの2パターンで登録・配置可能。高さやスケール感を正確に表現し、パースの完成度を高めます。



AI フォト添景　　シルエット

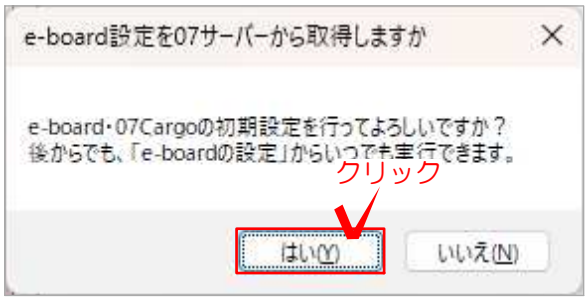
サーバー情報自動取得

CAD内の設定へ07Cargo・e-Boardのサーバー情報を自動で取得します。

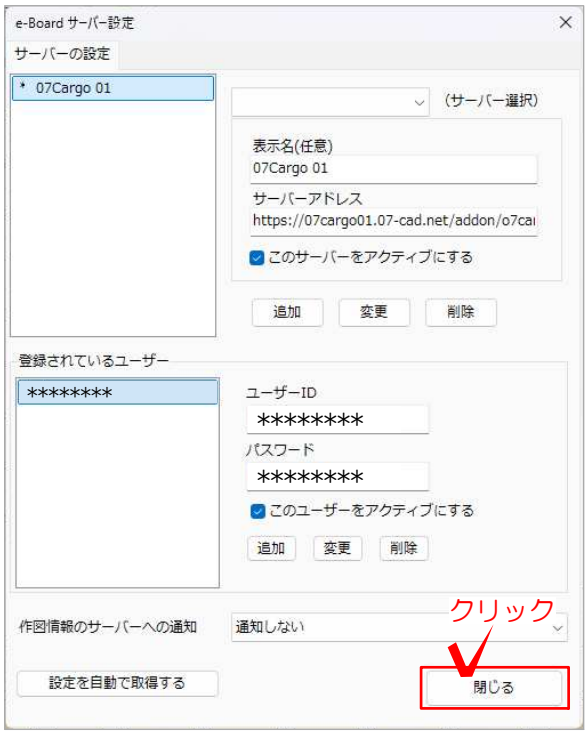


サーバー情報を自動取得するタイミングは複数あります。
それぞれの手順を確認しておきましょう。

また、ご契約内容により取得サーバー情報が変わってきます。
※ご契約内容による取得サーバー情報は巻末の表にまとまっています。







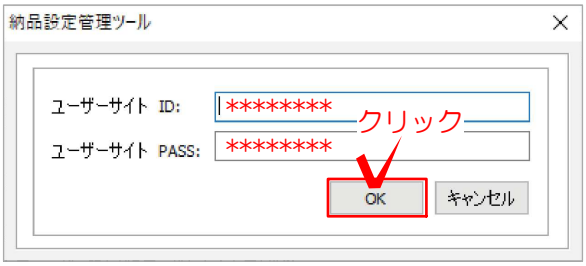
手順1　CADインストール時

1-1　07portalよりインストール時

インストール完了後の初回CAD起動時、
【e-board設定を07サーバーから取得しますか】
と確認されます。

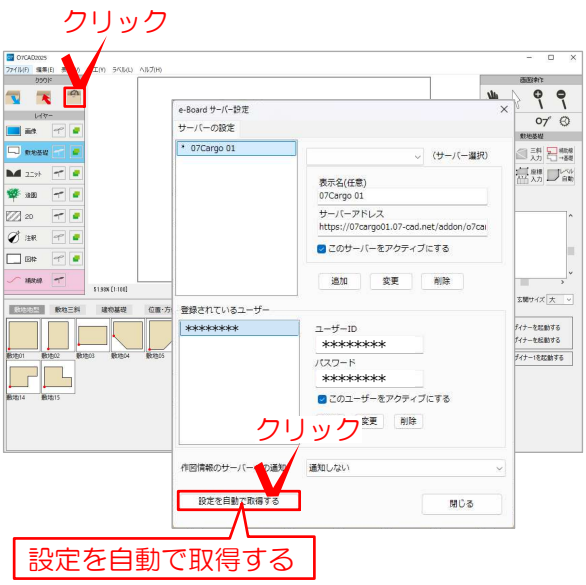
【はい】で進み【サーバー設定を取り込みました】と表示されましたら、サーバー情報の取得・設定が完了しています。

【e-Boardサーバー設定】ウインドウが表示されますので設定された内容を確認し【閉じる】で閉じます。



1-2　インストーラー（USBメモリ）よりインストール時

インストールを進めていくと【納品設定管理ツール】ウインドウが出て来ます。
ID・PASSを入力して頂くとインストール完了後サーバー情報の取得・設定が完了しています。



手順2　サーバー設定画面

2-1　ご使用いただいているCAD内へ、サーバー設定を自動で行います。

CADメイン画面より【クラウド設定ボタン】を押していただくと【e-Boardサーバー設定】ウインドウを表示されます。

ウインドウ内【設定を自動で取得する】ボタンをクリックしますと、サーバー情報の取得・設定が完了します。

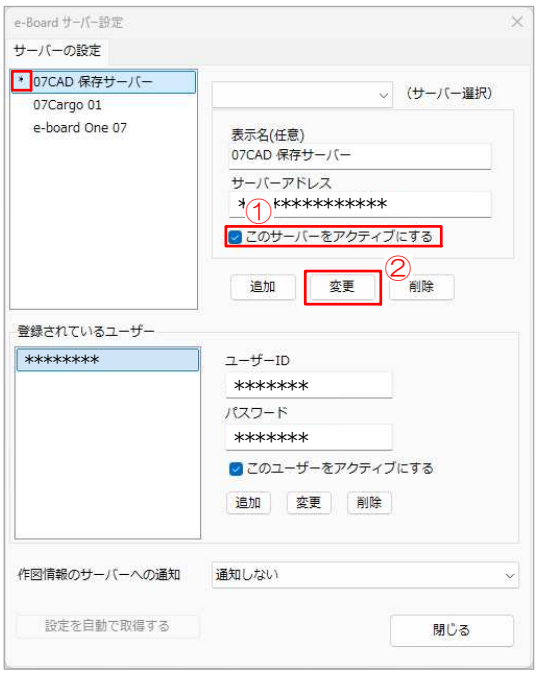


【サーバー設定を取り込みました】と表示されましたら、サーバー情報の取得・設定は完了です。
【OK】をクリックし閉じましょう。

【ご契約内容ごとの取得サーバー情報について】

表の①～③を順番に進んでいただくと自動取得されるサーバー情報と
初期アクティブサーバー情報（※1）が確認できます。

（※1）アクティブサーバー情報とは実際に利用されるサーバーのことです。
サーバー情報自体は表のとおり取得しており、アクティブサーバーは手動で変更可能です。



アクティブサーバーの手動変更方法。

【e-Boardサーバー設定】画面より
利用されたいサーバーを選択し

①【このサーバーをアクティブにする】にチェックを入れます。

②【変更】をクリックします。

③サーバー名の前に【*】が付きましたら変更完了です。

①初ご導入時バージョン	②現在ご利用のバージョン	③有料版e-Boardのご契約	取得サーバー情報 アクティブサーバー
O7CAD2025以降 （2025年5月12日以降のご契約）	O7CAD2025以降		・07Cargo
			・07Cargo
O7CAD4以前 （2025年5月11日以前のご契約）	O7CAD2025以降 （O7CAD4）	ご契約あり	・有料版e-Board ・eBoard one ・07Cargo
			・有料版e-Board
		ご契約なし	・eBoard one ・07Cargo
			・07Cargo
	O7CAD3.5以前	ご契約あり	・有料版e-Board ・eBoard one
			・有料版e-Board
		ご契約なし	・eBoard one
			・eBoard one

点群データで敷地を作成する方法

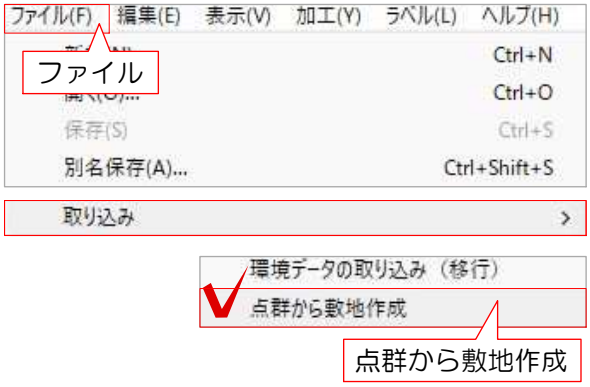
点群データを使用して敷地を作成することができます。





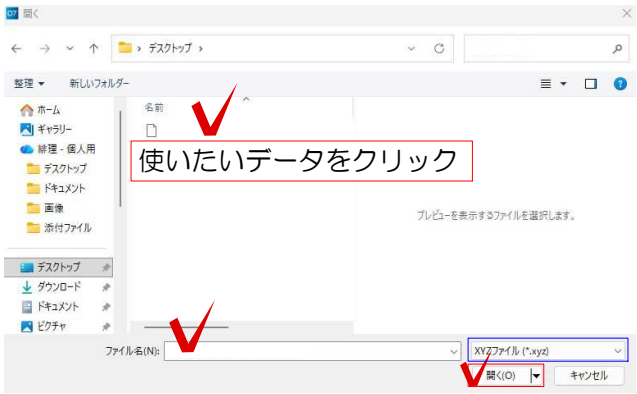
点群データを取り込み、現況を確認しながら敷地をトレースすることができます。図面が揃っていなくても、すぐに設計を始められます。また、既存構造物の位置関係も把握できます。

動画マニュアル →
はこちら



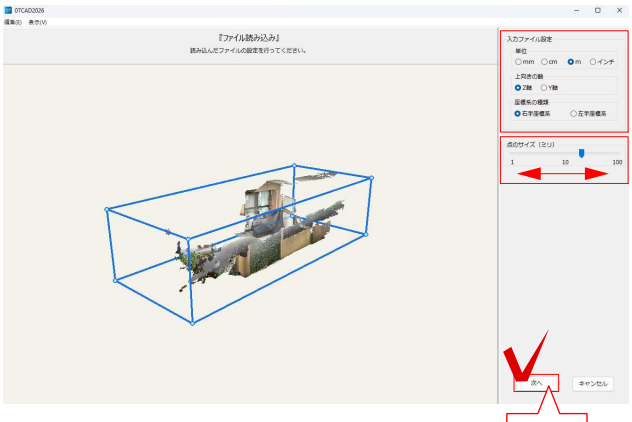
1　データを用意し、取り込む

1　取り込みたい点群データをデスクトップに用意し、「ファイル」の「取り込み」から「点群から敷地作成」をクリックします。



2　で用意したデータを選択し、「開く」をクリックします。

※XYZ形式のみ対応しています。
2026年4月現在



3　データが開いたら、必要であれば「入力ファイル設定」をします。

4　「点のサイズ（ミリ）」で取り込んだデータが綺麗に表示されるまでスライダーを動かし、「次へ」をクリックします。



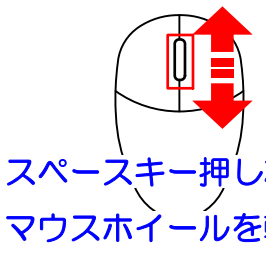
2　境界線設定

1　3Dが表示されている画面の右上の  をクリックします。

2　敷地の頂点をクリックしていきます。1番最初にクリックする頂点がBMになります。
※BMは後ほど変更することもできます。

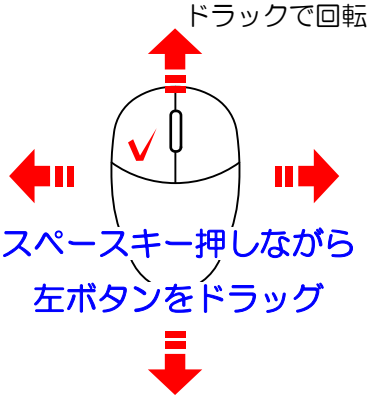
【3D画面の視点の動かし方】

【前後に移動】　マウスホイールを上へ転がすと前へ、下へ転がすと後ろへ移動します。近づいたり遠のいたりします。



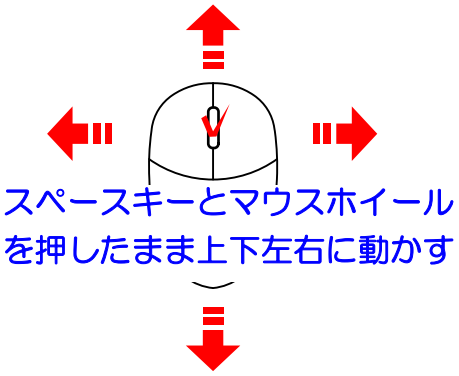


【上下左右に回転】　上へドラッグで「見上げる」、下へドラッグで「見下ろす」、左右へドラックで回転します。





【上下左右に移動】　マウスホイールを押したまま上下左右に動かします。見たい部分が端に寄っている時に使用します。



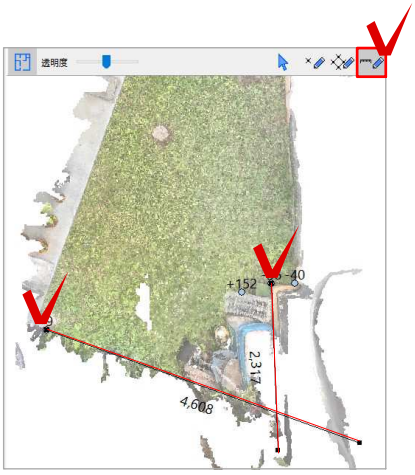


【既存物があり敷地の頂点が選択できない場合は・・・】





1　クリックで頂点を追加します。



2　平面が表示されている画面の右上の
をクリックします。

3　敷地の延長線のラインの始点と終点を選択します。



4　平面が表示されている画面の右上の
をクリックします。

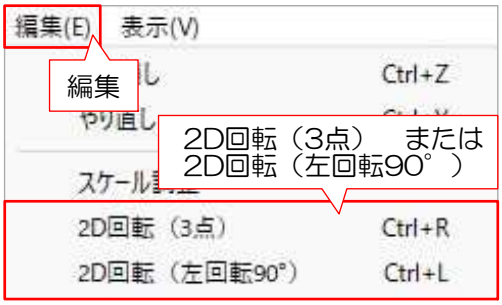
5　1で追加した頂点を敷地の延長線の交点に移動します。



3　平面が表示されている画面の右上の  をクリックします。

4　敷地の頂点クリックで囲います。

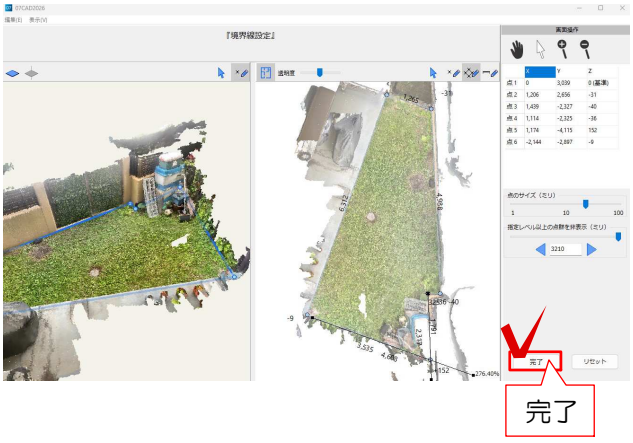
【下絵の角度調整について】



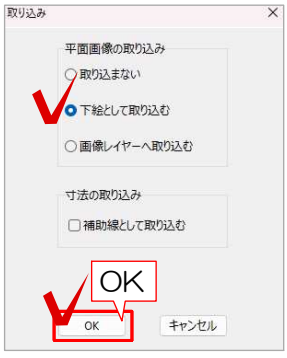
下絵の角度を調節したい場合は、「編集」から「2D回転（3点）」または「2D回転（左回転90°）」を選択し、角度を調節することができます。



[回転]→[回転]



5　敷地が作成できたら、「完了」をクリックします。

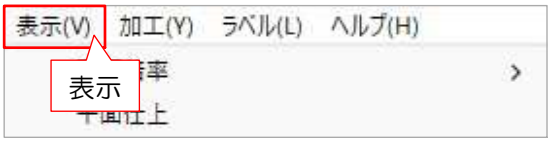


6　平面画像と寸法の取り込みを選択し、「OK」をクリックします。



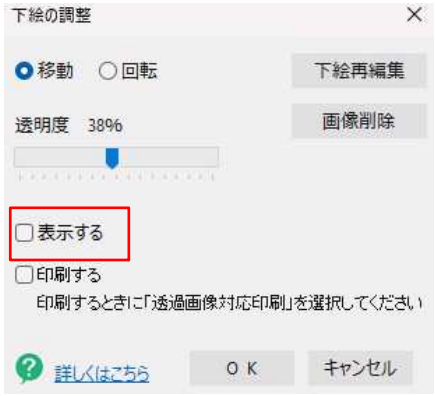
7　敷地が作成できました。

【下絵の表示・非表示】





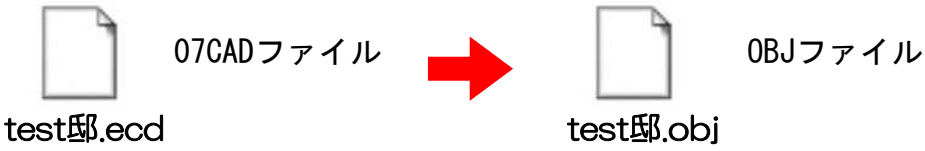
下絵を非表示にしたい場合は、「表示」から「下絵調整」をクリックします。

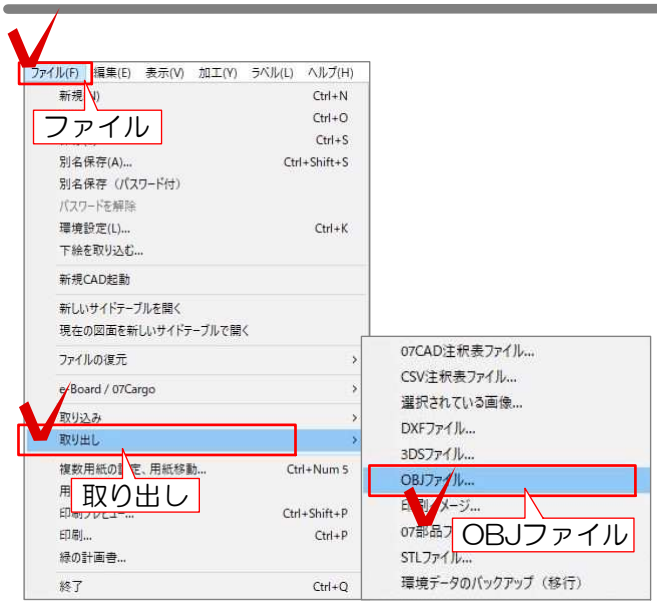


「表示する」のチェックを外すと取り込んだ画像が非表示になります。

OBJファイルの取り出し方法

オーセブンCADのファイルをOBJファイルで取り出す方法です。





ファイルを取り出す方法

1　ファイルを開く

1-1：OBJ取出しをしたいCADファイルを開きます。

1-2：ファイルメニューから取り出し→OBJファイルを選択します。



2　設定の確認

2-1：種類ごとに取り出したい図形を選択できます。チェックの入っている図形が取り出されます。

2-2：出力設定をします。
出力先がTwinMotionかLumionの場合はプルダウンで一括設定できます。

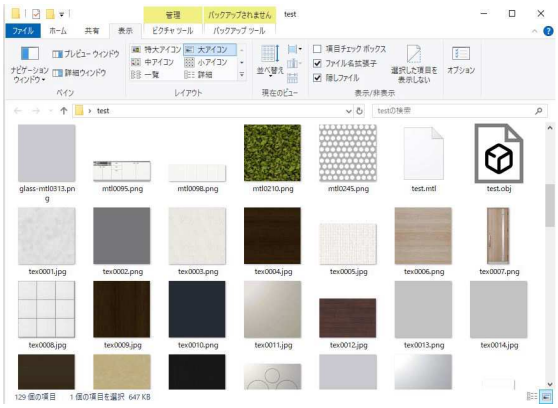
2-3：OKボタンを押して、ファイルの保存先を指定するとデータの取出しが始まります。取出しが終わるとOBJ取り出し画面が消えて図面に復帰します。

取り出し設定で以下の事はできません。
- 「選択されたものだけ表示」や「選択されたものを非表示」で非表示になっている図形を取り出すこと。
- 表示されている同じ種類の図形の一部を指定して取り出すこと。



取り出したファイルの確認

1：保存先に指定した場所へフォルダができます。



2：フォルダ内にCADで使用したテクスチャと、OBJファイル、MTLファイルが出力されます。

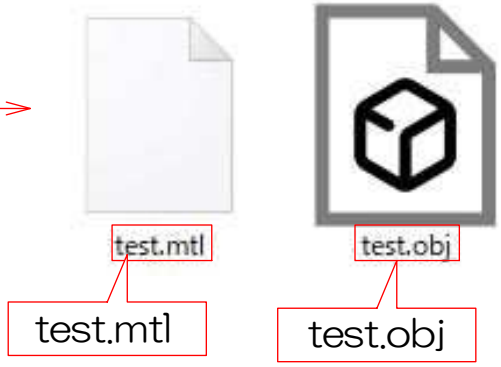
【ファイル名について】

OBJファイル、MTLファイルはファイル名にASCII文字（半角の英数、記号、空白など）以外の文字が含まれている場合、正しく使用できない場合があります。
そのため、「名前をつけて保存」をする際、フォルダ名を平仮名、カタカナ、漢字等にした場合、フォルダ内のobjファイル、mtlファイルの名前は「data」に自動変換する仕様となっております。

フォルダ名を **test** で保存



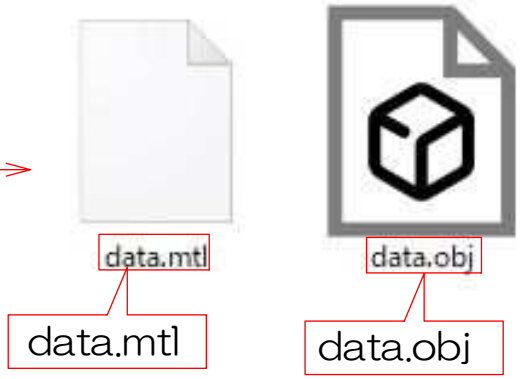
同じファイル名となります



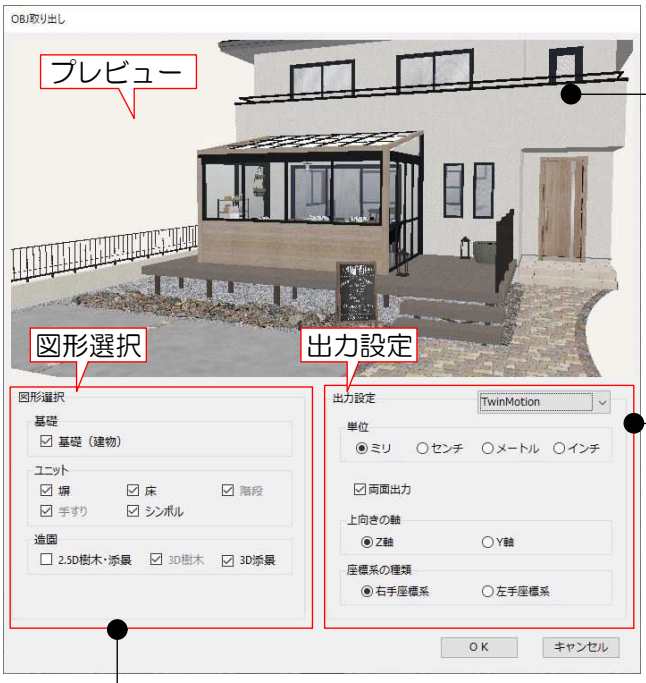
フォルダ名を **てすと** で保存



ファイル名が**data**になります



取り出し画面の説明



プレビュー：ドラッグすると視点位置を変更できます。

出力設定：出力方法を選択できます。
出力先がTwinMotionかLimionの場合は
プルダウンで選択します。
それ以外の場合は各項目を個別に調整します。
調整後、プルダウンの部分は
自動的に「カスタム」となります。

図形選択：取り出される図形を選択できます。
フォト樹木等は向き固定で回転せず出力されるため
2.5D樹木・添景は初期状態でチェックが外れています。
（それに合わせてプレビューでもフォト樹木等は回転せずに描画します）
敷地については3Dへは描画されないため設定はなく取り出しされません。

植栽の検索方法（ボタニカルガイド連携）

植栽を名称や特徴で検索をすることができます。



ボタニカルガイドと連携し、形態・生態・樹形・日照・用途などの条件から樹木を検索できます。

環境や目的に適した植栽候補を素早く見つけ、植栽計画の精度向上を支援します。



レイヤは「造園」

（方法1）　植栽を名称検索



1　画面上の検索の欄で植栽の名称をひらがなorカタカナで入力してEnterキーを押します。

2　該当する植栽が表示されます。

（方法2）　植栽を名称検索



1　画面上の検索の欄で植栽の名称をひらがなorカタカナで入力して「検索」をクリックします。

2　該当する植栽が表示されます。

※造園レイヤをクリックすると樹木の検索画面が表示されます。植栽アイテムの単独配置・列植が選ばれている場合、常に起動します。



植栽の条件検索

1　「形態」「生態」「樹性」「日照」「成長」「樹形」「用途」から配置したい樹木の条件を選択します。

2　画面下に条件に当てはまる樹木が表示されるので、使用したい樹木を選び、ドラッグで配置します。

3　再度条件検索をしたい場合は、▽ボタンをクリックすると再表示されます。

【植栽検索について】

同一カテゴリー内では、「OR（または）」、異なるカテゴリー間では「AND（かつ）」で植栽の検索をします。



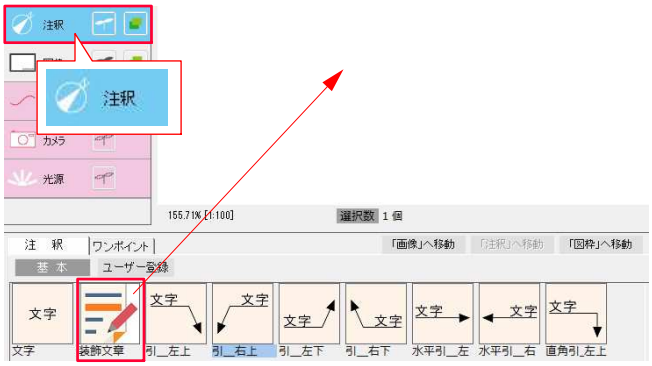
注釈の装飾文章

注釈の文字のフォント・背景・大きさを自由に変更することができます。



文字のフォント・背景・大きさを自由に変更でき、一部のみの調整にも対応しています。

見出しと本文にメリハリをつけ、図面やプレゼン資料の視認性を高めます。既存文字からの変換にも対応しています。

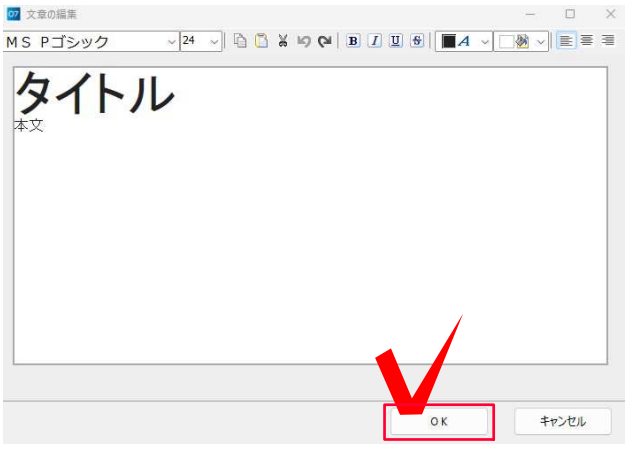


1　装飾文字の入力方法

1-1　注釈レイヤにし、画面下の「装飾文章」をドラッグで配置します。



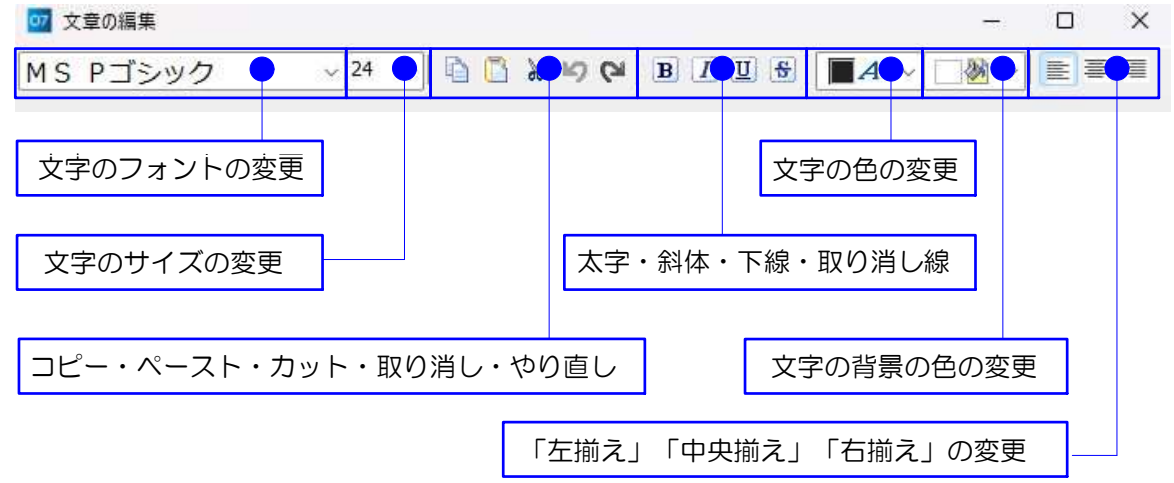
1-2　配置できたらダブルクリックし、編集画面が表示されます。

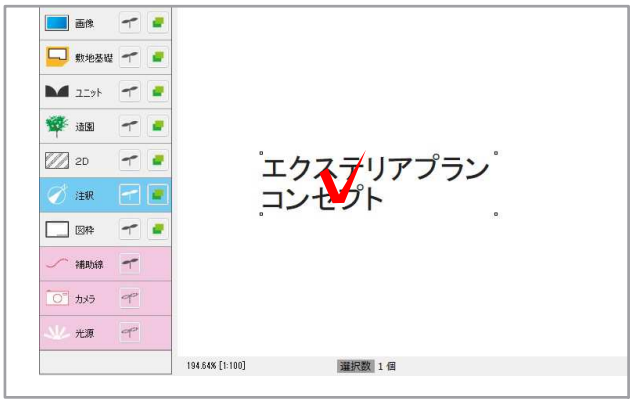


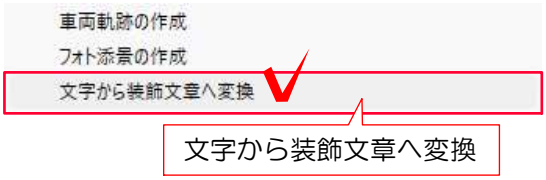
1-3　文字を入力し、「OK」をクリックします。

※Ctrlキーを押しながらマウスホイールを転がすと画面を拡大することができます。

【文章の編集のメニューについて】







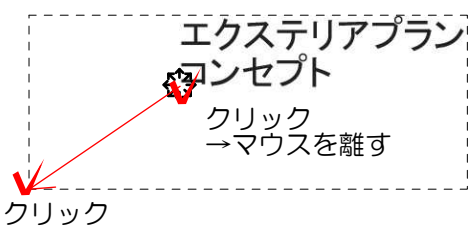
２　過去の図面の文字を装飾文字に変換する方法

2-1　文字を選択し、「加工」メニューの「文字から装飾文章へ変換」をクリックすると装飾文章へ変換することができます。

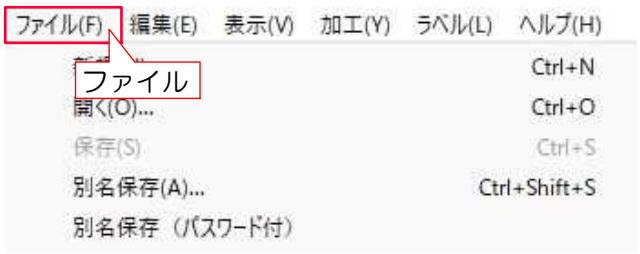
※装飾文章の配置は、「画像レイヤ」でも同様に行えます。

※既存文字から装飾文章への変更は、「画像レイヤ」「図枠レイヤ」でも同様に行えます。

【注釈の幅変更するには】

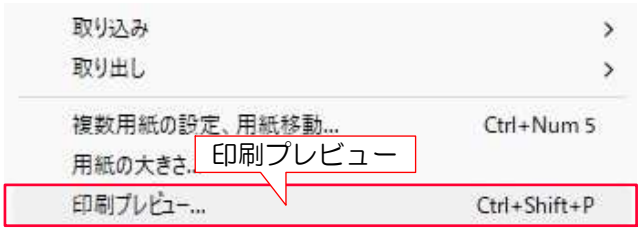


注釈を選択し、角に表示された□にカーソルを合わせ
　になった所でクリックします。
マウスを動かし、変えたい大きさになったところでクリックします。



3　印刷プレビュー

装飾文章の配置ができたら、印刷プレビューで印刷範囲を確認しましょう。



3-1　「ファイル」から「印刷プレビュー」をクリックします。



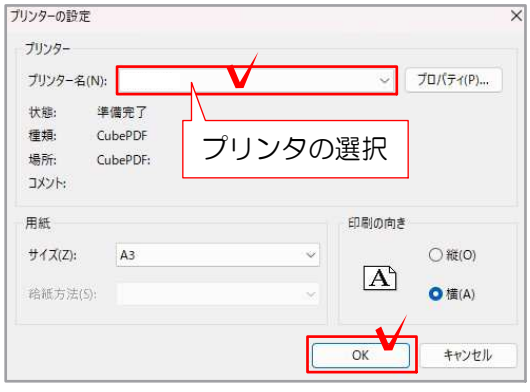
印刷プレビュー画面が表示されます。

3-2　印刷したい図形が表示されているか確認し、「印刷」をクリックしましょう。

もし、修正点があった場合は「閉じる」をクリックして修正しましょう。



3-3　「ピクセル印刷」または、「ベクター印刷」を選択します。



3-4　印刷で使用するプリンタを選択し、用紙のサイズや向きなど設定を確認して「OK」をクリックします。

※プリンタの詳細設定については、ご利用のプリンタのマニュアルをご確認ください。

AIリアルフィルター

橋レンダリングで出力した画像の景石や植栽などの仕上げを補助する機能です。
AI技術により、自然でリアルな表現を簡単に生成できます。
※07CADの橋レンダリングで出力した画像に限ります。
※AIによる生成のため、出力結果にばらつきが生じる場合があります。



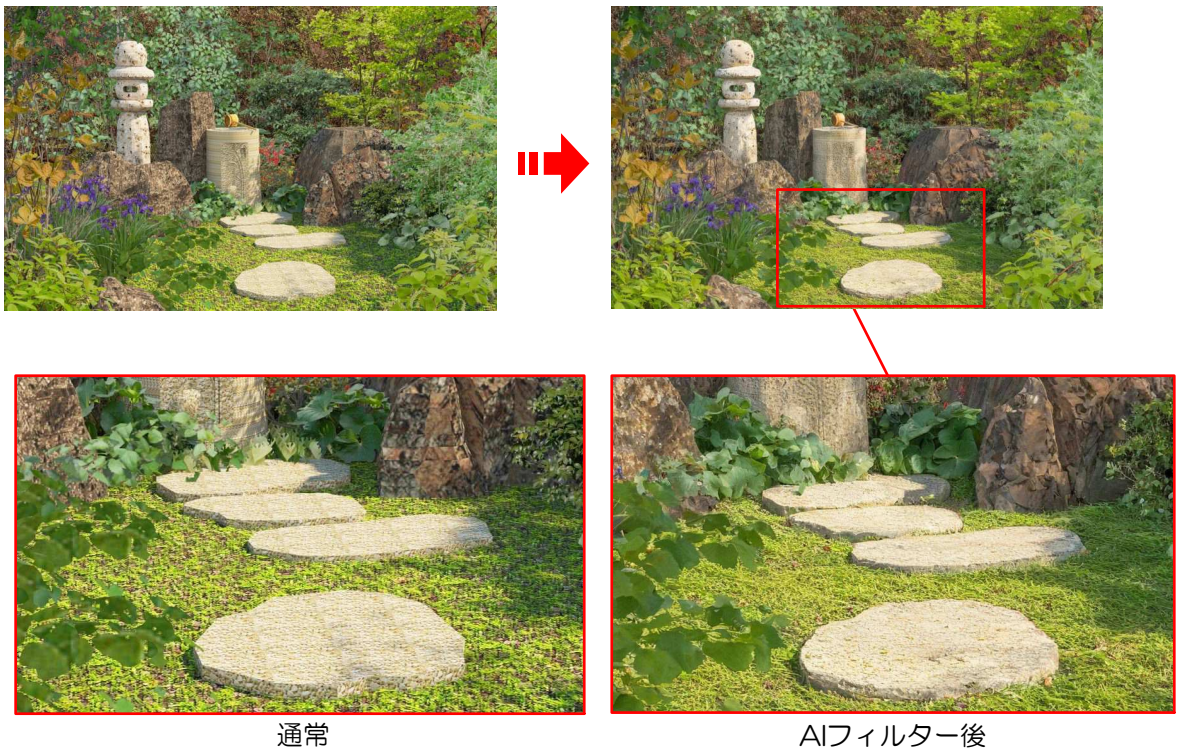
AIリアルフィルター

1　「07Cargo」を開き、一時保管をクリックします。

2　フィルターを使用したい画像をクリックします。

3　「AIリアルフィルター」をクリックします。夜景の場合は「AI夜景用フィルター」をクリックします。

4　「AI処理が完了しました」と表示されます。変換済の画像をクリックで大きく確認できます。



通常　　AIフィルター後

床デザイナーに踏板作成機能追加

床デザイナーの踏板作成機能を使って蹴込み階段を作成をすることができます。



段ごとの形状調整に加え、踏板の2層構造で天端の突出部分も直感的に調整できます。

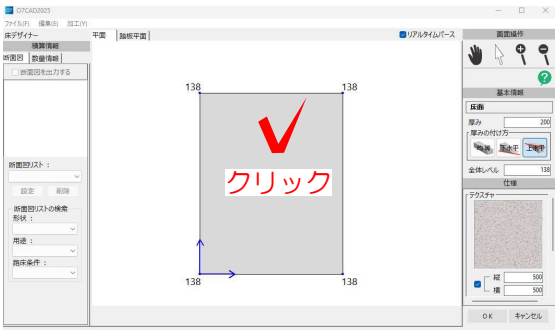
自由度の高い多彩なデザインの階段を効率よく高精度に設計できます。



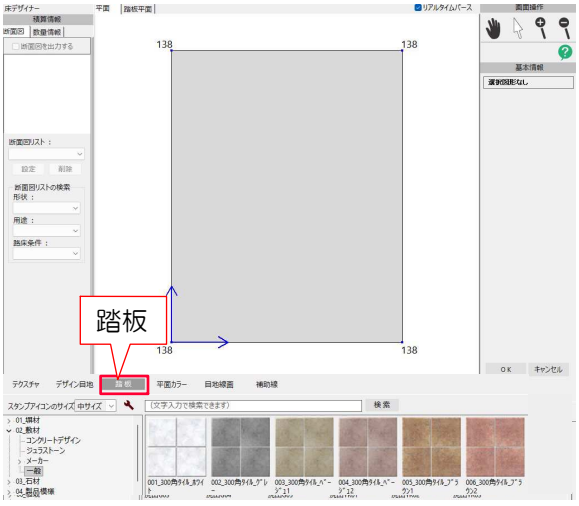
1　踏板作成

1-1　床デザイナーで高さや厚みを設定した状態にします。

※この時の天板レベルは踏板も含めた分のレベルを入力しておきましょう。



1-2　踏板を作成したい床を選択します。
複数選択する場合はShiftキーを押しながら複数選択します。



1-3　画面下の「踏板」を選択しから踏板に使用するテクスチャを選び、ドラッグします。

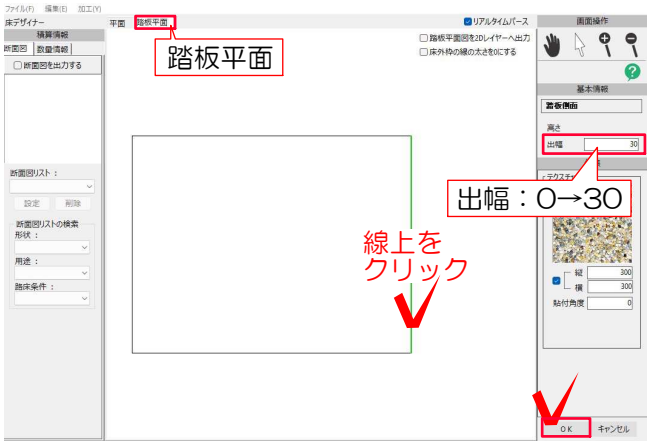


1-4　「踏板作成」の画面が表示され、形状寸法を入力します。

入力できたら「OK」をクリックします。



踏板が作成できました。出幅については次の操作で設定ができます。

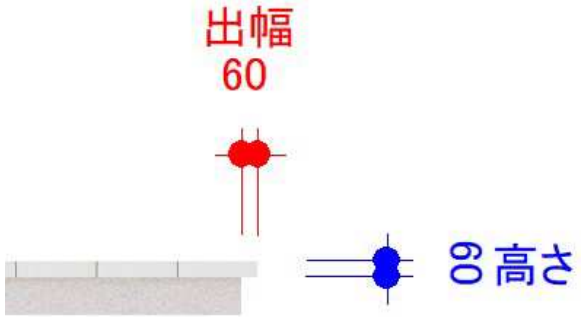


2　出幅調整

2-1　「踏板平面」に切り替え、出幅を設定したい箇所をクリックします。
複数選択する場合はShiftキーを押しながら複数選択します。

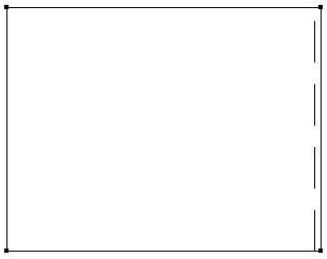
2-2　「出幅」の数字を入力し、「OK」をクリックします。

【出幅と高さについて】



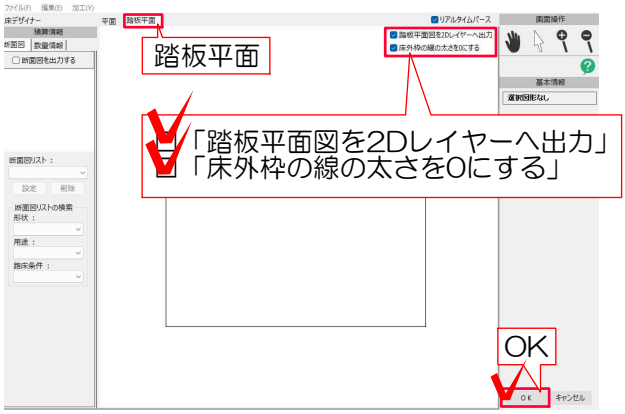
出幅：床からはみ出る幅

高さ：踏板の高さ



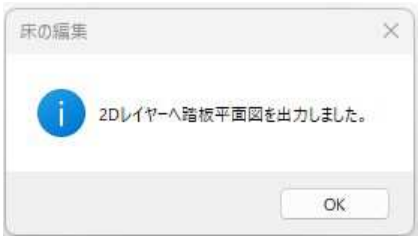
3　踏板の平面図表示

3-1　踏板平面に切り替え、右上の「踏板平面図を2Dレイヤーへ出力」「床外枠の線の太さを0にする」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。



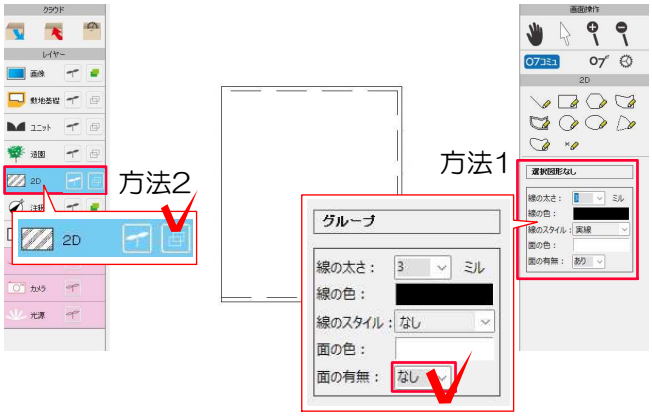
「踏板平面図を2Dレイヤーへ出力」
→2Dレイヤーに実線や点線で踏板を表現します。

「床外枠の線の太さを0にする」
→ユニットレイヤーの階段外枠の線の太さを0にすることで、
2Dレイヤーの点線を表示します。



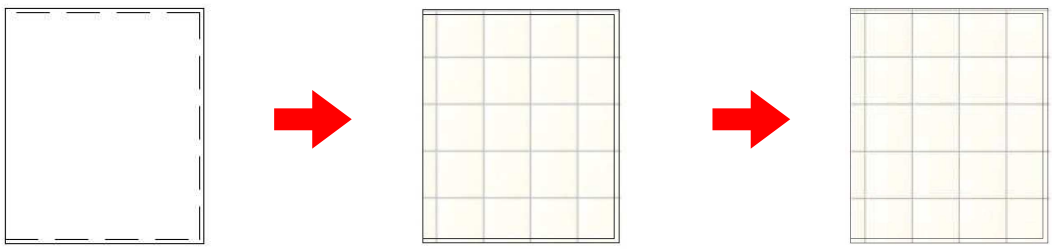
3-2　「2Dレイヤーへ踏板平面図を出力しました」のメッセージは「OK」をクリックします。

作成した平面は2Dレイヤーに入っています。
選択や編集をしたい場合は、2Dレイヤーに切り替えて作業しましょう。



3-3　平面レンダリング時は、
方法1　出力した2Dレイヤーの平面を選択し「面の有無」をなしにする　または

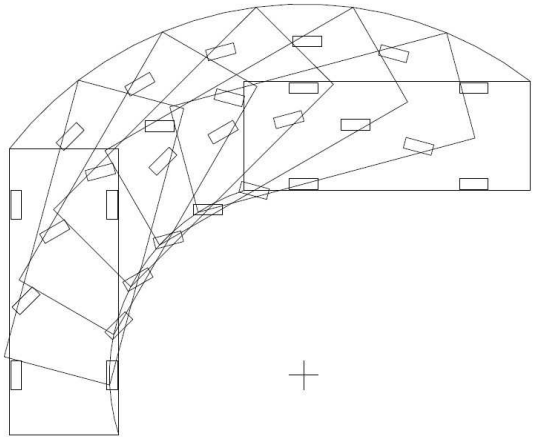
方法2　2Dレイヤーをモノクロにしましょう。



CAD操作画面上表示　　印刷時

車両軌跡の作成

注釈に車両の軌跡を作成することができます。

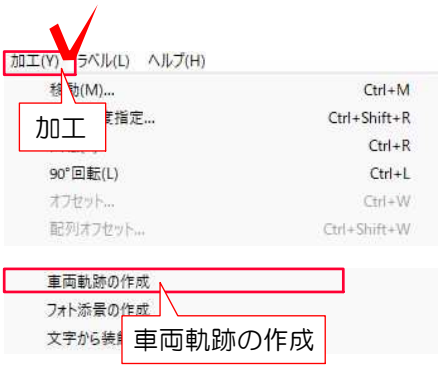


車両の軌跡（車の動線）を平面図上に表記する機能です。進入・旋回・切り返しの動線が可視化され、構造物との干渉を事前に確認できます。駐車計画の検討や施主への説明に活用できます。



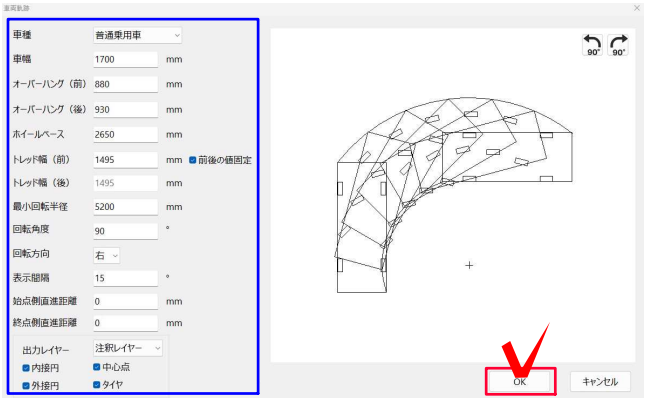
レイヤは「注釈」

1　車両軌跡の作成



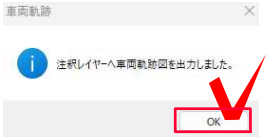
1-1　注釈レイヤをクリックします。

1-2　「加工」メニューから「車両軌跡の作成」をクリックします。

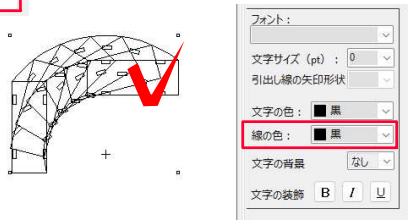


1-3　画面左の項目を作成したい内容に変更し、「OK」をクリックします。

車種は5タイプから選択でき、各項目に平均値が自動反映されます。
さらに数値を調整し、細かな設定も可能です。



1-4　作成した車両軌跡は、注釈レイヤに出力されます。

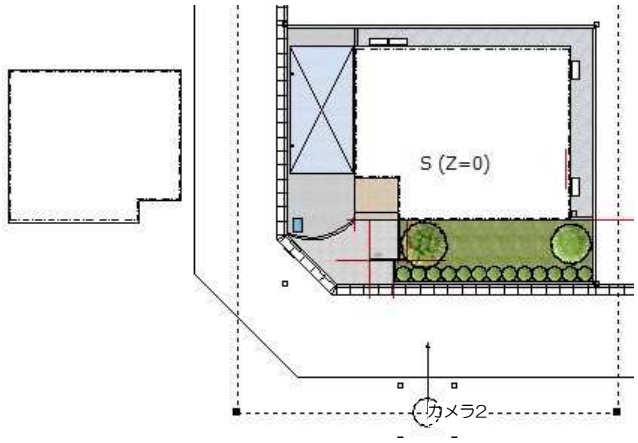


1-5　選択後画面右の設定から線の色などを変更できます。

※注釈レイヤ以外から車道軌跡を作成した場合、2Dレイヤに出力されます。

立面カメラ描画範囲指定機能

立面カメラを配置し、任意の範囲の立面をレンダリングできます。



立面レンダリングの範囲設定を行うことができます。
映り込み用に大量に配置した隣地データをカットして立面図をレンダリングをする際や、プレゼンボードに配置するために余白が欲しい場合などに便利な機能です。

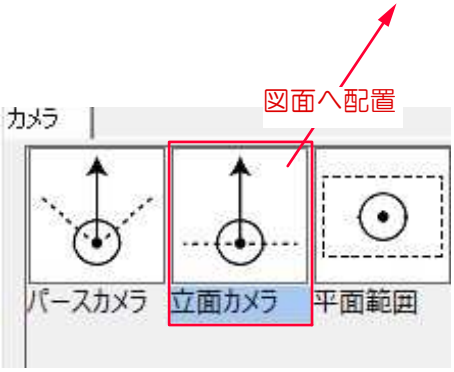


レイヤは「カメラ」

1　立面カメラを追加

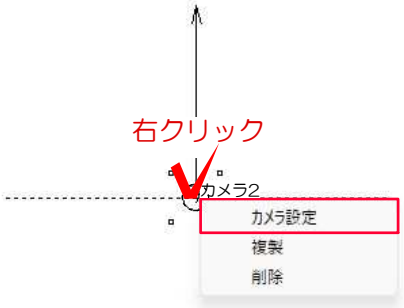
カメラを追加します。

1-1　レイヤを「カメラ」にします。



1-2　画面左下、「立面カメラ」を画面上にドラッグします。

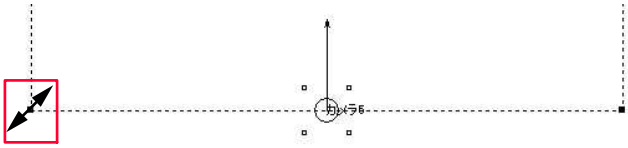
「カメラ2」が追加され、画面上に表示されます。



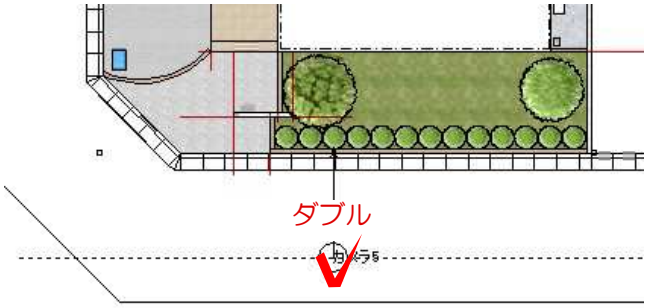
1-2　カメラを右クリックし
「カメラ設定」をクリックします。



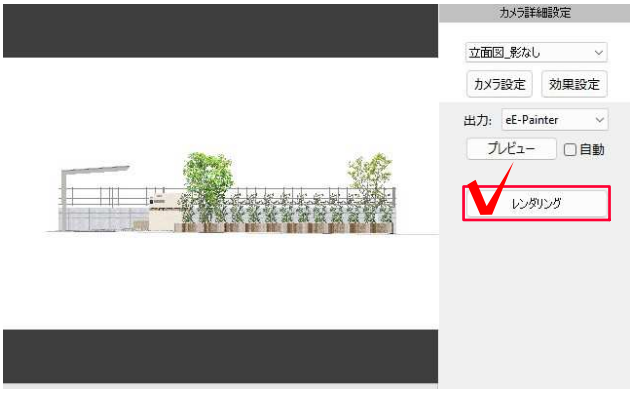
1-3　「描画範囲指定」にチェックを入れ、「変更」をクリックします。



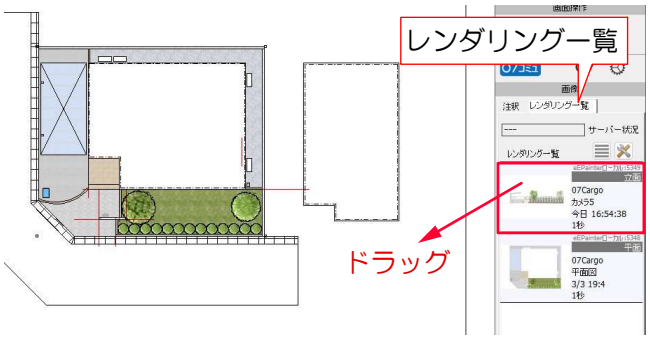
1-4　立面図として描画される範囲が表示されます。
カーソルを近づけると のカーソルに変わりクリックしたまま左右に動かすと描画される範囲を変更することができます。



1-5　図面上に配置されている該当のカメラをWクリックすると、リアルタイムパース上に選択した範囲の立面図が表示されます。



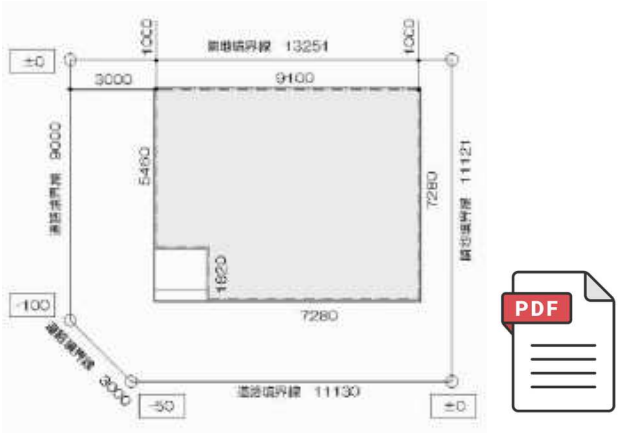
確認後、レンダリングボタンをクリックし、レンダリングを開始します。



1-6　画面右側のレンダリングー覧から画像を
ドラッグで図面上に配置します。

下絵取り込み

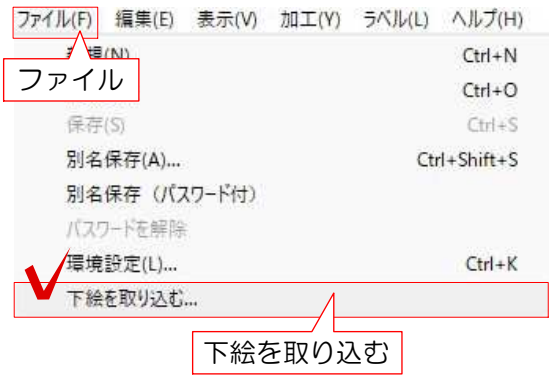
PDFから下絵を取り込むことができます。



敷地の作図に便利な「下絵取り込み」機能がPDFデータからでも取り込めます。

※AcrobatまたはAcrobat Reader のインストールが必要です。

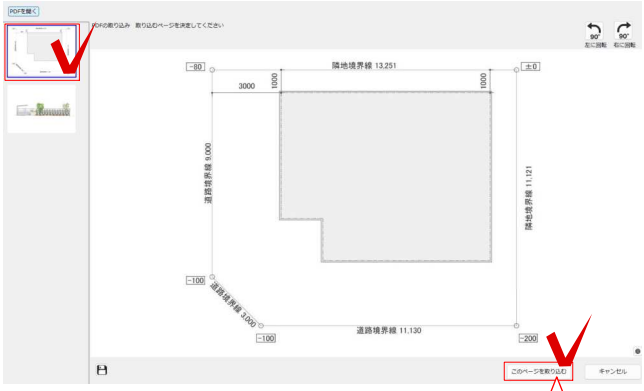
1　データを用意し、取り込む



1-1　取り込みたい敷地のデータをデスクトップに用意し、「ファイル」から「下絵を取り込む」をクリックします。

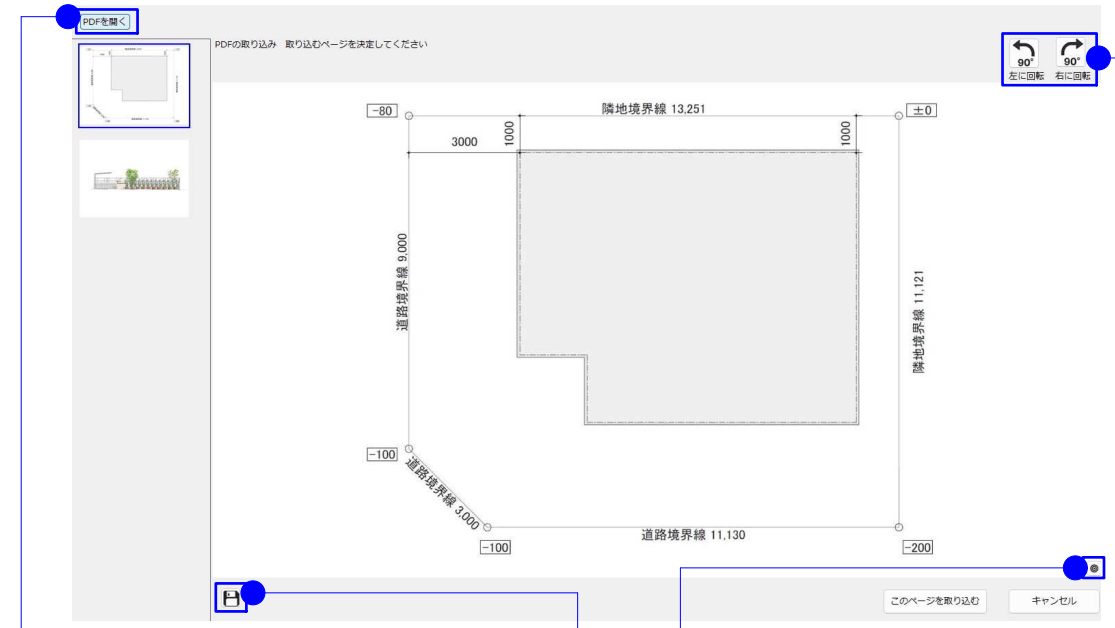


1-2　1-1で用意したデータを選択し、「開く」をクリックします。



1-3　データが開いたら、取り込みたいページを画面左でクリックし、「このページを取り込む」をクリックします。

【下絵取り込みの画面について】



別のPDFファイルを開くことができます

いま表示されている画像をファイルに保存します

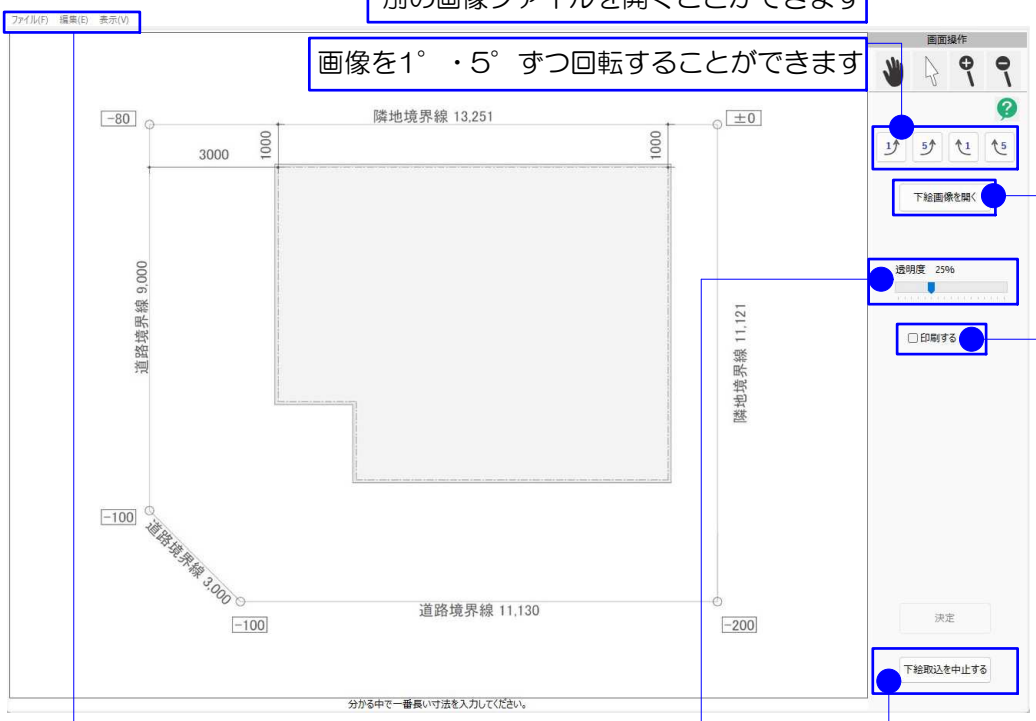
画像を90°回転することができます

1ページが画面内に表示されるようにします

【下絵の調整画面について】

別の画像ファイルを開くことができます

画像を1°・5°ずつ回転することができます



取り消し・やり直し・操作のキャンセル・寸法の削除・トリミングなどの操作ができます

画像の透明度の変更ができます

下絵取り込みを中止します

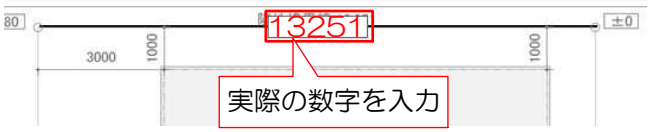
画像を印刷することができます



2　画像の縮尺を合わせる

キャプチャした図面の寸法を指定します。
この作業をしないと作図作業を進め難くなりますので、しっかりと設定しましょう。

2-1　寸法が分かっている箇所の中で、1番長い2点をクリックします。



2-2　敷地寸法を入力し、Enterキーを押します。



2-3　全体の縮尺が合いました。
右下の「決定」ボタンをクリックします。

縦横比が合っている資料であれば、1方向の入力で支障なく作図できる場合が多いですが、比率にずれが見られる場合は、縦・横の2方向の入力をお勧めします。

【入力する数値を間違えたときは・・・】

間違えた場合は、数字の上をクリックして正しい数字を入力します。



3　レイアウト

レイアウトをします。

3-1　用紙に対して図面を描きやすい位置へ画像をドラッグして移動します。

3-2　レイアウトが終わったら、「OK」をクリックして、画像の取り込み作業を終了します。

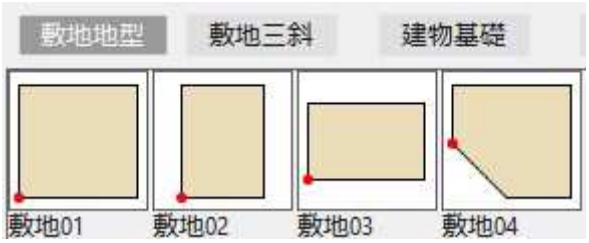
【OKを押してしまったら・・・】



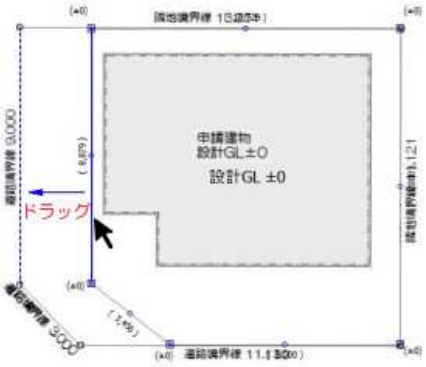
「OK」をクリックすると下絵調整の画面が消えます。
表示させたい場合は「表示」メニューの「下絵調整」をクリックすると画面が表示されます。

敷地基礎　レイヤは「敷地基礎」

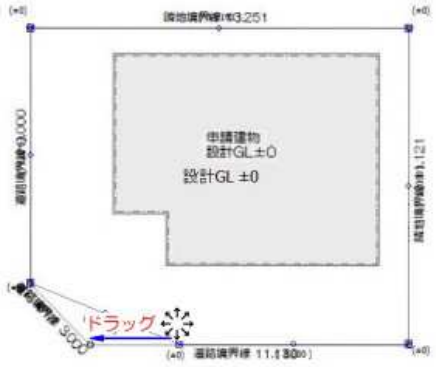
4　敷地を描く



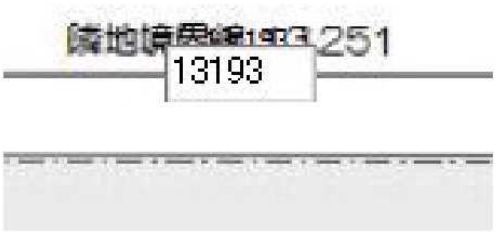
4-1　敷地形状に一番近い地型を、作業画面にドラッグします。



4-2　辺移動（辺が平行に移動します）
辺の上にカーソルを合わせ、↖になったらドラッグして移動します。



4-3　頂点移動（頂点を移動します）
頂点にカーソルを合わせ、✥になったらドラッグして移動します。

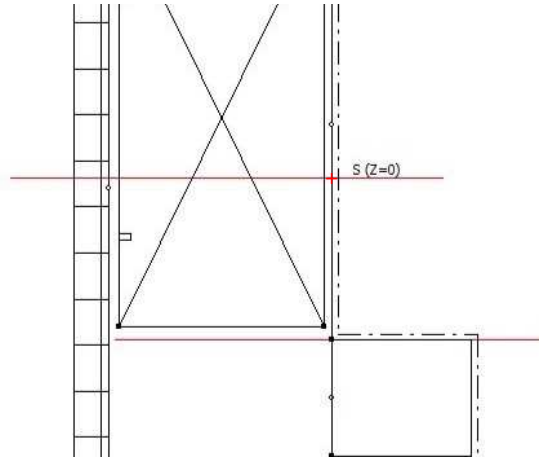


4-4　形が整ったら正確な敷地寸法を入力します。

取り込みデータにぴったり敷地をスタンプできたとして必ず寸法を入力してください。
建物基礎も同じ要領でスタンプし、形を合わせて寸法を入力します。

レベル一括変換画面で補助線の表示非表示

平面図に配置した補助線は、レベル一括変換画面にて表示／非表示を切り替えることができます。

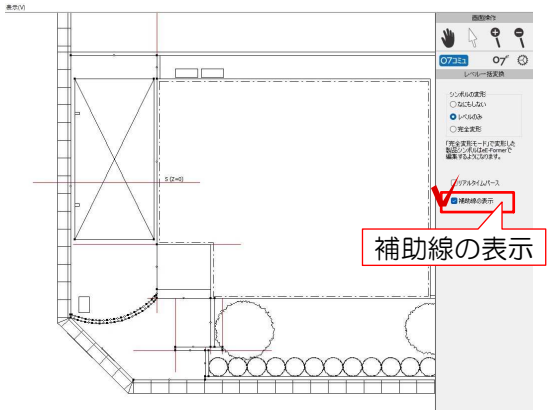


補助線を使って交点をつくるとレベル一括変換するときにカーソルが反応し、レベル入力しやすくなります。



1　ユニットレイヤでレベルを設定したい図形を選択します。

2　加工メニューの「レベル一括変換」を選択します。



3　レベル一括変換の設定画面が起動します。
補助線は画面右下の「補助線の表示」チェックボックスで、表示・非表示を切り替えられます。
表示すると交点でカーソルが反応するため、レベルを入力しやすくなります。不要な場合や画面をすっきり見たい場合は、チェックを外して非表示にできます。

WEBマニュアルの検索方法は
P13、14を参照

その他おすすめ機能

詳細はWEBマニュアルをご確認下さい。キーワードを選択して検索しましょう。
スマートフォン・タブレットで見る場合は、QRコードから閲覧することもできます。

■床の頂点レベル維持

検索キーワード　［床］

床の頂点を移動する際に、レベル（高さ）を維持したまま形状を調整できます。デザイン編集時も高さを変えることなく、スムーズに形状の修正が行えます。

■造園連続配置

［造園］［配列複製］

造園レイヤの植栽や添景を、補助線に沿って配列できます。
さらに、サイズを調整しながら配列できるため、配置後の手間を減らし、自然な造園デザインを効率よく作成できます。

■造園ユーザー登録

［ユーザー登録］

自作のオリジナル植栽セットを登録できます。
登録したデータは図面にそのまま配置でき、配置やバランス調整の手間を軽減します。よく使うアイテムをまとめておくことで、作図をよりスムーズに進められます。

■フォト添景・シルエット作成機能

［添景］

写真やイラストをもとに、AIが対象物を自動で抽出し、O7CADにビルボードデータとして登録できます。登録したデータを活用し、生活感のあるシーンを再現し、より伝わりやすいパース提案に活用できます。

※ビルボードは、カメラの向きに応じて常に正面を向く2.5Dデータです。

■カメラレイヤで配置カメラに対して可能な操作

［カメラ］

平面上で誤って動かしたカメラは、取り消し・やり直しが可能です。
補助線へのスナップで正確に配置でき、複数カメラもズレなく連続配置できます。さらに、コピー＆ペーストに対応し、別ファイルでも同じ視点でスムーズにパース作成が行えます。

■平面範囲カメラ

［カメラ］

「平面範囲カメラ」を配置することで、任意の特定範囲の平面をレンダリングできます。図面上で範囲の設定や管理ができ、複数のレンダリングにも対応します。
隣地データを除外したい場合や、庭部分のみをレンダリングしたい場合などに便利な機能です。

■光源レイヤー

［光源］［夜景］

平面上で光の明るさや影響範囲の調整、複製・削除が可能です。
カメラごとの点灯状態も記憶でき、昼夜のシーン切り替えをスムーズに行えます。
ラインライトなどシンボル内の同種の光源は、一括で設定できます。

■光源発光半径設定　検索キーワード　［光源レイヤー］

発光半径の設定により、自然な影の揺らぎを表現できます。
光の広がりや影の輪郭をコントロールでき、リアルで繊細なライティングに対応します。

■複数用紙印刷設定の機能追加　［用紙］

作図画面はそのままに、複数ページ印刷時の順番を設定画面から柔軟に変更できるようになりました。プレゼンや図面の流れに合わせた並び替えで、資料作成をよりスムーズにします。

■VR　［VR］

マウスドラッグでクルクルと回して見ることができるパースを作成し、QRコードを図面上に張り付けることができます。

■ムービー(プロモーションカメラ)　［プロモーションカメラ］

ドローンのような視点でプロモーション動画を作成できます。

■リアルタイム概算　［リアルタイム概算］

作図した図面から数量を拾い出し、概算見積を出すことができます。

■橘～TACHIBANA　※オプションソフト　［橘］

eE-Painterとは異なる風合いのイメージパースを作成することができます。
よりリアルなパースに仕上がります。

■背景合成　［背景合成］

写真を背景として取り込み、CAD図形と合成することができます。

【CADに取り込めるデータ】　［取り込み］

画像・POL/3D-DXF・OSX/3D-DXF・3DS・3D-DXF・JWW・
CSV（Excel）・STL・点群データ・
07部品ファイルや環境データ等の07CADの設定データ

【CADから取り出せるデータ】　［取り出し］

画像・3DS・3D-DXF・CSV（Excel）・STL・OBJ
07部品ファイルや環境データ等の07CADの設定データ

■07CADviewer　［リアルタイムパース］

App Storeから07CADviewerを「iPad／iPhone」にダウンロードすると、3Dデータを簡易パースで動かして確認できます。
打ち合わせでの説明にも活用できます。

07Cargo

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



詳細説明　P.45～

テキストのP.45～に載っています。



参考　[拾い出し・計測]を検索

webマニュアルで[拾い出し・計測]を検索しますと、参照マニュアルが表示されます。

目次

07Cargo

◇ 07Cargoとは 1

◆ 【e-Boardをお使いの方へ】 1

◇ 07Cargoの設定 2

◇ 07Cargoへファイルを保存する・開く方法 3

◇ 07Cargoの開き方 5

◇ お客様管理機能 6

◆ 【e-Boardをご利用されていた方は・・・】 11

◇ 新しい物件を作成する方法 13

◇ お客様情報と物件を連携する方法 14

◇ 物件を削除する方法 16

◇ 画面構成【ホーム画面】 18

◇ 画面構成【ファイル保管庫】 19

◇ 画面構成【一時保管】 21

◇ AIリアルフィルター 24

◇ プレゼンKIT 25

◇ 画面構成【プレゼンKIT】 26

◇ 共有ボードの活用方法 29

◇ 共有ボードを閲覧する方法 31

◇ VRデータを作成する方法 32

◇ 画面構成【パルス共有】 37

e-Put積算

◇ e-Putご使用の注意点 40

◇ 作業手順【07Cargoのみで作業する場合】 41

◇ 作業手順【07CADから作業する場合】 42

◇ 07Cargoの開き方 43

◇ 新しい物件を作成する方法 44

◇ マスター設定・環境設定 45

◆ 自社設定 45

◆ 担当者 47

◆ 仕入れ 48

◆ 台帳 50

◆ 入力補助 55

◆ 環境設定 59

◇ 画面構成【e-Put積算】 60

◇ リアルタイム概算　概要 62

◇ リアルタイム概算　拾い出し項目の設定 63

◇ リアルタイム概算　拾い出し前の準備 64

◇ リアルタイム概算 66

◇ 見積書を作成する方法 72

◆ 新しい見積を作る 73

◆ 各金額・粗利の確認 79

◆ 見積書の印刷 80

◆ 見積書印刷後の操作 81

◇ 契約書を作成する方法 82

◇　実行予算書を作成する方法　84

◇　注文書・請書を作成する方法　86

◇　請求書を作成する方法　88

◇　仕様書を作成する方法　89

◇　工程表を作成する方法　91

◇　e-Put　自動拾い出し機能の項目と数量について　95

07Cargo（ゼロナナカーゴ）とは？

オーセブンCAD2025以上、CAD基本サポート加入でお使いいただけるサービスです。
07CADファイル、VRデータ、見積データなどを「07Cargo」に保存すると、各種デバイス（タブレット、パソコン）で閲覧でき、社員・施主側・業者で情報を共有できるクラウドツールです。



インターネットがあればどこからでもアクセス可能で、図面、パース、VR、見積もり、契約書、実行予算書、発注書、請求書、そして工程表まで、一元管理ができます。

【e-Boardをお使いの方へ】

e-Boardから07Cargoへの切り替えをお願いいたします。
e-Boardもご利用いただけますが、サーバーは順次停止予定となります。
※e-Boardと07Cargo間でのデータ移動やコピー、共有はできません。
e-Boardのエンドユーザー、企業、担当者の情報は07Cargoへ移行できます。

テキスト 【e-Boardをご利用されていた方は・・・】 P.11

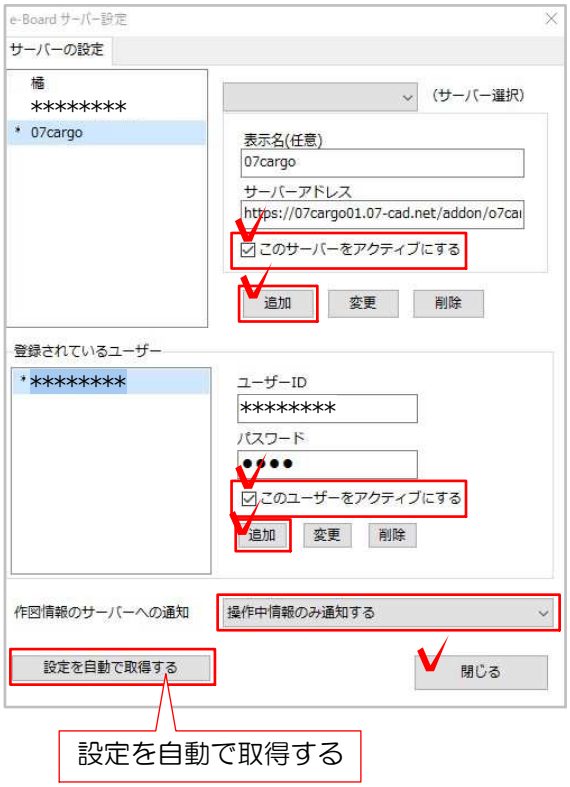
※橘サーバーの結果は、接続されているクラウドの方へ保存されます。

07Cargoの設定（CADとの連動）

クラウドサービスの07Cargoを使うとCAD図面やVRなどを外出先で閲覧したり、
施主側に直接共有することも容易にできるようになります。
ここでは、その為に必要な07CargoとCADの接続設定方法を解説します。



1　CAD画面左上のクラウドの設定ボタンをクリックします。



2　画面左下「設定を自動で取得する」ボタンをクリックで07Cargoの設定を自動取得することが可能です。設定できましたら完了です。

【手動で設定する場合】
1　サーバーアドレスを入力します。
表示名は任意の名前を入力します。
「このサーバーをアクティブにする」にチェックを入れ「追加」をクリックします。

2　ユーザーIDとパスワードを入力します。
「このユーザーをアクティブにする」にチェックを入れ「追加」をクリックします。

※保存サーバー、ユーザーID、パスワードは納品時の書類を確認して下さい。

【作図情報のサーバーへの通知】
通知するにしておくと07CADの使用状況の確認（パルス共有）ができます。

テキスト　画面構成【パルス共有】　P.37

オーセブンCADと07Cargoを連動することでできること

1　CADファイルを07Cargoに保存できる。
2　07Cargoに保存したCADファイルを、07Cargoと連動させた別のPCのCADで開くことができる。
3　CADで作成したVRデータやCAD図面を直接07Cargoに保存できる。
4　07Cargoへ保存したCADで作成した図面やVRデータと07Cargoで作成した見積関連書類は。
　07Cargo上のお客様情報で管理確認できる。
5　07Cargoへ保存したCADで作成した図面（JPEG形式）やVRデータは外出先で見ることができる。
6　07Cargoへ保存したCADで作成した図面（JPEG形式）やVRデータはプレゼンKITを介して施主側に共有できる。

07Cargoへファイルを保存する・開く方法

07Cargoに物件を作成し、07CADファイルを保存する手順を解説します。

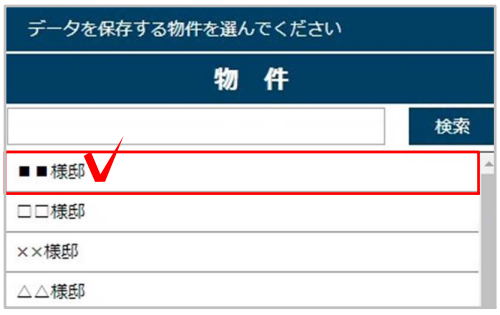
【CADデータ共有のメリット】

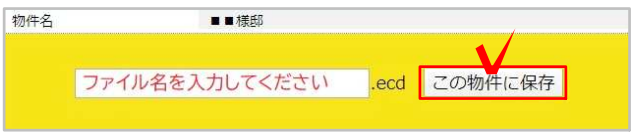
・作図途中のCADファイルを07Cargoに保存して、別のパソコンで作業の続きができます。
→データを持ち歩かずに自宅でも作業できる為、作業効率がUPします。
・過去の図面も物件情報と一緒にすぐに引き出せます。
→検索して引き出せるので、急な問い合わせやアフターフォローも瞬時に対応できます。











07Cargoに保存する方法

1　07Cargoに保存したいCADファイルを開きます。画面左上のクラウドの保存ボタンをクリックします。

2　物件を作ります。
「新しい物件を作る」をクリックします。
既に保存したい物件が作成されている場合はそちらをクリックします。
※作成前に検索をしますと重複がないか確認できます。

3　物件名を入力し、「作成する」をクリックします。

4　新しく作成した物件が表示されます。
物件をクリックし選択します。

5　ファイル名を入力します。
「この物件に保存」をクリックで完了です。

07Cargoからファイルを開く方法



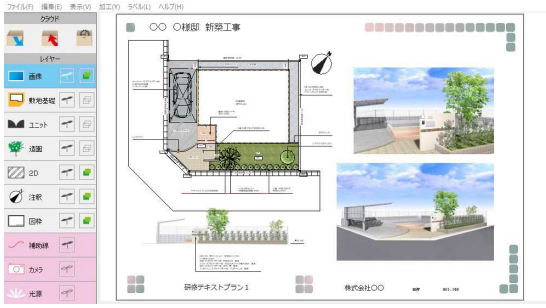
1　07CADを新規で開きます。
画面左上のクラウドの開くボタンをクリックします。



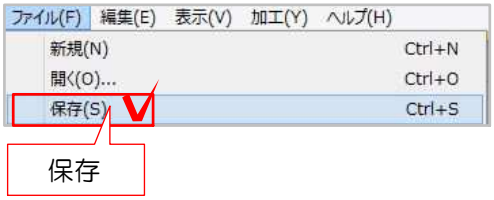
2　保存したファイルが入っている物件をクリックします。



3　右側に保存されているCADファイルが表示されます。「このファイルを開く」をクリックして開きます。



4　CADファイルが開きます。



【注意！！】

自動保存はされません。
必ずPC内（ローカル環境）に保存をしてから作業してください。
07Cargoへも自動保存はされませんので、作業終了後は再度07Cargoへも保存しましょう。

07Cargoの開き方

07Cargoを開く（見る）方法です。
また、CADファイルはオーセブンCADから開いて編集することができます。

1　ブラウザから開く

推奨ブラウザ



1　インターネットブラウザを開き、07Cargoのアドレスを入力し、Enterキーを押します。
※Google Chrome推奨です。



2　ブラウザでログイン画面が表示されます。
ログインIDとパスワードを入力します。
ログインをクリックして開きます。

※ネット環境があればタブレット端末でも07Cargoを開けます。保存したCADファイルを画像（JPG形式）で閲覧することは可能ですが編集はできません。

2　オーセブンCADから開く



1　「ファイル」メニューをクリックし、
「e-Board / 07Cargo」より、
「ブラウザで開く」をクリックします。



2　ブラウザでログイン画面が表示されます。
ログインIDとパスワードを入力し、ログインをクリックして開きます。

お客様管理機能

お客様の情報を登録し、管理する機能です。
電話対応時にお客様の情報を素早く検索、確認ができます。

1　お客様管理画面を開く



1　画面左上「お客様」をクリックします。



2　お客様管理画面が表示されます。
一覧/検索：登録したお客様を確認できます。
新規登録：お客様情報を登録できます。
設定：お客様管理画面の各種設定になります。

2　新規登録



1　「新規登録」をクリックします。
お客様情報を新しく登録する画面が開きます。

基本情報
種別：お客様の種類を選択します。
個人のお客様・企業のお客様・協力会社の3種類から選択できます。
区分：既存の顧客か未顧客（見込み客）か選択できます。「個人のお客様」と「企業のお客様」を選択の場合のみ表示されます。

会社情報
「企業のお客様」と「協力会社」を選択した場合は企業の「会社名・部署・業種・会社電話番号・会社メールアドレス・インボイス番号」の入力欄が表示されます。
インボイス番号を入力後「インボイス情報の確認」をクリックすると、インボイス情報の照会ページにて該当の登録番号は有効であるか確認できます。

不要事項：不要なものはチェックを付け、営業連絡の可否を判断できます。



住所1：メインで使う住所を入力します。
郵便番号を入力で市区町村まで自動入力されます。住所は2つ（現住所と新築予定地など）まで登録できます。
住所備考：特記事項があれば入力します。
住所の追加：複数の住所を登録できます。



お名前：お客様のお名前や連絡先を入力します。
お名前の追加：複数のお名前を登録できます。



振込先：協力会社を選択した場合、振込先の登録画面が表示されます。
振込先の追加：複数の振込先を登録できます。



同じ名前・電話番号・住所の人物が既に登録されている場合は、警告が表示されます。
をクリックで詳細確認できます。



重複している内容が表示されます。
詳細を別ウィンドウで表示する：既に登録されているお客様の詳細情報が開きます。

問題ない場合は「閉じる」をクリックで進みます。



2　必要事項の入力ができましたら「確認画面へ」をクリックします。お客様情報の確認画面が開きます。



3　お客様情報の確認画面が表示されます。
住所情報の をクリックしますと、Google マップで住所を確認できます。

4　変更点あれば「入力画面に戻る」をクリックし訂正します。
変更の必要なければ「登録」をクリックします。



5　登録完了と表示されます。
「一覧へ」をクリックで登録画面を閉じます。

３　登録情報の検索・確認
メモ・削除



1　「一覧/検索」をクリックします。
登録したお客様の情報を検索する画面になります。

検索条件：キーワードを入力で検索できます。
単語ごとにスペースを空けてお使いください。
分類では「個人」「起業」「協力会社」から選択し絞り込むことができます。

検索結果：これまでに登録したお客様情報が表示されます。検索条件を入力している場合は条件に含むお客様が表示されます。
をクリックで編集できます。



2　検索結果に表示されたお客様の項目をクリックします。登録情報を確認できます。

お問合せメモ：お客様からのお問い合わせ内容を書き残すことができます。
※一度書き込んだメモは削除・訂正ができません。

物件情報：「個人のお客様」の場合のみ表示されます。
作成した物件と連携し、担当している物件を確認できます。CADデータやVR保存、見積作成時に選択することで連携されます。
連携方法はP.14ページを参照下さい。

テキスト　お客様情報と物件を連携する方法　P.14



このお客様を削除する：「削除」をクリックで一覧に表示されなくなります。削除したお客様は「設定」より復元できます。

4　設定



1　お客様管理画面の設定ができます。
都道府県の表示/非表示や、ページに表示する数を変更できます。

2　変更後は「保存する」をクリックします。



削除されたお客様の復元：「復元画面を開く」をクリックでお客様情報を復元できます。
削除済のお客様一覧から復元したいお客様にチェックを入れ「選択したお客様を復元する」をクリックします。
「一覧/検索」の画面に再度表示されます。



お客様管理画面をスマートフォンから確認する場合は、スマートフォンでカメラを起動しページ下部のQRコードを読み取ってお使いください。
※ユーザー名とパスワードの入力が必要です。

【e-Boardをご利用されていた方は・・・】



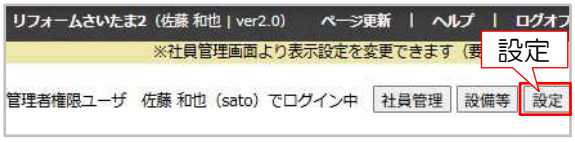
e-Boardをご利用されていた方は、「07Cargoエクスポートファイルを取り込む」より、お客様情報のデータを取り込むことができます。
これまでe-Boardに登録した情報を引き継いでご利用いただけます。



1　e-Boardを開き「データベース」をクリックします。



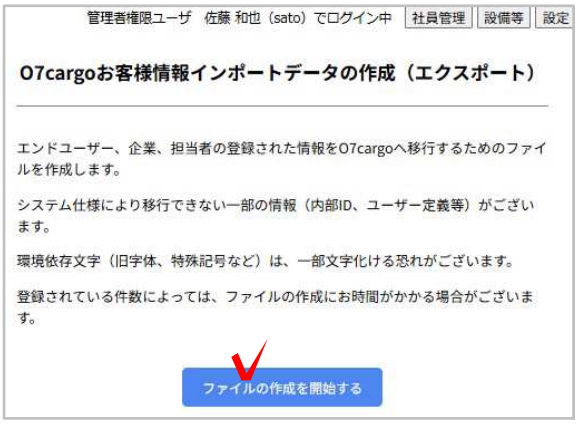
[e-Board]
→[e-Boardを開く方法]



2　「設定」をクリックします。



3　「07Cargoへのデータ移行」をクリックします。
※e-Boardの管理者権限のあるアカウントのみ表示されます。



4　移行画面が表示されます。
※システム仕様により移行できない一部の情報（内部ID・ユーザー定義等）もございます。
※環境依存文字（旧字体・特殊記号等）は一部文字化けが起こる恐れがございます。

「ファイルの作成を開始する」をクリックします。



5　作成できましたら「ファイルのダウンロード」をクリックでダウンロードします。「o7cargo移行用データ」というファイル名でダウンロードされます。デスクトップ等に保存ください。

ファイルの作成後にデータの変更があった場合は「ファイルを作成し直す」をクリックで再度作成ください。



6　07Cargoの「お客様」より「設定」を開きます。



7　「インポート画面を開く」をクリックします。



8　e-Boardで取り出した「o7cargo移行用データ」をデータを取り込みます。「ファイルを選択」をクリックでアップロードします。

※既に登録されている顧客情報を残す場合は「今あるデータは残す」にチェックを必ず入れてください。

「e-Boardの情報をインポート」をクリックで取込が始まります。

新しい物件を作成する方法

07Cargoの画面から物件を作成する方法です。
作成した物件の中にCADファイルを保存したり、見積書を作成することができます。

物件の作成方法



1　07Cargoを開きます。

2　画面左側「新しい物件を作る」をクリックします。



3　物件名を入力します。
「作成する」をクリックします。

作成しない場合は右上の×をクリックします。

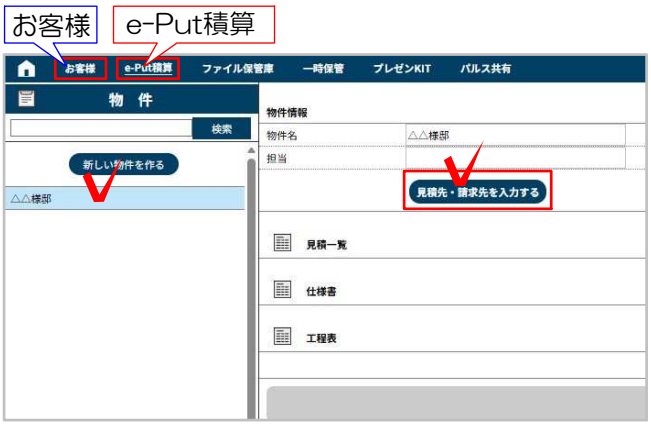


4　画面左側の物件一覧の上部に作成した物件が表示されます。

お客様情報と物件を連携する方法

「お客様管理」機能であらかじめ登録しておいたお客様情報と物件を連携する方法です。
連携しておくと、担当している案件を確認しやすくなります。

物件の連携



1　「e-Put積算」をクリックします。

2　画面左側でお客様情報を連携させたい物件をクリックします。

3　「見積先・請求先を入力する」をクリックします。



4　入力欄が表示されます。「お客様情報から探す」をクリックします。



5　登録したお客様情報を検索する画面が表示されます。連携したいお客様を探します。
「こちらのお客様を選択する」をクリックします。



6　情報が入力された状態になります。
「見積先・請求先を保存する」をクリックします。



7 「お客様情報と連携中」と表示されます。



8 「詳細を開く」をクリックでお客様情報が表示されます。



9 「物件情報」にて連携されているファイルや見積書等が表示されます。

物件を削除する方法

07Cargoの画面から物件を削除する方法です。



物件の削除方法

1　画面左上「ホーム画面」をクリックします。

2　削除したい物件をクリックします。

3　右側の「削除」をクリックします。



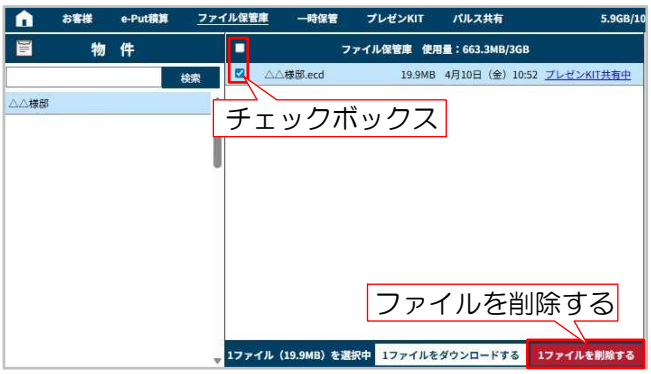
ファイルの削除方法

CADファイル・プレゼンKIT・見積が保管されている物件はそのまま削除ができません。
削除ができない場合はボタンが灰色で表示され、削除できる場合は赤色で表示されます。

物件の中に保管されているファイルを全て削除すると、物件の削除ができるようになります。



1　削除したいファイルをクリックします。



2　各ファイルの保管場所へ移ります。

削除したいファイル名の左側にチェックを入れます。一番上のチェックボックスにチェックを入れると、表示されているファイルに一括でチェックを入れることができます。

3　画面下の「ファイルを削除する」をクリックします。



4　確認画面が表示されます。
「ファイルを完全に削除する」をクリックで削除できます。

※削除をしたくない場合は、右上の×をクリックし確認画面を閉じてください。



5　ファイルを削除できましたらホーム画面に戻ります。削除したい物件をクリックし、ボタンが赤色で表示されましたら削除ができます。

画面構成【ホーム画面】

07Cargoのホーム画面です。
作成した物件やファイルを一覧で確認したり、07Cargoの設定を変更することができます。





更新日時	物件名	データ名	データタイプ	備考
3月20日（木）13:58	☆☆様邸	サンプル.ecd	ecd	
3月20日（木）13:55		サンプル（カメラ2）Tachibana.jpg	jpg	橘サーバー
3月20日（木）13:55		サンプル（カメラ1）Tachibana.jpg	jpg	橘サーバー
3月20日（木）13:53		マニュアルプラン（カメラ1）Tachibana.jpg	jpg	橘サーバー
3月20日（木）13:52		マニュアルプラン（カメラ2）Tachibana.jpg	jpg	橘サーバー
3月20日（木）13:52		マニュアルプラン（カメラ3）Tachibana.jpg	jpg	橘サーバー
3月20日（木）13:52		マニュアルプラン（カメラ1）Tachibana.jpg	jpg	橘サーバー

・ecd（07CADファイル）
・jpg（画像）
・pdf
・07EXVR（VR）
・見積書





ホーム画面

1　07Cargoで作成した物件が一覧で表示されます。物件名をクリックすると中に保管されたファイルを確認できます。

2　07Cargoにアップロードしたファイルが一覧で表示されます。

更新日時：ファイルを更新・保管した時間
物件名：ファイルが保管されている物件名
データ名：保管されているファイル名
データタイプ：ファイルの種類
備考：橘サーバーでレンダリングしたファイル
プレゼンKITのコメントで添付されたファイル
見積作成時に担当者が設定されているファイル
等にその旨が表示されます。

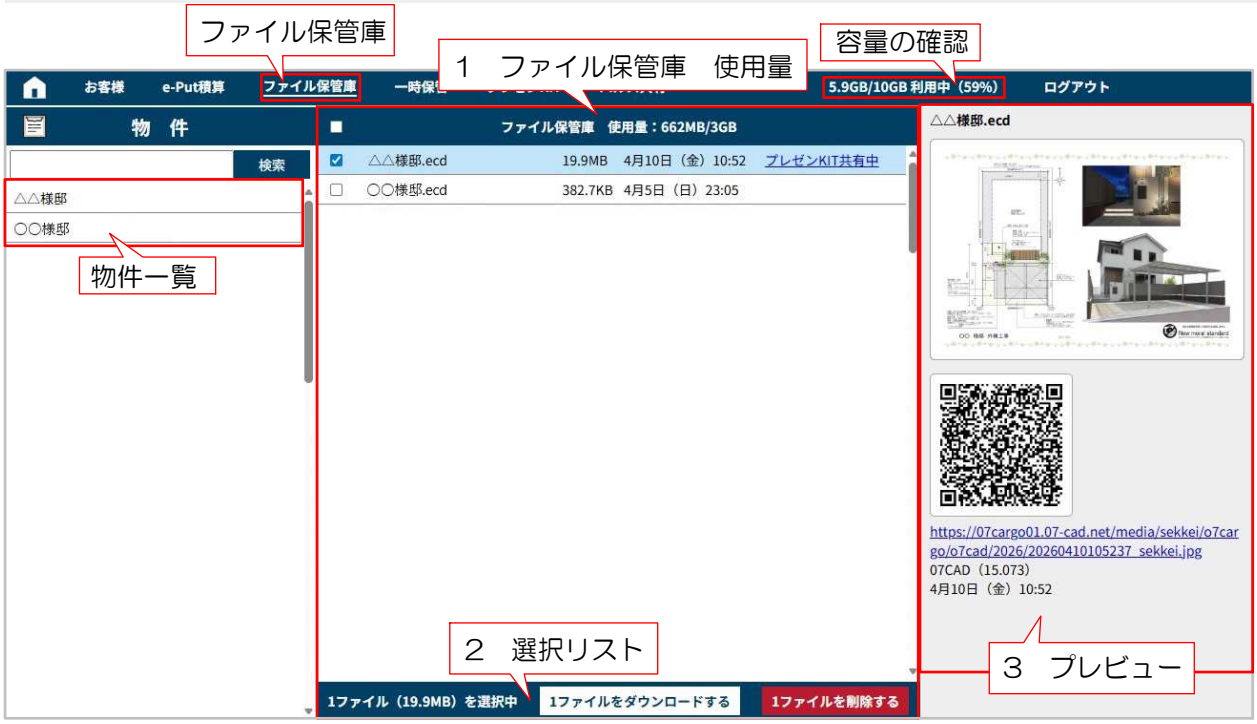
3　作成した物件/ファイルを検索し、探すことができます。

4　e-Put積算に必要な、取引先・台帳等の各種設定をすることができます。

テキスト　マスター設定・環境設定　P.45

画面構成【ファイル保管庫】

07CADからアップロードされたCADファイルや、画像ファイルが保管されます。
空き容量が無くなると新たに保管できなくなります。不要なファイルは削除し、整理をしましょう。



1　ファイル保管庫　使用量





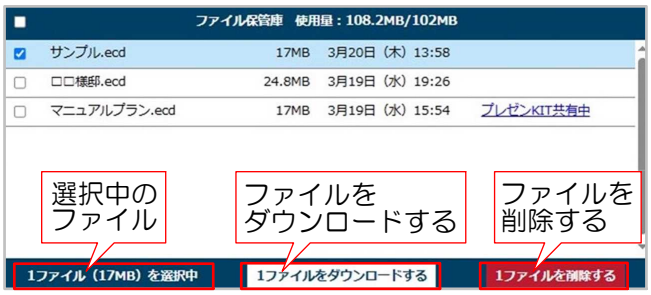
保管されているファイルと容量が一覧で表示されます。
内容を確認したり、チェックを入れたファイルのダウンロードと削除ができます。

1　ファイル名の左側にチェックを入れるとファイルを選択できます。
一番上のチェックボックスにチェックを入れると、表示されているファイルに一括でチェックを入れることができます。

2　プレゼンKITで共有されているファイルは備考欄に表記されます。
※削除すると共有ボードから閲覧ができなくなります。

・プレゼンKIT共有中
プレゼンKITで共有しているファイルです。

・プレゼンKIT添付ファイル
プレゼンKITのコメントで添付されたファイルです。



2　選択リスト

・選択中のファイル
現在選択しているファイルの個数、ファイル容量の合計値が表示されます。

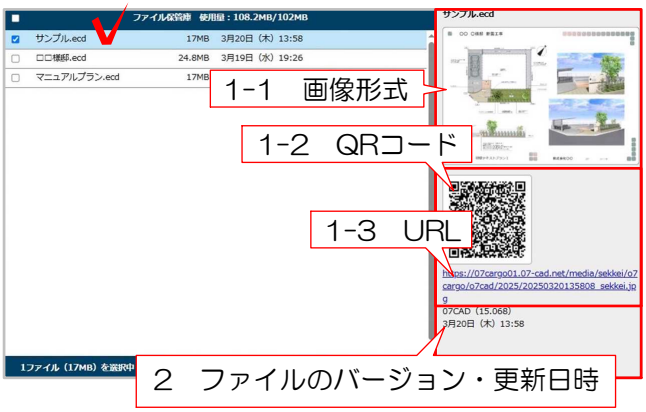
・ファイルをダウンロードする
クリックすると現在選択しているファイルをダウンロードできます。

・ファイルを削除する
クリックすると確認画面が表示されます。
「ファイルを完全に削除する」をクリックすると削除されます。
※削除後は復元できません。

※削除をしたくない場合は、右上の×をクリックし確認画面を閉じてください。



3　プレビュー



ファイル名をクリックすると画面右側に「画像形式」「QRコード」「URL」の3タイプで内容が表示されます。

1-1　画像形式
保管ファイルの内容を視覚的に確認できます。

1-2　QRコード
保管ファイルはすべて自動でQRコード化されます。
QRコードはスマートフォンで直接読み取ったり、メールなどで添付送信ができます。
読み取ったQRコードは「画像形式」で内容が表示されます。

1-3　URL
保管ファイルはすべて自動でURL化されます。
URLをクリックすると、大きな「画像形式」で内容が表示されます。
また、メールなどで添付送信することもできます。

2　CADファイルの場合、ファイル作成時に使用したCADのバージョンとファイル保管日時が表示されます。

画面構成【一時保管】

07CADから橋サーバーへの中継地となる、一時的な保管場所となります。
空き容量が無くなると新たに保管できなくなります。不要なファイルは削除し、整理をしましょう。



1　一時保管　使用量

橋サーバーでレンダリングしたファイルと容量が一覧で表示されます。
内容を確認したり、チェックを入れたファイルのダウンロードや削除ができます。

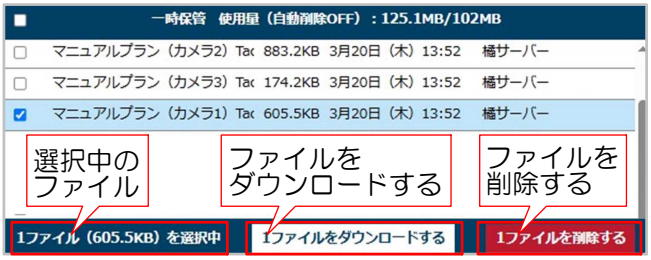
1　ファイル名の左側にチェックを入れるとファイルを選択できます。
一番上のチェックボックスにチェックを入れると、表示されているファイルに一括でチェックを入れることができます。

2　プレゼンKITで共有されているファイルは備考欄に表記されます。
※削除すると共有ボードから閲覧ができなくなります。





2　選択リスト



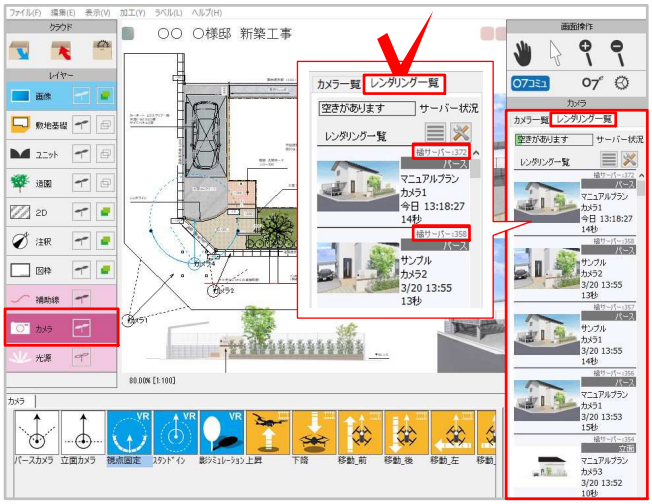
・選択中のファイル
現在選択しているファイルの個数、ファイル容量の合計値が表示されます。

・ファイルをダウンロードする
クリックすると現在選択しているファイルをダウンロードできます。



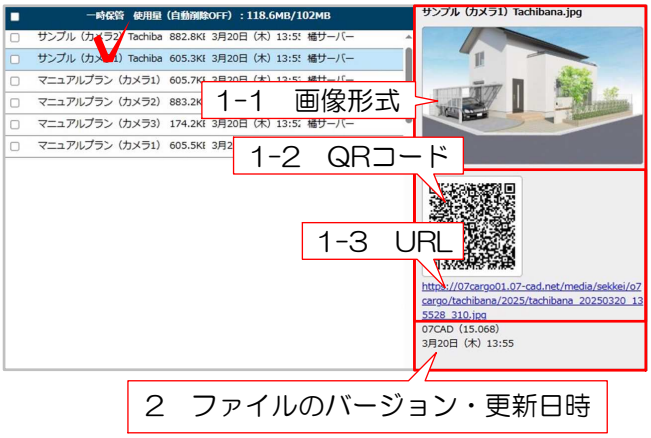
・ファイルを削除する
クリックすると確認画面が表示されるので「ファイルを完全に削除する」をクリックすると削除されます。
※削除後は復元できません。

※削除をしたくない場合は、右上の×をクリックし確認画面を閉じてください。



※CADの画面右側「レンダリング一覧」で「橋サーバー」と表示されているファイルが07Cargoの「一時保管」に保管されているファイルになります。

※ファイルを削除すると「レンダリング一覧」からも削除されます。



3　プレビュー

ファイル名をクリックすると画面右側に「画像形式」「QRコード」「URL」の3タイプで内容が表示されます。

1-1　画像形式

保管ファイルの内容を視覚的に確認できます。

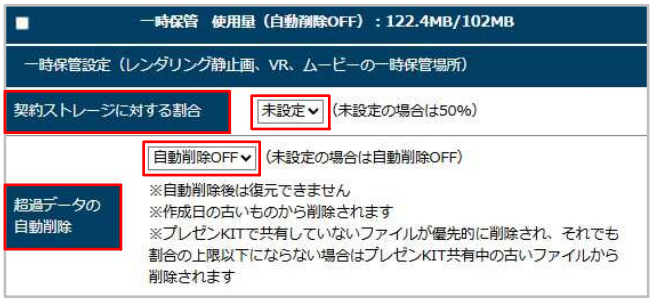
1-2　QRコード

保管ファイルはすべて自動でQRコード化されます。QRコードはスマートフォンで直接読み取ったり、メールなどで添付送信ができます。
読み取ったQRコードは「画像形式」で内容が表示されます。

1-3　URL

保管ファイルはすべて自動でURL化されます。
URLをクリックすると、大きな「画像形式」で内容が表示されます。
また、メールなどで添付送信することもできます。

2　CADファイルの場合、ファイル作成時に使用したCADのバージョンとファイル保管日時が表示されます。



4　一時保管設定

・契約ストレージに対する割合

全体の契約容量の内、どのくらい「一時保管」に割り当てるかを10%単位で指定ができます。

未設定の場合は契約容量の50%が割り当てられます。残り50%は「ファイル保管庫」に割り当てられます。

・超過データの自動削除

「自動削除ON」に設定すると、一時保管に割り当てられた容量を超えた場合に古いファイルから随時自動で削除されます。
プレゼンKITで共有していないファイルから優先的に削除されますが、容量が上限以下にならない場合はプレゼンKIT共有中の古いファイルも削除されます。
※削除後は復元できません。

AIリアルフィルター

橋レンダリングで出力した画像の景石や植栽などの仕上げを補助する機能です。
AI技術により、自然でリアルな表現を簡単に生成できます。
※07CADの橋レンダリングで出力した画像に限ります。
※AIによる生成のため、出力結果にばらつきが生じる場合があります。





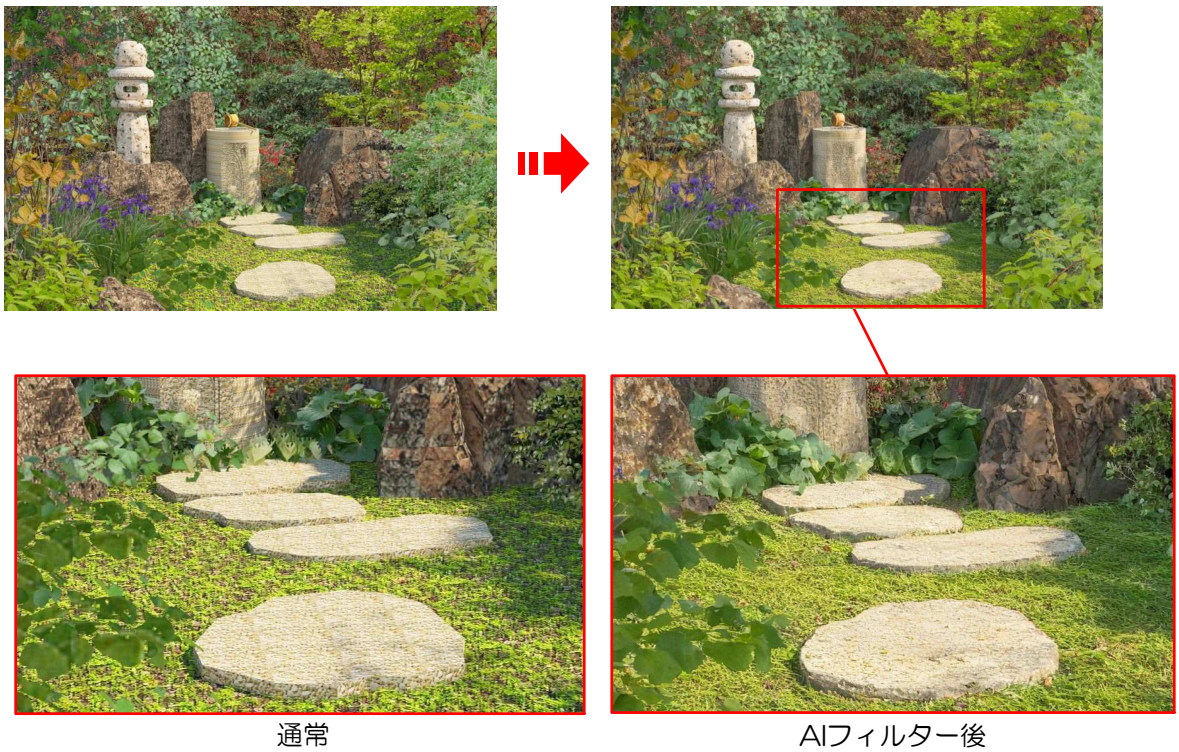
AIリアルフィルター

1　「07Cargo」を開き、一時保管をクリックします。

2　フィルターを使用したい画像をクリックします。

3　「AIリアルフィルター」をクリックします。夜景の場合は「AI夜景用フィルター」をクリックします。

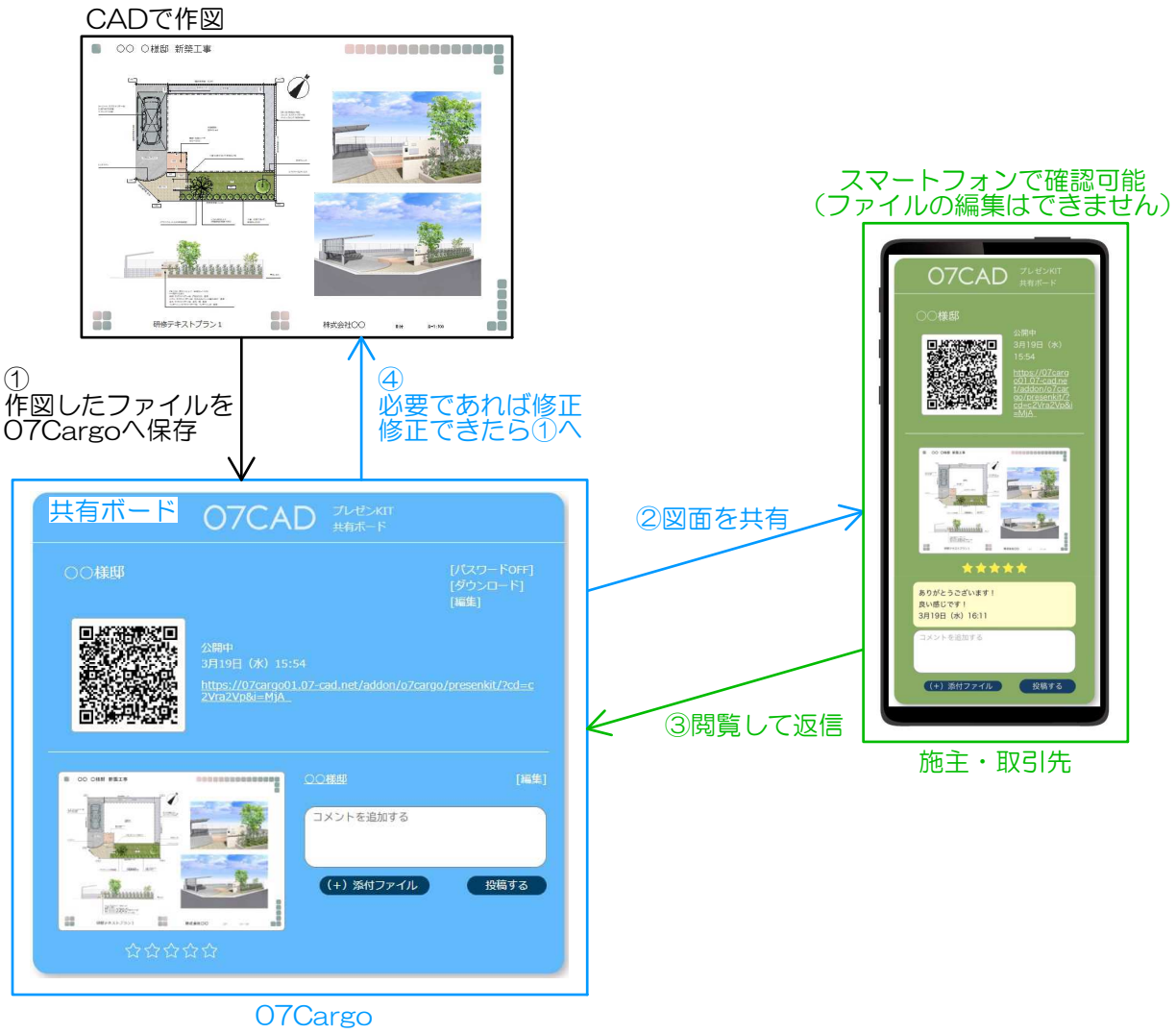
4　「AI処理が完了しました」と表示されます。変換済の画像をクリックで大きく確認できます。

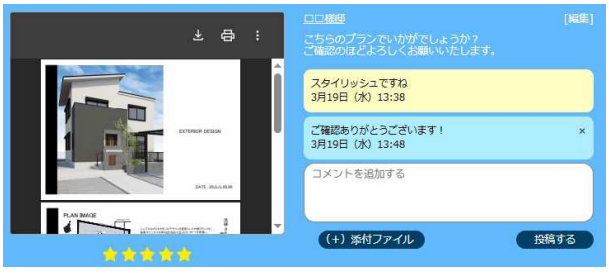


通常　　AIフィルター後

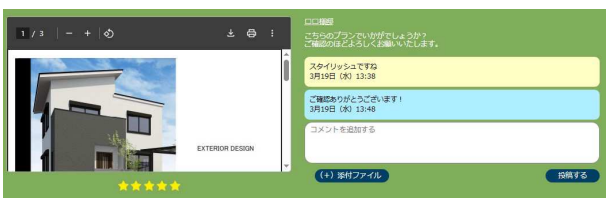
プレゼンKIT

施主側や取引先企業と提案図面や見積書を共有することができます。
ネット環境があれば情報を共有できるので、非対面でも円滑に打合せを進めることが可能です。





施主側・取引先とは「共有ボード」に資料をアップロードして、コメントを入力してやり取りができます。



施主側・取引先の画面では共有ボードで共有されたファイルに対して、☆を付けて評価もできます。

画面構成【プレゼンKIT】

プレゼンKITの画面です。「共有ボード」を作成し、施主側・取引先へ共有します。
共有ボードはQRコードもしくはURLで閲覧ができますので、ネット環境があればやり取りが可能です。





共有中（公開）　　作成中（非公開）

1　共有ボードの追加

「共有ボード追加」をクリックすると、共有ボードを作成することができます。
中央に表示されている画面が共有中の情報になります。
共有中（公開）は青色で表示されます。
作成中（非公開）は灰色で表示されます。
非公開の時はQRコード・URLが表示されません。



共有中（公開）　　作成中（非公開）

2　共有ボードの切り替え

「共有ボード追加」の左側に共有ボード名が表示されます。共有ボードが複数ある場合はクリックして切り替えることができます。

共有ボード名が青色の場合は共有中になっています。

３　共有ボードの編集

1





1　共有ボードの編集ができます。

・公開チェック

チェックを入れると、共有ボードが公開された状態になります。

・通知を受ける担当者

担当者の名前を選びチェックを入れると、共有ボードに書き込みがあった場合メールに通知が届きます。
担当者はホーム画面のマスター設定より設定ができます。メールアドレスの入力をしておくと「通知を受ける担当者」の下に表示されます。

・削除する

チェックを入れて保存をすると、共有ボードが削除されます。
※削除後は復元できません。

2





2　パスワードON/OFF
パスワードをONにすると、QRコードもしくはURLを読み取った上でパスワードを入力した場合のみ共有ボードを閲覧することができます。
パスワードは自分で入力して決定するか、自動生成でランダムに作成して決めることができます。

3



3　ダウンロードをクリックすると、
共有ボードでやり取りしたコメント
共有ボードにアップロードされたデータ
を一括でダウンロードできます。

4　共有ボード



1　QRコードを読み取るか、URLをクリックすると、施主側・取引先の視点で共有ボードを確認することができます。

2　施主側・取引先から共有ボードに反応があれば表示されている担当者のメールに通知が入ります。担当名は先方からは見えません。



3　画面右側にこれまでにアップロードされたファイルが一覧で表示されます。
e-Put書類・ファイル保管庫・一時保管をそれぞれクリックして画面を切り替えられます。

※橘サーバーでレンダリングをしたり、VRを作成したりするとO7Cargoに保存されます。
※選択している物件の中に入っているファイルは黄色で表示されます。

4　「追加する」をクリックすると共有ボードにファイルを追加できます。



5　施主側・取引先から評価があれば黄色の☆が表示されます。この画面で評価を付けることはできません。

6　コメントを入力してやり取りができます。
自分：水色
施主側・取引先：黄色で表示されます。
「添付ファイル」をクリックし、資料を添付することもできます。写真を見せてイメージを伝えたい場合は資料を添付ください。
×をクリックするとコメントを削除できます。



7　編集をクリックすると添付したファイルのタイトル・説明文を変更できます。
タイトルは変更しても、ファイル保管庫に保存されているファイル名は変わりません。

「削除する」にチェックを入れ「保存する」をクリックすると添付されたファイルが削除されます。
※削除後は復元できません。

※編集しない場合は、右上の×をクリックし確認画面を閉じてください。

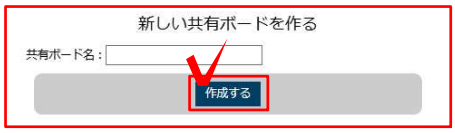
共有ボードの活用方法

共有ボードを作成してCAD図面やパース、VRなどを施主側や取引先へ共有する方法です。
コメントを入れたり、施主側や取引先は☆を付けて簡単な評価を行うこともできます。

1　共有ボードの追加



1　共有ボードを作成したい物件をクリックします。「共有ボードを追加」をクリックします。



2　共有ボード名を入力して「作成する」をクリックします。



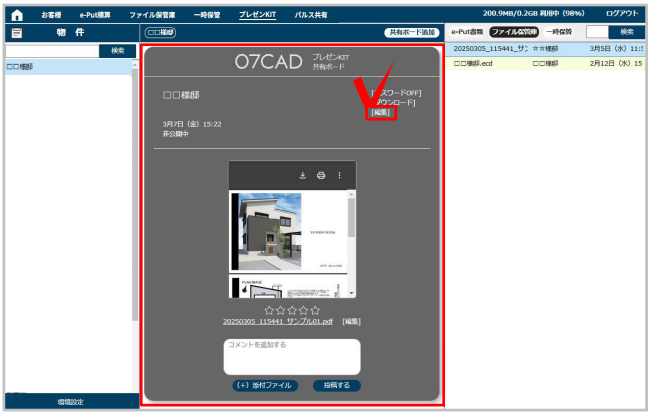
3　共有ボードが作成されました。

2　共有ボードに資料をUPする



1　画面右側にこれまでにアップロードされたファイルが一覧で表示されます。
e-Put書類・ファイル保管庫・一時保管をそれぞれクリックして画面を切り替えられます。

※橘サーバーでレンダリングをしたり、VRを作成したりするとO7Cargoに保存されます。
※選択している物件の中に入っているファイルは黄色で表示されます。



2　共有したいファイルをクリックします。

3　「追加する」をクリックします。

4　共有ボードに資料が追加されました。
共有ボードの色が灰色だと非公開の状態になっています。
※非公開の場合、施主側・取引先から閲覧することができません。

5　「編集」をクリックし設定をします。



6　「公開チェック」にチェックを入れます。
通知を入れておきたい場合は、担当者を選びチェックを入れます。
※担当者が表示されない場合は、ホーム画面のマスター設定から担当者のメールアドレスを入力してください。

テキスト　担当者　P.47



7　保存するをクリックして保存します。

8　共有ボードの色が青色になり、QRコードとURLが作成され公開された状態になります。
パスワードが必要な場合は設定をします。

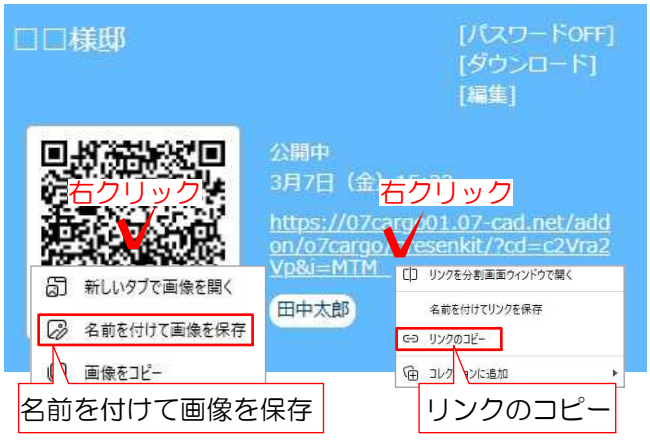
テキスト　共有ボードの編集　P.27

共有ボードを施主側へ共有

施主側へQRコード、もしくはQRコードの右側に表示されているURLを共有します。

1　QRコードを右クリックし「名前を付けて画像を保存」をクリックします。保存先はデスクトップを選び保存をしてください。

もしくは、URLを右クリックし「リンクのコピー」をクリックします。



2　お使いのメールアプリを開きます。
※各種SNS等も可能です。
メールにQRコードの画像を添付します。
URLの場合は、メールの本文で右クリックし「貼り付け」をクリックします。
※パスワードの設定をした場合はあわせて入力し、相手へ通知ください。

メール（アプリの種類により画面は異なります）



【QRコードの場合】　【URLの場合】

3　送り先のアドレス、本文を入力して送信します。先方はQRコードを読み取るか、URLをクリックすると確認できます。

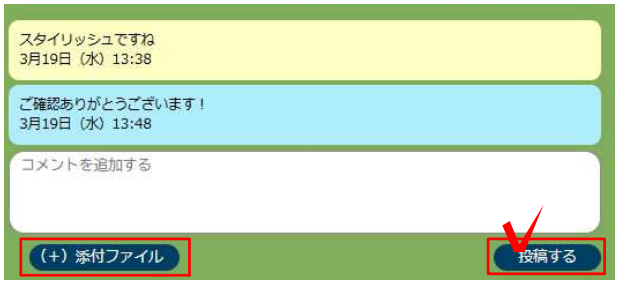
※次のページでは施主側・取引先へ向けての使い方・解説になります。必要であれば印刷してお渡しください。

共有ボードを閲覧する方法









QRコードを読み取る、またはURLを開くと、上記のような緑色の画面が表示されます。
※パスワード入力画面が表示された場合は、通知されたパスワードを入力ください。

1　共有された資料を確認できます。

2　資料を大きく確認したい場合はこちらをクリックします。ファイル名の下に資料についての説明文が表示されます。
※説明文がない場合は表示されません。

3　☆を付けて五段階で評価ができます。
共有された資料を確認して評価をしましょう。

4　コメントを入力してやり取りができます。
自分：黄色　相手：水色で表示されます。

「添付ファイル」をクリックして、資料を添付することもできます。写真を見せてイメージを伝えたい場合は資料を添付ください。

【注意！！】

「投稿する」をクリックすると相手に送信されます。投稿した後はコメントの内容を編集したり削除することが出来ないので、ご注意ください。

VRデータを作成する方法

07CargoにVRデータを保存する方法と、07CargoでVRを確認する方法を解説します。

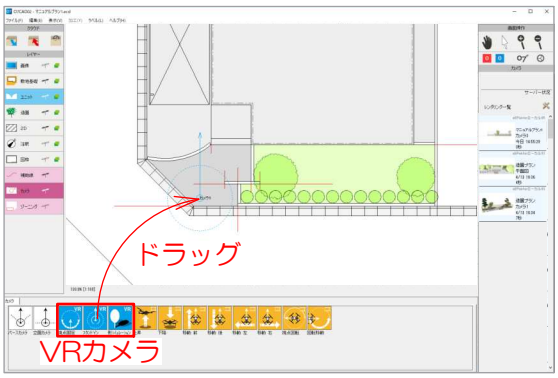


VRレンダリングとは･･･
自由に目線を動かして見ることができる
イメージを作成する機能です。

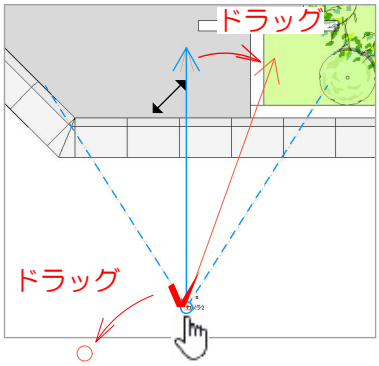
【VRデータ共有のメリット】

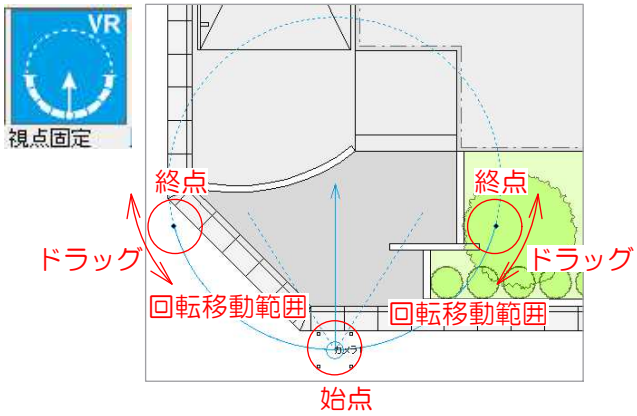
・スマートフォンやiPadなどのタブレット端末で手軽にイメージを見せることができます。
・QRコードも同時に作成できます。
・チラシや提案資料に貼り付けてお施主様にスマートフォンでご覧いただくことも可能です。
・360°動くイメージをお見せして他社と差をつけたプレゼンができます。

1-1



1-2
1-3





1　VRを作成する手順

VRの作成はCADより行います。
1-1　カメラレイヤーを選択し、VRカメラを配置します。

カメラの位置と角度を調整します。

○　　→ 自分が立つ位置
矢印の先　→ 見たいものがある場所
矢印の方向　→ 見る方向
- - -　　→ 視野範囲

1-2　カメラの○にカーソルを合わせ、になりましたら、ドラッグでカメラの位置を合わせます。

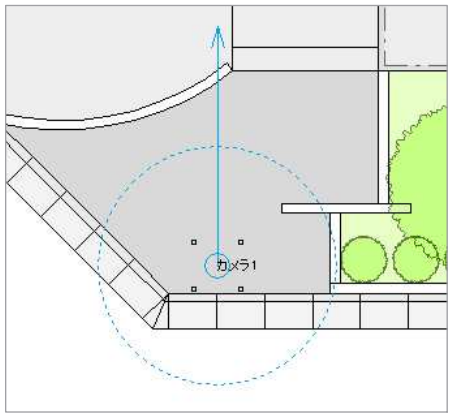
1-3　カメラの矢印の先にカーソルを合わせます。になりましたら、ドラッグして矢印の先を見たい方向へ伸ばします。矢印の先を伸ばすと視野範囲が広くなります。

【視点固定】

矢印の先（対象物）中心に周囲を回ります。
外周から回りながら見渡せることで建物とエクステリアの配置関係や広さが伝わり、各エリアの繋がりや動線が視覚的に確認でき、暮らしやすさをイメージしやすくなります。

終点をドラッグし回転範囲を変更できます。

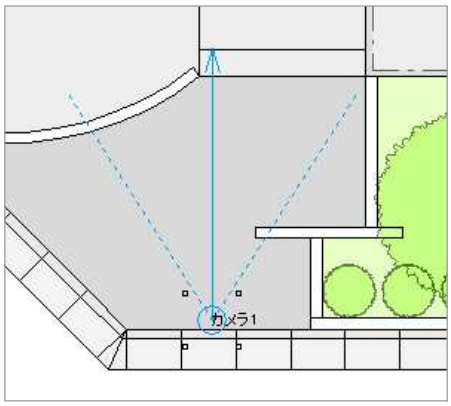




【スタンドイン】

<u>カメラの位置から360°を見回します。</u>
<u>VRゴーグルを使用できます。</u>
施主側が自ら操作しながら体感できる為、まるで実際にその空間にいるような臨場感がリアルに伝わります。
これにより、完成後の姿が具体的にイメージしやすくなり、納得感と決断力が一層高まる効果的な手法です。

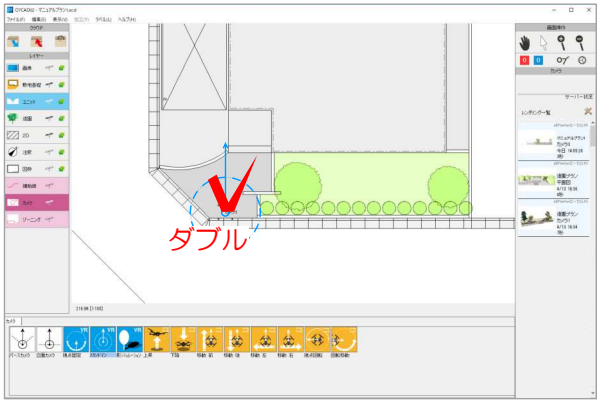




【影シミュレーション】

<u>視点は動かず、影が動きます。</u>
時間経過による影の動きを見せることで、日差しと影のバランスが直感的に把握でき1日の暮らしの変化をリアルに想像しやすくなります。

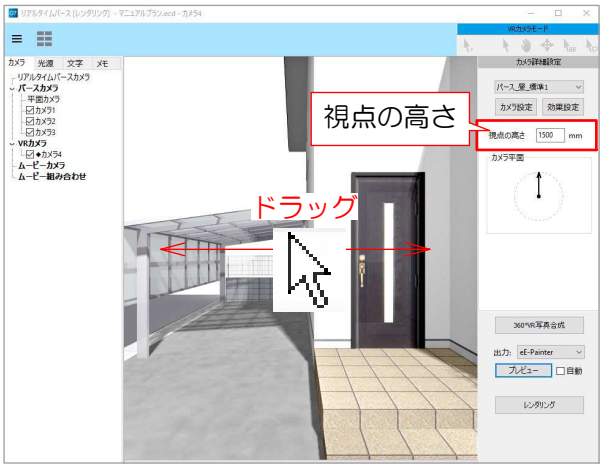
1-4



1-4　配置したカメラをダブルクリックします。

リアルタイムパースに選択したカメラのプレビューが表示されます。

1-5



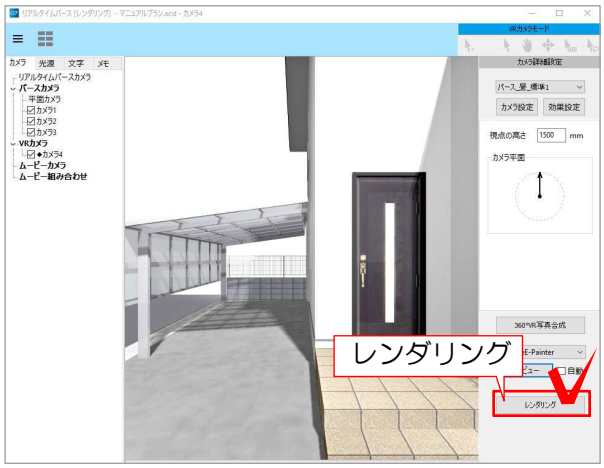
1-5　視点の高さの調整をします。

※視点固定VRの場合、視点・注視点の高さ、回転範囲が指定できます。
※影シミュレーションVRの場合、視点・注視点の高さ、所在地、設定日が指定できます。

1-6　ドラッグで視点を動かし確認します。

2　レンダリング・07Cargoへ送る

2-1



2-1　画面右下の「レンダリング」をクリックします。

「レンダリング出力設定」が表示されます。

2-2



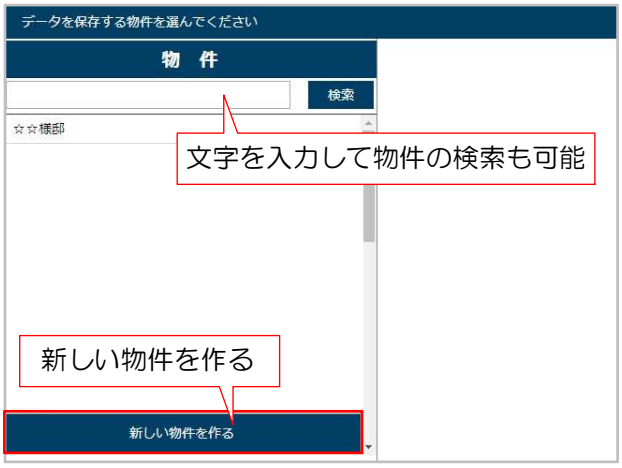
2-2　「eE-Painter」にチェックを入れ、「e-Board / 07Cargo へ保存」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。

※橘(オプションソフト)をご導入頂いてる方は橘サーバー、橘ローカルも選択できます。

橘サーバーを選択している場合は、「e-Board / 07Cargo へ保存」にチェックが必ず入った状態になります。

07Cargoの物件の一覧画面が表示されます。

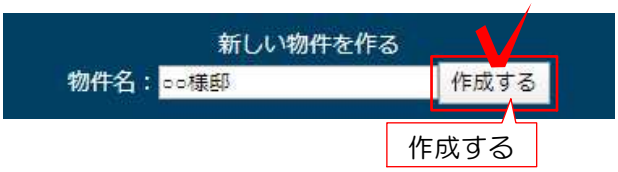
2-3



2-3　新しく物件を作る場合は「新しい物件を作る」をクリックします。
※保存する物件が既にある場合は、物件の名前をクリックします。

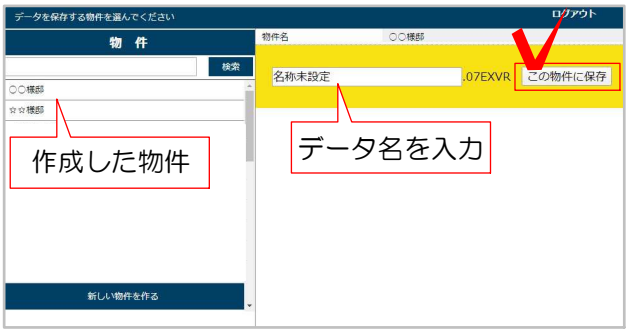
物件を新しく作る場合は入力画面が表示されます。

2-4



2-4　物件名を入力し作成を選択します。

2-5



左側に作成した物件が表示されます。

2-5　保存するデータ名を入力し、
「この物件に保存」を選択します。

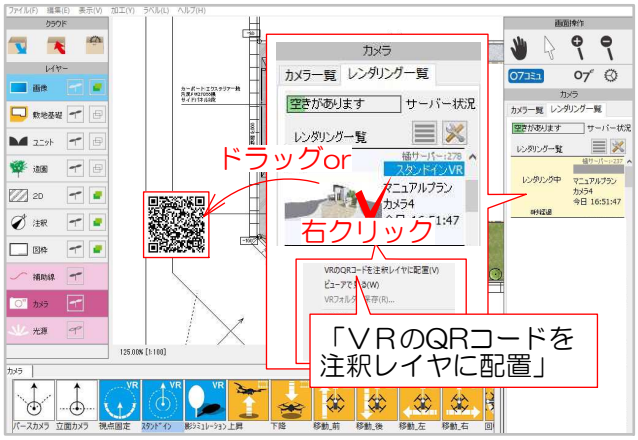
2-6



レンダリング中は、カメラレイヤーの画面右側のレンダリング一覧で「レンダリング中」と表示されます。
レンダリングが完了すると、パース画像が表示されます。

2-6　パース画像をダブルクリック、
もしくは右クリックし「ビューアで見る」
からVRを確認できます。

2-7



2-7　パース画像を用紙に向かって
ドラッグ、もしくは右クリックし「ＶＲの
QRコードを注釈レイヤに配置」でQRコー
ドを配置します。

QRコードが図面上(注釈レイヤ)に配置されます。

こちらのQRコードをスマートフォンなどで
読み取るとVRが閲覧できます。

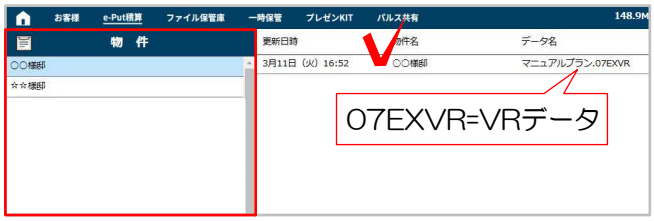
3　VRデータを07Cargoで見る方法

3-1



3-1　ブラウザで07Cargoを開きます。

3-2



3-2　画面左の「物件」から、
VRが保存された物件をクリックします。
データ名が「○○.07EXVR」の場合、VRデータになります。こちらをクリックします。

3-3



3-3　一時保管の画面に移ります。
VRのデータを改めてクリックすると右側にVRの確認画面、QRコード、URLが表示されます。
URLをクリックします。

※スマートフォンで確認する場合はQRコードを読み取ってください。

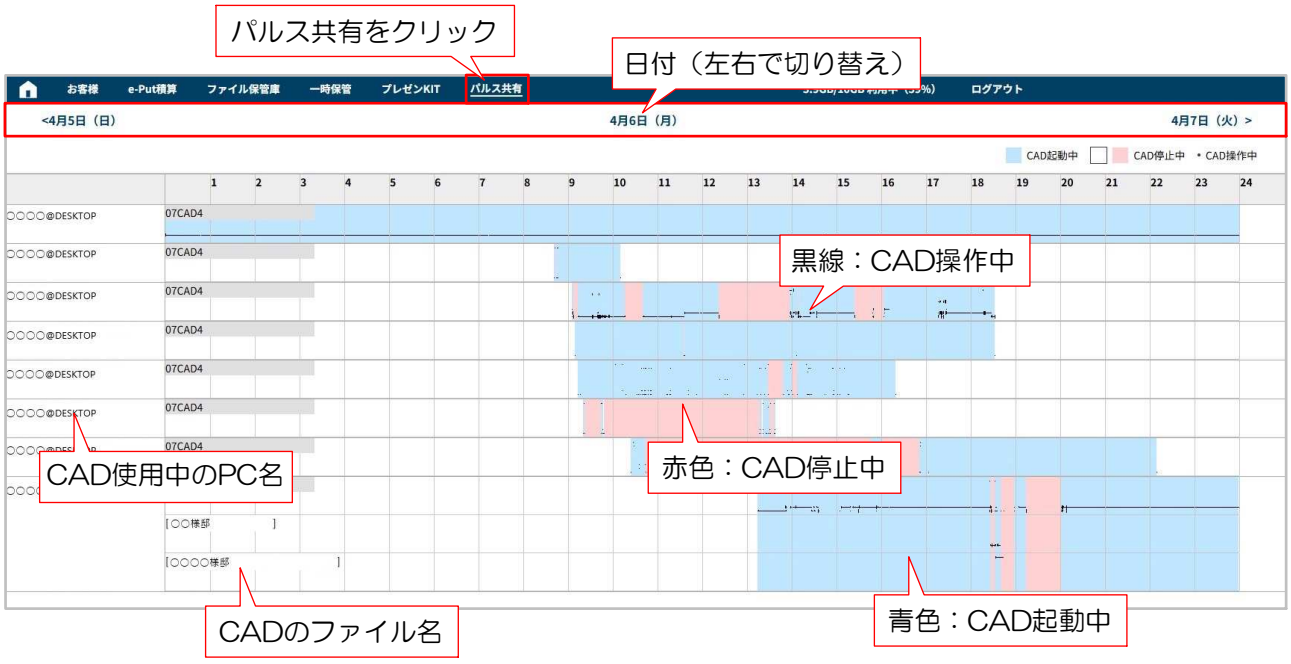
3-4

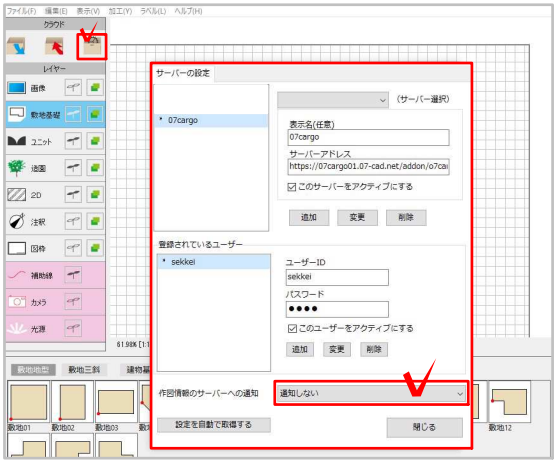


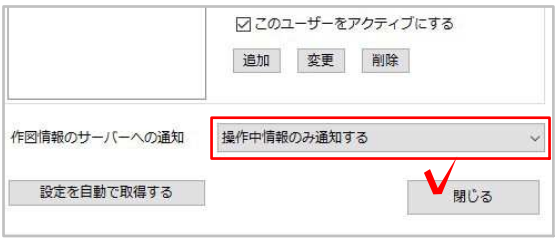
3-4　VRが表示されます。
左右にドラッグしてイメージパースを確認します。

画面構成【パルス共有】

パルス共有の画面構成です。
どのPCでいつCADを操作していたのか、操作中の情報を07Cargoで確認することができます。
テレワーク・遠隔地のオペレーターの作業状況も共有・管理できます。







パルス共有を利用する為のCADの設定

1　CAD画面左上の設定ボタンをクリックし、サーバー設定の画面を開きます。

※07Cargoの「サーバーの設定」を先に設定しておく必要があります。

2　サーバー設定画面下の「作図情報のサーバーへの通知」の右側の灰色のタブをクリックします。

3　「操作中情報のみ通知する」を選択します。

※通知しないになっている場合はパルス共有の画面には何も表示されません。



07Cargo

見積作成

e-Putご使用の注意点

【重要】

以下の点をご理解の上、e-Putをご利用ください。

・07CADで作成した図面から拾い出された面積や長さは作図データから出されたものです。
現況数値とは異なりますので、その点を考慮した上で数値の調整を行ってください。

・拾い出し時に入力されている商品の価格は、e-tokoカタログ・建材サーチに掲載されている
メーカーカタログの定価価格です。
こちらはリアルタイムでの価格、内容更新をしておりませんので、あくまで目安としてご利用
ください。見積ご提出前に**必ずご自身で金額確認をお願いいたします**。

・金物商品の付帯金具の項目、個数は商品によって異なります。
e-Putではその情報を含んでおりません。
実際の必要金具項目、及び個数はご自身でご確認の上、お見積作成をお願いいたします。

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



詳細説明　P.45～

テキストのP.45～に載っています。



参考　[拾い出し・計測]を検索

webマニュアルで[拾い出し・計測]を検索
しますと、参照マニュアルが表示されます。

作業手順【07Cargoのみで作業する場合】

見積書作成までの流れです。

物件作成： 07Cargoを開き、物件を作成します。

07Cargo



1　「物件」を作成

2　マスター設定・環境設定

見積： e-Putで見積をします。

07Cargo【e-Put積算】



1　取込み・反映

・マスター台帳　　・拾い出しデータ



2　見積設定

・原価・単価設定　　・諸経費設定
・書き換え　　・値引き設定
・情報追加　　・消費税設定



3　印刷

書類作成： 契約が決まったら、契約書や請求書を作成します。

07Cargo【e-Put積算】



1　書類作成

・契約書　　・実行予算書
・請求書　　・仕様書
・工程表　　・注文書・請書



2　印刷

作業手順【07CADから作業する場合】

07CADで作成した図面を使い、見積書を作成するまでの流れです。

物件作成：07Cargoで物件を作成します。

07Cargo



1　「物件」を作成

リアルタイム概算（拾い出し）：図面から見積に必要な箇所の数値を拾い出します。

07CAD





1　ユニットレイヤで右クリック→拾い出し

選択して自動拾い出し　or　一括拾い出し

2　必要な項目を選択、数値の調整

・削除　・追加　・編集　・統合
・セクションに分ける

3　07Cargoの「物件」へデータ送信

見積：拾い出したデータを元にe-Putで見積をします。

07Cargo【e-Put積算】







1　取込み・反映

・マスター台帳　・拾い出しデータ

2　見積設定

・原価・単価設定　・諸経費設定
・書き換え　・値引き設定
・情報追加　・消費税設定

3　印刷

07Cargoの開き方

07Cargoを開く（見る）方法です。
また、CADファイルはオーセブンCADから開いて編集することが出来ます。

1　ブラウザから開く

推奨ブラウザ



1　インターネットブラウザを開き、07Cargoのアドレスを入力し、Enterキーを押します。
※Google Chrome推奨です。



2　ブラウザでログイン画面が表示されます。ログインIDとパスワードを入力します。
ログインをクリックして開きます。

※ネット環境があればタブレット端末でも07Cargoを開けます。保存したCADファイルを画像（JPG形式）で閲覧することは可能ですが編集はできません。

2　オーセブンCADから開く



1　「ファイル」メニューをクリックし、「e-Board / 07Cargo」より、「ブラウザで開く」をクリックします。



2　ブラウザでログイン画面が表示されます。ログインIDとパスワードを入力し、ログインをクリックして開きます。

新しい物件を作成する方法

07Cargoの画面から物件を作成する方法です。
作成した物件の中にCADファイルを保存したり、見積書を作成することができます。

物件の作成方法



1　07Cargoを開きます。

2　画面左側「新しい物件を作る」をクリックします。

※表示されない場合は左側の物件一覧の部分を下にスクロールしましょう。



3　物件名を入力します。
「作成する」をクリックします。

作成しない場合は右上の×をクリックします。



4　画面左側の物件一覧の上部に作成した物件が表示されます。

マスター設定・環境設定

ホーム画面で、e-Put積算（見積ソフト）を使用する為の設定ができます。
見積書等の書類を作成する前に設定を行います。

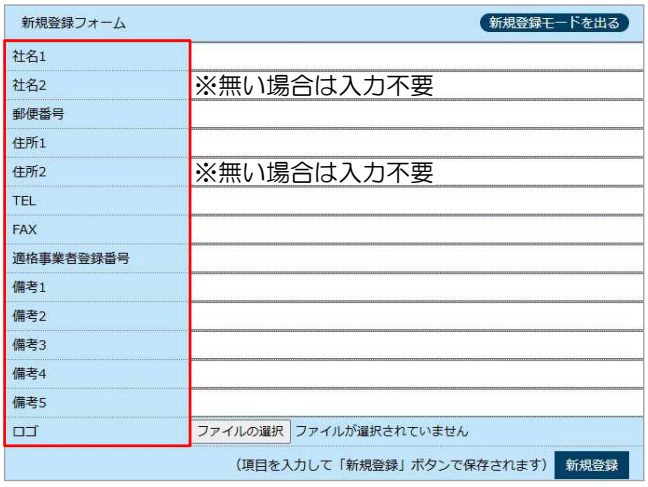


1　自社設定



「自社設定」で自社の情報を設定します。
あらかじめ入力しておくと、**見積書等の書類作成時に自社の情報をそのまま記載することができます。**

1　ホーム画面をクリックします。
「マスター設定」の「自社設定」をクリックし画面右側の「+新しい自社情報を追加する」をクリックします。



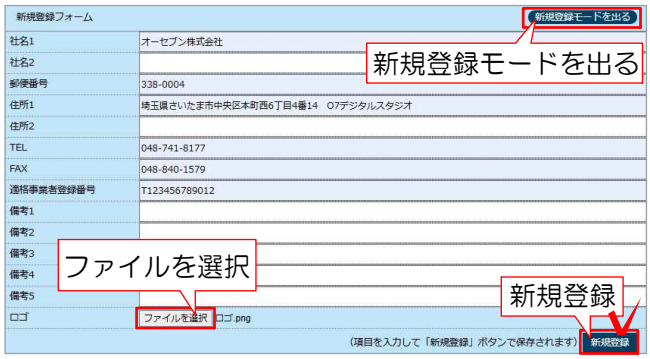
2　「新規登録フォーム」が表示されます。
自社の情報を入力します。
社名1：社名を入力します。
社名2：社名が複数あれば入力します。
（無い場合は入力不要）
郵便番号：郵便番号を入力します。
住所1：住所を入力します。
住所2：他の場所にも事務所や支店があれば入力します。（無い場合は入力不要）
TEL：電話番号を入力します。
FAX：FAX番号を入力します。
適格事業者登録番号：登録番号を入力します。
備考1～4：特記事項があれば入力します。
ロゴ：作成した書類に自社のロゴを入れることができます。

【印刷後の見積書】



入力した自社情報は、見積書の右下に表示されます。





3　ロゴを設定する場合は、ロゴ画像をあらかじめデスクトップ等に用意しておきます。
「ファイルを選択」をクリックし、ロゴ画像を選択後「開く」をクリックで追加できます。
（無い場合は登録不要）

4　「新規登録」をクリックで設定完了です。
自社情報を複数登録しない場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。



5　自社情報を複数登録した場合は、社名左側の↕を上下にドラッグで、登録情報の表示順を変更できます。
設定を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。



6　「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

7　編集できましたら、右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

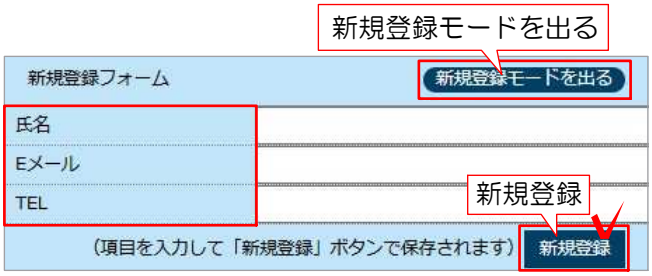
自社設定を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。
※削除後は復元できません。

２　担当者



「担当者」で自社担当者の情報を設定します。
あらかじめ入力しておくと、**見積書等の書類作成時に担当者の情報をそのまま記載することができます。**

１　ホーム画面をクリックします。
「マスター設定」の「担当者」をクリックし画面右側の「新しい担当者を追加する」をクリックします。



２　「新規登録フォーム」が表示されます。
自社担当者の情報を入力します。

氏名：担当者の名前を入力します。
Eメール：メールアドレスを入力します。
TEL：電話番号を入力します。

３　「新規登録」をクリックで設定完了です。
担当者を複数登録しない場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。

【見積書作成画面】



※入力した担当者の情報は、見積書作成画面で表示され選択できます。



４　担当者を複数登録した場合は、担当者名左側の↕を上下にドラッグで、担当者の表示順を変更できます。
担当者を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

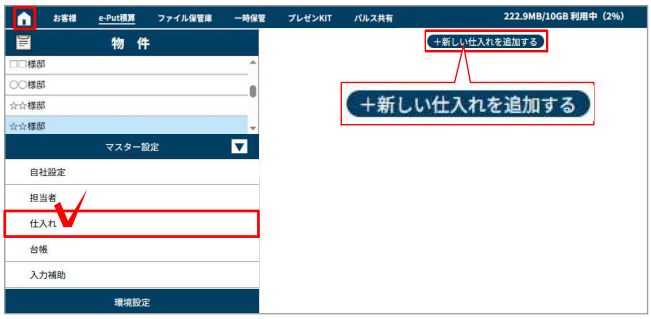


５　「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

６　編集できましたら右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

担当者を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。
※削除後は復元できません。

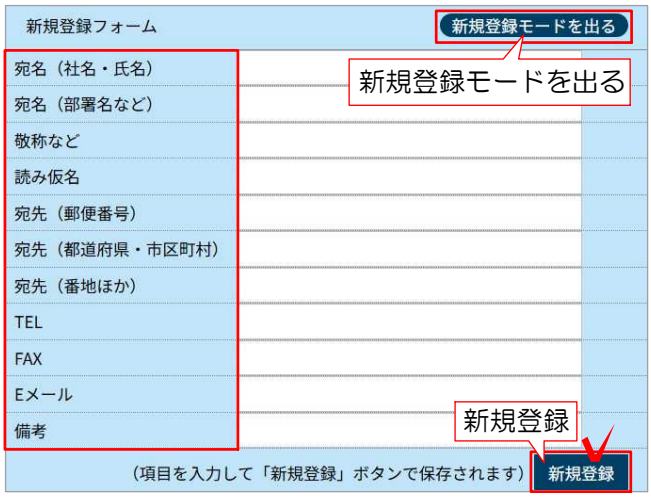
３　仕入れ



「仕入れ」で仕入れ先の業者を設定します。
あらかじめ入力しておくと、**見積書発注等の書類作成時に仕入れ先の情報をそのまま記載することができます。**

１　ホーム画面をクリックします。
「マスター設定」の「仕入れ」をクリックし画面右側の「+新しい仕入れを追加する」をクリックします。

２　「新規登録フォーム」が表示されます。
仕入れ先の情報を入力します。



宛名(社名・氏名)：社名・氏名を入力します。
宛名(部署名など)：部署名を入力します。
敬称など：敬称を入力します。
※入力が無い場合注文書に敬称が表示されません。
読み仮名：読み仮名を入力します。
宛先(郵便番号)：郵便番号を入力します。
宛先(都道府県・市区町村)：都道府県と市区町村を入力します。
宛先（番地ほか）：番地以降を入力します。
TEL：電話番号を入力します。
FAX：FAX番号を入力します。
Eメール：メールアドレスを入力します。
備考：特記事項があれば入力します。

３　「新規登録」をクリックで設定完了です。
仕入れ先を複数登録しない場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。

※2026年5月より、「業者」から「仕入れ」に名称が変更になります。
それに伴い業者コードが廃止となります。
これまでに登録された業者コードは非表示となりますが、業者の情報は残ります。

【見積書作成画面】



※入力した仕入れ先の情報は、見積書作成画面で表示され選択できます。
お客様管理機能で協力会社を登録した場合は、「仕入れ」と切り替えて表示されます。

テキスト　協力会社登録方法　P.6



4　仕入れ先を複数登録した場合は、仕入れ名左側の↕を上下にドラッグで業者の表示順を変更できます。

仕入れ先を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

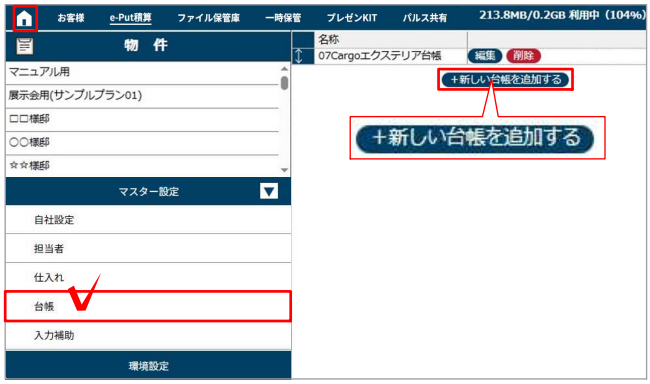


5　「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

6　編集できましたら右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

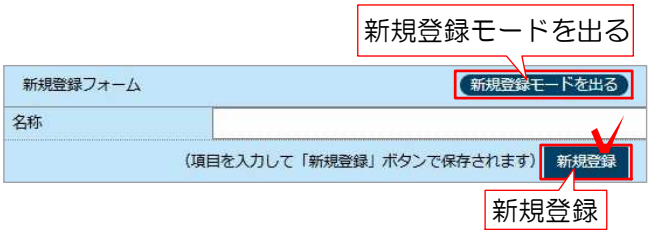
仕入れ先を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。
※削除後は復元できません。

4　台帳



よく使用する項目は「台帳」に登録しておくと見積作成時に名称や価格を呼び出して使用できます。
※「07Cargoエクステリア台帳」ではいくつかの項目と金額が入力されており、編集することもできます。
新たに台帳を作成する場合は下記の手順になります。

1　ホーム画面をクリックします。
「マスター設定」の「台帳」をクリックし画面右側の「+新しい台帳を追加する」をクリックします。



2　「新規登録フォーム」が表示されます。
台帳の名称を入力します。

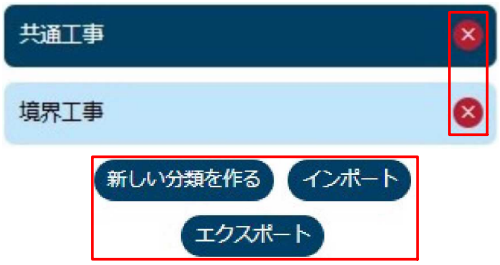
3　「新規登録」をクリックで設定完了です。
台帳を複数登録しない場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。



4　台帳を複数登録した場合は、台帳名左側の↕を上下にドラッグで、台帳の表示順を変更できます。

台帳を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。
台帳を削除したい場合は右側の「削除」をクリックします。
※削除後は復元できません。





台帳の分類

分類をおおまかに分けておき、分類の中の項目で金額や工事の名称等を設定できます。

新しい分類を作る：新規の分類を作成できます。項目ごとに分けて作成します。
分類名の右側の×をクリックで削除できます。
※削除後は復元できません。



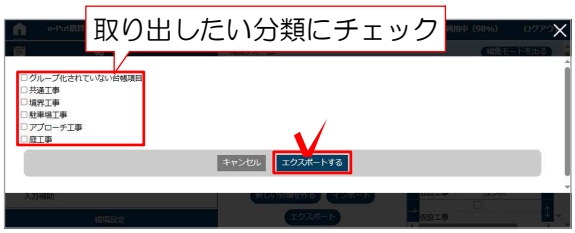
インポート：07Cargoでエクスポートした台帳や、e-Board版で作成しエクスポートした台帳を取り込むことができます。

・e-Board版で作成した台帳を取り込む場合
「e-Put（e-Board版）2023」を選択します。複数の価格設定をされていた場合はご希望の「価格」をお選びください。
※複数の価格を同時に取り込むことはできません。1つずつ取込みをしてください。

・07Cargoで作成した台帳を取り込む場合
e-Put（07Cargo版）を選択します。
「価格」は表示されません。

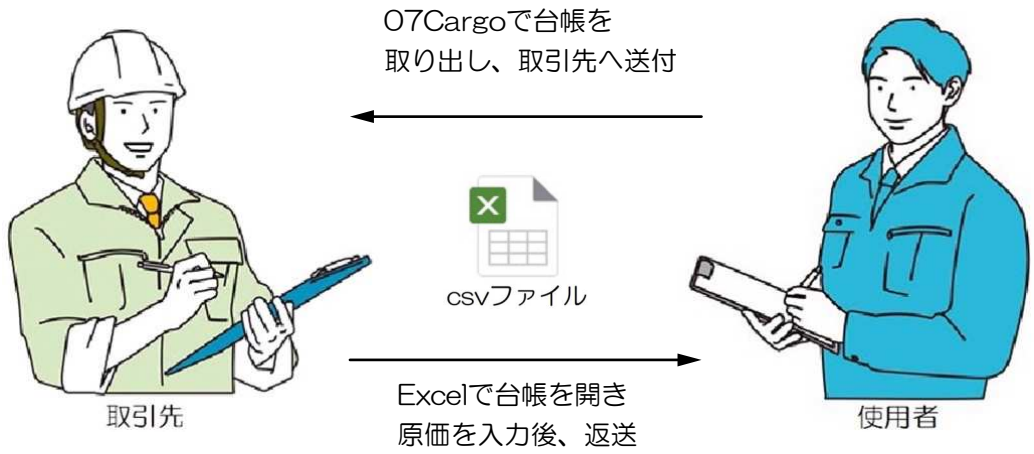
【e-Board画面】





エクスポート：取り出したい分類にチェックを入れ「エクスポート」をクリックしますと作成した台帳をcsvファイルで取り出すことができます。取り出した台帳は「インポート」で07Cargoに再度取り込みできます。

【使用例】



【07Cargoで台帳をエクスポートし、再度07Cargoへインポートする場合】

商品・工事業者問わず新規取引先が増えた場合は、台帳のやり取りができます。

1　元になる台帳をエクスポートし、メール等で先方に送ります。
2　先方は台帳に原価を入力し、こちらに返送してもらいます。
3　台帳を受け取りましたら売価を入力し、07Cargoを開きます。
4　マスター設定の「台帳」にて台帳をインポートします。
5　台帳を元に、見積書を作成します。



台帳の項目



グループ：種別違いの項目をまとめます。
種別：工事の種類を選択します。
名称：見積項目を入力します。
規格：サイズや色等の項目の詳細を入力します。
備考：追記事項があれば入力します。
数量：数量を入力します。
単位：単位を選択します。



見積単価：売価を入力します。
実行単価：原価を入力します。
見積金額：数量と見積単価入力後表示されます。
実行金額：数量と実行単価入力後表示されます。
税率(上下)：税率を選択できます。
※種別や規格等を入力した後にページを更新しますと、自動で10%と入力されます。



仕様書：仕様書作成時に表示させたい項目にチェックをいれます。

テキスト P.89 仕様書を作成する方法

発注先：「仕入れ」で登録した仕入れ先を選択します。

テキスト P.48 仕入れ

粗利率：%で表示されます。

テキスト P.59 境設設定

粗利金額：粗利金額が表示されます。
項目を選択している場合、
上に「行複製」「行削除」と表示されます。
行複製：選択している項目を複製します。
行削除：選択している項目を削除します。
※削除後は復元できません。



台帳の編集



「編集」をクリックで「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。
戻すことはできないのでご注意ください。



名称：台帳の名称を変更できます。
分類名：分類名を変更できます。



右側の↕を上下にドラッグで項目の表示順を変更できます。

左側の→をクリックしますと、
ボタンの形が↓に切り替わります。項目の中で細かく入力ができます。



一式工事の詳細（内訳）を入力したい場合に活用できます。（無い場合は入力不要）
↓をクリックで閉じることができます。

編集できましたら右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

5　入力補助

見積書作成時に選択できる「単位」「種別」「税率」、契約書作成時に選択できる「分割請求」の一覧が表示されます。
追加登録したり、編集や削除ができます。

【見積書作成画面】



【単位】
見積書作成画面で選択できる「単位」を追加したり、編集や削除ができます。



1　ホーム画面をクリックします。
「マスター設定」の「入力補助」をクリックし「+新しい入力補助（単位）を追加する」をクリックします。



2　「新規登録フォーム」が表示されます。
単位の名称を入力します。

3　「新規登録」をクリックで設定完了です。
キャンセルする場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。

単位の名称左側の↕を上下にドラッグで、単位の表示順を変更できます。



4　単位の名称を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

5　「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

6　編集できましたら右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

単位の名称を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。
※削除後は復元できません。

【見積書作成画面】



【種別】

見積書作成画面で選択できる「種別」を追加したり、編集や削除ができます。



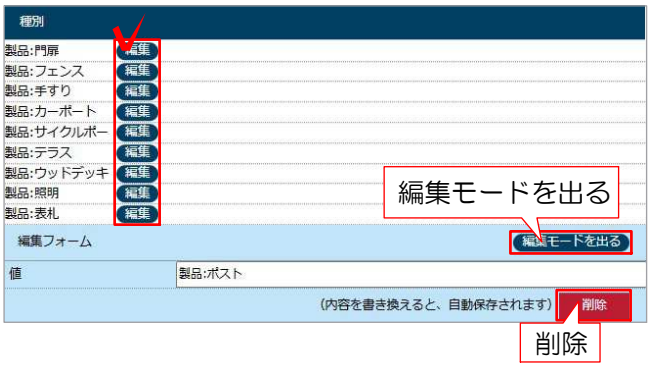
1　ホーム画面をクリックします。
「マスター設定」の「入力補助」をクリックし「+新しい入力補助（種別）を追加する」をクリックします。



2　「新規登録フォーム」が表示されます。
種別の名称を入力します。

3　「新規登録」をクリックで設定完了です。
キャンセルする場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。

種別の名称左側の↕を上下にドラッグで、単位の表示順を変更できます。



4　種別の名称を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

5　「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

6　編集できましたら右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

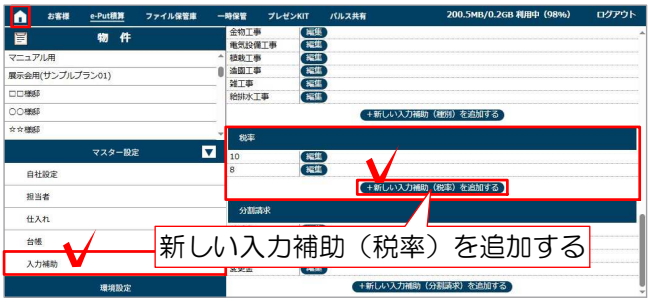
種別の名称を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。
※削除後は復元できません。

【見積書作成画面】

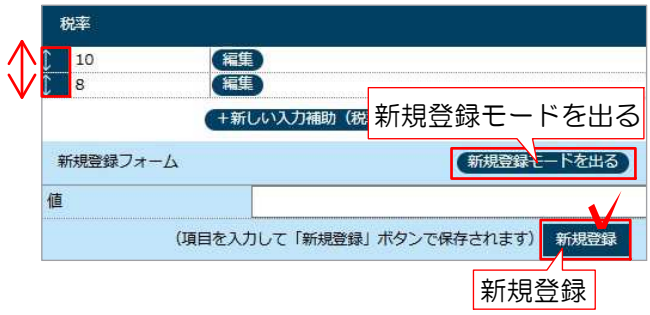


【税率】

見積書作成画面で選択できる「税率」を追加したり、編集や削除ができます。



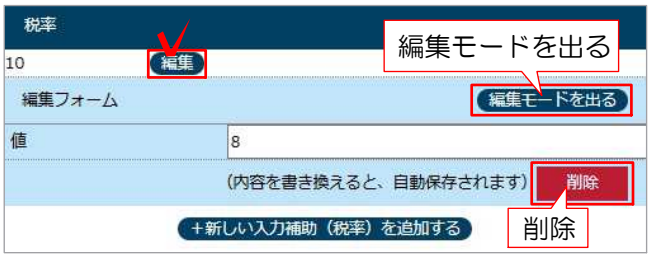
1　ホーム画面をクリックします。
「マスター設定」の「入力補助」をクリックし「+新しい入力補助（税率）を追加する」をクリックします。



2　「新規登録フォーム」が表示されます。
税率を入力します。

3　「新規登録」をクリックで設定完了です。
キャンセルする場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。

税率左側の↕を上下にドラッグで、税率の表示順を変更できます。



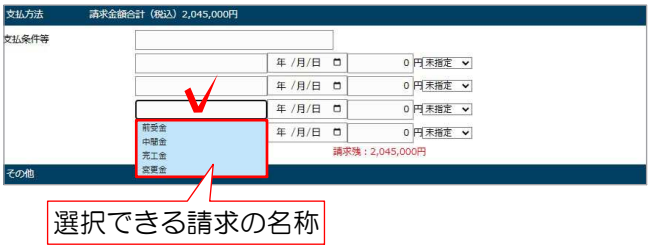
4　税率を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

5　「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

6　編集できましたら右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

税率を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。
※削除後は復元できません。

【契約書作成画面】

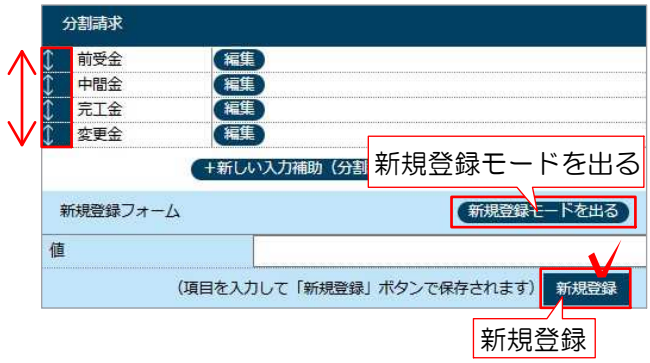


【分割請求】

契約書作成画面で選択できる「分割請求」を追加したり、編集や削除ができます。



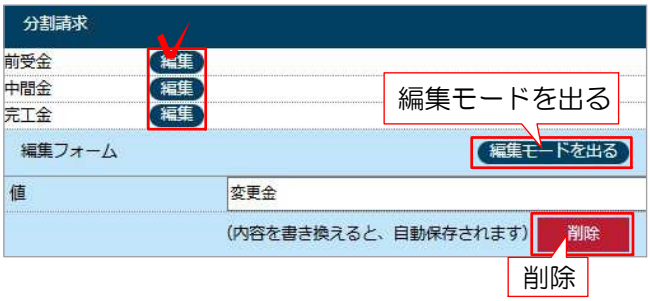
1　ホーム画面をクリックします。
「マスター設定」の「入力補助」をクリックし「+新しい入力補助（分割請求）を追加する」をクリックします。



2　「新規登録フォーム」が表示されます。
分割請求の名称を入力します。

3　「新規登録」をクリックで設定完了です。
キャンセルする場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。

分割請求の名称左側の↕を上下にドラッグで、名称の表示順を変更できます。



4　分割請求の名称を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

5　「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

6　編集できましたら右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

分割請求の名称を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。
※削除後は復元できません。

６　環境設定



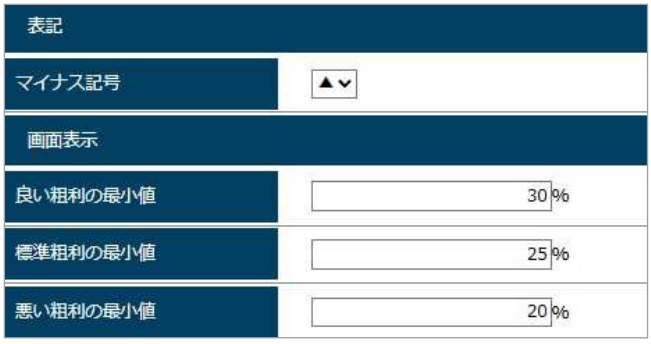
e-Put積算の設定を変更できます。
会社の基準に合わせて設定ください。

ホーム画面をクリックし「環境設定」をクリックします。



【初期値】
消費税率の初期設定：10%か8%で設定できます。
諸経費：会社の基準に合わせて入力ください。（任意設定）
諸経費表示名：表示名を変更できます。
値引き表示名：表示名を変更できます。

【丸め/端数処理】
※設定は金額に影響します。
粗利率表現：小数点以下の計算方法を「四捨五入」「切り上げ」「切り捨て」から設定できます。
端数処理（消費税額）：小数点以下の計算方法を「四捨五入」「切り上げ」「切り捨て」から設定できます。
端数処理（金額）：小数点以下の計算方法を「四捨五入」「切り上げ」「切り捨て」から設定できます。



【表記】
マイナス記号：表示する記号を変更できます。

【画面表示】
見積書作成時に算出された粗利率の良い・悪いを設定できます。
会社の基準に合わせて入力ください。



良い粗利の最小値：良い粗利の最小値で設定された%を上回ると青い四角で表示されます。
標準粗利の最小値：標準粗利の最小値で設定された%を上回ると青文字で表示されます。
悪い粗利の最小値：標準粗利の最小値で設定された%を下回ると赤文字で表示されます。
悪い粗利の最小値で設定された%を下回ると赤い四角で表示されます。

画面構成【e-Put積算】

e-Put（積算）の画面です。
見積書、契約書、請求書、実行予算書、注文書、請書、仕様書、工程表を作成することができます。
07CADで作図した図面から数量を拾い出し、見積書を作成することも可能です。



e-Put積算



1　画面左側の物件一覧から、編集したい物件をクリックします。
物件名：物件名を変更できます。
担当：物件の担当者を入力します。

見積先・請求先を入力する：クリックで見積先・請求先の情報を入力できます。



お客様情報から探す：お客様管理画面で登録した情報を検索できます。検索し表示された「個人」「企業」「協力会社」を選択で「見積先・請求先」に情報が入力された状態になります。お客様管理画面で登録していない場合は手入力になります。

テキスト　P.6　お客様管理機能

入力後「見積先・請求先」を保存するをクリックで保存ができます。



2　見積書を作成できます。
07CADで作図した図面から拾い出した数量を元に作成することもできます。

CADから拾い出す場合

テキスト　リアルタイム概算
拾い出し項目の設定　P.63

CADから拾い出さない場合

テキスト　新しい見積を作る　P.73

3　仕様書を作成できます。

テキスト　仕様書を作成する方法　P.89

4　工程表を作成できます。

テキスト　工程表を作成する方法　P.91

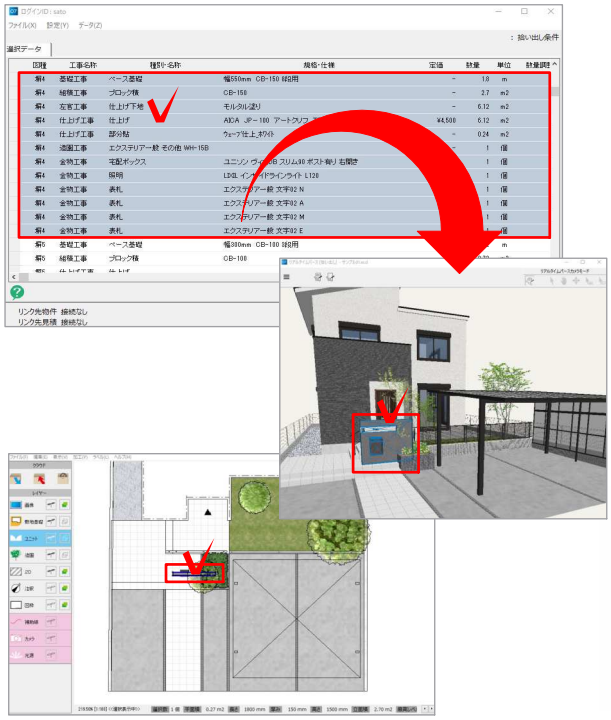
5　物件を削除できます。

テキスト　物件を削除する方法　P.16

リアルタイム概算　概要

07CADで作成した図面の数量を拾い出す機能です。
概算見積りを使用するには金額の設定が必要です。

e-Putへ数量情報を送信して見積書を作成したり、e-Putの台帳機能を連動することができます。
拾いだした数量はExcel（CSV）データとしてCAD外部へ保存もできます。
リアルタイム概算画面で金額設定をしますと、起動時に材料費概算を確認することができます。

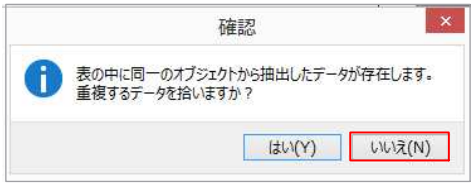


1　数量確認と画面

「CAD平面図」「リアルタイムパース画面」「拾い出しリスト」がそれぞれ連動した状態で、数量の確認作業ができます。
モニターが複数ありますと確認作業がスムーズです。

それぞれの画面で、図形もしくは項目をマウスで選択しますと、他の画面で青く選択されます。確認しやすい画面で選択をして照らし合わせることが出来ます。



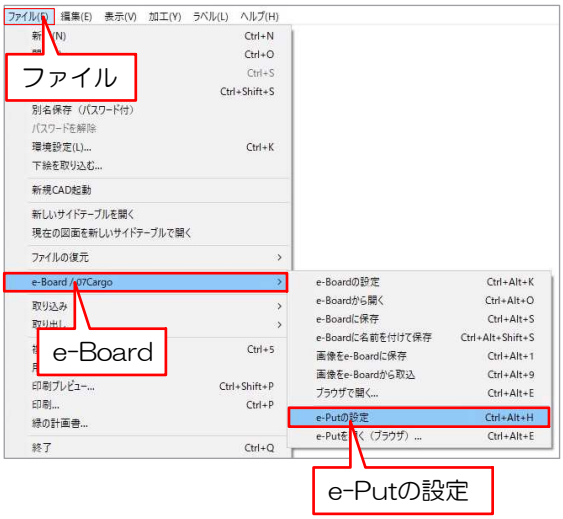


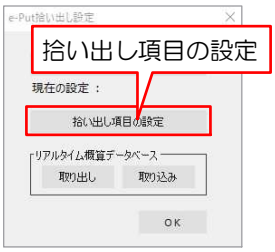
2　拾い出した部分が重複した場合

一度拾い出した箇所を重複して拾い出ししようとしますと、左のようなメッセージが表示されます。
間違って重複してしまった場合は「いいえ」を選択します。

リアルタイム概算　拾い出し項目の設定

拾い出す項目の設定をします。





参考　［拾い出し・計測］を検索

拾い出し項目の設定

1　「ファイル」メニューをクリックし、「e-Board / 07Cargo」より、「e-Putの設定」をクリックします。

2　「e-put拾い出し設定」の「拾い出し項目の設定」をクリックします。

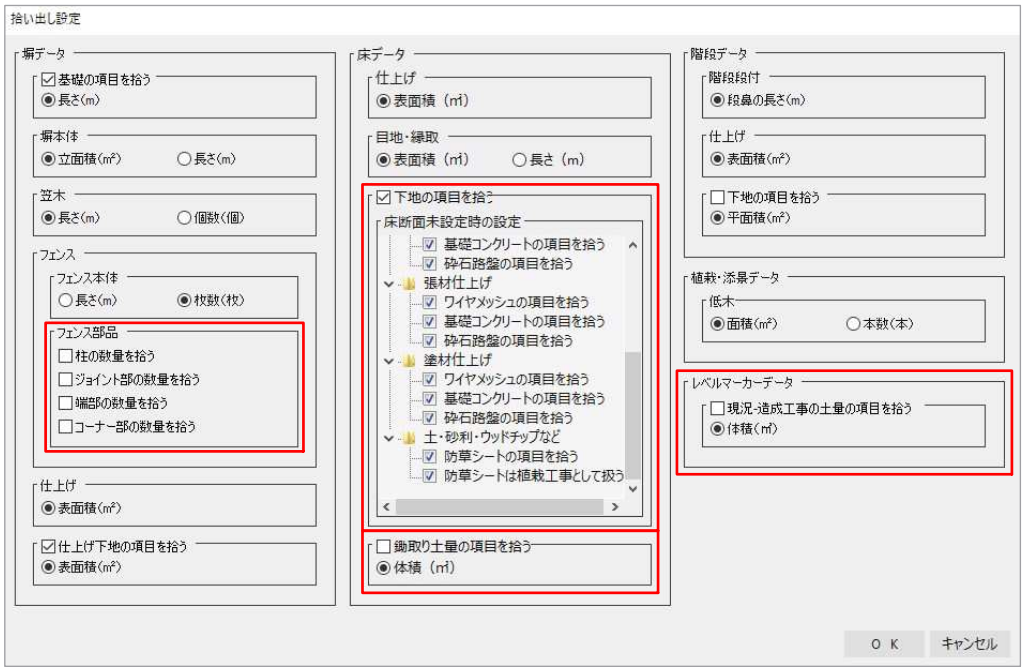
3　各項目の設定をおこないます。

・「フェンス部品」の項目は立体の作成方法で結果が異なりますので、あくまで目安としてください。

・砕石路盤などの下地項目が不要の場合は「下地項目を拾う」のチェックを外します。

・「鋤取り土量の項目を拾う」の項目は、「路床より上の高さ×1.2」の数量が拾い出されます。床の断面図の作成が予め必要です。

・「レベルマーカーデータ」を使用するには敷地の現況レベルやゾーニング設定が別途必要となります。

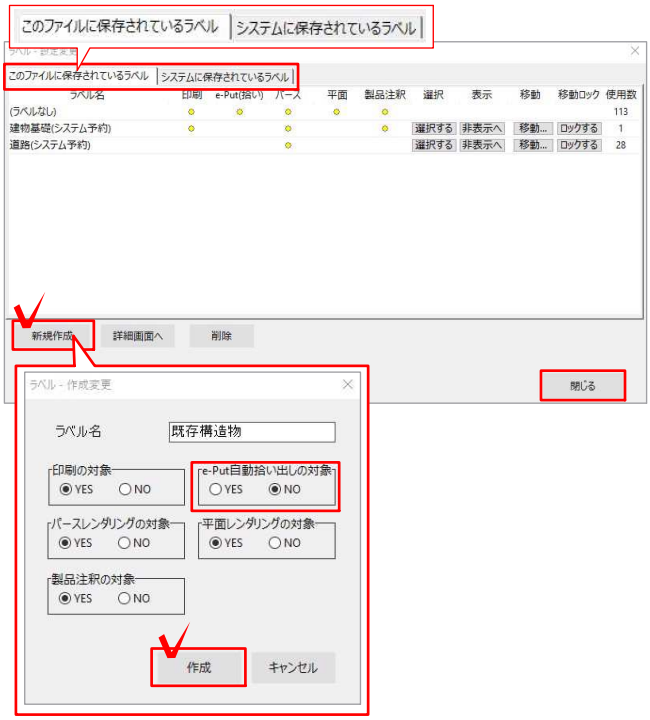


リアルタイム概算　拾い出し前の準備

拾い出す前に設定しておくことで便利な機能です。







参考　［ラベル］を検索

1　ラベルの設定

1　ラベルを貼る対象の図形を右クリックし「ラベルを貼る/変更」をクリックします。

2　「既存構造物（システム予約）」をクリックで、ラベルが貼られた状態になります。

【ラベルとは】
印刷やパースへの表示・非表示の切り替え、拾い出しの対象にするかどうかを図形ごとに設定することができます。あらかじめ拾い出し不要な図形を設定できます。
「既存構造物（システム予約）」を貼られた図形は、拾い出さない設定になります。

【ラベルを新たに作成する場合】
1　「ラベル」メニューをクリックし、「ラベルの設定」をクリックします。

2　ラベル設定画面が表示されます。画面左下の「新規作成」をクリックします。

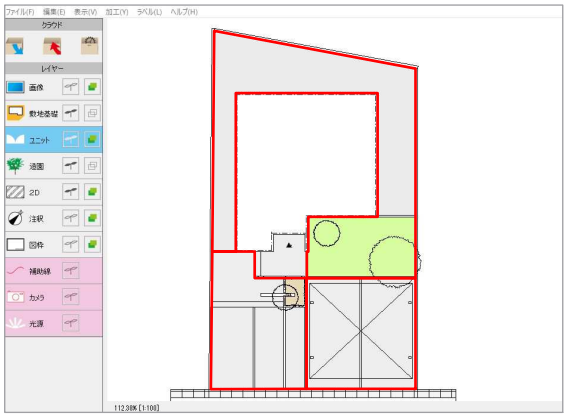
3　ラベル作成画面が表示されます。
ラベル名を入力し使用目的に合わせて設定を変更します。
【e-Put自動拾い出しの対象】
YES：拾い出し項目に表示されます。
NO：拾い出し項目に表示されません。
表示不要の場合はNOに設定します。
「作成」をクリックします。

【このファイルに保存されているラベル】
作図中のCADファイルのみ設定されます。

【システムに保存されているラベル】
このパソコンで開くCADファイル全てに設定されます。繰り返し使用するラベルはシステムに保存しておくと便利です。

4　画面右下の「閉じる」をクリックし設定画面を閉じます。

２　グループ化



【グループ化とは】
複数選択した図形を1つのグループにまとめる事ができます。

あらかじめ1つのグループしておくことで、拾い出した時にグループ化しておいた図形の同素材の床面積が合計表示されます。
※合計表示される図形は床のみになります。
塀や階段は非対応です。



1　Shiftキーを押しながら、1つのグループにまとめたい図形をクリックで選択します。
「加工」メニューをクリックし、
「グループ化」をクリックします。



2　画面中心に「選択数1（要素〇〇個）」と表示されましたらグループされた状態になります。
他にもまとめたい図形があればおなじように選択しグループ化をします。

リアルタイム概算

07CADで作成した図面から数量を拾い出します。起動方法は2通りあります。



レイヤーは「ユニット」



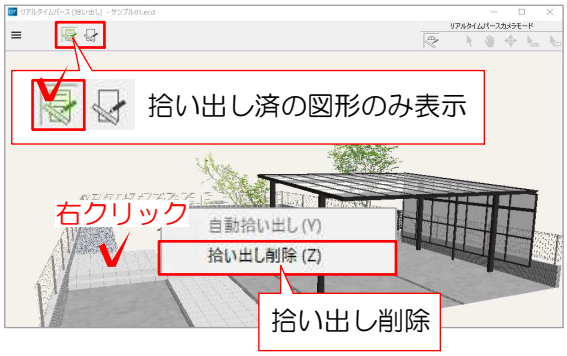
1-1　すべてを自動拾い出し

画面上で右クリックし「全て拾い出し」をクリックします。
すべてを拾い出す際に使用します。
新規で作成した図面・過去に拾い出しをしていない図面の場合はこちらを選びます。

1-2　自動拾い出し

拾い出す図形を予め選択し、選択図形上で右クリックし「自動拾い出し」をクリックします。
部分的に拾いだす際に使用します。
修正した図面の場合はこちらを選びます。

2　拾い出し図形の確認と追加・削除



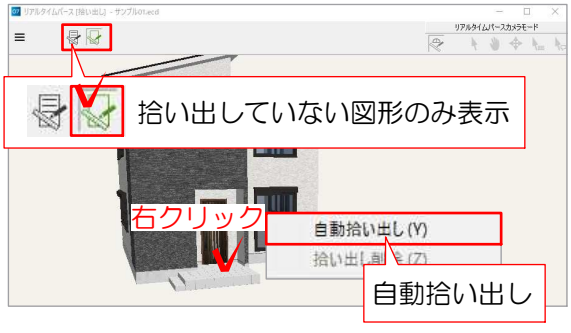
1　リアルタイムパースで必要な図形が拾い出しされてるか、拾い出し不要な図形がないかを確認します。



拾い出し済の図形のみ表示



拾い出していない図形のみ表示



2　項目を追加・削除したい場合は、リアルタイムパースで対象の図形を選択し、右クリック→「自動拾い出し」または「拾い出し削除」を選択します。

自動拾い出し：拾い出しリストに追加
拾い出し削除：拾い出しリストから削除





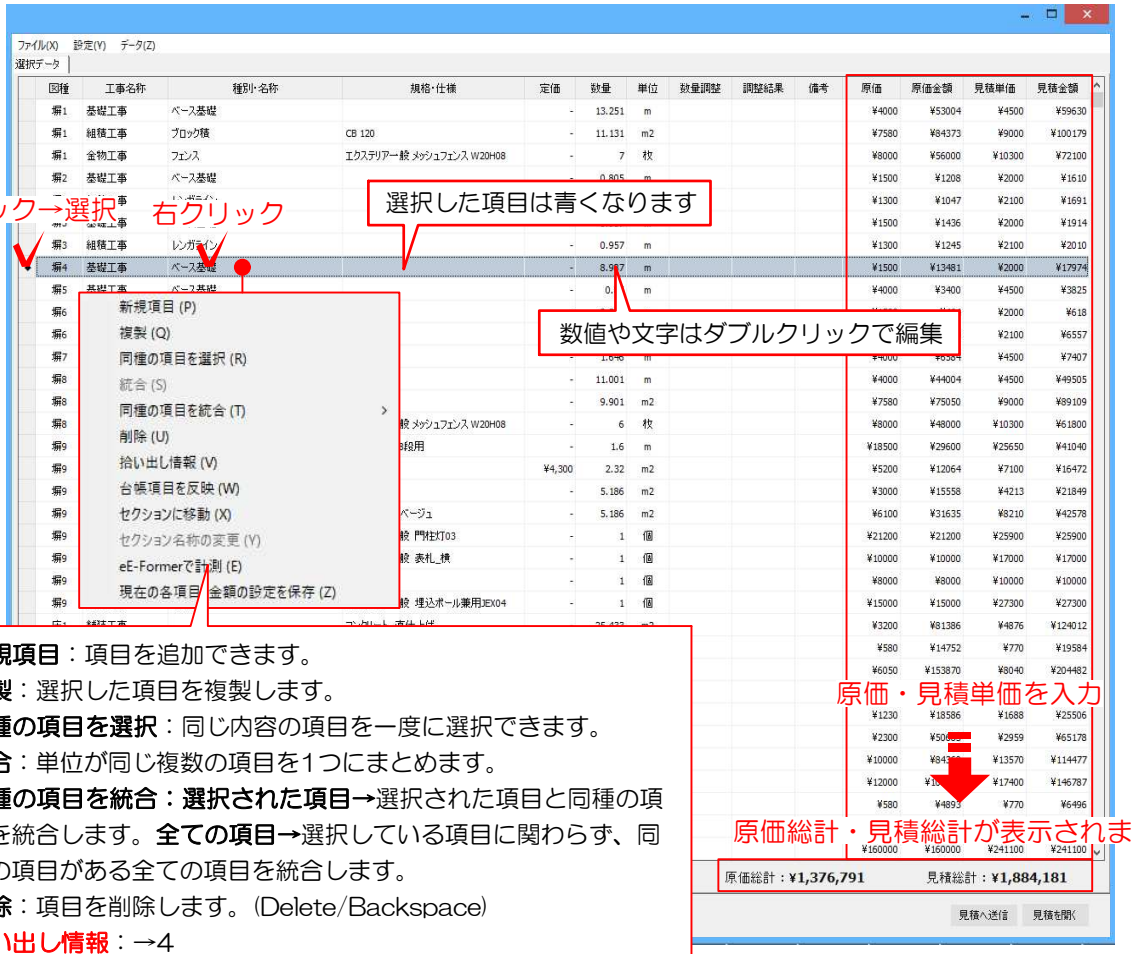
3　項目の編集

リアルタイム概算の画面が表示されます。

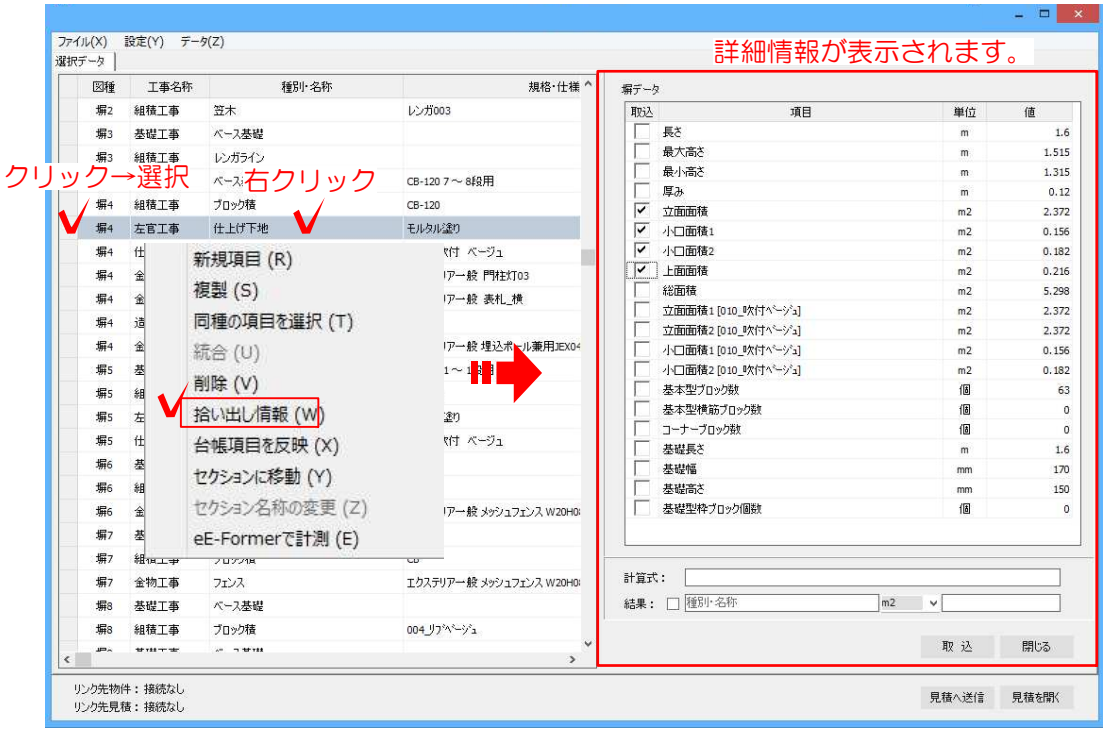
1　編集したい項目をクリックします。
図形が青色で表示されます。

2　編集したい文字や数量・金額をダブルクリックし入力・編集します。
※製品を代用した場合は、製品名を調整ください。

リアルタイムパースまたは平面図で、拾い出し項目がどの図形に該当するのか確認しながら作業します。



新規項目：項目を追加できます。
複製：選択した項目を複製します。
同種の項目を選択：同じ内容の項目を一度に選択できます。
統合：単位が同じ複数の項目を1つにまとめます。
同種の項目を統合：選択された項目→選択された項目と同種の項目を統合します。**全ての項目→**選択している項目に関わらず、同種の項目がある全ての項目を統合します。
削除：項目を削除します。(Delete/Backspace)
拾い出し情報：→4
台帳項目を反映：→5
セクションに移動：→6
セクション名称の変更：作成したセクション名を変更します。
eE-Formerで計測：eE-Former画面で詳細を計測します。
現在の各項目・金額の設定を保存：入力した金額が保存され、次回の拾い出し時にも金額が反映されます。





4　拾い出し情報

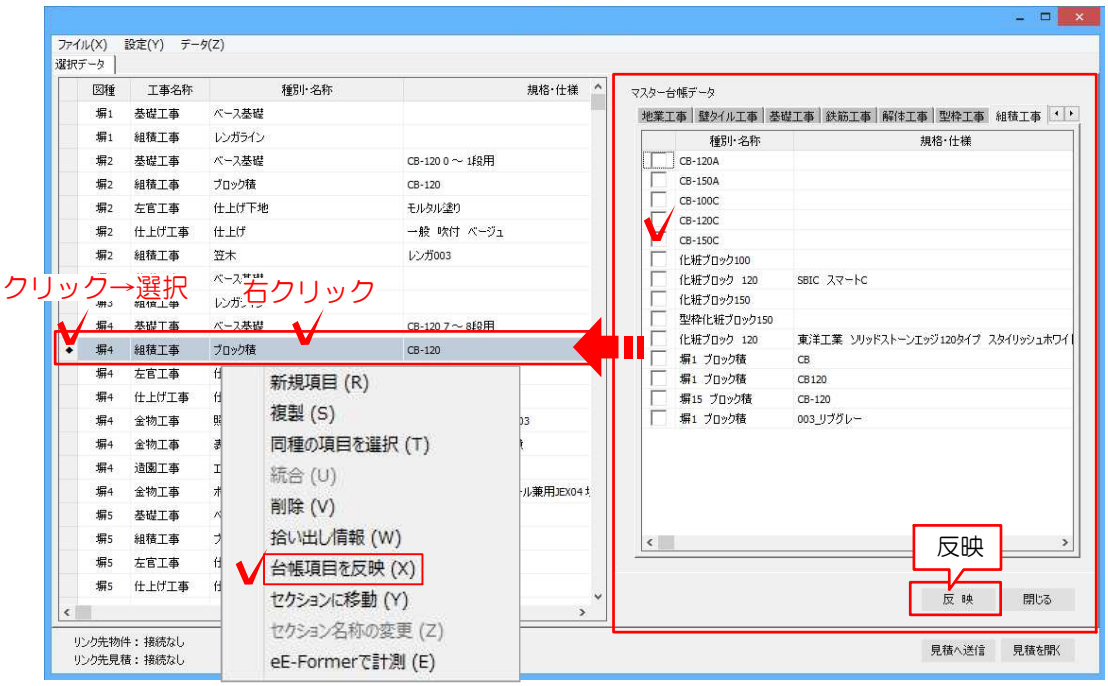
塀・床・階段ユニットの詳細情報を引き出すことができます。

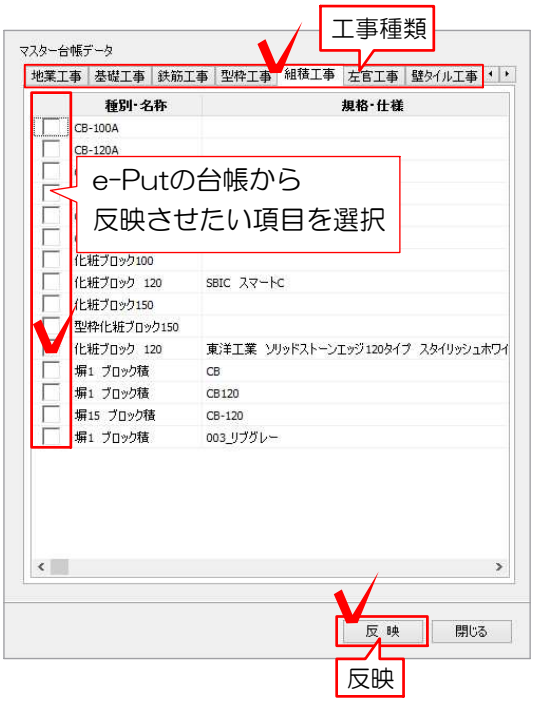
取込：拾い出し一覧に取り込みたいデータにチェックを入れます。
値：ブロックサイズ・張材サイズを変更しますと自動で値が変更します。

ブロックサイズ：サイズを変更できます。
張材サイズ：サイズを変更できます。

計算式：計算式が入力できます。計算結果を拾い出し一覧に取り込むことができます。
結果：単位の右側に計算結果が表示されます。計算結果を取り込む場合は、チェックを入れます。

取込：チェックを入れたデータを、拾い出し一覧に取り込むことができます。
閉じる：拾い出し情報の画面を閉じます。





5　台帳項目を反映

e-Putのマスター台帳から登録情報を拾い出した数量項目に反映させることができます。
※マスター設定の「台帳」であらかじめ台帳を登録しておく必要があります。

テキスト　台帳　P.50

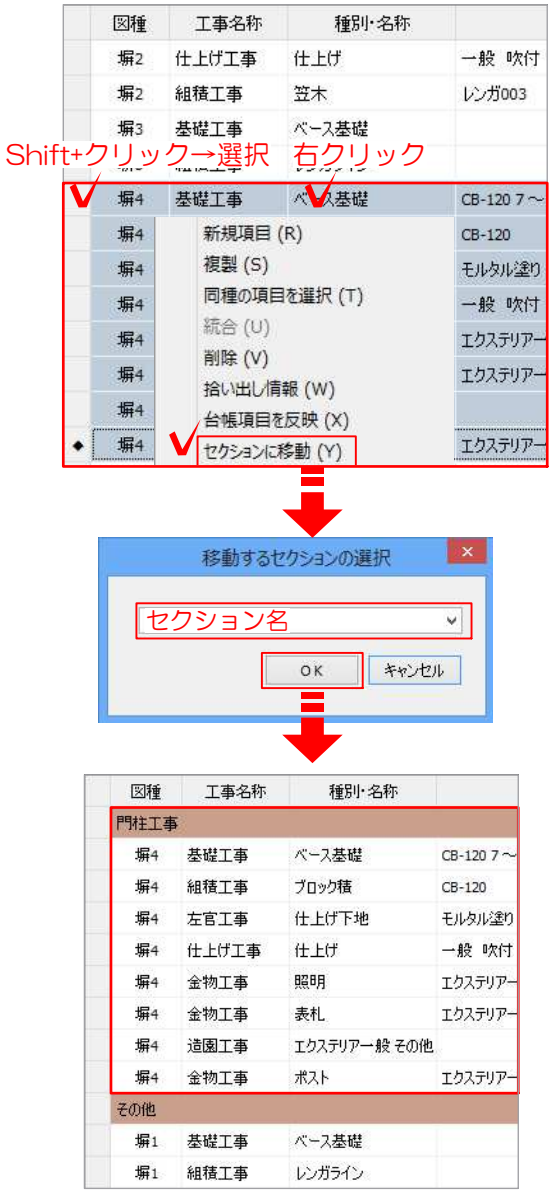
1　工事種類を選択します。

2　反映させる項目を台帳一覧からチェックを入れ選択します。

3　反映をクリックすると、拾い出しした項目に数量を反映できます。

【重要】台帳の初期設定で入力されている金額や項目はおおよその数値です。
自社用の設定を作成してからご利用ください。

６　セクションに移動



複数の項目をセクションとして分けてまとめることができます。

【セクションとは】
部位別や工種等、拾い出し項目を分類してまとめる機能です。

1　Shiftキーを押しながらクリックで複数の項目を選択します。右クリックし「セクションに移動」をクリックします。

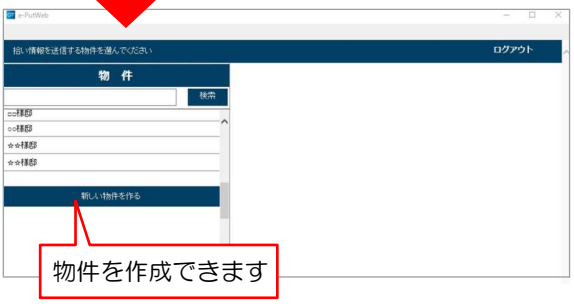
2　セクション名を入力し「OK」をクリックします。

3　選択していた項目がセクションとしてひとまとまりになります。
選択されていなかった項目は「その他」のセクションに自動で分けられます。

7　見積へ送信



1　調整した項目を07Cargoへ送信します。
右下の「見積へ送信」をクリックします。



2　07Cargoの物件一覧が表示されます。
物件を作成済の場合は、左の物件名をクリックし選択します。
物件を作成していない場合は「新しい物件を作る」をクリックし作成します。



3　「この物件に保存」をクリックで項目が送信されます。「送信されました」と表示されますので「OK」をクリックで閉じます。





4　見積作成画面へ進みます。
右下の「見積を開く」をクリックします。

見積書を作成する方法

見積書の作成方法です。
07CADで作図した図面から数量を拾い出し、見積書を作成できます。

1　見積先の情報を入力する



1　画面左側の物件一覧から、見積書を作成したい物件をクリックします。

2　見積先の情報を入力します。「見積先・請求先を入力する」をクリックします。



3　入力欄が表示されます。お客様情報を登録済の場合は「お客様情報から探す」をクリックします。
登録していない場合は情報を直接入力します。



4　登録したお客様情報を検索する画面が表示されます。連携したいお客様を探します。
「こちらのお客様を選択する」をクリックします。

テキスト　お客様管理機能　P.6

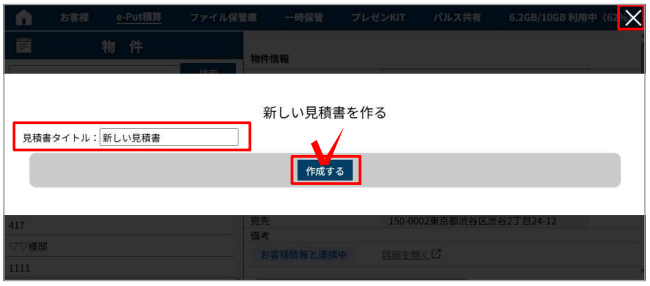


5　情報が入力された状態になります。
「見積先・請求先を保存する」をクリックします。

2-1　新しい見積を作る



1　右側の「新しい見積を作る」をクリックします。



2　見積書のタイトルを任意で入力します。
「作成する」をクリックします。

※作成しない場合は、右上の×をクリックし確認画面を閉じてください。



3　見積書作成画面が表示されます。

【見積書作成画面の構成】

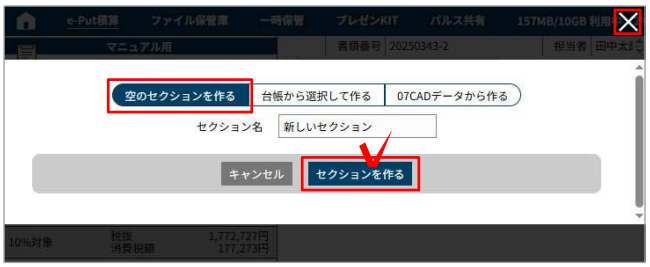


2-2　新しいセクションを作る

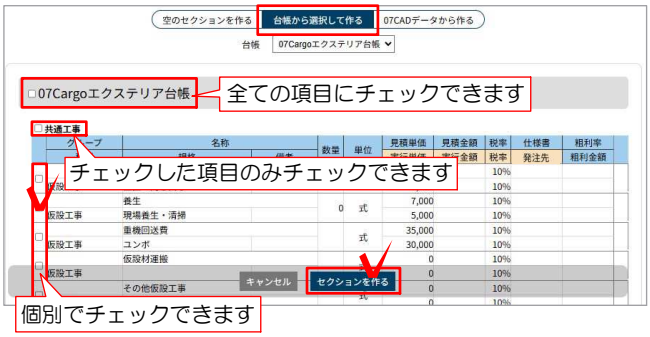


工事区分ごとに見積書を作成します。
左側の「新しいセクションを作る」をクリックします。

作成方法は3つあります。

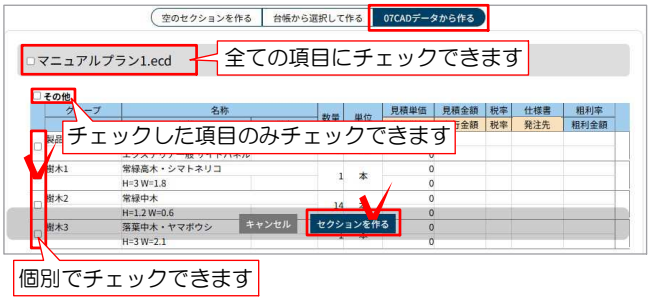


①空のセクションを作る
自由に文章を入力できます。オリジナルの見積書を作成したい場合に使います。



②台帳から選択して作る
あらかじめ【マスター設定】の「台帳」に登録した内容をもとに、見積書を作成できます。
必要な項目にチェックを入れて使います。

テキスト　台帳　P.50



③07CADデータから作る
07CADで作図した図面から、自動で数量を拾い出し、見積書が作成されます。
必要な項目にチェックを入れて使います。

テキスト　リアルタイム概算
拾い出し項目の設定　P.63

2-3　見積書の基本情報を入力する



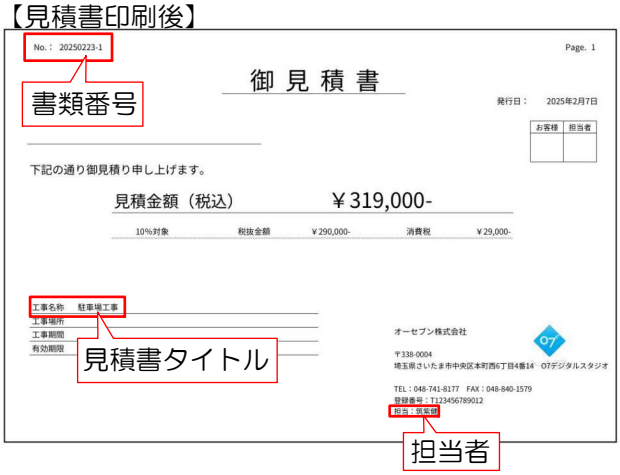
見積書のタイトルや書類番号、担当者を入力します。

見積書タイトル：見積書の「工事名称」として表記されます。

書類番号：書類を識別するための番号です（未入力でも保存可）。

担当者：見積書の作成者名を入力します。
マスター設定で「担当者」を設定している場合は、リストから選択可能です。
希望の担当者が表示されない場合は直接入力してください。

【見積書印刷後】



テキスト　担当者　P.47

2-4　見積内容を入力する



見積内容を入力します。
グループ：種別違いの項目をまとめます。
種別：工事の種類を選択します。
名称：見積項目の名称を入力します。
規格：サイズや色などの仕様詳細を入力します。
備考/数量/単位



見積単価：売価を入力します。
実行単価：原価を入力します。
見積金額：数量と見積単価入力後表示されます。
実行金額：数量と実行単価入力後表示されます。
税率：税率を選択します。
※種別や規格を入力後にページを更新で税率が自動的に「10%」になります。
仕様書：仕様書に表示させたい項目にチェックを入れます。

テキスト　仕様書を作成する方法　P.89

発注先：お客様情報「協力会社」、マスター設定「仕入れ」で登録した情報から選択します。

テキスト　お客様管理機能　P.6
仕入れ　P.48

粗利率：%で自動表示されます。

テキスト　環境設定　P.59

粗利金額：粗利金額が自動表示されます。



2-5　作成項目の編集・調整



【行の操作について】

項目を選択すると、画面上部に「行複製」「行削除」ボタンが表示されます。

行複製：選択している項目を複製します。

行削除：選択している項目を削除します。

※削除後は復元できません。



【項目の並び替え】

・右側の↕を上下にドラッグしますと、表示順を変更できます。

【詳細入力について】

一式工事の内訳など、詳細入力が必要な場合にご活用できます。



1　左側の→をクリックしますと、→が↓に変わり、詳細入力欄が展開されます。

※未入力の行では展開できません。

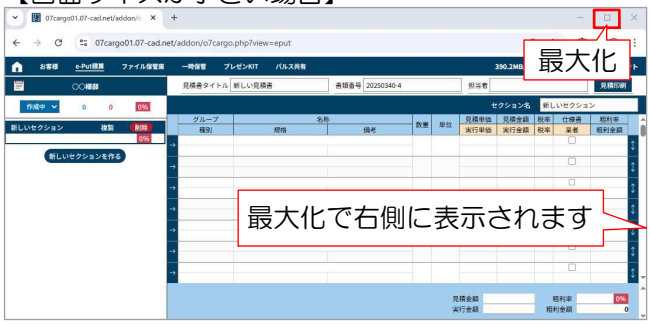
2　再度↓をクリックしますと、詳細欄が閉じます。

【編集完了後の操作】

編集が完了したら、画面右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

2-6　見積項目の追加

【画面サイズが小さい場合】



画面右側に「台帳から選ぶ」「07CADデータから選ぶ」「予測候補」の3つのボタンが表示されます。
入力が手間な場合は表示されている項目を選択し、見積項目に追加できます。
※画面サイズが小さい場合は表示されません。
ブラウザを最大化でお使いください。



①台帳から選ぶ
マスター設定で「台帳」の設定を行っている場合に表示されます。
項目を選び←をクリックで見積に追加します。
一式工事の詳細（内訳）を入力済みの項目は、←で表示され、詳細込みで取り込むことができます。

【選択した項目のみ見積項目に反映する場合】
1　反映させたい見積もり項目を選択します。
選択後は背景が青に変わります。
※反映できる項目
種別/名称/規格/備考/見積単価/実行単価



2　画面右側の項目から反映したい項目を選択します。選択後は背景が青に変わります。



複数選択したい場合は続けてクリックします。
再度クリックで選択を解除できます。

3　←をクリックで見積項目に反映されます。





②07CADデータから選ぶ

CADから拾い出した項目が表示されます。
取り込みたい項目にチェックを入れ、「挿入する」をクリックで見積に追加できます。



③予測候補

セクション名をもとに、過去の入力履歴から候補が表示されます。
物件問わず、e-Put積算で使用した履歴の中から、一定数の項目が提示されます。
※古い履歴は自動で削除されます。

項目を選び←をクリックしますと見積に追加できます。
一式工事の詳細（内訳）を入力した項目は←で表示されます。クリックしますと詳細込みで取り込むことができます。

検索ボックスに文字を入力し、絞り込み検索できます。

３　各金額・粗利の確認



見積作成後、自動的に**諸経費**が計上されます。
金額は画面の各所で確認できます。



【表示される場所と内容】

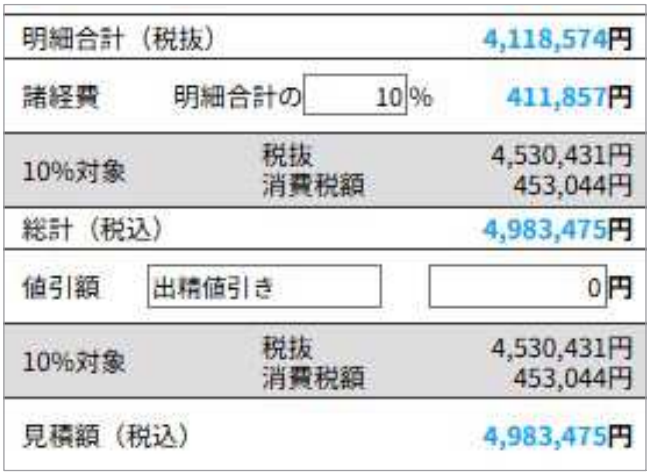
画面左側

セクションごとに以下の3つの金額が表示されます。

左側：「見積金額」
中央：「実行金額」
右側：「粗利率（%）」

粗利率の良し悪しにより、%の色が変わります。

テキスト　環境設定　P.59



画面左下

見積金額の総額が表示されます。
※こちらで値引き金額（税込）の入力ができます。



画面右下

現在選択している**セクションの金額と粗利**が表示されます。

4　見積書の印刷



見積作成画面の右上の「見積印刷」をクリックしますと印刷画面へ進みます。

1　印刷画面を開きます。
見積作成画面の右上にある「見積印刷」をクリックします。

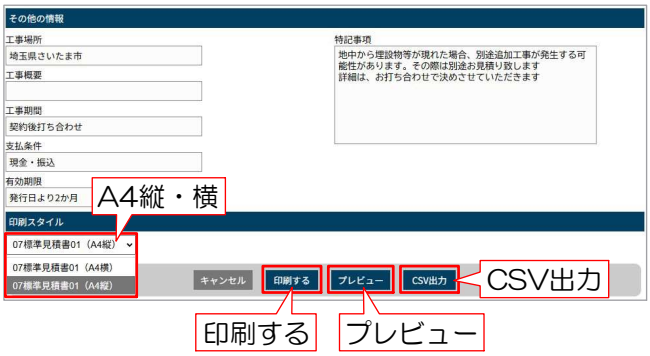


2　各種情報を入力します。
見積書タイトル/発行日/担当者/宛先

【自社情報】（発行元）
発行元となる自社情報を入力します。
マスター設定で「自社情報」を設定した場合は「環境設定の自社情報から読み込む」の選択肢に表示されます。

テキスト　自社設定　P.45

発行元/郵便番号/住所1/住所2/TEL/FAX/適格事業者登録番号/備考
住所は2つ追加できます。他の場所に事務所や支店があれば入力します。（無い場合は入力不要）



【その他情報】
工事場所/工事概要/工事期間/支払条件/有効期限/特記事項

【印刷スタイル】
見積書の縦型・横型の選択ができます。

3　出力フォームの雛形の向きを選択し、「プレビュー」をクリックします。
誤りがないか確認します。発行確定する場合は「印刷する」クリックします。

【プレビュー】



【CSV出力】



印刷する：PDFが出力されます。
※見積書を印刷した後は見積書の編集ができなくなります。ご注意ください。
プレビュー：印刷後の状態を確認できます。
CSV出力：見積項目をCSV形式で出力できます。Excelで開き、編集できます。



未入力項目がある場合はメッセージが表示され「OK」をクリックで進めます。
※見積書を印刷した後は見積書の編集ができなくなります。ご注意ください。
※「印刷」を済ませないと、契約書を作成できません。

５　見積書印刷後の操作



印刷完了後、見積作成画面は自動で終了します。発行済の見積書には左側に「見積済」と表示されます。
※発行後は編集・削除不可になります。

【見積書印刷後】





No.： 20250342-5　新築外構工事　内訳明細　4118574　Page. 2

名称／規格／備考	数量	単価	金額（税抜）
A. 仮設工事	1式	50,000	50,000
B. 境界工事(北・西・東)	1式	1,335,292	1,335,292
C. 建物周囲	1式	141,842	141,842
D. 庭工事	1式	141,384	141,384
E. 手掘工事	1式	93,320	93,320
F. 駐車場工事	1式	1,377,178	1,377,178
G. 花壇工事	1式	241,020	241,020
H. アプローチ工事	1式	738,538	738,538
明細合計			4,118,574
諸経費			411,857
合計（税抜）			4,530,431

編集が必要な場合は「複製」をクリックで見積書を複製し、編集をします。
新しく作成する場合は「新しい見積書を作る」をクリックします。

作成した表紙・内訳書・明細書は、PDF をクリックで確認や印刷ができます。

見積書の印刷後、契約書の作成に進むことができます。

契約書を作成する方法

契約書の作成方法です。見積書を作成後に作成できます。



【外部サービスで契約書を作成するをクリック後】





契約書を作成する方法

1　画面左側の物件一覧から、契約書を作成したい物件をクリックします。

2　「契約書を作る」をクリックします。

※07Cargo以外のソフトで契約書を作成する場合は「外部サービスで契約書を作成する」をクリックします。
契約書の作成工程を省略し「実行予算書」「注文書・請書作成」に進むことができます。

3　契約書作成画面が表示されます。
必要項目を入力します。

担当者：契約書の作成者を入力します。
マスター設定で「担当者」を設定した場合は、選択肢に表示されます。

テキスト　担当者　P.47

選択肢の中に希望の担当者が表示されない場合は、担当者名を入力します。

【見積内容】
見積書の名称と金額が表示されます。

【請負内容】※入力必須
工事内容/工事場所工事概要/工事期間/特記事項

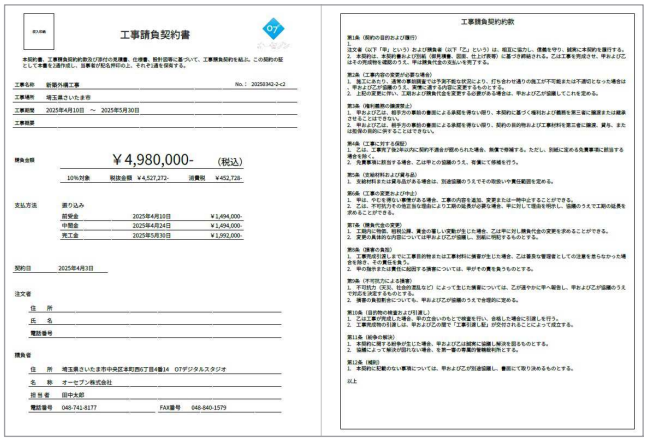
【支払方法】※入力必須
支払い方法や入金日の設定ができます。
P.58で入力した分割請求の名称を選択します。右側に金額を入力します。任意で入力もしくは総額に対する割合入力ができます。



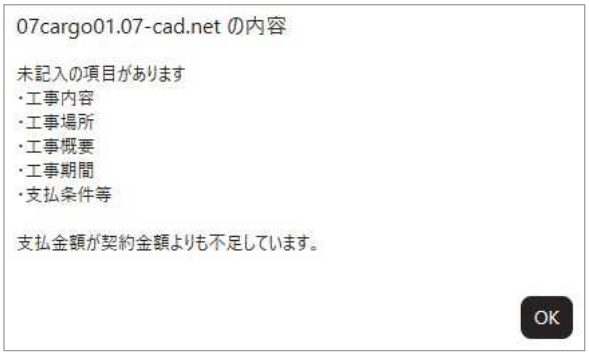
【その他】
保証期間/第一審管轄裁判所/備考
※必要な場合は入力します。
必要でなければ入力は不要です。

【印刷スタイル】
契約書の種類を選択できます。
自社で約款がある場合は（約款無）を選択してください。

【契約書印刷後】　　【約款】



「印刷する」をクリックします。
PDFに出力できます。



※【請負内容】と【支払方法】が未記入の場合や契約金額に過不足がある場合は印刷ができません。



契約書を印刷した後は、見積書の左側に「契約済」と表示されます。
契約時の見積書が自動で複製され、複製された見積書の左側に「契約時」と表示されます。

作業中　見積書作成中　　見積済　見積書作成済

契約済　契約書作成済　　契約時　契約書作成後、複製された契約時の見積書

実行予算書を作成する方法

実行予算書の作成方法です。契約書を作成した後に作成できます。
社内管理用の書類のため、外部へ共有しないようご注意ください。

実行予算書を作成する方法



契約書印刷後、実行予算書を作成することができます。

1　画面左側の物件一覧から、実行予算書を作成したい物件をクリックします。
先に作成した見積書をクリックします。



2　見積作成画面を開きます。
実行単価を調整し、実際の利益を管理します。

編集できるのは実行単価のみです。
グレー表示の文字や数値は変更できず、未記入項目には追加入力が可能です。
※見積書・契約書が施主へ発行済のため、見積単価は変更できません。



3　実行単価を変更しますと、画面右下のセクション小計の実行金額、粗利率、粗利金額が変わります。
複数のセクションがある場合は、各セクションで調整します。



画面左上の総額の実行金額、粗利率も変わります。

実行単価の調整が済みましたら画面左上のをクリックし見積作成画面を閉じます。



4　物件を開いた状態の画面に戻ります。
「実行予算書を作る」をクリックします。



5　実行予算書作成画面が表示されます。

【実行予算書を作成する見積りデータ】
実行予算書タイトル：タイトルを入力します。
発行日：発行日を入力します。
担当者：実行予算書の作成者を入力します。
マスター設定で「担当者」を設定した場合は、選択肢に表示されます。

テキスト　担当者　P.47

選択肢の中に希望の担当者が表示されない場合は、担当者名を入力します。

備考：特記事項があれば入力します。

【実行予算書印刷後】



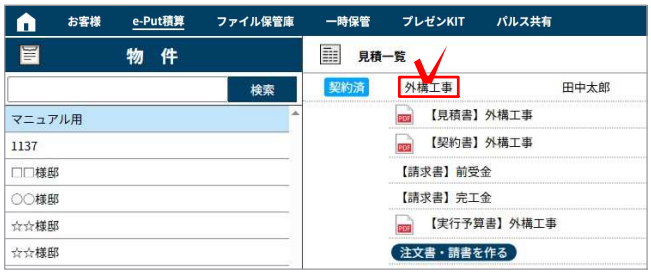


名称／規格／備考	数量	見積単価 実行単価	見積金額 実行金額	粗利 粗利%
A. 仮設工事	1式	50,000 30,000	50,000 30,000	20,000 40%
B. 境界工事(北・西・東)	1式	1,335,292 948,405	1,335,292 948,405	386,887 28.97%
C. 建物周囲	1式	141,842 104,018	141,842 104,018	37,824 26.66%
D. 庭工事	1式	141,384 106,253	141,384 106,253	35,131 24.84%
E. 手摺工事	1式	93,320 70,740	93,320 70,740	22,580 24.19%
F. 駐車場工事	1式	1,377,178 1,020,505	1,377,178 1,020,505	356,673 25.89%
G. 花壇工事	1式	241,020 174,765	241,020 174,765	66,255 27.48%
H. アプローチ工事	1式	738,538 568,927	738,538 568,927	169,611 22.96%
見積合計（税抜）			4,118,574	1,094,961
実行合計（税抜）			3,023,613	26.58%

「印刷する」をクリックでPDFで出力できます。
※印刷した後も編集はできます。
※注文書・請書を印刷した後は見積作成画面で実行単価の編集ができなくなります。
注文書・請書を先に印刷されないようご注意ください。

注文書・請書を作成する方法

注文書・請書の作成方法です。
契約書の印刷後に作成可能となりますが、実行予算書を作成した後に行ってください。



注文書・請書を作成する方法

※注文書・請書を印刷した後は、見積作成画面で実行単価の編集ができなくなります。
注文書・請書は先に印刷しないようご注意ください。

1　画面左側の物件一覧から、注文書・請書を作成したい物件をクリックします。
先に作成した見積書をクリックします。



2　見積作成画面を開き発注先を入力します。
「仕入れ」「協力会社」で登録した会社が表示されます。クリックで選択します。

編集できるのは実行単価のみです。
グレー表示の文字や数値は変更できず、未記入項目には追加入力が可能です。
※見積書・契約書が施主へ発行済のため、見積単価は変更できません。
※注文書・請書作成時は、実行単価を編集できます。実行予算書を作成済の場合は、単価変更に伴い差異が生じるため、再印刷を行ってください。

テキスト　仕入れ先登録方法　P.48
協力会社登録方法　P.6



実行単価の調整が済みましたら画面左上の
をクリックし見積作成画面を閉じます。



3　物件を開いた状態の画面に戻ります。
実行予算書の下の「注文書・請書を作る」をクリックします。



【注文書・請書印刷後】



4　注文書・請書作成画面が表示されます。

【見積内容・契約内容】

見積内容と契約内容が表示されます。

【基本情報】

注文書タイトル：タイトルを入力します。

発行日：発行日を設定します。

担当者：請求書の作成者を入力します。

マスター設定で「担当者」を設定した場合は、選択肢に表示されます。

テキスト　担当者　P.47

【注文先の選択】

どの仕入れ先に注文を出すか選びます。

仕入れ先の左にチェックを入れて選択します。

仕入れ先は1件ずつ選択ができます。仕入れ先が複数ある場合は複数回に分けて印刷までお進みください。

【工事場所/工事期間/支払条件/備考】

工事場所：工事場所を入力します。

工事期間：工事期間を入力します。

支払条件：支払条件を入力します。

備考：振り込み先等、特記事項があれば入力します。

「印刷する」をクリックでPDFで出力できます。

※注文書・請書を印刷した後は、見積作成画面で実行単価の編集ができなくなります。

仕入れ先の選択・変更のみ、印刷後も編集できます。

請求書を作成する方法

請求書を作成する方法です。
契約書を作成した後に作成できます。





【請求書印刷後】



請求書を作成する方法

契約書作成後、請求書を作成することができます。

1　画面左側の物件一覧から、請求書を作成したい物件をクリックします。

2　契約書の下に請求書が表示されます。
右側の「作成」をクリックします。

3　請求書作成画面が表示されます。

【見積内容・契約内容】
見積内容と契約内容が表示されます。

【基本情報】
請求書タイトル：タイトルを入力します。
担当者：請求書の作成者を入力します。
マスター設定で「担当者」を設定した場合は、選択肢に表示されます。

テキスト　担当者　P.47

【明細】
発行日：発行日を設定します。
備考：特記事項があれば入力します。

【振込先・備考】
振込先：振込先の銀行を入力します。
備考：特記事項があれば入力します。

「印刷する」をクリックでPDFで出力できます。

仕様書を作成する方法

仕様書の作成方法です。
契約書を作成・印刷した後であれば、作成済の見積書をもとに仕様書を作成できます。

仕様書を作成する方法

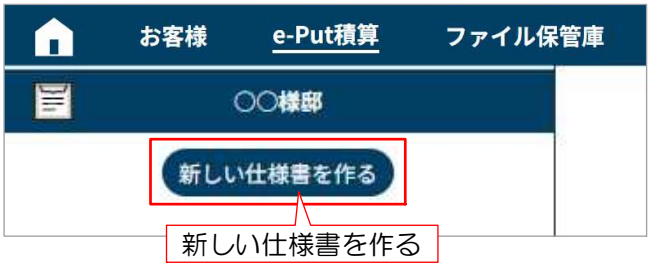


1　見積作成画面で仕様書に反映させたい項目にチェックを入れ選択します。

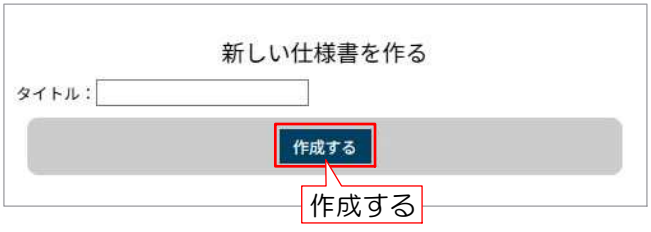
2　画面左上の📄をクリックし見積作成画面を閉じます。



3　物件を開いた状態の画面に戻ります。
画面下の「新しい仕様書を作る」をクリックします。



4　左上の「新しい仕様書を作る」をクリックします。



5　タイトルを入力し「作成する」をクリックします。





仕様書作成画面の構成

仕様書作成画面が表示されます。
1　「新しい仕様書を作る」で仕様書を追加で作成できます。
作成した仕様書の複製や削除もできます。

【見積書で入力した内容】



【調整後】



【仕様書印刷後】



2　見積書で入力した内容が反映されます。
編集が必要な場合は編集をします。
部位：工事名を入力します。
メーカー：メーカー名を入力します。
名称：製品名を入力します。
規格・仕様：製品のサイズやオプション等を入力します。
カラー：製品の色を入力します。
備考：特記事項があれば入力します。

右側の↕を上下にドラッグで、表示順を変更できます。

3　行やタイトルの編集ができます。
行追加：表の一番下に行を追加できます。
行複製：選択している行を複製できます。
行削除：選択している行を削除できます。
タイトル：タイトルを変更できます。

4　「印刷」をクリックでPDFで出力できます。
仕様書の右上の欄は、打ち合わせ時に押印箇所としても使用できます。

工程表を作成する方法

工程表を作成する方法です。
作業日をマーカーで塗りスケジュールを立てることができます。2通りの作成方法があります。



1　画面左側の物件一覧から、工程表を作成したい物件をクリックします。

2　画面下の「新しい工程表を作る」をクリックします。



3　工程表作成画面が表示されます。
タイトル：タイトルを入力します。
通常：工事期間を設定し作成できます。
ゼロ工程：作業日のみ設定し作成できます。

「通常」もしくは「ゼロ工程」のいずれかを選択し「作成する」をクリックします。

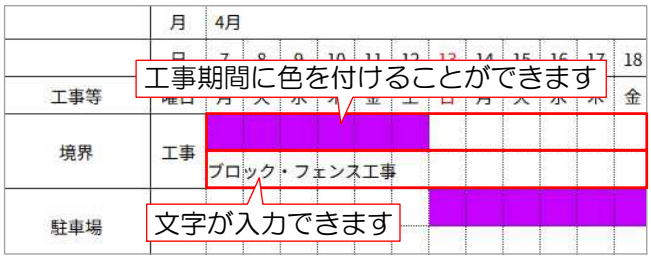


工程表を作成する方法（通常）



1　「新しい工程表を作る」で工程表を追加で作成できます。
作成した工程表の複製や削除もできます。

2　工事名は見積作成時に作成したセクションで表示されます。足りない場合は手入力で追加できます。



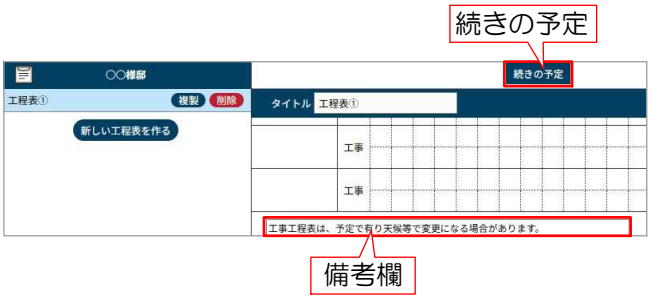
3　工事予定日の上の部分をドラッグしますとマーカーの色が付きます。
下の部分をダブルクリックで文字を入力できます。工事の内容を記載しましょう。



下の部分をドラッグしますと上に「結合」「分割」と表示されます。

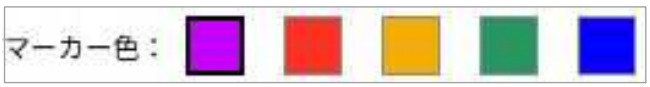


「結合」をしますとグリッド線が無くなり、文字を確認しやすくなります。
結合する前に戻したい場合は、戻したい部分をクリックし「分割」をクリックします。



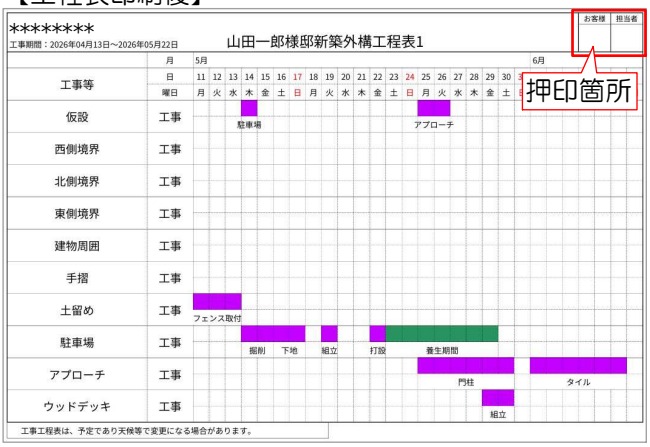
4　事前に伝えておきたいことや注意書き等を入力します。

5　先の日程が見切れている場合は、「続きの予定」をクリックで先の予定を表示できます。
※工程表は複製された状態になります。

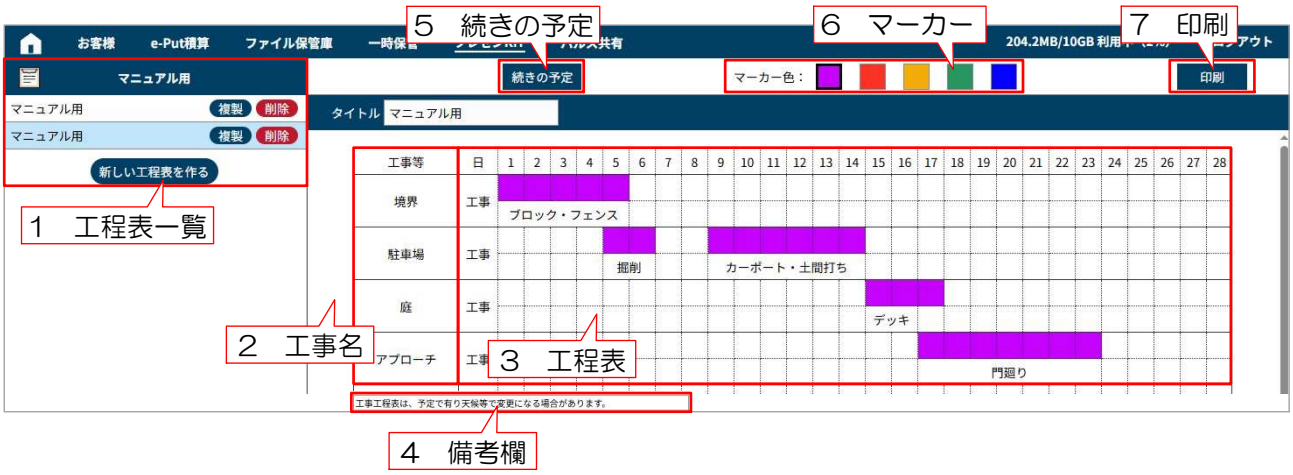


6　クリックでマーカーの色を変更できます。
5種類の色を選択できます。

【工程表印刷後】



7　「印刷」をクリックでPDFで出力できます。
工程表の右上の欄は、打ち合わせ時に押印箇所としても使用できます。

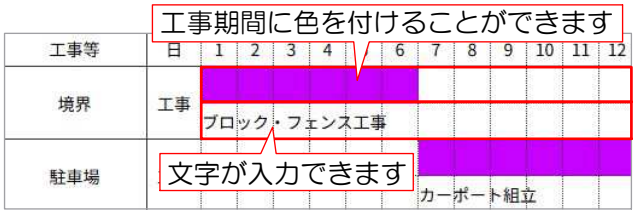


工程表を作成する方法（ゼロ工程）



1　「新しい工程表を作る」で工程表を追加で作成できます。
作成した工程表の複製や削除もできます。

2　工事名は見積作成時に作成したセクションで表示されます。足りない場合は手入力で追加できます。



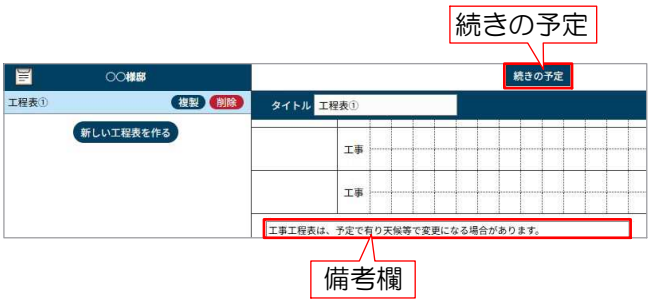
3　工事予定日の上の部分をドラッグしますとマーカーの色が付きます。
下の部分をダブルクリックで文字を入力できます。工事の内容を記載しましょう。



下の部分をドラッグしますと上に「結合」「分割」と表示されます。

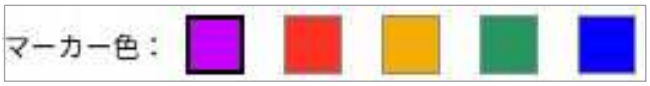


「結合」をしますとグリッド線が無くなり、文字を確認しやすくなります。
結合する前に戻したい場合は、戻したい部分をクリックし「分割」をクリックします。



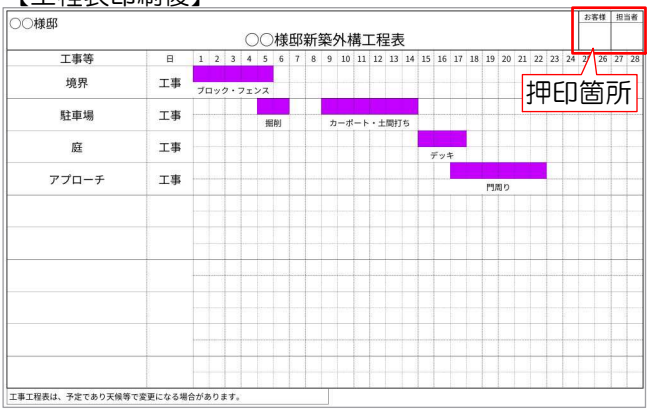
4　備考欄に事前に伝えておきたいことや注意書き等を入力します。

5　先の日程が見切れている場合は、「続きの予定」をクリックで先の予定を表示できます。
※工程表は複製された状態になります。



6　クリックでマーカーの色を変更できます。

【工程表印刷後】



7　「印刷」をクリックでPDFで出力できます。
工程表の右上の欄は、打ち合わせ時に押印箇所としても使用できます。

e-Put 自動拾い出し機能の項目と数量について

e-Putの自動拾い出し機能で取得される項目と数量は以下となります。

※1　オブジェクトの状態やテクスチャの情報取得状況で、取得される項目が変わりますのでご注意ください。特に各オブジェクトの機能を利用して特殊形状を作成している場合に意図する名称や必要工事と異なる情報が表示される場合がございますのでご注意ください。

※2　テクスチャや製品情報、またはe-Putで設定してあるマスター台帳から、定価や基本価格、工事価格を自動で割り当てています。
参考価格となりますので、カタログ、施工状況等必ずご確認ください。備考欄に価格の条件等が表示される場合があります。

※3　一部の項目で、ユーザーが拾いの単位、表示・非表示を設定することができます。

※4　金額や項目の設定をユーザーが保存した場合、下記とは異なる結果になる場合があります。

07CADのオブジェクト	条件	項目	単位	備考
塀	塀共通	基礎 ※3	m	塀の下端の長さです。塀デザイナーの設定により、基礎の種類が変わります。
		塀本体（ブロック積み） ※3	m2, m	側面（片面）の面積 規格・仕様欄に「CB　+　厚さ」が表示されます。 根入れの部分は最大高とブロックサイズからのおおよその値が含まれています。
		仕上げ下地 ※3	m2	表面積が表示されます。
		仕上げ ※3	m2	両側面+両小口+（天端）の面積 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。
	笠木が設定されている場合	笠木　※3	m, 個	笠木が設定されている部分の長さの合計（又は笠木ブロックの個数）。 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。
	巾木が設定されている場合	巾木	m2	巾木が設定されている部分の両側面+両小口の面積 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。
	部分貼が設定されている場合	部分貼	m2	部分貼が設定されている部分の片側の面積 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。

07CADのオブジェクト	条件	項目	単位	備考
塀	フェンスが設定されている場合	フェンス ※3	枚, m	配置されたフェンスの個数（又は長さ）が表示されます。 規格・仕様欄にフェンスの情報が表示されます。
		フェンス部品　柱 ※3	セット	配置された柱の個数が表示されます。
		フェンス部品　ジョイント ※3	箇所	配置されたフェンスの直線上の連結箇所が表示されます。
		フェンス部品　コーナー ※3	箇所	塀のコーナー数からフェンスのコーナー箇所が表示されます。
		フェンス部品　端部 ※3	箇所	配置されたフェンスの端部の箇所が表示されます。
	製品シンボルが設定されている場合	製品情報	個	配置された製品の数 規格・仕様欄に製品の情報が表示されます。
	シンボル化された塀	（シンボル化された塀）	個	シンボル化された塀は個数のみ表示されます。 eE-Former等で手拾いしていただく必要があります。
床	床共通	床	m2	床の表面積 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。 同ユニットに存在する場合は総数が表示されます。
	断面図が設定されている場合	下地の項目 ※3	m2、m3	断面図に設定された項目について、設定されている高さと、床の表面積から算出された数量が表示されます。
	断面図が設定されていない場合	下地の項目 ※3	m2	床の仕上げ情報から項目が自動で選択され、床の表面積から算出された数量が表示されます。
	縁取、デザイン目地が設定されている場合	目地 ※3	m2, m	規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。 同ユニットに存在する場合は総数が表示されます。
	シンボル化された床	（シンボル化された床）	個	シンボル化された床は個数のみ表示されます。 eE-Former等で手拾いしていただく必要があります。

07CADのオブジェクト	条件	項目	単位	備考
階段	階段共通	下地 ※3	m2	階段平面エリアの面積
		段鼻長さ	m	段鼻の総長さ レンガ小端立てなど設定してあるときは規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。
		仕上げ	m2	踏面の表面積（+蹴上、側面の面積） 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。
	シンボル化された階段	（シンボル化された階段）	個	シンボル化された階段は個数のみ表示されます。 eE-Former等で手拾いしていただく必要があります。
シンボル	DB登録されている製品	製品の種別	個	製品本体の個数 同じ製品は総数が表示されます。
		付属部品	個	製品付属部品が設定してある場合の個数
	DB登録されていない製品	シンボル名称	個	シンボルの個数
植栽	単独樹木・列植	樹種・樹木名	本	樹木の本数 規格・仕様欄にサイズが表示されます。
	生垣	生垣	m	生垣の長さ 規格・仕様欄にサイズが表示されます。
	低木 ※3	寄植	m2,本	エリアの面積（又は本数） 規格・仕様欄にサイズが表示されます。 面積の場合、備考欄にm2あたりの本（株）数が表示されます。
	地被	地被名称	m2	エリアの面積
添景		名称	個等	添景アイテムの個数 車等は拾われません。

O7CAD2026　操作マニュアル

2026年5月11日 第1版発行

著作・製作・発行
オーセブン株式会社
〒338-0004　埼玉県さいたま市中央区本町西６－４－１４

本書の一部または全部について、無断で複写、複製することを禁止いたします。

media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media

使用許諾契約書

media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media

オーセブン株式会社が提供するソフトウェア製品を、お客様がダウンロードやインストール、その他手段によって使用可能にされる時点で、
そのソフトウェア製品の使用許諾条件に同意されたものとみなします。
本ソフトウェア使用許諾契約書（以下、「本契約」という）は、その使用許諾条件をまとめたものです。
ソフトウェア製品を使用されるすべてのお客様に適用されます。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様（以下､「甲」という）と､オーセブン株式会社（以下､「乙」という）は､乙が著作権を有する　ソフトウェア製品　「07CAD2026　1ライセンス」（以下、「ライセンス製品」という）の使用許諾について、次の条件で本契約を締結します。

■著作権
ライセンス製品に関する所有権、知的財産権、その他の一切の権利は乙に帰属します。

■ライセンス製品の使用許諾
乙が甲に対し、ライセンス製品を使用できる非独占的な使用権を許諾します。

■許諾の範囲
1）本契約により甲は、ライセンス製品をコンピュータに複製して使用することができます。
同時に契約ライセンス数以上のコンピュータ上での使用を許容するものではありません。
バックアップの目的に限り、機械による読み取り可能な形態でライセンス製品の複製物を１つ作成することができます。
2）本使用権は本契約の有効期間中に限り存続するものとします。

■所在場所
1）甲が使用するライセンス製品は、導入所在場所に設置されたコンピュータとします。
2）所在場所の変更や、その結果生じる不具合等のサポート諸費用は、甲が負担するものとします。

■保守・履行義務
保守・履行義務契約書の　履行義務（※1)、07CAD 保守（※2）　に従うものとします。

■リース契約
ライセンス製品について、乙がリース契約を受けている場合、以下の条項が適用されます。
1）ライセンス製品のリース契約は、リース会社に対する非独占的使用権付契約となります。
2）ライセンス契約のリース契約について、リース契約の満了（5 年）によるリース契約の終了もしくはリプレース・リース契約による本契約のバージョンアップ更新をし、再リース契約による本契約の更新はありません。
3）リース契約終了の手続きは、甲よりライセンス製品の全部又は一部の複製物を乙に返還するか、又は消去及び破棄をして、これを証明する書類を乙に提出するものとします。
4）契約終了に際してかかる諸費用（リース契約による廃棄処理費用等）は、甲の負担によるものとします。
5）本契約は、リース契約を含む他のいかなる契約よりも優先します。

■権利義務
甲は、ライセンス製品、本契約並びに、本契約から派生する追加ライセンス製品等を含む一切の権利義務を、第三者に販売したり、再使用許諾したり、譲渡したり、あるいは担保に供したりしてはならないものとします。

■禁止事項
1）ライセンス製品あるいは関連するドキュメントを複製、改変、販売すること。また、弊社の信用を毀損し、あるいは損害をもたらす一切の行為を行なうこと。
2）ライセンス製品の逆アセンブルをはじめ、リバースエンジニアリング行為を行うこと。
3）本契約に基づき乙から開示を受け、その他本契約の履行の過程で取得した乙に関する情報を第三者に開示又は漏洩すること。

■保証・免責事項
ライセンス製品は、具体的な説明が有るものや無いものを問わず、乙より甲に現状有姿（無欠陥、商品価値、第三者の知的財産に抵触するか否かの保証を含む無侵害性、その他の一切の保証なし）のまま甲に提供されます。
ライセンス製品の動作、品質と機能に関し、乙は、一切の保証（ウィルスの不存在、応答の的確性、使用結果に関する保証を含む）をするものではありません。甲の使い勝手に適うかどうかの責任を負うものではありません

■損害・免責事項
ライセンス製品のインストールまたは使用に関連して、甲に直接的または間接的に発生するあらゆる損害（ハードウェア、他のソフトウェアの破損、不具合等を含む）について、乙は一切の責任（注意義務を含む）を負担するものではありません。

■本契約・終了
1）本契約の期間は、乙がライセンス製品を納品した日から 5 年間とする。ただし、期間満了前に甲が乙から書面による更新の意思表示を受領し、乙が合意した場合、さらに 1 年間延長されるものとし、その後も同様とする。
2）甲は、乙に対するライセンス製品に係る未払債務がある場合、解約手続きの前に完済するものとします。
3）甲による本契約の記載条項に違反があった場合、乙は本契約を終了することができます。

■協議
本契約に関する疑義が生じた時は、甲、乙協議し誠実に解決するものとします。

■管轄裁判所
本契約に関する訴訟等は、さいたま地方裁判所を第一審の専属的管轄裁判所とします。

media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media

使用許諾契約書

media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media

保守・履行義務契約書

お客様（以下、「甲」という）と、オーセブン株式会社（以下、「乙」という）は、甲が使用する　ソフトウェア製品　「07CAD2026 1 ライセンス」（以下、「ライセンス製品」という）について、次の条件で本契約を締結します。

■07CAD システム構成
乙より甲に提供する当該ライセンス製品は、【基幹作図機能：07CAD エンジン】【基幹描画機能：07 レンダリングエンジン】
【07CAD 標準搭載 コンテンツ（以下「標準コンテンツ」といいます）1 種～ 5 種】で構成された【ＥＸ造園設計 3DCAD】です。
- 基幹作図機能：07CAD エンジン　構成比 22%
- 基幹描画機能：07 レンダリングエンジン　構成比 20%
- 基幹作図補助機能：07CAD 作図補助機能　構成比 18%
- 標準コンテンツ 1 種～ 5 種　構成比 40%

■標準コンテンツ構成
乙より甲に提供する当該ライセンス製品は、プレゼン環境を維持する【標準コンテンツ 1 種～ 5 種】を搭載しています。
- 標準コンテンツ 1 種：造園＆ガーデン系植栽コンテンツ　構成比 10%
- 標準コンテンツ 2 種：標準製品シンボル　構成比　5%
- 標準コンテンツ 3 種：標準テクスチャー　構成比　5%
- 標準コンテンツ 4 種：メーカー製品シンボル　構成比 10%
- 標準コンテンツ 5 種：メーカーテクスチャー　構成比 10%

■履行義務について（※1)
◆標準コンテンツ：リセット履行義務期間　5 年
1）ライセンス製品は、標準コンテンツの作図環境を年度毎にリセットする【履行義務サポート】を標準装備しています。
2）主たる履行義務の期間は、本契約締結日（納品日）から 5 年間とします。
3）甲に対する乙の履行義務は、ライセンス製品のバージョンアップ更新にも適用され、更新契約終了日まで【履行義務サポート】を受けられます。
4）甲の申し出により有償で履行義務期間を延長（１～５年）ができます。その後も同様とします。
5）履行義務期間における主なコンテンツ・リセット項目
・登録（配置基準）設定 ／ サイズバリエーション設定 ／ カラーバリエーション設定 ／ 光源設定 ／ オプション設定
・標準コンテンツの新規登録など。
◆乙が提供するサーバーを使用したサービス
1）橘サーバーレンダリング、07カーゴを利用することができます。
◆07CAD：保守履行義務期間　5 年（有償）
1）当該ライセンス製品の保守期間は、本契約締結日（納品日）から 5 年間とします。
2）甲に対する乙の保守は、乙の別途有償サービス（別途 HP 記載）と共に受けることができます。
3）乙は甲に対し、07CAD 保守の契約満了を迎える半年前に、保守期間の終了及びライセンス製品の扱いを、当該契約の「重要なお知らせ」で通知します。
4）主な保守項目
・電話による当該ソフトウエアの問い合わせ。
・07 ユーザー専用サイトのご利用。
・CAD 操作研修など、各種セミナーご案内の配信。
・建材のアップデート配信：年 1 回以上／インターネット回線から専用ツールで自動アップデート。
配信範囲は、使用頻度の高い製品に限ります。
・ライセンス製品の関連プログラムをインターネット回線から専用ツールにて、取得・利用することがでます。

■07CAD 保守について（※2)
1）当該ライセンス製品の保守は、甲が使用するライセンス数に付随する必須保守です。
2）保守時間帯は、原則として乙の就業時間内（10 ： 00　～ 17：00）とします。
3）料金の支払い方法
1. 保守料金の支払いについて甲は、主たる契約期間の 5 年間の全額、もしくは年額（原則／自動引き落とし）のいずれかの方法により、乙の、指定の口座へ振込むものとします。
2. 保守の業務内容及び料金について、本契約に基づき変更することがあります。
乙の、予め「お知らせ」等で甲に通知し、甲はそれを了承するものとします。
4）保守の停止
1. 甲が以下の項目に該当する場合、乙は甲に事前の通知なく、07 ユーザー専用サイト及び各種保守の一時停止をすることを、甲は了承するものとします。
①　甲が、保守料その他の乙に対する債務の支払いを遅延又は拒否した場合。
②　甲が指定した銀行口座から、保守料その他の乙に対する債務について、乙が自動引き落としできなくなった場合。
2. 保守等の停止を受けた甲は、停止期間を含んだ料金の払い込みをもって、乙に停止の解除手続きをとることができます。
5）保守の環境
インターネット環境を利用した保守を行っています。インターネット環境が無い場合、十分なサポートが受けられない場合があります。

■ 研修サービスについて
1）本研修サービスは、甲が必要に応じて購入できる有償サービスになります。
2）本研修サービスの申し込みは、原則として乙が提供する予約サイトにて行うものとします。
3）本研修サービスの有効期間は契約開始日から 5 年とします。
4）ソフトウェアのバージョンアップがおこなわれたとしても、本研修サービスの有効期間は変更されないものとします。
5）本研修サービスの有効期間を超過した場合、当該契約の未受講分は失効となります。

media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media

住宅関連プレゼン・アプリ ＆ クラウドサービス利用規約

media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media messe media

当社の住宅関連プレゼン･アプリ＆クラウドサービス（以下､当社サービス といいます）を利用されるユーザー（以下､お客様 といいます）は、本利用規約（以下、本規約 といいます）及び当社が定める各諸手続きや規定に同意いただくことを前提としています。
当社サービスのご利用の前に本規約をご確認ください。

■当社サービス
1）クラウド連動アプリ：写真合成＆概算見積りアプリ【カタリノ】
2）クラウド連動アプリ：多目的ビューワーアプリ【07Viewer Web ／ ゼロナナ・ビューワー】
3）クラウド連動アプリ：SpeedPlanner 連動アプリ【SpeedPlannerOffice ／ スピードプランナーオフィス】
4）クラウドサービス：ビジネスサーバー業務管理ツール【e-Board ／ イーボード】【e-Board One ／ イーボードワン 】
5）クラウドサービス：ビジネスサーバー【07CAD 保存サーバー】
6）ipad 専用アプリ：【SpeedPlanner ／ スピードプランナー】

■アカウントの管理
1）お客様は、当社サービスを利用するために登録したメールアドレス、パスワード等のお客様情報に責任を持ち、管理するものとします。
お客様ご自身のお客様情報が漏洩し､第三者による不正使用などから生じるお客様の損害について､当社は責任を負わないものとします。
2）本サービスの提供を受ける権利を譲渡、貸与、質権、担保することはできません。
3）お客様情報等に変更が生じた場合、所定の方法により速やかにご連絡ください。お客様が当社に届出なくお客様の情報等を変更されますと、当社よりの連絡が届かず、それによって、お客様の損失機会が増幅したとしても、責任を負わないものとします。

■お客様コンテンツの保存と削除
1）アプリ系ツール：｢カタリノ｣｢07Viewer Web｣
無料版：無料のクラウド環境で保存することができますが、他の無料でご利用のお客様と共用の為、データが他のお客様に見られたり、削除されたりする場合があります。また、無料のクラウド環境で保存されたデータは、定期的に削除されます。
有料版：業務管理ビジネスツール「e-Board」をお使いいただけます。ネット上でコンテンツ管理や情報の共有ができます。
無料版:SpeedPlanner連動アプリ｢SpeedPlannerOffice｣をお使いいただけます｡SpeedPlannerと連動して拡張機能を使うことができます。
有料版：ipad 専用アプリ「SpeedPlanner」をお使いいただけます。ipad 上で住宅プランの作成や情報の共有ができます。
2）クラウド系ツール ：「e-Board」｢07CAD 保存サーバー」
無料版：無料のクラウド環境で保存することができますが、他の無料でご利用のお客様と共用の為、データが他のお客様に見られたり、削除されたりする場合があります。また、無料のクラウド環境で保存されたデータは、定期的に削除されます。
有料版：業務管理ビジネスツール「e-Board」をお使いいただけます。ネット上でコンテンツ管理や情報の共有ができます。

■知的財産権等
1）お客様がアップロード及び発信、送信した 3D、2D のプランデータや CG 画像、テキスト、写真など（以下、お客様コンテンツといいます）を除く、当社サービスおよび当社サービスに搭載の各コンテンツに関する知的財産権は、当社および提携先に帰属します。
2）お客様が当社サービスにアップロード及び発信・送信したお客様コンテンツ等の知的財産権は、お客様コンテンツをアップロード及び発信、送信したお客様に帰属します。
3）お客様は、ご自身で用意されたお客様コンテンツ以外のコンテンツを、その権利者（当社、提携先、他のお客様等）の事前の許可なく使用（複製、転載、改変、頒布等）することはできません。許可を得て利用する場合、引用元を正しく明示ください。引用の目的が正当な範囲内のものに限ります。
4）コンテンツ権利者の知的財産権等を侵害すると、侵害側に弁済の義務が発生します。コンテンツの取り扱いにはご注意ください。

■守秘義務
当社サービスを遂行するために必要且つ限定的にお客様情報等を扱うことはあっても、お客様の許可なく、情報を開示したり利用することはありません。

■自動認証
お客様が利用していない当社製品を含む当社サービスから、お客様が利用している当社サービスへアクセスされますと、同時に当社サービス等から他の当社サービスへ認証情報を自動的に送信することがあります。認証情報の送信は、すなわち、アクセス認証を自動的に行うということであり、当社サービスは、当社製品等に登録された認証情報を取得することにより、自動認証することがあります。

■クッキーによる認証
1）当社サービスでは、当社製品等または Web ブラウザからアクセスされますと、クッキーを発信することがあります。クッキーは、認証情報に代わる当社サービスのアクセス認証を行うために利用されるもので、事前に Web ブラウザ上で「クッキーを受け入れる」というセキュリティの設定を必要とします。
2）このクッキーが第三者に利用されますと、お客様の当社サービスを閲覧・設定の変更等、いたずらされるおそれがございます。当社製品等または Web ブラウザ上でクッキーを削除されることをお勧めします。
3）また、クッキーには有効期限を設定しています。当社サービスの利用中にクッキーが削除されたり、クッキーの有効期限が切れますと、一部当社サービスをご利用いただけなかったりしますのでご注意ください。削除したクッキーは､再設定いただきますと再生成されます。お客様の情報が第三者によって悪用され、損害を発生させたとしても、当社は責任を負わないものとします。

■責任の限度
1）お客様が、当社サービスを利用し、お客様の任意な方法（データ保存、複製、削除、変換、合成等）で作成されるお客様コンテンツの不具合、破損、消失等に対し、当社は責任を負わないものとします。
1）お客様が当社サービスの利用で、発生した直接的、間接的、付随的トラブル（コンピュータの故障、業務の停止、情報漏洩等）による損失や損害について、当社は責任を負わないものとします。
3）当社は、【システムの保守、点検、修理】や【天災、人災】等による事由で、お客様に事前に連絡することなく、一時的に当社サービスを中断することがあります。このサービスの中断による損失、損害について、当社は責任を負わないものとします。
4）当社は、当社サービスシステムの容量、機能、スピード、コンテンツ登録等、技術的視点から、当社サービスの内容を、予告なく変更することがあります。従来サービスの全部もしくは一部が利用できなくなり、その結果、お客様の使い勝手を損なうことがあったとしても、責任を負わないものとします。

■保障の限度
当社は、当社サービスの提供について、保守、点検、改善改良を行いますが、お客様個別の使い勝手、お客様個別のお客様コンテンツの保持、お客様個別のセキュリティ等を保証するものではありません。

住宅関連プレゼン・アプリ ＆ クラウドサービス利用規約

■禁止事項

お客様は、当社サービスの利用に際して、次の行為をすることはできません。

1）法令または当社の規約等に違反する行為
2）当社や他のお客様、提携先を含む第三者の知的所有権等を侵害し、利益等を損ねる行為
3）当社や他のお客様、提携先を含む第三者に迷惑となる行為や不快感を抱かせる行為
4）当社や当社サービスを、あたかも提携先としてもしくは第三者のサービスとして誤認させる行為や提供する行為
5）有害なコンピュータウィルス・スパムメール・チェーンレター等のアップロードや書き込む行為
6）当社のサーバーその他のコンピュータに不正にアクセスする行為
7）メールアドレスおよびパスワードを第三者に貸与・譲渡すること、または第三者と共用する行為
8）他人（架空の者を含む）になりすまして、当社サービスを利用する行為
9）当社サービスの全部又は一部の運営を妨げ、信用・名誉等を毀損する行為
10）公序良俗に違反する行為
11）その他、当社が不適切と判断する行為

■当社サービスの中断、終了

当社は、次の方法により、当社サービスの個別契約を除いて、30 日以上の期間を設けた事前の通知により、当社サービスの全部および一部を、中断並びに終了することができます。

1）お客様と当社サービスに関係する通知、連絡事項等は、電子メール、07 ダイレクトメール、郵便、電話、ファックス、などの方法から当社が適当と判断した方法で通知又は連絡を行います。
2）前項の方法に代えて、ウェブページ上での告知をもって通知することができます。